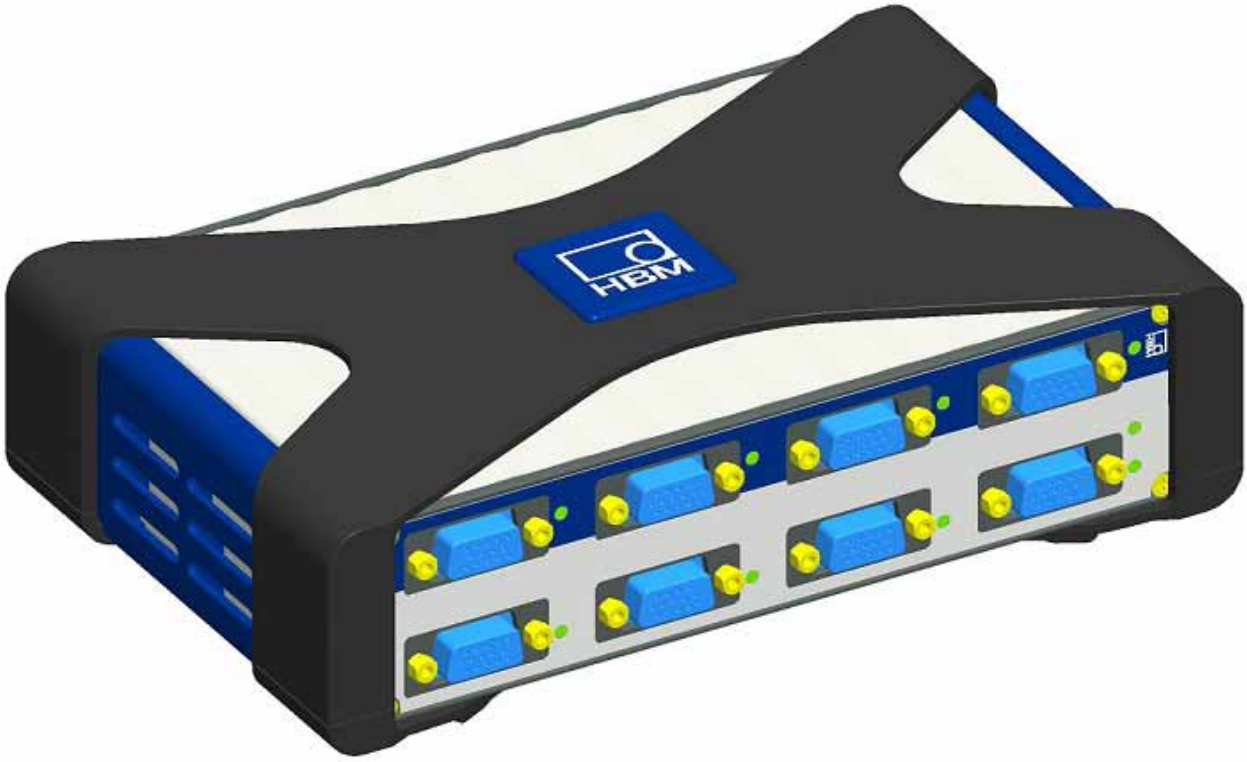
# QuantumX API日本語マニュアル

# Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131)



# 注意

- QuantumX API日本語マニュアル(以下本書)は、HBM GmbHのQuantumX用APIに含まれているQXAPIDocu.chmを日本語化したものです。内容はHBM.DeviceComponents.dll(Version 4.0.1.131)およびHBM.QuantumX.dll(Version 4.0.1.131)の説明が含まれています。
- 本書の著作権はアドバン オートメーション株式会社に属します。
- 本書に記述されている内容について、HBM GmbHおよびスペクトリス株式会社 HBM事業部(以下HBM社)は一切関与しません。本書についての問い合わせはアドバン オートメーション株式会社が受け付けます。
- 本書の内容に基づいて発生した負傷や損害に対しては、HBM社およびアドバン オートメーション株式会社は一切責任を負いません。
- 本書は、特定のアプリケーションに対する適合を保証していません。また、製品がどのような環境下でも正しく機能することを保証していません。製品とアプリケーションに関連したリスクを最小限に抑えるため、ユーザが適切な設計および保護対策を用意する必要があります。
- 本書に記載されている製品について将来予告することなしに変更することがあります。また本書の記述も予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を複製、複写、翻訳、転載、テープ化などをすることはできません。
- QuantumXはHBM GmbHの商標です。日本国内においてはスペクトリス株式会社 HBM事業部が保有しています。その他の製品名または商標は各社に帰属しています。

目次

QuantumX API日本語マニュアル ・・・ 1
注意・・・ 3
要件・・・ 9
概要・・・ 13
クラスの概要 ・・・ 19
例・・・ 25
HBM.DeviceComponents Namespace ・・・ 41
HBM.DeviceComponents Classes ・・・ 47
ActiveX_Helperクラス ・・・ 49
AdditionalCanBusクラス ・・・ 57
AdditionalConnectorクラス ・・・ 69
AdditionalFunctionsクラス ・・・ 83
AddMultiplyクラス ・・・ 95
Adjustmentクラス・・・ 109
Amplitudeクラス ・・・ 121
AnalogInクラス ・・・ 133
AnalogInChannelクラス ・・・ 143
AnalogOutクラス ・・・ 161
AnalogOutChannelクラス ・・・ 177
AnalogOutIdentificationクラス ・・・ 191
AnalogOutScalingクラス ・・・ 205
AngleDifferenceクラス・・・ 217
Arbitrationクラス ・・・ 227
AsyncSignalクラス ・・・ 237
AutoAdjustクラス ・・・ 249
AutoCalクラス ・・・ 259
AutoTimeSourceクラス ・・・ 269
Bridgeクラス ・・・ 277
Canクラス ・・・ 293
CanBusクラス ・・・ 301
CanInChannelクラス・・・ 315
CanMessageクラス ・・・ 329
CanOutChannelクラス ・・・ 349
CanSensorクラス ・・・ 363
CanTransmitChannelクラス ・・・ 391
CanTransmitMsgクラス ・・・ 405
Communicationクラス・・・ 417
Connectorクラス ・・・ 427
Constantクラス ・・・ 441
ControllerOutputクラス ・・・ 451
Counterクラス ・・・ 463
Currentクラス ・・・ 479
CUtilクラス・・・ 489
DataRateDomainクラス ・・・ 497
Delayedクラス ・・・ 507
Deviceクラス ・・・ 517
DigitalInクラス ・・・ 537
DigitalIOPinsクラス ・・・ 547
DigitalOutクラス ・・・ 557
DriftCompensationクラス ・・・ 569

DriftCompensationCurrentStateクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 579
DriftCompensationRequestクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 587
ECUクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 595
ErrorModeクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 609
ErrorStatusクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 619
EtherCATクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 631
EtherCatTimeSourceクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 643
EtherCatTransmitChannelクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 651
Ethernetクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 663
FileContentクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 675
FilterTypeクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 687
Frequencyクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 699
Gainクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 713
HighPassクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 723
Identificationクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 733
IEPEクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 755
IndBridgeクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 765
IndCounterクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 779
IndFrequencyクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 789
Inputクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 801
IRIGクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 815
IrigTimeSourceクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 825
Levelクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 837
LimitSwitchクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 847
LimitSwitchFunctionsクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 865
LinTableクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 877
LinTable.Pointクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 889
Lintable_TwoPointクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 897
Lintable_TwoPoint.Pointクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 909
LowPassクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 917
LVDTクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 927
Mathクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 937
MathFunctionsクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 951
MathTypeクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 963
Matrixクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 979
MatrixCoeffRowクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 991
MeasureElectricalValueHelperクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1003
ModuleStatusクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1007
Networkクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1019
NtpTimeSourceクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1031
ObjectEditorクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1041
Outputクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1047
OutputFilterTypeクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1059
OutputUnitクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1071
Peakクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1085
PeakFunctionsクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1103
PeakModeクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1115
PeakPeakクラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1127
Periodクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1137
Periodicクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1149
PIDクラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1161

PidModeクラス・・・ 1177
PidModeDynamicクラス・・・ 1189
PidModeStaticクラス・・・ 1199
PidSegmentクラス・・・ 1209
Pinクラス・・・ 1223
Platformクラス・・・ 1239
Polynomクラス・・・ 1257
Polynom.Segment クラス・・・ 1267
Polynom.Segment.Coefficient クラス・・・ 1275
Potentiometerクラス・・・ 1281
Pressureクラス・・・ 1293
Ptクラス・・・ 1305
PtpTimeSourceクラス・・・ 1317
PulseWidthクラス・・・ 1329
PWMクラス・・・ 1341
Pwm_クラス・・・ 1355
Removalクラス・・・ 1365
Resistorクラス・・・ 1377
RMSクラス・・・ 1389
RotationalVibrationクラス・・・ 1401
RunModeクラス・・・ 1417
ScalingTypeクラス・・・ 1429
Sensorクラス・・・ 1445
SensorTypeクラス・・・ 1463
Signalクラス・・・ 1493
SignalCtrlクラス・・・ 1511
SignalGeneratorクラス・・・ 1521
SignalGeneratorFunctionsクラス・・・ 1539
SimpleOutputクラス・・・ 1551
SimpleSignalクラス・・・ 1563
SpecialCounterParametersクラス・・・ 1581
SpecialFrequencyParametersクラス・・・ 1595
SpecialIndCounterParametersクラス・・・ 1607
SpecialIndFrequencyParametersクラス・・・ 1617
SpecialPwmParametersクラス・・・ 1627
SSIクラス・・・ 1639
Straingageクラス・・・ 1651
SyncSignalクラス・・・ 1661
SystemViewクラス・・・ 1679
TedsOptionsクラス・・・ 1705
TestSignalクラス・・・ 1715
ThermoCoupleクラス・・・ 1729
TimeSourceクラス・・・ 1741
Voltageクラス・・・ 1757
ZeroOffsetクラス・・・ 1767
ZeroSpanクラス・・・ 1779
HBM.DeviceComponents.Delegate・・・ 1791
HBM.DeviceComponents.Enumeration・・・ 1793
HBM.QuantumX Namespace・・・ 1869
HBM.QuantumX.Classes・・・ 1873
DAQProblemクラス・・・ 1875

MeasurementValuesクラス・・・ 1883
NetworkAdapterクラス ・・・ 1893
NtpQualityクラス ・・・ 1905
Problemクラス ・・・ 1921
PtpQualityクラス ・・・ 1931
QXSimpleDAQクラス ・・・ 1945
QXSystemクラス ・・・ 1973
ScanResultクラス ・・・ 2203
SignalDescriptionクラス ・・・ 2225
SubDeviceクラス ・・・ 2235
HBM.QuantumX.Enumeration ・・・ 2245
HBM.QuantumX.Exception ・・・ 2263
AssignFailedExceptionクラス ・・・ 2265
ConnectionFailedExceptionクラス ・・・ 2271
DllVersionExceptionクラス ・・・ 2277
ExportFailedExceptionクラス ・・・ 2285
GetDataBlockFailedExceptionクラス ・・・ 2291
GetSinglePointFailedExceptionクラス ・・・ 2301
GetSingleShotFailedExceptionクラス ・・・ 2307
ImportFailedExceptionクラス ・・・ 2315
ReadFailedExceptionクラス ・・・ 2321
RestartFailedExceptionクラス ・・・ 2327
ScanFailedExceptionクラス ・・・ 2333
StartDAQFailedExceptionクラス ・・・ 2339
StopDAQFailedExceptionクラス ・・・ 2349
SubscribeSignalFailedExceptionクラス ・・・ 2359
ViewNotAvailableExceptionクラス ・・・ 2365
ZeroingFailedExceptionクラス ・・・ 2371
HBM.QuantumX.Structure ・・・ 2377

# 要件

この項ではQuantumX .NET APIを使用するQuantumX .NET APIを使用するための最低要件について記述しています。

## システム要件

- **OS:**

  Windows® XP(32-Bitまたは64-Bit)

  Windows® Vista™(32-Bitまたは64-Bit)

  Windows® 7(32-Bitまたは64-Bit)

  Windows® 8(32-Bitまたは64-Bit)

- Microsoft Internet Explorer Version 6.0以降
- Intel Pentium 1 GHzまたは同等のプロセッサ
- メインメモリ(RAM):

  512 MB(Windows® XP)

  1024 MB(Windows® Vista™, Windows® 7およびWindows® 8)

- 1024 x 768ピクセルのI解像度を持つグラフィックカード
- 45 MB以上の空き領域を持つハードディスクドライブ
- Microsoft製または100 %互換のマウス
- QuantumXデバイスを接続するためのイーサネットインタフェース(10/100 MB)またはFireWire

## プログラミング要件

**QuantumX API用.NETを使用してプログラムを構築するための必須要件**

- Microsoft .Net Framework 2.0以降
- Microsoft Visual Studio .Net 2005以降
- HBM DLLs (HBM.QuantumX.dll, HBM.DeviceComponents.dll, HBM_QX_Framework.dll, HBM_Scan.dll, HBM_Streaming.dll)

**QuantumX API用COMを使用してプログラムを構築するための必須要件**

- COMをサポートする任意のアプリケーション開発システム(例えばVisual Studio 6)
- HBM DLLs (HBM.QuantumX.dll, HBM.QuantumX.tlb, HBM.DeviceComponents.dll, HBM.DeviceComponents.tlb, HBM_QX_Framework.dll, HBM_Scan.dll, HBM_Streaming.dll)
- COMのAPIを登録/解除するバッチファイルを使用

**Microsoft Office VBAからQuantumX APIを使用するための必須要件**

- Microsoft Office 2003の場合、office2003-KB907417-FullFile-JPN.exeパッチがインストールされていること
- Microsoft Office 2003以前の場合、lockbackRegKey.msiパッチがインストールされていること

これらはMicrosoftのサポートサイトでダウンロード可能です。

**National InstrumentsのLabVIEWからQuantumX APIを使用するための必須要件**

- LabVIEWのバージョン9.0以降
- HBM DLLs (HBM.QuantumX.dll, HBM.DeviceComponents.dll, HBM_QX_Framework.dll, HBM_Scan.dll, HBM_Streaming.dll)

**QuantumX APIの関数およびデータ型を使用してプログラムを配布する際の注意事項**

・ターゲットシステム上に.NET framework 2.0(またはアプリケーションに応じて4.0 full)がインストールされていること

・ターゲットシステム上にプログラムを含む、次のHBM DLLをコピーします

HBM.QuantumX.dll(COM経由でQuantumX APIを使用する場合はHBM.QuantumX.tlbも)

HBM.DeviceComponents.dll(COM経由でQuantumX APIを使用する場合はHBM.DeviceComponents.tlbも)

HBM_QX_Framework.dll

HBM_Scan.dll

HBM_Streaming.dll

ActiveX/ COMの場合、最初の二つのDLLはQuantumX APIよりバッチファイルをインストールして行うことができます。regasmコマンド(RegCOMAssembly##.bat)で登録を行ってください。

QuantumXアプリケーション間の不整合を回避するため、同一ディレクトリ内にすべてのプロジェクトファイルを保存することをお勧めします。

**ファイアウォールの変更**

UDPポートの31416および31417hはアプリケーションのためにオープンさせる必要があります。通常、システムはアプリケーションがネットワークを使用するか尋ねますが、すべてのインバウンド通信はアプリケーションに許可されます。

For IP-over-FireWire機能を利用するには「パブリック」ネットワークの許可されることが必須です。

Windows® 7であれば、これらはコマンドラインより行えます。

```
netsh advfirewall firewall add rule name="AppName" direction=in action=allow
enable=yes profile=any localport=31416,31417 protocol=UDP edge=yes program="AppExe"
```

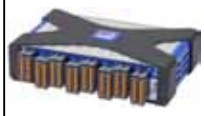
Windows® XPでのコマンドラインは以下の通りです。

```
netsh firewall add allowedprogram name="AppName" mode=ENABLE scope=ALL
profile=ALL program="AppExe"
```

# 概要

この項ではHBM QuantumXデバイスと通信し、制御を行うためにQuantumX APIの使用する方法について、詳細な情報を記述しています。

### サポートしているハードウェア

| | |
|---|---|
| CX27<br> | Ethernet / EtherCATゲートウェイ<br>1 EtherCAT real-time fieldbus (IN/OUT)<br>2 Ethernet TCP/IP (front/rear)<br>2 digital I/Os each<br>External synchronization via EtherCAT and NTP |
| MX1601B<br> | 16チャネル ユニバーサルアンプ<br>16 individually configurable inputs (data rate up to 19.2 kHz)<br>Active low pass filter |
| MX1609<br> | 16チャネル 熱電対用アンプ<br>16 inputs (data rate up to 300 Hz)<br>Thermocouple mini type K<br>8 internal cold junction<br>Active low pass filter |
| MX1615B<br>  | 16チャネル ひずみゲージブリッジアンプr<br>16 inputs (data rate up to 19.2 kHz)<br>Active low pass filter |
| MX403B<br> | 4チャネル高電圧アンプ<br>4 inputs (1000 V)<br>8 peak functions<br>4 math functions (root-mean-square)<br>Active low pass filter |
| MX410B<br> | 4チャネル高ダイナミックアンプ<br>4 individually configurable inputs (data rate up to 96 kHz / 192 kHz with 2 channels)<br>4 analog outputs<br>8 peak functions<br>4 math functions (root-mean-square)<br>Active low pass filter |
| MX411P<br> | MX440耐環境性能向上バージョン<br>IP67 degree of protection (dust, water)<br>Extended temperature range from -35 to 80 °C (-30 to 175 °F)<br>Vibration/fatigue strength up to min. 50 m/s2<br>Shock-proof up to 350 m/s2 |
| MX440A<br> | 4チャネル ユニバーサルアンプ<br>4 individually configurable inputs (data rate up to 19.2 kHz)<br>Active low pass filter<br>External synchronization via IRIG-B |
| MX460<br> | 4チャネル 周波数カウンタ<br>4 individually configurable inputs (data rate up to 96 kHz / digital signals up to 1 MHz)<br>8 peak functions<br>4 math functions (differential angle, torsional vibration analysis)<br>Active low pass filter |
| MX471<br> | 4チャネル CANbus<br>4 individually configurable channels<br>128 input and output signals each<br>CCP / xCP-on-CAN |

| | |
|---|---|
| MX840A<br> | 8チャネル ユニバーサルアンプ<br>8 individually configurable inputs (data rate up to 19.2 kHz)<br>1 CAN Bus channel (first connector only)<br>Active low pass filter<br>MX840A: Supports resistor transducer<br>MX840A: External synchronization via IRIG-B |
| MX878<br> | チャネル アナログ出力<br>8 individually configurable analog outputs (can be filtred)<br>4 peak functions<br>4 math functions (add&multiply, root-mean-square, 6x6 matrix)<br>Signal generator functionality for each output (constant, waveform, arbitration) |
| MX879<br> | マルチ入出力<br>8 individually configurable analog outputs (can be filtred)<br>32 digital inputs/outputs<br>4 peak functions<br>4 math functions (add&multiply, root-mean-square, 6x6 matrix)<br>8 limit switch functions<br>Signal generator functionality for each output (constant, waveform, arbitration) |

## センサタイプ

多くのデバイスはいくつかのセンサタイプをサポートしていますが、全てのセンサタイプをサポートしているわけではありません。以下の表により、使用するセンサタイプがどのデバイスでサポートしているかを参照してください。サポートされていないコネクタにセンサを割り当てようとした場合、エラーメッセージ(Exceptions)を取得します。

| センサタイプ | MX840A | MX440A | MX403 | MX1601B | MX1609 | MX1615B | MX410B | MX411P | MX460 | MX471 | MX878 | MX879 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ひずみゲージ※1 | 1..8<br>D, E, F, J | 1..4<br>D, E, F, J | - | - | - | 1..16<br>B, C, H, I | 1..4<br>A, E, G, K | 1..4<br>A, E, G, K | - | - | - | - |
| LVDT | 1..8 | 1..4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 電圧※2 | 1..8<br>B, C, E | 1..4<br>B, C, E | 1..4<br>C, F, G | 1..16<br>A, C, E | - | 1..16<br>D | 1..4<br>C | 1..4<br>C | - | - | - | - |
| 電流※3 | 1..8<br>B | 1..4<br>B | - | 1..16<br>A | - | - | 1..4<br>A | 1..4<br>A | - | - | - | - |
| 熱電対 | 1..8 | 1..4 | - | - | 1..16 | - | - | - | - | - | - | - |
| ポテンショメータ | 1..8 | 1..4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| Pt | 1..8 | 1..4 | - | - | - | 1..16 | - | - | - | - | - | - |
| 周波数 | 5..8 | 1..4 | - | - | - | - | - | - | 1..4 | - | - | - |
| カウンタ | 5..8 | 1..4 | - | - | - | - | - | - | 1..4 | - | - | - |
| SSI | 5..8 | 1..4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| CAN | 1<br>x128 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1..4<br>x128 | - | - |
| 誘電周波数 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1..4 | - | - | - |
| 誘電カウンタ | - | - | - | - | - | - | - | - | 1..4 | - | - | - |
| PWM | - | - | - | - | - | - | - | - | 1..4 | - | - | - |
| IEPE | 1..4 | - | - | 1..16 | - | - | 1..4 | 1..4 | - | - | - | - |
| 抵抗 | 1..8 | 1..4 | - | - | - | 1..16 | - | - | - | - | - | - |
| アナログ出力 | - | - | - | - | - | - | 1..4 | - | - | - | 1..8 | 1..8 |
| CAN出力 | 1<br>x128 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1..4<br>x128 | - | - |
| デジタルI/O | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1..32 |
| 数学関数 | - | - | - | - | - | - | 1..4 | 1..4 | 1..4 | - | 1..4 | 1..4 |
| ピーク関数 | - | - | - | - | - | - | 1..8 | 1..8 | 1..4 | - | 1..4 | 1..4 |
| LimitSwitch | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1..8 |

※1: ひずみゲージ

A: 4mV/V 搬送波式(正弦)フルおよびハーフブリッジひずみゲージ 印加電圧1または2.5V
B: 4mV/V 搬送波式(矩形)フルおよびハーフブリッジひずみゲージ 印加電圧1, 2.5V, 5V, 4線
C: 5mV/V 搬送波式(矩形)シングルブリッジひずみゲージ 印加電圧0.5, 1, 2.5, 5V
D: 5mV/V 搬送波式(正弦)フルおよびブリッジひずみゲージ 印加電圧1または2.5V
E: 100mV/V 搬送波式(正弦)電磁誘導フルおよびハーフブリッジ 印加電圧1または2.5V
F: 1000mV/V 搬送波式(正弦)電磁誘導フルブリッジ 印加電圧1V
G: 4mV/V フルおよびブリッジひずみゲージ 印加電圧1, 2.5, 5および7.5V
H: 4mV/V フルおよびブリッジひずみゲージ 印加電圧1, 2.5, 5V, 3または4線
I: 5mV/V シングルブリッジひずみゲージ 印加電圧0.5, 1, 2.5, 5V
J: 100mV/V ピエゾ(圧電)式フルおよびハーフブリッジひずみゲージ 印加電圧2.5V
K: 100mV/V ピエゾ(圧電)式フルおよびハーフブリッジひずみゲージ 印加電圧2.5または5V

※2: 電圧

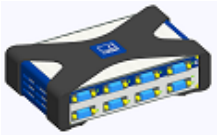
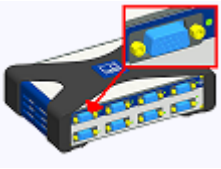
A: ±100 mV
B: ±300 mV
C: ±10 V
D: ±15 V
E: ±60 V
F: 100 V
G: 1000 V

※3: 電流

A: ±20 mA
B: ±30 mA

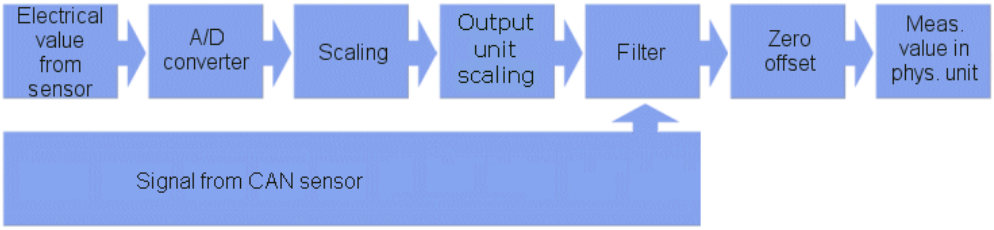
## デバイスのソフトウェア表現

以下の表はAPIのクラス内のデバイスデバイスコンポーネントで最も重要な表現を示しています。QuantumXデバイスをパラメータ化するためにクラスを使用します。

| 物理デバイス | QuantumX APIのクラス階層 |
|---|---|
| デバイス自身<br>  | **Deviceクラス**<br>このオブジェクトは物理デバイスを表します。デバイスについての詳細を表す、サブオブジェクトを持っています。<br>ReadDevice関数を使用して、接続しているQuantumXデバイスの論理表現を取得します。<br>デバイスオブジェクトは、デバイスを記述するオブジェクトツリーのメインノードです。デバイスの設定を変更するには、APIの適切な関数を経由してデバイスのサブオブジェクトを変更し、物理デバイスに書き戻します。 |
| コネクタ<br>  | **Connectorクラス**<br>例えばMX840は、様々なセンサタイプを接続して使用することのできる、8つのコネクタを持っています。MX840のデバイスオブジェクトを読み取ると、8要素を持つコネクタオブジェクト配列のデバイスオブジェクトを取得します(connector[0]からconnector[7])。<br>コネクタオブジェクトのActiveTypeプロパティに依存し、以下のようにコネクタを使用できます:<br>・off　コネクタは未使用。電力を節約するためにOffとします。<br>・AnalogIn　CANを除く任意のセンサタイプのコネクタを使用できます。使用可能なセンサの種類やコネクタ数は変化変化しますので、センサタイプの表を参照してください。サブオブジェクトのAnalogInChannelは、さらに設定が含まれています。<br>・CAN Bus　MX840の場合、CAN-Busに接続できるコネクタはConnector 1のみです。このモードでは128のCANセンサを使用できます(AnalogInモードによる一つのセンサのみに対して)。CanBusサブオブジェクトには更に設定が含まれています。<br>注釈: CANセンサは128"channels"のいずれかに割り当てられなければならず、また多くの異なったパラメータがある(他のセンサタイプと比べて)ため、CANセンサの割り当てはアナログ入力チャネルにセンサを割り当てるのとは大きく異なります。<br><br>**AdditionalConnectorクラス**<br>QuantumXシリーズの一部のモジュールはデータ収集だけでなく、アナログ値、デジタルレベルおよびCANメッセージを出力するコネクタを持っています。これら追加コネクタの出力は以下によります:<br>・MathTypeのSignal、PeakまたはLimitSwitch関数(AdditionalFunctions経由でパラメータ化)は、関数の引数として任意のモジュールから任意の信号を使用します(Input)。<br>・SyncSignalまたはAsyncSignal(AnalogInChannelまたはCanInChannel)は任意のモジュールから(有効な信号プロパティ出力を備えたFireWire経由で接続されている、現在のモジュールまたは任意のモジュール)。<br>その結果、例えばアナログ出力をフィルタにかけ、スケーリングすることができます。 |
| アナログセンサ<br> | **Sensorクラス**<br>センサオブジェクトは、センサを記述するすべての関連情報が含まれています。センサタイプの情報だけではなく、固有の設定に関して理解することが重要です! センサは次の重要なオブジェクトを持っています:<br>・SensorType　すべてのパラメータで特定のセンサタイプを表します(例えばCANを除く電圧や電流など)<br>・ScalingType　センサのスケーリングパラメータを表します。 |
| | **CanSensorクラス**<br>CANセンサオブジェクトはCANの詳細を記述するプロパティを持っています。これは他のセンサ設定とは大きく異なります。違いを理解するため(HBM.DeviceComponents)クラスを参照して下さい。 |

## ソフトウェアによるデータ収集処理

MX840の場合、センサにより取得した信号は下図の信号処理プロセスを経て実行されます。




結果は物理的単位でフィルタにかけた計測値になります。

| データ収集プロセス | QuantumX APIのクラス階層 |
|---|---|
| A/Dコンバータ | - |
| スケーリング | **ScalingTypeクラス**<br>スケーリングオブジェクトは電気的計測値と物理量の比率を定義する様々な可能性(例えばLinTable、Gain、ZeroSpanまたはPolynom)を持っています。<br>注釈: CANセンサの計測値は、このようなスケーリングは行えません! |
| 工学単位のスケーリング | **OutputUnitクラス**<br>元の物理センサの単位から変更(例えばTEDS設定の結果フォーム)するにはOutputUnitクラスを使用します。<br>注釈: 単位のタイプは変更できません。要素およびオフセットのみが可能です(例えばmmをcmやmに変更できますが、時間やリットルにはできません)。°Cから°Fは有効です。 |
| フィルタ | **SyncSignalクラス**<br>同期信号オブジェクトを使用して計測値のFilterCharacteristic、FilterFrequencyまたはOutputRateのFilterType設定を定義します。<br>注釈: CANセンサの計測値は、この方法で処理することはできません!<br><br>**AsyncSignaクラス**<br>非同期信号オブジェクトはCAN信号のMaxRepTimeやSignalFormatを記述するプロパティを持っています。CAN信号のフィルタ設定は、このクラスを使用します。 |
| ゼロオフセット | **ZeroOffset**<br>AssignZeroを使用してTarget値(デフォルトは0)を計測値に設定します。デバイスは指定した目標値に達するよう、計測値をオフセットします。 |
| 計測値の物理単位 | **MeasurementValuesクラス**<br>GetSignalData関数をしてValuesおよびTimeStampsを含むMeasurementValuesインスタンスを取得します。<br>より高い精度のTimeStamps64プロパティもあります。<br>注釈: デバイスからの計測値の取得はQXSimpleDAQの例を参照してください。 |

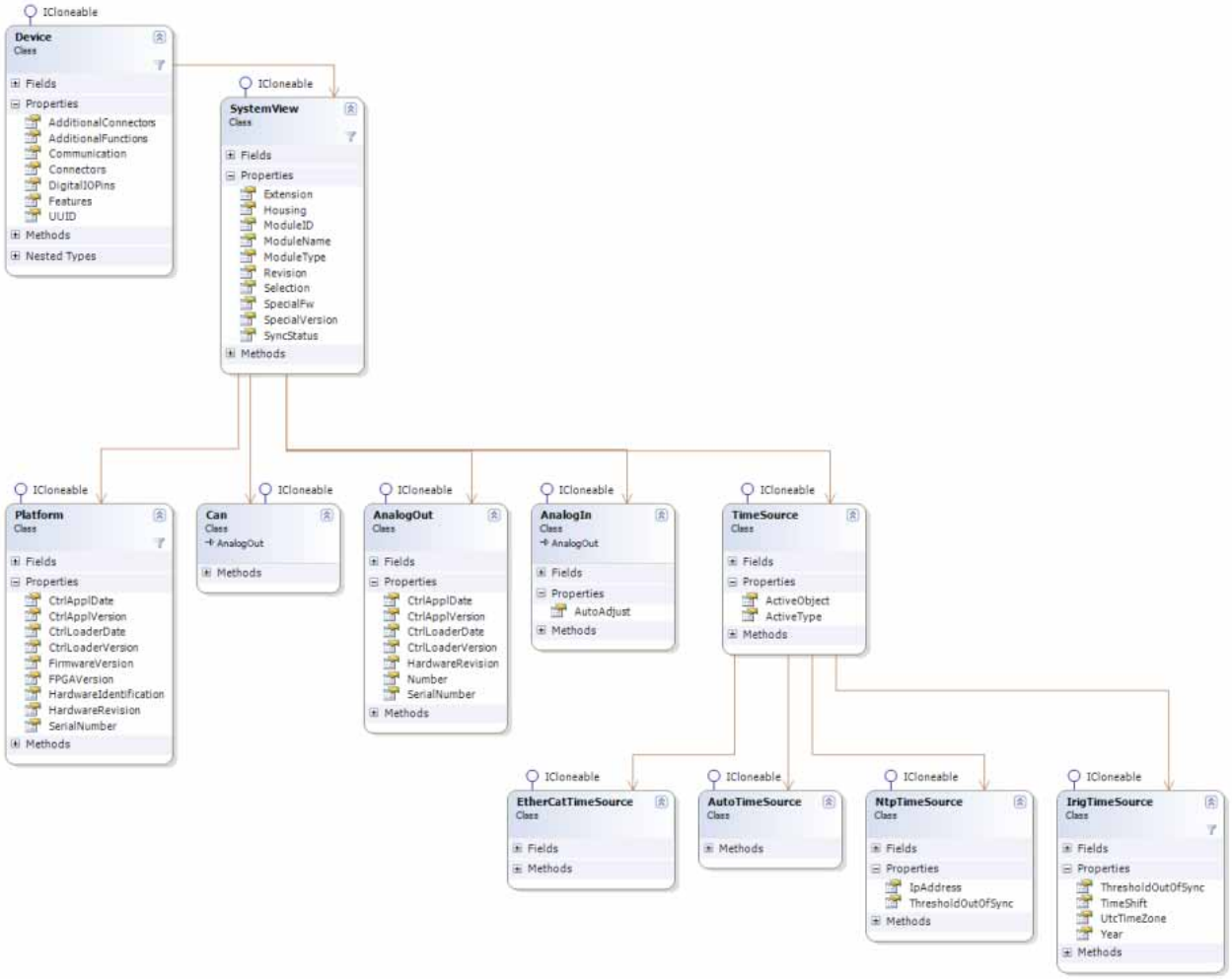
# クラスの概要

この項では主に使用するクラス、そのプロパティおよび依存関係の概要を示しています。

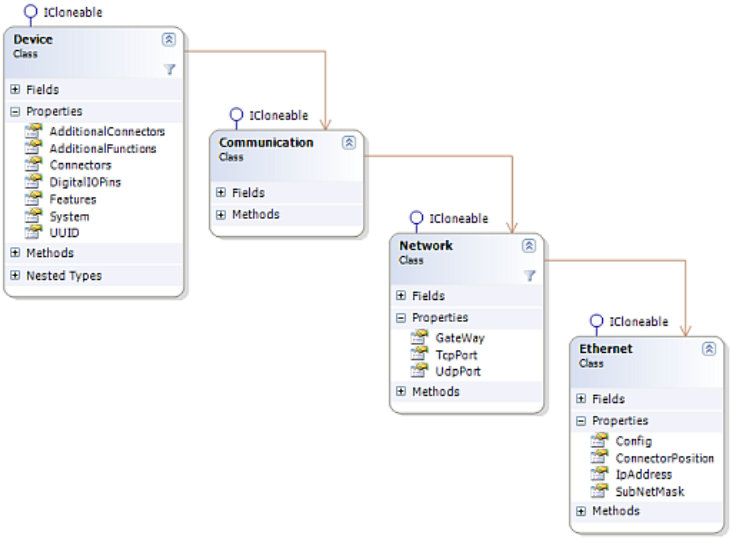
### クラス

| | |
|---|---|
| SystemView | 使用するハードウェア増幅器に関する詳細なバージョン情報を提供します。 |
| Communication | ネットワーク設定(例えば使用するIPアドレス、DHCPの使用状況など)へのアクセスを提供しています。 |
| AdditionalFunctions | 使用する増幅器タイプに応じて数学関数(例えば二乗平均平方根、回転振動、角差など)、ピーク関数やリミットスイッチ関数などの追加機能(計測に加えて)を提供します。 |
| AdditionalConnector | 追加のコネクタへのアクセスは、主に出力の受信や信号の計算を提供します。 |
| AnalogInChannel | アナログ入力チャネルへのアクセスを提供し、センサおよび信号を設定するために使用します。 |
| CanBusまたはAdditionalCanBus | CANセンサおよび非同期信号を設定するため、CAN-Busチャネルのアクセスを提供します。 |
| DigitalIOPins | デジタル入力およびデジタル出力へのアクセスを提供します。 |

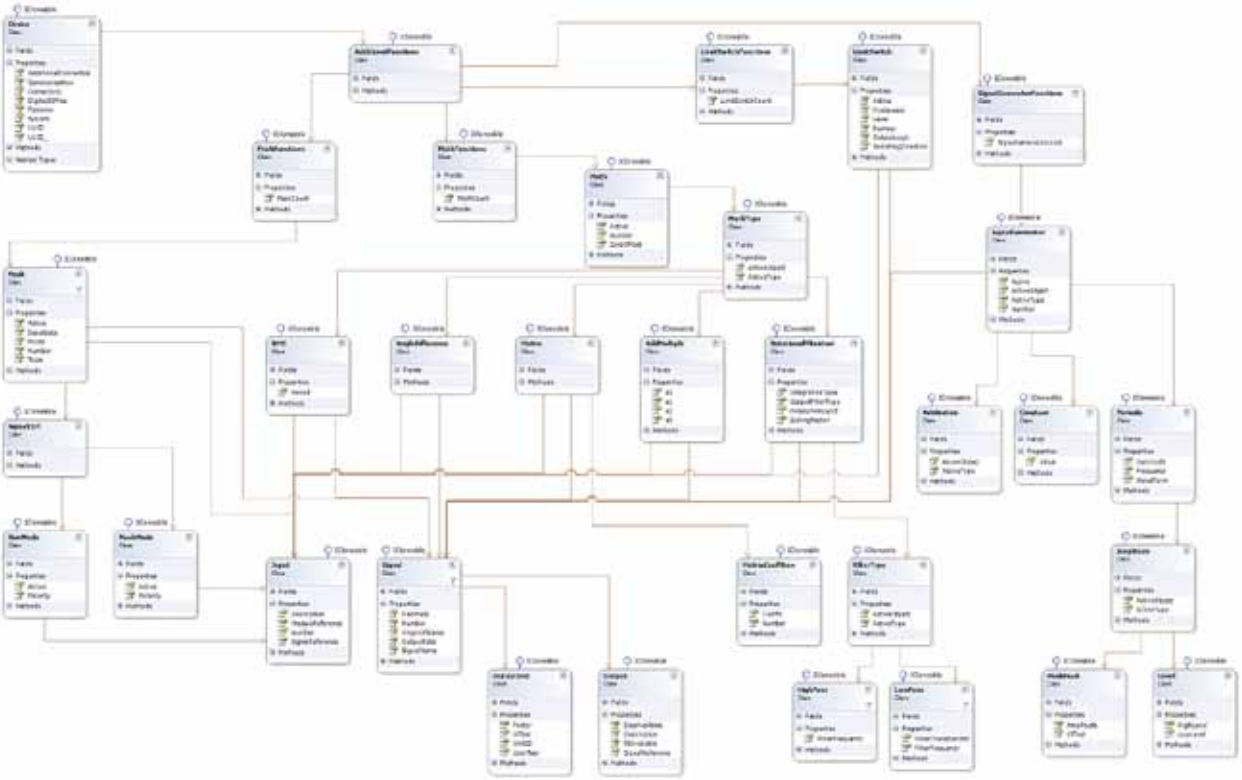
### Device.SystemView



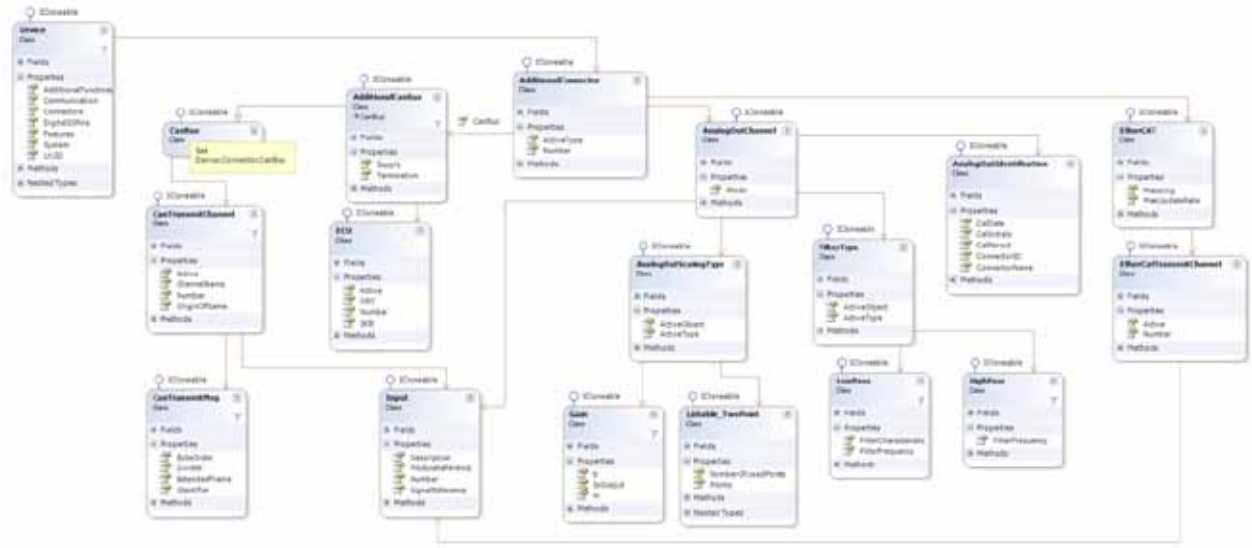
## Device.Communication



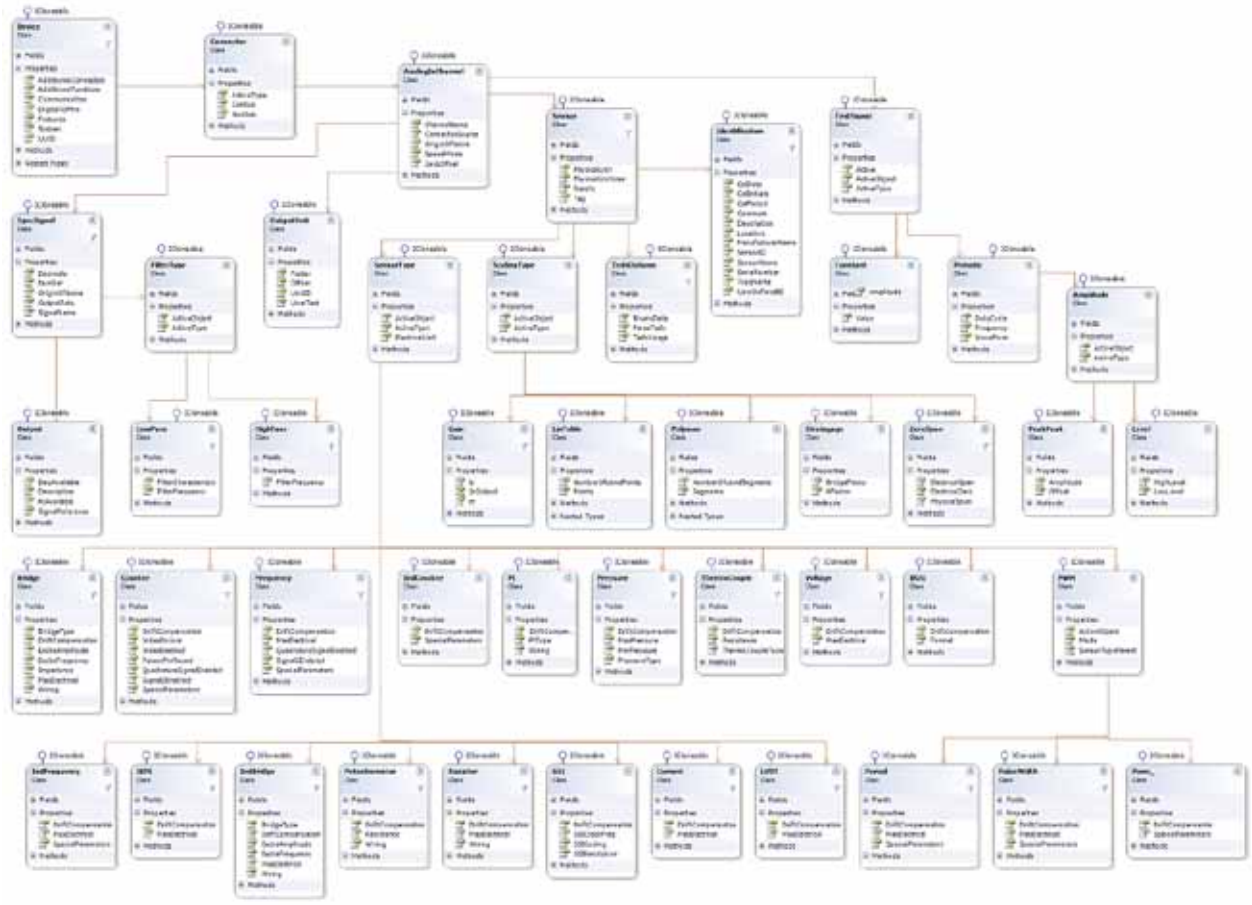

## Device.AdditionalFunctions



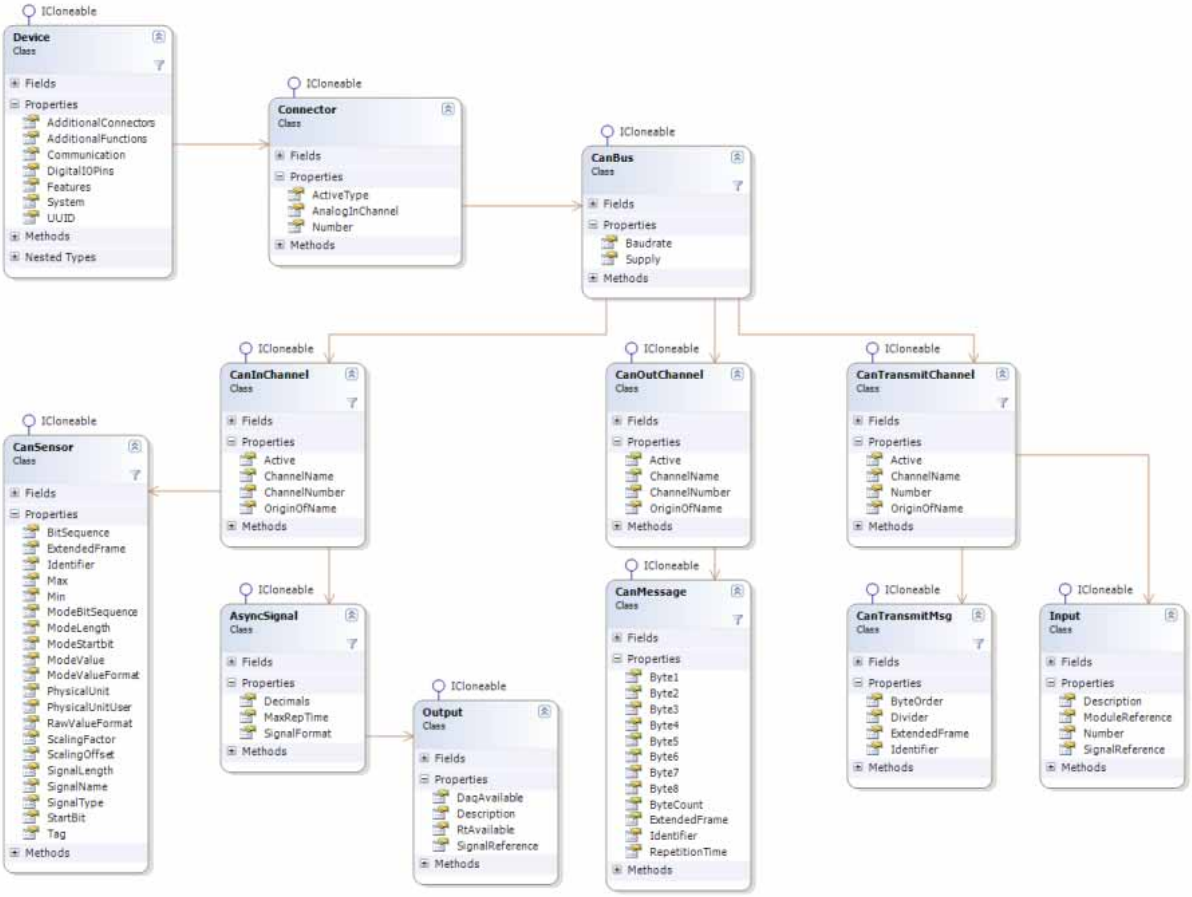
### Device.AdditionalConnectors



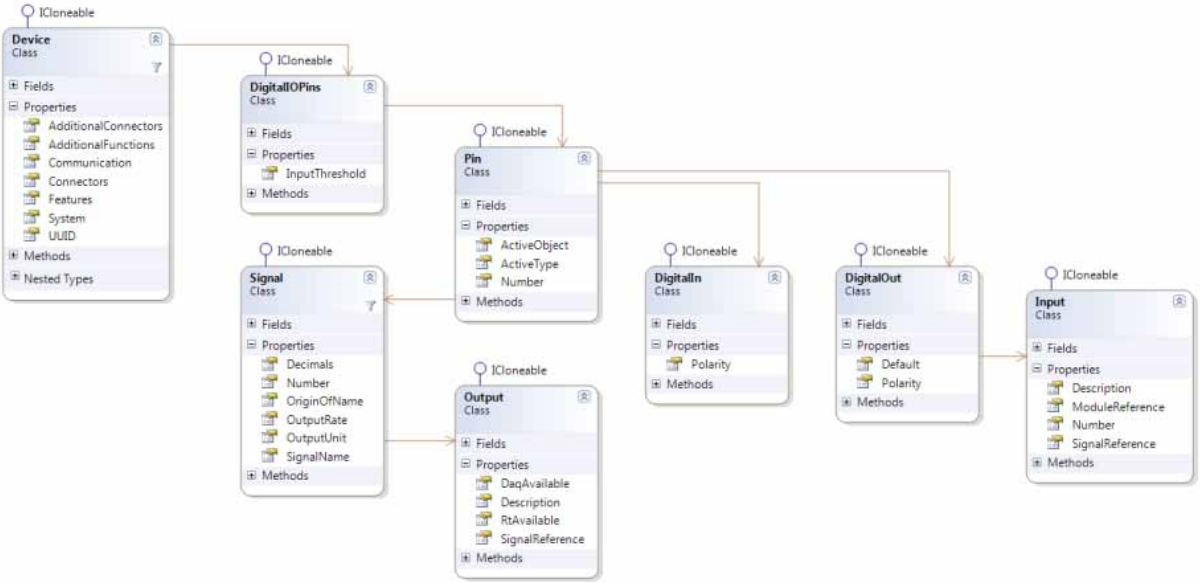
### Device.Connectors[n].AnalogInChannel



## Device.Connectors[n].CanBus or Device.AdditionalConnectors[n].CanBus




## Device.DigitalIOPins

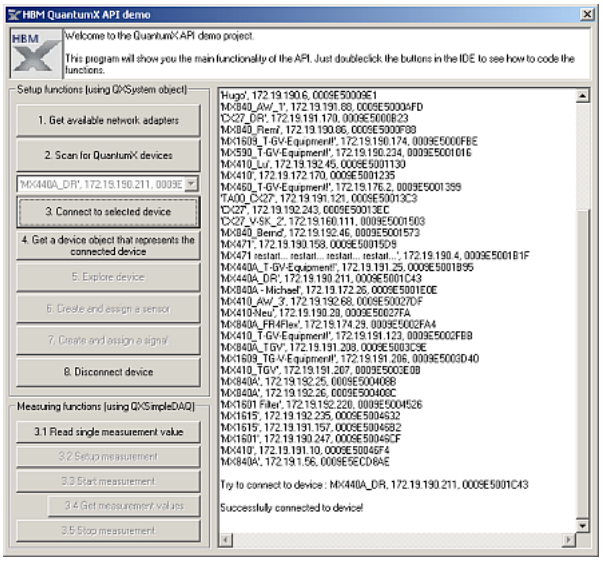


# 例

QuantumXデバイスをプログラムする方法の概要を得るには、"Example"ディレクトリを参照してください(32 bitのデフォルトは"C:\Program Files\HBM\QuantumX API\Examples"、x64では"C:\Program Files (x86)\HBM\QuantumX API\Examples")。

QuantumX API Demo (.Net)

QuantumX API Demo (COM)



# スキャン、接続、読み取り、切断

この項では以下の例を示します。

APIの主要な名前空間の使用
ネットワーク上のQuantumXモジュールをスキャン
QuantumXモジュールに接続
モジュール階層の調査
QuantumXモジュールから読み取り
QuantumXモジュールとの接続を切断

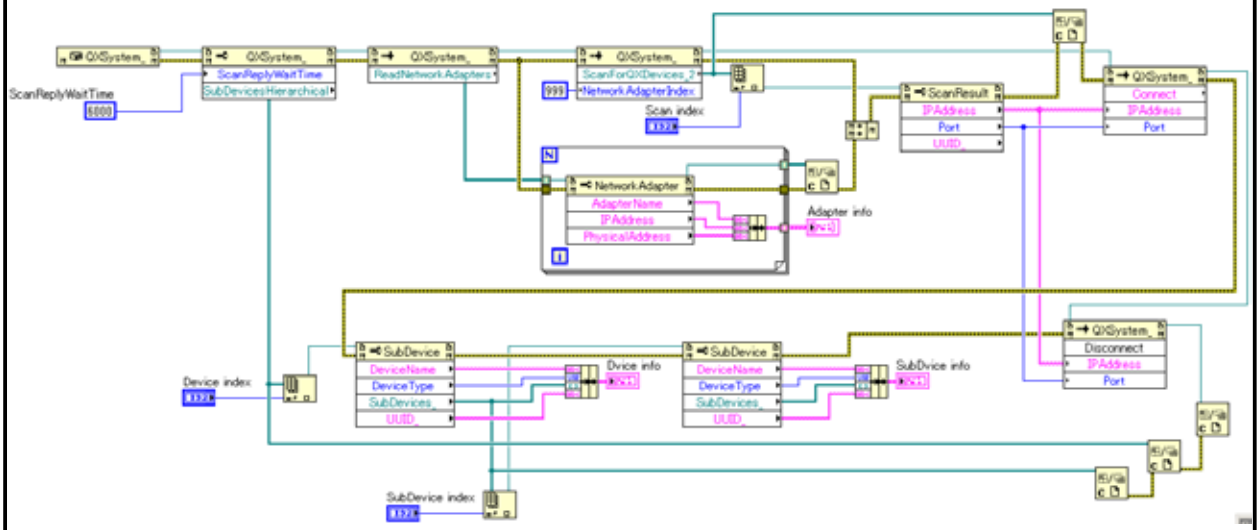
## 例

次の例はスキャン、接続、読み取り、切断までのプロセスを示しています。
検証および例外は見易さのために省略しています。

例：Scan, connect, read, disconnect example

```
using HBM.DeviceComponents;
using HBM.QuantumX;

...

//for the first scan set the time span for waiting for module "announcements"
//this will start the listeners for all adapters
QXSystem.ScanReplyWaitTime = 6000;

//get the list of available network adapters and use the first two for our scan
// (normally you would let the user choose from the list)
//this will restart the listeners with the first scan
List<NetworkAdapter> adapters = QXSystem.ReadNetworkAdapters();
string macAddresses = string.Concat(adapters[0].PhysicalAddress, ";", adapters[1].
PhysicalAddress);

//scan for devices through the chosen adapters
// (or use string.Empty as an argument for all Network adapters, which is recommended

List<ScanResult> scanResults = QXSystem.ScanForQXDevices(macAddresses);
if (scanresults.Count == 0)
{
  MessageBox.Show("No QuantumX devices found!");
  return;
} //if

//connect to the first device (you would rather select the device first)
//caution: the port number might be -1 indicating that the device is not (yet)
//completely up and running
QXSystem.Connect(scanResults[0].IPAddress, scanResults[0].Port);

//explore the hierarchy of the device compound (in case of a connection to a CX27)
MessageBox.Show("There are " + QXSystem.SubDevicesLinear.Count.ToString() + "
devices connected!");
MessageBox.Show("The (first) device has " + QXSystem.SubDevicesHierarchical[0].
SubDevices.Count.ToString() + " subdevices!");
```

```
//get a device object that represents the connected device
Device myDevice = QXSystem.ReadDevice(scanResults[0].UUID);

//now let's work with the settings...
  //e.g.
  //show it in the ProptertyGrid
  //propertyGrid1.SelectedObject = myDevice;
  ObjectEditor.ShowDialog("Edit my device", myDevice);

//disconnect from the device
QXSystem.Disconnect(scanResults[0].IPAddress, scanResults[0].Port);

...
```

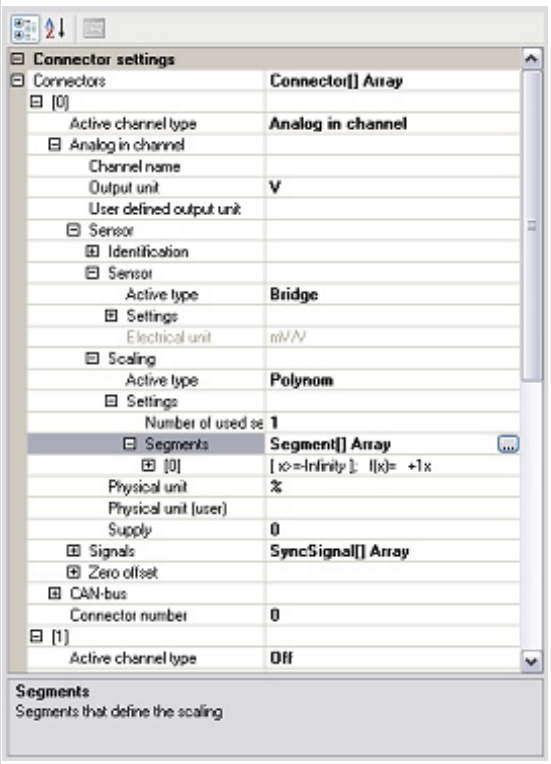


## PropertyGridの概要

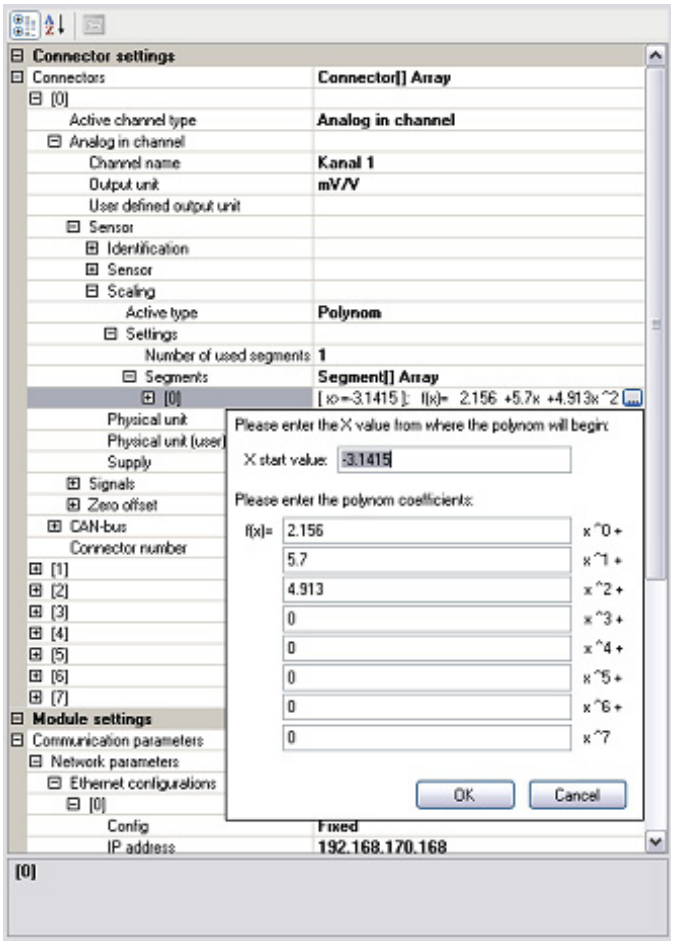
すべてのクラスは、自身をVisualStudioのPropertyGridオブジェクトにすることができます。
Polynom(ScalingTypeのメンバー)にはスケーリングを変更時、PropertyGridに表示される独自のエディタがあります。

注意:
PropertyGridコントロールが正しいオブジェクトを表示していることを確認するため(特に"active type"プロパティなどの変更時)、ProperyValueChangedイベントハンドラ内のmyPropertyGrid.Refresh()を呼び出す必要があります(QXApiDemoも参照してください)。

PropertyGridでのデバイスオブジェクトの一例




Polynomスケーリングのエディタ



# センサの割り当て

この項では以下の例を示します。

パラメータの読み取り - 変更 - 割り当て - 再読み取り
センサのパラメータ変更
センサのスケーリングパラメータ変更

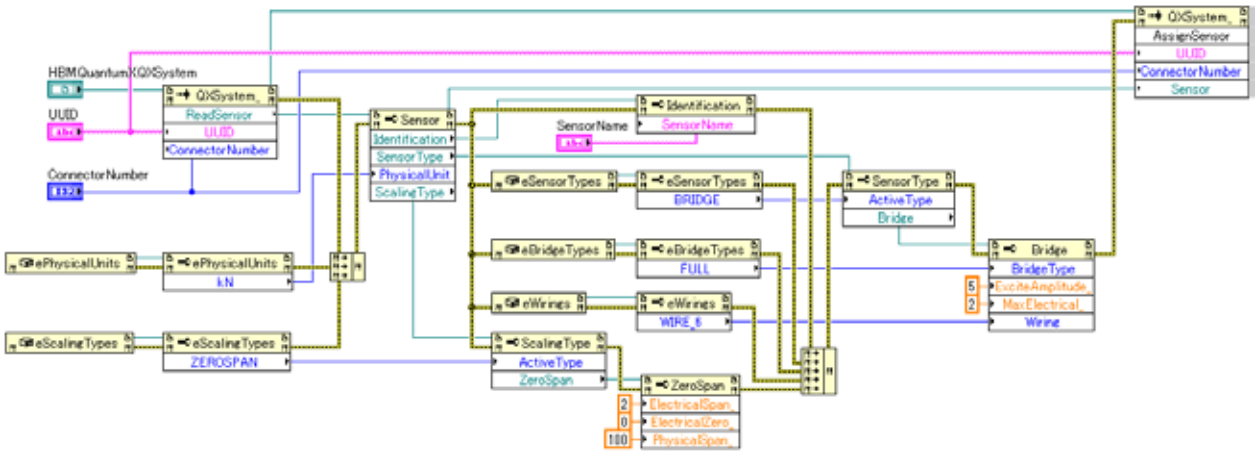
### 例

次の例はSensorクラスの設定を示しています。
検証および例外は見易さのために省略しています。

例：Assign a Sensor

```
using HBM.DeviceComponents;
using HBM.QuantumX;

...

//read
Sensor sensor = QXSystem.ReadSensor(sourceUuid, 0);
//or (recommended) use QXSystem.ReadDevice(sourceUuid) and take the sensor from there
//  sensor = device.Connectors[0].AnalogInChannel.Sensor;


//modify sensor identification
sensor.Identification.SensorName = "My Bridge Sensor";

//specify the type of sensor
sensor.SensorType.ActiveType               = eSensorTypes.BRIDGE;
//and set up its properties
sensor.SensorType.Bridge.BridgeType        = eBridgeTypes.FULL;
sensor.SensorType.Bridge.ExciteAmplitude   = 5D;
sensor.SensorType.Bridge.MaxElectrical     = 2D;
sensor.SensorType.Bridge.Wiring            = eWirings.WIRE_6;

//specify the physical unit
sensor.PhysicalUnit                        = ePhysicalUnits.kN;
// or maybe
//  sensor.PhysicalUnitUser = "MyUnit"; // which sets sensor.PhysicalUnit =
//ePhysicalUnits.UserDefined;

//specify the scaling type of the sensor
sensor.ScalingType.ActiveType              = eScalingTypes.ZEROSPAN;
//and set up its properties
sensor.ScalingType.ZeroSpan.ElectricalSpan = 2D;
sensor.ScalingType.ZeroSpan.ElectricalZero = 0D;
sensor.ScalingType.ZeroSpan.PhysicalSpan   = 100D;
```

```
//assign
QXSystem.AssignSensor(sourceDevice.UUID, 0, sensor);

//re-read
sensor = QXSystem.ReadSensor(sourceDevice.UUID, 0);
//and (recommended) having used QXSystem.ReadDevice(sourceUuid) before
//  device.Connectors[0].AnalogInChannel.Sensor = sensor;

...
```



# 信号の割り当て

この項では以下の例を示します。

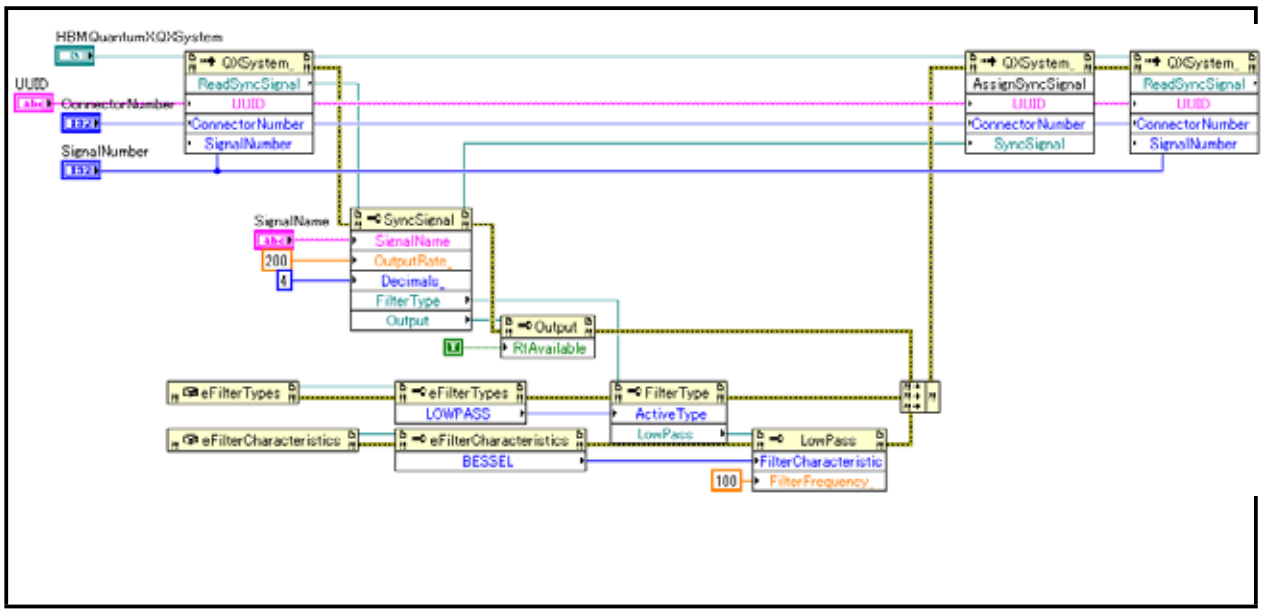
パラメータの読み取り - 変更 - 割り当て - 再読み取り
信号のパラメータ変更
フィルタのパラメータ変更
等時性信号の設定

### 例

次の例はSyncSignalクラスの設定を示しています。
検証および例外は見易さのために省略しています。

例：Assign a Signal

```
using HBM.DeviceComponents;
using HBM.QuantumX;

...

//read
SyncSignal signal0 = QXSystem.ReadSyncSignal(sourceUuid, 0, 0);
//or (recommended) use QXSystem.ReadDevice(sourceUuid) and take the signal from there
//  signal0 = device.Connectors[0].AnalogInChannel.SyncSignals[0];

//modify signal
signal0.SignalName = "my signal";
signal0.OutputRate = 200D;
signal0.Decimals   = 4; //just a storage for your application to be used

//modify filter
signal0.FilterType.ActiveType                    = eFilterTypes.LOWPASS;
signal0.FilterType.LowPass.FilterCharacteristic = eFilterCharacteristics.BESSEL;
signal0.FilterType.LowPass.FilterFrequency       = 100D;

//modify output
signal0.Output.RtAvailable = true; //make isochronous

//assign
QXSystem.AssignSyncSignal(sourceDevice.UUID, 0, signal0);

//re-read
signal0 = QXSystem.ReadSyncSignal(sourceDevice.UUID, 0, 0);
//and (recommended) having used QXSystem.ReadDevice(sourceUuid) before
//  device.Connectors[0].AnalogInChannel.SyncSignals[0] = signal0;

...
```


HBMQuantumXQXSystem
UUID
ConnectorNumber
SignalNumber
QXSystem
ReadSyncSignal
UUID
ConnectorNumber
SignalNumber
AssignSyncSignal
SyncSignal
SignalName
200
4
SyncSignal
SignalName
OutputRate
Decimals
FilterType
Output
RtAvailable
eFilterTypes
LOWPASS
FilterType
ActiveType
LowPass
eFilterCharacteristics
BESSEL
FilterCharacteristic
100
FilterFrequency

# 数学関数の割り当て

この項では以下の例を示します。

パラメータの読み取り - 変更 - 割り当て - 再読み取り
等時性信号の設定
数学関数の有効化
数学関数の起動
数学関数の設定
信号のリファレンスを使用
信号のパラメータ変更

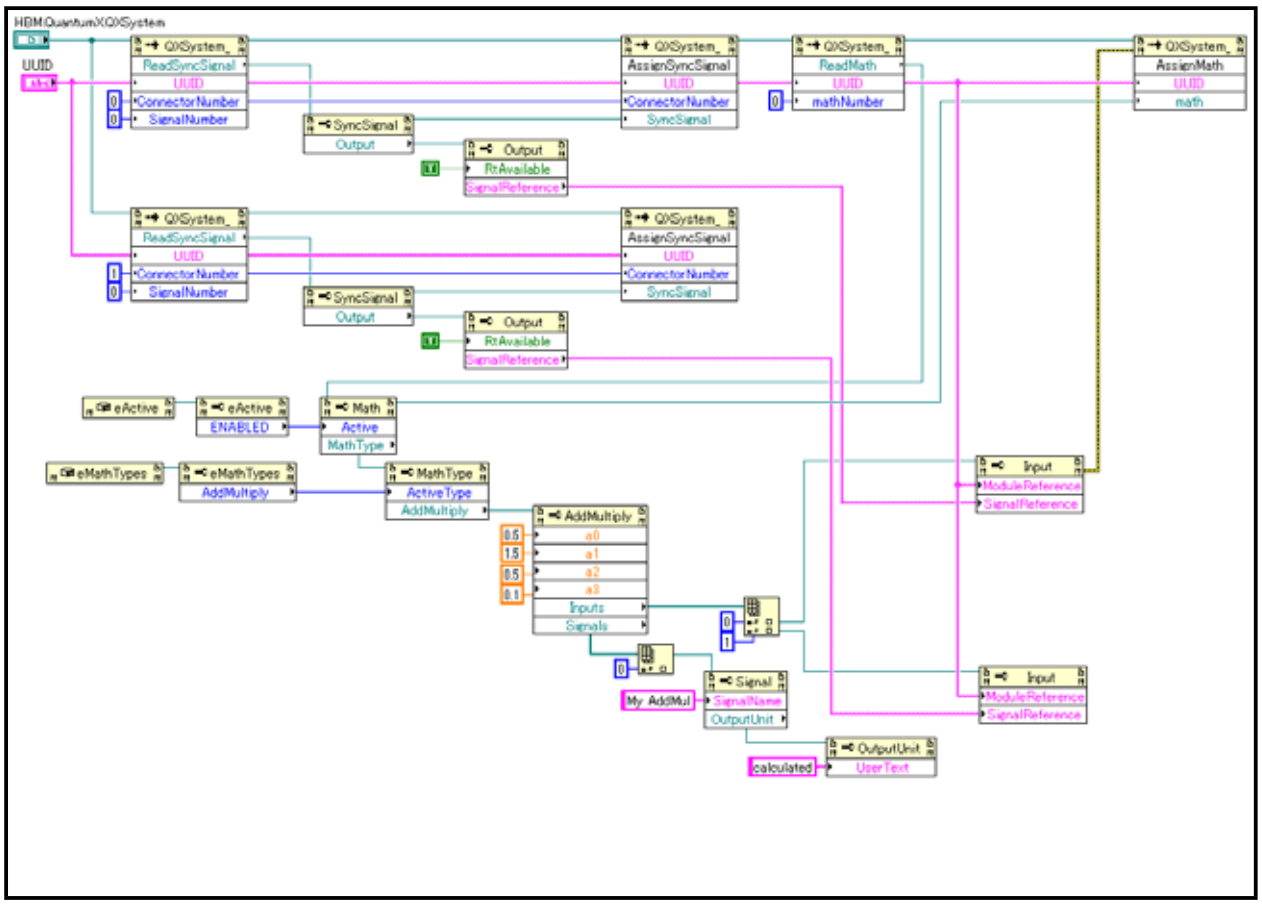
### 例

次の例はAddMultiply関数（(f＝a0＋a1*Input1＋a2*Input2＋a3*Input1*Input2)の設定を示しています。
検証および例外は見易さのために省略しています。

例：Assign a Math function

```
using HBM.DeviceComponents;
using HBM.QuantumX;

...

//first set up isochronous source signals (just the flag for simplicity here)

//read
SyncSignal signal0 = QXSystem.ReadSyncSignal(sourceUuid, 0, 0),
           signal1 = QXSystem.ReadSyncSignal(sourceUuid, 1, 0);
//or (recommended) use QXSystem.ReadDevice(sourceUuid) and take the signals from there
//  signal0 = device.Connectors[0].AnalogInChannel.SyncSignals[0];
//  signal1 = device.Connectors[1].AnalogInChannel.SyncSignals[0];

//modify
signal0.Output.RtAvailable = true;
signal1.Output.RtAvailable = true;

//assign
QXSystem.AssignSyncSignal(sourceDevice.UUID, 0, signal0);
QXSystem.AssignSyncSignal(sourceDevice.UUID, 1, signal1);

//re-read
signal0 = QXSystem.ReadSyncSignal(sourceDevice.UUID, 0, 0);
signal1 = QXSystem.ReadSyncSignal(sourceDevice.UUID, 1, 0);
//and (recommended) having used QXSystem.ReadDevice(sourceUuid) before
//  device.Connectors[0].AnalogInChannel.SyncSignals[0] = signal0;
//  device.Connectors[1].AnalogInChannel.SyncSignals[0] = signal1;


//now lets set up the math function
```

```
//read
Math math = QXSystem.ReadMath(uuid, 0);
//or (recommended) use QXSystem.ReadDevice(uuid) and take the function from there
//  math = device.AdditionalFunctions.MathFunctions.Maths[0];

//modify
math.Active     = eActive.ENABLED;        //enable the math function (on assignment)
math.ActiveType = eMathTypes.AddMultiply; //activate the math function (on
// assignment)

math.AddMultiply.a0 =  0.5D;
math.AddMultiply.a1 =  1.5D;
math.AddMultiply.a2 = -0.5D;
math.AddMultiply.a3 =  0.1D;

math.AddMultiply.Inputs[0].ModuleReference = "UUID=" + sourceUuid.ToString("X12");
math.AddMultiply.Inputs[0].SignalReference = signal0.Output.SignalReference;
math.AddMultiply.Inputs[1].ModuleReference = "UUID=" + sourceUuid.ToString("X12");
math.AddMultiply.Inputs[1].SignalReference = signal1.Output.SignalReference;

math.AddMultiply.Signals[0].SignalName          = "My AddMul";
math.AddMultiply.Signals[0].OutputUnit.UserText = "calculated"; //just an example

//assign
QXSystem.AssignMath(uuid, math);

//re-read (for further use)
math = QXSystem.ReadMath(uuid, 0);
//and (recommended) having used QXSystem.ReadDevice(sourceUuid) before
//  device.AdditionalFunctions.MathFunctions.Maths[0] = math;

...
```


HBM QuantumX QXSystem
UUID
QXSystem_
ReadSyncSignal
UUID
ConnectorNumber
SignalNumber
SyncSignal
Output
RtAvailable
SignalReference
AssignSyncSignal
ReadMath
mathNumber
AssignMath
math
eActive
ENABLED
Math
Active
MathType
eMathTypes
AddMultiply
ActiveType
a0
a1
a2
a3
Inputs
Signals
My AddMul
Signal
SignalName
OutputUnit
Input
ModuleReference
calculated
UserText

# データ収集(DAQ)

この項では以下の例を示します。

ネットワーク上のQuantumXモジュールをスキャン
QuantumXモジュールに接続
データ収集の設定

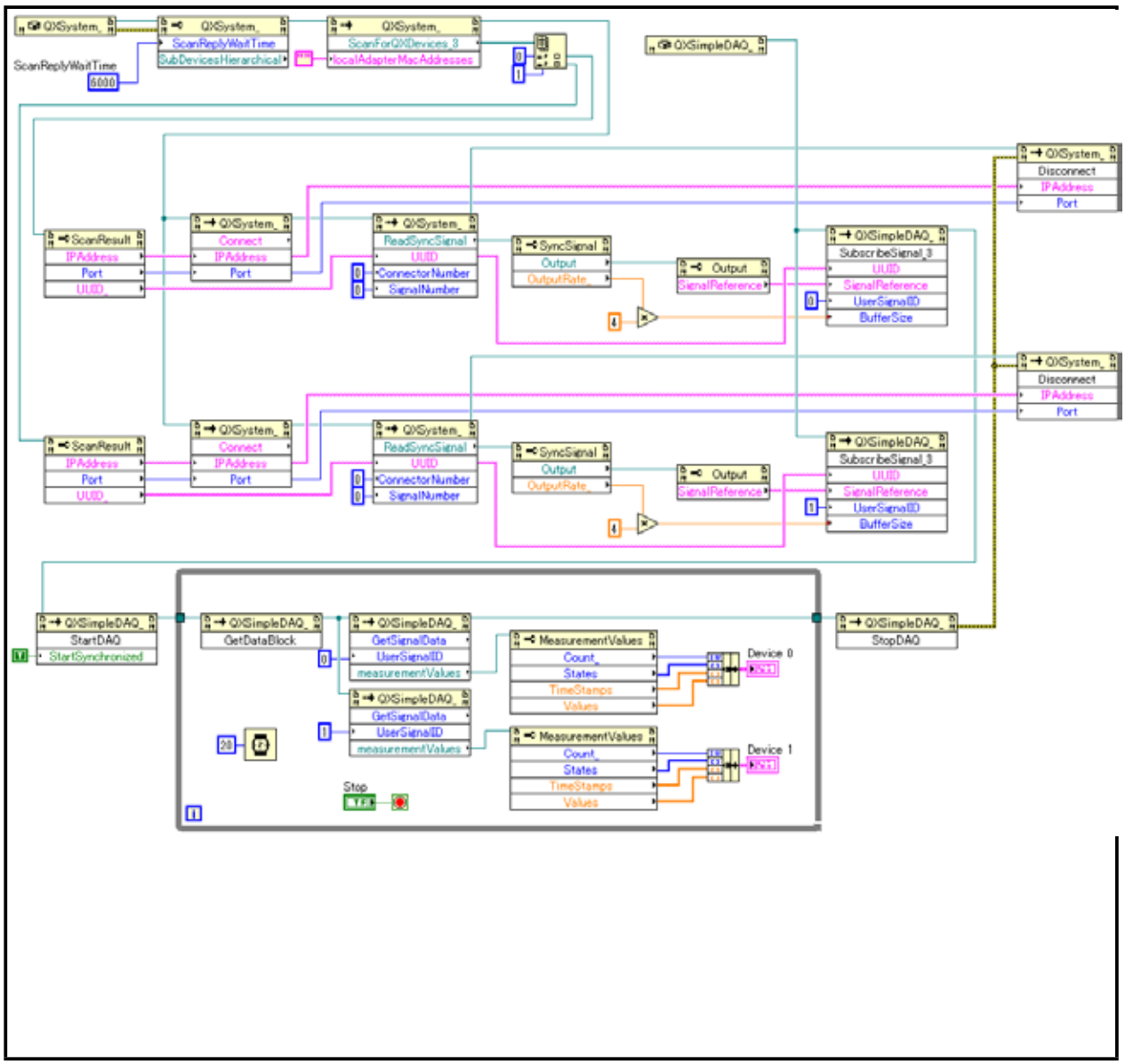
## 例

次の例は2台のデバイスからの2つの信号のデータ収集プロセスを示しています。
検証および例外は見易さのために省略しています。

例：Data acquisition (DAQ)

```
using HBM.DeviceComponents;
using HBM.QuantumX;

...

//for the first scan set the time span waiting for module "announcements"
QXSystem.ScanReplyWaitTime = 6000;

//scan for devices (all Network adapters)
List<ScanResult> scanResults = QXSystem.ScanForQXDevices(string.Empty);
if (scanresults.Count == 0)
{
  MessageBox.Show("No QuantumX devices found!");
  return;
} //if

//connect to the first two devices (you would rather select the devices first)
UInt64 uuid0 = QXSystem.Connect(scanResults[0].IPAddress, scanResults[0].Port);
UInt64 uuid1 = QXSystem.Connect(scanResults[1].IPAddress, scanResults[1].Port);

//read signal settings to retrieve the signal references and output rates
SyncSignal signal0 = QXSystem.ReadSyncSignal(uuid0, 0, 0);
SyncSignal signal1 = QXSystem.ReadSyncSignal(uuid1, 0, 0);

//setup the DAQ
// (just add both signals to measure with prepared buffers for 4 seconds using uint
// parameter)
QXSimpleDAQ.SubscribeSignal(uuid0, signal0.Output.SignalReference, 0, (uint)
(signal0.OutputRate * 4D));
QXSimpleDAQ.SubscribeSignal(uuid1, signal1.Output.SignalReference, 1, (uint)
(signal1.OutputRate * 4D));

//start the DAQ
QXSimpleDAQ.StartDAQ(); //the StartSynchronized parameter is now without function
// (streaming)
```

```
//buffer references to hold measurement values
MeasurementValues measurementValuesOfDevice0;
MeasurementValues measurementValuesOfDevice1;

while (IsMeasurementRunning()) //ToDo: exit condition
{
  //get a measurement block from all used QuantumX devices
  QXSimpleDAQ.GetDataBlock();

  //get the MeasurmentValues of UserSignalID 0
  QXSimpleDAQ.GetSignalData(0, out measurementValuesOfDevice0);

  //get the MeasurmentValues of UserSignalID 1
  QXSimpleDAQ.GetSignalData(1, out measurementValuesOfDevice1);

  //ToDo: do something with measurementValues#...

  //don't forget to give the other threads (GUI) some time to proceed
  System.Threading.Thread.Sleep(20);
} //while

//Stop the DAQ
QXSimpleDAQ.StopDAQ();

//disconnect from the devices
QXSystem.Disconnect(scanResults[0].IPAddress, scanResults[0].Port);
QXSystem.Disconnect(scanResults[1].IPAddress, scanResults[1].Port);

...
```


QXSystem_
ScanReplyWaitTime
6000
SubDevicesHierarchical
ScanForQXDevices_3
localAdapterMacAddresses
QXSimpleDAQ_
ScanResult
IPAddress
Port
UUID_
Connect
ReadSyncSignal
UUID
ConnectorNumber
SignalNumber
SyncSignal
Output
OutputRate_
SignalReference
SubscribeSignal_3
UserSignalID
BufferSize
Disconnect
StartDAQ
StartSynchronized
GetDataBlock
GetSignalData
measurementValues
MeasurementValues
Count_
States
TimeStamps
Values
Device 0
Device 1
Stop
StopDAQ

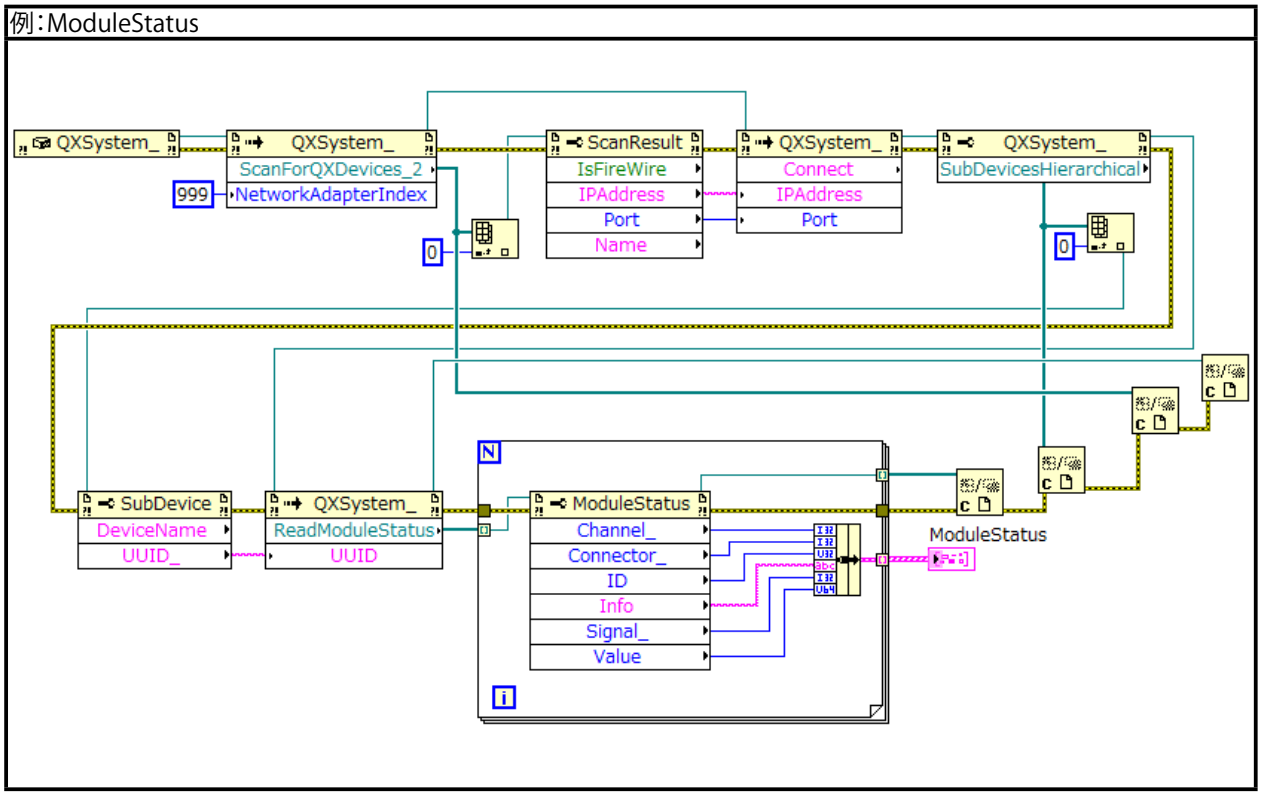
# モジュールステータス

ネットワーク上のQuantumXモジュールをスキャン
QuantumXモジュールに接続
モジュールのステータス情報の問い合わせ

## 例

次の例はデバイスの状態(コネクタにセンサが接続されているか、オーバーフローか等)を取得します。
検証および例外は見易さのために省略しています。

例：ModuleStatus



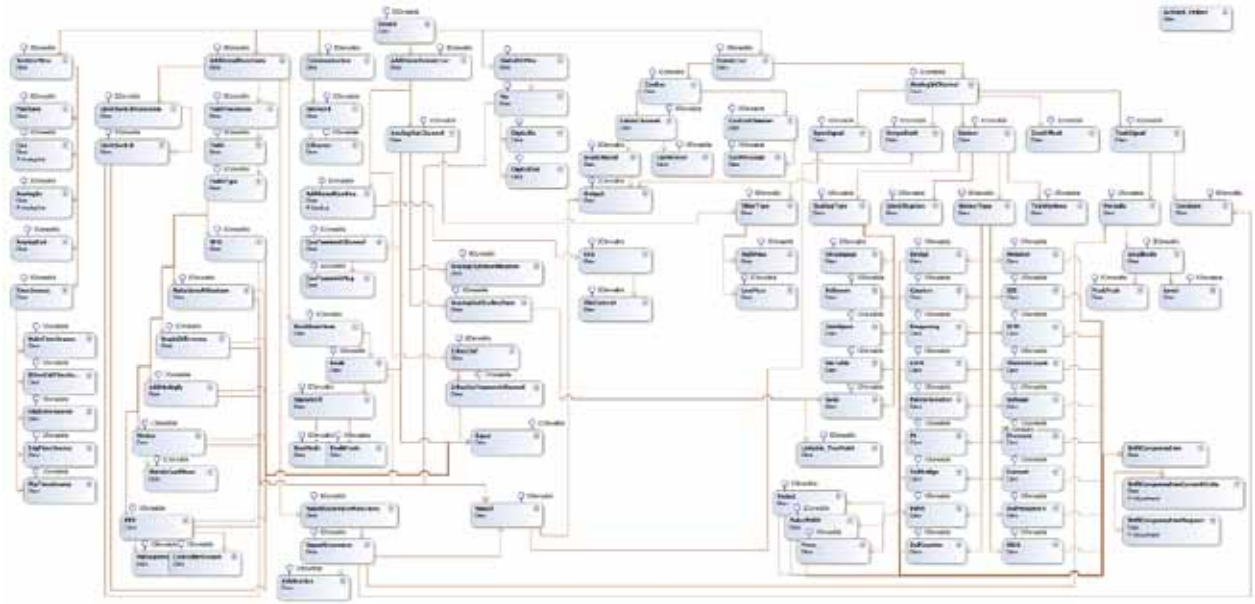
# HBM.DeviceComponents Namespace

## HBM.DeviceComponents Namespace

名前空間HBM.DeviceComponentsは、Device、Connector、Can-Bus、AnalogInChannel、Sensorなど、すべてのコンポーネントとの論理デバイスを反映するクラスが含まれています。
この名前空間の下のすべてのクラス(*)には任意の関数は含まれません(XMLおよび関数が自身のディープコピー(クローン)を作成するために、メンバーを変換する関数を除く)。
クラスのプロパティは、デバイスのパラメータに対応しています。従ってこれらクラスの主な使用法は、物理的に接続されたデバイスの表示およびパラメータの設定です。
デバイスのすべての詳細をパラメータ化して容易に検索できるよう、関連するすべてのクラスがローカライズおよび、VisualStudioのPropertyGridを使用して表示する準備がされています。

(*) デバイスの設定やパラメータでなく、実際の状態を反映しているため、ErrorStatusクラスおよびModuleStatusがクラス階層内に配置されません。それにもかかわらず、これらのクラスはユーザーの便宜のためにローカライズおよびPropertyGridコントロールの用意がされています。

下図は名前空間HBM.DeviceComponentsのクラス階層です。クラスの依存関係の概要を知るために図を使用しました。



| クラス | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveX_Helper | ActiveX（COM)のユーザーのための特別なサポートクラスです。 |
| AdditionalCanBus | CAN-Busの設定を記述するクラスです。 |
| AdditionalConnector | 追加のコネクタについて記述するクラスです。 |
| AdditionalFunctions | 追加の関数について記述するクラスです。 |
| AddMultiply | 加算および積算を設定するクラスです。 |
| Adjustment | ドリフト補償の調整オプションを記述する抽象クラスです。 |
| Amplitude | テスト信号の振幅設定値を記述するクラスです。 |
| AnalogIn | SystemViewが使用するAnalogInコレクションクラスです。 |
| AnalogInChannel | アナログ入力チャネルを記述するクラスです。 |
| AnalogOut | アナログ出力のコレクションクラスです。 |
| AnalogOutChannel | アナログ出力が使用するコネクタです。 |
| AnalogOutIdentification | センサの識別情報を保持するクラスです。 |
| AnalogOutScalingType | アナログ出力のスケーリング方法を記述するクラスです。 |
| AngleDifference | 位相差を設定するクラスです。 |
| Arbitration | 信号発生器の調停設定を記述するクラスです。 |
| AsyncSignal | 非同期CAN信号を記述するクラスです。 |
| AutoAdjust | 周期的な自動調整設定を記述するクラスです。 |
| AutoCal | 周期的な自動キャリブレーション設定を記述するクラスです。 |
| AutoTimeSource | AutoTimeSource設定を記述するクラスです。 |
| Bridge | ブリッジセンサを記述するクラスです。 |
| Can | CANコントローラの情報です。 |
| CanBus | CAN-Busの設定を記述するクラスです。 |
| CanInChannel | CAN入力チャネルのパラメータを記述するクラスです。 |
| CanMessage | CANメッセージを記述するクラスです。 |
| CanOutChannel | CAN出力チャネルのパラメータを記述するクラスです。 |
| CanSensor | CANセンサを記述するクラスです。 |
| CanTransmitChannel | CAN送信チャネルのパラメータを記述するクラスです。 |
| CanTransmitMsg | CAN送信メッセージのパラメータを記述するクラスです。 |
| Communication | デバイスの通信パラメータを記述するクラスです。 |
| Connector | すべてのコネクタのサブコンポーネントを表します。 |
| Constant | テスト信号の定数を記述するクラスです。 |
| ControllerOutput | PID計算のコントローラ出力定義を設定するクラスです。 |
| Counter | カウンタセンサを記述するクラスです。 |
| Current | 電流センサを記述するクラスです。 |
| CUtil | この静的クラスにはいくつかのヘルパーメソッドが含まれます。 |
| DataRateDomain | データ信号領域に関する情報です。<br>可能なフィルタおよびフィルタ周波数や可能なサンプルレートを決定します。 |
| Delayed | 遅延によるCAN-Busエラーモードを除去するクラスです。 |
| Device | QuantumXデバイスの持つ物理的なすべてのコネクタ、チャネル、センサおよび信号設定を反映するクラスです。 |
| DigitalIn | デジタル入力の設定を記述するクラスです。 |
| DigitalIOPins | デジタルI/Oコネクタを記述するクラスです。 |
| DigitalOut | デジタル出力の設定を記述するクラスです。 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償オプションを記述するクラスです。 |
| DriftCompensationCurrentState | センサ/チャネルの現在のドリフト補償オプションを記述するクラスです。 |
| DriftCompensationRequest | センサ/チャネルに要求されたドリフト補償オプションを記述するクラスです。 |
| ECU | ECUチャネルのパラメータを記述するクラスです。 |
| ErrorMode | CAN-Busのエラーモードにてついて記述するクラスです。 |
| ErrorStatus | デバイスのエラー状態を記述するクラスです。 |
| EtherCAT | EtherCAT出力として使用するコネクタです。 |
| EtherCatTimeSource | EtherCatTimeSourceの設定を記述するクラスです。 |
| EtherCatTransmitChannel | EtherCAT送信チャネルのパラメータを記述するクラスです。 |
| Ethernet | デバイスのイーサネット接続の設定情報を保持するクラスです。 |
| FileContent | ファイル内容のパラメータを記述するクラスです。 |
| FilterType | 同期信号(SyncSignal)のフィルタ設定を記述するクラスです。 |
| Frequency | 周波数センサを記述するクラスです。 |
| Gain | 計測値のスケーリングタイプです。 |

| 名前 | 説明 |
|---|---|
| HighPass | ハイパスフィルタの設定を記述するクラスです。 |
| Identification | センサの識別情報を保持するクラスです。 |
| IEPE | IEPEセンサを記述するクラスです。 |
| IndBridge | 誘電ブリッジセンサを記述するクラスです。 |
| IndCounter | 誘電カウンタセンサを記述するクラスです。 |
| IndFrequency | 誘電周波数センサを記述するクラスです。 |
| Input | ファンクションブロック入力を記述するクラスです。 |
| IRIG | IRIGセンサを記述するクラスです。 |
| IrigTimeSource | IrigTimeSourceの設定を記述するクラスです。 |
| Level | テスト信号の振幅レベル設定を記述するクラスです。 |
| LimitSwitch | LimitSwitch関数コレクションクラスです。 |
| LimitSwitchFunctions | LimitSwitch関数コレクションクラスです。 |
| LinTable | 計測値のスケーリングタイプです。 |
| LinTable.Point | 2次元のポイントを記述するクラスです。 |
| Lintable_TwoPoint | AnalogOutScalingTypeが使用するスケーリングタイプです。 |
| Lintable_TwoPoint.Point | 2次元のポイントを記述するクラスです。 |
| LowPass | ローパスフィルタの設定を記述するクラスです。 |
| LVDT | LVDTセンサを記述するクラスです。 |
| Math | 数学関数コレクションクラスです。 |
| MathFunctions | 数学関数コレクションクラスです。 |
| MathType | 数学関数コレクションクラスです。 |
| Matrix | 行列演算を設定するクラスです。 |
| MatrixCoeffRow | 行列演算の行係数を設定するクラスです。 |
| MeasureElectricalValueHelper | この静的クラスは、PropertyGridのに使用されているオブジェクトのパラメータに、単一の電気計測値を取得するためのカスタム関数を結びつけるするのに役立ちます。 |
| ModuleStatus | デバイスの状態を記述するクラスです。 |
| Network | ネットワークのポート設定を記述するクラスです。 |
| NtpTimeSource | NtpTimeSourceの設定を記述するクラスです。 |
| ObjectEditor | PropertyGridを使用してオブジェクトエディタを開くクラスです。 |
| Output | 出力ファンクションブロックを記述するクラスです。 |
| OutputFilterType | 出力のフィルタ設定を記述するクラスです。 |
| OutputUnit | 工学単位のパラメータを記述するクラスです。 |
| Peak | ピーク関数コレクションクラスです。 |
| PeakFunctions | ピーク関数コレクションクラスです。 |
| PeakMode | ピークモードの信号制御を記述するクラスです。 |
| PeakPeak | テスト信号のpeak-peak値の設定を記述するクラスです。 |
| Period | 周期センサを記述するクラスです。 |
| Periodic | 周期テスト信号の設定を記述するクラスです。 |
| PID | PIDコントローラを設定するクラスです。 |
| PidMode | PIDモードです。 |
| PidModeDynamic | 動的PIDモードの設定をするクラスです。 |
| PidModeStatic | 静的PIDモードの設定をするクラスです。 |
| PidSegment | PID制御のセグメントを設定するクラスです。 |
| Pin | デジタルI/Oピンを記述するクラスです。 |
| Platform | プラットフォームに関する情報です。 |
| Polynom | 計測値のスケーリングタイプです。 |
| Polynom.Segment | 多項式のセグメント係数を表すクラスです。 |
| Polynom.Segment.Coefficient | セグメント多項式の係数を表すクラスです。 |
| Potentiometer | ポテンションメータを記述するクラスです。 |
| Pressure | 圧力センサを記述するクラスです。 |
| Pt | Pt測温素子を記述するクラスです。 |
| PtpTimeSource | 同期のためのPTPタイムソースに関する情報です。 |
| PulseWidth | PWMセンサを記述するクラスです。単独のセンサとして表示されませんが、PWMセンサの一部です(Mode=PulseWith)。 |
| PWM | PWMセンサを記述するクラスです。 |

| 名前 | 説明 |
|---|---|
| Pwm_ | Pwmセンサを記述するクラスです。単独のセンサとして表示されませんが、PWMセンサの一部です(Mode=Period)。 |
| Removal | CAN-Busエラーモードの除去方法を記述するクラスです。 |
| Resistor | 抵抗センサを記述するクラスです。 |
| RMS | 実効値(RMS)を記述するクラスです。 |
| RotationalVibration | 回転振動を計算するクラスです。 |
| RunMode | 信号制御の実行モードを記述するクラスです。 |
| ScalingType | 計測値のスケーリング方法を記述するクラスです。 |
| Sensor | センサの設定を記述するクラスです。 |
| SensorType | サポートされているすべてセンサタイプを設定するクラスです。 |
| Signal | 同期信号の設定を記述するクラスです。 |
| SignalCtrl | 信号制御のモードを記述するクラスです。 |
| SignalGenerator | 信号発生器を記述するクラスです。 |
| SignalGeneratorFunctions | 信号発生器のコレクションクラスです。 |
| SimpleOutput | **廃止**<br>出力ファンクションブロックを記述するクラスです。 |
| SimpleSignal | **廃止**<br>同期信号の設定を記述するクラスです。 |
| SpecialCounterParameters | カウンタセンサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。 |
| SpecialFrequencyParameters | 周波数センサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。 |
| SpecialIndCounterParameters | 誘電カウンタセンサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。 |
| SpecialIndFrequencyParameters | 誘電周波数センサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。 |
| SpecialPwmParameters | PWMセンサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。 |
| SSI | SSIセンサを記述するクラスです。 |
| Straingage | ストレインゲージのスケーリングタイプです。 |
| SyncSignal | 同期信号の設定を記述するクラスです。 |
| SystemView | デバイスのシステム設定を記述するクラスです。 |
| TedsOptions | TEDSの設定を記述するクラスです。 |
| TestSignal | テスト信号の選択を記述するクラスです。 |
| ThermoCouple | 熱電対を記述するクラスです。 |
| TimeSource | 同期のためのタイムソースに関する情報です。 |
| Voltage | 電圧センサを記述するクラスです。 |
| ZeroOffset | 計測値のゼロオフセットを記述するクラスです。 |
| ZeroSpan | 計測値のスケーリングタイプです。 |

| **委譲** | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| MeasureElectricalValueHelper.MeasureValueDelegate | MeasureValueFunctionコールバックで使用されるdouble型の値を返す関数の委譲。 |

| **列挙型** | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| eActive | CANチャネルの状態。 |
| eAdditionalConnectorTypes | 追加コネクタのタイプ候補(AddConnector)。 |
| eAdjustmentTypes | サポートする適応タイプ。 |
| eAmplitudeTypes | テスト信号の周期的振幅モード。 |
| eAnalogOutMode | アナログ出力コネクタの出力モード候補。 |
| eAnalogOutScalingTypes | AnalogOutChannelsのスケーリングタイプ候補。 |
| eArbitrationTypes | 信号発生器の振幅モード。 |
| eBitSequence | ビットシーケンス。MSBはインテル標準またはモトローラいずれでも可。 |
| eBridgeTypes | センサのブリッジタイプ。 |
| eCommConfig | デバイスのIPアドレスを構成するプロトコルの候補。 |
| eConnectorTypes | コネクタタイプの候補。 |
| eDataRateDomain | データレートドメイン。 |
| eDelayMechanism | PTP遅延メカニズム。 |
| eDigitalIOMode | デジタルI/Oピンのモード。 |

| 名前 | 説明 |
|---|---|
| eEtherCatMappings | EtherCATのマッピング候補。 |
| eEthPosition | イーサネットコネクタの位置。 |
| eExcitationFrequencies | ブリッジの励起周波数(例: ブリッジセンサー、誘導センサブリッジ)。 |
| eExtendedFrame | CANメッセージのフレームフォーマット。 |
| eExtendedSampleRateModes | 拡張サンプルレート(SpeedModeおよびQXSystem.AssignExtendedSampleRateMode(...)を参照)のためのモード。 |
| eFeatureTypes | サポートされる機能のリスト。 |
| eFilterCharacteristics | フィルタ特性。 |
| eFilterTypes | フィルタタイプ。 |
| eGateMode | ゲートのモード候補。 |
| eInputGates | 入力ゲートの候補(ピーク関数用)。 |
| eInputThreshold | デジタル入力のしきい値。 |
| eIntegrationType | RotationalVibrationsのインテグレーションタイプ候補。 |
| eIrigFormat | IRIGフォーマット値。 |
| eLogicalOutputState | 論理出力の状態。 |
| eLogicalStates | 論理状態。 |
| eMathTypes | 数学関数のタイプ候補。 |
| eMaxUpdateRate | EtherCATの更新レート候補。 |
| eModeValueFormats | 計測値の数値書式候補。 |
| eModuleStatusIDs | モジュールのステータス情報(例: センサの接続/切断, TEDSの探索)。 |
| eOriginOfNameTypes | 信号名のタイプ候補。 |
| eOutputFilterTypes | 出力フィルタのタイプ。 |
| eOutputLogics | リミットスイッチの極性タイプ候補。 |
| ePeakModePolarityTypes | 信号制御のピークモード極性タイプ候補。 |
| ePeakModes | ピーク関数モード(ControlPeakFunction()メソッド用)候補。 |
| ePeakRunModes | ピーク関数の実行モード(ControlPeakFunction()メソッド用)候補。 |
| ePeakTypes | ピーク関数のタイプ候補。 |
| ePhysicalUnits | 物理単位の列挙。 |
| ePidMode | PID制御モード。 |
| ePolarityTypes | センサの極性タイプ候補。 |
| ePressureTypes | 圧力センサの圧力タイプ。 |
| ePtTypes | サポートしているPtのタイプ。 |
| ePWMMode | PWMセンサの計測モード。 |
| eRawValueFormat | CAN計測値の生データフォーマット値。 |
| eRemovals | CAN-Busエラーモードの除去タイプ。 |
| eRunModePolarityTypes | ピーク関数で信号制御の実行モードにおける極性タイプ候補。 |
| eS2Enable | 二次信号のための回転方向検出モード。 |
| eScalingTypes | スケーリングのタイプ候補。 |
| eSensorTypes | センサタイプの種類。 |
| eSignalFormats | CAN計測値の信号フォーマット値。 |
| eSignalGeneratorTypes | 信号発生器のタイプ。 |
| eSignalType | CAN信号の信号タイプ。 |
| eSSIClockFrequencies | SSIセンサのクロック周波数。 |
| eSSICodings | SSIセンサのコーディングタイプ。 |
| eSSIResolutions | SSIセンサの分解能。 |
| eSwitchingDirections | リミットスイッチの方向。 |
| eTedsUsages | 使用するTEDSのタイプ。 |
| eTedsValidation | ModuleStatus.ID == eModuleStatusIDs.STATUS_TEDSの値。 |
| eTestSignalTypes | テスト信号のタイプ。 |
| eThermoCoupleTypes | サポートしている熱電対のタイプ。 |
| eTimeSourceTypes | 同期するtime-sourceのタイプ。 |
| eTraceType | トレースレベルに応じてフィルタリングするために使用するトレースログの入力タイプ |
| eTransport | PTPネットワークの転送プロトコル。 |
| eWaveForms | テスト信号の周期波形。 |
| eWirings | センサの配線。 |

# HBM.DeviceComponents Classes

# ActiveX_Helperクラス

**ActiveX_Helper Class**
ActiveX（COM)のユーザのための特別なサポートクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ActiveX_Helper
```

Visual Basic
```
Public Class ActiveX_Helper
```

継承階層

System.Object
  HBM.DeviceComponents.ActiveX_Helper

## ActiveX_Helper Members

ActiveX_Helper型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveX_Helper | ActiveX_Helperクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GetUnitString | 物理単位の列挙定数から文字列を表します。 |
| UuidToHex12 | UUIDの文字列から12桁の16進文字列に変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveXUuidInHex | ActiveXインタフェースのUUIDsを示す値が、16進文字列(true)または小数文字列(false: デフォルト)かを取得または設定します。 |

## ActiveX_Helper Constructor

ActiveX_Helperクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ActiveX_Helper()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## ActiveX_Helper.GetUnitString Method

物理単位の列挙定数から文字列を表します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

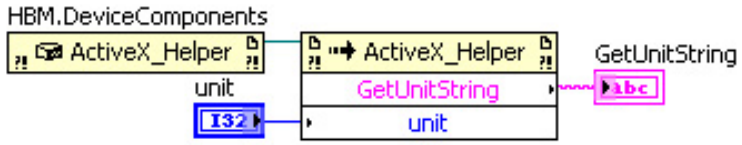
C#

```
public string GetUnitString(
       ePhysicalUnits unit
)
```

Visual Basic

```
Public Function GetUnitString (
       unit As ePhysicalUnits
) As String
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| unit | HBM.DeviceComponents.ePhysicalUnits | 単位の列挙定数。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| GetUnitString | String | 文字列表現。 |

## ActiveX_Helper.UuidToHex12 Method

UUIDの文字列から12桁の16進文字列に変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

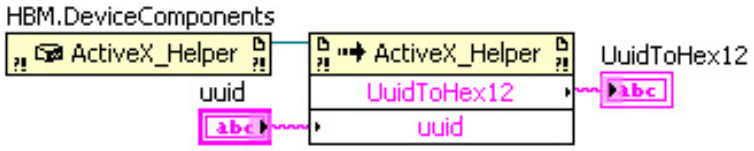
C#

```
public string UuidToHex12(
       string uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Function UuidToHex12 (
       uuid As String
) As String
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| uuid | System.String | UUIDの文字列。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UuidToHex12 | String | 16進文字列。 |

## ActiveX_Helper.ActiveXUuidInHex Property

ActiveXインタフェースのUUIDsを示す値が、16進文字列(true)または小数文字列(false: デフォルト)かを取得または設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public bool ActiveXUuidInHex { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveXUuidInHex As Booleans
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>ActiveXインタフェースのUUIDが16進数文字列の場合true。それ以外はfalse。 |

# AdditionalCanBusクラス

**AdditionalCanBus Class**
CAN-Busの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AdditionalCanBus : CanBus,
       ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AdditionalCanBus
       Inherits CanBus
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.CanBus
  HBM.DeviceComponents.AdditionalCanBus

## AdditionalCanBus Members

AdditionalCanBus型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AdditionalCanBus() | AdditionalCanBusクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AdditionalCanBus(String) | AdditionalCanBusクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCAN-Busプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CAN-BusプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Baudrate | CANのボーレート(CanBus Classを参照)。 |
| CanInChannels | CanInChannelオブジェクト配列(CanBus Classを参照)。 |
| CanOutChannels | CanOutChannelsオブジェクト配列(CanBus Classを参照)。 |
| CanTransmitChannels | 信号からデータ値を送信するチャネル(CanBus Classを参照)。 |
| ECUs | 信号からデータ値を送信するチャネル。 |
| Supply | CANバスが接続されるコネクタの電源電圧。 |
| Termination | CANバスコネクタの終端がアクティブかどうかを設定または取得します。 |

## AdditionalCanBus Constructor

AdditionalCanBusクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

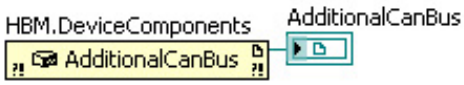
C#

```
public AdditionalCanBus()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AdditionalCanBus Constructor(String)

AdditionalCanBusクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

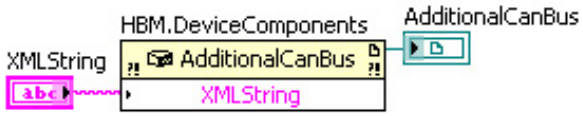
C#

```
public AdditionalCanBus(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AdditionalCanBus.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

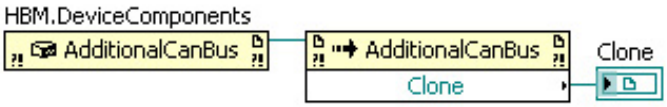
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | CAN-Busオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AdditionalCanBus.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCAN-Busプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

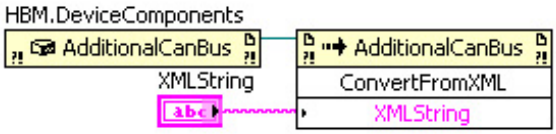
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AdditionalCanBus.ConvertToXML Method

CAN-Busプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CAN-Busプロパティの XML表現。 |

## AdditionalCanBus.ECUs Property

信号からデータ値を送信するチャネル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ECU[] ECUs { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ECUs As ECU()
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ECU[] |

## AdditionalCanBus.Supply Property

CANバスが接続されるコネクタの電源電圧。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

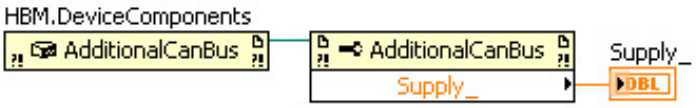
C#

```
public Nullable<double> Supply { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Supply As Nullable(Of Double)
       Get
       Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## AdditionalCanBus.Termination Property

CANバスコネクタの終端がアクティブかどうかを設定または取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<bool> Termination { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Termination As Nullable(Of Boolean)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Boolean)<br>終端がonの場合はtrue、それ以外はfalse。 |

# AdditionalConnectorクラス

**AdditionalConnector Class**
追加のコネクタについて記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AdditionalConnector : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AdditionalConnector
       Implements ICloneable
```

注意

このオブジェクトはAdditionalConnectorタグのQX、XSDに対応していませんが、AdditionalConnectorタグ下のコネクタのタグを表します。

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AdditionalConnector

## AdditionalConnector Members

AdditionalConnector型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AdditionalConnector() | AdditionalConnectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AdditionalConnector(Int32) | AdditionalConnectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AdditionalConnector(String) | AdditionalConnectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAdditionalConnectorプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AdditionalConnectorプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveType | どのコネクタタイプを使用するかを決定。 |
| AnalogOutChannel | アナログ出力チャネルの設定。 |
| CanBus | CAN-Busの設定。 |
| EtherCAT | EtherCATの設定。 |
| Number | コネクタ数(0 .. nでnはデバイスの種類に依存)。 |

## AdditionalConnector Constructor

AdditionalConnectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

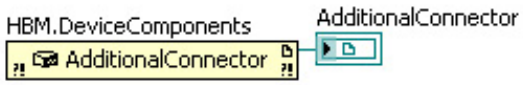
C#

```
public AdditionalConnector()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AdditionalConnector Constructor(Int32)

AdditionalConnectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

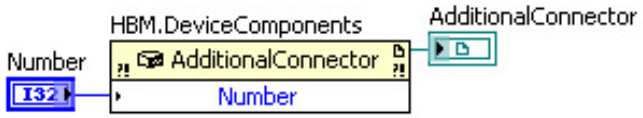
C#

```
public AdditionalConnector(
       int Number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       Number As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Number | System.Int32 | コネクタ番号。 |

## AdditionalConnector Constructor(String)

AdditionalConnectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

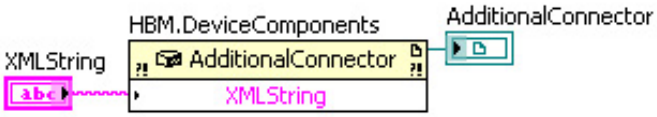
C#

```
public AdditionalConnector(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AdditionalConnector.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AdditionalConnectorオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AdditionalConnector.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAdditionalConnectorプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

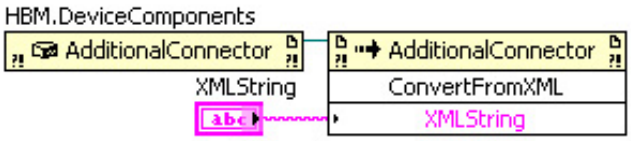
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AdditionalConnector.ConvertToXML Method

AdditionalConnectorプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

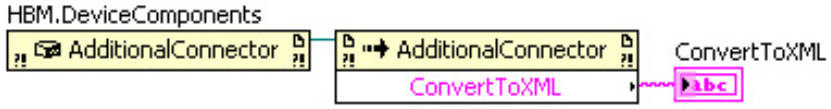
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AdditionalConnectorプロパティのXML表現。 |

## AdditionalConnector.ActiveType Property

どのコネクタタイプを使用するかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

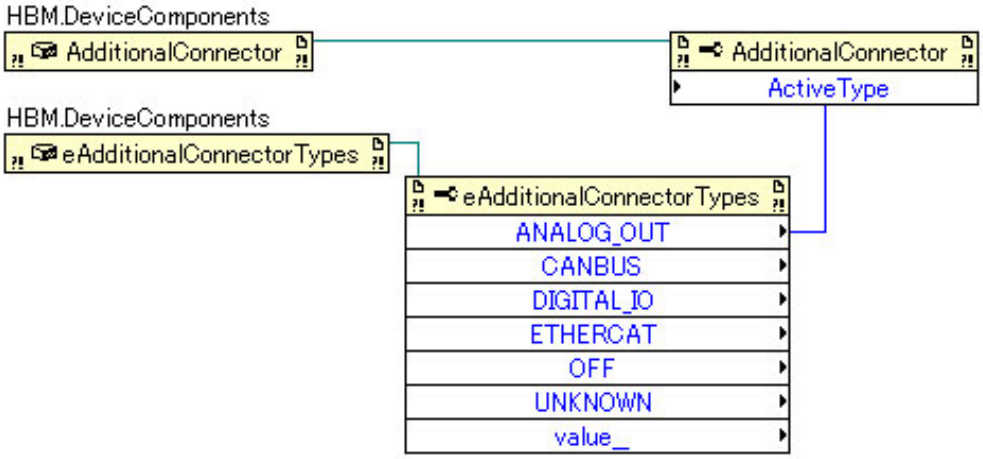
C#

```
public eAdditionalConnectorTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eAdditionalConnectorTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eAdditionalConnectorTypes |

## AdditionalConnector.AnalogOutChannel Property

アナログ出力チャネルの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

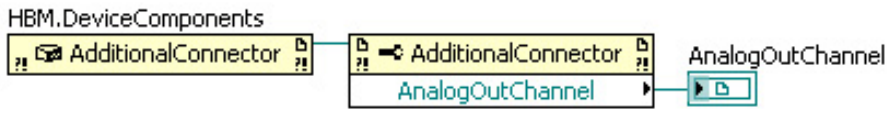
C#

```
public AnalogOutChannel AnalogOutChannel { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AnalogOutChannel As AnalogOutChannel
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AnalogOutChannel |

## AdditionalConnector.CanBus Property

CAN-Busの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

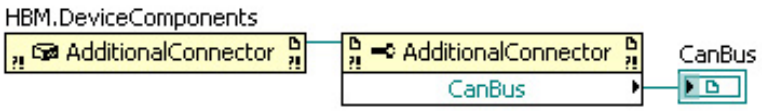
C#

```
public AdditionalCanBus CanBus { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanBus As AdditionalCanBus
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AdditionalCanBus |

## AdditionalConnector.EtherCAT Property

EtherCATの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

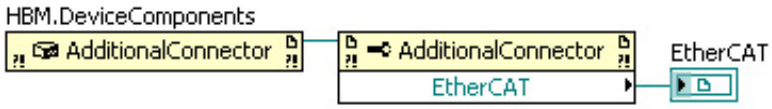
C#

```
public EtherCAT EtherCAT { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property EtherCAT As EtherCAT
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: EtherCAT |

## AdditionalConnector.Number Property

コネクタ数(0 .. nでnはデバイスの種類に依存)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

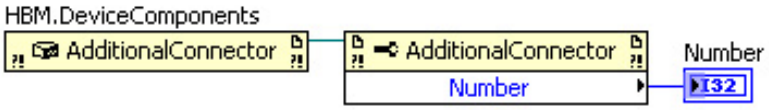
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

# AdditionalFunctionsクラス

**AdditionalFunctions Class**
追加の関数について記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AdditionalFunctions : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AdditionalFunctions
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AdditionalFunctions

## AdditionalFunctions Members

AdditionalFunctions型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AdditionalFunctions() | AdditionalFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AdditionalConnector(String) | AdditionalFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAdditionalFunctionsプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AdditionalFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LimitSwitchFunctions | LimitSwitchFunctionsの引数。 |
| MathFunctions | MathFunctionsの引数。 |
| PeakFunctions | PeakFunctionsの引数。 |
| SignalGeneratorFunctions | SignalGeneratorFunctionsの引数。 |

## AdditionalFunctions Constructor

AdditionalFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

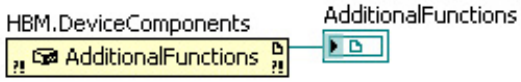
C#

```
public AdditionalFunctions()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AdditionalFunctions Constructor(String)

AdditionalFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

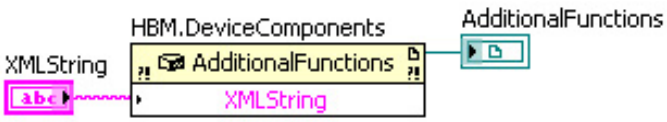
C#

```
public AdditionalFunctions(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AdditionalFunctions.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

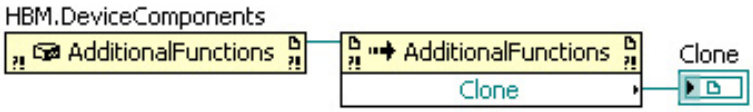
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | AdditionalFunctionsオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## AdditionalFunctions.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAdditionalFunctionsプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

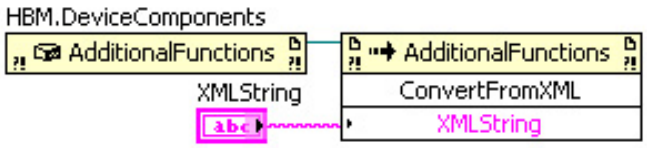
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AdditionalFunctions.ConvertToXML Method

AdditionalFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AdditionalFunctionsプロパティのXML表現。 |

## AdditionalFunctions.LimitSwitchFunctions Property

LimitSwitchFunctionsの引数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public LimitSwitchFunctions LimitSwitchFunctions { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property LimitSwitchFunctions As LimitSwitchFunctions
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: LimitSwitchFunctions |

## AdditionalFunctions.MathFunctions Property

MathFunctionsの引数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

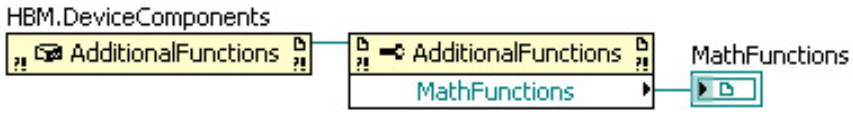
C#

```
public MathFunctions MathFunctions { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MathFunctions As MathFunctions
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: MathFunctions |

## AdditionalFunctions.PeakFunctions Property

PeakFunctionsの引数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

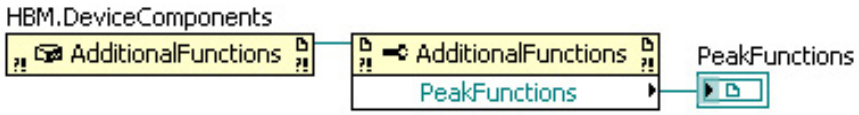
C#

```
public PeakFunctions PeakFunctions { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PeakFunctions As PeakFunctions
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PeakFunctions |

## AdditionalFunctions.SignalGeneratorFunctions Property

MathFunctionsの引数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

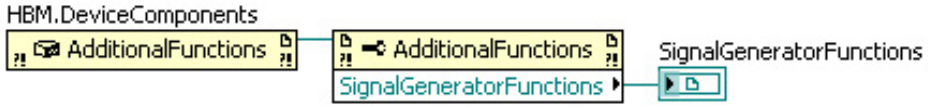
C#

```
public SignalGeneratorFunctions SignalGeneratorFunctions { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalGeneratorFunctions As SignalGeneratorFunctions
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SignalGeneratorFunctions |

# AddMultiplyクラス

**AddMultiply Class**
加算および積算を設定するクラスです。
f = a0 + a1*Input1 + a2*Input2 + a3*Input1*Input2

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AddMultiply : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AddMultiply
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AddMultiply

## AddMultiply Members

AddMultiply型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AddMultiply() | AddMultiplyクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AddMultiply(String) | AddMultiplyクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAddMultiplyプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AddMultiplyプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| a0 | 演算のオフセット。 |
| a1 | 最初の入力信号の係数。追加のソース信号を使用しない場合は、0に設定。 |
| a2 | 2番目の入力信号の係数。追加のソース信号を使用しない場合は、0に設定。 |
| a3 | 両方の入力信号の積算の係数。ソース信号の積算を使用しない場合は、0に設定。 |
| Inputs | 演算のソースとして使用する入力信号。 |
| Signals | 信号出力の引数。 |

## AddMultiply Constructor

AddMultiplyクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

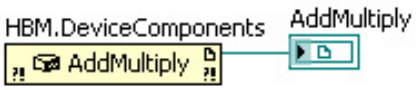
C#

```
public AddMultiply()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AddMultiply Constructor(String)

AddMultiplyクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AddMultiply(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AddMultiply.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

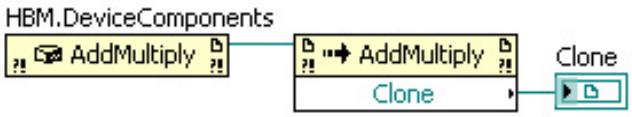
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AddMultiplyオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AddMultiply.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAddMultiplyプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

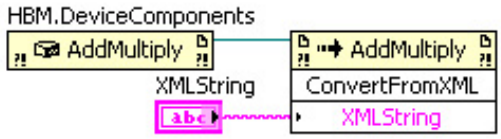
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AddMultiply.ConvertToXML Method

AddMultiplyプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

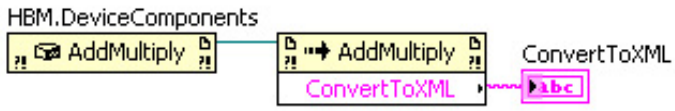
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AddMultiplyプロパティのXML表現。 |

## AddMultiply.a0 Property

演算のオフセット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

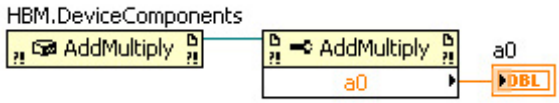
C#

```
public double a0 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property a0 As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## AddMultiply.a1 Property

最初の入力信号の係数。
追加のソース信号を使用しない場合は、0に設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

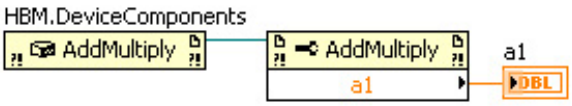
C#

```
public double a1 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property a1 As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## AddMultiply.a2 Property

2番目の入力信号の係数。
追加のソース信号を使用しない場合は、0に設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

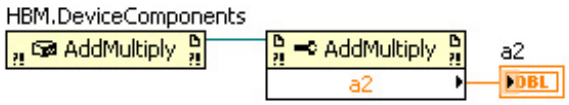
C#

```
public double a2 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property a2 As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## AddMultiply.a3 Property

両方の入力信号の積算の係数。
ソース信号の積算を使用しない場合は、0に設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

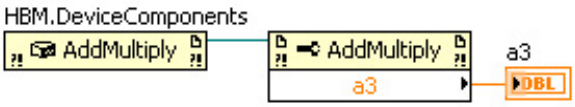
C#

```
public double a3 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property a3 As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## AddMultiply.Inputs Property

演算のソースとして使用する入力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

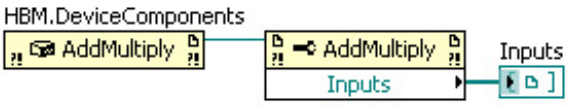
C#

```
public Input[] Inputs { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Inputs As Input()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input[] |

## AddMultiply.Signals Property

信号出力の引数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

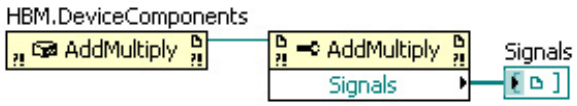
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

# Adjustmentクラス

**Adjustment Class**
ドリフト補償の調整オプションを記述する抽象クラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public abstract class Adjustment : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public MustInherit Class Adjustment
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Adjustment
  HBM.DeviceComponents.DriftCompensationCurrentState
  HBM.DeviceComponents.DriftCompensationRequest

## Adjustment Members

Adjustment型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Adjustment() | Adjustmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Adjustment(String) | Adjustmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットAdjustmentプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AdjustmentプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのAdjustmentオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 使用する調整タイプを決定。 |
| AutoAdjust | 自動調整設定。 |
| AutoCal | 自動キャリブレーション設定。 |

## Adjustment Constructor

Adjustmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

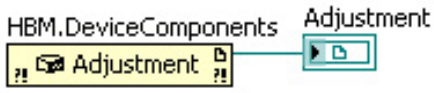
C#

```
public Adjustment()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Adjustment Constructor(String)

Adjustmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

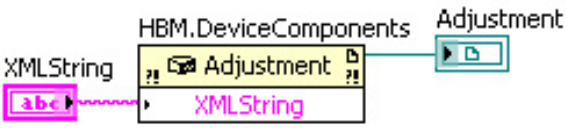
C#

```
public Adjustment(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Adjustment.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

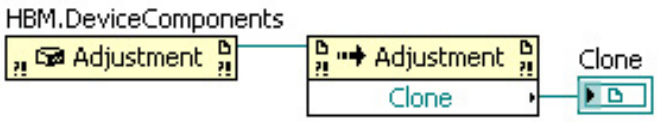
C#

```
public abstract Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public MustOverride Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Adjustmentオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Adjustment.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAdjustmentプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

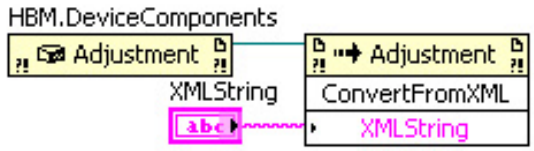
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Adjustment.ConvertToXML Method

AdjustmentプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

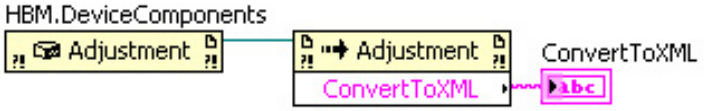
C#

```
public abstract string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public MustOverride Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AdjustmentプロパティのXML表現。 |

## Adjustment.ActiveObject Property

ActiveTypeのAdjustmentオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

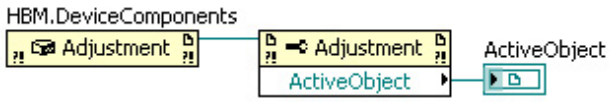
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## Adjustment.ActiveType Property

使用する調整タイプを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

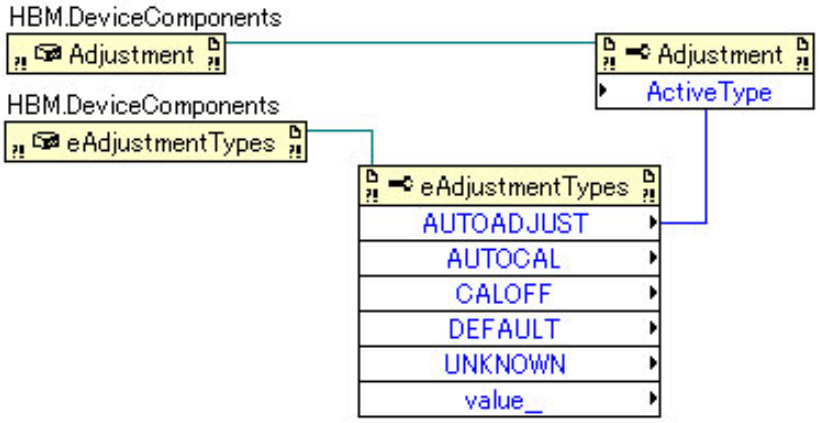
C#

```
public eAdjustmentTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eAdjustmentTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eAdjustmentTypes |

## Adjustment.AutoAdjust Property

自動調整設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AutoAdjust AutoAdjust { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AutoAdjust As AutoAdjust
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AutoAdjust |

## Adjustment.AutoCal Property

自動キャリブレーション設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

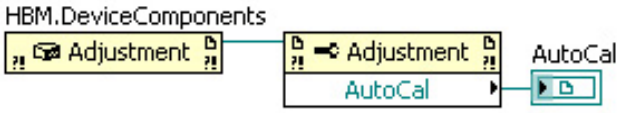
C#

```
public AutoCal AutoCal { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AutoCal As AutoCal
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AutoCal |

# Amplitudeクラス

**Amplitude Class**
テスト信号の振幅設定値を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Amplitude : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Amplitude
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Amplitude

## Amplitude Members

Amplitude型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Amplitude() | Amplitudeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Amplitude(String) | Amplitudeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAmplitudeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AmplitudeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのAmplitudeオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 使用する増幅タイプを決定。 |
| Level | 増幅レベル設定。 |
| PeakPeak | Peak-peak増幅設定。 |

## Amplitude Constructor

Amplitudeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

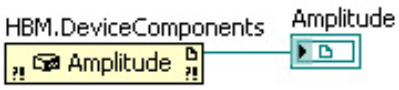
C#

```
public Amplitude()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Amplitude Constructor(String)

Amplitudeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Amplitude(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Amplitude.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

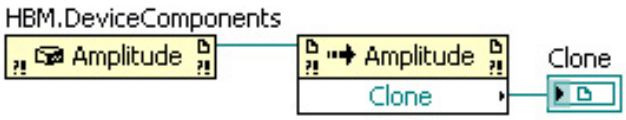
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Amplitudeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Amplitude.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAmplitudeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

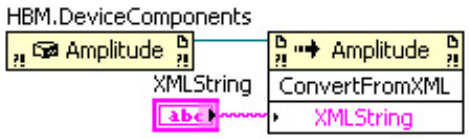
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Amplitude.ConvertToXML Method

Amplitudeプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AmplitudeプロパティのXML表現。 |

## Amplitude.ActiveObject Property

ActiveTypeのAmplitudeオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## Amplitude.ActiveType Property

使用する増幅タイプを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

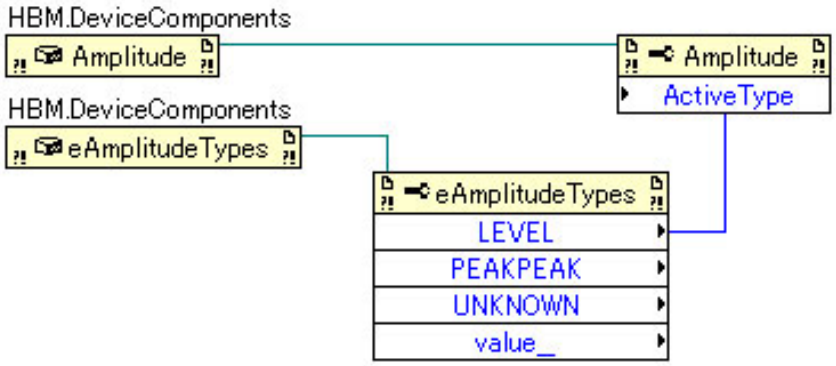
C#

```
public eAmplitudeTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eAmplitudeTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eAmplitudeTypes |

## Amplitude.Level Property

増幅レベル設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

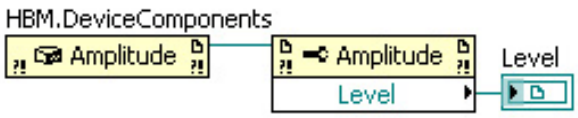
C#

```
public Level Level { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Level As Level
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Level |

## Amplitude.PeakPeak Property

Peak-peak増幅設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

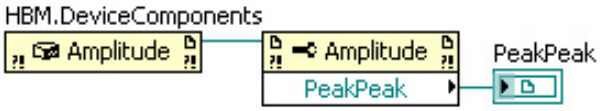
C#

```
public PeakPeak PeakPeak { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PeakPeak As PeakPeak
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PeakPeak |

# AnalogInクラス

**AnalogIn Class**
SystemViewが使用するAnalogInコレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AnalogIn : AnalogOut, ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AnalogIn
       Inherits AnalogOut
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AnalogOut
  HBM.DeviceComponents.AnalogIn

## AnalogIn Members

AnalogIn型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AnalogIn() | AnalogInクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AnalogIn(String) | AnalogInクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAnalogInプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AnalogInプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AutoAdjust | バックグラウンドの調整アルゴリズムを有効または無効に設定。 |
| CtrlApplDate | ハードウェアコントローラの適用日付(AnalogOutから継承)。 |
| CtrlApplVersion | ハードウェアコントローラの適用バージョン(AnalogOutから継承)。 |
| CtrlLoaderDate | ハードウェアコントローラのロードした日付(AnalogOutから継承)。 |
| CtrlLoaderVersion | ハードウェアコントローラのバージョン(AnalogOutから継承)。 |
| HardwareRevision | ハードウェアコンポーネントのハードウェアリビジョン(AnalogOutから継承)。 |
| Number | コンポーネントのインデックス番号(AnalogOutから継承)。 |
| SerialNumber | ハードウェアコンポーネントのシリアル番号(AnalogOutから継承)。 |

## AnalogIn Constructor

AnalogInクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

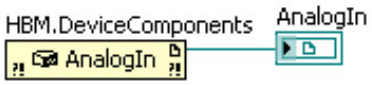
C#

```
public AnalogIn()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AnalogIn Constructor(String)

AnalogInクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AnalogIn(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogIn.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

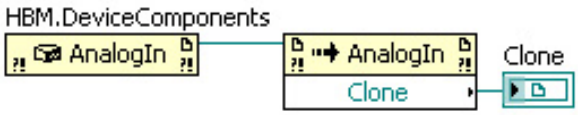
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AnalogInオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AnalogIn.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAnalogInプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

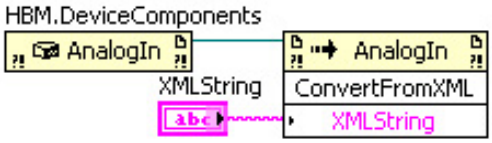
C#

```
public override void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Overrides Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogIn.ConvertToXML Method

AnalogInプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

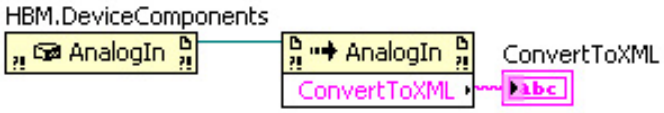
C#

```
public override string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AnalogInプロパティのXML表現。 |

## AnalogIn.AutoAdjust Property

バックグラウンドの調整アルゴリズムを有効または無効に設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

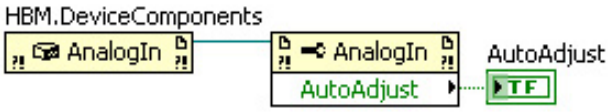
C#

```
public bool AutoAdjust { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AutoAdjust As Boolean
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean |

# AnalogInChannelクラス

**AnalogInChannel Class**
アナログ入力チャネルを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AnalogInChannel : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AnalogInChannel
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AnalogInChannel

## AnalogInChannel Members

AnalogInChannel型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AnalogInChannel() | AnalogInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AnalogInChannel(Int32) | AnalogInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AnalogInChannel(String) | AnalogInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAnalogInChannelプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AnalogInChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ChannelName | アナログ入力チャネル名。 |
| OriginOfName | チャネル名のタイプ。 |
| OutputUnit | 工学単位の引数。 |
| Sensor | 使用するセンサタイプ、スケーリングタイプ、IDなどを記述するSensorオブジェクト。 |
| SpeedMode | 拡張サンプルレートを取得(On時は192k/secまで可)。速度モードの変更は QXSystem.AssignExtendedSampleRateMode(...)メソッドを使用してください。 |
| SyncSignals | 計測を行う信号の配列。 |
| TestSignal | チャネルのテスト信号。 |
| ZeroOffset | センサのゼロオフセット。 |

## AnalogInChannel Constructor

AnalogInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

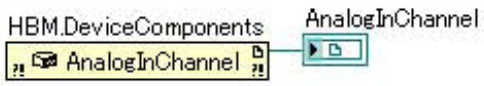
C#

```
public AnalogInChannel()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AnalogInChannel Constructor(Int32)

AnalogInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

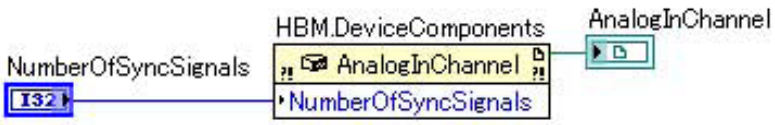
C#

```
public AnalogInChannel(
       int NumberOfSyncSignals
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       NumberOfSyncSignals As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| NumberOfSyncSignals | Int32 | 同期信号番号。 |

## AnalogInChannel Constructor(String)

AnalogInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AnalogInChannel(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogInChannel.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

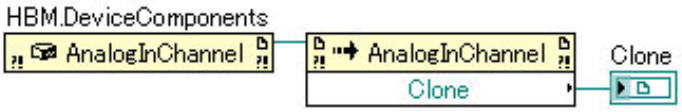
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AnalogInChannelオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AnalogInChannel.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAnalogInChannelプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

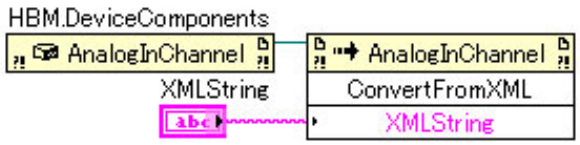
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogInChannel.ConvertToXML Method

AnalogInChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

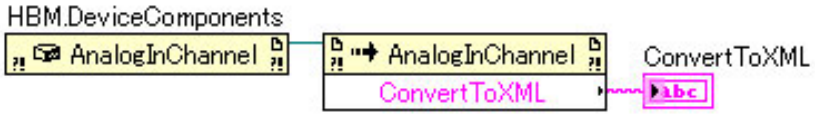
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AnalogInChannelプロパティのXML表現。 |

## AnalogInChannel.ChannelName Property

アナログ入力チャネル名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

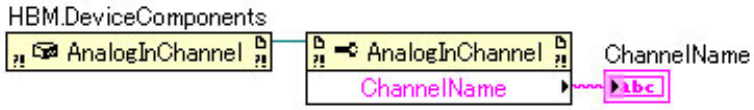
C#

```
public string ChannelName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ChannelName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## AnalogInChannel.OriginOfName Property

チャネル名のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

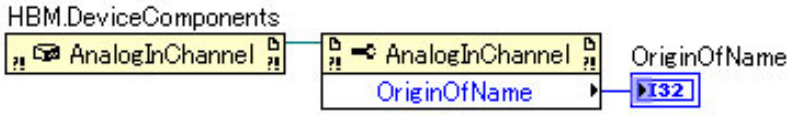
C#

```
public eOriginOfNameTypes OriginOfName { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OriginOfName As eOriginOfNameTypes
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOriginOfNameTypes |

## AnalogInChannel.OutputUnit Property

工学単位の引数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

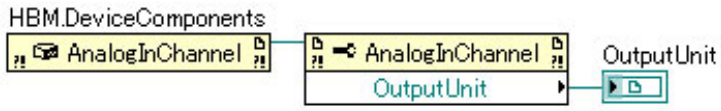
C#

```
public OutputUnit OutputUnit { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OutputUnit As OutputUnit
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: OutputUnit |

## AnalogInChannel.Sensor Property

使用するセンサタイプ、スケーリングタイプ、IDなどを記述するSensorオブジェクト。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

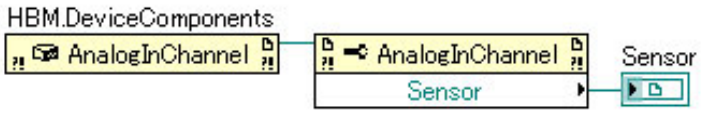
C#

```
public Sensor Sensor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Sensor As Sensor
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Sensor |

## AnalogInChannel.SpeedMode Property

拡張サンプルレートを取得(On時は192k/secまで可)。
速度モードの変更はQXSystem.AssignExtendedSampleRateMode(...)メソッドを使用してください。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

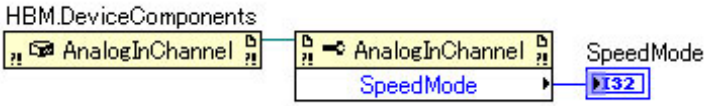
C#

```
public eExtendedSampleRateModes SpeedMode { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property SpeedMode As eExtendedSampleRateModes
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eExtendedSampleRateModes |

注釈

MX403およびMX410のみに適用。

## AnalogInChannel.SyncSignals Property

計測を行う信号の配列。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

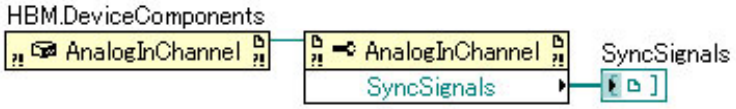
C#

```
public SyncSignal[] SyncSignals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SyncSignals As SyncSignals()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SyncSignal[] |

## AnalogInChannel.TestSignal Property

チャネルのテスト信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

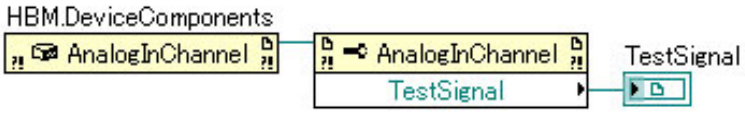
C#

```
public TestSignal TestSignal { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property TestSignal As TestSignal
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: TestSignal |

## AnalogInChannel.ZeroOffset Property

センサのゼロオフセット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

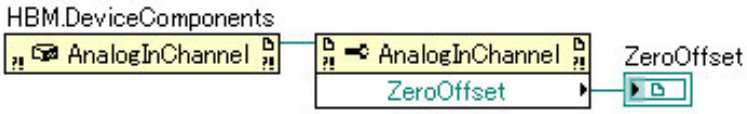
C#

```
public ZeroOffset ZeroOffset { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ZeroOffset As ZeroOffset
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ZeroOffset |

# AnalogOutクラス

**AnalogOut Class**
アナログ出力のコレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AnalogOut : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AnalogOut
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AnalogOut
  HBM.DeviceComponents.AnalogIn
  HBM.DeviceComponents.Can

## AnalogOut Members

AnalogOut型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AnalogOut() | AnalogOutクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AnalogOut(String) | AnalogOutクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAnalogOutプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AnalogOutプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CtrlApplDate | ハードウェアコントローラの適用日付。 |
| CtrlApplVersion | ハードウェアコントローラの適用バージョン。 |
| CtrlLoaderDate | ハードウェアコントローラのロードした日付。 |
| CtrlLoaderVersion | ハードウェアコントローラのバージョン。 |
| HardwareRevision | ハードウェアコンポーネントのハードウェアリビジョン。 |
| Number | AnalogOutコンポーネントのインデックス番号。 |
| SerialNumber | ハードウェアコンポーネントのシリアル番号。 |

## AnalogOut Constructor

AnalogOutクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

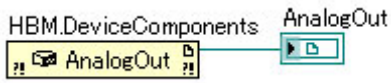
C#

```
public AnalogOut()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AnalogOut Constructor(String)

AnalogOutクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

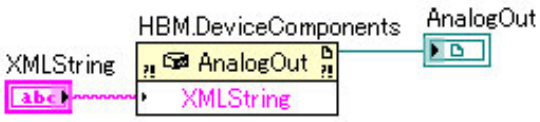
C#

```
public AnalogOut(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogOut.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

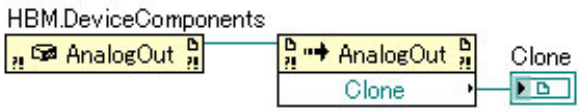
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | AnalogOutオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## AnalogOut.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAnalogOutプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public virtual void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Overridable Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogOut.ConvertToXML Method

AnalogOutプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

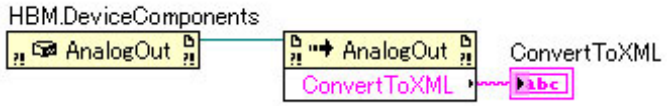
C#

```
public virtual string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AnalogOutプロパティのXML表現。 |

## AnalogOut.CtrlApplDate Property

ハードウェアコントローラの適用日付。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

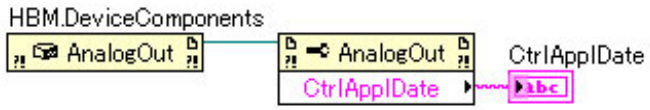
C#

```
public string CtrlApplDate { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CtrlApplDate As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## AnalogOut.CtrlApplVersion Property

ハードウェアコントローラの適用バージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string CtrlApplVersion { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CtrlApplVersion As String
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## AnalogOut.CtrlLoaderDate Property

ハードウェアコントローラのロードした日付。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string CtrlLoaderDate { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CtrlLoaderDate As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## AnalogOut.CtrlLoaderVersion Property

ハードウェアコントローラのバージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

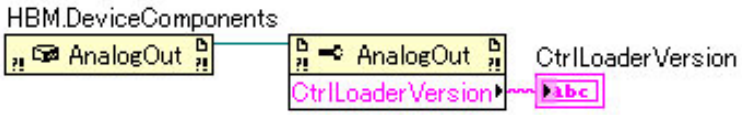
C#

```
public string CtrlLoaderVersion { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CtrlLoaderVersion As String
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## AnalogOut.HardwareRevision Property

ハードウェアコンポーネントのハードウェアリビジョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

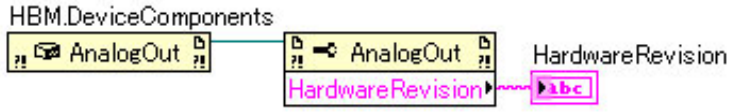
C#

```
public string HardwareRevision { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property HardwareRevision As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## AnalogOut.Number Property

AnalogOutコンポーネントのインデックス番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

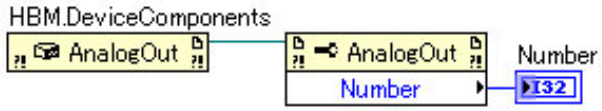
C#

```
public int Number { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## AnalogOut.SerialNumber Property

ハードウェアコンポーネントのシリアル番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

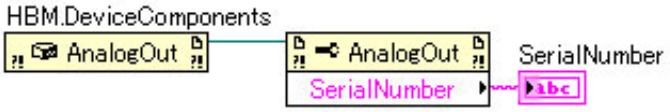
C#

```
public string SerialNumber { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SerialNumber As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# AnalogOutChannelクラス

**AnalogOutChannel Class**
アナログ出力が使用するコネクタです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AnalogOutChannel : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AnalogOutChannel
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AnalogOutChannel

## AnalogOutChannel Members

AnalogOutChannel型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AnalogOutChannel() | AnalogOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AnalogOutChannel(String) | AnalogOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAnalogOutChannelプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AnalogOutChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| FilterType | 適用するフィルタタイプ。 |
| Identificaton | アナログ出力コネクタのID。 |
| Input | 入力設定。 |
| Mode | アナログ出力コネクタの出力モード。 |
| ScalingType | アナログ出力コネクタのスケーリングタイプ。 |

## AnalogOutChannel Constructor

AnalogOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AnalogOutChannel()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## AnalogOutChannel Constructor(String)

AnalogOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

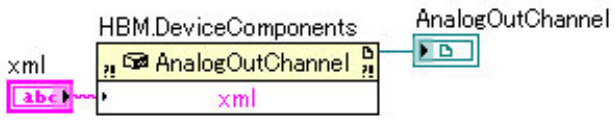
C#

```
public AnalogOutChannel(
       string xml
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       xml As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| xml | System.String | XML。 |

## AnalogOutChannel.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AnalogOutChannelオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AnalogOutChannel.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAnalogOutChannelプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

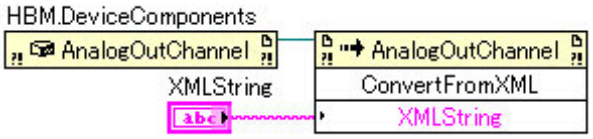
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogOutChannel.ConvertToXML Method

AnalogOutChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AnalogOutChannelプロパティのXML表現。 |

## AnalogOutChannel.FilterType Property

適用するフィルタタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public FilterType FilterType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FilterType As FilterType
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: FilterType |

## AnalogOutChannel.Identificaton Property

アナログ出力コネクタのID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

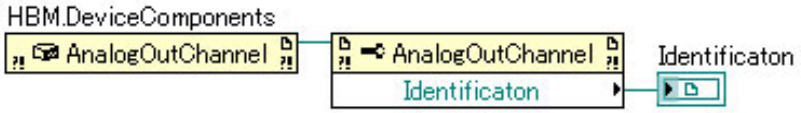
C#

```
public AnalogOutIdentification Identificaton { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Identificaton As AnalogOutIdentification
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AnalogOutIdentification |

## AnalogOutChannel.Input Property

入力設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

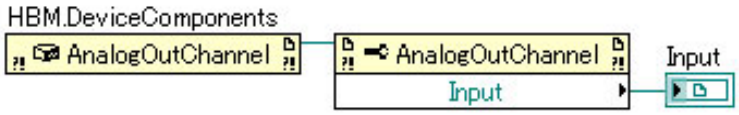
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## AnalogOutChannel.Mode Property

アナログ出力コネクタの出力モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

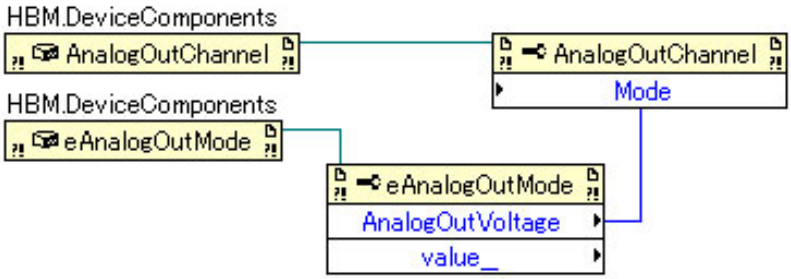
C#

```
public eAnalogOutMode Mode { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Mode As eAnalogOutMode
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eAnalogOutMode |

## AnalogOutChannel.ScalingType Property

アナログ出力コネクタのスケーリングタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

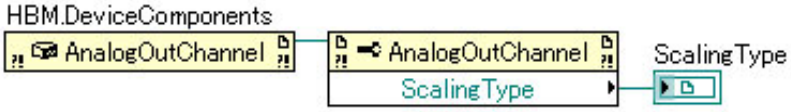
C#

```
public AnalogOutScalingType ScalingType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ScalingType As AnalogOutScalingType
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AnalogOutScalingType |

# AnalogOutIdentificationクラス

**AnalogOutIdentification Class**
センサの識別情報を保持するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AnalogOutIdentification : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AnalogOutIdentification
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AnalogOutIdentification

## AnalogOutIdentification Members

AnalogOutIdentification型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AnalogOutIdentification() | AnalogOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AnalogOutIdentification(String) | AnalogOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AnalogOutIdentification(String, String, String, String, Int32) | AnalogOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAnalogOutIdentificationプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AnalogOutIdentificationプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CalDate | コネクタを最後に校正した日付。 |
| CalInitials | 校正者の名前または頭文字。 |
| CalPeriod | 次の校正までの期間。 |
| ConnectorID | コネクタのID。 |
| ConnectorName | コネクタ名。 |

## AnalogOutIdentification Constructor

AnalogOutIdentificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

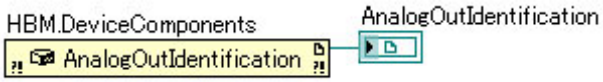
C#

```
public AnalogOutIdentification()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AnalogOutIdentification Constructor(String)

AnalogOutIdentificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AnalogOutIdentification(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | プロパティ設定を含むXMLString。 |

## AnalogOutIdentification Constructor(String, String, String, String, Int32)

AnalogOutIdentificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

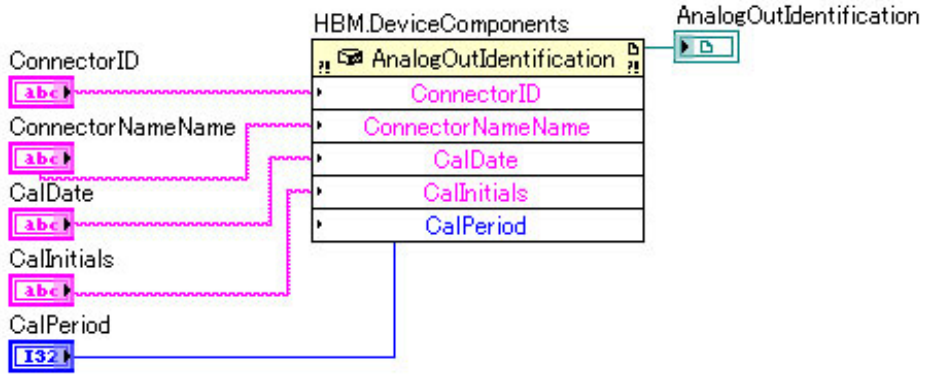
C#

```
public AnalogOutIdentification(
	string ConnectorID,
	string ConnectorNameName,
	string CalDate,
	string CalInitials,
	int CalPeriod
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
	ConnectorID As String,
	ConnectorNameName As String,
	CalDate As String,
	CalInitials As String,
	CalPeriod As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConnectorID | System.String | コネクタのID。 |
| ConnectorNameName | System.String | コネクタ名。 |
| CalDate | System.String | コネクタを最後に校正した日付(YYYY-MM-DD)。 |
| CalInitials | System.String | 校正者の名前または頭文字。 |
| CalPeriod | System.Int32 | 次の校正までの期間。 |

## AnalogOutIdentification.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AnalogOutIdentificationオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AnalogOutIdentification.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAnalogOutIdentificationプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

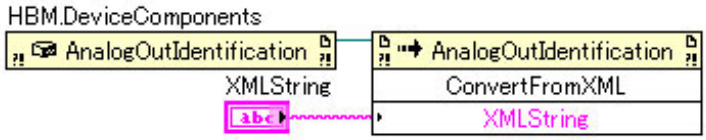
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogOutIdentification.ConvertToXML Method

AnalogOutIdentificationプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

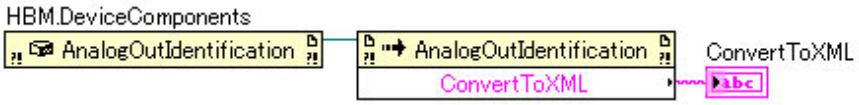
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AnalogOutIdentificationプロパティのXML表現。 |

## AnalogOutIdentification.CalDate Property

コネクタを最後に校正した日付。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

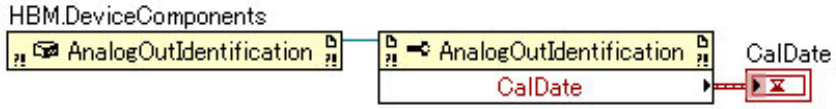
C#

```
public DateTime CalDate { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CalDate As DateTime
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DateTime |

## AnalogOutIdentification.CalInitials Property

校正者の名前または頭文字。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

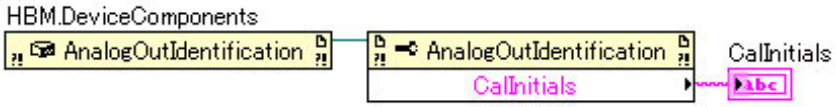
C#

```
public string CalInitials { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CalInitials As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## AnalogOutIdentification.CalPeriod Property

次の校正までの期間。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

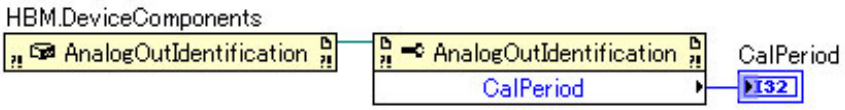
C#

```
public int CalPeriod { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CalPeriod As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## AnalogOutIdentification.ConnectorID Property

コネクタのID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

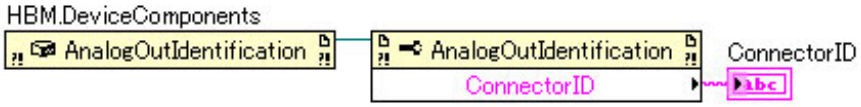
C#

```
public string ConnectorID { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ConnectorID As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## AnalogOutIdentification.ConnectorName Property

コネクタ名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConnectorName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ConnectorName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# AnalogOutScalingクラス

**AnalogOutScalingType Class**
アナログ出力のスケーリング方法を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AnalogOutScalingType : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AnalogOutScalingType
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AnalogOutScalingType

## AnalogOutScalingType Members

AnalogOutScalingType型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AnalogOutScalingType() | AnalogOutScalingTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AnalogOutScalingType(String) | AnalogOutScalingTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAnalogOutScalingTypeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AnalogOutScalingTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveObjectオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 計測値をスケーリングするタイプを定義。 |
| Gain | ゲインのスケーリング設定。 |
| LinTable | LinTableのスケーリング設定。 |

## AnalogOutScalingType Constructor

AnalogOutScalingTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

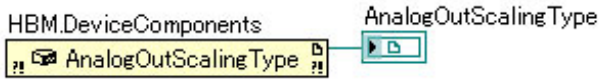
C#

```
public AnalogOutScalingType()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AnalogOutScalingType Constructor(String)

AnalogOutScalingTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

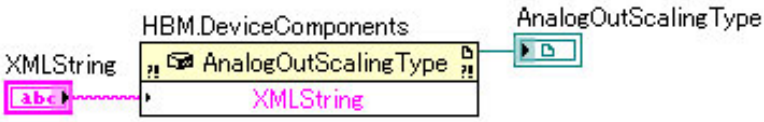
C#

```
public AnalogOutScalingType(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogOutScalingType.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

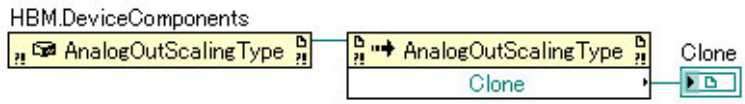
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AnalogOutScalingTypeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AnalogOutScalingType.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAnalogOutScalingTypeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

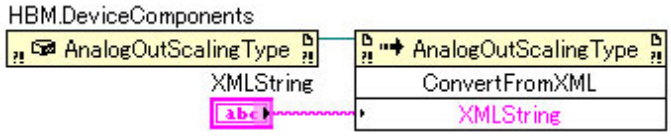
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AnalogOutScalingType.ConvertToXML Method

AnalogOutScalingTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AnalogOutScalingTypeプロパティのXML表現。 |

## AnalogOutScalingType.ActiveObject Property

ActiveObjectオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

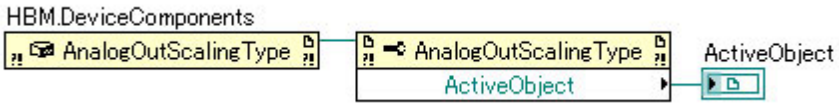
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## AnalogOutScalingType.ActiveType Property

計測値をスケーリングするタイプを定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

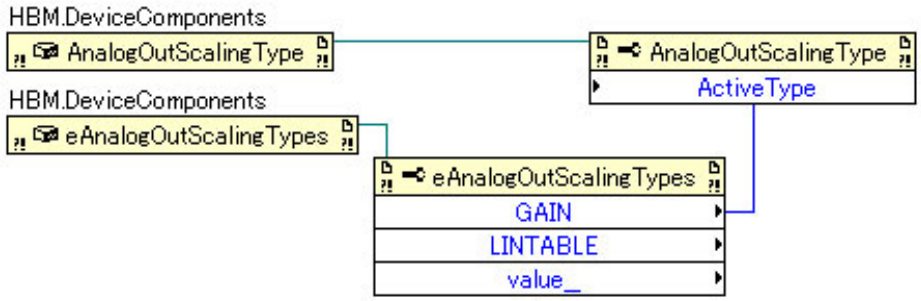
C#

```
public eAnalogOutScalingTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eAnalogOutScalingTypes
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eAnalogOutScalingTypes |

## AnalogOutScalingType.Gain Property

ゲインのスケーリング設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Gain Gain { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Gain As Gain
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Gain |

## AnalogOutScalingType.LinTable Property

LinTableのスケーリング設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

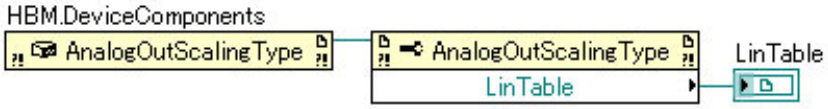
C#

```
public Lintable_TwoPoint LinTable { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property LinTable As Lintable_TwoPoint
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Lintable_TwoPoint |

# AngleDifferenceクラス

**AngleDifference Class**
位相差を設定するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AngleDifference : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AngleDifference
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AngleDifference

## AngleDifference Members

AngleDifference型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AngleDifference() | AngleDifferenceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AngleDifference(String) | AngleDifferenceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAngleDifferenceプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AngleDifferenceプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Inputs | 位相差を計算するために使用する信号。 |
| Signals | 信号出力の引数。 |

## AngleDifference Constructor

AngleDifferenceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AngleDifference()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## AngleDifference Constructor(String)

AngleDifferenceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

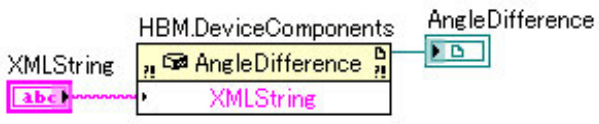
C#

```
public AngleDifference(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AngleDifference.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

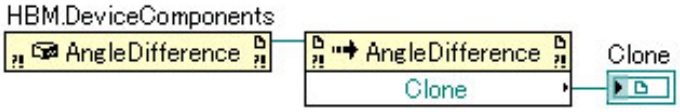
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | AngleDifferenceオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## AngleDifference.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAngleDifferenceプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

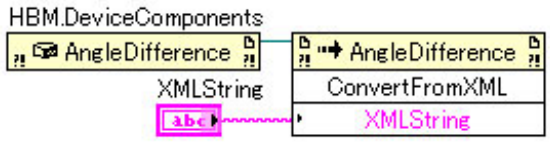
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AngleDifference.ConvertToXML Method

AngleDifferenceプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AngleDifferenceプロパティのXML表現。 |

## AngleDifference.Inputs Property

位相差を計算するために使用する信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Input[] Inputs { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Inputs As Input()
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input[] |

## AngleDifference.Signals Property

信号出力の引数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

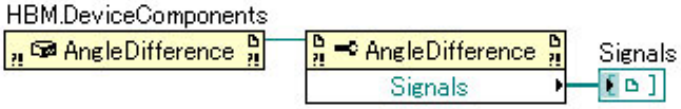
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

# Arbitrationクラス

**Arbitration Class**
信号発生器の調停設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Arbitration : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Arbitration
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Arbitration

## Arbitration Members

Arbitration型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Arbitration() | Arbitrationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Arbitration(String) | Arbitrationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをArbitrationプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ArbitrationプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのArbitrationオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 使用する調停タイプを定義。 |

## Arbitration Constructor

Arbitrationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

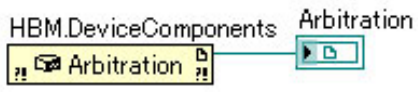
C#

```
public Arbitration()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Arbitration Constructor(String)

Arbitrationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Arbitration(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Arbitration.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

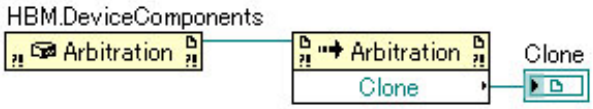
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Arbitrationオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Arbitration.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをArbitrationプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Arbitration.ConvertToXML Method

Arbitrationプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ArbitrationプロパティのXML表現。 |

## Arbitration.ActiveObject Property

ActiveTypeのArbitrationオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## Arbitration.ActiveType Property

使用する調停タイプを定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

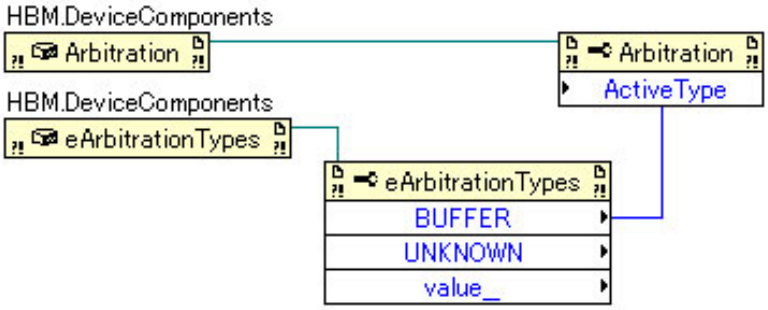
C#

```
public eArbitrationTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property eArbitrationTypes As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eArbitrationTypes |

# AsyncSignalクラス

**AsyncSignal Class**
非同期CAN信号を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AsyncSignal : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AsyncSignal
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AsyncSignal

## AsyncSignal Members

AsyncSignal型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AsyncSignal() | AsyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AsyncSignal(String) | AsyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAsyncSignalプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AsyncSignalプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Decimals | 小数点以下の桁数(0..8)。 |
| MaxRepTime | 最大繰り返し時間(0=off)。 |
| Output | 非同期信号の出力パラメータ。 |
| SignalFormat | 信号値の出力形式。 |

## AsyncSignal Constructor

AsyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

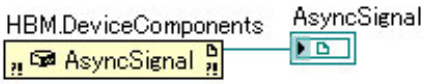
C#

```
public AsyncSignal()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AsyncSignal Constructor(String)

AsyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AsyncSignal(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AsyncSignal.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

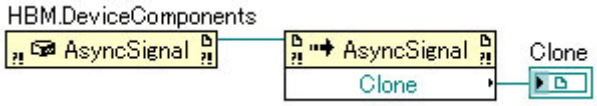
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AsyncSignalオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AsyncSignal.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAsyncSignalプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

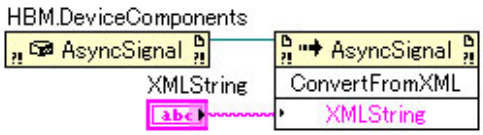
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AsyncSignal.ConvertToXML Method

AsyncSignalプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

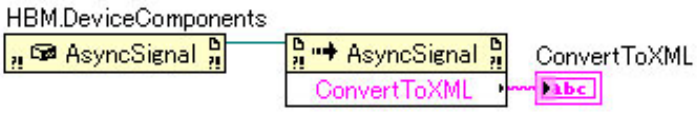
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AsyncSignalプロパティのXML表現。 |

## AsyncSignal.Decimals Property

小数点以下の桁数(0..8)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

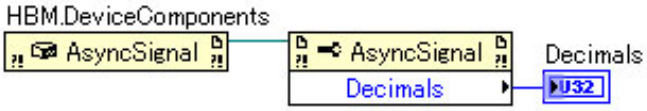
C#

```
public uint Decimals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Decimals As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## AsyncSignal.MaxRepTime Property

最大繰り返し時間(0=off)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> MaxRepTime { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxRepTime As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## AsyncSignal.Output Property

非同期信号の出力パラメータ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

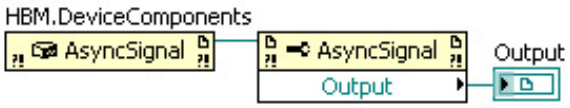
C#

```
public Output Output { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Output As Output
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Output |

## AsyncSignal.SignalFormat Property

信号値の出力形式。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

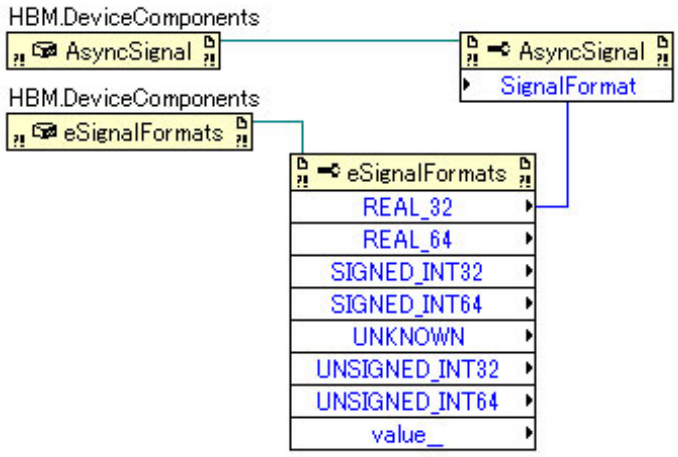
C#

```
public eSignalFormats SignalFormat { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalFormat As eSignalFormats
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSignalFormats |

# AutoAdjustクラス

**AutoAdjust Class**
周期的な自動調整設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AutoAdjust : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AutoAdjust
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AutoAdjust

## AutoAdjust Members

AutoAdjust型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AutoAdjust() | AutoAdjustクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AutoAdjust(String) | AutoAdjustクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAutoAdjustプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AutoAdjustプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| RepetitionTime | アナログ入力チャネルの周期的な調整のための反復時間(15...180秒)。 |

## AutoAdjust Constructor

AutoAdjustクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

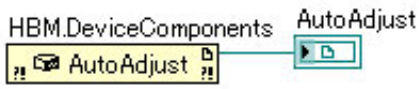
C#

```
public AutoAdjust()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AutoAdjust Constructor(String)

AutoAdjustクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

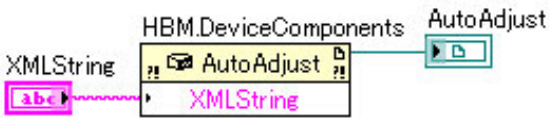
C#

```
public AutoAdjust(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AutoAdjust.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

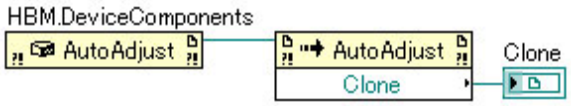
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AutoAdjustオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AutoAdjust.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAutoAdjustプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

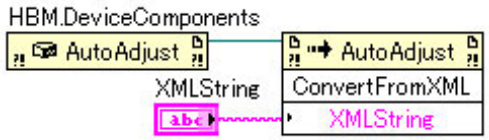
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AutoAdjust.ConvertToXML Method

AutoAdjustプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

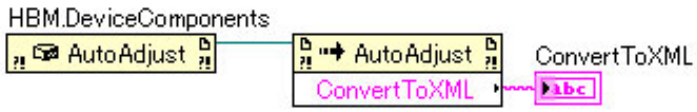
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AutoAdjustプロパティのXML表現。 |

## AutoAdjust.RepetitionTime Property

アナログ入力チャネルの周期的な調整のための反復時間(15...180秒)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

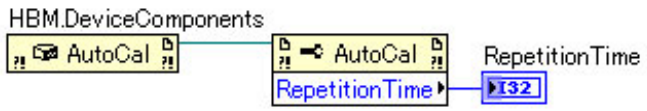
C#

```
public int RepetitionTime { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RepetitionTime As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

# AutoCalクラス

**AutoCal Class**
周期的な自動キャリブレーション設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AutoCal : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AutoCal
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AutoCal

## AutoCal Members

AutoCal型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AutoCal() | AutoCalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AutoCal(String) | AutoCalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAutoCalプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AutoCalプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| RepetitionTime | アナログ入力チャネルの周期的な調整のための反復時間(30...3600秒)。 |

## AutoCal Constructor

AutoCalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

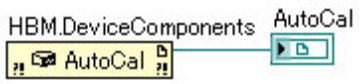
C#

```
public AutoCal()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AutoCal Constructor(String)

AutoCalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AutoCal(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AutoCal.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AutoCalオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AutoCal.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAutoCalプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AutoCal.ConvertToXML Method

AutoCalプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AutoCalプロパティのXML表現。 |

## AutoCal.RepetitionTime Property

アナログ入力チャネルの周期的な調整のための反復時間(30...3600秒)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

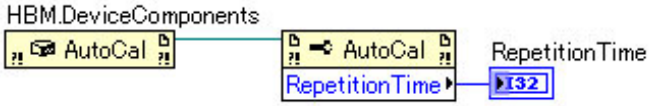
C#

```
public int RepetitionTime { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RepetitionTime As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

# AutoTimeSourceクラス

**AutoTimeSource Class**
AutoTimeSource設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class AutoTimeSource : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class AutoTimeSource
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AutoTimeSource

## AutoTimeSource Members

AutoTimeSource型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AutoTimeSource() | AutoTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AutoTimeSource(String) | AutoTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをAutoTimeSourceプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | AutoTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

## AutoTimeSource Constructor

AutoTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

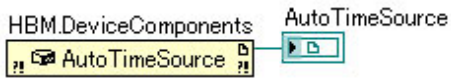
C#

```
public AutoTimeSource()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## AutoTimeSource Constructor(String)

AutoTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AutoTimeSource(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AutoTimeSource.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | AutoTimeSourceオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## AutoTimeSource.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをAutoTimeSourceプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

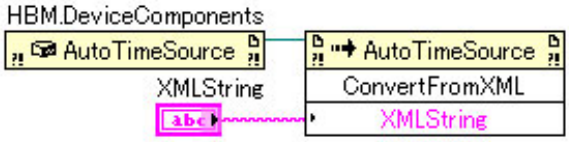
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## AutoTimeSource.ConvertToXML Method

AutoTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | AutoTimeSourceプロパティのXML表現。 |

# Bridgeクラス

**Bridge Class**
ブリッジセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Bridge : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Bridge
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Bridge

## Bridge Members

Bridge型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Bridge() | Bridgeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Bridge(String) | Bridgeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをBridgeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | BridgeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| BridgeType | センサのブリッジタイプ。 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| ExciteAmplitude | センサの励起振幅。 |
| ExciteFrequency | センサの励起周波数。 |
| Impedance | センサのインピーダンス。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |
| Wiring | センサの配線。 |

## Bridge Constructor

Bridgeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

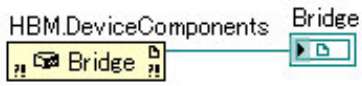
C#

```
public Bridge()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Bridge Constructor(String)

Bridgeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Bridge(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Bridge.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Bridgeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Bridge.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをBridgeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

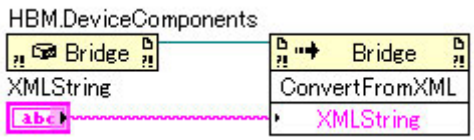
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Bridge.ConvertToXML Method

BridgeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

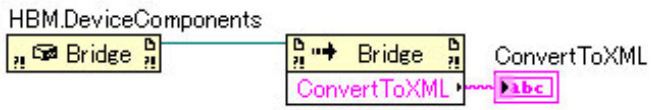
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | BridgeプロパティのXML表現。 |

## Bridge.BridgeType Property

センサのブリッジタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

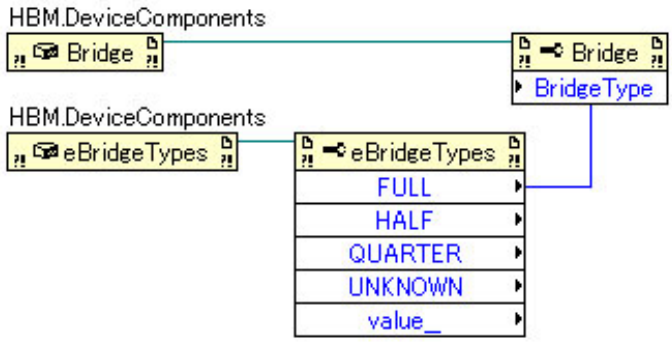
C#

```
public eBridgeTypes BridgeType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property BridgeType As eBridgeTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eBridgeTypes |

## Bridge.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Bridge.ExciteAmplitude Property

センサの励起振幅。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> ExciteAmplitude { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ExciteAmplitude As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Bridge.ExciteFrequency Property

センサの励起周波数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

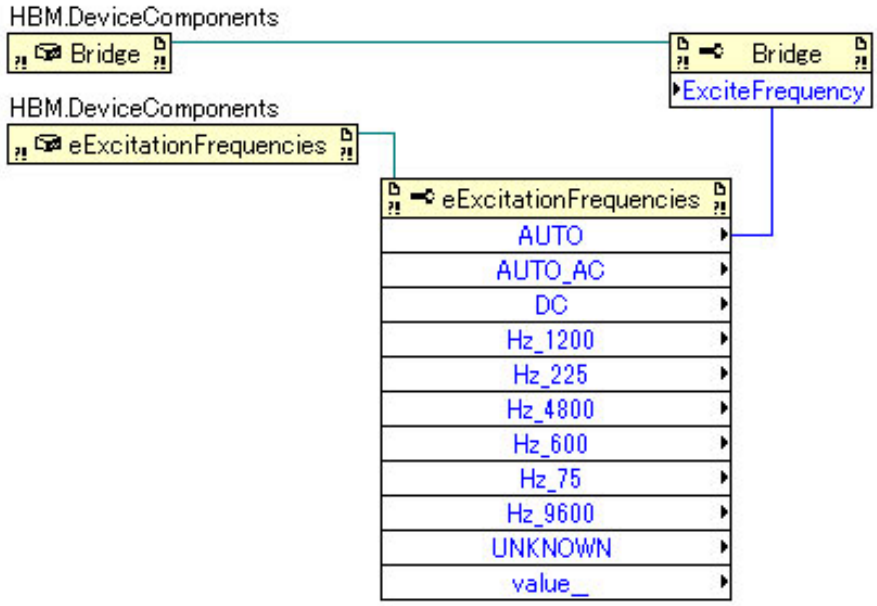
C#

```
public eExcitationFrequencies ExciteFrequency { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ExciteFrequency As eExcitationFrequencies
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eExcitationFrequencies |

## Bridge.Impedance Property

センサのインピーダンス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

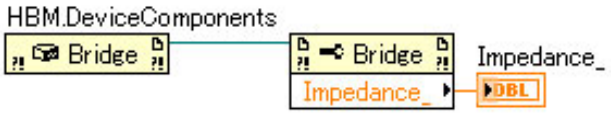
C#

```
public Nullable<double> Impedance { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Impedance As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Bridge.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Bridge.Wiring Property

センサの配線。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

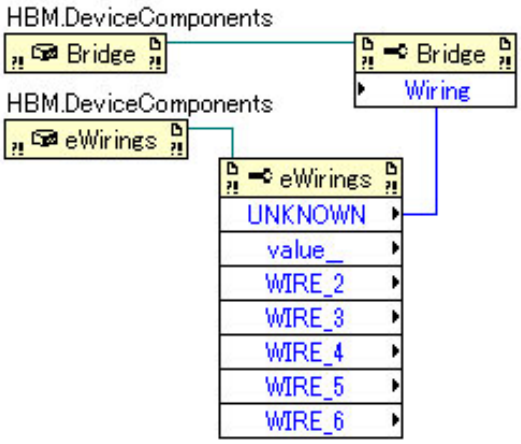
C#

```
public eWirings Wiring { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Wiring As eWirings
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eWirings |

# Canクラス

**Can Class**
CANコントローラの情報です。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Can : AnalogOut, ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Can
       Inherits AnalogOut
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.AnalogOut
  HBM.DeviceComponents.Can

## Can Members

Can型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Can() | Canクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Can(String) | Canクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCanプロパティに変換します。<br>(AnalogOut.ConvertFromXML(String)に優先)。 |
| ConvertToXML | Canプロパティを XMLスニペットに変換します。<br>(AnalogOut.ConvertToXML(String)に優先)。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CtrlApplDate | ハードウェアコントローラの適用日付(AnalogOutから継承)。 |
| CtrlApplVersion | ハードウェアコントローラの適用バージョン(AnalogOutから継承)。 |
| CtrlLoaderDate | ハードウェアコントローラのロードした日付(AnalogOutから継承)。 |
| CtrlLoaderVersion | ハードウェアコントローラのバージョン(AnalogOutから継承)。 |
| HardwareRevision | ハードウェアコンポーネントのハードウェアリビジョン(AnalogOutから継承)。 |
| Number | コンポーネントのインデックス番号(AnalogOutから継承)。 |
| SerialNumber | ハードウェアコンポーネントのシリアル番号(AnalogOutから継承)。 |

## Can Constructor

Canクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Can()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Can Constructor(String)

Canクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Can(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Can.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

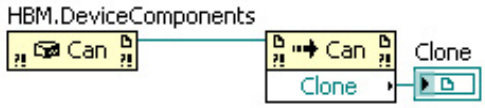
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Canオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Can.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCanプロパティに変換します。
(AnalogOut.ConvertToXML(String)に優先)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

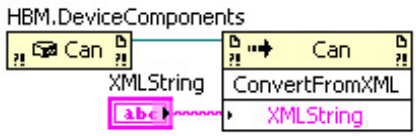
C#

```
public override void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Overrides Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Can.ConvertToXML Method

Canプロパティ をXMLスニペットに変換します。
(AnalogOut.ConvertToXML(String)に優先)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

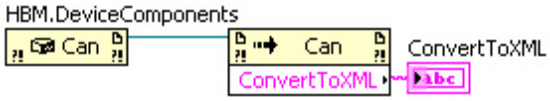
C#

```
public override string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Canプロパティ のXML表現。 |

# CanBusクラス

**CanBus Class**
CAN-Busの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class CanBus : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class CanBus
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.CanBus
  HBM.DeviceComponents.AdditionalCanBus

## CanBus Members

CanBus型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CanBus() | CanBusクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| CanBus(String) | CanBusクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCanBusプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CanBusプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Baudrate | CANのボーレート(例: 10000,20000,50000,100000,200000,500000,1000000)。 |
| CanInChannels | CanInChannelオブジェクト配列。 |
| CanOutChannels | CanOutChannelsオブジェクト配列。 |
| CanTransmitChannels | 信号からデータ値を送信するチャネル。 |
| ErrorMode | CANのエラーモード処理の設定。 |
| Supply | CANバスが接続されるコネクタの電源電圧。 |

## CanBus Constructor

CanBusクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

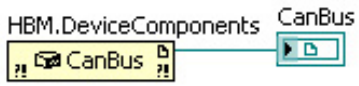
C#

```
public CanBus()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## CanBus Constructor(String)

CanBusクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

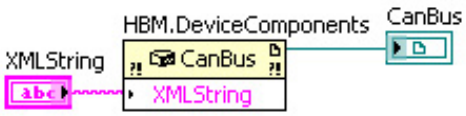
C#

```
public CanBus(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanBus.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

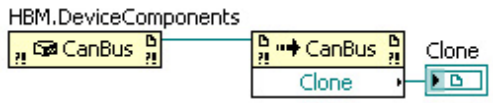
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | CanBusオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## CanBus.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCanBusプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

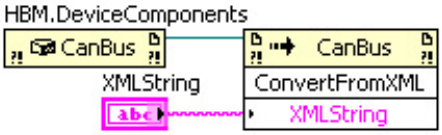
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanBus.ConvertToXML Method

CanBusプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

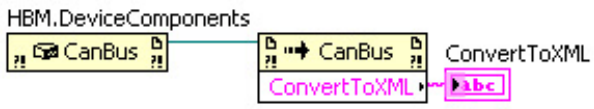
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CanBusプロパティのXML表現。 |

## CanBus.Baudrate Property

CANのボーレート(例: 10000,20000,50000,100000,200000,500000,1000000)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

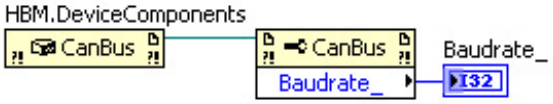
C#

```
public Nullable<int> Baudrate { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Baudrate As Nullable(Of Integer)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Int32) |

## CanBus.CanInChannels Property

CanInChannelオブジェクト配列。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

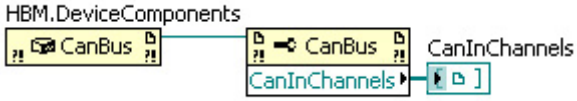
C#

```
public CanInChannel[] CanInChannels { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanInChannels As CanInChannel()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: CanInChannel[] |

## CanBus.CanOutChannels Property

CanOutChannelsオブジェクト配列。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

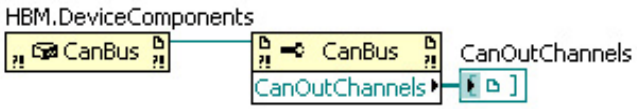
C#

```
public CanOutChannel[] CanOutChannels { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanOutChannels As CanOutChannel()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: CanOutChannel[] |

## CanBus.CanTransmitChannels Property

信号からデータ値を送信するチャネル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

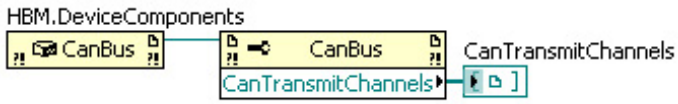
C#

```
public CanTransmitChannel[] CanTransmitChannels { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanTransmitChannels As CanTransmitChannel()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: CanTransmitChannel[] |

## CanBus.ErrorMode Property

CANのエラーモード処理の設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

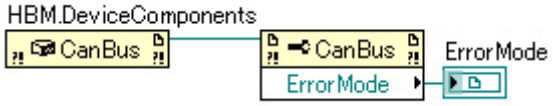
C#

```
public ErrorMode ErrorMode { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ErrorMode As ErrorMode
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ErrorMode |

## CanBus.Supply Property

CANバスが接続されるコネクタの電源電圧。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

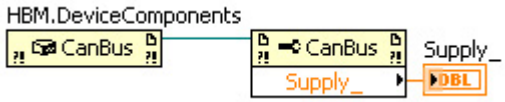
C#

```
public Nullable<double> Supply { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Supply As Nullable(Of Double)
        Get
        Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# CanInChannelクラス

**CanInChannel Class**
CAN入力チャネルのパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class CanInChannel : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class CanInChannel
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.CanInChannel

## CanInChannel Members

CanInChannel型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CanInChannel() | CanInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| CanInChannel(String) | CanInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCanInChannelプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CanInChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | このチャネルが有効(測定値を提供できる)かどうかの判定。 |
| AsyncSignal | CAN信号の設定。 |
| CanSensor | CANセンサの設定。 |
| ChannelName | チャネル名。 |
| ChannelNumber | チャネル番号(0～127)。 |
| OriginOfName | チャネル名のタイプ。 |

## CanInChannel Constructor

CanInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

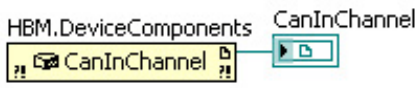
C#

```
public CanInChannel()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## CanInChannel Constructor(String)

CanInChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public CanInChannel(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanInChannel.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

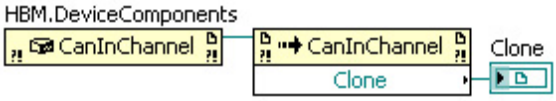
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | CanInChannelオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## CanInChannel.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCanInChannelプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

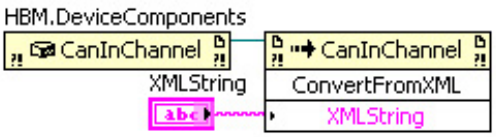
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanInChannel.ConvertToXML Method

CanInChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CanInChannelプロパティのXML表現。 |

## CanInChannel.Active Property

このチャネルが有効(測定値を提供できる)かどうかの判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

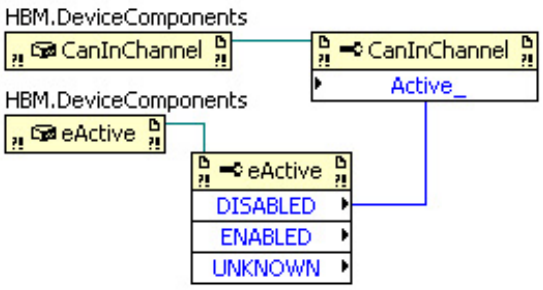
C#

```
public Nullable<eActive> Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As Nullable(Of eActive)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(eActive) |

## CanInChannel.AsyncSignal Property

CAN信号の設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

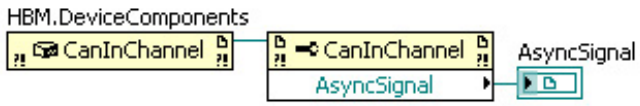
C#

```
public AsyncSignal AsyncSignal { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AsyncSignal As AsyncSignal
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AsyncSignal |

## CanInChannel.CanSensor Property

CANセンサの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

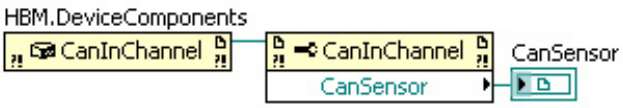
C#

```
public CanSensor CanSensor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanSensor As CanSensor
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: CanSensor |

## CanInChannel.ChannelName Property

チャネル名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ChannelName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ChannelName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## CanInChannel.ChannelNumber Property

チャネル番号(0～127)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

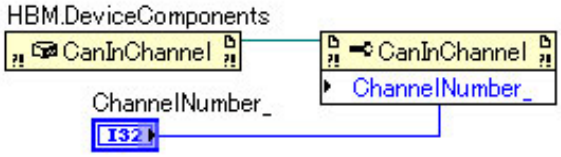
C#

```
public Nullable<int> ChannelNumber { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ChannelNumber As Nullable(Of Integer)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Int32) |

## CanInChannel.OriginOfName Property

チャネル名のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

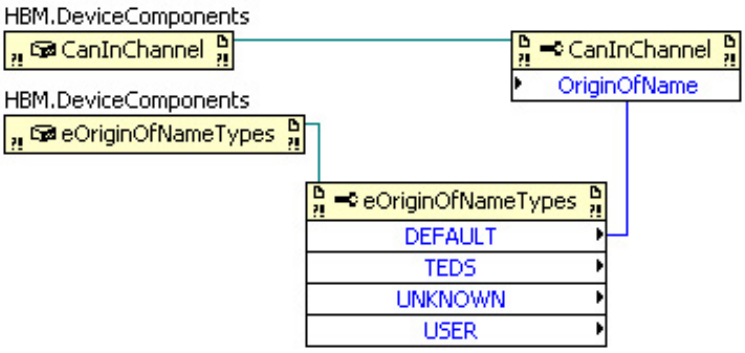
C#

```
public eOriginOfNameTypes OriginOfName { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OriginOfName As eOriginOfNameTypes
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOriginOfNameTypes |

# CanMessageクラス

**CanMessage Class**
CANメッセージを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class CanMessage : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class CanMessage
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.CanMessage

## CanMessage Members

CanMessage型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CanMessage() | CanMessageクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| CanMessage(String) | CanMessageクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCanMessageプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CanMessageプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Byte1 | CANメッセージのByte1。 |
| Byte2 | CANメッセージのByte2。 |
| Byte3 | CANメッセージのByte3。 |
| Byte4 | CANメッセージのByte4。 |
| Byte5 | CANメッセージのByte5。 |
| Byte6 | CANメッセージのByte6。 |
| Byte7 | CANメッセージのByte7。 |
| Byte8 | CANメッセージのByte8。 |
| ByteCount | CANメッセージのバイト数。 |
| ExtendedFrame | メッセージのフレームフォーマット。 |
| Identifier | メッセージのID。 |
| RepetitionTime | 繰り返し時間(0=off)。 |

## CanMessage Constructor

CanMessageクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public CanMessage()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## CanMessage Constructor(String)

CanMessageクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public CanMessage(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanMessage.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

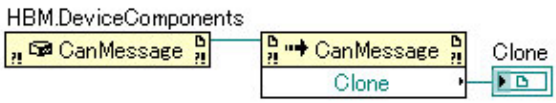
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | CanMessageオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## CanMessage.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCanMessageプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

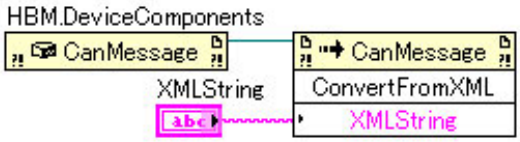
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanMessage.ConvertToXML Method

CanMessageプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CanMessageプロパティのXML表現。 |

## CanMessage.Byte1 Property

CANメッセージのByte1。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

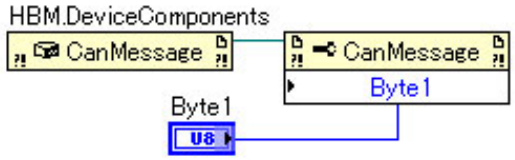
C#

```
public byte Byte1 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Byte1 As Byte
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Byte |

## CanMessage.Byte2 Property

CANメッセージのByte2。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

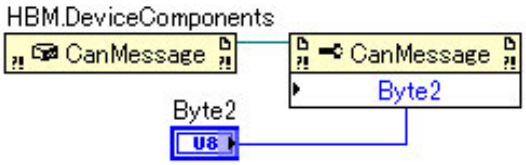
C#

```
public byte Byte2 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Byte2 As Byte
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Byte |

## CanMessage.Byte3 Property

CANメッセージのByte3。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

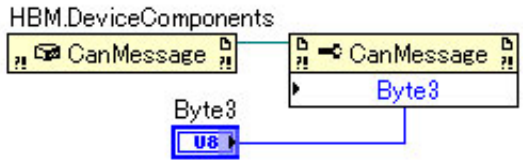
C#

```
public byte Byte3 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Byte3 As Byte
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Byte |

## CanMessage.Byte4 Property

CANメッセージのByte4。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

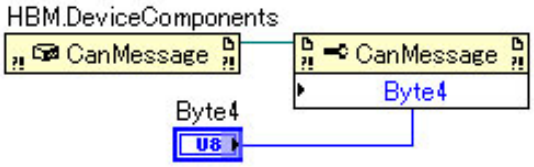
C#

```
public byte Byte4 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Byte4 As Byte
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Byte |

## CanMessage.Byte5 Property

CANメッセージのByte5。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

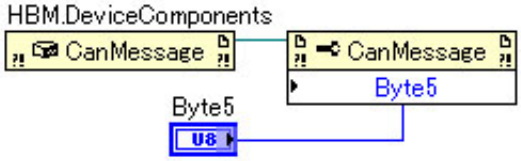
C#

```
public byte Byte5 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Byte5 As Byte
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Byte |

## CanMessage.Byte6 Property

CANメッセージのByte6。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

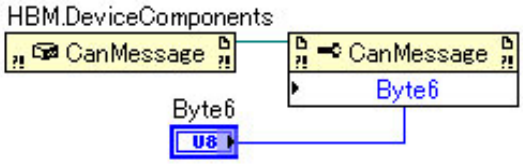
C#

```
public byte Byte6 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Byte6 As Byte
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Byte |

## CanMessage.Byte7 Property

CANメッセージのByte7。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

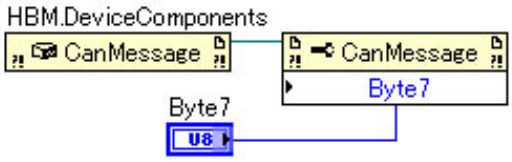
C#

```
public byte Byte7 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Byte7 As Byte
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Byte |

## CanMessage.Byte8 Property

CANメッセージのByte8。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

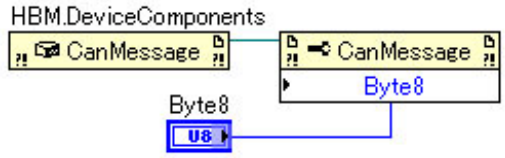
C#

```
public byte Byte8 { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Byte8 As Byte
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Byte |

## CanMessage.ByteCount Property

CANメッセージのバイト数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

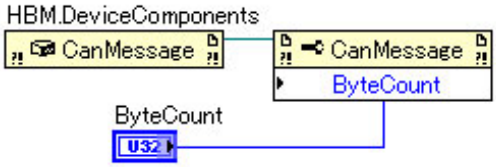
C#

```
public uint ByteCount { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ByteCount As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## CanMessage.ExtendedFrame Property

メッセージのフレームフォーマット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

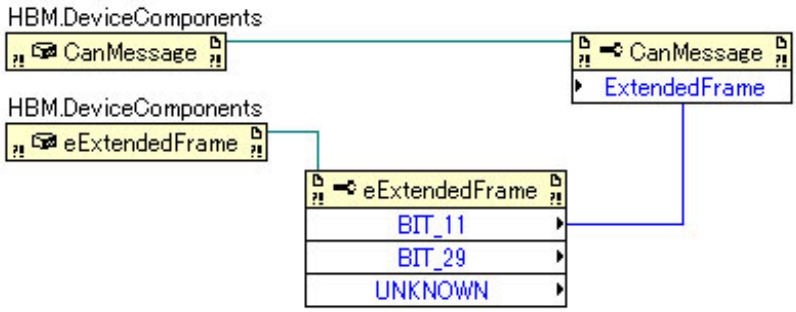
C#

```
public eExtendedFrame ExtendedFrame { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ExtendedFrame As eExtendedFrame
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eExtendedFrame |

## CanMessage.Identifier Property

メッセージのID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

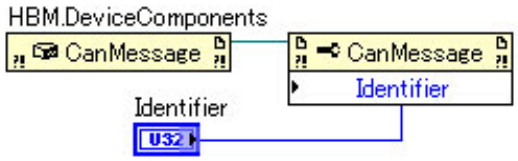
C#

```
public uint Identifier { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Identifier As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## CanMessage.RepetitionTime Property

繰り返し時間(0=off)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

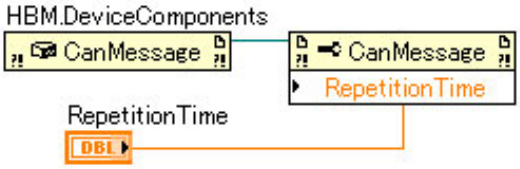
C#

```
public double RepetitionTim { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RepetitionTime As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# CanOutChannelクラス

**CanOutChannel Class**
CAN出力チャネルのパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class CanOutChannel : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class CanOutChannel
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.CanOutChannel

## CanOutChannel Members

CanOutChannel型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CanOutChannel() | CanOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| CanOutChannel(String) | CanOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCanOutChannelプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CanOutChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | このチャネルが有効かどうかの判定。 |
| CanMessage | CANメッセージの定義。 |
| ChannelName | チャネル名。 |
| ChannelNumber | チャネル番号(0～127)。 |
| OriginOfName | チャネル名のタイプ。 |

## CanOutChannel Constructor

CanOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public CanOutChannel()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## CanOutChannel Constructor(String)

CanOutChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public CanOutChannel(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanOutChannel.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | CanOutChannelオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## CanOutChannel.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCanOutChannelプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

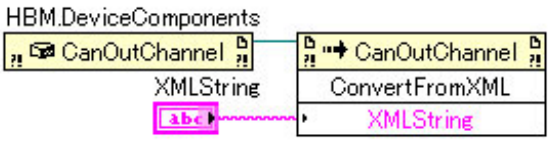
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanOutChannel.ConvertToXML Method

CanOutChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

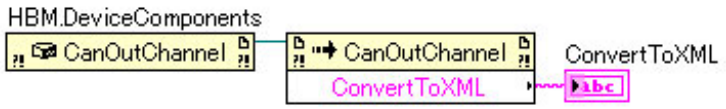
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CanOutChannelプロパティのXML表現。 |

## CanOutChannel.Active Property

このチャネルが有効かどうかの判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

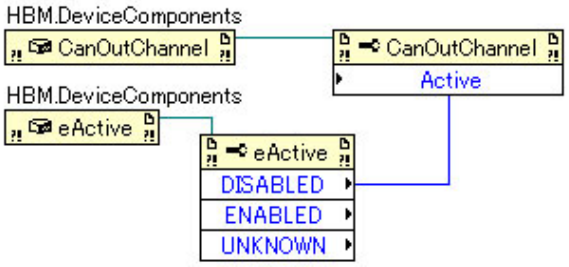
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## CanOutChannel.CanMessage Property

CANメッセージの定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

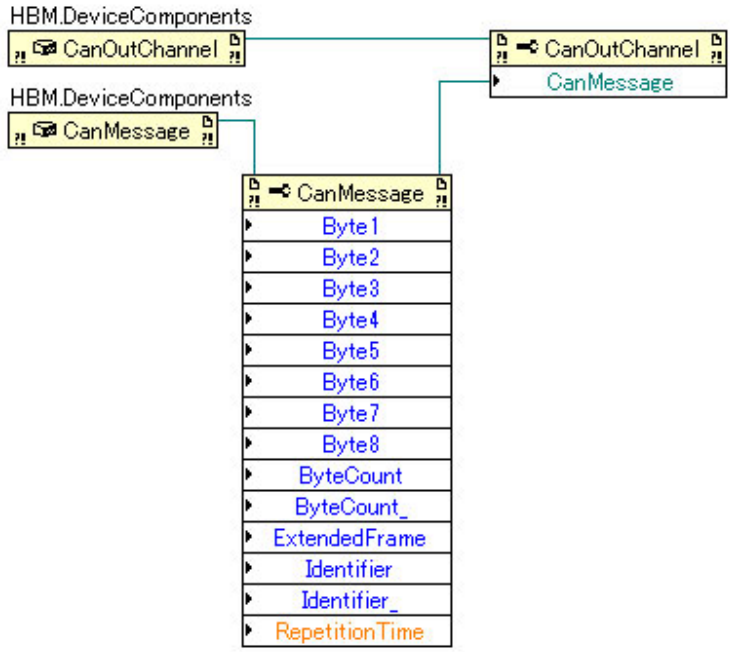
C#

```
public CanMessage CanMessage { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanMessage As CanMessage
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: CanMessage |

## CanOutChannel.ChannelName Property

チャネル名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

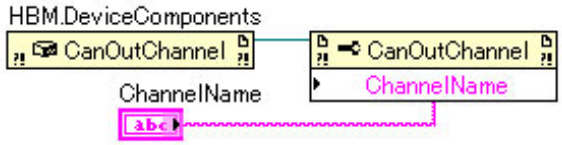
C#

```
public string ChannelName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ChannelName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## CanOutChannel.ChannelNumber Property

チャネル番号(0～127)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

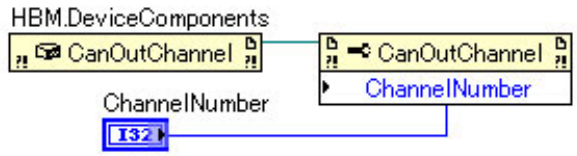
C#

```
public int ChannelNumber { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ChannelNumber As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## CanOutChannel.OriginOfName Property

チャネル名のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

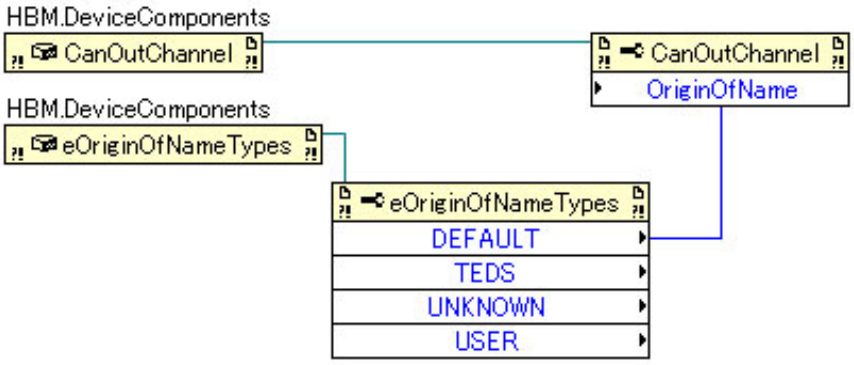
C#

```
public eOriginOfNameTypes OriginOfName { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OriginOfName As eOriginOfNameTypes
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOriginOfNameTypes |

# CanSensorクラス

**CanSensor Class**
CANセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class CanSensor : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class CanSensor
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.CanSensor

## CanSensor Members

CanSensor型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CanSensor() | CanSensorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| CanSensor(String) | CanSensorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCanSensorプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CanSensorプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| BitSequence | ビットシーケンス。 |
| ExtendedFrame | メッセージのフレームフォーマット。 |
| Identifier | メッセージのID。 |
| Max | 最大値。 |
| Min | 最小値。 |
| ModeBitSequence | ビットシーケンスのモード値。 |
| ModeLength | モード値長。 |
| ModeStartbit | モード値のスタートビット。 |
| ModeValue | モード値。 |
| ModeValueFormat | モード値の形式。 |
| PhysicalUnit | センサの出力信号の物理単位。 |
| PhysicalUnitUser | チャネルの出力信号(ユーザ定義)の物理単位。 |
| RawValueFormat | 生データの形式。 |
| ScalingFactor | スケーリング。 |
| ScalingOffset | オフセット。 |
| SignalLength | 信号長。 |
| SignalName | 信号名。 |
| SignalType | 信号タイプ。 |
| StartBit | スタートビット。 |
| Tag | タグの取得または設定。<br>内部でのみ使用するため、PropertyGrid、COMインターフェスやIntelliSenseには表示されません。 |

## CanSensor Constructor

CanSensorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

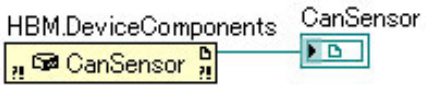
C#

```
public CanSensor()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## CanSensor Constructor(String)

CanSensorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

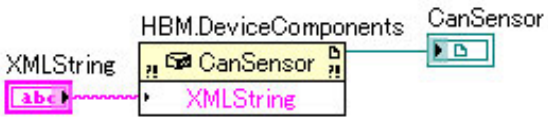
C#

```
public CanSensor(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanSensor.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | CanSensorオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## CanSensor.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCanSensorプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanSensor.ConvertToXML Method

CanSensorプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

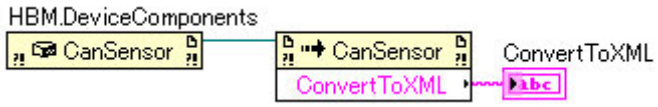
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CanSensorプロパティのXML表現。 |

## CanSensor.BitSequence Property

ビットシーケンス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

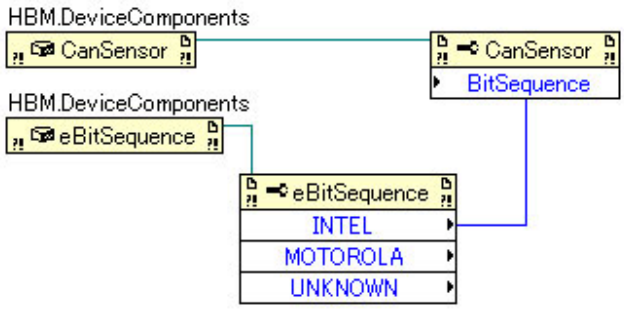
C#

```
public eBitSequence BitSequence { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property BitSequence As eBitSequence
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eBitSequence |

## CanSensor.ExtendedFrame Property

メッセージのフレームフォーマット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

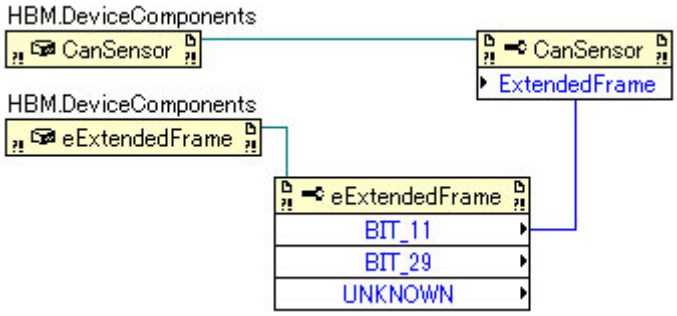
C#

```
public eExtendedFrame ExtendedFrame { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ExtendedFrame As eExtendedFrame
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eExtendedFrame |

## CanSensor.Identifier Property

メッセージのID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

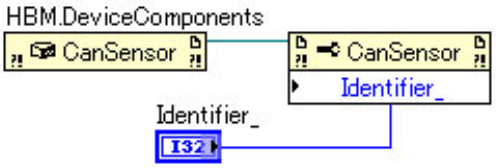
C#

```
public Nullable<uint> Identifier { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Identifier As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## CanSensor.Max Property

最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

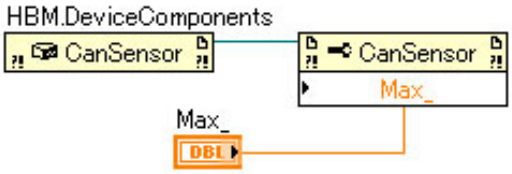
C#

```
public Nullable<double> Max { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Max As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## CanSensor.Min Property

最小値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

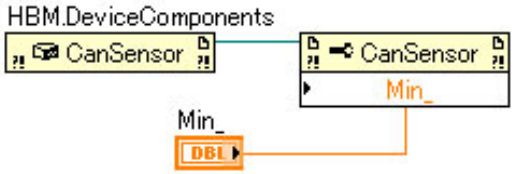
C#

```
public Nullable<double> Min { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Min As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## CanSensor.ModeBitSequence Property

ビットシーケンスのモード値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

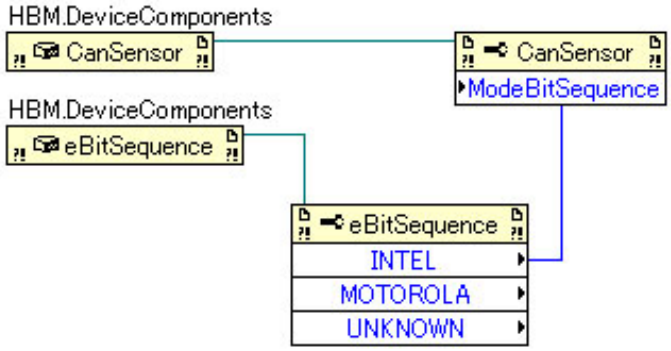
C#

```
public eBitSequence ModeBitSequence { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModeBitSequence As eBitSequence
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eBitSequence |

## CanSensor.ModeLength Property

モード値長。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

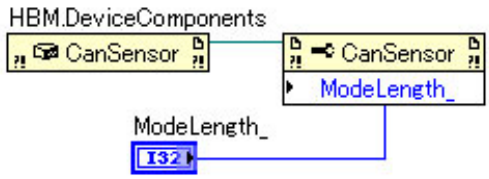
C#

```
public Nullable<uint> ModeLength { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModeLength As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## CanSensor.ModeStartbit Property

モード値のスタートビット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

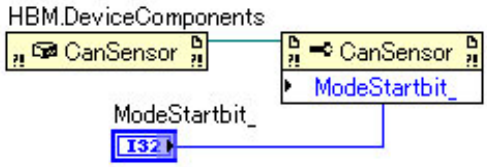
C#

```
public Nullable<uint> ModeStartbit { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModeStartbit As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## CanSensor.ModeValue Property

モード値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

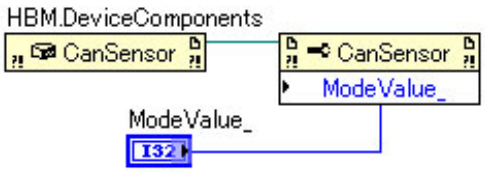
C#

```
public Nullable<long> ModeValue { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModeValue As Nullable(Of Long)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Int64) |

## CanSensor.ModeValueFormat Property

モード値の形式。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

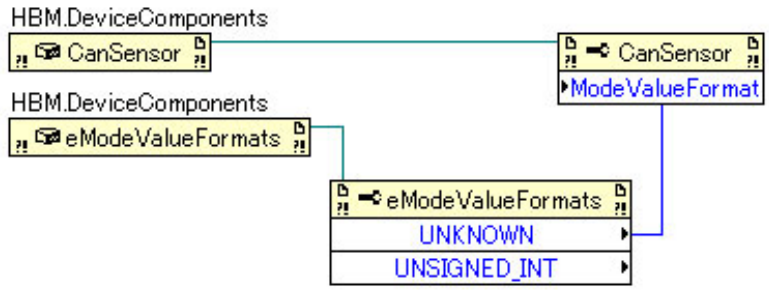
C#

```
public eModeValueFormats ModeValueFormat { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModeValueFormat As eModeValueFormats
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eModeValueFormats |

## CanSensor.PhysicalUnit Property

センサの出力信号の物理単位。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

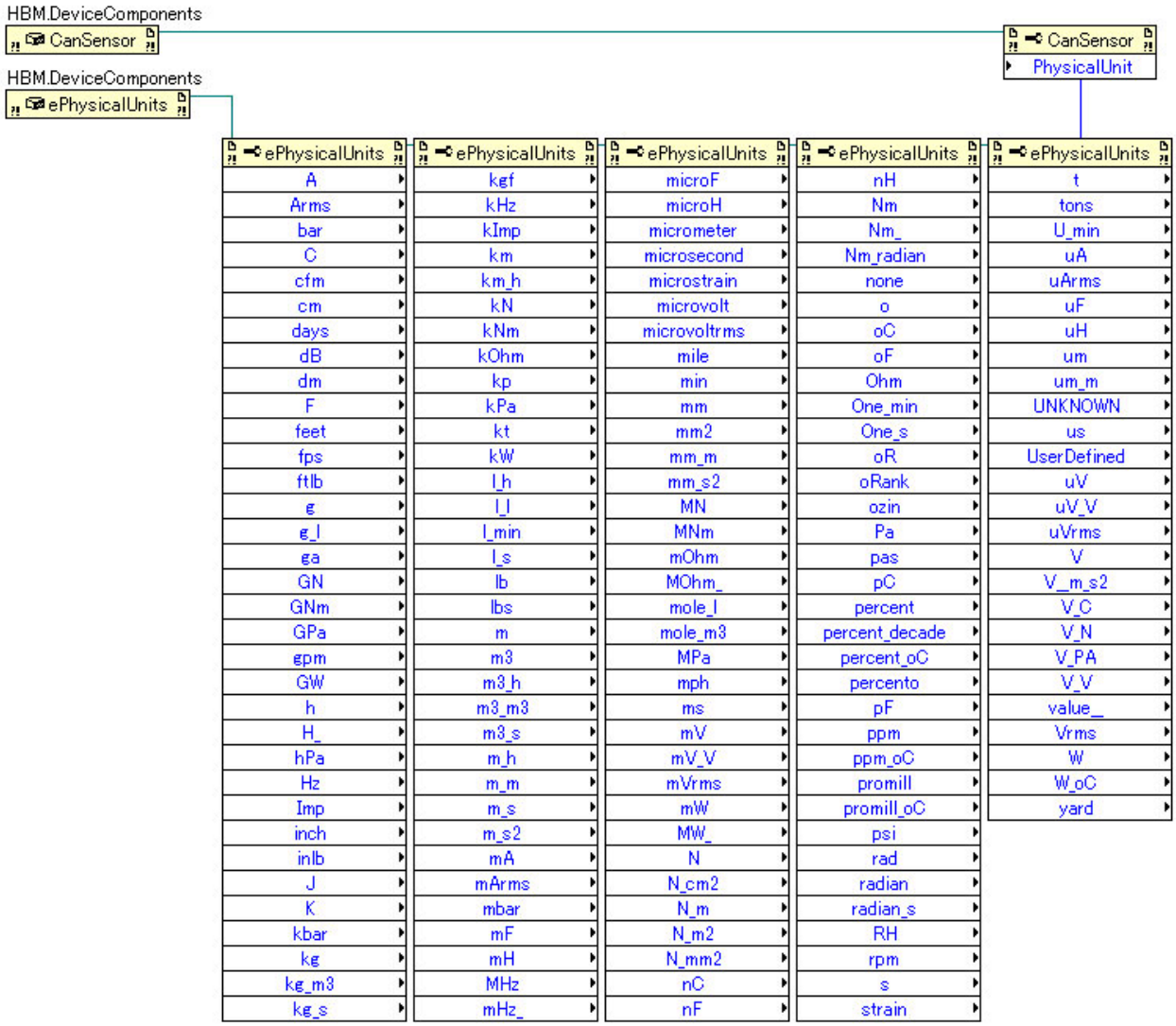
C#

```
public ePhysicalUnits PhysicalUnit { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PhysicalUnit As ePhysicalUnits
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePhysicalUnits |

## CanSensor.PhysicalUnitUser Property

チャネルの出力信号(ユーザ定義)の物理単位。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

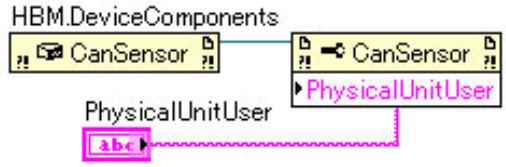
C#

```
public string PhysicalUnitUser { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PhysicalUnitUser As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## CanSensor.RawValueFormat Property

生データの形式。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

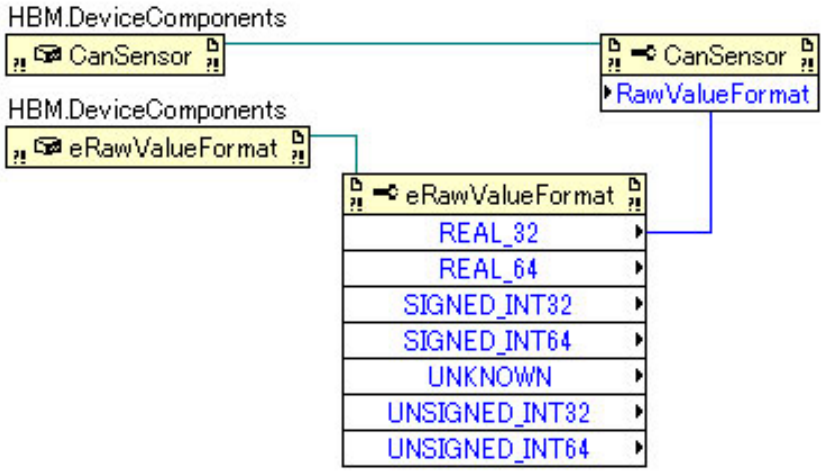
C#

```
public eRawValueFormat RawValueFormat { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RawValueFormat As eRawValueFormat
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eRawValueFormat |

## CanSensor.ScalingFactor Property

スケーリング。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

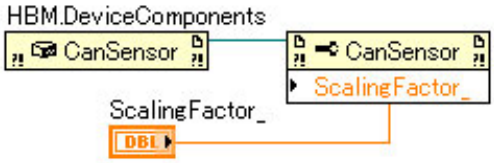
C#

```
public Nullable<double> ScalingFactor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ScalingFactor As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## CanSensor.ScalingOffset Property

オフセット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

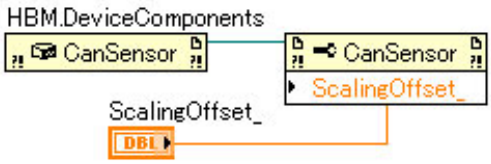
C#

```
public Nullable<double> ScalingOffset { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ScalingOffset As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## CanSensor.SignalLength Property

信号長。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

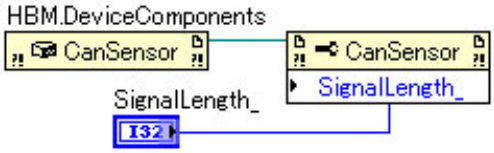
C#

```
public Nullable<uint> SignalLength { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalLength As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## CanSensor.SignalName Property

信号名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

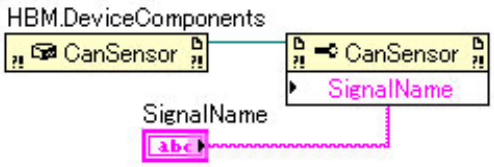
C#

```
public string SignalName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## CanSensor.SignalType Property

信号タイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

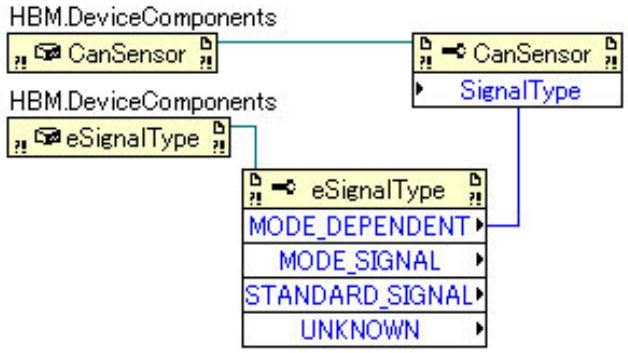
C#

```
public eSignalType SignalType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalType As eSignalType
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSignalType |

## CanSensor.StartBit Property

信号名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

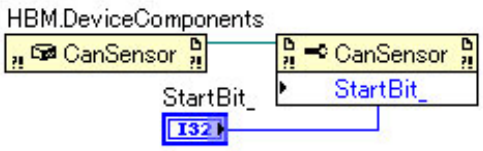
C#

```
public Nullable<uint> StartBit { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property StartBit As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## CanSensor.Tag Property

タグの取得または設定。
内部でのみ使用するため、PropertyGrid、COMインターフェスやIntelliSenseには表示されません。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

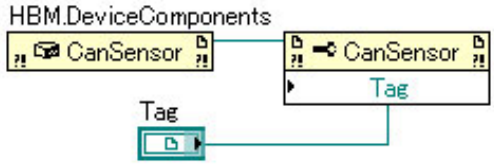
C#

```
public Object Tag { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Tag As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

# CanTransmitChannelクラス

**CanTransmitChannel Class**
CAN送信チャネルのパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class CanTransmitChannel : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class CanTransmitChannel
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.CanTransmitChannel

## CanTransmitChannel Members

CanTransmitChannel型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CanTransmitChannel() | CanTransmitChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| CanTransmitChannel(String) | CanTransmitChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCanTransmitChannelプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CanTransmitChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | このチャネルが有効(測定値を提供できる)かどうかの判定。 |
| CanTransmitMsg | CAN送信メッセージの設定。 |
| ChannelName | チャネル名。 |
| Input | ファンクションブロック入力の設定。 |
| Number | 信号番号(0..255) |
| OriginOfName | チャネル名のタイプ。 |

## CanTransmitChannel Constructor

CanTransmitChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

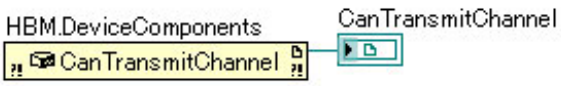
C#

```
public CanTransmitChannel()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## CanTransmitChannel Constructor(String)

CanTransmitChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public CanTransmitChannel(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanTransmitChannel.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

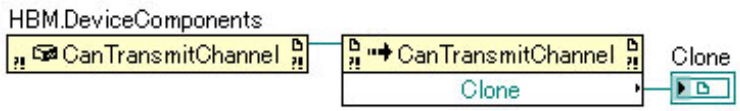
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | CanTransmitChannelオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## CanTransmitChannel.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCanTransmitChannelプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

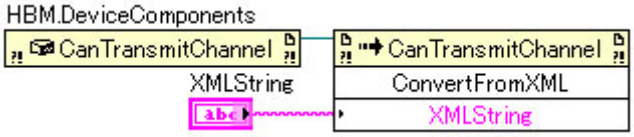
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanTransmitChannel.ConvertToXML Method

CanTransmitChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CanTransmitChannelプロパティのXML表現。 |

## CanTransmitChannel.Active Property

このチャネルが有効(測定値を提供できる)かどうかの判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

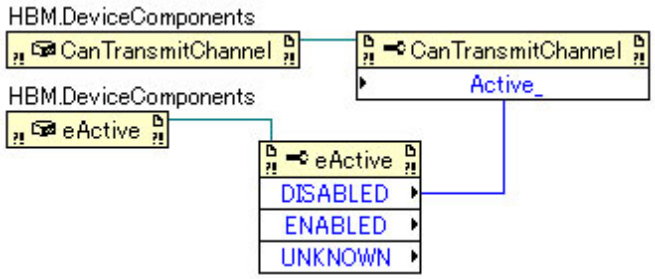
C#

```
public Nullable<eActive> Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As Nullable(Of eActive)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## CanTransmitChannel.CanTransmitMsg Property

CAN送信メッセージの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

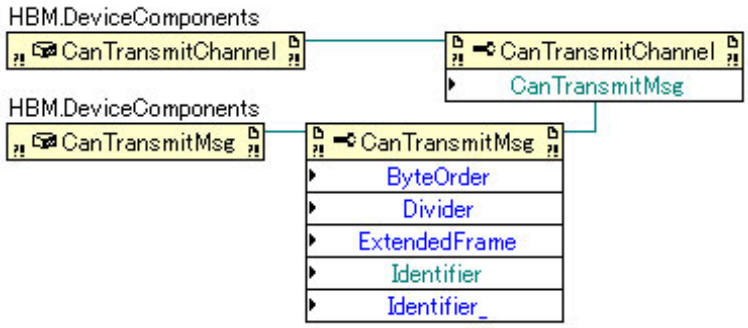
C#

```
public CanTransmitMsg CanTransmitMsg { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanTransmitMsg As CanTransmitMsg
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: CanTransmitMsg |

## CanTransmitChannel.ChannelName Property

チャネル名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

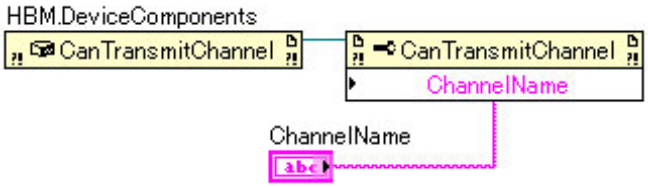
C#

```
public string ChannelName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ChannelName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## CanTransmitChannel.Input Property

ファンクションブロック入力の設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

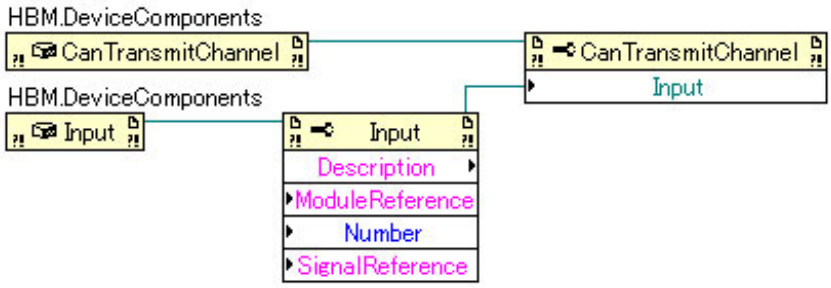
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## CanTransmitChannel.Number Property

信号番号(0..255)

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

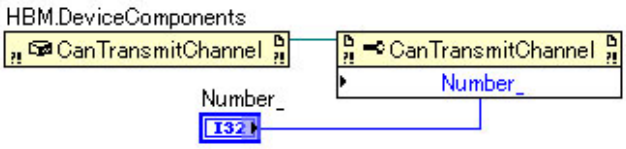
C#

```
public Nullable<int> Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Nullable(Of Integer)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Int32) |

## CanTransmitChannel.OriginOfName Property

チャネル名のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

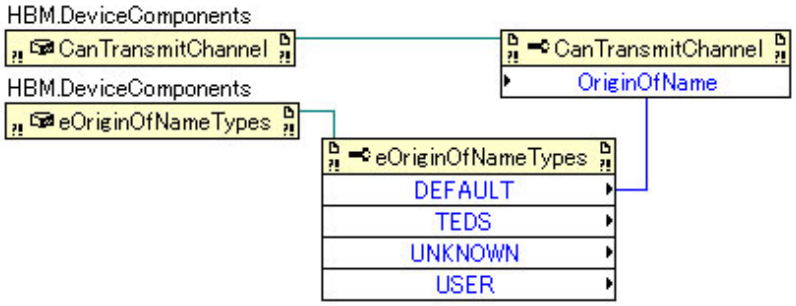
C#

```
public eOriginOfNameTypes OriginOfName { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OriginOfName As eOriginOfNameTypes
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOriginOfNameTypes |

# CanTransmitMsgクラス

**CanTransmitMsg Class**
CAN送信メッセージのパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class CanTransmitMsg : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class CanTransmitMsg
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.CanTransmitMsg

## CanTransmitMsg Members

CanTransmitMsg型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CanTransmitMsg() | CanTransmitMsgクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| CanTransmitMsg(String) | CanTransmitMsgクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCanTransmitMsgプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CanTransmitMsgプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ByteOrder | バイトオーダー。 |
| Divider | 伝送タイプ=254時は伝送周期を使用。 |
| ExtendedFrame | フレームフォーマット |
| Identifier | メッセージのID。 |

## CanTransmitMsg Constructor

CanTransmitMsgクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public CanTransmitMsg()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## CanTransmitMsg Constructor(String)

CanTransmitMsgクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public CanTransmitMsg(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanTransmitMsg.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

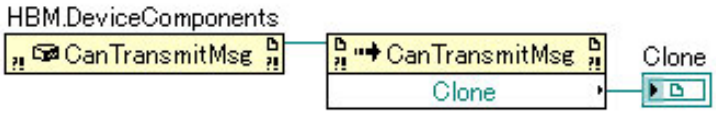
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | CanTransmitMsgオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## CanTransmitMsg.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCanTransmitMsgプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

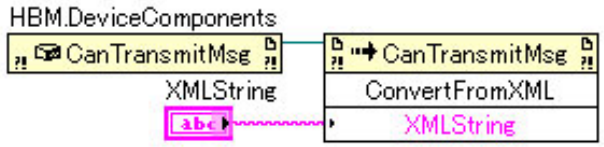
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## CanTransmitMsg.ConvertToXML Method

CanTransmitMsgプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

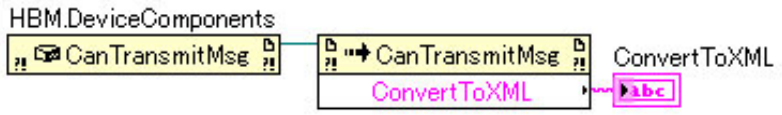
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CanTransmitMsgプロパティのXML表現。 |

## CanTransmitMsg.ByteOrder Property

バイトオーダー。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

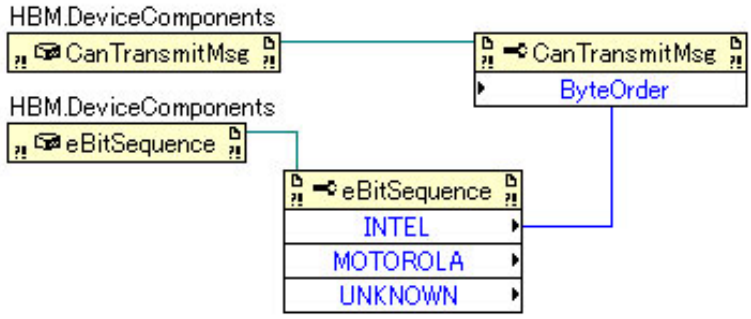
C#

```
public eBitSequence ByteOrder { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ByteOrder As eBitSequence
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eBitSequence |

## CanTransmitMsg.Divider Property

伝送タイプ=254時は伝送周期を使用。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

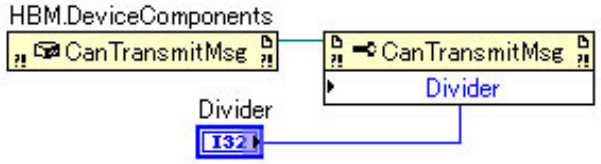
C#

```
public int Divider { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Divider As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## CanTransmitMsg.ExtendedFrame Property

フレームフォーマット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

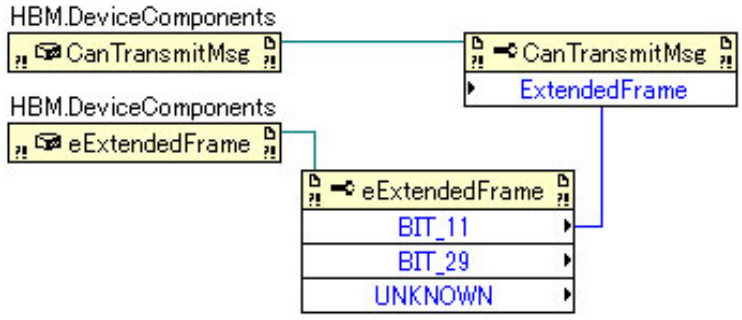
C#

```
public eExtendedFrame ExtendedFrame { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ExtendedFrame As eExtendedFrame
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eExtendedFrame |

## CanTransmitMsg.Identifier Property

メッセージのID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

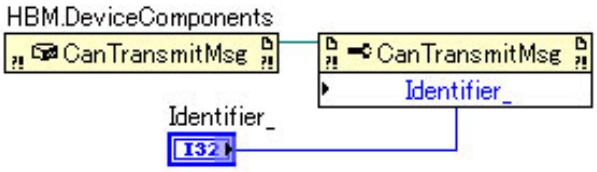
C#

```
public Nullable<uint> Identifier { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Identifier As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

# Communicationクラス

**Communication Class**
デバイスの通信パラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Communication : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Communication
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Communication

## Communication Members

Communication型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Communication() | Communicationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Communication(String) | Communicationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCommunicationプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CommunicationプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Network | TCP/IPネットワークの通信設定。 |

## Communication Constructor

Communicationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

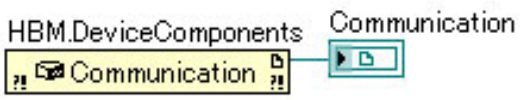
C#

```
public Communication()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Communication Constructor(String)

Communicationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Communication(
       string xml
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       xml As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| xml | System.String | XML。 |

## Communication.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Communicationオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Communication.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCommunicationプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

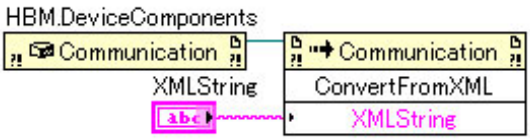
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Communication.ConvertToXML Method

CommunicationプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | CommunicationプロパティのXML表現。 |

## Communication.Network Property

TCP/IPネットワークの通信設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

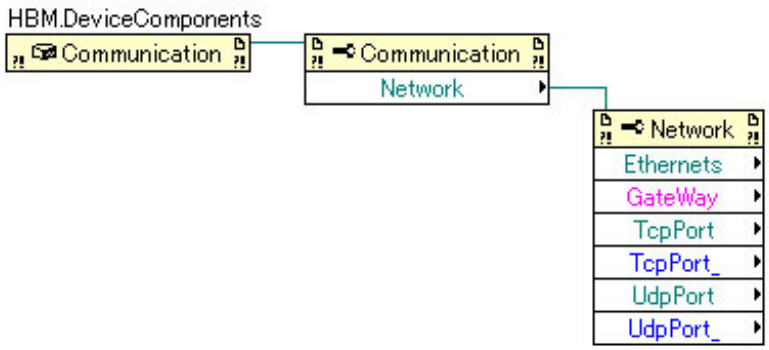
C#

```
public Network Network { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Network As Network
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Network |

# Connectorクラス

**Connector Class**
すべてのコネクタのサブコンポーネントを表します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Connector : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Connector
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Connector

## Connector Members

Connector型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Connector() | Connectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Connector(String) | Connectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Connector(eConnectorTypes, Int32) | Connectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをConnectorプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ConnectorプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveType | コネクタタイプ(アナログ入力、CAN-Bus等)。 |
| AnalogInChannel | アナログ入力チャネルのすべてのサブコンポーネントを記述。 |
| CanBus | CAN-Busに接続されたすべてのチャネルを収集。 |
| Number | コネクタ数(0..n: nはデバイスタイプに依存)。<br>例: MX840はn=7。MX1609はn=16)。 |

## Connector Constructor

Connectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

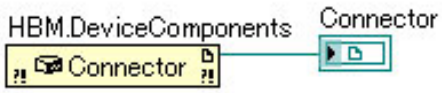
C#

```
public Connector()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Connector Constructor(String)

Connectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Connector(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Connector Constructor(eConnectorTypes, Int32)

Connectorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

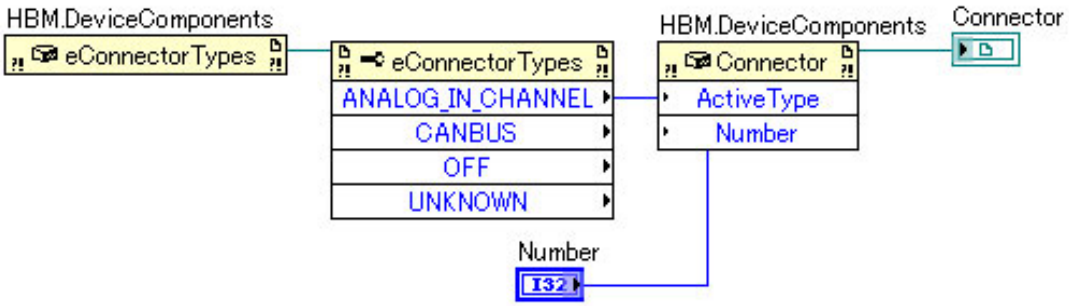
C#

```
public Connector(
       eConnectorTypes ActiveType,
       int Number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       ActiveType As eConnectorTypes,
       Number As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ActiveType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | コネクタタイプ。 |
| Number | System.Int32 | コネクタ番号。 |

## Connector.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

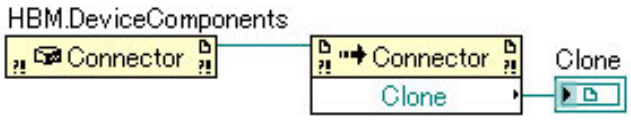
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Connectorオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Connector.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをConnectorプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Connector.ConvertToXML Method

Connectorプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Connectorプロパティ のXML表現。 |

## Connector.ActiveType Property

コネクタタイプ(アナログ入力、CAN-Bus等)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

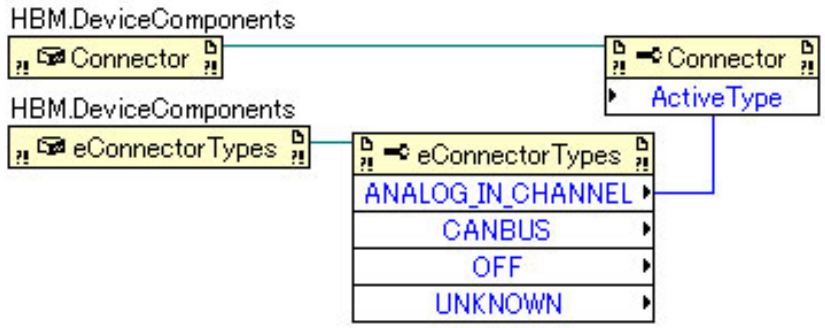
C#

```
public eConnectorTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eConnectorTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eConnectorTypes |

## Connector.AnalogInChannel Property

アナログ入力チャネルのすべてのサブコンポーネントを記述。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

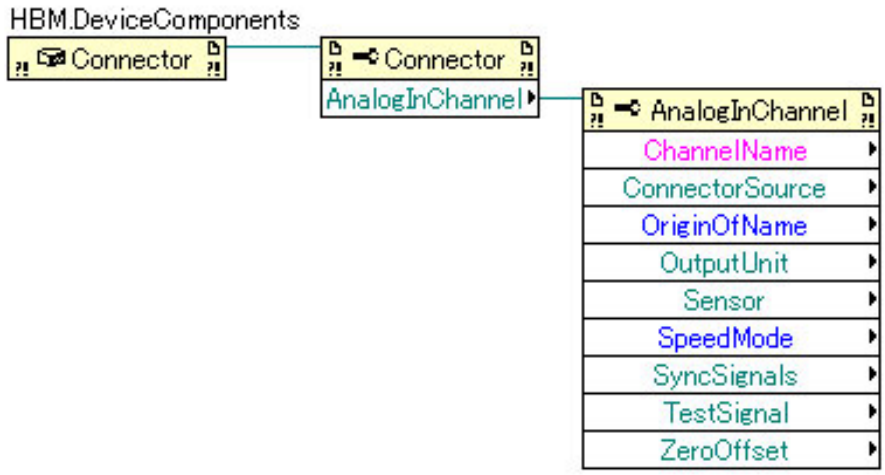
C#

```
public AnalogInChannel AnalogInChannel { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AnalogInChannel As AnalogInChannel
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AnalogInChannel |

## Connector.CanBus Property

CAN-Busに接続されたすべてのチャネルを収集。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

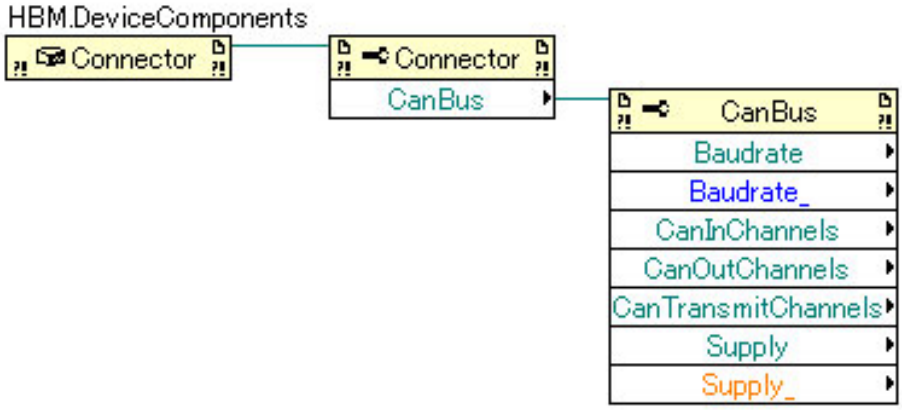
C#

```
public CanBus CanBus { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanBus As CanBus
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: CanBus |

## Connector.Number Property

コネクタ数(0..n: nはデバイスタイプに依存)。
例: MX840はn=7。MX1609はn=16)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

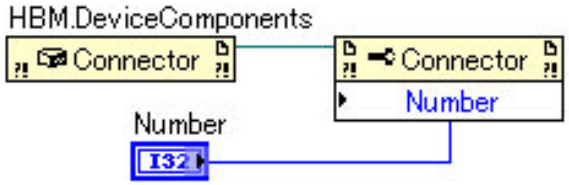
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

# Constantクラス

**Constant Class**
テスト信号の定数を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Constant : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Constant
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Constant

## Constant Members

Constant型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Constant() | Constantクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Constant(String) | Constantクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをConstantプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ConstantプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Value | テスト信号の定数値。 |

## Constant Constructor

Constantクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

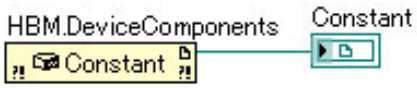
C#

```
public Constant()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Constant Constructor(String)

Constantクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Constant(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Constant.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Constantオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Constant.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをConstantプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

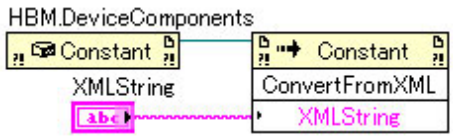
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Constant.ConvertToXML Method

ConstantプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ConstantプロパティのXML表現。 |

## Constant.Value Property

テスト信号の定数値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

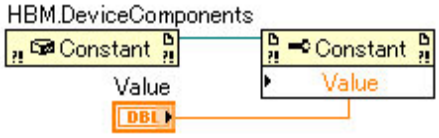
C#

```
public double Value { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Value As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# ControllerOutputクラス

**ControllerOutput Class**
PID計算のコントローラ出力定義を設定するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ControllerOutput : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class ControllerOutput
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ControllerOutput

## ControllerOutput Members

ControllerOutput型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ControllerOutput() | ControllerOutputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ControllerOutput(String) | ControllerOutputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをControllerOutputプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ControllerOutputプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DefaultValue | PIDコントローラ無効時のコントローラ出力値。 |
| Max | コントローラ有効時のPIDコントローラ出力の上限。 |
| Min | コントローラ有効時のPIDコントローラ出力の下限。 |

## ControllerOutput Constructor

ControllerOutputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

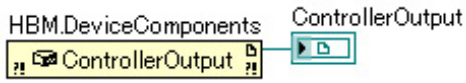
C#

```
public ControllerOutput()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ControllerOutput Constructor(String)

ControllerOutputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

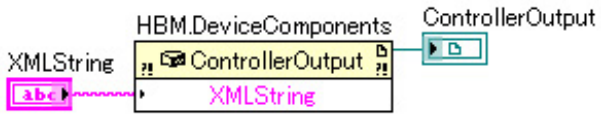
C#

```
public ControllerOutput(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ControllerOutput.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | ControllerOutputオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## ControllerOutput.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをControllerOutputプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

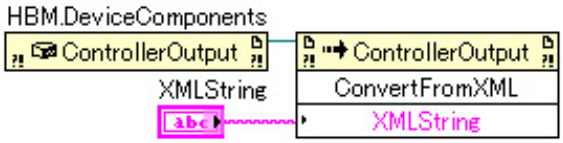
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ControllerOutput.ConvertToXML Method

ControllerOutputプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

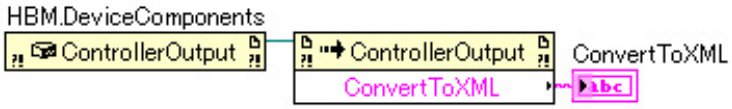
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ControllerOutputプロパティのXML表現。 |

## ControllerOutput.DefaultValue Property

PIDコントローラ無効時のコントローラ出力値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

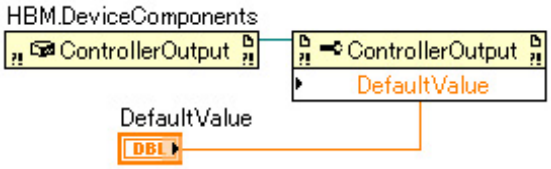
C#

```
public double DefaultValue { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DefaultValue As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## ControllerOutput.Max Property

コントローラ有効時のPIDコントローラ出力の上限。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

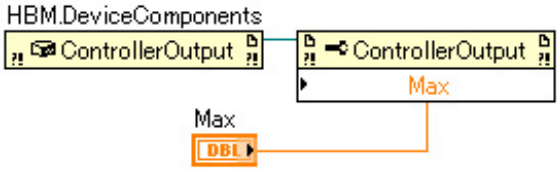
C#

```
public double Max { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Max As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## ControllerOutput.Min Property

コントローラ有効時のPIDコントローラ出力の下限。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

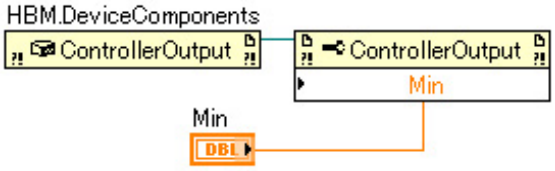
C#

```
public double Min { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Min As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# Counterクラス

**Counter Class**
カウンタセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Counter : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Counter
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Counter

## Counter Members

Counter型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Counter() | Counterクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Counter(String) | Counterクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCounterプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CounterプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| IndexDivisor | 分周するインデックスの取得または設定。<br>この値でインデックス信号を分周。0出力を頻繁に発生させない。 |
| IndexEnabled | この位置でカウンタ値を0にリセットするため、センサのインデックス信号を有効または無効にする。 |
| PulsesPerRound | 1周あたりのパルス数の取得または設定。 |
| QuadratureSignalEnabled | 2つの90°位相信号と同様に、立ち上がりおよび立ち下がりエッジの使用の有効化。 |
| Signal2Enabled | カウント方向を決定できるよう、2つの90°位相信号を使用の有効化。 |
| SpecialParameters | 特殊パラメータの取得または設定。 |

## Counter Constructor

Counterクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

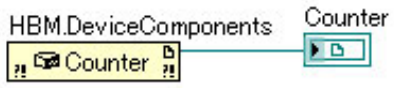
C#

```
public Counter()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Counter Constructor(String)

Counterクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Counter(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Counter.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

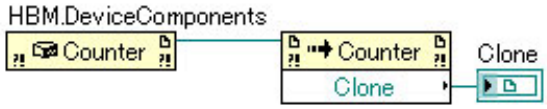
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Counterオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Counter.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCounterプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Counter.ConvertToXML Method

Counterプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Counterプロパティの XML表現。 |

## Counter.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

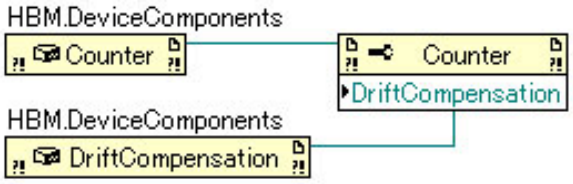
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Counter.IndexDivisor Property

分周するインデックスの取得または設定。
この値でインデックス信号を分周。0出力を頻繁に発生させない。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<int> IndexDivisor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IndexDivisor As Nullable(Of Integer)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Int32) |

## Counter.IndexEnabled Property

この位置でカウンタ値を0にリセットするため、センサのインデックス信号を有効または無効にする。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

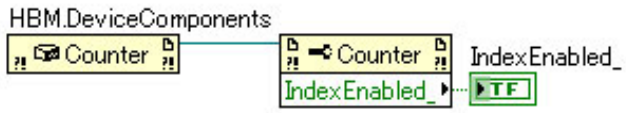
C#

```
public Nullable<bool> IndexEnabled { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IndexEnabled As Nullable(Of Boolean)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Boolean) |

## Counter.PulsesPerRound Property

1周あたりのパルス数の取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

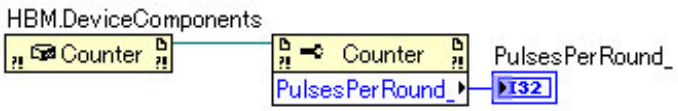
C#

```
public Nullable<int> PulsesPerRound { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PulsesPerRound As Nullable(Of Integer)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Int32) |

## Counter.QuadratureSignalEnabled Property

2つの90°位相信号と同様に、立ち上がりおよび立ち下がりエッジの使用の有効化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<bool> QuadratureSignalEnabled { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property QuadratureSignalEnabled As Nullable(Of Boolean)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Boolean) |

## Counter.Signal2Enabled Property

カウント方向を決定できるよう、2つの90°位相信号を使用の有効化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

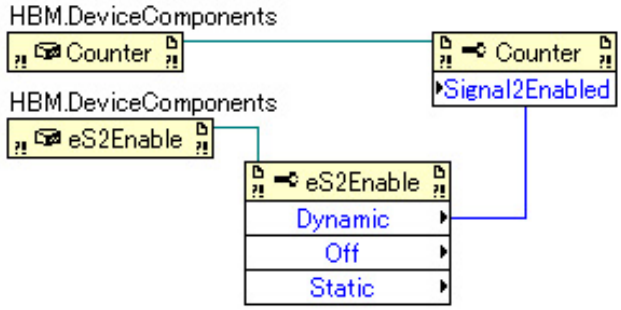
C#

```
public eS2Enable Signal2Enabled { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signal2Enabled As eS2Enable
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eS2Enable |

## Counter.SpecialParameters Property

特殊パラメータの取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

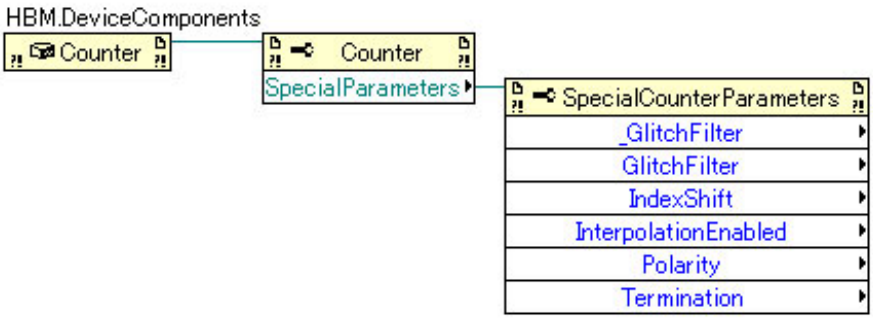
C#

```
public SpecialCounterParameters SpecialParameters { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialParameters As SpecialCounterParameters
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SpecialCounterParameters |

# Currentクラス

**Current Class**
電流センサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Current : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Current
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Current

## Current Members

Current型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Current() | Currentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Current(String) | Currentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをCurrentプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | CurrentプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大容量。 |

## Current Constructor

Currentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Current()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Current Constructor(String)

Currentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Current(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Current.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

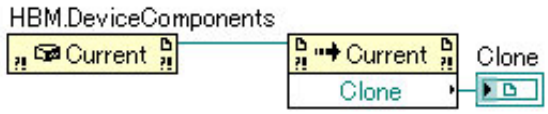
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Currentオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Current.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをCurrentプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Current.ConvertToXML Method

Currentプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

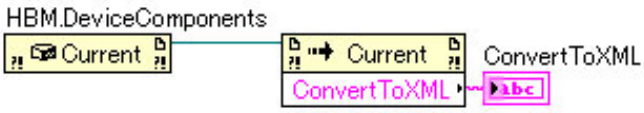
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Currentプロパティ のXML表現。 |

## Current.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

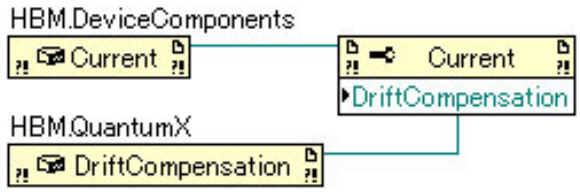
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Current.MaxElectrical Property

センサの最大容量。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

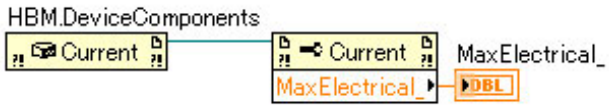
C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# CUtilクラス

**CUtil Class**
この静的クラスにはいくつかのヘルパーメソッドが含まれます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public static class CUtil
```

Visual Basic
```
Public NotInheritable Class CUtil
```

継承階層

System.Object
  HBM.DeviceComponents.CUtil

## CUtil Members

CUtil型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| WriteLog(eTraceType, Int32, String) | トレースログに書き込みます。 |
| WriteLog(eTraceType, Int32, String, Object[]) | トレースログを初期化して書き込みます。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| TraceSource | ロギングのためのトレースソースを設定または取得。 |
| UseTraceLog | .NETスタイルのトレースログを使用するかを決定または取得。 |

## CUtil.WriteLog(eTraceType, Int32, String)

トレースログに書き込みます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

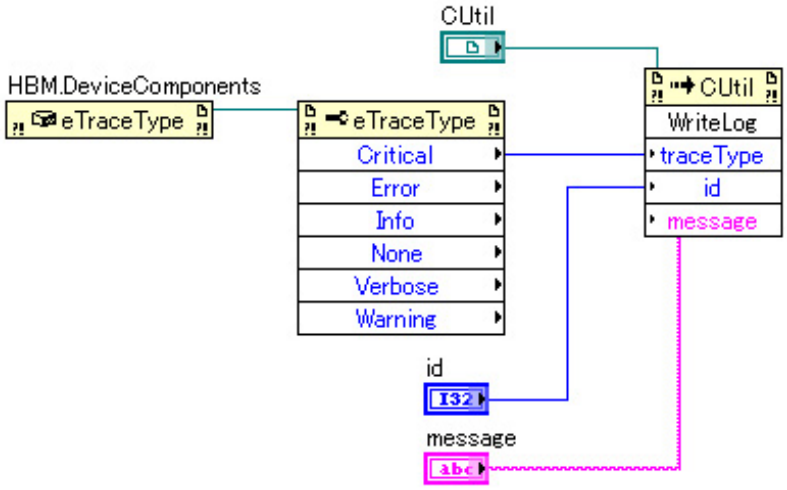
C#

```
public static void WriteLog(
       eTraceType traceType,
       int id,
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub WriteLog (
       traceType As eTraceType,
       id As Integer,
       message As String
)
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| traceType | Type: HBM.DeviceComponents.eTraceType | トレース情報。 |
| id | Type: System.Int32 | ID。 |
| message | Type: System.String | メッセージ。 |

## CUtil.WriteLog Method (eTraceType, Int32, String, Object[])

トレースログを初期化して書き込みます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

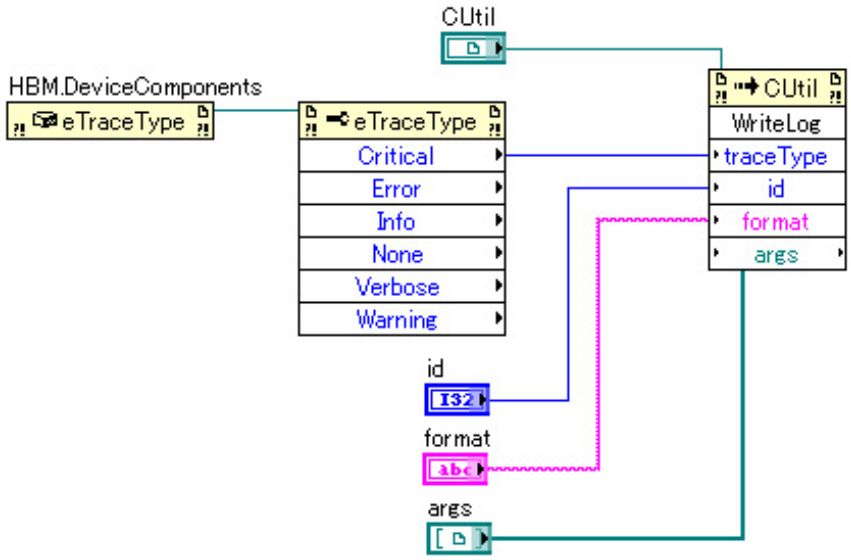
C#

```
public static void WriteLog(
       eTraceType traceType,
       int id,
       string format,
       params Object[] args
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub WriteLog (
       traceType As eTraceType,
       id As Integer,
       format As String,
       ParamArray args As Object()
)
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| traceType | Type: HBM.DeviceComponents.eTraceType | トレース情報。 |
| id | Type: System.Int32 | ID。 |
| format | Type: System.String | フォーマット。 |
| args | Type: System.Object[] | 引数オブジェクト。 |

## CUtil.TraceSource Property

ロギングのためのトレースソースを設定または取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

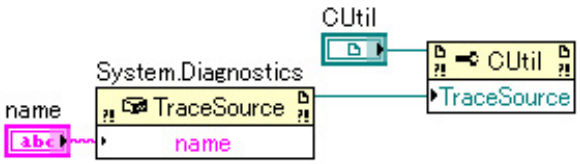
C#

```
public static TraceSource TraceSource { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Shared Property TraceSource As TraceSource
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: TraceSource<br>トレースソースオブジェクトへの参照。 |

注釈

Nullに設定して、APIトレースロギングを無効にした場合にこのプロパティを設定すると、自動的にAPIトレースロギングを有効にします。

プロパティは既定のレベルスイッチおよびフィルタリング規則に従い、APIトレースアプリケーションが使用するファイルに追加設定ができます。

UseTraceLogを参照

## CUtil.UseTraceLog Property

.NETスタイルのトレースログを使用するかを決定または取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

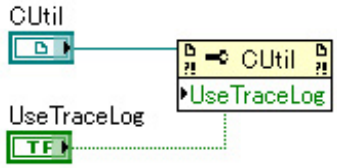
C#

```
public static bool UseTraceLog { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Shared Property UseTraceLog As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>トレースログを使用する場合はtrue。 |

注釈

APIトレースを切り替えると、デフォルトのトレースソースが作成されます("%APPDATA%\HBM\QuantumX_API\QX_API.log")。
アプリケーションのトレースログにロギングする可能性があります(TraceSourceを参照)。

# DataRateDomainクラス

**DataRateDomain Class**
データ信号領域に関する情報です。
可能なフィルタおよびフィルタ周波数や可能なサンプルレートを決定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class DataRateDomain : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class DataRateDomain
       Implements ICloneable
```

継承階層
System.Object
 HBM.DeviceComponents.DataRateDomain

## DataRateDomain Members

DataRateDomain型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DataRateDomain() | DataRateDomainクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DataRateDomain(String) | DataRateDomainクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDataRateDomainプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | DataRateDomainプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CurrentState | 現在使用中のデータレートドメイン。 |
| Request | 要求されたデータレートドメイン。 |

## DataRateDomain Constructor

DataRateDomainクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

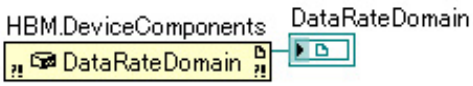
C#

```
public DataRateDomain()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## DataRateDomain Constructor(String)

DataRateDomainクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DataRateDomain(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DataRateDomain.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

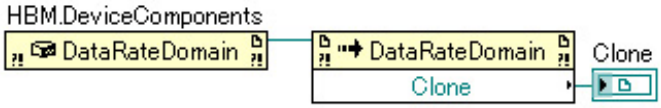
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | DataRateDomainオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## DataRateDomain.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをDataRateDomainプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

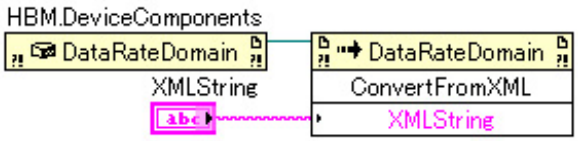
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DataRateDomain.ConvertToXML Method

DataRateDomainプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

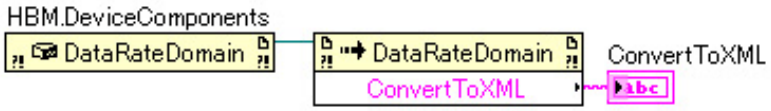
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | DataRateDomainプロパティのXML表現。 |

## DataRateDomain.CurrentState Property

現在使用中のデータレートドメイン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

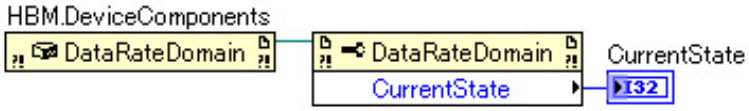
C#

```
public eDataRateDomain CurrentState { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CurrentState As eDataRateDomain
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eDataRateDomain |

## DataRateDomain.Request Property

要求されたデータレートドメイン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

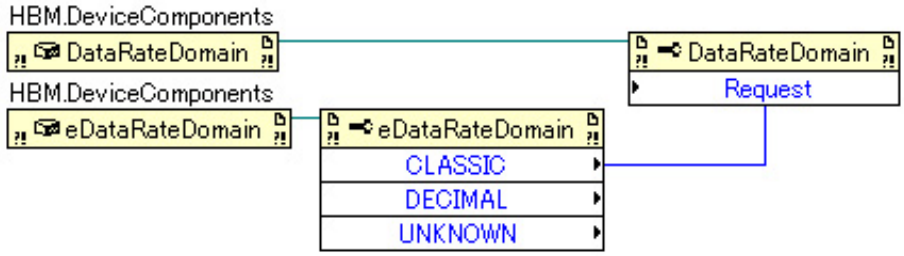
C#

```
public eDataRateDomain Request { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Request As eDataRateDomain
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eDataRateDomain |

# Delayedクラス

**Delayed Class**
遅延によるCAN-Busエラーモードを除外するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Delayed : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Delayed
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Delayed

## Delayed Members

Delayed型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Delayed() | Delayedクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Delayed(String) | Delayedクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDelayedプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | DelayedプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DelayTime | 秒単位の遅延時間。 |

## Delayed Constructor

Delayedクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

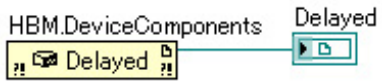
C#

```
public Delayed()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Delayed Constructor(String)

Delayedクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Delayed(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Delayed.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

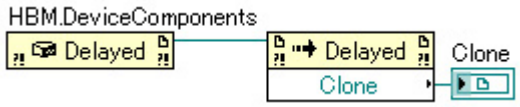
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Delayedオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Delayed.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをDelayedプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

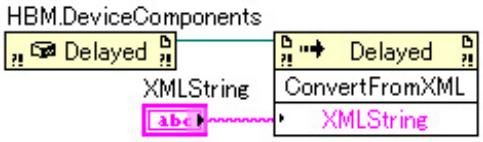
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Delayed.ConvertToXML Method

Delayedプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Delayedプロパティの XML表現。 |

## Delayed.DelayTime Property

秒単位の遅延時間。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

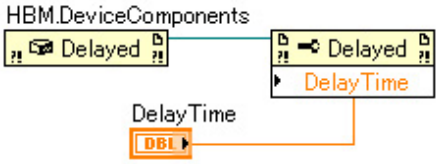
C#

```
public double DelayTime { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DelayTime As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# Deviceクラス

**Device Class**
QuantumXデバイスの持つ物理的なすべてのコネクタ、チャネル、センサおよび信号設定を反映するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Device : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Device
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Device

## Device Members

Device型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Device() | Deviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Device(Int32) | Deviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Device(String) | Deviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ContainsFeature(Int32, Object) | 指定したコネクタに指定した機能が含まれているかを判断します。 |
| ContainsFeature(Int32, eFeatureTypes, Int32) | 指定したコネクタに指定した機能が含まれているかを判断します。<br>この機能はActiveX(COM)使用時にのみを対象としてしています。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDeviceプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | Deviceのコネクタオブジェクトのみをを XMLスニペットに変換します。 |
| ConvertToXML(Boolean) | DeviceオブジェクトをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AdditionalConnectors | デバイスの追加コネクタ設定。 |
| AdditionalFunctions | デバイスの追加関数設定。 |
| Communication | デバイスの通信設定。 |
| Connectors | デバイスのコネクタ配列。 |
| DigitalIOPins | デバイスのデジタルI/O設定。 |
| Features | 機能の取得。 |
| System | デバイスのシステム変数(ファームウェアバージョンやモジュール名等)。 |
| UUID | デバイスのUUID。 |

## Device Constructor

Deviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

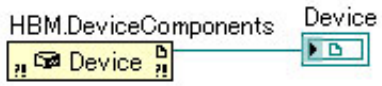
C#

```
public Device()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Device Constructor(Int32)

Deviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Device(
       int NumberOfConnectors
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       NumberOfConnectors As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.Int32 | コネクタ数。 |

## Device Constructor(String)

Deviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Device(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Device.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Deviceオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Device.ContainsFeature Method (Int32, Object)

指定したコネクタに指定した機能が含まれているかを判断します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

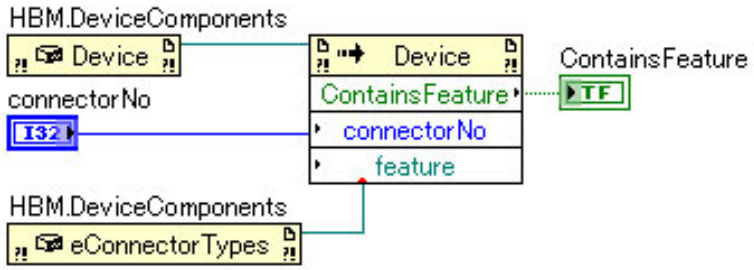
C#

```
public bool ContainsFeature(
      int connectorNo,
      Object feature
)
```

Visual Basic

```
Public Function ContainsFeature (
      connectorNo As Integer,
      feature As Object,
) As Boolean
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| connectorNo | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| feature | System.Object | 次の列挙型から一つを選択:<br>eConnectorTypes<br>eFilterTypes<br>eOutputFilterTypes<br>eMathTypes<br>eScalingTypes<br>eSensorTypes |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ContainsFeature | Boolean | 指定したしたコネクタに機能が含まれている場合true。 |

備考

この関数はQXSystem.ReadDevice()で返されたデバイスオブジェクトでのみ働きます。

## Device.ContainsFeature Method (Int32, eFeatureTypes, Int32)

指定したコネクタに指定した機能が含まれているかを判断します。
この機能はActiveX(COM)使用時にのみを対象としてしています。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

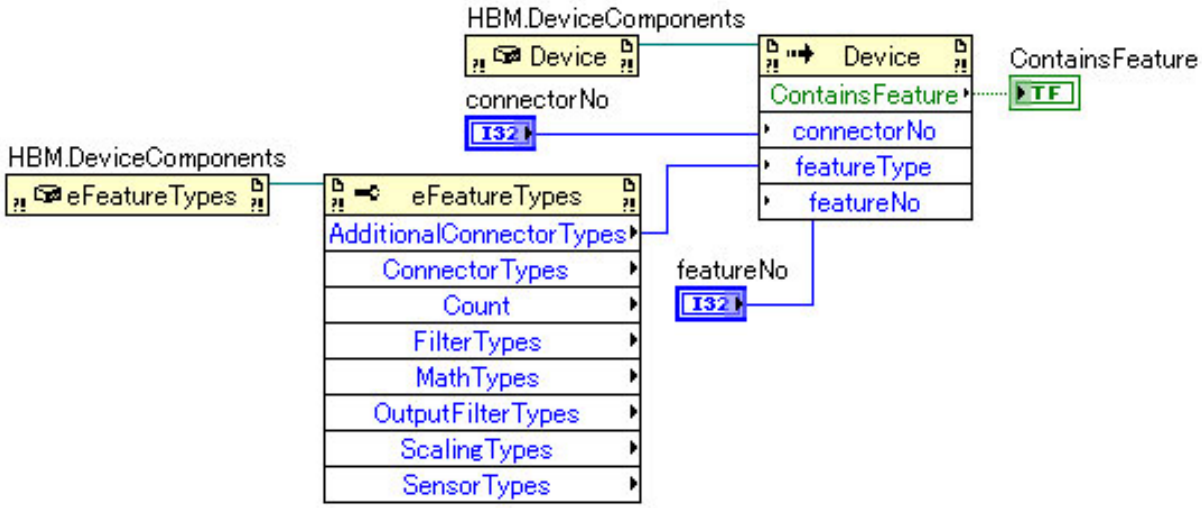
C#

```
public bool ContainsFeature(
       int connectorNo,
       eFeatureTypes featureType,
       Object feature
)
```

Visual Basic

```
Public Function ContainsFeature (
       connectorNo As Integer,
       feature As Object,
) As Boolean
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| connectorNo | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| featureType | HBM.DeviceComponents.eFeatureTypes | 機能タイプ。 |
| featureNo | System.Int32 | 関連する列挙型の機能番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ContainsFeature | Boolean | 指定したしたコネクタに機能が含まれている場合true。 |

備考

この関数はQXSystem.ReadDevice()で返されたデバイスオブジェクトでのみ働きます。

## Device.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをDeviceプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Device.ConvertToXML Method

DeviceのコネクタオブジェクトのみをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | コネクタオブジェクトプロパティのXML表現。 |

## Device.ConvertToXML Method (Boolean)

Deviceオブジェクトを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

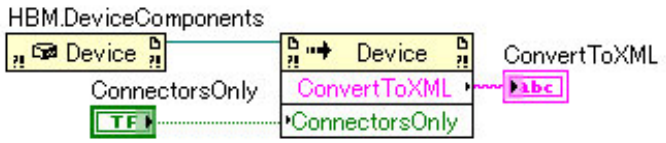
C#

```
public string ConvertToXML(
       bool ConnectorsOnly
)
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML (
       ConnectorsOnly As Boolean
)  As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | System.Boolean | true: コネクタのみXMLスニペットに変換。<br>false: デバイスオブジェクトのすべてがXMLスニペットに変換。 |

## Device.AdditionalConnectors Property

デバイスの追加コネクタ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

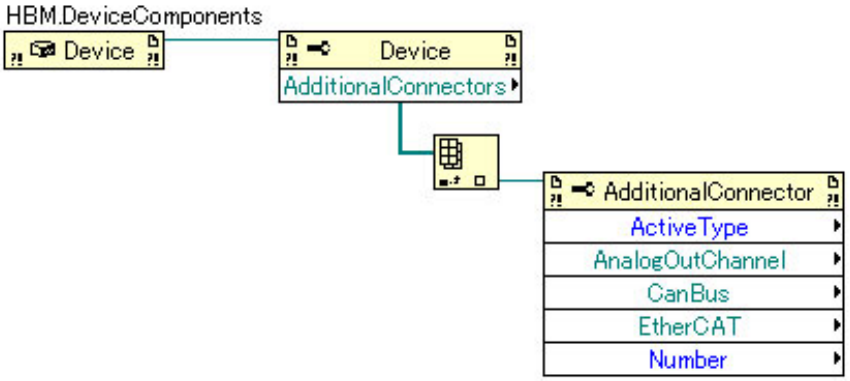
C#

```
public AdditionalConnector[] AdditionalConnectors { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AdditionalConnectors As AdditionalConnector()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AdditionalConnector[] |

## Device.AdditionalFunctions Property

デバイスの追加関数設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

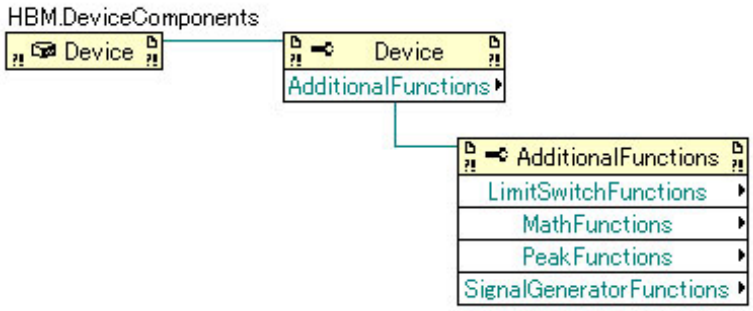
C#

```
public AdditionalFunctions AdditionalFunctions { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AdditionalFunctions As AdditionalFunctions
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AdditionalFunctions |

## Device.Communication Property

デバイスの通信設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

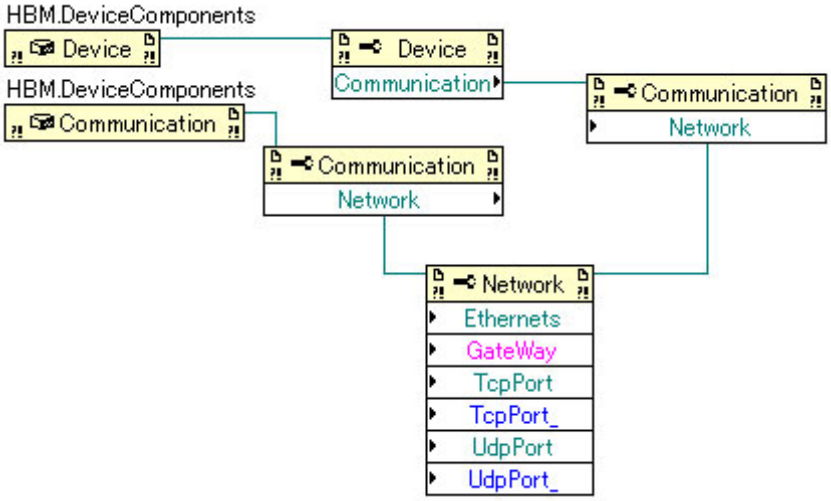
C#

```
public Communication Communication { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Communication As Communication
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Communication |

## Device.Connectors Property

デバイスのコネクタ配列。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

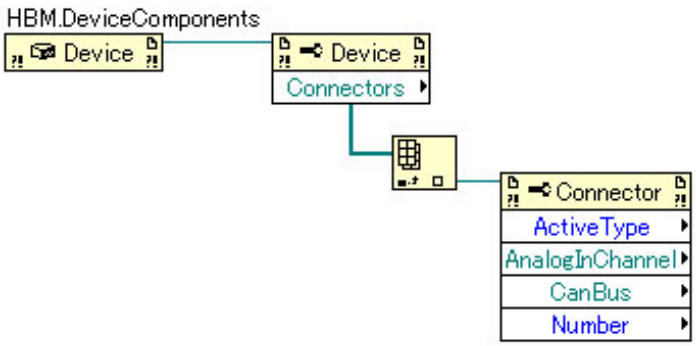
C#

```
public Connector[] Connectors { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Connectors As Connector()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Connector[] |

## Device.DigitalIOPins Property

デバイスのデジタルI/O設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

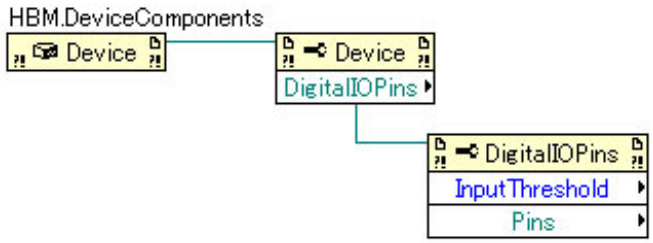
C#

```
public DigitalIOPins DigitalIOPins { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DigitalIOPins As DigitalIOPins
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DigitalIOPins |

## Device.Features Property

機能の取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

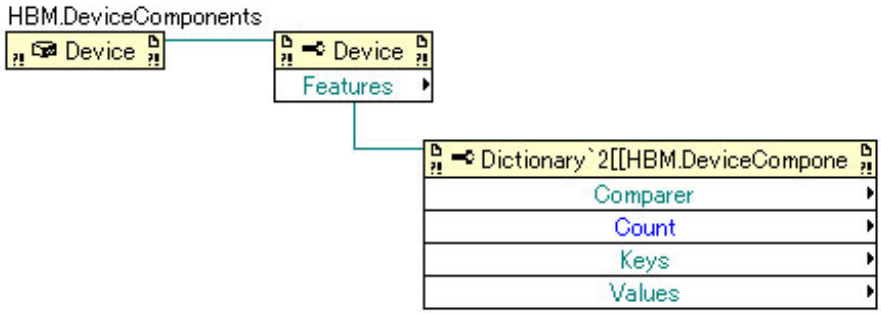
C#

```
public Dictionary<eFeatureTypes, IList> Features { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Features As Dictionary(Of eFeatureTypes, IList)
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Dictionary(eFeatureTypes, IList) |

## Device.System Property

デバイスのシステム変数(ファームウェアバージョンやモジュール名等)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

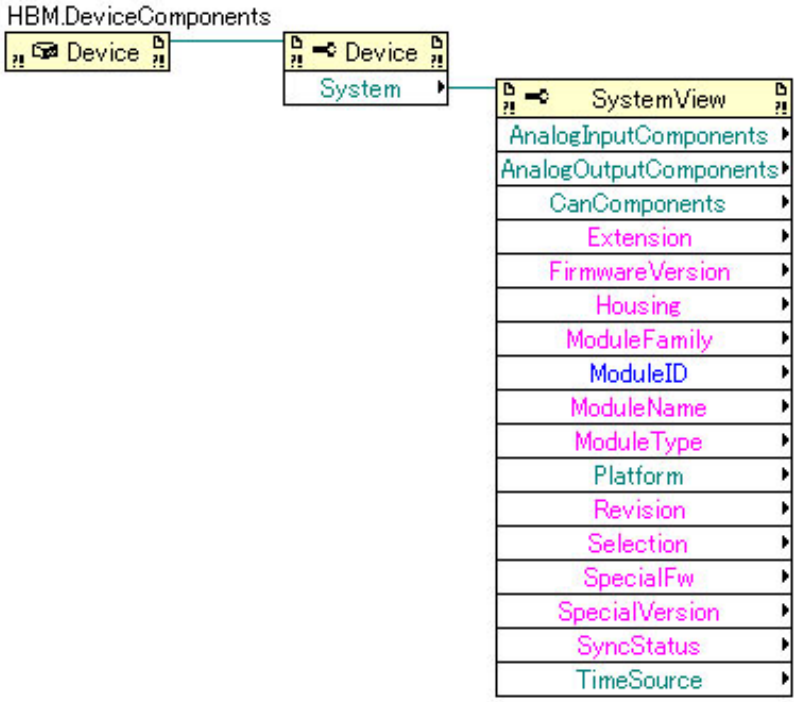
C#

```
public SystemView System { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property System As SystemView
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SystemView |

## Device.UUID Property

デバイスのUUID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

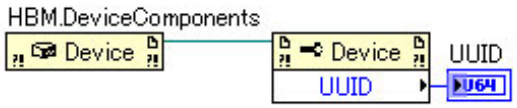
C#

```
public ulong UUID { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property UUID As ULong
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt64 |

# DigitalInクラス

**DigitalIn Class**
デジタル入力の設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class DigitalIn : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class DigitalIn
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.DigitalIn

## DigitalIn Members

DigitalIn型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DigitalIn() | DigitalInクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DigitalIn(String) | DigitalInクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDigitalInプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | DigitalInプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Polarity | 極性の取得または設定(電気的に対して論理状態が反転しているか)。 |

## DigitalIn Constructor

DigitalInクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DigitalIn()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## DigitalIn Constructor(String)

DigitalInクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DigitalIn(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DigitalIn.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | DigitalInオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## DigitalIn.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをDigitalInプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DigitalIn.ConvertToXML Method

DigitalInプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

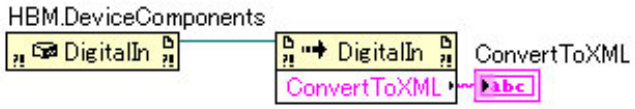
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | DigitalInプロパティのXML表現。 |

## DigitalIn.Polarity Property

極性の取得または設定(電気的に対して論理状態が反転しているか)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

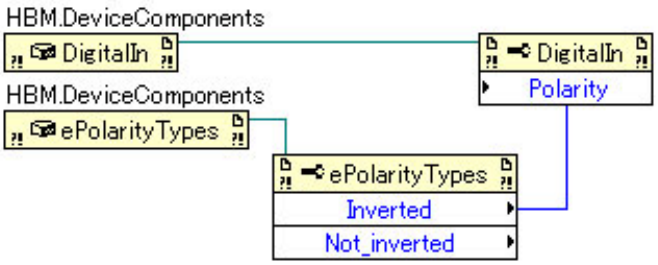
C#

```
public ePolarityTypes Polarity { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Polarity As ePolarityTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePolarityTypes |

# DigitalIOPinsクラス

**DigitalIOPins Class**
デジタルI/Oコネクタを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class DigitalIOPins : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class DigitalIOPins
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.DigitalIOPins

## DigitalIOPins Members

DigitalIOPins型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DigitalIOPins() | DigitalIOPinsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DigitalIOPins(String) | DigitalIOPinsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDigitalIOPinsプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | DigitalIOPinsプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| InputThreshold | デジタル入力のしきい値。 |
| Pins | デジタルI/Oピンの設定。 |

## DigitalIOPins Constructor

DigitalIOPinsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

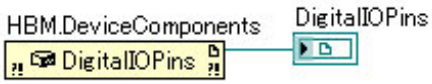
C#

```
public DigitalIOPins()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## DigitalIOPins Constructor(String)

DigitalIOPinsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

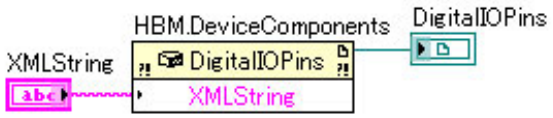
C#

```
public DigitalIOPins(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DigitalIOPins.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

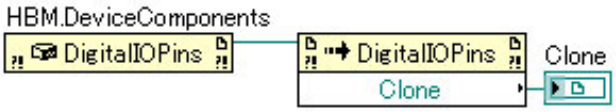
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | DigitalIOPinsオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## DigitalIOPins.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをDigitalIOPinsプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DigitalIOPins.ConvertToXML Method

DigitalIOPinsプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ConvertToXML | String | DigitalIOPinsプロパティのXML表現。 |

## DigitalIOPins.InputThreshold Property

デジタル入力のしきい値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

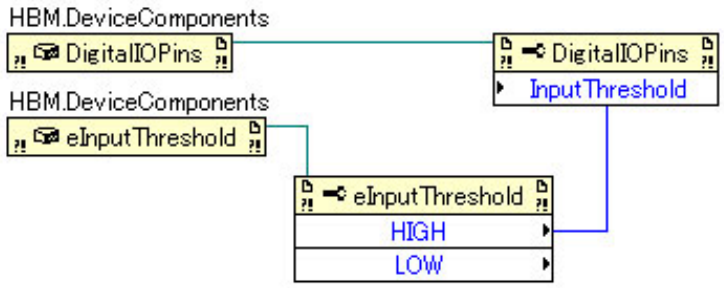
C#

```
public eInputThreshold InputThreshold { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property InputThreshold As eInputThreshold
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eInputThreshold |

## DigitalIOPins.Pins Property

デジタルI/Oピンの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

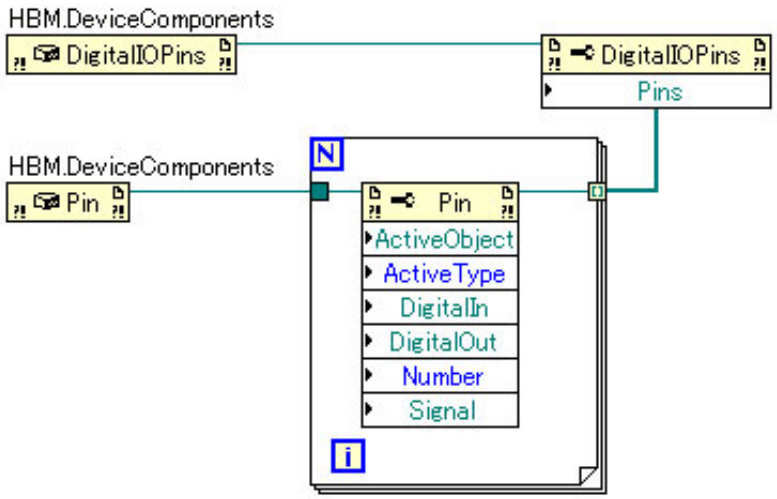
C#

```
public Pin[] Pins { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Pins As Pin()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Pin[] |

# DigitalOutクラス

**DigitalOut Class**
デジタル出力の設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class DigitalOut : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class DigitalOut
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.DigitalOut

## DigitalOut Members

DigitalOut型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DigitalOut() | DigitalOutクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DigitalOut(String) | DigitalOutクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDigitalOutプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | DigitalOutプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Default | 信号が接続されていない場合や利用できない場合の、論理状態の取得または設定。 |
| Input | デジタル出力ソースの設定。 |
| Polarity | 極性の取得または設定(電気的に対して論理状態が反転しているか)。 |

## DigitalOut Constructor

DigitalOutクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

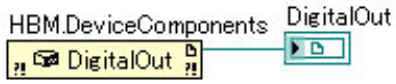
C#

```
public DigitalOut()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## DigitalOut Constructor(String)

DigitalOutクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DigitalOut(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DigitalOut.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

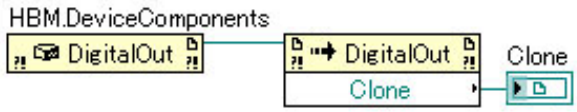
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | DigitalOutオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## DigitalOut.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをDigitalOutプロパティに変換します。

| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
|---|---|
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

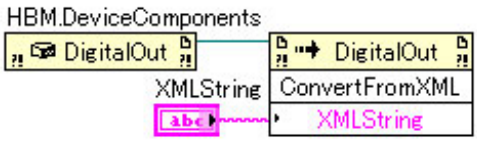
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DigitalOut.ConvertToXML Method

DigitalOutプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | DigitalOutプロパティのXML表現。 |

## DigitalOut.Default Property

信号が接続されていない場合や利用できない場合の、論理状態の取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

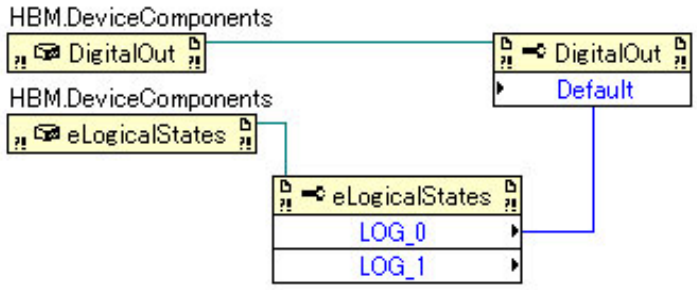
C#

```
public eLogicalStates Default { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Default As eLogicalStates
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eLogicalStates |

## DigitalOut.Input Property

デジタル出力ソースの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

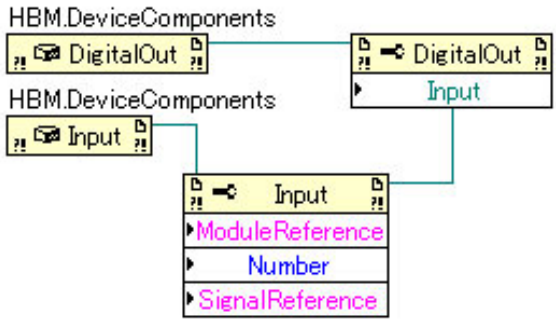
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## DigitalOut.Polarity Property

極性の取得または設定(電気的に対して論理状態が反転しているか)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

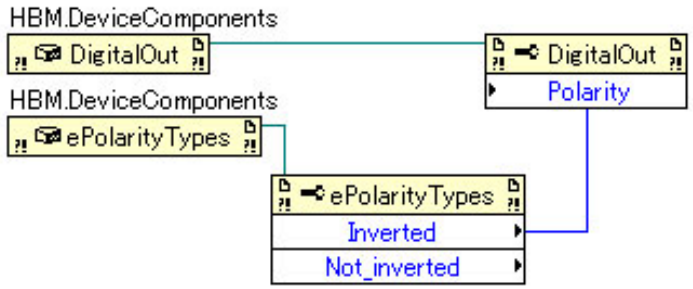
C#

```
public ePolarityTypes Polarity { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Polarity As ePolarityTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePolarityTypes |

# DriftCompensationクラス

**DriftCompensation Class**
センサ/チャネルのドリフト補償オプションを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class DriftCompensation
```

Visual Basic
```
Public Class DriftCompensation
```

継承階層

System.Object
  HBM.DeviceComponents.DriftCompensation

## DriftCompensation Members

DriftCompensation型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation() | DriftCompensationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DriftCompensation(String) | DriftCompensationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDriftCompensationプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | DriftCompensationプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CurrentState | 現在の調整設定の実勢値。 |
| Request | 調整設定の要求。 |

## DriftCompensation Constructor

DriftCompensationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

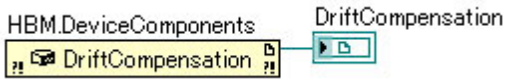
C#

```
public DriftCompensation()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## DriftCompensation Constructor(String)

DriftCompensationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DriftCompensation(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DriftCompensation.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

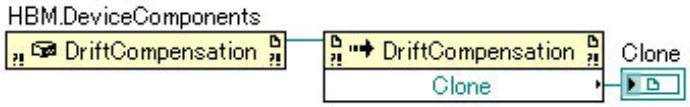
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | DriftCompensationオブジェクトのディープコピー。 |

## DriftCompensation.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをDriftCompensationプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

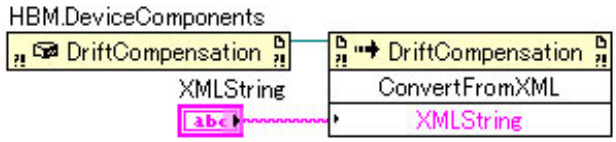
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DriftCompensation.ConvertToXML Method

DriftCompensationプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | DriftCompensationプロパティのXML表現。 |

## DriftCompensation.CurrentState Property

現在の調整設定の実勢値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

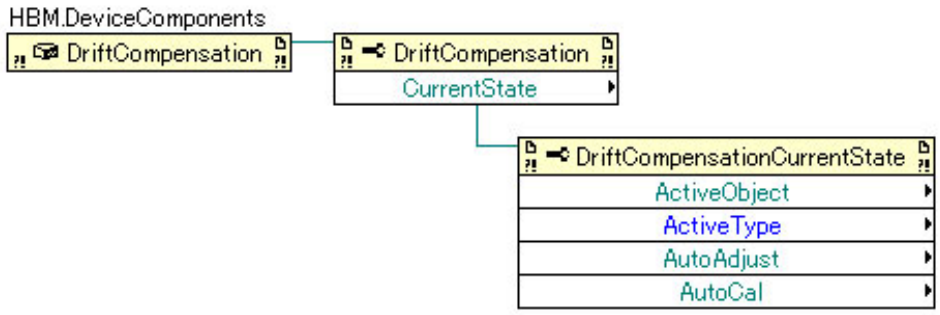
C#

```
public DriftCompensationCurrentState CurrentState { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CurrentState As DriftCompensationCurrentState
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensationCurrentState |

## DriftCompensation.Request Property

調整設定の要求。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

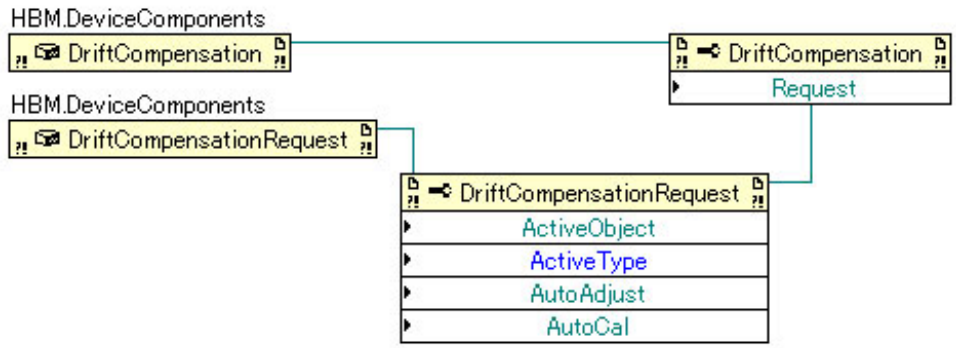
C#

```
public DriftCompensationRequest Request { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Request As DriftCompensationRequest
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensationRequest |

# DriftCompensationCurrentState クラス

**DriftCompensationCurrentState Class**
センサ/チャネルの現在のドリフト補償オプションを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class DriftCompensationCurrentState : Adjustment
```

Visual Basic
```
Public Class DriftCompensationCurrentState
       Inherits Adjustment
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Adjustment
  HBM.DeviceComponents.DriftCompensationCurrentState

## DriftCompensationCurrentState Members

DriftCompensationCurrentState型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensationCurrentState() | DriftCompensationCurrentStateクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DriftCompensationCurrentState(String) | DriftCompensationCurrentStateクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。<br>(Adjustment.Cloneに優先) |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDriftCompensationCurrentStateプロパティに変換します。<br>(Adjustmentを参照) |
| ConvertToXML | DriftCompensationCurrentStateプロパティをXMLスニペットに変換します。<br>(Adjustment.ConvertToXML()に優先) |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのAdjustmentオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。<br>(Adjustmentを参照) |
| ActiveType | 使用する調整タイプを決定。<br>(Adjustmentを参照) |
| AutoAdjust | 自動調整設定。<br>(Adjustmentを参照) |
| AutoCal | 自動キャリブレーション設定。<br>(Adjustmentを参照) |

## DriftCompensationCurrentState Constructor

DriftCompensationCurrentStateクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DriftCompensationCurrentState()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## DriftCompensationCurrentState Constructor(String)

DriftCompensationCurrentStateクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DriftCompensationCurrentState(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DriftCompensationCurrentState.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

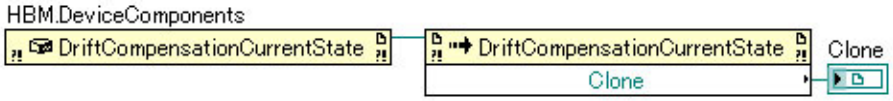
C#

```
public override Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | DriftCompensationCurrentStateオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## DriftCompensationCurrentState.ConvertToXML Method

DriftCompensationCurrentStateプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public override string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | DriftCompensationCurrentStateプロパティのXML表現。 |

## DriftCompensationCurrentState Properties

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのAdjustmentオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。<br>(Adjustmentを参照) |
| ActiveType | 使用する調整タイプを決定。<br>(Adjustmentを参照) |
| AutoAdjust | 自動調整設定。<br>(Adjustmentを参照) |
| AutoCal | 自動キャリブレーション設定。<br>(Adjustmentを参照) |

# DriftCompensationRequest クラス

**DriftCompensationRequest Class**
センサ/チャネルに要求されたドリフト補償オプションを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class DriftCompensationRequest : Adjustment
```

Visual Basic
```
Public Class DriftCompensationRequest
       Inherits Adjustment
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Adjustment
  HBM.DeviceComponents.DriftCompensationRequest

## DriftCompensationRequest Members

DriftCompensationRequest型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensationRequest() | DriftCompensationRequestクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DriftCompensationRequest(String) | DriftCompensationRequestクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。<br>(Adjustment.Cloneに優先) |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをDriftCompensationRequestプロパティに変換します。<br>(Adjustmentを参照) |
| ConvertToXML | DriftCompensationRequestプロパティをXMLスニペットに変換します。<br>(Adjustment.ConvertToXML()に優先) |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのAdjustmentオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。<br>(Adjustmentを参照) |
| ActiveType | 使用する調整タイプを決定。<br>(Adjustmentを参照) |
| AutoAdjust | 自動調整設定。<br>(Adjustmentを参照) |
| AutoCal | 自動キャリブレーション設定。<br>(Adjustmentを参照) |

## DriftCompensationRequest Constructor

DriftCompensationRequestクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DriftCompensationRequest()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## DriftCompensationRequest Constructor(String)

DriftCompensationRequestクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DriftCompensationRequest(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## DriftCompensationRequest.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

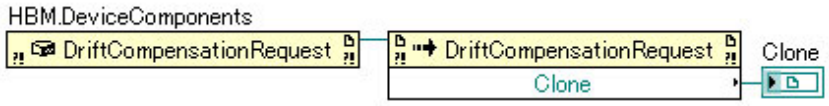
C#

```
public override Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | DriftCompensationRequestオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## DriftCompensationRequest.ConvertToXML Method

DriftCompensationRequestプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public override string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | DriftCompensationRequestプロパティのXML表現。 |

## DriftCompensationRequest Properties

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのAdjustmentオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。<br>(Adjustmentを参照) |
| ActiveType | 使用する調整タイプを決定。<br>(Adjustmentを参照) |
| AutoAdjust | 自動調整設定。<br>(Adjustmentを参照) |
| AutoCal | 自動キャリブレーション設定。<br>(Adjustmentを参照) |

# ECUクラス

**ECU Class**
ECUチャネルのパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ECU : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class ECU
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ECU

## ECU Members

ECU型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ECU() | ECUクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ECU(Int32) | ECUクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ECU(String) | ECUクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをECUプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ECUプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | ECUがアクティブかどうかを判定。 |
| DBC | DBCファイル情報。 |
| Number | ECU番号(例: 0..2)。 |
| SKB | シード&キーバイナリファイルの情報(オプション)。 |

## ECU Constructor

ECUクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ECU()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## ECU Constructor(Int32)

ECUクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ECU(
       int number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| number | System.Int32 | ECU番号。 |

## ECU Constructor(String)

ECUクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

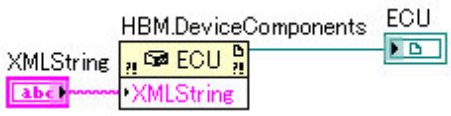
C#

```
public ECU(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ECU.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

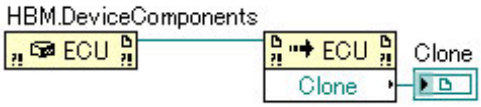
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | ECUオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## ECU.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをECUプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ECU.ConvertToXML Method

ECUプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ECUプロパティのXML表現。 |

## ECU.Active Property

ECUがアクティブかどうかを判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

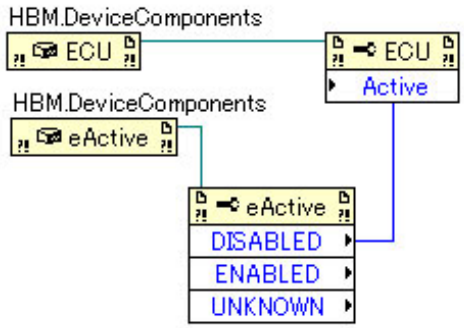
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## ECU.DBC Property

DBCファイル情報。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

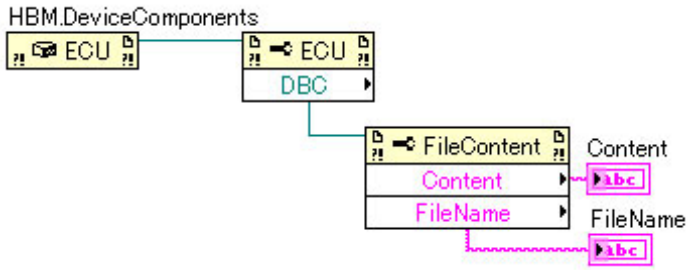
C#

```
public FileContent DBC { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DBC As FileContent
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: FileContent |

## ECU.Number Property

ECU番号(例: 0..2)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

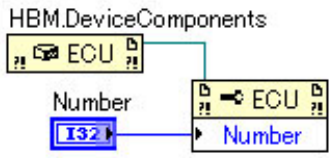
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## ECU.SKB Property

シード&キーバイナリファイルの情報(オプション)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

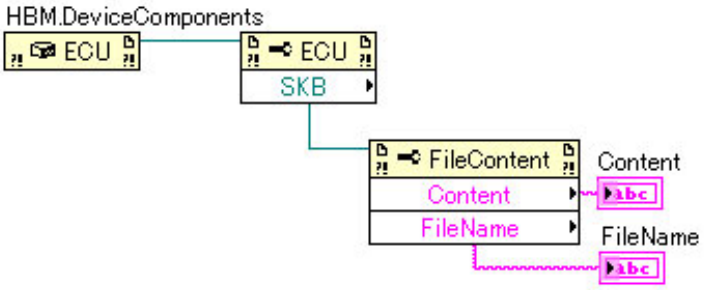
C#

```
public FileContent SKB { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SKB As FileContent
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: FileContent |

# ErrorModeクラス

**ErrorMode Class**
CAN-Busのエラーモードにてついて記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ErrorMode : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class ErrorMode
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ErrorMode

## ErrorMode Members

ErrorMode型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ErrorMode() | ErrorModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ErrorMode(String) | ErrorModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをErrorModeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ErrorModeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Removal | エラーモードの除外設定。 |

## ErrorMode Constructor

ErrorModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ErrorMode()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## ErrorMode Constructor(String)

ErrorModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

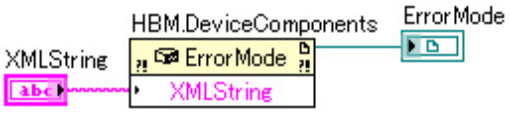
C#

```
public ErrorMode(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ErrorMode.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | ErrorModeオブジェクトのディープコピー。 |

## ErrorMode.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをErrorModeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

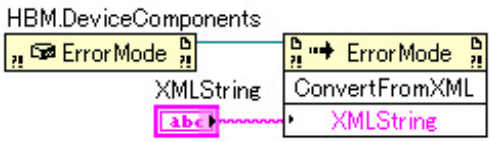
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ErrorMode.ConvertToXML Method

ErrorModeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

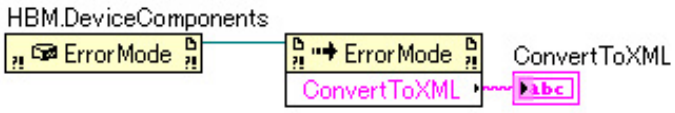
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ErrorModeプロパティのXML表現。 |

## ErrorMode.Removal Property

エラーモードの除外設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

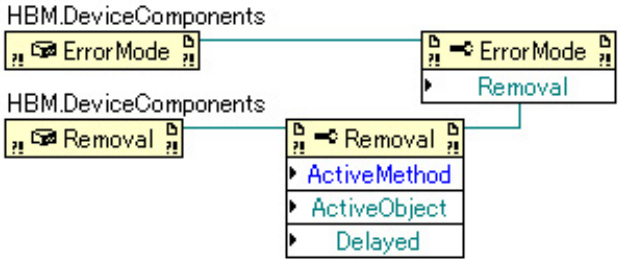
C#

```
public Removal Removal { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Removal As Removal
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Removal |

# ErrorStatusクラス

**ErrorStatus Class**
デバイスのエラー状態を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ErrorStatus
```

Visual Basic
```
Public Class ErrorStatus
```

継承階層

System.Object
  HBM.DeviceComponents.ErrorStatus

## ErrorStatus Members

ErrorStatus型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ErrorStatus() | ErrorStatusクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ErrorStatus(UInt32, Int32, UInt32, UInt32, UInt32, String) | ErrorStatusクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Channel | エラーが発生したチャネル。 |
| Code | エラーコード。 |
| Connector | エラーが発生したコネクタ。 |
| Level | エラーレベル。 |
| Signal | エラーが発生した信号。 |
| Text | エラーを記述する文章。 |

## ErrorStatus Constructor

ErrorStatusクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ErrorStatus()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## ErrorStatus Constructor(UInt32, Int32, UInt32, UInt32, UInt32, String)

ErrorStatusクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

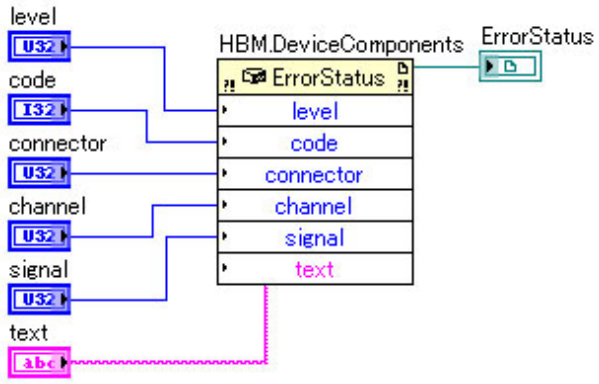
C#

```
public ErrorStatus(
	uint level,
	int code,
	uint connector,
	uint channel,
	uint signal,
	string text
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
	level As UInteger,
	code As Integer,
	connector As UInteger,
	channel As UInteger,
	signal As UInteger,
	text As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| level | System.UInt32 | エラーレベル。 |
| code | System.Int32 | エラーコード。 |
| connector | System.UInt32 | コネクタ番号。 |
| channel | System.UInt32 | チャネル番号。 |
| signal | System.UInt32 | シグナル番号。 |
| text | System.String | 文章。 |

## ErrorStatus.Channel Property

エラーが発生したチャネル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

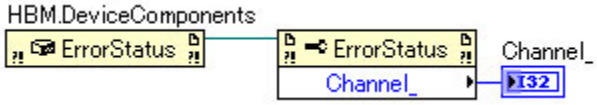
C#

```
public Nullable<uint> Channel { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Channel As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## ErrorStatus.Code Property

エラーコード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

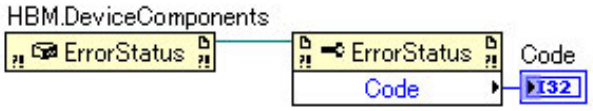
C#

```
public int Code { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Code As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## ErrorStatus.Connector Property

エラーが発生したコネクタ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

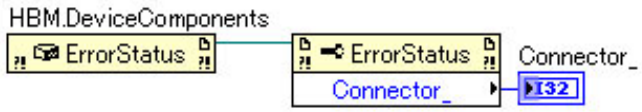
C#

```
public Nullable<uint> Connector { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Connector As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## ErrorStatus.Level Property

エラーレベル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

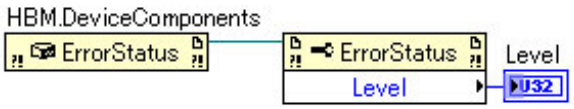
C#

```
public uint Level { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Level As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## ErrorStatus.Signal Property

エラーが発生した信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

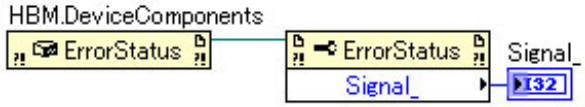
C#

```
public Nullable<uint> Signal { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signal As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## ErrorStatus.Text Property

エラーを記述する文章。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

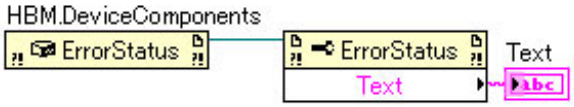
C#

```
public string Text { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Text As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# EtherCATクラス

**EtherCAT Class**
EtherCAT出力として使用するコネクタです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class EtherCAT : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class EtherCAT
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.EtherCAT

## EtherCAT Members

EtherCAT型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| EtherCAT() | EtherCATクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| EtherCAT(String) | EtherCATクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをEtherCATプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | EtherCATプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| EtherCatTransmitChannels | EtherCAT経由で信号のデータ値を転送するチャネル。 |
| Mapping | EtherCAT信号のマッピングモード。 |
| MaxUpdateRate | EtherCAT信号の最高更新レート。 |

## EtherCAT Constructor

EtherCATクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

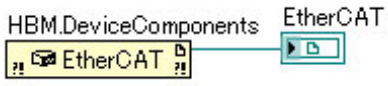
C#

```
public EtherCAT()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## EtherCAT Constructor(String)

EtherCATクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public EtherCAT(
       string xml
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       xml As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| xml | System.String | XML。 |

## EtherCAT.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

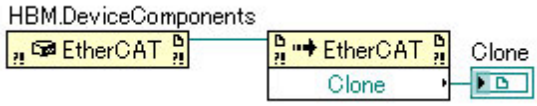
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | EtherCATオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## EtherCAT.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをEtherCATプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## EtherCAT.ConvertToXML Method

EtherCATプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

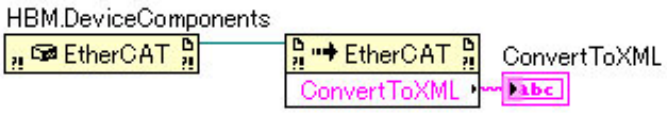
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | EtherCATプロパティのXML表現。 |

## EtherCAT.EtherCatTransmitChannels Property

EtherCAT経由で信号のデータ値を転送するチャネル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

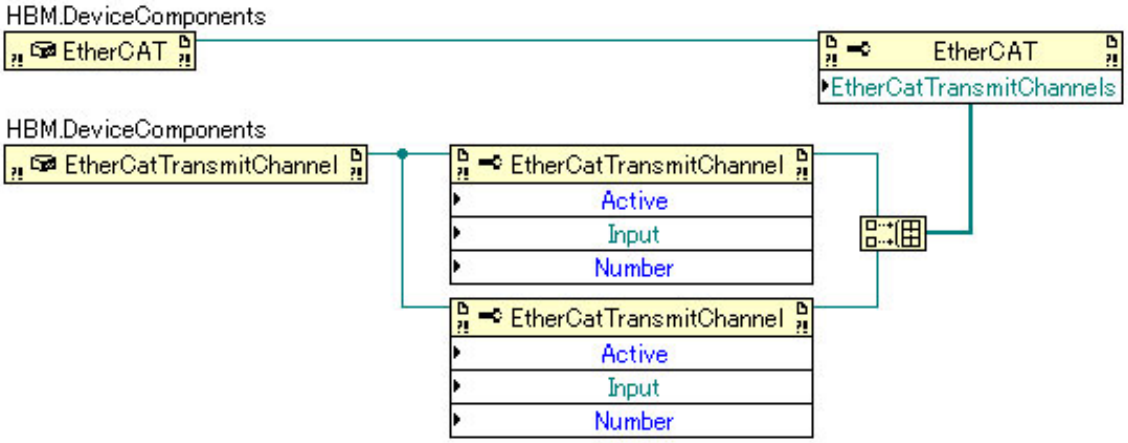
C#

```
public EtherCatTransmitChannel[] EtherCatTransmitChannels { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property EtherCatTransmitChannels As EtherCatTransmitChannel()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: EtherCatTransmitChannel[] |

## EtherCAT.Mapping Property

EtherCAT信号のマッピングモード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

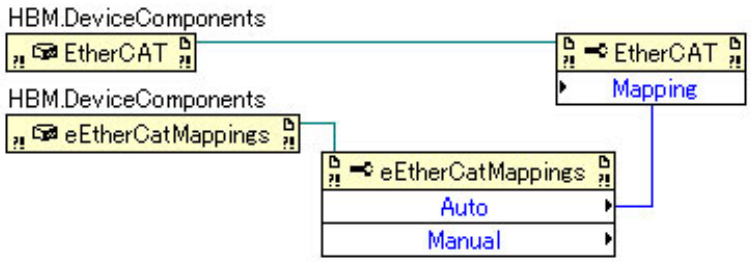
C#

```
public eEtherCatMappings Mapping { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Mapping As eEtherCatMappings
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eEtherCatMappings |

## EtherCAT.MaxUpdateRate Property

EtherCAT信号の最高更新レート。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

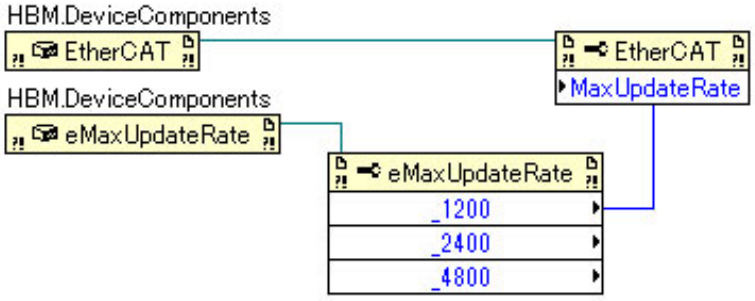
C#

```
public eMaxUpdateRate MaxUpdateRate { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxUpdateRate As eMaxUpdateRate
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eMaxUpdateRate |

# EtherCatTimeSourceクラス

**EtherCatTimeSource Class**
EtherCatTimeSourceの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class EtherCatTimeSource : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class EtherCatTimeSource
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.EtherCatTimeSource

## EtherCatTimeSource Members

EtherCatTimeSource型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| EtherCatTimeSource() | EtherCatTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| EtherCatTimeSource(String) | EtherCatTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをEtherCatTimeSourceプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | EtherCatTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

## EtherCatTimeSource Constructor

EtherCatTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

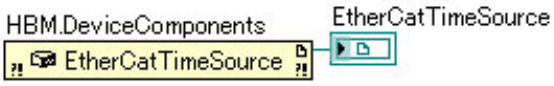
C#

```
public EtherCatTimeSource()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## EtherCatTimeSource Constructor(String)

EtherCatTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public EtherCatTimeSource(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## EtherCatTimeSource.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | EtherCatTimeSourceオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## EtherCatTimeSource.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをEtherCatTimeSourceプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

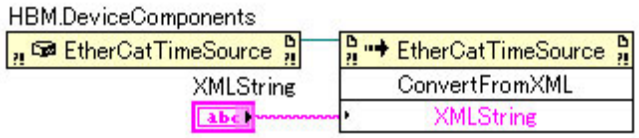
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## EtherCatTimeSource.ConvertToXML Method

EtherCatTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

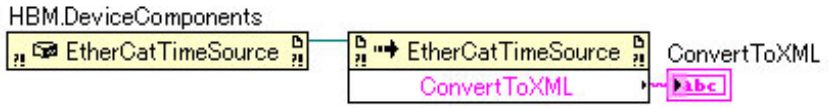
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | EtherCatTimeSourceプロパティのXML表現。 |

# EtherCatTransmitChannelクラス

**EtherCatTransmitChannel Class**
EtherCAT送信チャネルのパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class EtherCatTransmitChannel : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class EtherCatTransmitChannel
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.EtherCatTransmitChannel

## EtherCatTransmitChannel Members

EtherCatTransmitChannel型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| EtherCatTransmitChannel() | EtherCatTransmitChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| EtherCatTransmitChannel(String) | EtherCatTransmitChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをEtherCatTransmitChannelプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | EtherCatTransmitChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | このチャネルが有効(計測値を提供できる)かどうかの判定。 |
| Input | ファンクションブロック入力の設定。 |
| Number | 信号番号(0..255) |

## EtherCatTransmitChannel Constructor

EtherCatTransmitChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public EtherCatTransmitChannel()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## EtherCatTransmitChannel Constructor(String)

EtherCatTransmitChannelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public EtherCatTransmitChannel(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## EtherCatTransmitChannel.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

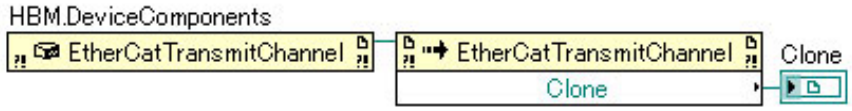
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | EtherCatTransmitChannelオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## EtherCatTransmitChannel.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをEtherCatTransmitChannelプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

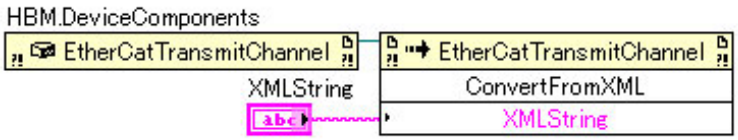
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## EtherCatTransmitChannel.ConvertToXML Method

EtherCatTransmitChannelプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

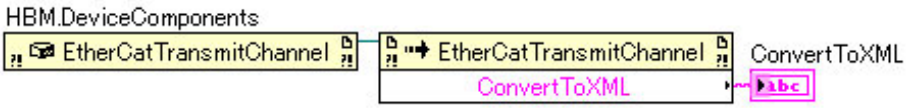
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | EtherCatTransmitChannelプロパティのXML表現。 |

## EtherCatTransmitChannel.Active Property

このチャネルが有効(計測値を提供できる)かどうかの判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

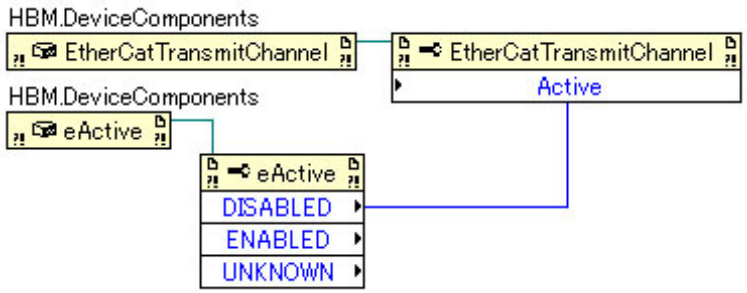
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## EtherCatTransmitChannel.Input Property

ファンクションブロック入力の設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

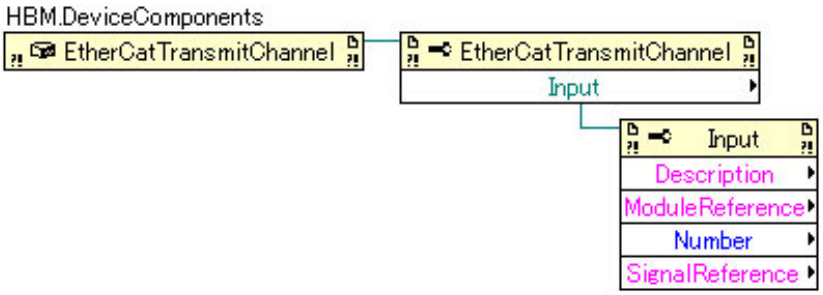
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## EtherCatTransmitChannel.Number Property

信号番号(0..255)

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

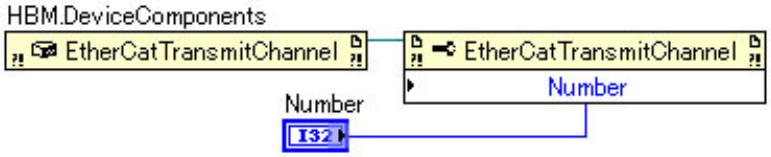
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

# Ethernetクラス

**Ethernet Class**
デバイスのイーサネット接続の設定情報を保持するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Ethernet : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Ethernet
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Ethernet

## Ethernet Members

Ethernet型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Ethernet() | Ethernetクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Ethernet(String) | Ethernetクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをEthernetプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | EthernetプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Config | ネットワークの構成。 |
| ConnectorPosition | コネクタ位置の取得。 |
| IpAddress | IPアドレス。 |
| SubNetMask | サブネットマスク。 |

## Ethernet Constructor

Ethernetクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

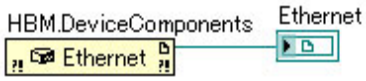
C#

```
public Ethernet()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Ethernet Constructor(String)

Ethernetクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Ethernet(
       string xml
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       xml As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| xml | System.String | XML。 |

## Ethernet.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

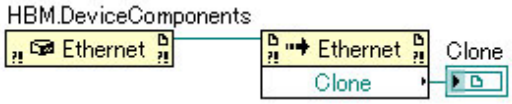
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Ethernetオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Ethernet.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをEthernetプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Ethernet.ConvertToXML Method

Ethernetプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

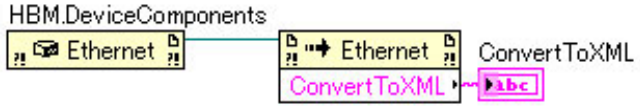
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | EthernetプロパティのXML表現。 |

## Ethernet.Config Property

ネットワークの構成。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

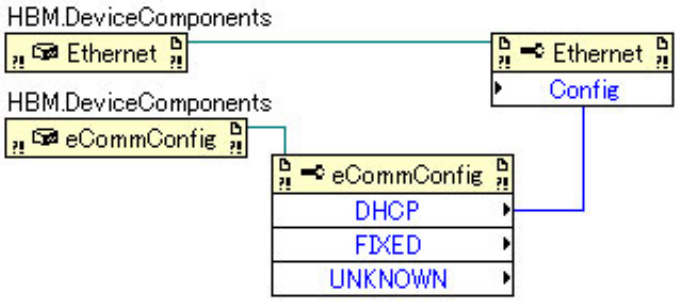
C#

```
public eCommConfig Config { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Config As eCommConfig
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eCommConfig |

## Ethernet.ConnectorPosition Property

コネクタ位置の取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

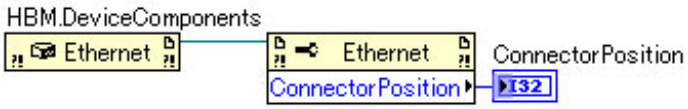
C#

```
public eEthPosition ConnectorPosition { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property ConnectorPosition As eEthPosition
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eEthPosition |

## Ethernet.IpAddress Property

IPアドレス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

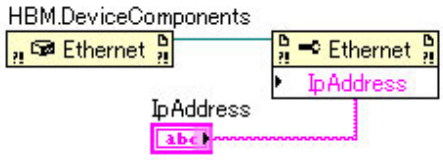
C#

```
public string IpAddress { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IpAddress As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Ethernet.SubNetMask Property

サブネットマスク。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

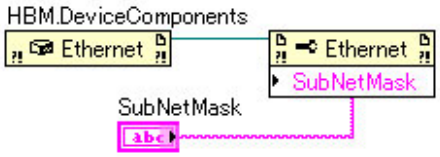
C#

```
public string SubNetMask { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SubNetMask As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# FileContentクラス

**FileContent Class**
ファイル内容のパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class FileContent : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class FileContent
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.FileContent

## FileContent Members

FileContent型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| FileContent() | FileContentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| FileContent(String) | FileContentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをFileContentプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | FileContentプロパティをXMLスニペットに変換します。 |
| LoadFileAsHex | ファイルを16進文字列としてContentプロパティに読み込み、FileNameプロパティにファイル名を設定します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Content | ファイルの内容(16進文字列)。 |
| FileName | ファイル名(識別目的として)。 |

## FileContent Constructor

FileContentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

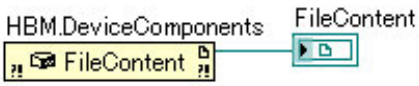
C#

```
public FileContent()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## FileContent Constructor(String)

FileContentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public FileContent(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## FileContent.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | FileContentオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## FileContent.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをFileContentプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

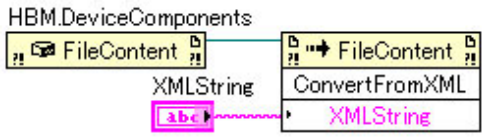
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## FileContent.ConvertToXML Method

FileContentプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML(
       string surroundingTagName
)
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML (
       surroundingTagName As String
) As String
```

LabVIEW

| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| surroundingTagName | System.String | 囲みタグの名前。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ConvertToXML | String | FileContentプロパティのXML表現。 |

## FileContent.LoadFileAsHex Method

ファイルを16進文字列としてContentプロパティに読み込み、FileNameプロパティにファイル名を設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

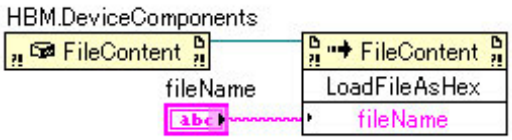
C#

```
public void LoadFileAsHex(
       string fileName
)
```

Visual Basic

```
Public sub  LoadFileAsHex (
       fileName As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| fileName | System.String | ファイルの名前とパス。 |

例外

| 名前 | 条件 |
|---|---|
| System.IO.FileNotFoundException | 指定したファイルが使用できない場合にスロー。 |

## FileContent.Content Property

ファイルの内容(16進文字列)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

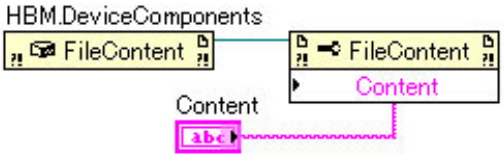
C#

```
public string Content { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Content As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## FileContent.FileName Property

ファイル名(識別目的として)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

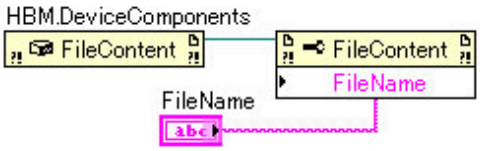
C#

```
public string FileName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FileName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# FilterTypeクラス

**FilterType Class**
同期信号(SyncSignal)のフィルタ設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class FilterType : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class FilterType
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.FilterType

## FilterType Members

FilterType型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| FilterType() | FilterTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| FilterType(String) | FilterTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをFilterTypeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | FilterTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのフィルタオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 使用するフィルタタイプを定義。現時点ではローパスフィルタのみ有効。 |
| HighPass | ハイパスフィルタの設定。 |
| LowPass | ローパスフィルタの設定。 |

## FilterType Constructor

FilterTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

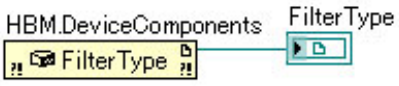
C#

```
public FilterType()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## FilterType Constructor(String)

FilterTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public FilterType(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## FilterType.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

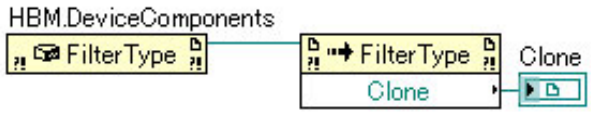
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | FilterTypeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## FilterType.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをFilterTypeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

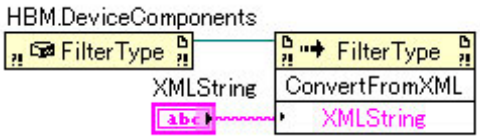
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## FilterType.ConvertToXML Method

FilterTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | FilterTypeプロパティのXML表現。 |

## FilterType.ActiveObject Property

ActiveTypeのフィルタオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

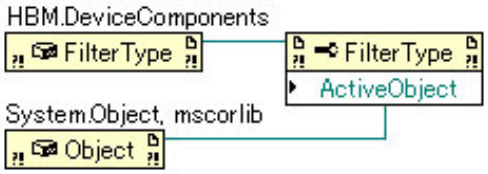
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## FilterType.ActiveType Property

使用するフィルタタイプを定義。現時点ではローパスフィルタのみ有効。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

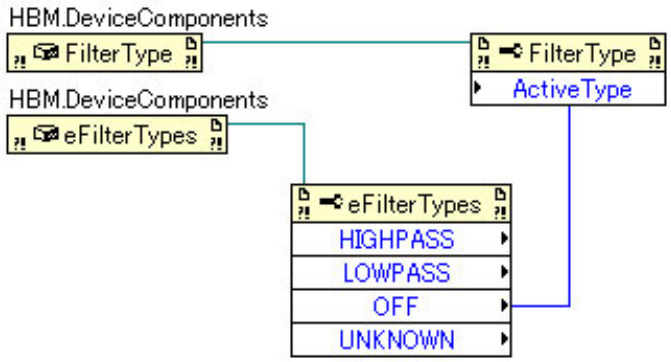
C#

```
public eFilterTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eFilterTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eFilterTypes |

## FilterType.HighPass Property

ハイパスフィルタの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

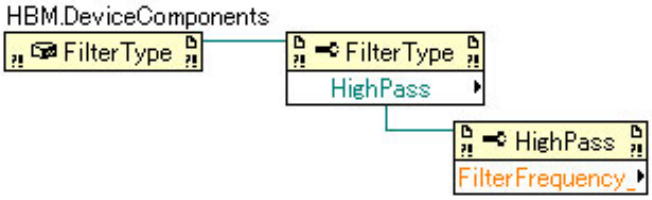
C#

```
public HighPass HighPass { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property HighPass As HighPass
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: HighPass |

## FilterType.LowPass Property

ローパスフィルタの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

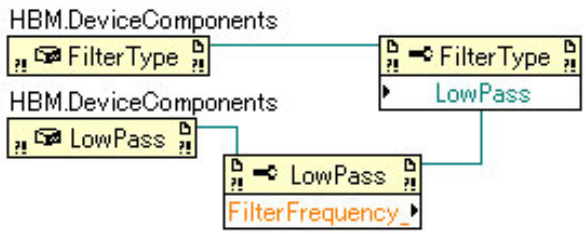
C#

```
public LowPass LowPass { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property LowPass As LowPass
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: LowPass |

# Frequencyクラス

**Frequency Class**
周波数センサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Frequency : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Frequency
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Frequency

## Frequency Members

Frequency型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Frequency() | Frequencyクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Frequency(String) | Frequencyクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをFrequencyプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | FrequencyプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |
| QuadratureSignalEnabled | 回転方向検出のための立ち上がりと立ち下がりの解釈を有効化(高解像度で取得するため)。<br>動的な回転方向検出はSignal2Enabledも有効化。 |
| Signal2Enabled | 回転方向検出の有効化。<br>Offに切り替えると、立ち上がりエッジおよび立ち下がりエッジQuadratureSignalEnabledの解釈も無効化。 |
| SpecialParameters | 特殊パラメータの取得または設定。 |

## Frequency Constructor

Frequencyクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

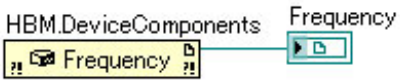
C#

```
public Frequency()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Frequency Constructor(String)

Frequencyクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

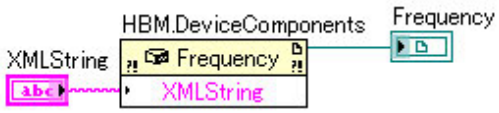
C#

```
public Frequency(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Frequency.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

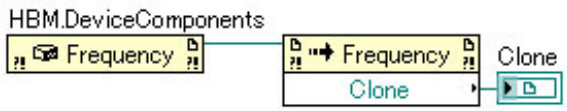
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Frequencyオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Frequency.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをFrequency プロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

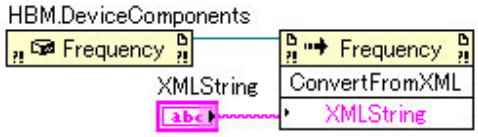
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Frequency.ConvertToXML Method

Frequencyプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Frequencyプロパティ のXML表現。 |

## Frequency.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

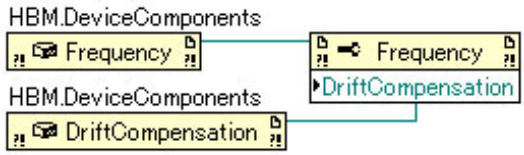
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Frequency.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Frequency.QuadratureSignalEnabled Property

回転方向検出のための立ち上がりと立ち下がりの解釈を有効化(高解像度で取得するため)。
動的な回転方向検出はSignal2Enabledも有効化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

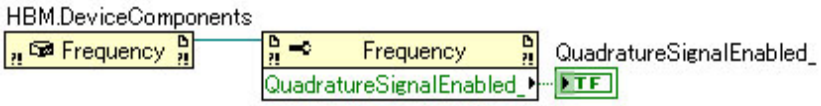
C#

```
public Nullable<bool> QuadratureSignalEnabled { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property QuadratureSignalEnabled As Nullable(Of Boolean)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Boolean) |

## Frequency.Signal2Enabled Property

回転方向検出の有効化。
Offに切り替えると、立ち上がりエッジおよび立ち下がりエッジQuadratureSignalEnabledの解釈も無効化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

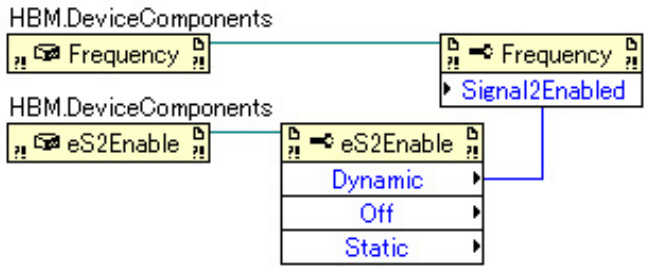
C#

```
public eS2Enable Signal2Enabled { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signal2Enabled As eS2Enable
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eS2Enable |

## Frequency.SpecialParameters Property

特殊パラメータの取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

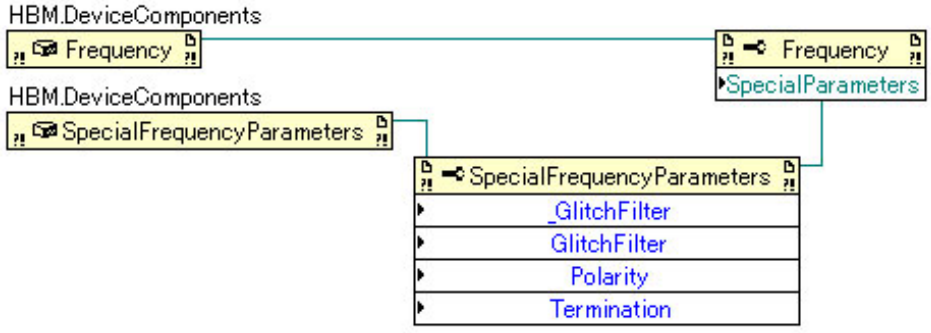
C#

```
public SpecialFrequencyParameters SpecialParameters { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialParameters As SpecialFrequencyParameters
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SpecialFrequencyParameters |

# Gainクラス

**Gain Class**
計測値のスケーリングタイプです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Gain : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Gain
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Gain

## Gain Members

Gain型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Gain() | Gainクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Gain(String) | Gainクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをGainプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | GainプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| b | オフセット。 |
| m | 傾き。 |

## Gain Constructor

Gainクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Gain()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Gain Constructor(String)

Gainクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Gain(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Gain.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

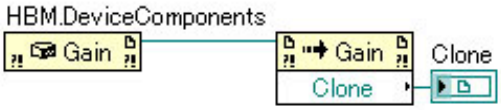
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Gainオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Gain.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをGainプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Gain.ConvertToXML Method

GainプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

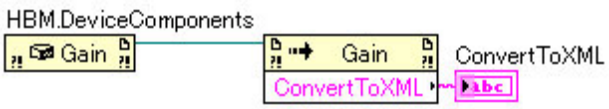
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | GainプロパティのXML表現。 |

## Gain.b Property

オフセット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

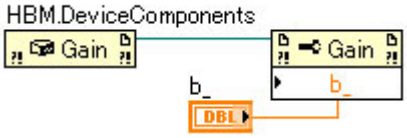
C#

```
public Nullable<double> b { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property b As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Gain.m Property

傾き。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

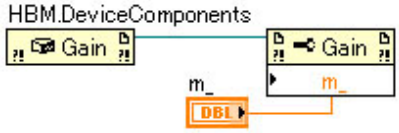
C#

```
public Nullable<double> m { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property m As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# HighPassクラス

**HighPass Class**
ハイパスフィルタの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class HighPass : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class HighPass
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.HighPass

## HighPass Members

HighPass型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| HighPass() | HighPassクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| HighPass(String) | HighPassクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをHighPassプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | HighPassプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| FilterFrequency | カットオフ周波数。 |

## HighPass Constructor

HighPassクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

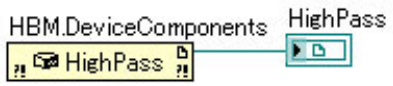
C#

```
public HighPass()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## HighPass Constructor(String)

HighPassクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public HighPass(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## HighPass.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

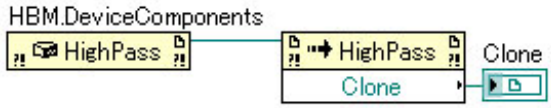
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | HighPassオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## HighPass.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをHighPassプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

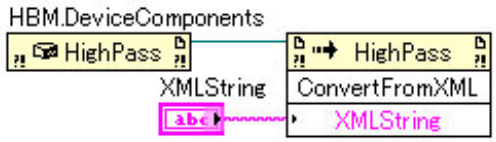
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## HighPass.ConvertToXML Method

HighPassプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

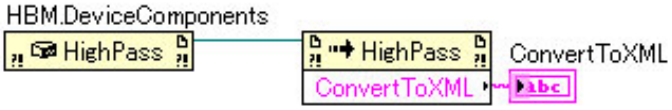
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | HighPassプロパティのXML表現。 |

## HighPass.FilterFrequency Property

カットオフ周波数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

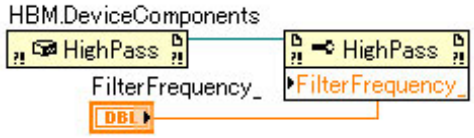
C#

```
public Nullable<double> FilterFrequency { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FilterFrequency As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# Identificationクラス

**Identification Class**
センサの識別情報を保持するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Identification : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Identification
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Identification

## Identification Members

Identification型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Identification() | Identificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Identification(String) | Identificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Identification(String, String, String, String, String, String, String, String, UInt32, String, String) | Identificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをIdentificationプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | IdentificationプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CalDate | 最後に校正した日付。 |
| CalInitials | 校正者の名前または頭文字。 |
| CalPeriod | 次の校正までの期間。 |
| Comment | センサへのコメント。 |
| Description | ユーザ定義したセンサの説明。 |
| Location | 計測場所。 |
| ManufacturerName | センサのメーカ名。 |
| SensorID | TEDSまたはセンサデータベースのセンサID。 |
| SensorName | ユーザ定義したセンサ名。 |
| SerialNumber | センサのシリアル番号。 |
| TypeName | センサの型名。 |
| UserDefinedID | ユーザ定義したID(TEDSまたはRFIDからの読み取り)。 |

## Identification Constructor

Identificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

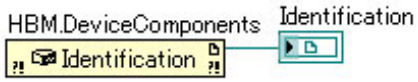
C#

```
public Identification()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Identification Constructor(String)

Identificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

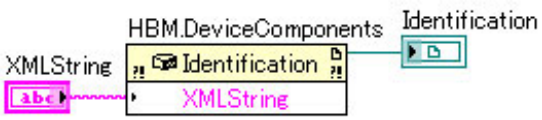
C#

```
public Identification(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Identification Constructor(String, String, String, String, String, String, String, String, UInt32, String, String)

Identificationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

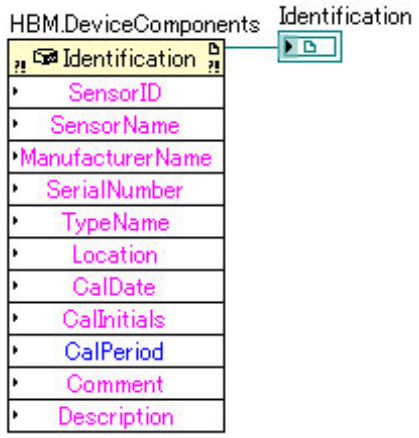
C#

```
public Identification(
       string SensorID,
       string SensorName,
       string ManufacturerName,
       string SerialNumber,
       string TypeName,
       string Location,
       string CalDate,
       string CalInitials,
       uint CalPeriod,
       string Comment,
       string Description
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       SensorID As String,
       SensorName As String,
       ManufacturerName As String,
       SerialNumber As String,
       TypeName As String,
       Location As String,
       CalDate As String,
       CalInitials As String,
       CalPeriod As UInteger,
       Comment As String,
       Description As String
)
```

| 構文 |
| --- |
| LabVIEW |




| 引数 | | |
| --- | --- | --- |
| 名前 | 型 | 説明 |
| SensorID | System.String | センサID。 |
| SensorName | System.String | センサ名。 |
| ManufacturerName | System.String | メーカ名。 |
| SerialNumber | System.String | シリアル番号。 |
| TypeName | System.String | 型名。 |
| Location | System.String | 場所。 |
| CalDate | System.String | 日付 ("YYYY-MM-DD")。 |
| CalInitials | System.String | 頭文字。 |
| CalPeriod | System.UInt32 | 次の校正までの期間。 |
| Comment | System.String | コメント。 |
| Description | System.String | 説明。 |

## Identification.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

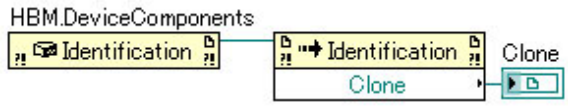
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Identificationオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Identification.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをIdentificationプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Identification.ConvertToXML Method

Identificationプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Identificationプロパティの XML表現。 |

## Identification.CalDate Property

最後に校正した日付。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

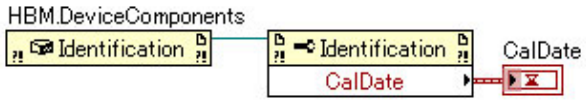
C#

```
public DateTime CalDate { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CalDate As DateTime
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DateTime |

## Identification.CalInitials Property

校正者の名前または頭文字。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

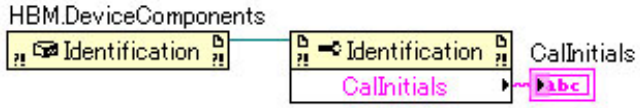
C#

```
public string CalInitials { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CalInitials As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.CalPeriod Property

次の校正までの期間。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

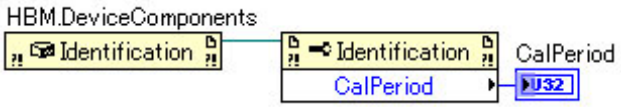
C#

```
public uint CalPeriod { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CalPeriod As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## Identification.Comment Property

センサへのコメント。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

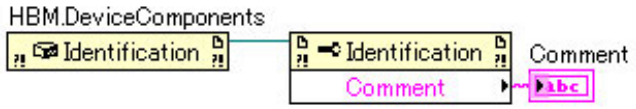
C#

```
public string Comment { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Comment As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.Description Property

ユーザ定義したセンサの説明。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string Description { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Description As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.Location Property

計測場所。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

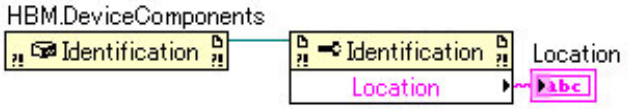
C#

```
public string Location { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Location As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.ManufacturerName Property

センサのメーカ名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

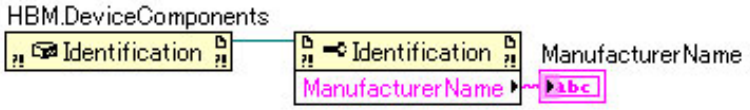
C#

```
public string ManufacturerName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ManufacturerName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.SensorID Property

TEDSまたはセンサデータベースのセンサID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string SensorID { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SensorID As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.SensorName Property

ユーザ定義したセンサ名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string SensorName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SensorName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.SerialNumber Property

センサのシリアル番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

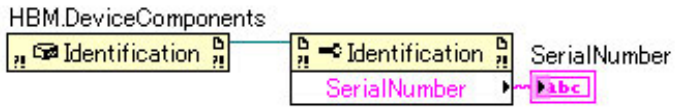
C#

```
public string SerialNumber { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SerialNumber As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.TypeName Property

センサの型名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

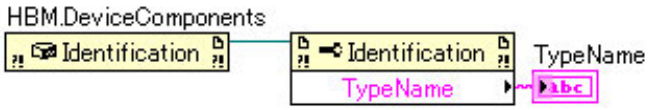
C#

```
public string TypeName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property TypeName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Identification.UserDefinedID Property

ユーザ定義したID(TEDSまたはRFIDからの読み取り)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string UserDefinedID { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property UserDefinedID As String
       Get
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# IEPEクラス

**IEPE Class**
IEPEセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class IEPE : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class IEPE
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.IEPE

## IEPE Members

IEPE型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| IEPE() | IEPEクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| IEPE(String) | IEPEクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをIEPEプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | IEPEプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |

## IEPE Constructor

IEPEクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public IEPE()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## IEPE Constructor(String)

IEPEクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public IEPE(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IEPE.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

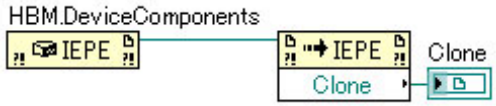
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | IEPEオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## IEPE.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをIEPEプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

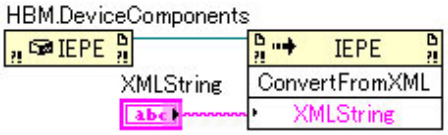
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IEPE.ConvertToXML Method

IEPEプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

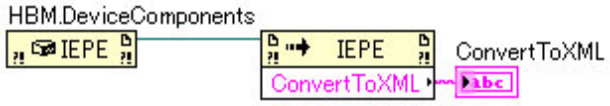
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | IEPEプロパティのXML表現。 |

## IEPE.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

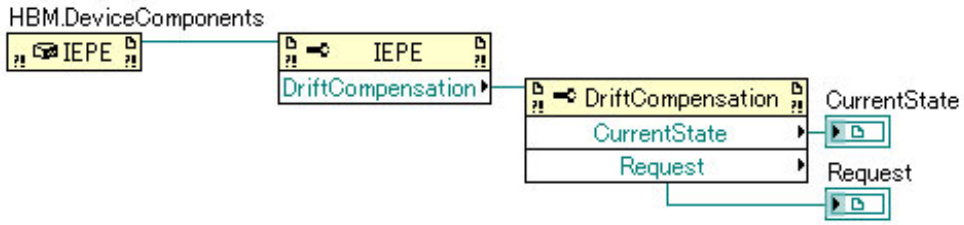
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## IEPE.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

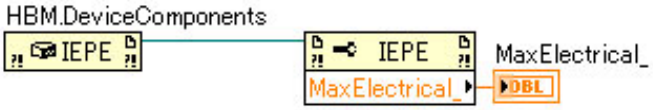
C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# IndBridgeクラス

**IndBridge Class**
誘電ブリッジセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class IndBridge : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class IndBridge
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.IndBridge

## IndBridge Members

IndBridge型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| IndBridge() | IndBridgeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| IndBridge(String) | IndBridgeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをIndBridgeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | IndBridgeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| BridgeType | センサのブリッジタイプ。 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| ExciteAmplitude | センサの励起振幅。 |
| ExciteFrequency | センサの励起周波数。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |
| Wiring | センサの配線。 |

## IndBridge Constructor

IndBridgeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

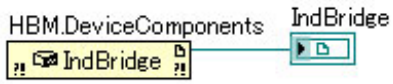
C#

```
public IndBridge()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## IndBridge Constructor(String)

IndBridgeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public IndBridge(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IndBridge.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

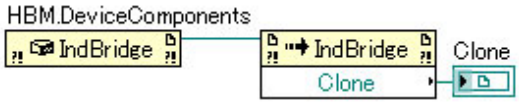
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | IndBridgeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## IndBridge.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをIndBridgeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IndBridge.ConvertToXML Method

IndBridgeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

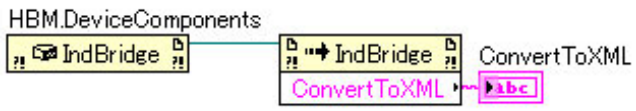
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | IndBridgeプロパティのXML表現。 |

## IndBridge.BridgeType Property

センサのブリッジタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

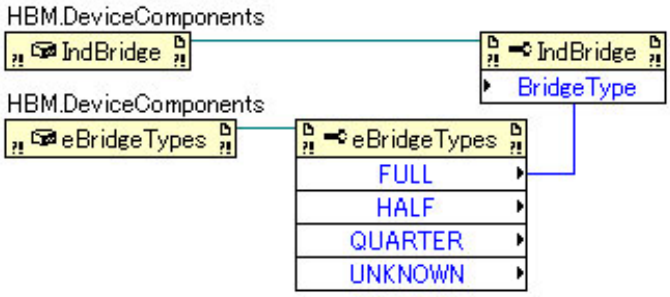
構文

C#

```
public eBridgeTypes BridgeType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property BridgeType As eBridgeTypes
        Get
        Set
```




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eBridgeTypes |

## IndBridge.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

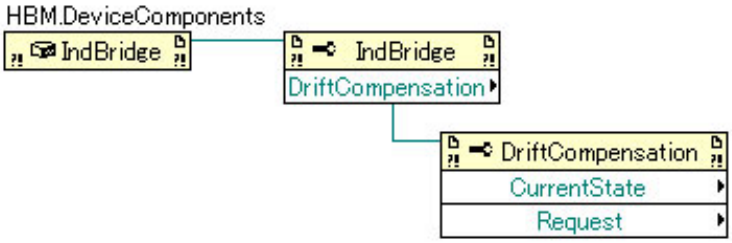
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## IndBridge.ExciteAmplitude Property

センサの励起振幅。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> ExciteAmplitude { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ExciteAmplitude As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## IndBridge.ExciteFrequency Property

センサの励起周波数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

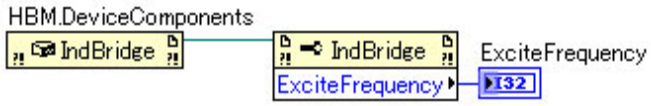
C#

```
public eExcitationFrequencies ExciteFrequency { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property ExciteFrequency As eExcitationFrequencies
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eExcitationFrequencies |

## IndBridge.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## IndBridge.Wiring Property

センサの配線。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

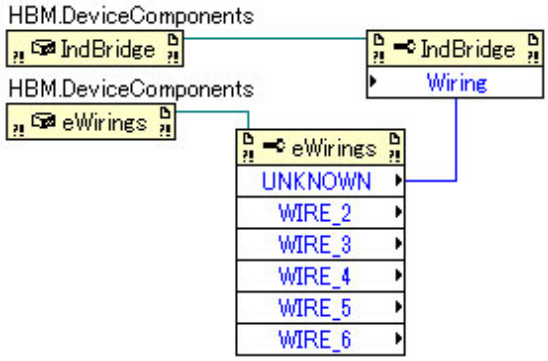
C#

```
public eWirings Wiring { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Wiring As eWirings
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eWirings |

# IndCounterクラス

**IndCounter Class**
誘電カウンタセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class IndCounter : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class IndCounter
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.IndCounter

## IndCounter Members

IndCounter型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| IndCounter() | IndCounterクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| IndCounter(String) | IndCounterクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをIndCounterプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | IndCounterプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| SpecialParameters | 特殊パラメータの取得または設定。 |

## IndCounter Constructor

IndCounterクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

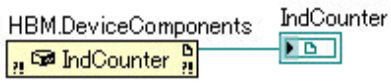
C#

```
public IndCounter()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## IndCounter Constructor(String)

IndCounterクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public IndCounter(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IndCounter.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

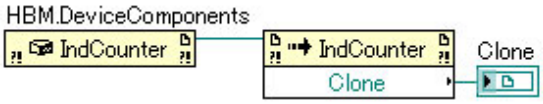
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | IndCounterオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## IndCounter.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをIndCounterプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

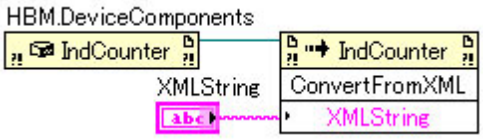
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IndCounter.ConvertToXML Method

IndCounterプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

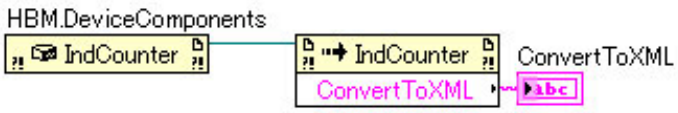
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | IndCounterプロパティのXML表現。 |

## IndCounter.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

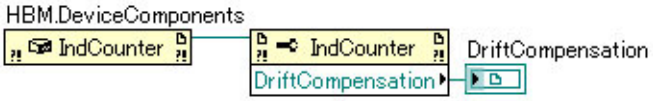
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## IndCounter.SpecialParameters Property

特殊パラメータの取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

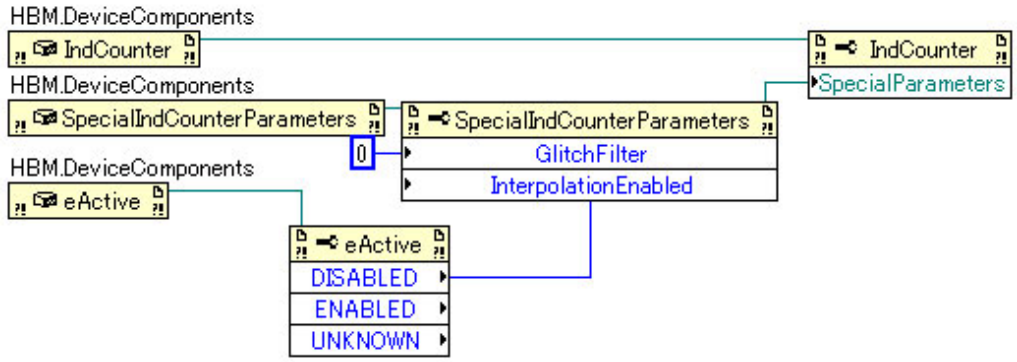
C#

```
public SpecialIndCounterParameters SpecialParameters { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialParameters As SpecialIndCounterParameters
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SpecialIndCounterParameters |

# IndFrequencyクラス

**IndFrequency Class**
誘電周波数センサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class IndFrequency : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class IndFrequency
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.IndFrequency

## IndFrequency Members

IndFrequency型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| IndFrequency() | IndFrequencyクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| IndFrequency(String) | IndFrequencyクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをIndFrequencyプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | IndFrequencyプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |
| SpecialParameters | 特殊パラメータの取得または設定。 |

## IndFrequency Constructor

IndFrequencyクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public IndFrequency()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## IndFrequency Constructor(String)

IndFrequencyクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

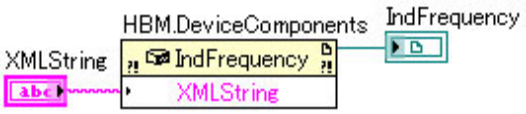
C#

```
public IndFrequency(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IndFrequency.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

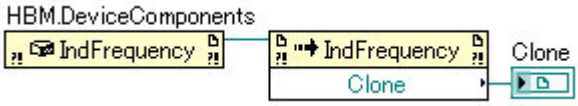
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | IndFrequencyオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## IndFrequency.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをIndFrequencyプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IndFrequency.ConvertToXML Method

IndFrequencyプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | IndFrequencyプロパティのXML表現。 |

## IndFrequency.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## IndFrequency.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## IndFrequency.SpecialIndFrequencyParameters Property

特殊パラメータの取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

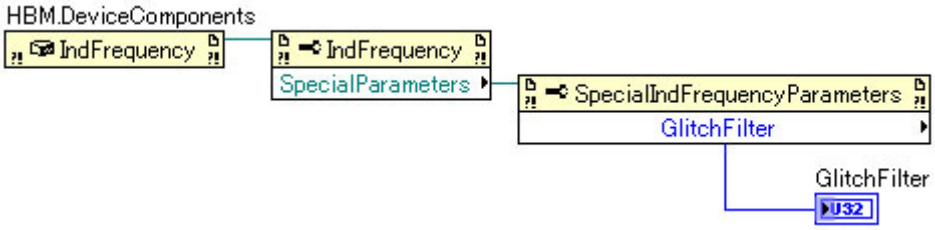
C#

```
public SpecialIndFrequencyParameters SpecialParameters { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialParameters As SpecialIndFrequencyParameters
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SpecialIndFrequencyParameters |

# Inputクラス

**Input Class**
ファンクションブロック入力を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Input : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Input
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Input

## Input Members

Input型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Input() | Inputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Input(Int32) | Inputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Input(String) | Inputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをInputプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | InputプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Description | 説明。 |
| ModuleReference | Inputでのモジュール参照元。<br>"UUID=0009E5123456"といった形式だが、特定のモジュールや同一モジュールの信号を参照する場合は空きでも可。 |
| Number | ファンクションブロック入力数。 |
| SignalReference | Inputソースの信号リファレンスを取得または設定。<br>参照する文字列はソース信号のSignalReferenceプロパティに含まれる。 |

## Input Constructor

Inputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Input()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Input Constructor(Int32)

Inputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Input(
       int Number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       Number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.Int32 | 入力番号。 |

## Input Constructor(String)

Inputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Input(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Input.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

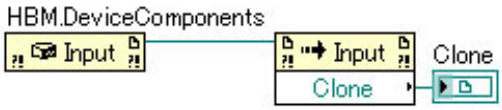
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Inputオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Input.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをInputプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

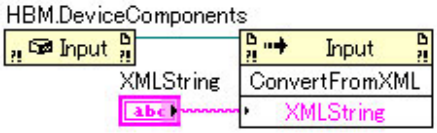
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Input.ConvertToXML Method

Inputプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

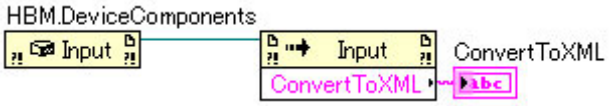
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Inputプロパティ のXML表現。 |

## Input.Description Property

説明。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

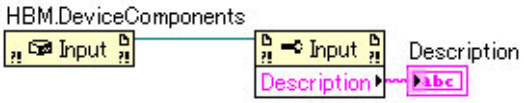
C#

```
public string Description { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Description As String
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Input.ModuleReference Property

Inputでのモジュール参照元。
"UUID=0009E5123456"といった形式だが、特定のモジュールや同一モジュールの信号を参照する場合は空きでも可。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

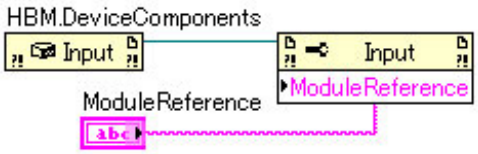
C#

```
public string ModuleReference { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModuleReference As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String<br>モジュールのリファレンス、または同一モジュールの場合は空き。 |

## Input.Number Property

ファンクションブロック入力数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

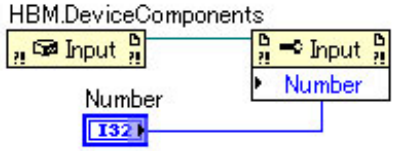
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32<br>0..n。 |

## Input.SignalReference Property

Inputソースの信号リファレンスを取得または設定。
参照する文字列はソース信号のSignalReferenceプロパティに含まれる。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

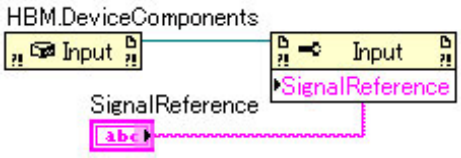
C#

```
public string SignalReference { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalReference As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String<br>信号リファレンス。 |

# IRIGクラス

**IRIG Class**
IRIGセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class IRIG : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class IRIG
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.IRIG

## IRIG Members

IRIG型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| IRIG() | IRIGクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| IRIG(String) | IRIGクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをIRIGプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | IRIGプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| Format | センサの最大値。 |

## IRIG Constructor

IRIGクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public IRIG()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## IRIG Constructor(String)

IRIGクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public IRIG(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IRIG.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

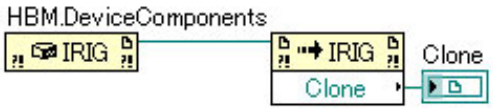
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | IRIGオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## IRIG.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをIRIGプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

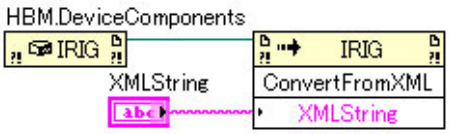
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IRIG.ConvertToXML Method

IRIGプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

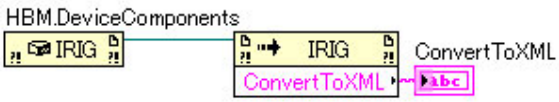
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | IRIGプロパティのXML表現。 |

## IRIG.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## IRIG.Format Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

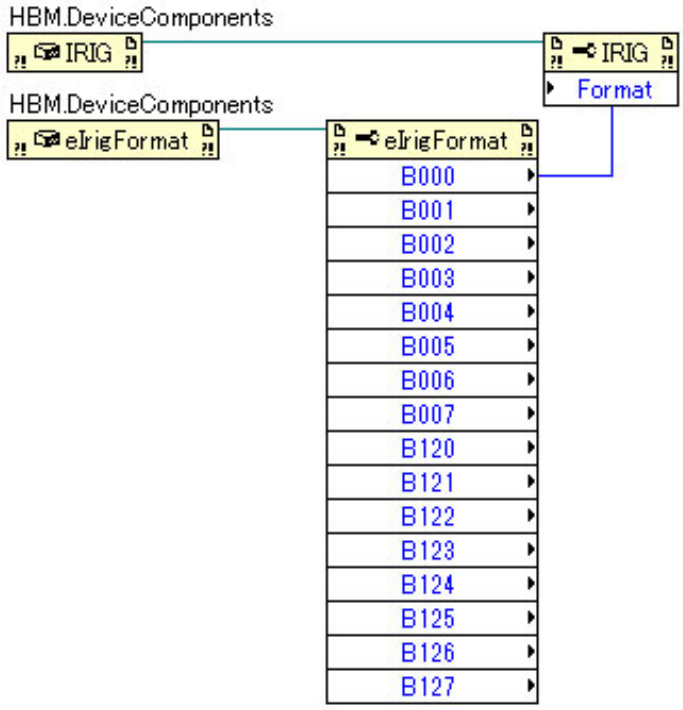
C#

```
public eIrigFormat Format { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Format As eIrigFormat
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eIrigFormat |

# IrigTimeSourceクラス

**IrigTimeSource Class**
IrigTimeSourceの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class IrigTimeSource : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class IrigTimeSource
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.IrigTimeSource

## IrigTimeSource Members

IrigTimeSource型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| IrigTimeSource() | IrigTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| IrigTimeSource(String) | IrigTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをIrigTimeSourceプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | IrigTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ThresholdOutOfSync | モジュールが"out of sync"を取得するしきい値(μsec)。 |
| TimeShift | 時間シフト(μsec)。 |
| UtcTimeZone | 時間シフト(μsec)。 |
| Year | 年。IRIGデータ内に無い場合は本年。 |

## IrigTimeSource Constructor

IrigTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public IrigTimeSource()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## IrigTimeSource Constructor(String)

IrigTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

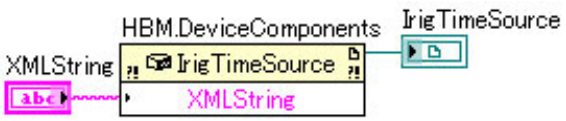
C#

```
public IrigTimeSource(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IrigTimeSource.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

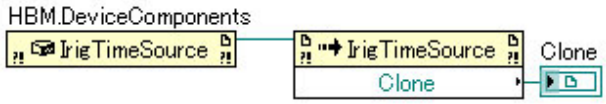
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | IrigTimeSourceオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## IrigTimeSource.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをIrigTimeSourceプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## IrigTimeSource.ConvertToXML Method

IrigTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | IrigTimeSourceプロパティのXML表現。 |

## IrigTimeSource.ThresholdOutOfSync Property

モジュールが"out of sync"を取得するしきい値(μsec)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

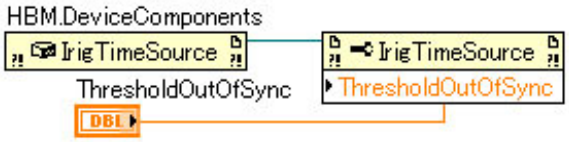
C#

```
public double ThresholdOutOfSync { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ThresholdOutOfSync As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## IrigTimeSource.TimeShift Property

時間シフト(μsec)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

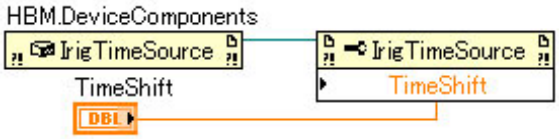
C#

```
public double TimeShift { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property TimeShift As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## IrigTimeSource.UtcTimeZone Property

時間シフト(μsec)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

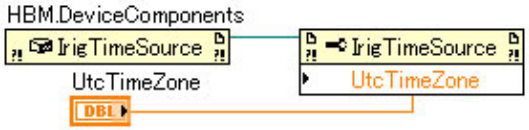
C#

```
public double UtcTimeZone { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property UtcTimeZone As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## IrigTimeSource.Year Property

年。IRIGデータ内に無い場合は本年。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

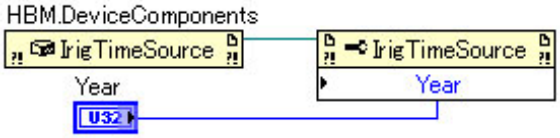
C#

```
public uint Year { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Year As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

# Levelクラス

**Level Class**
テスト信号の振幅レベル設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Level : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Level
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Level

## Level Members

Level型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Level() | Levelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Level(String) | Levelクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをLevelプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | LevelプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| HighLevel | レベル振幅の上限値。 |
| LowLevel | レベル振幅の下限値。 |

## Level Constructor

Levelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Level()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Level Constructor(String)

Levelクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Level(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Level.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

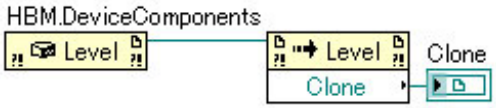
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Levelオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Level.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをLevelプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Level.ConvertToXML Method

Levelプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

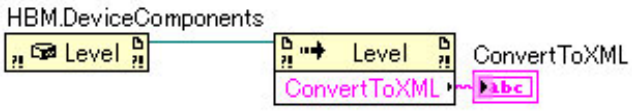
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Levelプロパティ のXML表現。 |

## Level.HighLevel Property

レベル振幅の上限値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public double HighLevel { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property HighLevel As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## Level.LowLevel Property

レベル振幅の下限値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public double LowLevel { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property LowLevel As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# LimitSwitchクラス

**LimitSwitch Class**
LimitSwitch関数コレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class LimitSwitch : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class LimitSwitch
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.LimitSwitch

## LimitSwitch Members

LimitSwitch型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LimitSwitch() | LimitSwitchクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LimitSwitch(Int32) | LimitSwitchクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LimitSwitch(String) | LimitSwitchクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをLimitSwitchプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | LimitSwitchプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | リミットスイッチが有効かどうかを判定。 |
| Hysteresis | 入力信号のヒステリシス。 |
| Input | リミットスイッチのソース。 |
| Level | リミットスイッチを設定する入力信号レベル。 |
| Number | リミットスイッチのインデックス番号。 |
| OutputLogic | リミットスイッチのトリガ(logical 0または1)極性(論理出力)を定義。 |
| Signals | 出力信号。 |
| SwitchingDirection | リミットスイッチのトリガレベルの定義。 |

## LimitSwitch Constructor

LimitSwitchクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

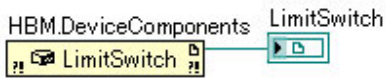
C#

```
public LimitSwitch()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## LimitSwitch Constructor(Int32)

LimitSwitchクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public LimitSwitch(
       int number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| number | System.Int32 | リミットスイッチ番号。 |

## LimitSwitch Constructor(String)

LimitSwitchクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

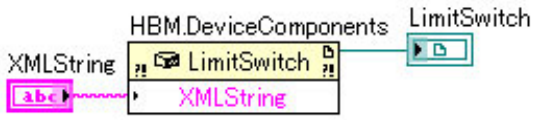
C#

```
public LimitSwitch(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LimitSwitch.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

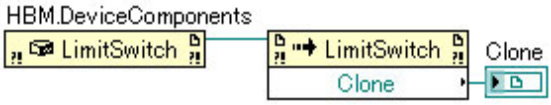
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | LimitSwitchオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## LimitSwitch.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをLimitSwitchプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

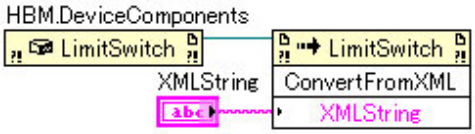
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LimitSwitch.ConvertToXML Method

LimitSwitchプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

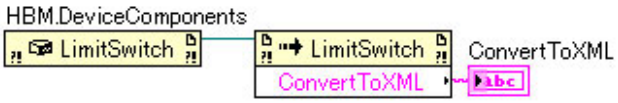
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | LimitSwitchプロパティのXML表現。 |

## LimitSwitch.Active Property

リミットスイッチが有効かどうかを判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

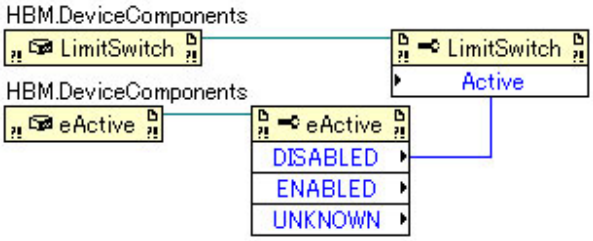
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## LimitSwitch.Hysteresis Property

入力信号のヒステリシス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

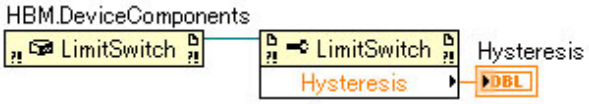
C#

```
public double Hysteresis { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Hysteresis As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## LimitSwitch.Input Property

リミットスイッチのソース。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

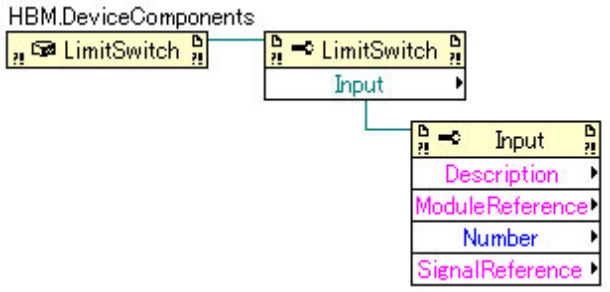
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## LimitSwitch.Level Property

リミットスイッチを設定する入力信号レベル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

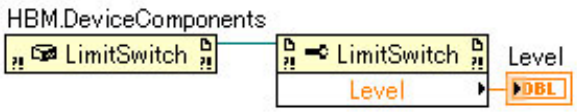
C#

```
public double Level { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Level As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## LimitSwitch.Number Property

リミットスイッチのインデックス番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

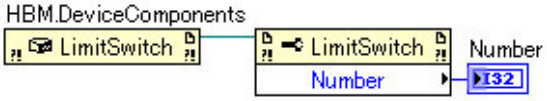
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## LimitSwitch.OutputLogic Property

リミットスイッチのトリガ(logical 0または1)極性(論理出力)を定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

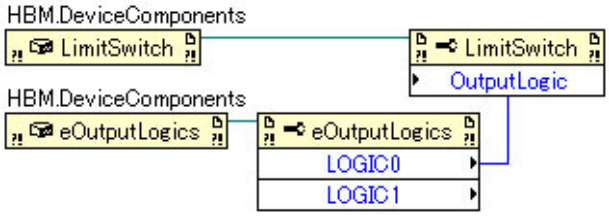
C#

```
public eOutputLogics OutputLogic { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OutputLogic As eOutputLogics
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOutputLogics |

## LimitSwitch.Signals Property

出力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

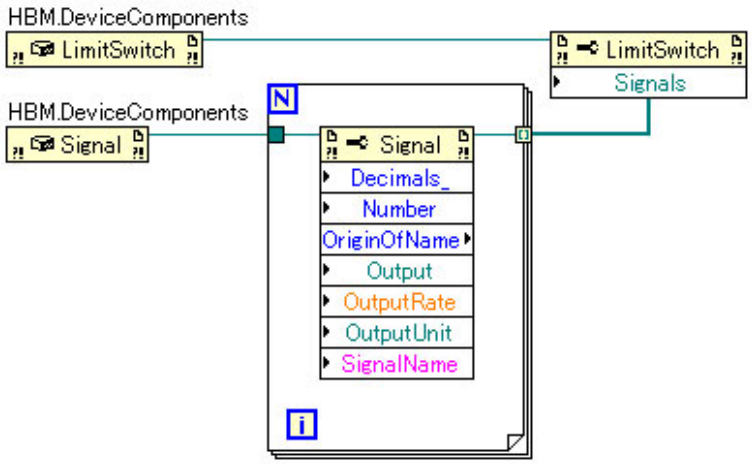
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

## LimitSwitch.SwitchingDirection Property

リミットスイッチのトリガレベルの定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

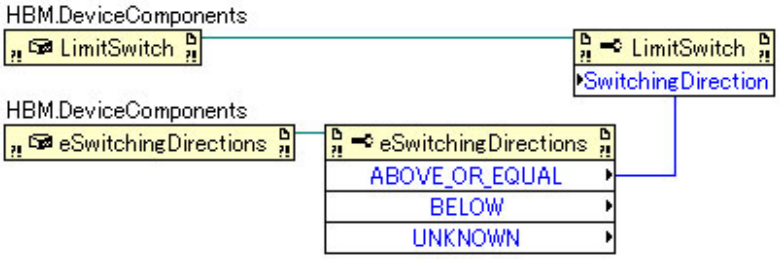
C#

```
public eSwitchingDirections SwitchingDirection { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SwitchingDirection As eSwitchingDirections
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSwitchingDirections |

# LimitSwitchFunctionsクラス

**LimitSwitchFunctions Class**
LimitSwitch関数コレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class LimitSwitchFunctions : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class LimitSwitchFunctions
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.LimitSwitchFunctions

## LimitSwitchFunctions Members

LimitSwitchFunctions型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LimitSwitchFunctions() | LimitSwitchFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LimitSwitchFunctions(Int32) | LimitSwitchFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LimitSwitchFunctions(String) | LimitSwitchFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをLimitSwitchFunctionsプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | LimitSwitchFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LimitSwitchCount | リミットスイッチ数。 |
| LimitSwitches | LimitSwitch関数。 |

## LimitSwitchFunctions Constructor

LimitSwitchFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

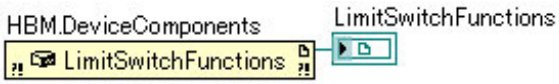
C#

```
public LimitSwitchFunctions()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## LimitSwitchFunctions Constructor(Int32)

LimitSwitchFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public LimitSwitchFunctions(
       int count
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       count As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| count | System.Int32 | リミットスイッチ数。 |

## LimitSwitchFunctions Constructor(String)

LimitSwitchFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public LimitSwitchFunctions(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LimitSwitchFunctions.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

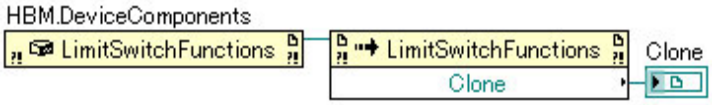
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | LimitSwitchFunctionsオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## LimitSwitchFunctions.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをLimitSwitchFunctionsプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

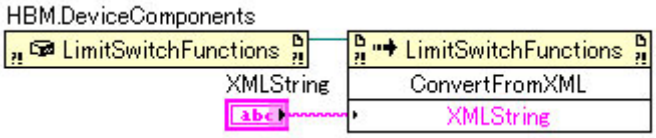
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LimitSwitchFunctions.ConvertToXML Method

LimitSwitchFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | LimitSwitchFunctionsプロパティのXML表現。 |

## LimitSwitchFunctions.LimitSwitchCount Property

リミットスイッチ数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

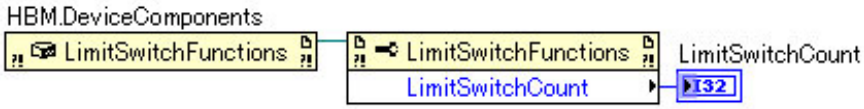
C#

```
public int LimitSwitchCount { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property LimitSwitchCount As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## LimitSwitchFunctions.LimitSwitches Property

LimitSwitch関数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

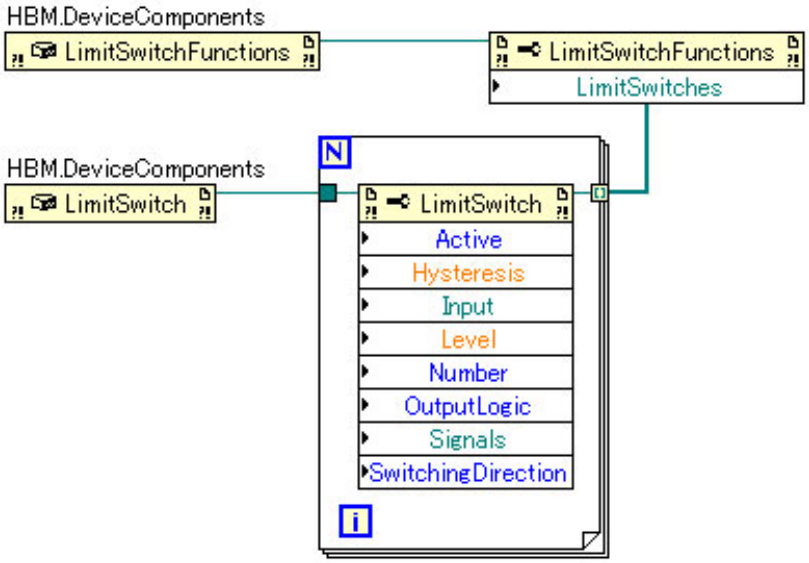
C#

```
public LimitSwitch[] LimitSwitches { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property LimitSwitches As LimitSwitch()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: LimitSwitch[] |

# LinTableクラス

**LinTable Class**
計測値のスケーリングタイプです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class LinTable : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class LinTable
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.LinTable

## LinTable Members

LinTable型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LinTable() | LinTableクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LinTable(String) | LinTableクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LinTable(Double, Double, Double, Double) | LinTableクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをLinTableプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | LinTableプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| NumberOfUsedPoints | 線形スケーリングに使用する点数を定義。 |
| Points | 計測値の線形補間に使用する点座標要素の配列。 |

## LinTable Constructor

LinTableクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public LinTable()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## LinTable Constructor(String)

LinTableクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public LinTable(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LinTable Constructor(Double, Double, Double, Double)

LinTableクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

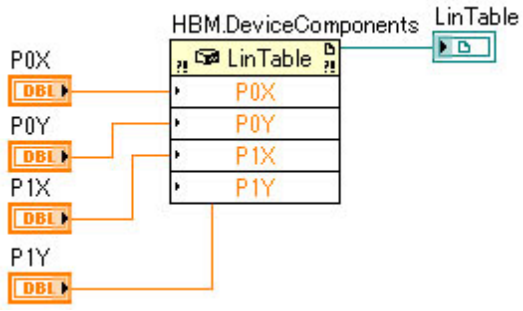
C#

```
public LinTable(
       double P0X,
       double P0Y,
       double P1X,
       double P1Y
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       P0X As Double,
       P0Y As Double,
       P1X As Double,
       P1Y As Double
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| P0X | System.Double | p0 X。 |
| P0Y | System.Double | p0 Y。 |
| P1X | System.Double | p1 X。 |
| P1Y | System.Double | p1 Y。 |

## LinTable.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | LinTableオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## LinTable.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをLinTableプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

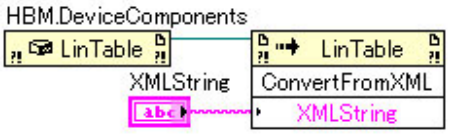
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LinTable.ConvertToXML Method

LinTableプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

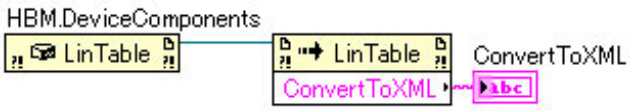
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | LinTableプロパティのXML表現。 |

## LinTable.NumberOfUsedPoints Property

線形スケーリングに使用する点数を定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

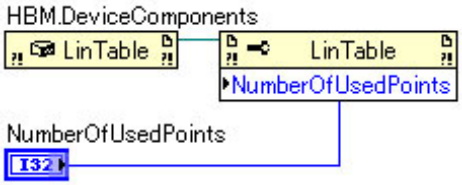
C#

```
public int NumberOfUsedPoints { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property NumberOfUsedPoints As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## LinTable.Points Property

計測値の線形補間に使用する点座標要素の配列。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

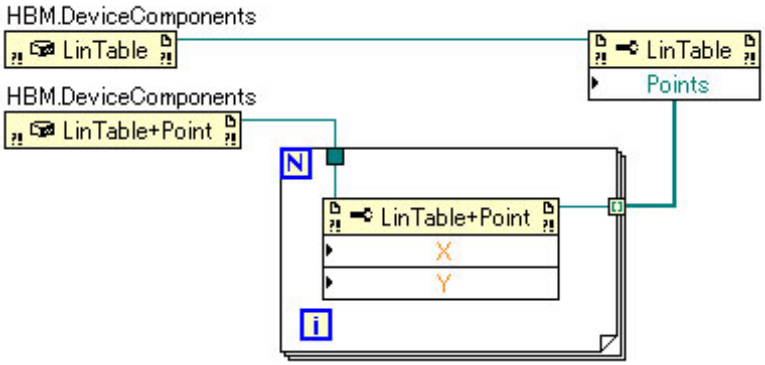
C#

```
public LinTable.Point[] Points { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Points As LinTable.Point()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: LinTable.Point[] |

# LinTable.Pointクラス

**LinTable.Point Class**
2次元のポイントを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Point
```

Visual Basic
```
Public Class Point
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.LinTable.Point

## LinTable.Point Members

LinTable.Point型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LinTable.Point() | LinTable.Pointクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LinTable.Point(Double, Double) | LinTable.Pointクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| X | X位置の値。 |
| Y | Y位置の値。 |

## LinTable.Point Constructor

LinTable.Pointクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

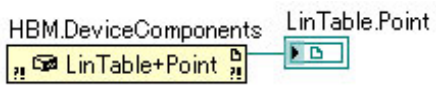
C#

```
public Point()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## LinTable.Point Constructor(Double, Double)

LinTable.Pointクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

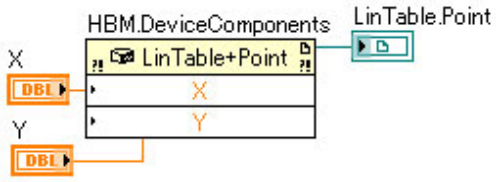
C#

```
public Point(
       double X,
       double Y
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       X As Double,
       Y As Double
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| X | System.Double | X。 |
| Y | System.Double | Y。 |

## LinTable.Point.X Property

X位置の値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

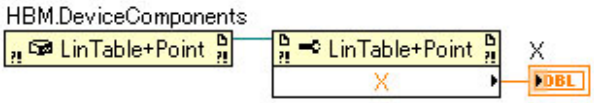
C#

```
public double X { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property X As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## LinTable.Point.Y Property

Y位置の値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

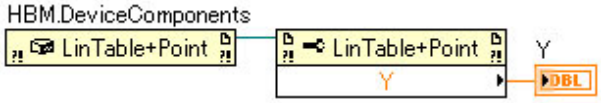
C#

```
public double Y { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Y As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# Lintable_TwoPointクラス

**Lintable_TwoPoint Class**
AnalogOutScalingTypeが使用するスケーリングタイプです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Lintable_TwoPoint : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Lintable_TwoPoint
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Lintable_TwoPoint

## Lintable_TwoPoint Members

Lintable_TwoPoint型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Lintable_TwoPoint() | Lintable_TwoPointクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Lintable_TwoPoint(String) | Lintable_TwoPointクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Lintable_TwoPoint(Double, Double, Double, Double) | Lintable_TwoPointクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをLintable_TwoPointプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | Lintable_TwoPointプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| NumberOfUsedPoints | 線形スケーリングに使用する点数を定義(常に2)。 |
| Points | 計測値の線形補間に使用する点座標要素の配列。 |

## Lintable_TwoPoint Constructor

Lintable_TwoPointクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

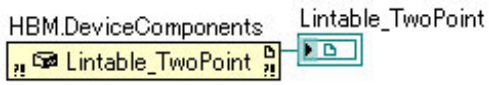
C#

```
public Lintable_TwoPoint()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Lintable_TwoPoint Constructor(String)

Lintable_TwoPointクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

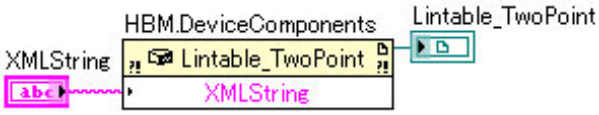
C#

```
public Lintable_TwoPoint(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Lintable_TwoPoint Constructor(Double, Double, Double, Double)

Lintable_TwoPointクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

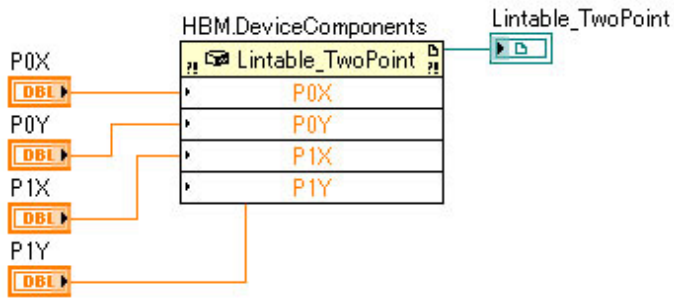
C#

```
public Lintable_TwoPoint(
       double P0X,
       double P0Y,
       double P1X,
       double P1Y
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       P0X As Double,
       P0Y As Double,
       P1X As Double,
       P1Y As Double
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| P0X | System.Double | p0 X。 |
| P0Y | System.Double | p0 Y。 |
| P1X | System.Double | p1 X。 |
| P1Y | System.Double | p1 Y。 |

## Lintable_TwoPoint.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

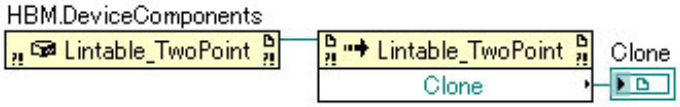
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Lintable_TwoPointオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Lintable_TwoPoint.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをLintable_TwoPointプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

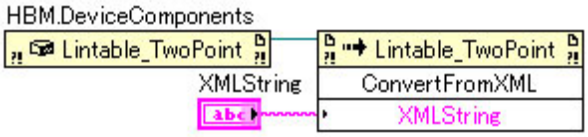
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Lintable_TwoPoint.ConvertToXML Method

Lintable_TwoPointプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

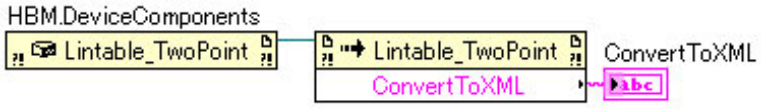
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Lintable_TwoPointプロパティのXML表現。 |

## Lintable_TwoPoint.NumberOfUsedPoints Property

線形スケーリングに使用する点数を定義(常に2)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

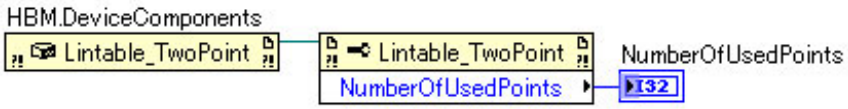
C#

```
public int NumberOfUsedPoints { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property NumberOfUsedPoints As Integer
        Get
        Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## Lintable_TwoPoint.Points Property

計測値の線形補間に使用する点座標要素の配列。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

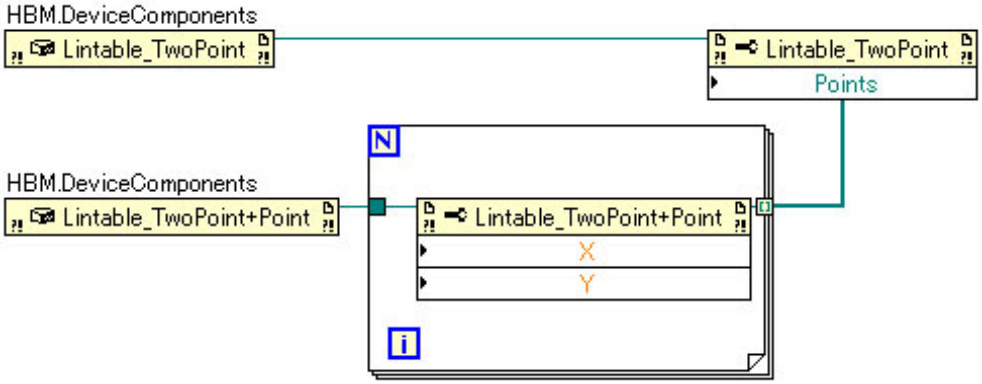
C#

```
public Lintable_TwoPoint.Point[] Points { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Points As Lintable_TwoPoint.Point()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Lintable_TwoPoint.Point[] |

# Lintable_TwoPoint.Pointクラス

**Lintable_TwoPoint.Point Class**
2次元のポイントを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Point
```

Visual Basic
```
Public Class Point
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Lintable_TwoPoint.Point

## Lintable_TwoPoint.Point Members

Lintable_TwoPoint.Point型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Lintable_TwoPoint.Point() | Lintable_TwoPoint.Pointクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Lintable_TwoPoint.Point(Double, Double) | Lintable_TwoPointクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| X | X位置の値。 |
| Y | Y位置の値。 |

## Lintable_TwoPoint.Point Constructor

Lintable_TwoPoint.Pointクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

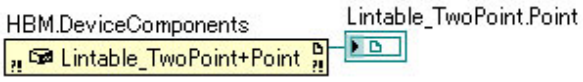
C#

```
public Point()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Lintable_TwoPoint.Point Constructor(Double, Double)

Lintable_TwoPoint.Pointクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

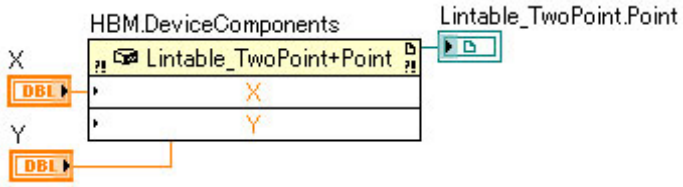
C#

```
public Point(
       double X,
       double Y
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       X As Double,
       Y As Double
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| X | System.Double | X。 |
| Y | System.Double | Y。 |

## Lintable_TwoPoint.Point.X Property

X位置の値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

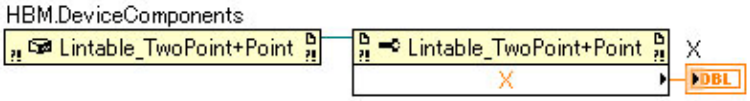
C#

```
public double X { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property X As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## Lintable_TwoPoint.Point.Y Property

Y位置の値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

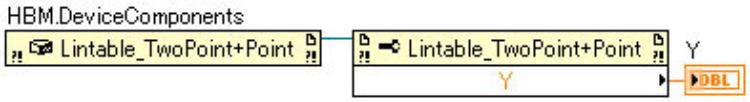
C#

```
public double Y { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Y As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# LowPassクラス

**LowPass Class**
ローパスフィルタの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class LowPass : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class LowPass
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.LowPass

## LowPass Members

LowPass型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LowPass() | LowPassクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LowPass(String) | LowPassクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをLowPassプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | LowPassプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| FilterCharacteristic | フィルタ特性。 |
| FilterFrequency | カットオフ周波数。 |

## LowPass Constructor

LowPassクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

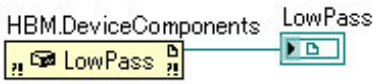
C#

```
public LowPass()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## LowPass Constructor(String)

LowPassクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

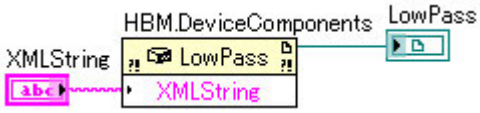
C#

```
public LowPass(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LowPass.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | LowPassオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## LowPass.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをLowPassプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

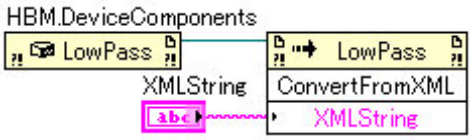
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LowPass.ConvertToXML Method

LowPassプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

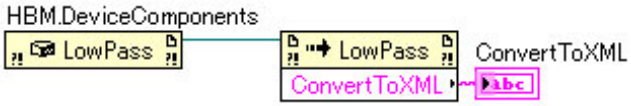
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | LowPassプロパティのXML表現。 |

## LowPass.FilterCharacteristic Property

フィルタ特性。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

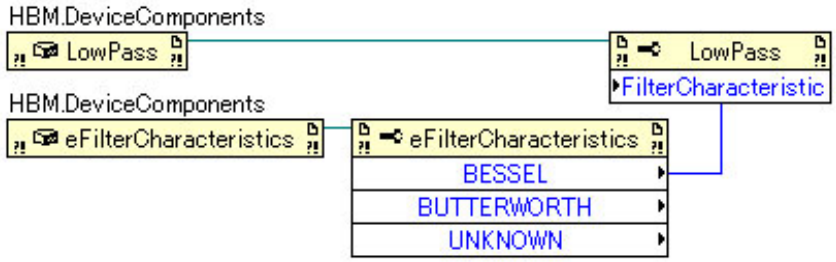
C#

```
public eFilterCharacteristics FilterCharacteristic { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FilterCharacteristic As eFilterCharacteristics
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eFilterCharacteristics |

## LowPass.FilterFrequency Property

カットオフ周波数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

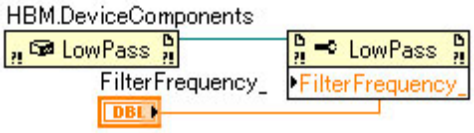
C#

```
public Nullable<double> FilterFrequency { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FilterFrequency As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# LVDTクラス

**LVDT Class**
LVDTセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class LVDT : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class LVDT
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.LVDT

## LVDT Members

LVDT型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LVDT() | LVDTクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| LVDT(String) | LVDTクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをLVDTプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | LVDTプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |

## LVDT Constructor

LVDTクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public LVDT()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## LVDT Constructor(String)

LVDTクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public LVDT(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LVDT.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

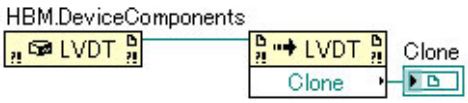
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | LVDTオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## LVDT.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをLVDTプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

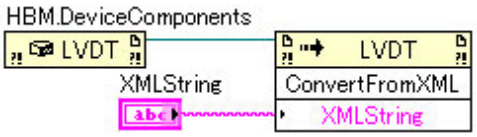
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## LVDT.ConvertToXML Method

LVDTプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

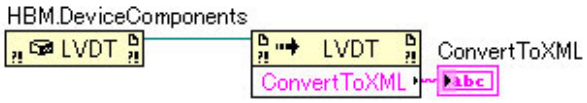
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | LVDTプロパティのXML表現。 |

## LVDT.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

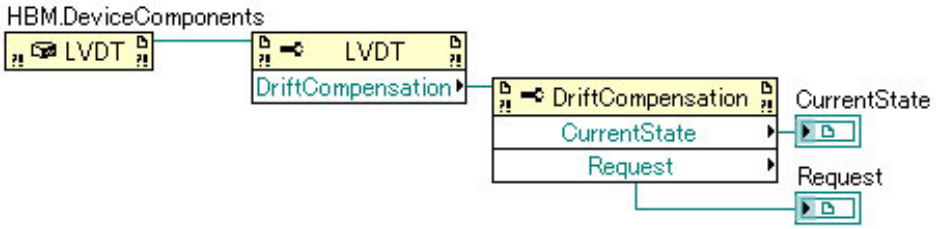
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## LVDT.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

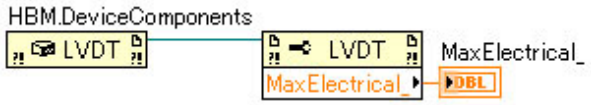
C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# Mathクラス

**Math Class**
数学関数コレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Math : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Math
       Implements ICloneable
```

例

サンプルはQXSystem.AssignMath(...)を参照して下さい。

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Math

## Math Members

Math型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Math() | Mathクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Math(Int32) | Mathクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Math(String) | Mathクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをMathプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | MathプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | Math関数が有効かどうかを判定。 |
| MathType | Math関数のタイプ。 |
| Number | Math関数のインデックス番号。 |
| ZeroOffset | センサのゼロオフセット。 |

## Math Constructor

Mathクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Math()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Math Constructor(Int32)

Mathクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

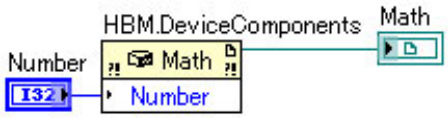
C#

```
public Math(
       int Number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       Number As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Number | System.Int32 | Math番号。 |

## Math Constructor(String)

Mathクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

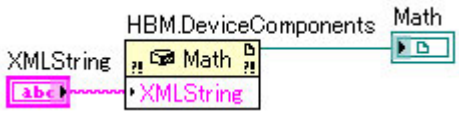
C#

```
public Math(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Math.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

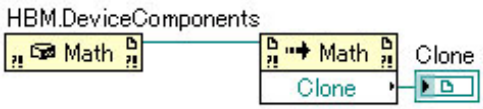
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Mathオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Math.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをMathプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Math.ConvertToXML Method

Mathプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Mathプロパティ のXML表現。 |

## Math.Active Property

Math関数が有効かどうかを判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

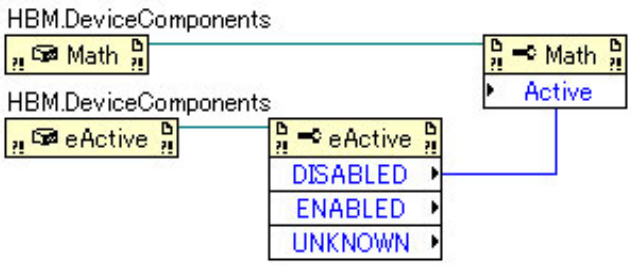
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## Math.MathType Property

Math関数のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

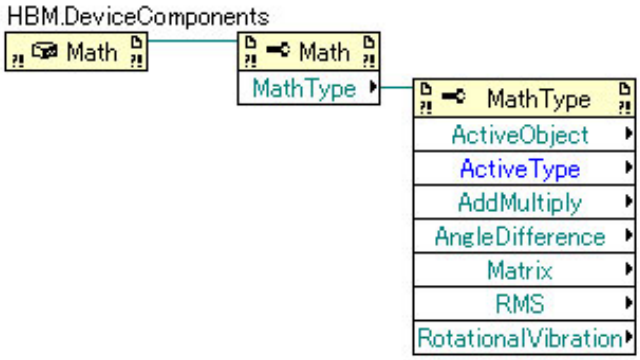
C#

```
public MathType MathType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MathType As MathType
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: MathType |

## Math.Number Property

Math関数のインデックス番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

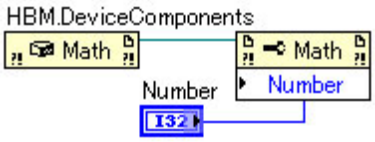
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## Math.ZeroOffset Property

センサのゼロオフセット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

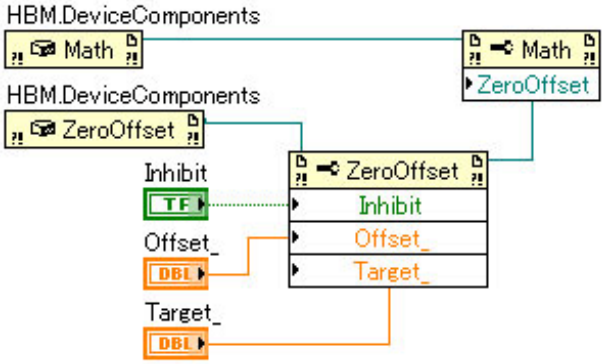
C#

```
public ZeroOffset ZeroOffset { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ZeroOffset As ZeroOffset
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ZeroOffset |

# MathFunctionsクラス

**MathFunctions Class**
数学関数コレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class MathFunctions : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class MathFunctions
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.MathFunctions

## MathFunctions Members

MathFunctions型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| MathFunctions() | MathFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| MathFunctions(Int32) | MathFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| MathFunctions(String) | MathFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをMathFunctionsプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | MathFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| MathCount | Math関数の数。 |
| Maths | Math関数。 |

## MathFunctions Constructor

MathFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public MathFunctions()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## MathFunctions Constructor(Int32)

MathFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public MathFunctions(
       int count
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       count As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Number | System.Int32 | 関数の数。 |

## MathFunctions Constructor(String)

MathFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public MathFunctions(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## MathFunctions.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

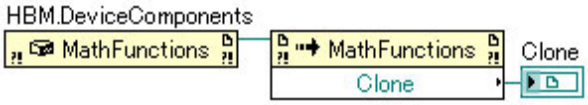
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | MathFunctionsオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## MathFunctions.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをMathFunctionsプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## MathFunctions.ConvertToXML Method

MathFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

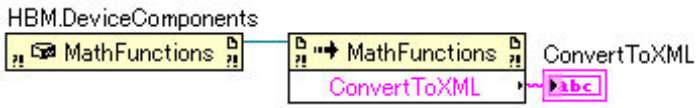
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | MathFunctionsプロパティのXML表現。 |

## MathFunctions.MathCount Property

Math関数の数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

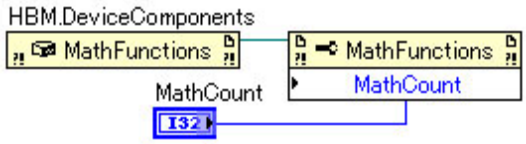
C#

```
public int MathCount { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MathCount As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## MathFunctions.Maths Property

Math関数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

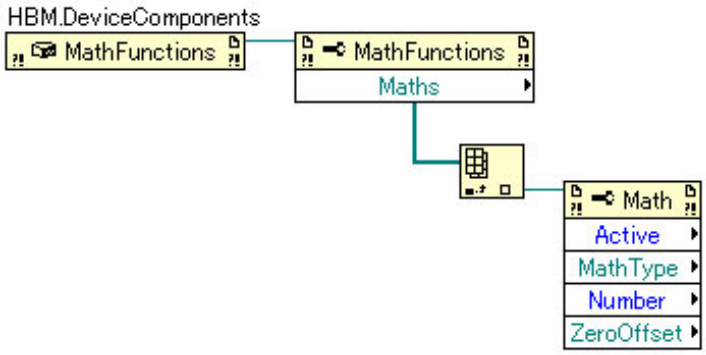
C#

```
public Math[] Maths { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Maths As Math()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Math[] |

# MathTypeクラス

**MathType Class**
数学関数コレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class MathType : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class MathType
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.MathType

## MathType Members

MathType型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| MathType() | MathTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| MathFunctions(String) | MathTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをMathTypeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | MathTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | アクティブなMathオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでMathオブジェクトのレンダリングを最適化するために使用)。 |
| ActiveType | Math関数のタイプ。 |
| AddMultiply | 加算および積算を設定するクラス。 |
| AngleDifference | 位相差を設定するクラス。 |
| Matrix | 行列演算を設定するクラス。 |
| PID | PIDコントローラを設定するクラス。 |
| RMS | RMSを設定するクラス。 |
| RotationalVibration | 回転振動を計算するクラス。 |

## MathType Constructor

MathTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

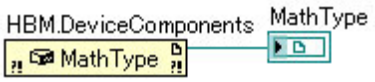
C#

```
public MathType()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## MathType Constructor(String)

MathTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

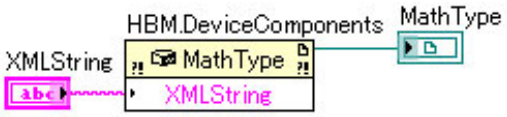
C#

```
public MathType(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## MathType.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

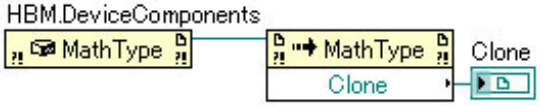
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | MathTypeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## MathType.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをMathTypeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## MathType.ConvertToXML Method

MathTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

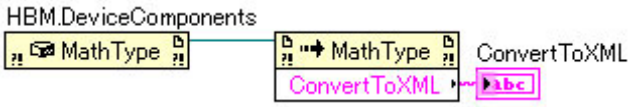
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | MathTypeプロパティのXML表現。 |

## MathType.ActiveObject Property

アクティブなMathオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでMathオブジェクトのレンダリングを最適化するために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

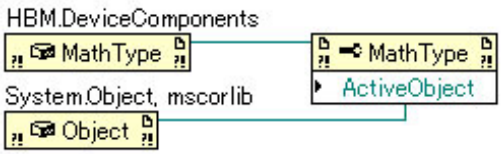
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## MathType.ActiveType Property

Math関数のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

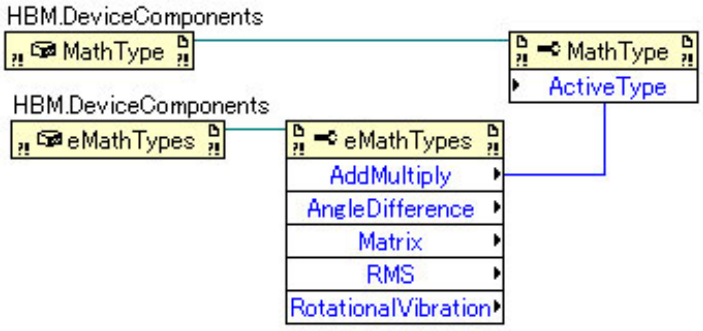
C#

```
public eMathTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eMathTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eMathTypes |

## MathType.AddMultiply Property

加算および積算を設定するクラス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

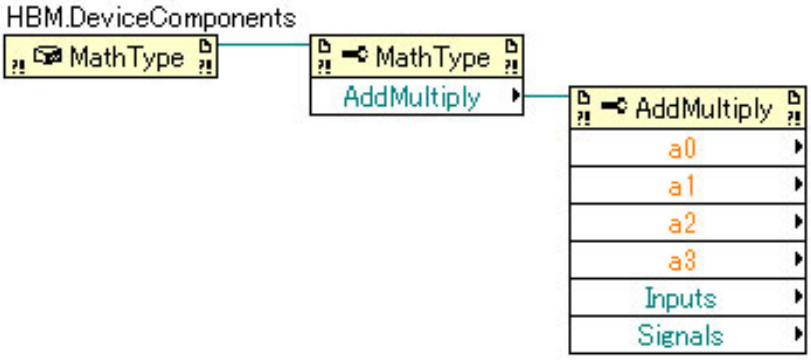
C#

```
public AddMultiply AddMultiply { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AddMultiply As AddMultiply
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AddMultiply |

## MathType.AngleDifference Property

位相差を設定するクラス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

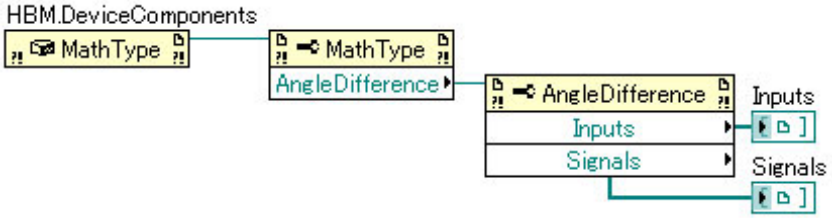
C#

```
public AngleDifference AngleDifference { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AngleDifference As AngleDifference
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AngleDifference |

## MathType.Matrix Property

行列演算を設定するクラス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

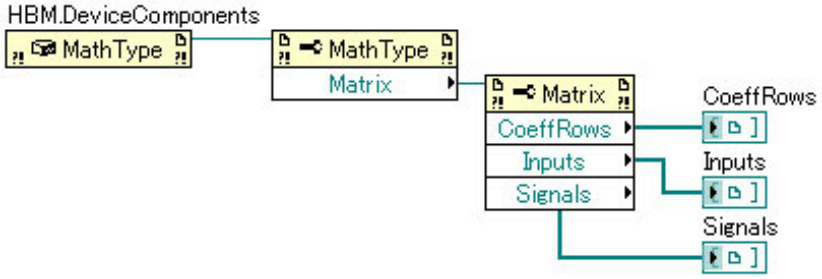
C#

```
public Matrix Matrix { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Matrix As Matrix
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Matrix |

## MathType.PID Property

PIDコントローラを設定するクラス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

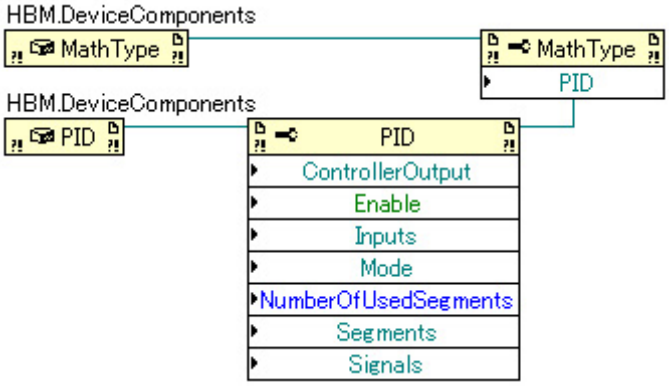
C#

```
public PID PID { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PID As PID
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PID |

## MathType.RMS Property

RMSを設定するクラス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

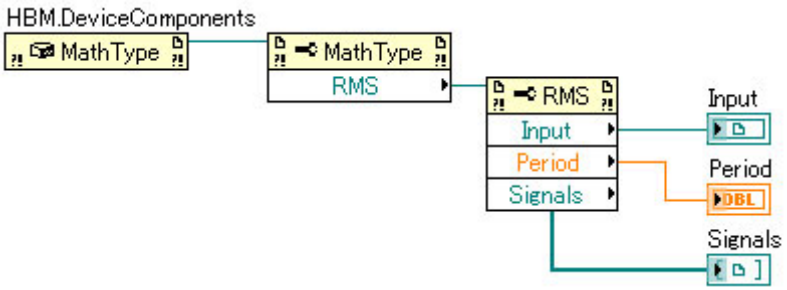
C#

```
public RMS RMS { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RMS As RMS
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: RMS |

## MathType.RotationalVibration Property

回転振動を計算するクラス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

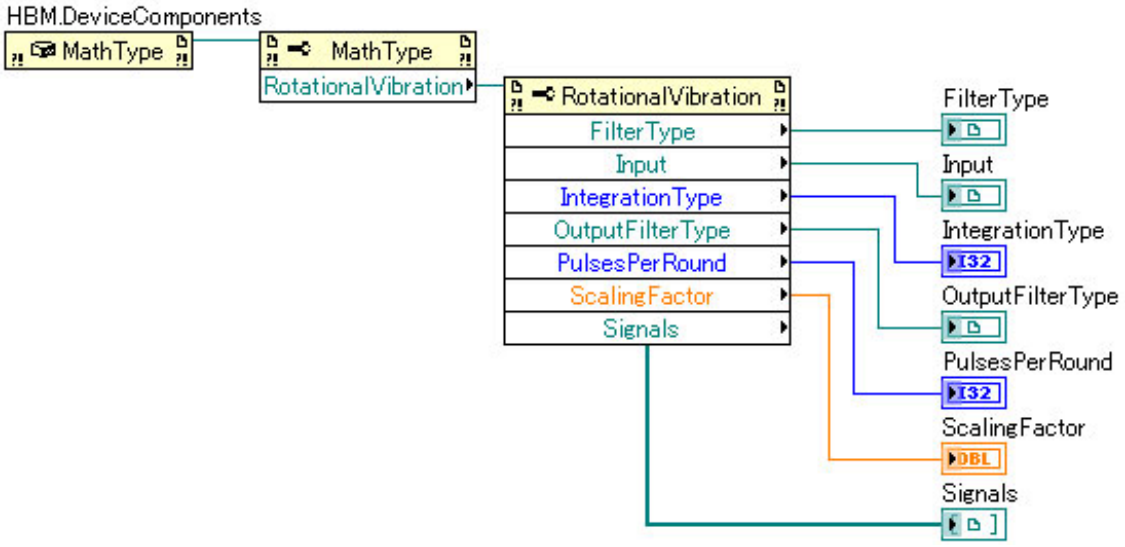
C#

```
public RotationalVibration RotationalVibration { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RotationalVibration As RotationalVibration
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: RotationalVibration |

# Matrixクラス

**Matrix Class**
行列演算を設定するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Matrix : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Matrix
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Matrix

## Matrix Members

Matrix型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Matrix() | Matrixクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Matrix(String) | Matrixクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをMatrixプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | MatrixプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CoeffRows | 行列演算の行係数。 |
| Inputs | 計算のソースとして使用する入力信号。 |
| Signals | 出力信号のパラメータ。 |

## Matrix Constructor

Matrixクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

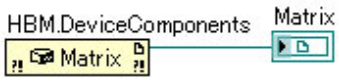
C#

```
public Matrix()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Matrix Constructor(String)

Matrixクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Matrix(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Matrix.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

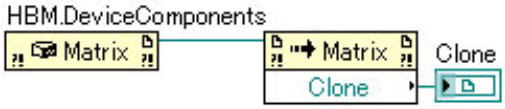
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Matrixオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Matrix.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをMatrixプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

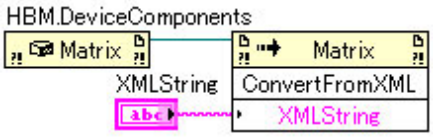
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Matrix.ConvertToXML Method

Matrixプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

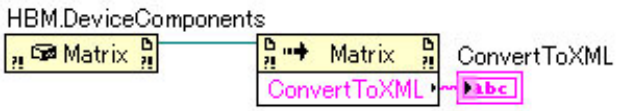
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Matrixプロパティの XML表現。 |

## Matrix.CoeffRows Property

行列演算の行係数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

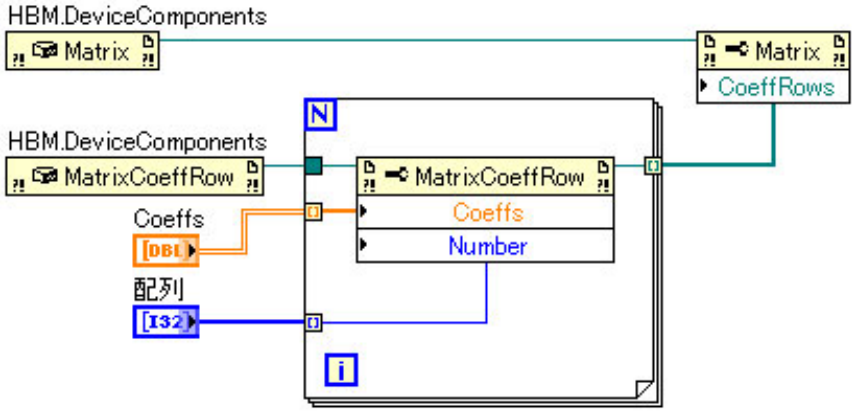
C#

```
public MatrixCoeffRow[] CoeffRows { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CoeffRows As MatrixCoeffRow()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: MatrixCoeffRow[] |

## Matrix.Inputs Property

計算のソースとして使用する入力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

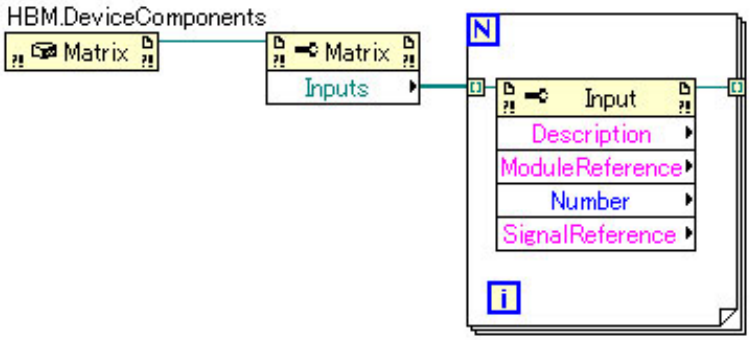
C#

```
public Input[] Inputs { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Inputs As Input()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input[] |

## Matrix.Signals Property

出力信号のパラメータ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

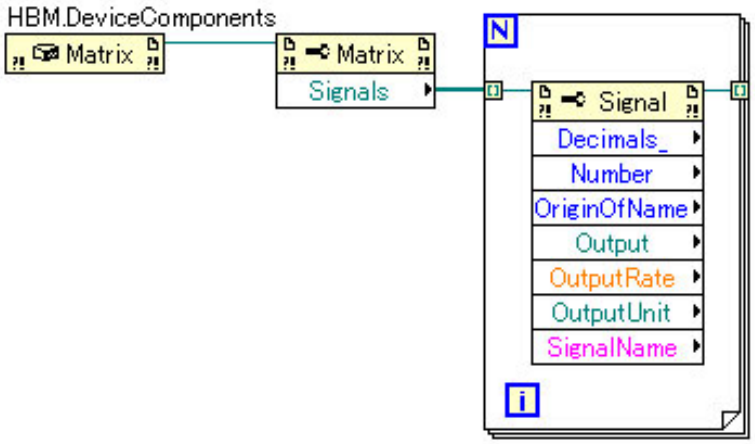
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

# MatrixCoeffRowクラス

**MatrixCoeffRow Class**
行列演算の行係数を設定するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class MatrixCoeffRow : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class MatrixCoeffRow
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.MatrixCoeffRow

## MatrixCoeffRow Members

MatrixCoeffRow型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| MatrixCoeffRow() | MatrixCoeffRowクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| MatrixCoeffRow(Int32) | MatrixCoeffRowクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| MatrixCoeffRow(String) | MatrixCoeffRowクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをMatrixCoeffRowプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | MatrixCoeffRowプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Coeffs | 行係数。 |
| Number | 行係数番号。 |

## MatrixCoeffRow Constructor

MatrixCoeffRowクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

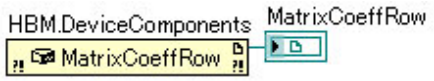
C#

```
public MatrixCoeffRow()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## MatrixCoeffRow Constructor(Int32)

MatrixCoeffRowクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

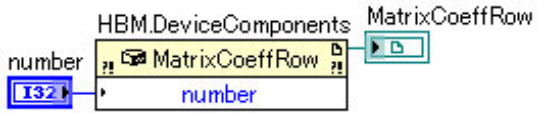
C#

```
public MatrixCoeffRow(
       int number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       number As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| number | System.Int32 | 行番号。 |

## MatrixCoeffRow Constructor(String)

MatrixCoeffRowクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

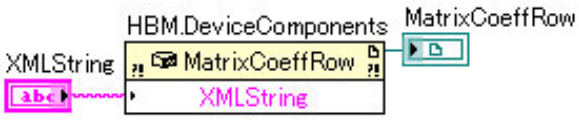
C#

```
public MatrixCoeffRow(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## MatrixCoeffRow.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

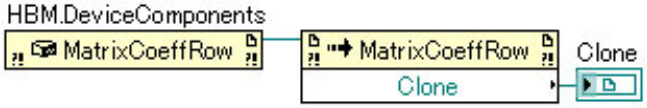
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | MatrixCoeffRowオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## MatrixCoeffRow.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをMatrixCoeffRowプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

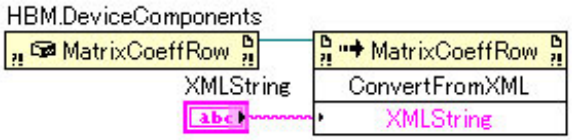
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## MatrixCoeffRow.ConvertToXML Method

MatrixCoeffRowプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | MatrixCoeffRowプロパティのXML表現。 |

## MatrixCoeffRow.Coeffs Property

行係数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public double[] Coeffs { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Coeffs As Double()
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double[] |

## MatrixCoeffRow.Number Property

行係数番号

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

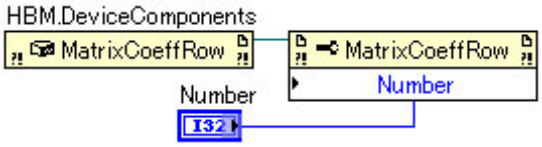
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

# MeasureElectricalValueHelper クラス

## MeasureElectricalValueHelper Class

この静的クラスは、PropertyGridのに使用されているオブジェクトのパラメータに、単一の電気計測値を取得するためのカスタム関数を結びつけるするのに役立ちます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static class MeasureElectricalValueHelper
```

Visual Basic

```
Public NotInheritable Class MeasureElectricalValueHelper
```

継承階層

System.Object
  HBM.DeviceComponents.MeasureElectricalValueHelper

## MeasureElectricalValueHelper Members

MeasureElectricalValueHelper型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| フィールド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| MeasureValueFunction | プロパティを編集する必要があるときに呼び出される関数ポインタ。詳細については、MeasureElectricalValueHelper.MeasureValueDelegateを参照してください。<br>nullの場合は場合「measure」ボタンが有効になりません。 |

## MeasureElectricalValueHelper.MeasureValueFunction Field

プロパティを編集する必要があるときに呼び出される関数ポインタ。詳細については、MeasureElectricalValueHelper.MeasureValueDelegateを参照してください。
nullの場合は場合「measure」ボタンが有効になりません。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static MeasureElectricalValueHelper.MeasureValueDelegate MeasureValueFunction
```

Visual Basic

```
Public Shared MeasureValueFunction As MeasureElectricalValueHelper.MeasureValueDelegate
```

| | |
|---|---|
| フィールド値 | Type: MeasureElectricalValueHelper.MeasureValueDelegate |

# ModuleStatusクラス

**ModuleStatus Class**
デバイスの状態を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ModuleStatus
```

Visual Basic
```
Public Class ModuleStatus
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ModuleStatus

## ModuleStatus Members

ModuleStatus型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ModuleStatus() | ModuleStatusクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ModuleStatus(UInt32, UInt32, UInt32, UInt32, UInt64, String) | ModuleStatusクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ToString | インスタンスを表す文字列を返します。<br>Object.ToString()より優先します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Channel | 有効なチャネル番号。 |
| Connector | 有効なコネクタ番号。 |
| ID | ステータスを表すID。 |
| Info | ステータスを表すテキスト。 |
| Signal | 有効な信号番号。 |
| Value | ステータス値。 |

## ModuleStatus Constructor

ModuleStatusクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

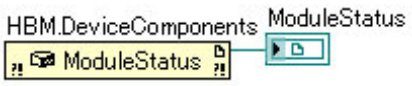
C#

```
public ModuleStatus()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ModuleStatus Constructor(UInt32, UInt32, UInt32, UInt32, UInt64, String)

ModuleStatusクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

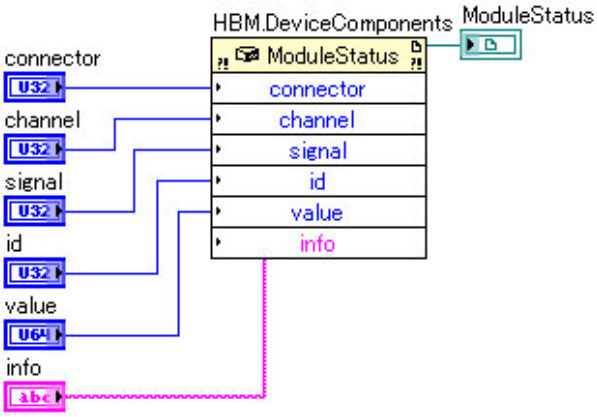
C#

```
public ModuleStatus(
       uint connector,
       uint channel,
       uint signal,
       uint id,
       ulong value,
       string info
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       connector As UInteger,
       channel As UInteger,
       signal As UInteger,
       id As UInteger,
       value As ULong,
       info As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Connector | System.UInt32 | 有効なコネクタ番号。 |
| Channel | System.UInt32 | 有効なチャネル番号。 |
| Signal | System.UInt32 | 有効な信号番号。 |
| ID | System.UInt32 | ステータスを表すID。 |
| Value | System.UInt64 | ステータス値。 |
| Info | System.String | ステータスを表すテキスト。 |

## ModuleStatus.ToString Method

インスタンスを表す文字列を返します。
Object.ToString()より優先します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public override string ToString()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function ToString As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ToString | String | インスタンスを表す文字列。 |

## ModuleStatus.Channel Property

有効なチャネル番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

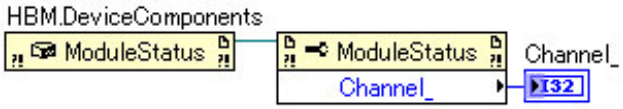
C#

```
public Nullable<uint> Channel { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Channel As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## ModuleStatus.Connector Property

有効なコネクタ番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

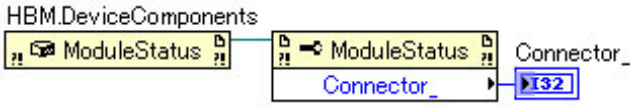
C#

```
public Nullable<uint> Connector { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Connector As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## ModuleStatus.ID Property

ステータスを表すID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

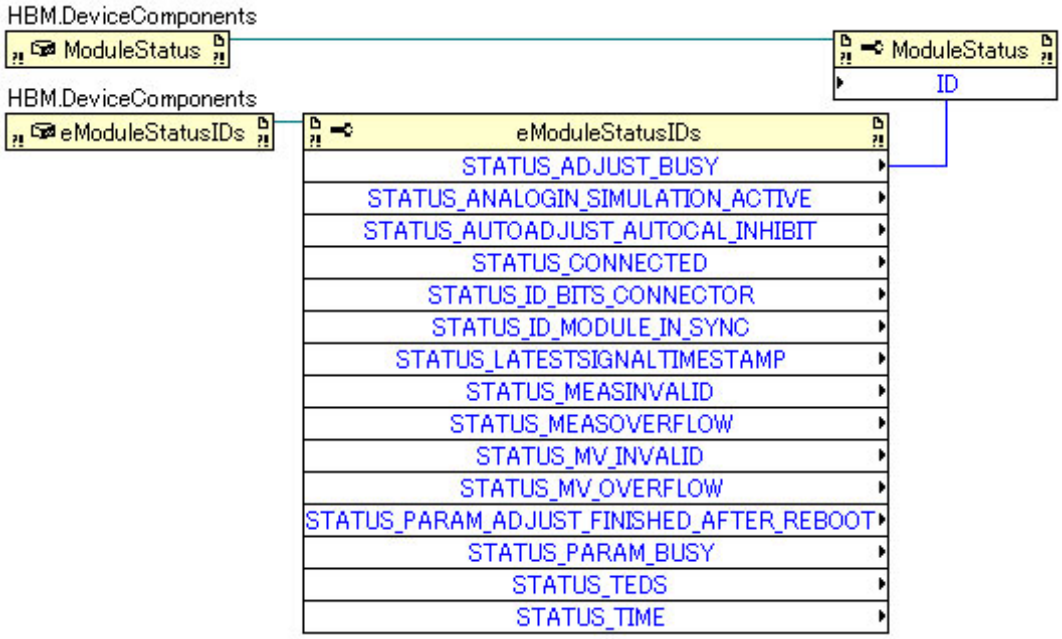
C#

```
public eModuleStatusIDs ID { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ID As eModuleStatusIDs
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eModuleStatusIDs |

## ModuleStatus.Info Property

ステータスを表すテキスト。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

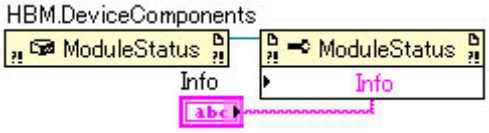
C#

```
public string  Info { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Info As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ModuleStatus.Signal Property

有効な信号番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

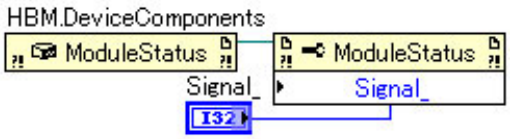
C#

```
public Nullable<uint> Signal { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signal As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## ModuleStatus.Value Property

ステータス値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

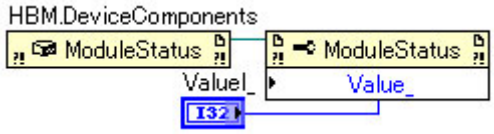
C#

```
public ulong Value { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Value As ULong
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt64 |

# Networkクラス

**Network Class**
ネットワークのポート設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Network : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Network
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Network

## Network Members

Network型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Network() | Networkクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Network(String) | Networkクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをNetworkプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | NetworkプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Ethernets | デバイスのイーサネット接続の配列設定。 |
| GateWay | ゲートウェイサーバのアドレス。 |
| TcpPort | TCP待ち受けポート。 |
| UdpPort | **廃止。**<br>通信に使用するUDPポート。 |

## Network Constructor

Networkクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

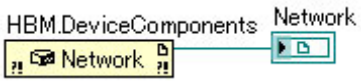
C#

```
public Network()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Network Constructor(String)

Networkクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Network(
       string xml
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       xml As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| xml | System.String | XML。 |

## Network.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

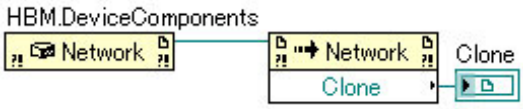
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | Networkオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## Network.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをNetworkプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Network.ConvertToXML Method

NetworkプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

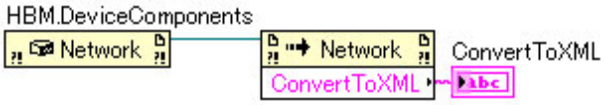
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | NetworkプロパティのXML表現。 |

## Network.Ethernets Property

デバイスのイーサネット接続の配列設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

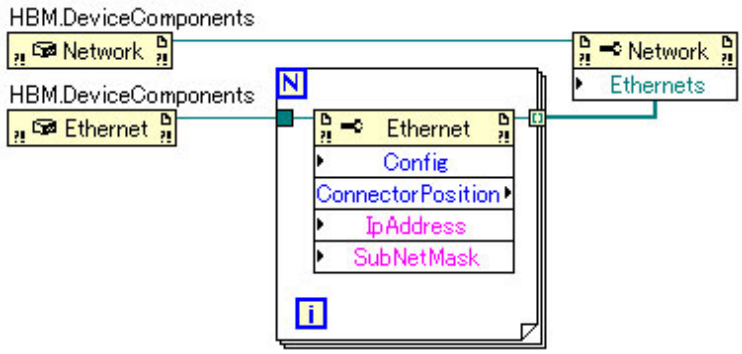
C#

```
public Ethernet[] Ethernets { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Ethernets As Ethernet()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Ethernet[] |

## Network.GateWay Property

ゲートウェイサーバのアドレス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

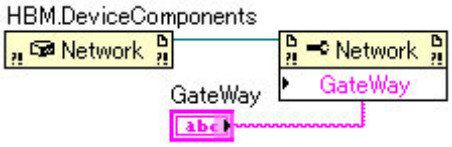
C#

```
public string GateWay { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property GateWay As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Network.TcpPort Property

TCP待ち受けポート。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

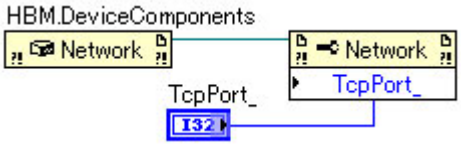
C#

```
public Nullable<uint> TcpPort { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property TcpPort As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

## Network.UdpPort Property

通信に使用するUDPポート。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

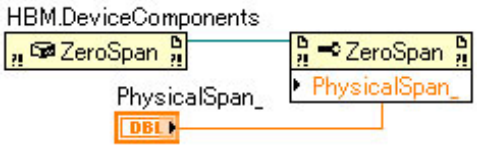
C#

```
[ObsoleteAttribute("The property Network.UdpPort does not exist anymore.",
        false)]
public Nullable<uint> UdpPort { get; set; }
```

Visual Basic

```
ObsoleteAttribute("The property Network.UdpPort does not exist anymore.",
        false)>
Public Property UdpPort As Nullable(Of UInteger)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt32) |

# NtpTimeSourceクラス

**NtpTimeSource Class**
NtpTimeSourceの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class NtpTimeSource : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class NtpTimeSource
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.NtpTimeSource

## NtpTimeSource Members

NtpTimeSource型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| NtpTimeSource() | NtpTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| NtpTimeSource(String) | NtpTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをNtpTimeSourceプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | NtpTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| IpAddress | NTPサーバのIPアドレス。 |
| ThresholdOutOfSync | しきい値。 |

## NtpTimeSource Constructor

NtpTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

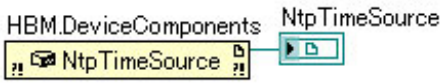
C#

```
public NtpTimeSource()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## NtpTimeSource Constructor(String)

NtpTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public NtpTimeSource(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## NtpTimeSource.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

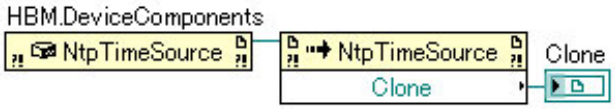
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | NtpTimeSourceオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## NtpTimeSource.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをNtpTimeSourceプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

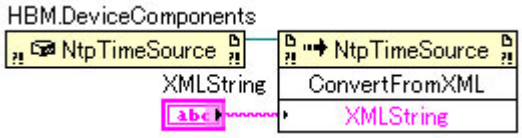
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## NtpTimeSource.ConvertToXML Method

NtpTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | NtpTimeSourceプロパティのXML表現。 |

## NtpTimeSource.IpAddress Property

NTPサーバのIPアドレス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string IpAddress { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IpAddress As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# NtpTimeSource.ThresholdOutOfSync Property

しきい値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

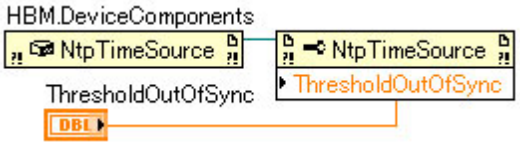
C#

```
public double ThresholdOutOfSync { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ThresholdOutOfSync As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# ObjectEditorクラス

**ObjectEditor Class**

PropertyGridを使用してオブジェクトエディタを開くクラスです。
HBM.DeviceComponentsの任意のオブジェクトがダイアログでキャンセルした場合、原状回復できるよう、クローンを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public staticclass ObjectEditor
```

Visual Basic

```
Public NotInheritable Class ObjectEditor
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ObjectEditor

例

```
SyncSignal mySyncSignal = MyDevice.Connectors[connectorNo].AnalogInChannel.
SyncSignals[0];
   //or directly from the module
   //mySyncSignal = QuantumX.QXSystem.ReadSyncSignal(MyDevice.UUID, connectorNo,
   //0);

   if (ObjectEditor.ShowDialog("Edit the object", mySyncSignal) == DialogResult.OK)
   {
   //commit the changes
   QuantumX.QXSystem.AssignSyncSignal(MyDevice.UUID, connectorNo, mySyncSignal);
   }
   else
   {
   //in the 'else' case the object state is reverted to the original.
   } //else
```

## ObjectEditor Members

ObjectEditor型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ShowDialog(String, Object) | オブジェクトによりエディタを開きます。<br>オブジェクトがIClonable、ConvertFromXML()および<br>ConvertToXML()を実装した場合のみ、オブジェクトが"OK"をクリック<br>しない場合に備えて、回復するためのクローンを作成します。 |
| ShowDialog(IWin32Window, String, Object) | オブジェクトによりエディタを開きます。<br>オブジェクトがIClonable、ConvertFromXML()および<br>ConvertToXML()を実装した場合のみ、オブジェクトが"OK"をクリック<br>しない場合に備えて、回復するためのクローンを作成します。 |

## ObjectEditor.ShowDialog(String, Object) Method

オブジェクトによりエディタを開きます。
オブジェクトがIClonable、ConvertFromXML()およびConvertToXML()を実装した場合のみ、オブジェクトが"OK"をクリックしない場合に備えて、回復するためのクローンを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

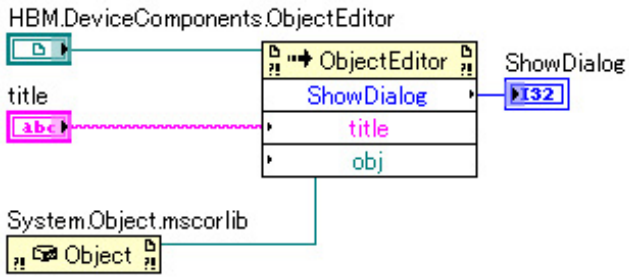
C#

```
public static DialogResult ShowDialog(
       string title,
       Object obj
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ShowDialog(
       title As String,
       obj As Object
) As DialogResult
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| title | System.String | エディタのタイトル。 |
| obj | System.Object | 操作するオブジェクト。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| DialogResult | DialogResult | エディタフォームのDialogResult。 |

## ObjectEditor.ShowDialog(IWin32Window, String, Object) Method

オブジェクトによりエディタを開きます。
オブジェクトがIClonable、ConvertFromXML()およびConvertToXML()を実装した場合のみ、オブジェクトが"OK"をクリックしない場合に備えて、回復するためのクローンを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

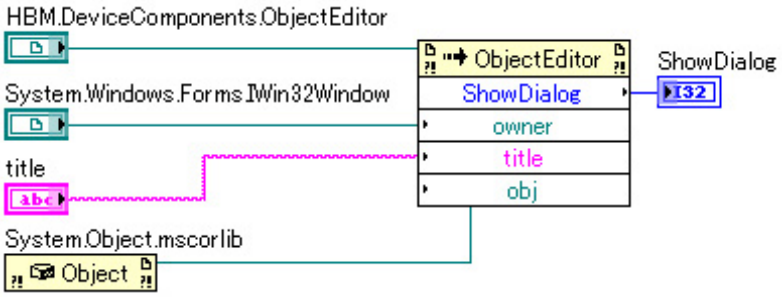
C#

```
public static DialogResult ShowDialog(
       IWin32Window owner,
       string title,
       Object obj
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ShowDialog(
       owner As IWin32Window,
       title As String,
       obj As Object
) As DialogResult
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| owner | System.Windows.Forms.IWin32Window | オーナーのダイアログ。 |
| title | System.String | エディタのタイトル。 |
| obj | System.Object | 操作するオブジェクト。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| DialogResult | DialogResult | エディタフォームのDialogResult。 |

# Outputクラス

**Output Class**
出力ファンクションブロックを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Output : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Output
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Output

## Output Members

Output型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Output() | Outputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Output(String) | Outputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをOutputプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | OutputプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DaqAvailable | データ収集(DAQ)が有効かどうかのブール値を取得または設定。 |
| Description | 出力の説明。 |
| RtAvailable | リアルタイム送信が有効かどうかのブール値を取得または設定。 |
| SignalReference | 以降の処理で使用する入力オブジェクトの信号リファレンスの取得(SignalReferenceを参照)、またはデータ収集(DAQ、QXSimpleDAQ.SubscribeSignal(...)を参照)。 |

## Output Constructor

Outputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Output()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Output Constructor(String)

Outputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

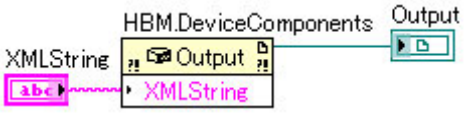
C#

```
public Output(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Output.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

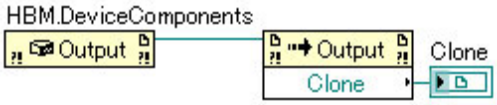
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Outputオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Output.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをOutputプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Output.ConvertToXML Method

Outputプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

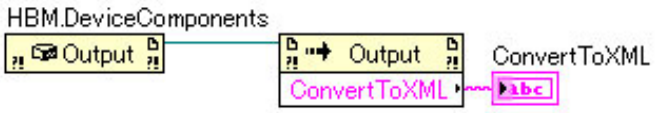
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Outputプロパティの XML表現。 |

## Output.DaqAvailable Property

データ収集(DAQ)が有効かどうかのブール値を取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public bool DaqAvailable { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DaqAvailable As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>DAQが利用可の場合true、それ以外はfalse。 |

## Output.Description Property

出力の説明。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

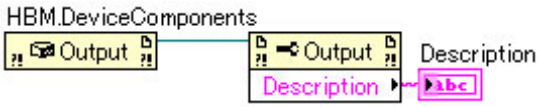
C#

```
public string Description { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Description As String
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Output.RtAvailable Property

リアルタイム送信が有効かどうかのブール値を取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

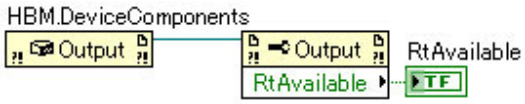
C#

```
public bool RtAvailable { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RtAvailable As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>リアルタイム送信が有効の場合true、それ以外はfalse。 |

## Output.SignalReference Property

以降の処理で使用する入力オブジェクトの信号リファレンスの取得(SignalReferenceを参照)、またはデータ収集(DAQ、QXSimpleDAQ.SubscribeSignal(...)を参照)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

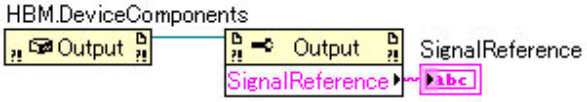
C#

```
public string SignalReference { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property SignalReference As String
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# OutputFilterTypeクラス

**OutputFilterType Class**
出力のフィルタ設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class OutputFilterType : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class OutputFilterType
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.OutputFilterType

## OutputFilterType Members

OutputFilterType型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| OutputFilterType() | OutputFilterTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| OutputFilterType(String) | OutputFilterTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをOutputFilterTypeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | OutputFilterTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのフィルタオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 利用するフィルタを定義。現在はローパスフィルタを利用できません。 |
| HighPass | ハイパスフィルタの設定。 |

## OutputFilterType Constructor

OutputFilterTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

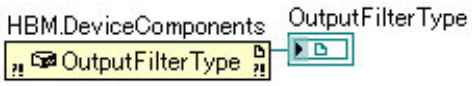
C#

```
public OutputFilterType()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## OutputFilterType Constructor(String)

OutputFilterTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

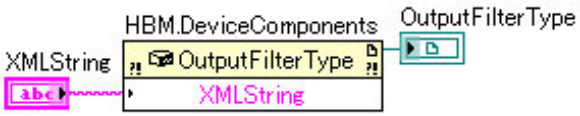
C#

```
public OutputFilterType(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | String | XMLスニペット。 |

## OutputFilterType.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

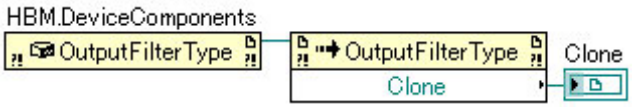
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | OutputFilterTypeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## OutputFilterType.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをOutputFilterTypeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

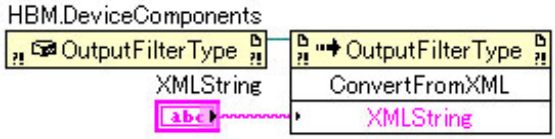
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## OutputFilterType.ConvertToXML Method

OutputFilterTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

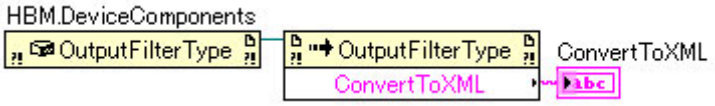
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | OutputFilterTypeプロパティのXML表現。 |

## OutputFilterType.ActiveObject Property

ActiveTypeのフィルタオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

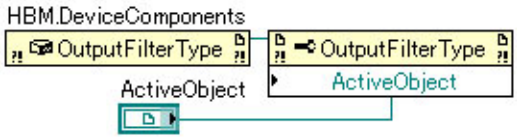
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## OutputFilterType.ActiveType Property

利用するフィルタを定義。現在はローパスフィルタを利用できません。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

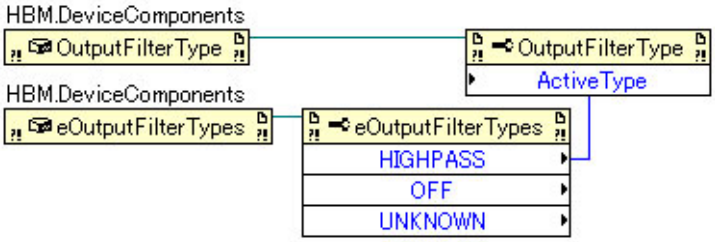
C#

```
public eOutputFilterTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eOutputFilterTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOutputFilterTypes |

## OutputFilterType.HighPass Property

ハイパスフィルタの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

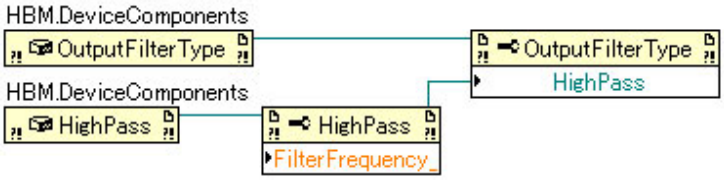
C#

```
public HighPass HighPass { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property HighPass As HighPass
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: HighPass |

# OutputUnitクラス

**OutputUnit Class**
工学単位のパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class OutputUnit : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class OutputUnit
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.OutputUnit

## OutputUnit Members

OutputUnit型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| OutputUnit() | OutputUnitクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| OutputUnit(String) | OutputUnitクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをOutputUnitプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | OutputUnitプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Factor | センサ部の計算に使用する出力部の傾き(y = Factor * x + Offset)。 |
| Offset | センサ部の計算に使用する出力部のオフセット(y = Factor * x + Offset)。 |
| UnitID | 出力部として使用する工学単位のID。 |
| UserText | 工学単位のユーザ定義テキスト(UnitIDで「UserDefined」を設定した場合)。 |

## OutputUnit Constructor

OutputUnitクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

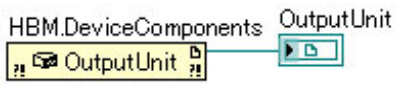
C#

```
public OutputUnit()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## OutputUnit Constructor(String)

OutputUnitクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public OutputUnit(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## OutputUnit.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

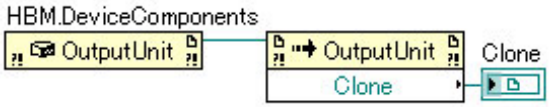
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | OutputUnitオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## OutputUnit.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをOutputUnitプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

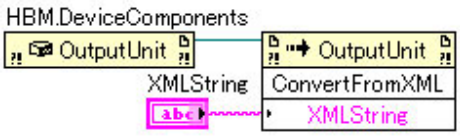
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## OutputUnit.ConvertToXML Method

OutputUnitプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

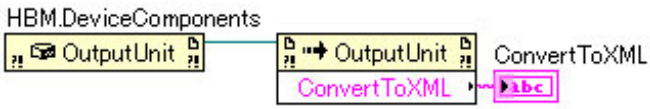
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | OutputUnitプロパティのXML表現。 |

## OutputUnit.Factor Property

センサ部の計算に使用する出力部の傾き(y = Factor * x + Offset)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

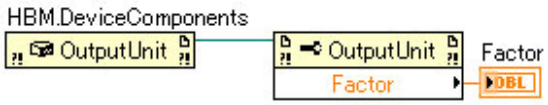
C#

```
public double Factor { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Factor As Double
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## OutputUnit.Offset Property

センサ部の計算に使用する出力部のオフセット(y = Factor * x + Offset)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

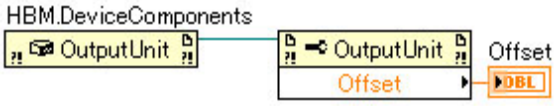
C#

```
public double Offset { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Offset As Double
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## OutputUnit.UnitID Property

出力部として使用する工学単位のID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

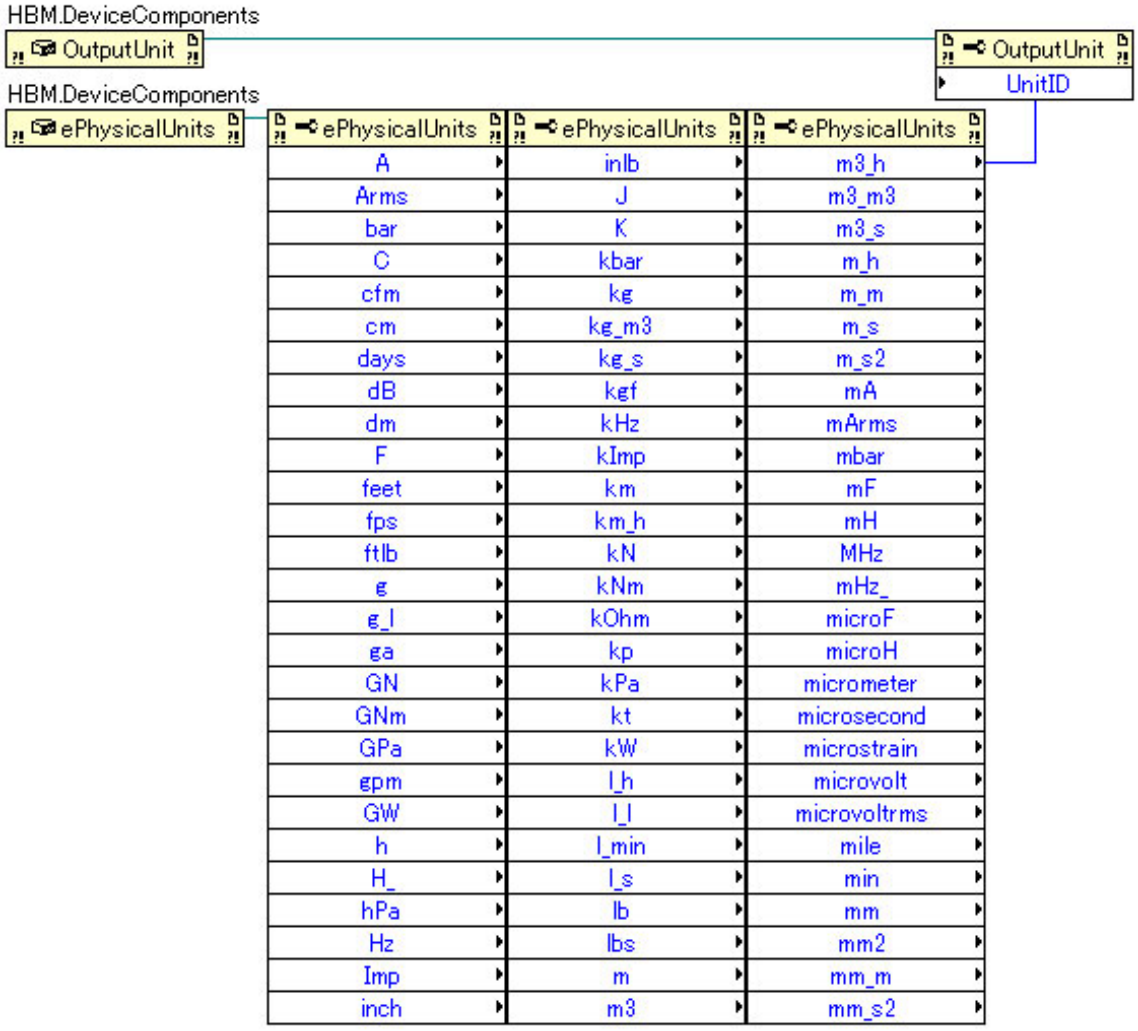
C#

```
public ePhysicalUnits UnitID { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property UnitID As ePhysicalUnits
        Get
        Set
```

LabVIEW



| ePhysicalUnits | ePhysicalUnits | ePhysicalUnits |
|---|---|---|
| MN | oC | strain |
| MNm | oF | t |
| mOhm | Ohm | tons |
| MOhm_ | One_min | U_min |
| mole_l | One_s | uA |
| mole_m3 | oR | uArms |
| MPa | oRank | uF |
| mph | ozin | uH |
| ms | Pa | um |
| mV | pas | um_m |
| mV_V | pC | UNKNOWN |
| mVrms | percent | us |
| mW | percent_decade | UserDefined |
| MW_ | percent_oC | uV |
| N | percento | uV_V |
| N_cm2 | pF | uVrms |
| N_m | ppm | V |
| N_m2 | ppm_oC | V_m_s2 |
| N_mm2 | promill | V_C |
| nC | promill_oC | V_N |
| nF | psi | V_PA |
| nH | rad | V_V |
| Nm | radian | value_ |
| Nm_ | radian_s | Vrms |
| Nm_radian | RH | W |
| none | rpm | W_oC |
| o | s | yard |

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePhysicalUnits |

## OutputUnit.UserText Property

工学単位のユーザ定義テキスト(UnitIDで「UserDefined」を設定した場合)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

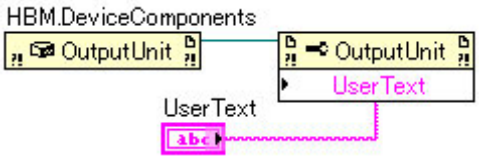
C#

```
public string UserText { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property UserText As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# Peakクラス

**Peak Class**
ピーク関数コレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Peak : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Peak
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Peak

## Peak Members

Peak型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Peak() | Peakクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Peak(Int32) | Peakクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Peak(String) | Peakクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPeakプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PeakプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | ピーク信号が有効かどうかを判定。 |
| Input | ピーク関数のソース。 |
| InputGate | どのライン(1..n)のピーク取得を使用するかを定義。 |
| Number | ピーク信号のインデックス番号。 |
| PeakMode | **廃止**<br>ピーク収集のピークモード。 |
| RunMode | **廃止**<br>ピーク収集の実行モード。 |
| SignalCtrl | ピーク収集の信号制御モード。 |
| Signals | 出力信号。 |
| Type | ピーク収集のタイプ。 |

## Peak Constructor

Peakクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Peak()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Peak Constructor(Int32)

Peakクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Peak(
       int number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| number | System.Int32 | ピーク番号。 |

## Peak Constructor(String)

Peakクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Peak(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Peak.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

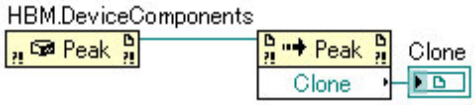
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Peakオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Peak.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPeakプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

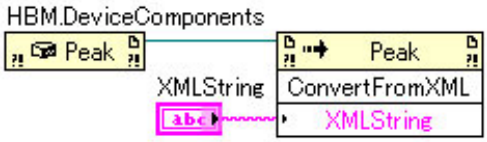
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Peak.ConvertToXML Method

Peakプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

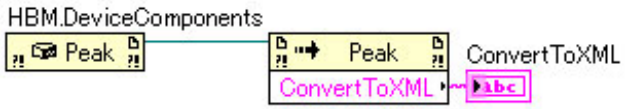
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Peakプロパティ のXML表現。 |

## Peak.Active Property

ピーク信号が有効かどうかを判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

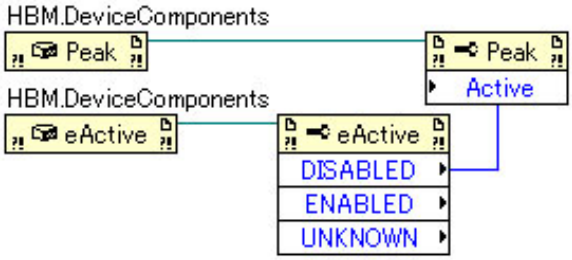
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## Peak.Input Property

ピーク関数のソース。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

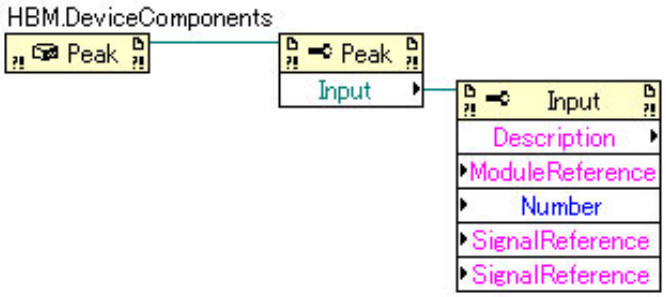
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## Peak.InputGate Property

どのライン(1..n)のピーク取得を使用するかを定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

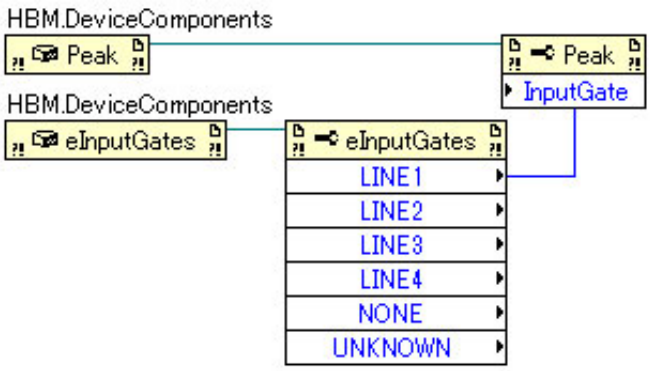
C#

```
public eInputGates InputGate { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property InputGate As eInputGates
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eInputGates |

## Peak.Number Property

ピーク信号のインデックス番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

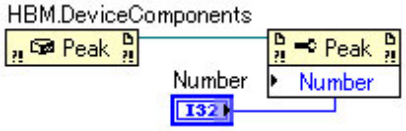
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## Peak.PeakMode Property

ピーク収集のピークモード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

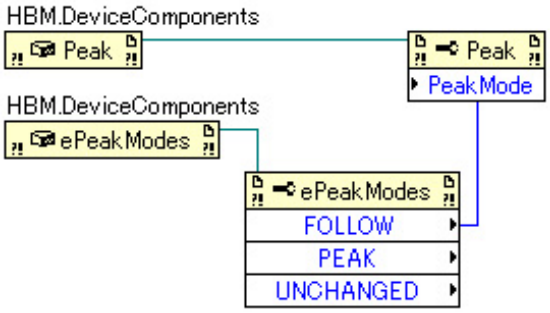
C#

```
[ObsoleteAttribute("Firmware from 2012 on uses API methods instead.",
       true)]
public ePeakModes PeakMode { get; set; }
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("Firmware from 2012 on uses API methods instead.",
       true)>
Public Property PeakMode As ePeakModes
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePeakModes |

## Peak.RunMode Property

ピーク収集の実行モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

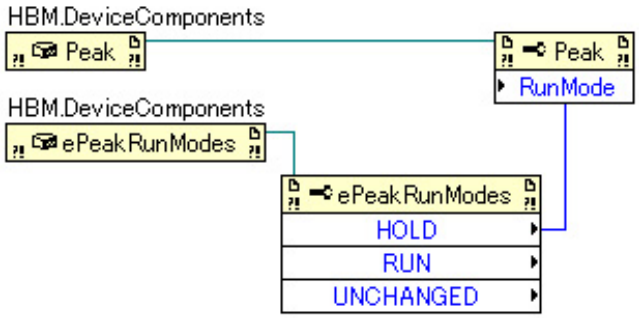
C#

```
[ObsoleteAttribute("Firmware from 2012 on uses API methods instead.",
       true)]
public ePeakRunModes RunMode { get; set; }
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("Firmware from 2012 on uses API methods instead.",
       true)>
Public Property RunMode As ePeakRunModes
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePeakRunModes |

## Peak.SignalCtrl Property

ピーク収集の信号制御モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

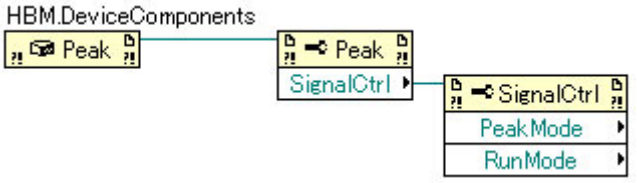
C#

```
public SignalCtrl SignalCtrl { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalCtrl As SignalCtrl
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SignalCtrl |

## Peak.Signals Property

出力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

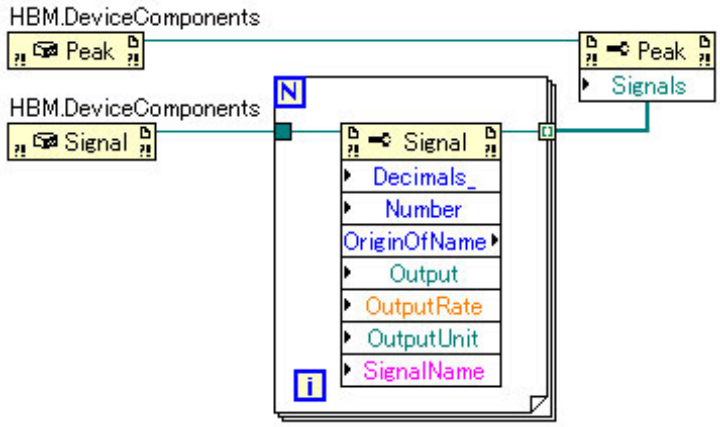
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

## Peak.Type Property

ピーク収集のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

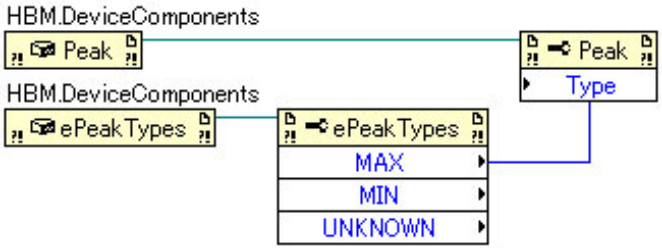
C#

```
public ePeakTypes Type { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Type As ePeakTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePeakTypes |

# PeakFunctionsクラス

**PeakFunctions Class**
ピーク関数コレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PeakFunctions : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PeakFunctions
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PeakFunctions

## PeakFunctions Members

PeakFunctions型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PeakFunctions() | PeakFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PeakFunctions(Int32) | PeakFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PeakFunctions(String) | PeakFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPeakFunctionsプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PeakFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PeakCount | ピーク関数の数。 |
| Peaks | ピーク関数。 |

## PeakFunctions Constructor

PeakFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PeakFunctions()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## PeakFunctions Constructor(Int32)

PeakFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PeakFunctions(
       int count
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       count As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| count | System.Int32 | ピーク関数の数。 |

## PeakFunctions Constructor(String)

PeakFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PeakFunctions(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PeakFunctions.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

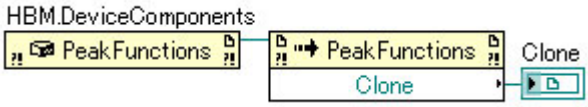
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PeakFunctionsオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PeakFunctions.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPeakFunctionsプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

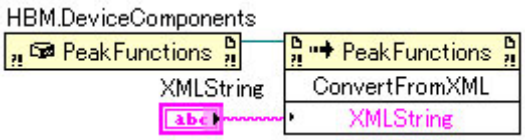
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PeakFunctions.ConvertToXML Method

PeakFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PeakFunctionsプロパティのXML表現。 |

## PeakFunctions.PeakCount Property

ピーク関数の数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

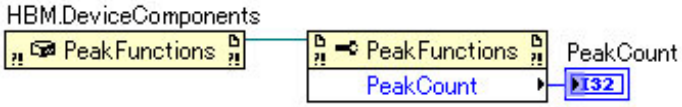
C#

```
public int PeakCount { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PeakCount As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## PeakFunctions.Peaks Property

ピーク関数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

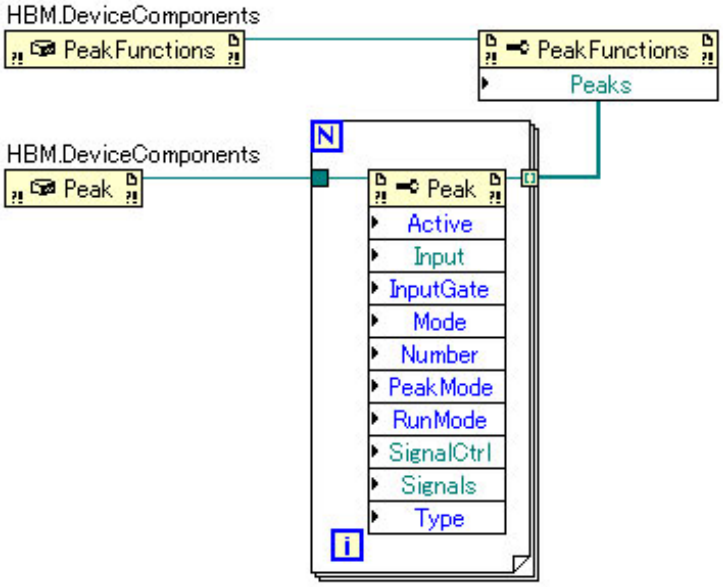
C#

```
public Peak[] Peaks { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Peaks As Peak()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Peak[] |

# PeakModeクラス

**PeakMode Class**
ピークモードの信号制御を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PeakMode : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PeakMode
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PeakMode

## PeakMode Members

PeakMode型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PeakMode() | PeakFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PeakMode(String) | PeakFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPeakModeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PeakModeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | ピークモードが有効かどうかを判定。 |
| Input | ピークモードのソース。 |
| Polarity | 極性の取得または設定。 |

## PeakMode Constructor

PeakModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

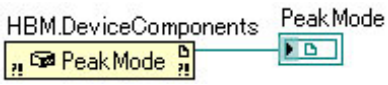
C#

```
public PeakMode()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## PeakMode Constructor(String)

PeakModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

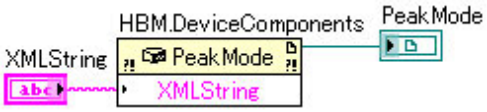
C#

```
public PeakMode(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PeakMode.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

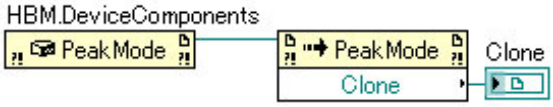
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PeakModeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PeakMode.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPeakModeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

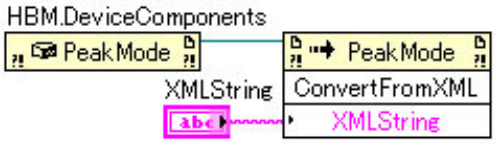
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PeakMode.ConvertToXML Method

PeakModeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

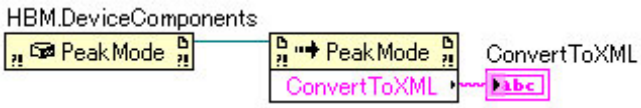
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PeakModeプロパティのXML表現。 |

## PeakMode.Active Property

ピークモードが有効かどうかを判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

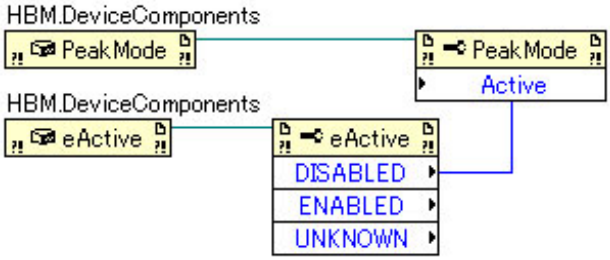
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## PeakMode.Input Property

ピークモードのソース。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

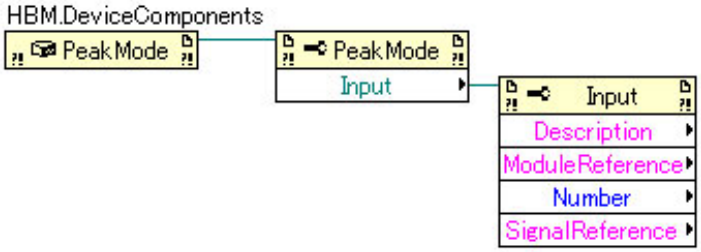
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## PeakMode.Polarity Property

極性の取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

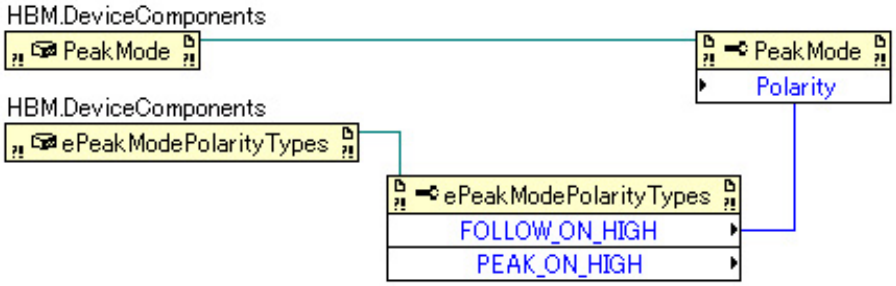
C#

```
public ePeakModePolarityTypes Polarity { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Polarity As ePeakModePolarityTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePeakModePolarityTypes |

# PeakPeakクラス

**PeakPeak Class**
テスト信号のpeak-peak値の設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PeakPeak : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PeakPeak
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PeakPeak

## PeakPeak Members

PeakPeak型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PeakPeak() | PeakPeakクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PeakPeak(String) | PeakPeakクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPeakPeakプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PeakPeakプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Amplitude | peak-peakの振幅値。 |
| Offset | peak-peakのオフセット値。 |

## PeakPeak Constructor

PeakPeakクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

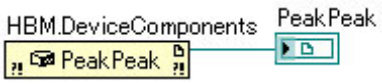
C#

```
public PeakPeak()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## PeakPeak Constructor(String)

PeakPeakクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

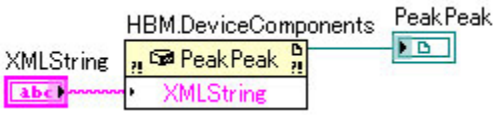
C#

```
public PeakPeak(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PeakPeak.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

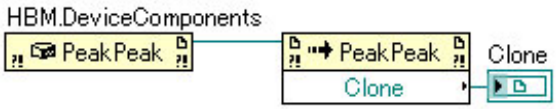
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PeakPeakオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PeakPeak.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPeakPeakプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

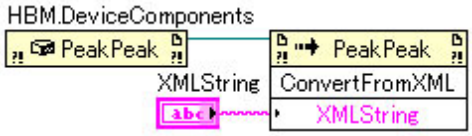
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PeakPeak.ConvertToXML Method

PeakPeakプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PeakPeakプロパティのXML表現。 |

## PeakPeak.Amplitude Property

peak-peakの振幅値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

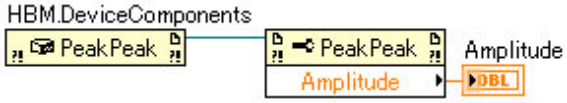
C#

```
public double Amplitude { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Amplitude As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## PeakPeak.Offset Property

peak-peakのオフセット値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public double Offset { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Offset As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# Periodクラス

**Period Class**
周期センサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Period : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Period
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Period

## Period Members

Period型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Period() | Periodクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Period(String) | Periodクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPeriodプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PeriodプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |
| SpecialParameters | 特殊パラメータの取得または設定。 |

## Period Constructor

Periodクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Period()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Period Constructor(String)

Periodクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

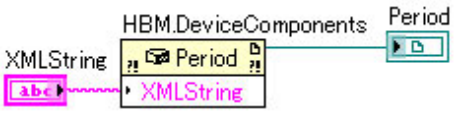
C#

```
public Period(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Period.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

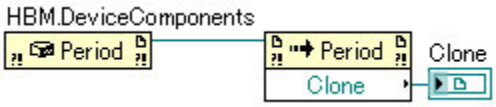
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | Periodオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## Period.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPeriodプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

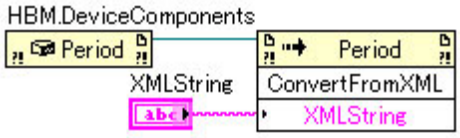
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Period.ConvertToXML Method

Periodプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

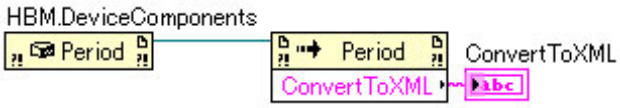
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Periodプロパティ のXML表現。 |

## Period.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

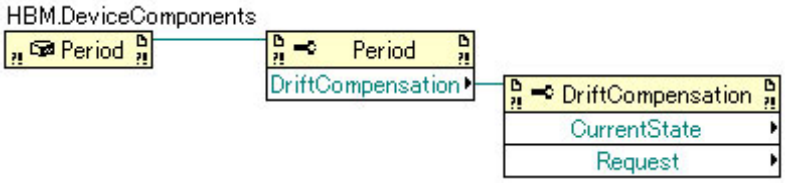
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Period.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

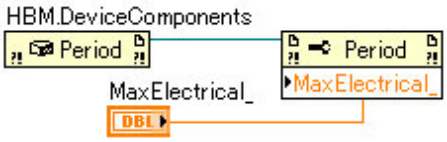
C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Period.SpecialParameters Property

特殊パラメータの取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

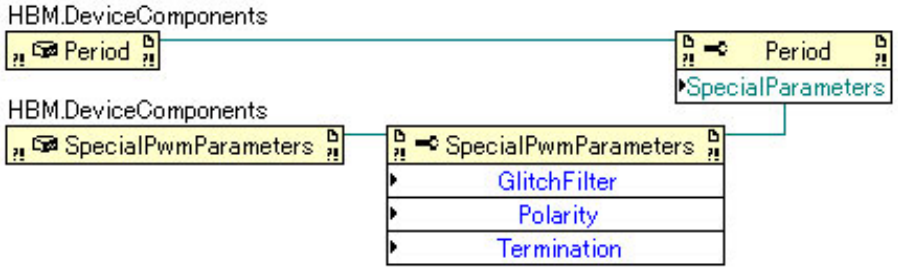
C#

```
public SpecialPwmParameters SpecialParameters { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialParameters As SpecialPwmParameters
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SpecialPwmParameters |

# Periodicクラス

**Periodic Class**
周期テスト信号の設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Periodic : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Periodic
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Periodic

## Periodic Members

Periodic型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Periodic() | Periodicクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Periodic(String) | Periodicクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPeriodicプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PeriodicプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Amplitude | 振幅の設定。 |
| DutyCycle | 周期的テスト信号のデューティサイクル。 |
| Frequency | 周期的テスト信号の周波数。 |
| WaveForm | 使用する波形を定義。 |

## Periodic Constructor

Periodicクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Periodic()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Periodic Constructor(String)

Periodicクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Periodic(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Periodic.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Periodicオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Periodic.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPeriodicプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Periodic.ConvertToXML Method

Periodicプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

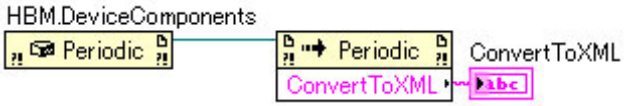
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Periodicプロパティの XML表現。 |

## Periodic.Amplitude Property

振幅の設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

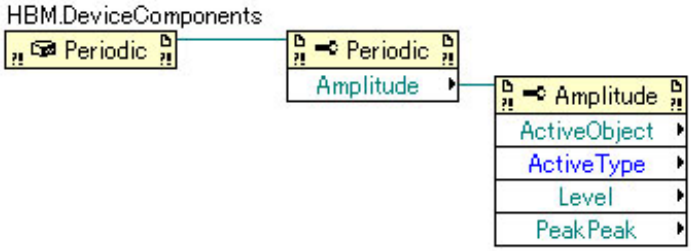
C#

```
public Amplitude Amplitude { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Amplitude As Amplitude
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Amplitude |

## Periodic.DutyCycle Property

周期的テスト信号のデューティサイクル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

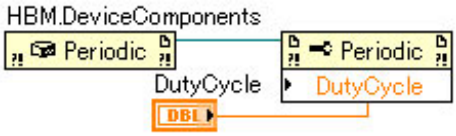
C#

```
public double DutyCycle { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DutyCycle As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## Periodic.Frequency Property

周期的テスト信号の周波数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

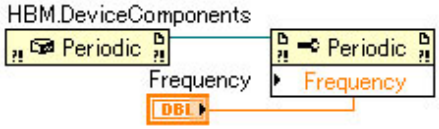
C#

```
public double Frequency { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Frequency As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## Periodic.WaveForm Property

使用する波形を定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

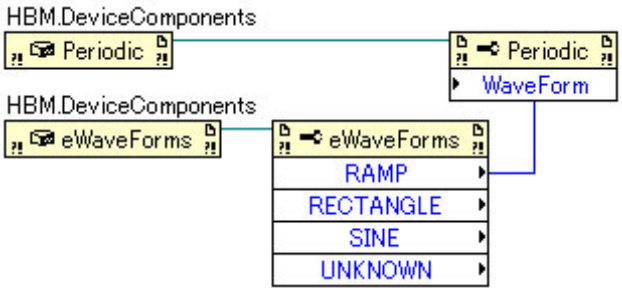
C#

```
public eWaveForms WaveForm { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property WaveForm As eWaveForms
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eWaveForms |

# PIDクラス

**PID Class**
PIDコントローラを設定するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PID : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PID
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PID

## PID Members

PID型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PID() | PIDクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PID(String) | PIDクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPIDプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PIDプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ControllerOutput | PIDコントローラの出力設定。 |
| Enable | PIDコントローラが有効可動化を取得、または設定。 |
| Inputs | PIDコントローラで使用する入力信号の参照。 |
| Mode | PIDモードの設定。 |
| NumberOfUsedSegments | PIDコントローラを定義するために使用するセグメント数を定義。<br>各セグメントは特定の範囲で有効。一つのエリアの開始はStartで定義され、エリアの終端は次のセグメントの開始により定義される。<br>最初のセグメントは開始値を無視して常に負の無限大から始まる。最後のセグメントは正の無限大で終了。 |
| Segments | PIDコントローラで使用するPIDセグメント。 |
| Signals | 信号出力のパラメータ。 |

## PID Constructor

PIDクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PID()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## PID Constructor(String)

PIDクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

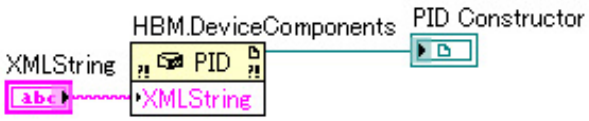
C#

```
public PID(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PID.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

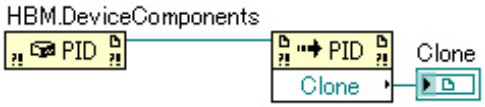
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PIDオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PID.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPIDプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

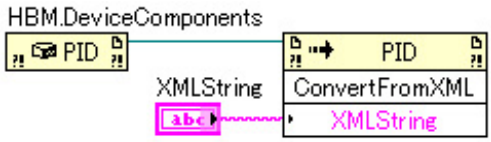
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PID.ConvertToXML Method

PIDプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

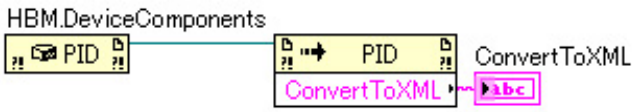
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PIDプロパティのXML表現。 |

## PID.ControllerOutput Property

PIDコントローラの出力設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

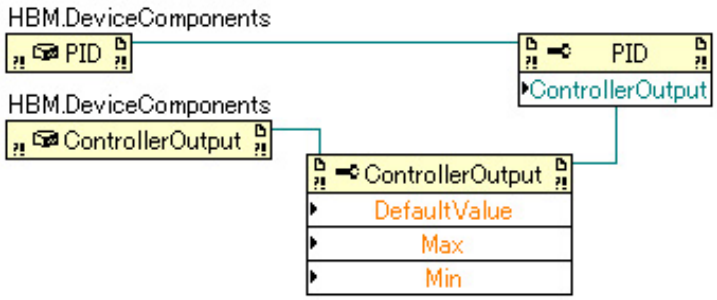
C#

```
public ControllerOutput ControllerOutput { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ControllerOutput As ControllerOutput
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ControllerOutput |

## PID.Enable Property

PIDコントローラが有効可動化を取得、または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

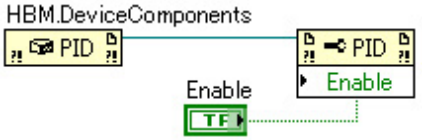
C#

```
public bool Enable { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Enable As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>PIDコントローラが有効の場合はtrue。 |

## PID.Input Property

PIDコントローラで使用する入力信号の参照。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

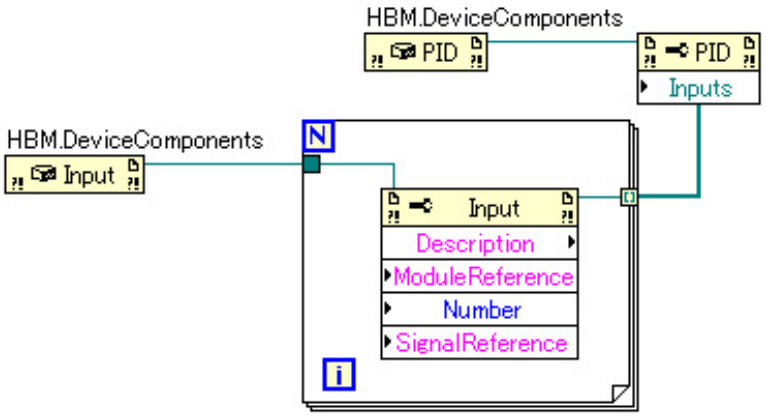
C#

```
public Input[] Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input[] |

## PID.Mode Property

PIDモードの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

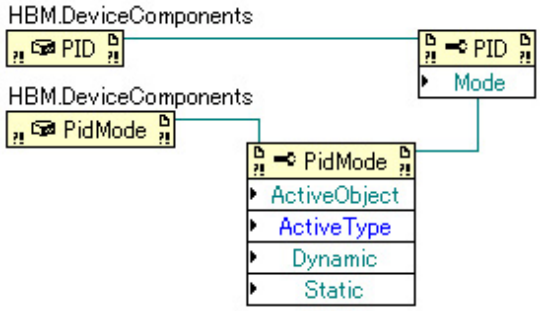
C#

```
public PidMode Mode { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Mode As PidMode
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PidMode |

## PID.NumberOfUsedSegments Property

PIDコントローラを定義するために使用するセグメント数を定義。
各セグメントは特定の範囲で有効。一つのエリアの開始はStartで定義され、エリアの終端は次のセグメントの開始により定義される。
最初のセグメントは開始値を無視して常に負の無限大から始まる。最後のセグメントは正の無限大で終了。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

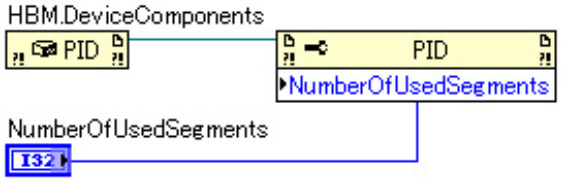
C#

```
public int NumberOfUsedSegments { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property NumberOfUsedSegments As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## PID.Segments Property

PIDコントローラで使用するPIDセグメント。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

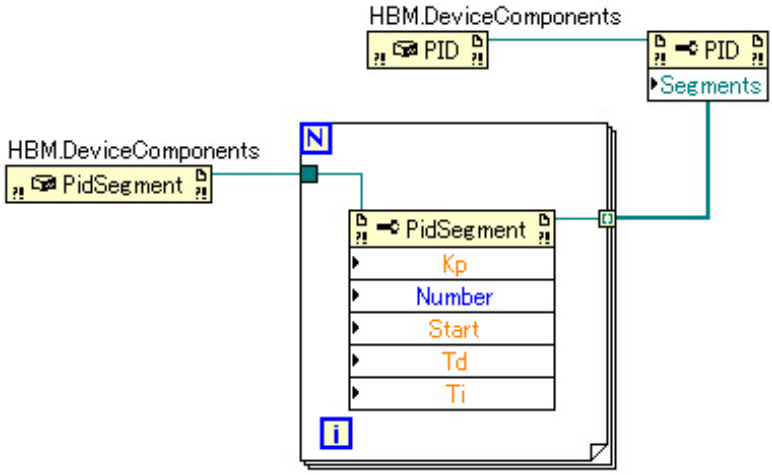
C#

```
public PidSegment[] Segments { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Segments As PidSegment()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PidSegment[] |

## PID.Signals Property

信号出力のパラメータ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

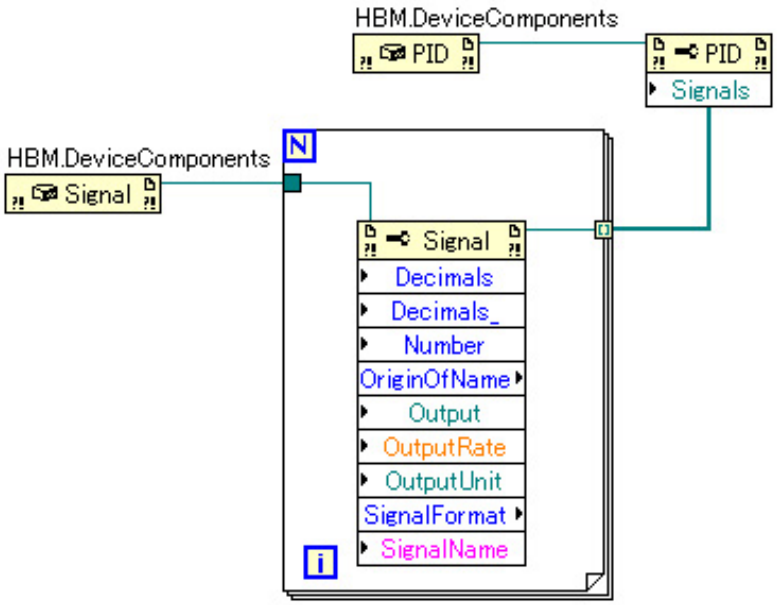
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

# PidModeクラス

**PidMode Class**
PIDモードです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PidMode : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PidMode
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PidMode

## PidMode Members

PidMode型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PidMode() | PidModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PidMode(String) | PidModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPidModeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PidModeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | 有効なPIDオブジェクトの参照(プロパティグリッドでPIDオブジェクトのレンダリングを最適化するために使用)。 |
| ActiveType | PIDのタイプ。 |
| Dynamic | 動的PIDモードオブジェクト。 |
| Static | 静的PIDモードオブジェクト。 |

## PidMode Constructor

PidModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PidMode()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## PidMode Constructor(String)

PidModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PidMode(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PidMode.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

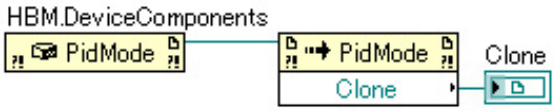
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PidModeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PidMode.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPidModeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

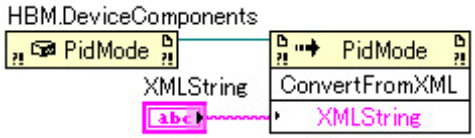
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PidMode.ConvertToXML Method

PidModeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

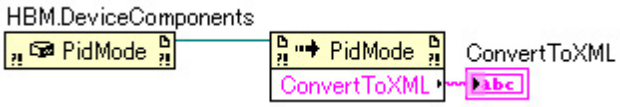
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PidModeプロパティのXML表現。 |

## PidMode.ActiveObject Property

有効なPIDオブジェクトの参照(プロパティグリッドでPIDオブジェクトのレンダリングを最適化するために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

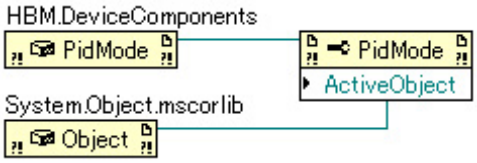
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## PidMode.ActiveType Property

PIDのタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

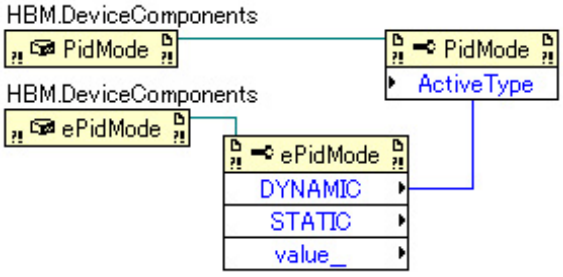
C#

```
public ePidMode ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As ePidMode
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePidMode |

## PidMode.Dynamic Property

動的PIDモードオブジェクト。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

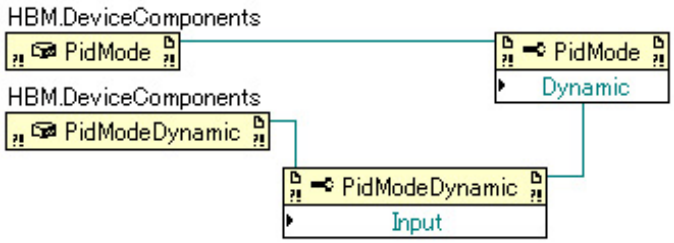
C#

```
public PidModeDynamic Dynamic { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Dynamic As PidModeDynamic
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PidModeDynamic |

## PidMode.Static Property

静的PIDモードオブジェクト。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

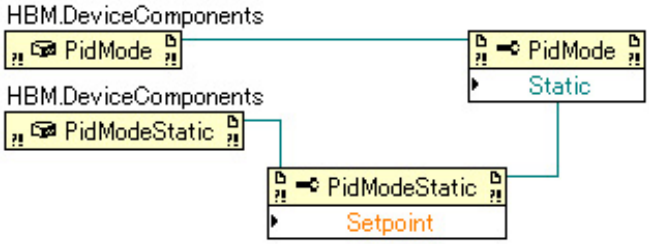
C#

```
public PidModeStatic Static { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Static As PidModeStatic
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PidModeStatic |

# PidModeDynamicクラス

**PidModeDynamic Class**
動的PIDモードの設定をするクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PidModeDynamic : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PidModeDynamic
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PidModeDynamic

## PidModeDynamic Members

PidModeDynamic型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PidModeDynamic() | PidModeDynamicクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PidModeDynamic(String) | PidModeDynamicクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPidModeDynamicプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PidModeDynamicプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Input | 動的PIDモードで使用する入力信号。 |

## PidModeDynamic Constructor

PidModeDynamicクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

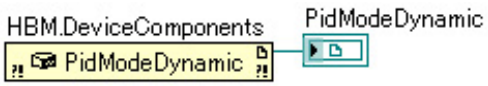
C#

```
public PidModeDynamic()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## PidModeDynamic Constructor(String)

PidModeDynamicクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

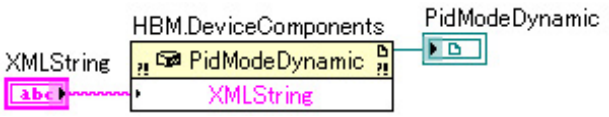
C#

```
public PidModeDynamic(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PidModeDynamic.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

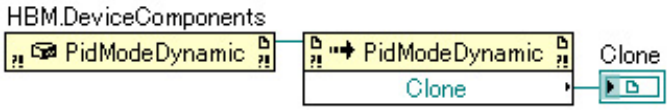
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PidModeDynamicオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PidModeDynamic.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPidModeDynamicプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

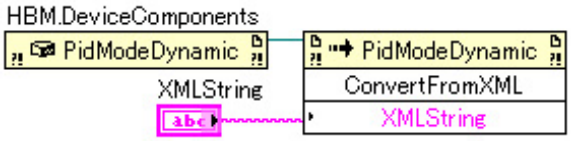
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PidModeDynamic.ConvertToXML Method

PidModeDynamicプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

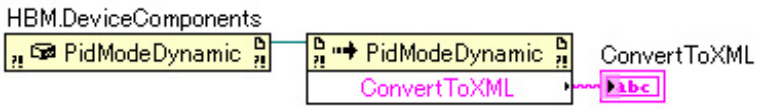
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PidModeDynamicプロパティのXML表現。 |

## PidModeDynamic.Input Property

動的PIDモードで使用する入力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

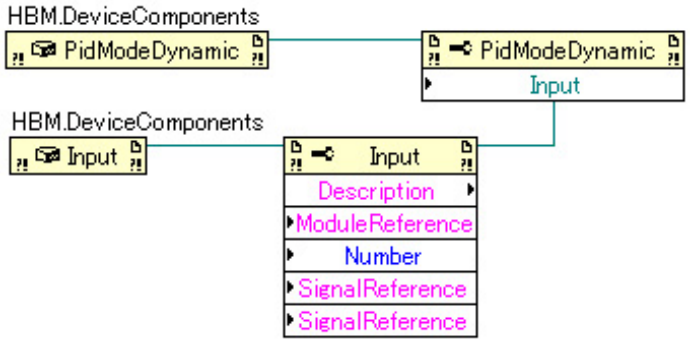
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

# PidModeStaticクラス

**PidModeStatic Class**
静的PIDモードの設定をするクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PidModeStatic : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PidModeStatic
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PidModeStatic

## PidModeStatic Members

PidModeStatic型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PidModeStatic() | PidModeStaticクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PidModeStatic(String) | PidModeStaticクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPidModeStaticプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PidModeStaticプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Setpoint | 静的PIDモード設定値。 |

## PidModeStatic Constructor

PidModeStaticクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PidModeStatic()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## PidModeStatic Constructor(String)

PidModeStaticクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PidModeStatic(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PidModeStatic.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

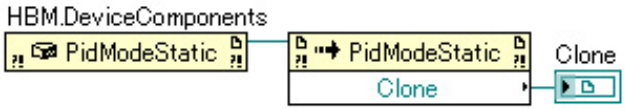
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PidModeStaticオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PidModeStatic.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPidModeStaticプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

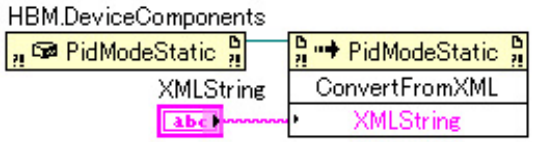
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PidModeStatic.ConvertToXML Method

PidModeStaticプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

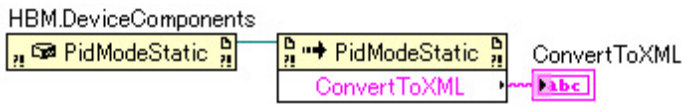
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PidModeStaticプロパティのXML表現。 |

## PidModeStatic.Setpoint Property

静的PIDモード設定値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

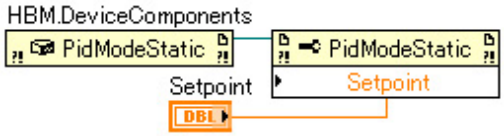
C#

```
public double Setpoint { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Setpoint As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# PidSegmentクラス

**PidSegment Class**
PID制御のセグメントを設定するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PidSegment : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PidSegment
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PidSegment

## PidSegment Members

PidSegment型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PidSegment() | PidSegmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PidSegment(Int32) | PidSegmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PidSegment(String) | PidSegmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPidSegmentプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PidSegmentプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Kp | 比例ゲインKp。 |
| Number | PIDセグメント数。 |
| Start | セグメント開始。<br>実際の値(フィードバック値)が開始値以上の場合、このセグメントのパラメータを使用。<br>最初のセグメントは無視されるが、デフォルトで-4E15に設定。 |
| Td | 微分時間。 |
| Ti | 積分時間(0以外)。 |

## PidSegment Constructor

PidSegmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

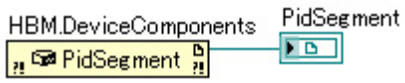
C#

```
public PidSegment()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## PidSegment Constructor(Int32)

PidSegmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PidSegment(
       int number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| number | System.Int32 | 行番号。 |

## PidSegment Constructor(String)

PidSegmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

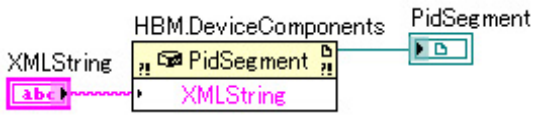
C#

```
public PidSegment(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PidSegment.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

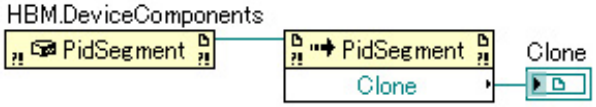
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PidSegmentオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PidSegment.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPidSegmentプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

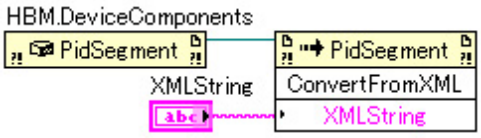
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PidSegment.ConvertToXML Method

PidSegmentプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

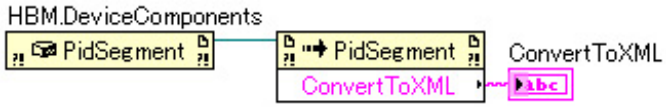
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PidSegmentプロパティのXML表現。 |

## PidSegment.Kp Property

比例ゲインKp。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

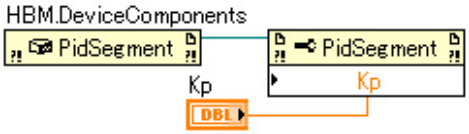
C#

```
public double Kp { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Kp As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## PidSegment.Number Property

PIDセグメント数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

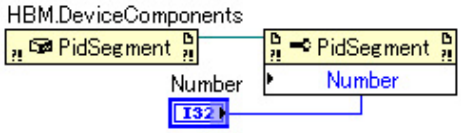
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## PidSegment.Start Property

セグメント開始。
実際の値(フィードバック値)が開始値以上の場合、このセグメントのパラメータを使用。
最初のセグメントは無視されるが、デフォルトで-4E15に設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

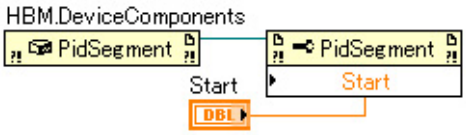
C#

```
public double Start { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Start As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## PidSegment.Td Property

微分時間。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

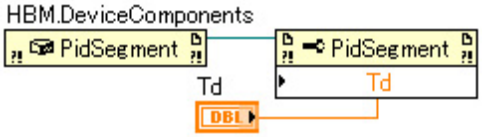
C#

```
public double Td { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Td As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## PidSegment.Ti Property

積分時間(0以外)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

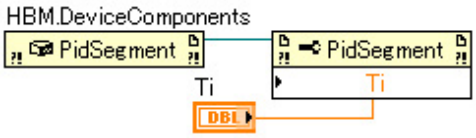
C#

```
public double Ti { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Ti As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# Pinクラス

**Pin Class**
デジタルI/Oピンを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Pin : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Pin
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Pin

## Pin Members

Pin型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Pin() | Pinクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Pin(Int32) | Pinクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Pin(String) | Pinクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPinプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PinプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | Activeなオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。<br>(Adjustmentを参照) |
| ActiveType | デジタルI/Oのどのモードで使用するかを定義。 |
| DigitalIn | DigitalInモードの設定。 |
| DigitalOut | DigitalOutモードの設定。 |
| Number | デジタルI/Oピンの番号。 |
| Signal | 計測に加わる信号。 |

## Pin Constructor

Pinクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Pin()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Pin Constructor(Int32)

Pinクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Pin(
       int number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| number | System.Int32 | ピン番号。 |

## Pin Constructor(String)

Pinクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Pin(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Pin.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

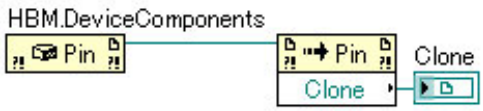
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Clone | Object | Pinオブジェクトのディープコピー。 |

| 実装 |
|---|
| ICloneable.Clone() |

## Pin.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPinプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

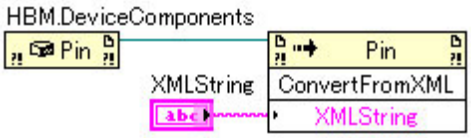
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Pin.ConvertToXML Method

Pinプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

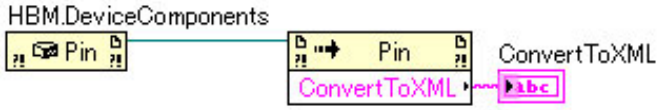
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Pinプロパティ のXML表現。 |

## Pin.ActiveObject Property

Activeなオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。
(Adjustmentを参照)

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

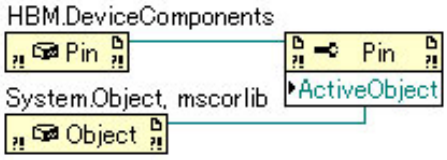
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## Pin.ActiveType Property

デジタルI/Oのどのモードで使用するかを定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

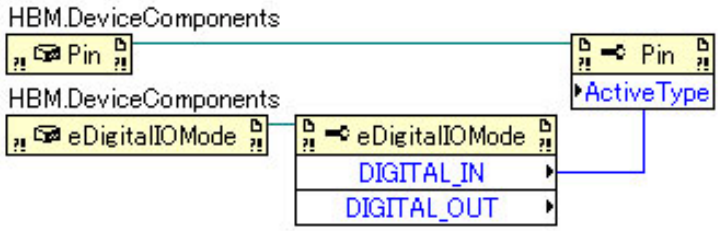
C#

```
public eDigitalIOMode ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eDigitalIOMode
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eDigitalIOMode |

## Pin.DigitalIn Property

DigitalInモードの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

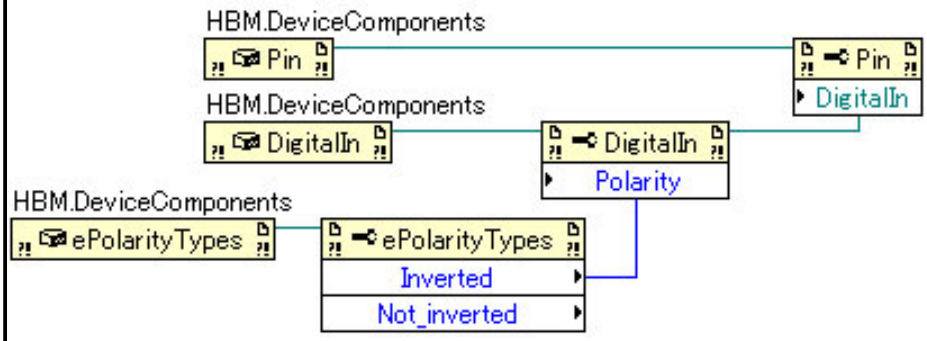
C#

```
public DigitalIn DigitalIn { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DigitalIn As DigitalIn
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DigitalIn |

## Pin.DigitalOut Property

DigitalOutモードの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

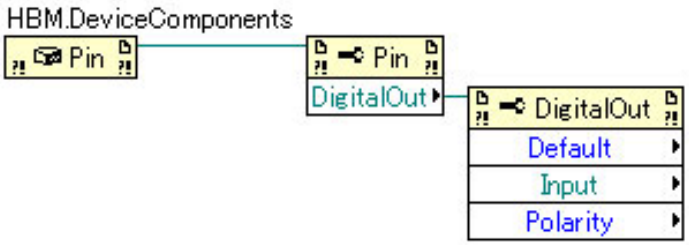
C#

```
public DigitalOut DigitalOut { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DigitalOut As DigitalOut
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DigitalOut |

## Pin.Number Property

デジタルI/Oピンの番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## Pin.Signal Property

計測に加わる信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

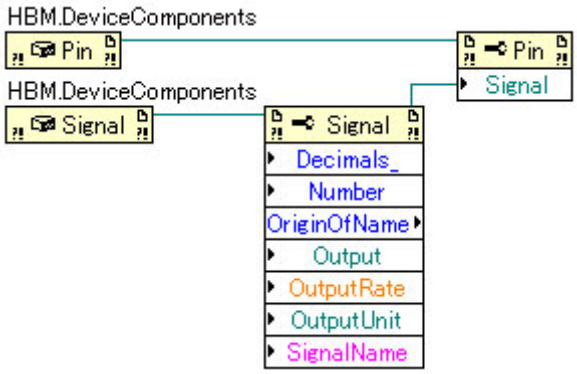
C#

```
public Signal Signal { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signal As Signal
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal |

# Platformクラス

**Platform Class**
プラットフォームに関する情報です。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Platform : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Platform
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Platform

## Platform Members

Platform型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Platform() | Platformクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Platform(String) | Platformクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPlatformプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PlatformプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CtrlApplDate | ハードウェアコントローラの適用日付。 |
| CtrlApplVersion | ハードウェアコントローラの適用バージョン。 |
| CtrlLoaderDate | ハードウェアコントローラのロードした日付。 |
| CtrlLoaderVersion | ハードウェアコントローラのバージョン。 |
| FirmwareVersion | モジュールのファームウェアバージョン。 |
| FPGAVersion | モジュールのFPGAバージョン。 |
| HardwareIdentification | プラットフォームのハードウェアID。 |
| HardwareRevision | ハードウェアコンポーネントのハードウェアリビジョン。 |
| SerialNumber | ハードウェアコンポーネントのシリアル番号。 |

## Platform Constructor

Platformクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

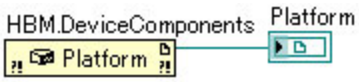
C#

```
public Platform()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Platform Constructor(String)

Platformクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Platform(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Platform.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

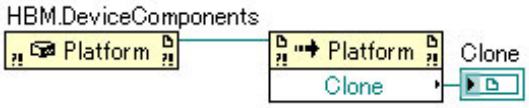
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Platformオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Platform.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPlatformプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Platform.ConvertToXML Method

Platformプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

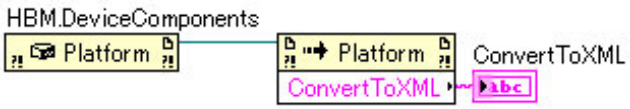
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Platformプロパティの XML表現。 |

## Platform.CtrlApplDate Property

ハードウェアコントローラの適用日付。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string CtrlApplDate { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CtrlApplDate As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Platform.CtrlApplVersion Property

ハードウェアコントローラの適用バージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string CtrlApplVersion { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CtrlApplVersion As String
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Platform.CtrlLoaderDate Property

ハードウェアコントローラのロードした日付。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string CtrlLoaderDate { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CtrlLoaderDate As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Platform.CtrlLoaderVersion Property

ハードウェアコントローラのバージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string CtrlLoaderVersion { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CtrlLoaderVersion As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Platform.FirmwareVersion Property

モジュールのファームウェアバージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string FirmwareVersion { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FirmwareVersion As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Platform.FPGAVersion Property

モジュールのFPGAバージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string FPGAVersion { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FPGAVersion As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Platform.HardwareIdentification Property

プラットフォームのハードウェアID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string HardwareIdentification { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property HardwareIdentification As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Platform.HardwareRevision Property

ハードウェアコンポーネントのハードウェアリビジョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string HardwareRevision { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property HardwareRevision As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Platform.SerialNumber Property

ハードウェアコンポーネントのシリアル番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

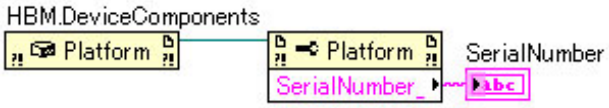
C#

```
public Nullable<ulong> SerialNumber { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SerialNumber As Nullable(Of ULong)
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(UInt64) |

# Polynomクラス

**Polynom Class**
計測値のスケーリングタイプです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Polynom : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Polynom
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Polynom

## Polynom Members

Polynom型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Polynom() | Polynomクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Polynom(String) | Polynomクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPolynomプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PolynomプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| NumberOfUsedSegments | いくつかの異なったセグメント(多項式)でスケーリングを定義する、セグメント数を定義。各セグメントは特定の領域でのみ有効。この領域の開始はAの開始区分[n]により定義され、領域の終端は次の区分[n+1].Startで定義。 |
| Segments | 多項式のスケーリングを定義。 |

## Polynom Constructor

Polynomクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

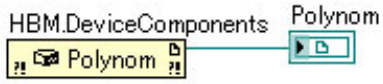
C#

```
public Polynom()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Polynom Constructor(String)

Polynomクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Polynom(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Polynom.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Polynomオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Polynom.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPolynomプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

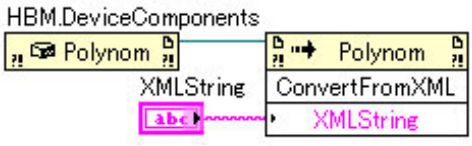
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Polynom.ConvertToXML Method

PolynomプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

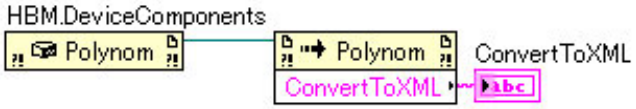
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PolynomプロパティのXML表現。 |

## Polynom.NumberOfUsedSegments Property

いくつかの異なったセグメント(多項式)でスケーリングを定義する、セグメント数を定義。各セグメントは特定の領域でのみ有効。この領域の開始はAの開始区分[n]により定義され、領域の終端は次の区分[n+1].Startで定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

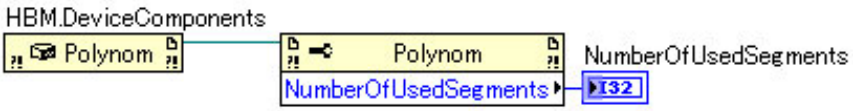
C#

```
public int NumberOfUsedSegments { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property NumberOfUsedSegments As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## Polynom.Segments Property

多項式のスケーリングを定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

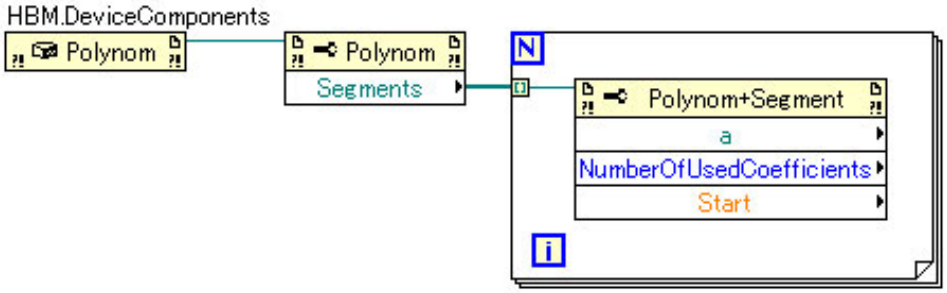
C#

```
public Polynom.Segment[] Segments { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Segments As Polynom.Segment()
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Polynom.Segment[] |

# Polynom.Segment クラス

**Polynom.Segment Class**
多項式のセグメント係数を表すクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Segment
```

Visual Basic
```
Public Class Segment
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Polynom.Segment

## Polynom.Segment Members

Polynom.Segment型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Polynom.Segment | Polynom.Segmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| a | 多項式の係数。 |
| NumberOfUsedSegments | 多項式を定義するために使用する係数の数。 |
| Start | 多項式を行うX開始位置(次のXの多項式開始位置まで)。 |

## Polynom.Segment Constructor

Polynom.Segmentクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

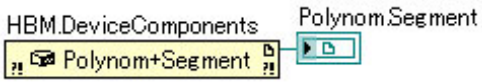
C#

```
public Segment()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Polynom.Segment.a Property

多項式の係数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

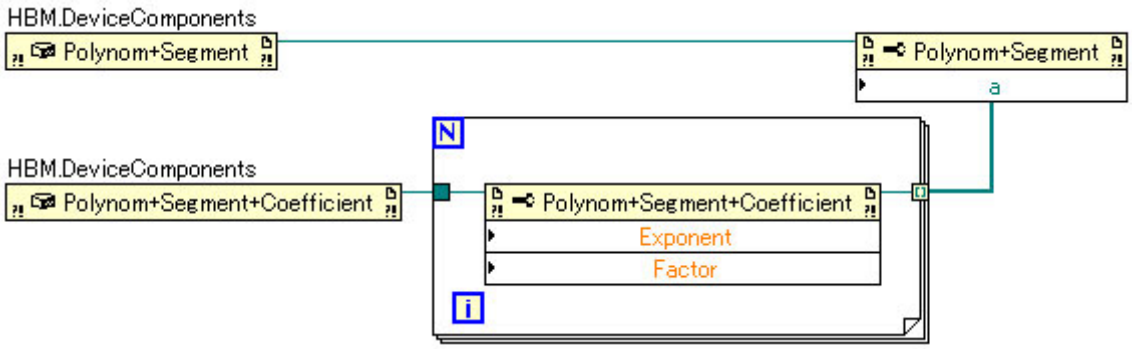
C#

```
public Polynom.Segment.Coefficient[] a { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property a As Polynom.Segment.Coefficient()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Polynom.Segment.Coefficient[] |

## Polynom.Segment.NumberOfUsedCoefficients Property

多項式を定義するために使用する係数の数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

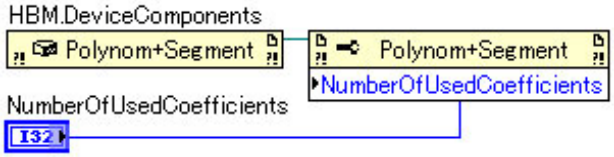
C#

```
public int NumberOfUsedCoefficients { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property NumberOfUsedCoefficients As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## Polynom.Segment.Start Property

多項式を行うX開始位置(次のXの多項式開始位置まで)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

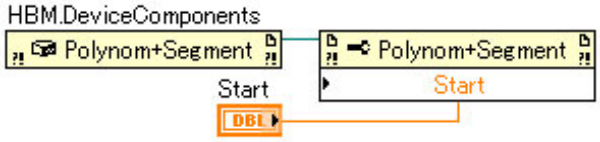
C#

```
public double Start { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Start As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# Polynom.Segment.Coefficient クラス

**Polynom.Segment.Coefficient Class**
セグメント多項式の係数を表すクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Coefficient
```

Visual Basic
```
Public Class Coefficient
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Polynom.Segment.Coefficient

## Polynom.Segment.Coefficient Members

Polynom.Segment.Coefficient型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Polynom.Segment.Coefficient | Polynom.Segment.Coefficientクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Exponent | 多項式係数の指数。 |
| Factor | 多項式係数の因数。 |

## Polynom.Segment.Coefficient Constructor

Polynom.Segment.Coefficientクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

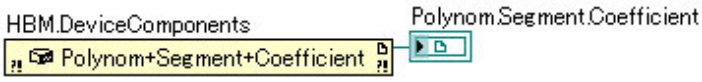
C#

```
public Coefficient()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Polynom.Segment.Coefficient.Exponent Property

多項式係数の指数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

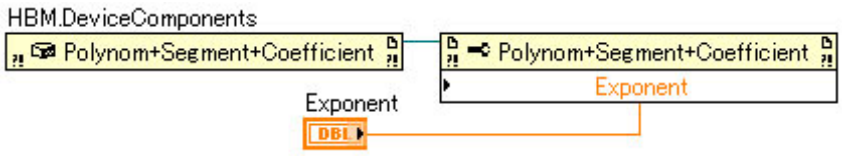
C#

```
public double Exponent { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Exponent As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## Polynom.Segment.Coefficient.Factor Property

多項式係数の因数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

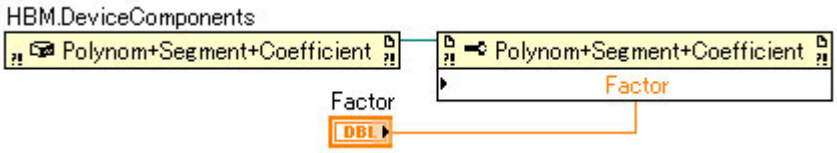
C#

```
public double Factor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Factor As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# Potentiometerクラス

**Potentiometer Class**
ポテンションメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Potentiometer : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Potentiometer
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Potentiometer

## Potentiometer Members

Potentiometer型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Potentiometer() | Potentiometerクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Potentiometer(String) | Potentiometerクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPotentiometerプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PotentiometerプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| Resistance | センサの抵抗。 |
| Wiring | センサの配線。 |

## Potentiometer Constructor

Potentiometerクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

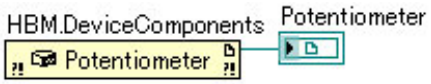
C#

```
public Potentiometer()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Potentiometer Constructor(String)

Potentiometerクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

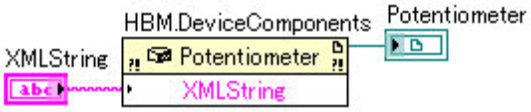
C#

```
public Potentiometer(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Potentiometer.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

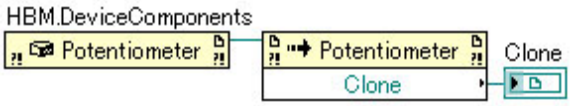
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Potentiometerオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Potentiometer.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPotentiometerプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

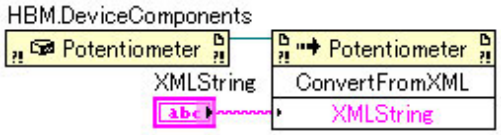
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Potentiometer.ConvertToXML Method

PotentiometerプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

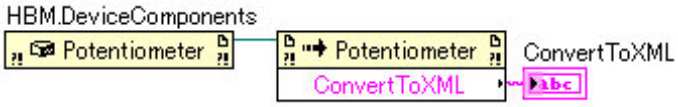
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PotentiometerプロパティのXML表現。 |

## Potentiometer.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

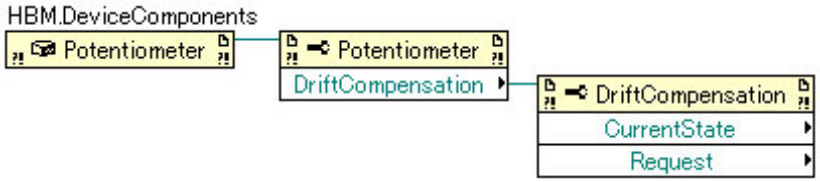
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Potentiometer.Resistance Property

センサの抵抗。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> Resistance { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Resistance As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Potentiometer.Wiring Property

センサの配線。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

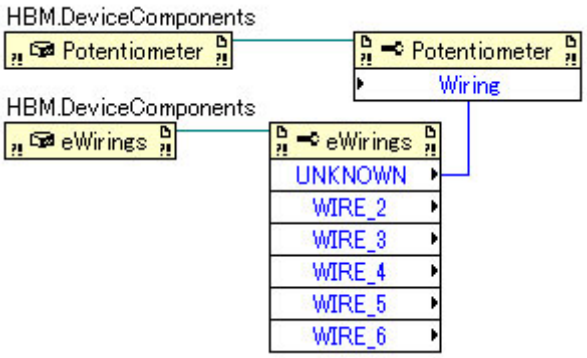
C#

```
public eWirings Wiring { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Wiring As eWirings
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eWirings |

# Pressureクラス

**Pressure Class**
圧力センサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Pressure : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Pressure
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Pressure

## Pressure Members

Pressure型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Pressure() | Pressureクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Pressure(String) | Pressureクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPressureプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PressureプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxPressure | センサの最大圧力値。 |
| MinPressure | センサの最小圧力値。 |
| PressureType | 圧力センサのタイプ。 |

## Pressure Constructor

Pressureクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Pressure()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Pressure Constructor(String)

Pressureクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Pressure(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Pressure.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

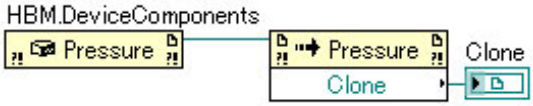
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Pressureオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Pressure.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPressureプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Pressure.ConvertToXML Method

Pressureプロパティを XMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

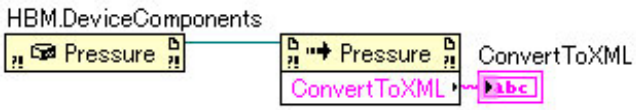
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Pressureプロパティの XML表現。 |

## Pressure.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

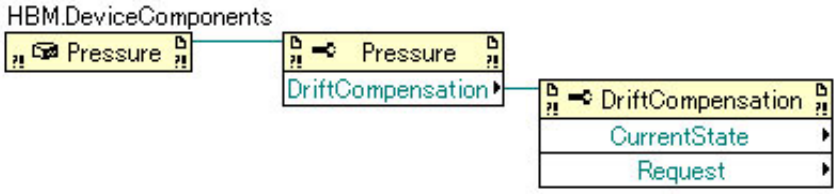
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Pressure.MaxPressure Property

センサの最大圧力値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

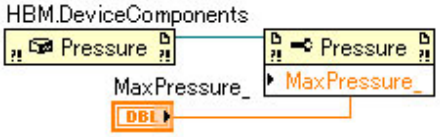
C#

```
public Nullable<double> MaxPressure { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxPressure As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Pressure.MinPressure Property

センサの最小圧力値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

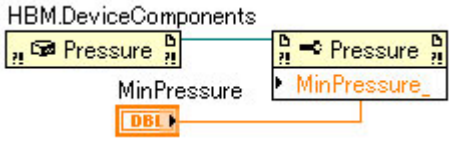
C#

```
public Nullable<double> MinPressure { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MinPressure As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Pressure.PressureType Property

圧力センサのタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

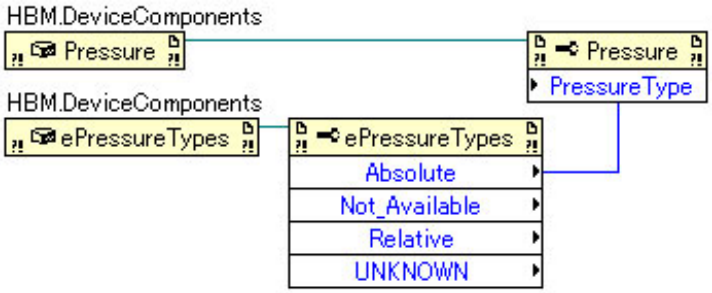
C#

```
public ePressureTypes PressureType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PressureType As ePressureTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePressureTypes |

# Ptクラス

**Pt Class**
Pt測温素子を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Pt : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Pt
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Pt

## Pt Members

Pt型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Pt() | Ptクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Pt(String) | Ptクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPtプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PtプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| PtType | PTのタイプ。 |
| Wiring | センサの配線。 |

## Pt Constructor

Ptクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Pt()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Pt Constructor(String)

Ptクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

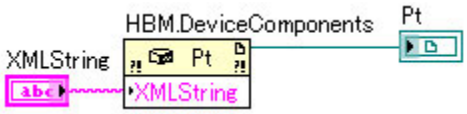
C#

```
public Pt(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Pt.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Ptオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Pt.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPtプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Pt.ConvertToXML Method

PtプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

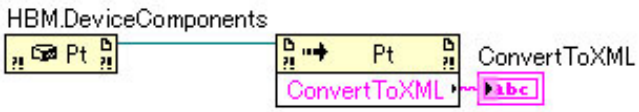
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PtプロパティのXML表現。 |

## Pt.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

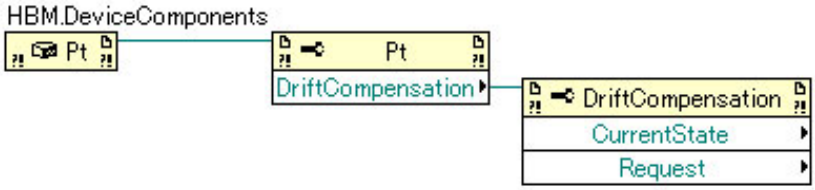
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Pt.PtType Property

PTのタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

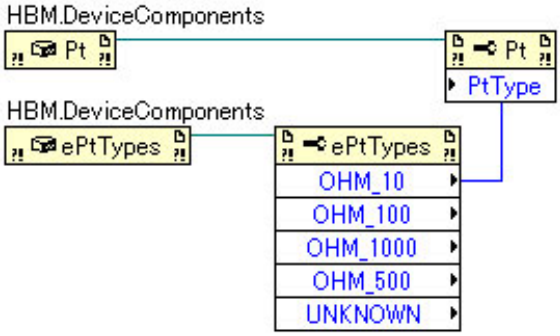
C#

```
public ePtTypes PtType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PtType As ePtTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePtTypes |

## Pt.Wiring Property

センサの配線。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

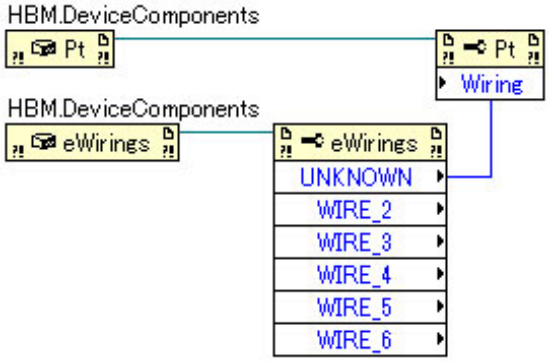
C#

```
public eWirings Wiring { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Wiring As eWirings
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eWirings |

# PtpTimeSourceクラス

**PtpTimeSource Class**
同期のためのPTPタイムソースに関する情報です。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PtpTimeSource : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PtpTimeSource
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PtpTimeSource

## PtpTimeSource Members

PtpTimeSource型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PtpTimeSource() | PtpTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PtpTimeSource(String) | PtpTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPtpTimeSourceプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PtpTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DelayMechanism | 遅延メカニズム。 |
| Domain | ローカルクロックのドメイン属性。 |
| Transport | ネットワーク転送プロトコル。 |

## PtpTimeSource Constructor

PtpTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PtpTimeSource()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## PtpTimeSource Constructor(String)

PtpTimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

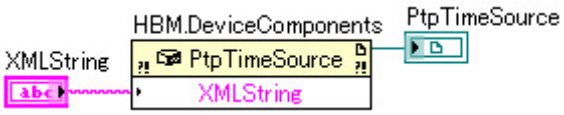
C#

```
public PtpTimeSource(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PtpTimeSource.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

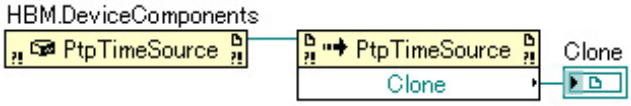
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PtpTimeSourceオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PtpTimeSource.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPtpTimeSourceプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

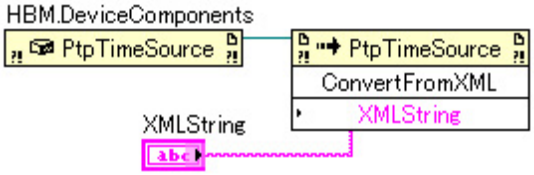
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PtpTimeSource.ConvertToXML Method

PtpTimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

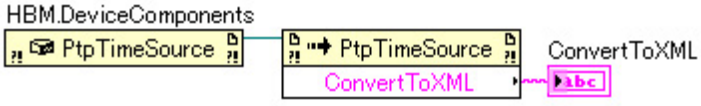
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PtpTimeSourceプロパティのXML表現。 |

## PtpTimeSource.DelayMechanism Property

遅延メカニズム。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

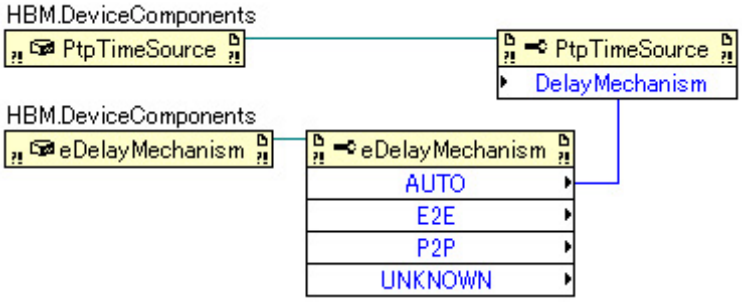
C#

```
public eDelayMechanism DelayMechanism { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DelayMechanism As eDelayMechanism
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eDelayMechanism |

## PtpTimeSource.Domain Property

ローカルクロックのドメイン属性。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

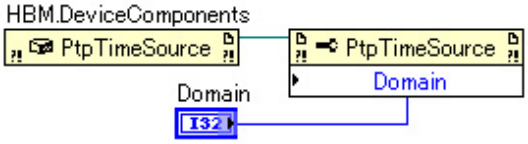
C#

```
public int Domain { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Domain As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## PtpTimeSource.Transport Property

ネットワーク転送プロトコル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

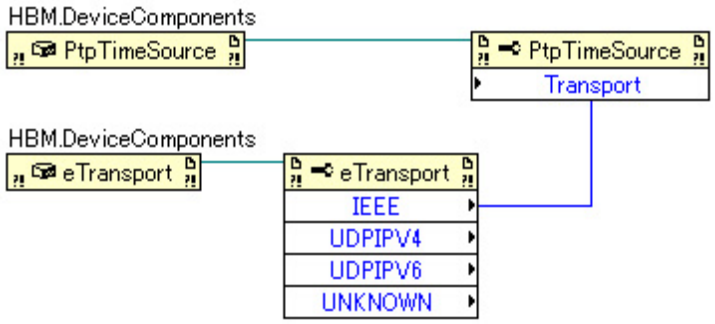
C#

```
public eTransport Transport { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Transport As eTransport
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eTransport |

# PulseWidthクラス

**PulseWidth Class**
PWMセンサを記述するクラスです。単独のセンサとして表示されませんが、PWMセンサの一部です(Mode=PulseWith)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PulseWidth : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PulseWidth
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PulseWidth

## PulseWidth Members

PulseWidth型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PulseWidth() | PulseWidthクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PulseWidth(String) | PulseWidthクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPulseWidthプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PulseWidthプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |
| SpecialParameters | 特殊パラメータの取得または設定。 |

## PulseWidth Constructor

PulseWidthクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

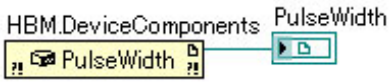
C#

```
public PulseWidth()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## PulseWidth Constructor(String)

PulseWidthクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

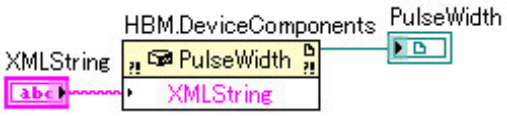
C#

```
public PulseWidth(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PulseWidth.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

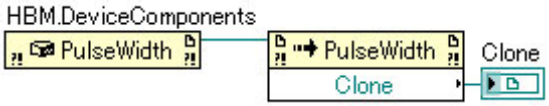
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PulseWidthオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PulseWidth.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPulseWidthプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

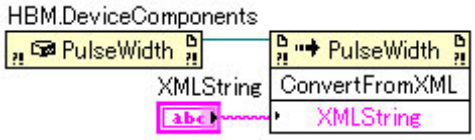
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PulseWidth.ConvertToXML Method

PulseWidthプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

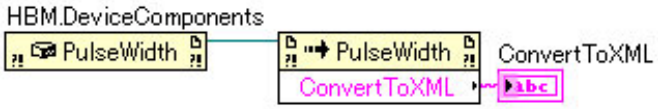
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PulseWidthプロパティのXML表現。 |

## PulseWidth.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

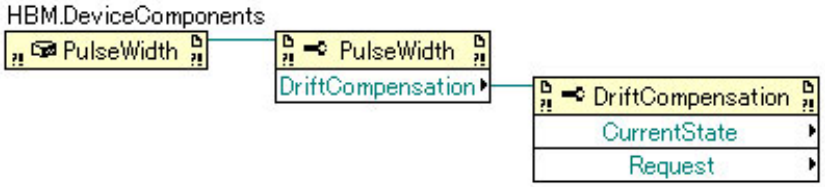
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## PulseWidth.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

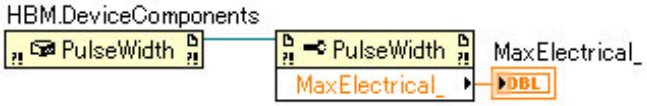
C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## PulseWidth.SpecialParameters Property

特殊パラメータの取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

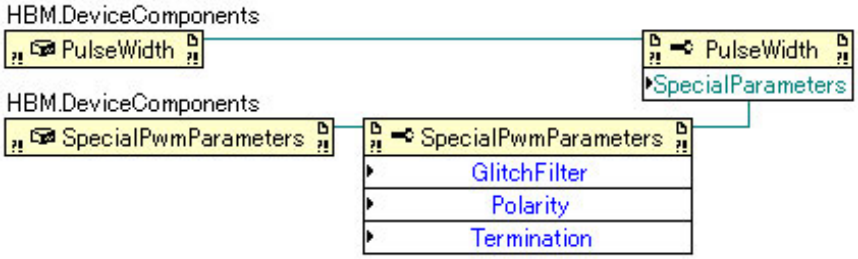
C#

```
public SpecialPwmParameters SpecialParameters { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialParameters As SpecialPwmParameters
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SpecialPwmParameters |

# PWMクラス

**PWM Class**
PWMセンサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PWM : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PWM
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.PWM

## PWM Members

PWM型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PWM() | PWMクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PWM(String) | PWMクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPWMプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PWMプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのセンサオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| Mode | 使用するPWMセンサのモード。 |
| Period | 周期センサの設定。 |
| PulseWidth | PulseWidthセンサの設定。 |
| Pwm | Pwmセンサの設定。 |

## PWM Constructor

PWMクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PWM()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## PWM Constructor(String)

PWMクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public PWM(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PWM.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

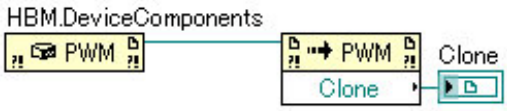
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PWMオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PWM.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPWMプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

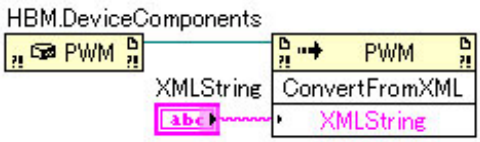
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PWM.ConvertToXML Method

PWMプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

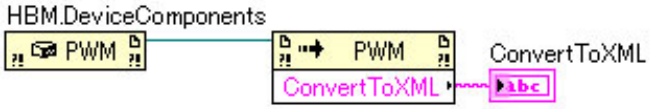
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PWMプロパティのXML表現。 |

## PWM.ActiveObject Property

ActiveTypeのセンサオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

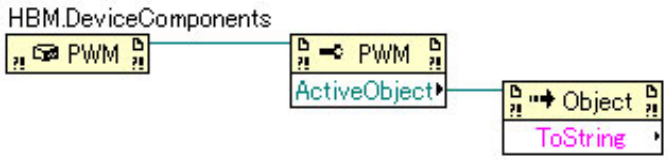
C#

```
public Object ActiveObject { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property ActiveObject As Object
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## PWM.Mode Property

使用するPWMセンサのモード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

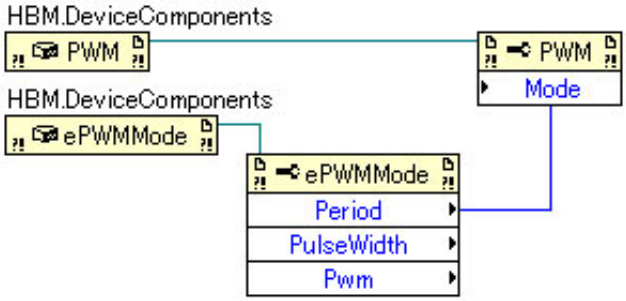
C#

```
public ePWMMode Mode { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Mode As ePWMMode
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePWMMode |

## PWM.Period Property

周期センサの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

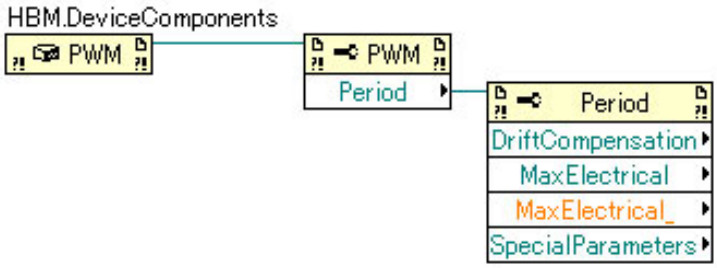
C#

```
public Period Period { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Period As Period
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Period |

## PWM.PulseWidth Property

PulseWidthセンサの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

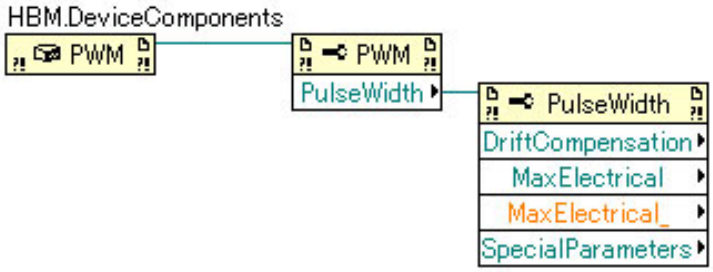
C#

```
public PulseWidth PulseWidth { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PulseWidth As PulseWidth
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PulseWidth |

## PWM.Pwm Property

Pwmセンサの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

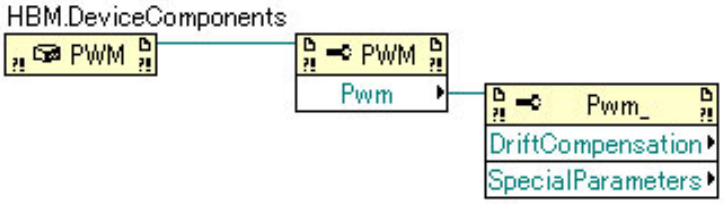
C#

```
public Pwm_ Pwm { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Pwm As Pwm_
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Pwm_ |

# Pwm_クラス

**Pwm_ Class**
Pwmセンサを記述するクラスです。単独のセンサとして表示されませんが、PWMセンサの一部です(Mode=Period)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Pwm_ : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Pwm_
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Pwm_

## Pwm_ Members

Pwm_型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Pwm_() | Pwm_クラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Pwm_(String) | Pwm_クラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPwm_プロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | Pwm_プロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| SpecialParameters | 特殊パラメータの取得または設定。 |

## Pwm_ Constructor

Pwm_クラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Pwm_()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Pwm_ Constructor(String)

Pwm_クラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Pwm_(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Pwm_.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

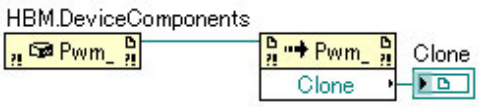
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Pwm_オブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Pwm_.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPwm_プロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

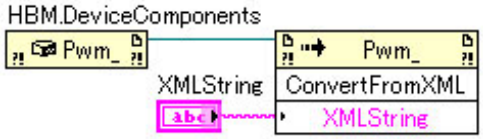
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Pwm_.ConvertToXML Method

Pwm_プロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

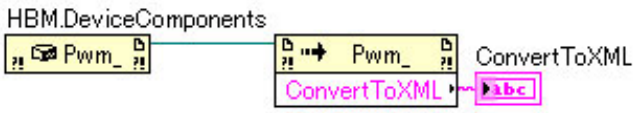
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Pwm_プロパティのXML表現。 |

## Pwm_.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

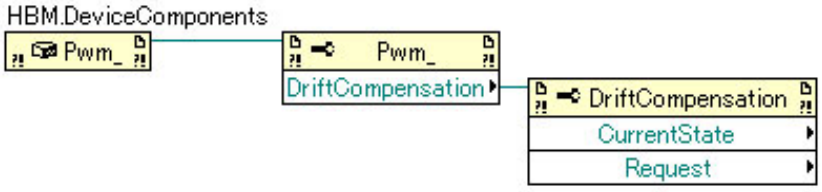
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Pwm_.SpecialParameters Property

特殊パラメータの取得または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

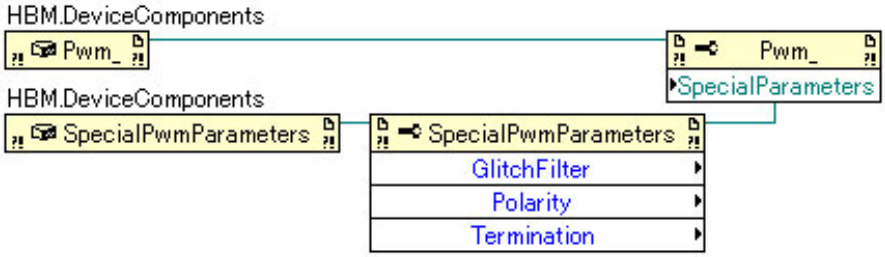
C#

```
public SpecialPwmParameters SpecialParameters { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialParameters As SpecialPwmParameters
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SpecialPwmParameters |

# Removalクラス

**Removal Class**
CAN-Busエラーモードの除外方法を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Removal : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Removal
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Removal

## Removal Members

Removal型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Removal() | Removalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Removal(String) | Removalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをRemovalプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | RemovalプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveMethod | 使用する除外方法を定義。 |
| ActiveObject | Activeな除外オブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| Delayed | 遅延除外方法。 |

## Removal Constructor

Removalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

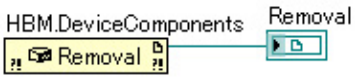
C#

```
public Removal()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Removal Constructor(String)

Removalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Removal(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Removal.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

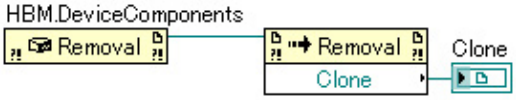
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Removalオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Removal.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをRemovalプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

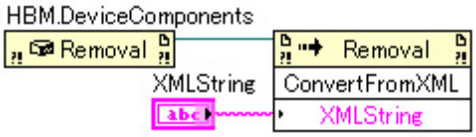
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Removal.ConvertToXML Method

Removalプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

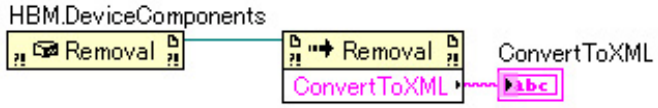
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Removalプロパティ のXML表現。 |

## Removal.ActiveMethod Property

使用する除外方法を定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

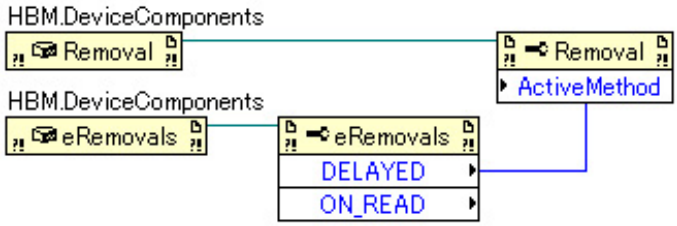
C#

```
public eRemovals ActiveMethod { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveMethod As eRemovals
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eRemovals |

## Removal.ActiveObject Property

Activeな除外オブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

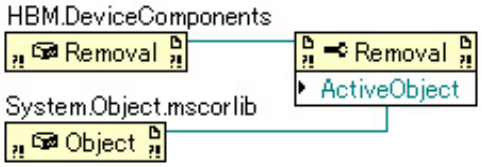
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## Removal.Delayed Property

遅延除外方法

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

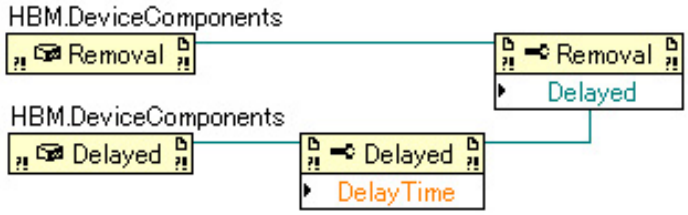
C#

```
public Delayed Delayed { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Delayed As Delayed
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Delayed |

# Resistorクラス

**Resistor Class**
抵抗センサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Resistor : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Resistor
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Resistor

## Resistor Members

Resistor型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Resistor() | Resistorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Resistor(String) | Resistorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをResistorプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ResistorプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |
| Wiring | センサの配線。 |

## Resistor Constructor

Resistorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

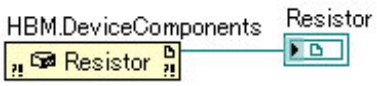
C#

```
public Resistor()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Resistor Constructor(String)

Resistorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

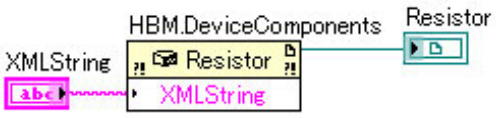
C#

```
public Resistor(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Resistor.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

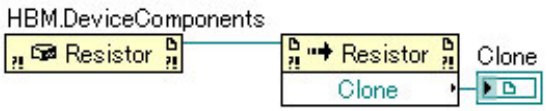
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Resistorオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Resistor.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをResistorプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Resistor.ConvertToXML Method

ResistorプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

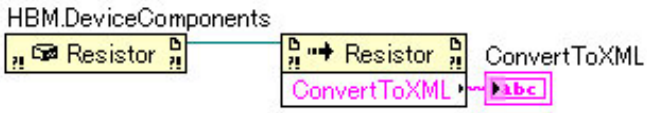
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ConvertToXML | String | ResistorプロパティのXML表現。 |

## Resistor.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

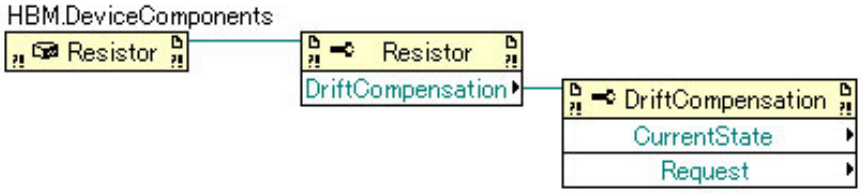
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Resistor.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

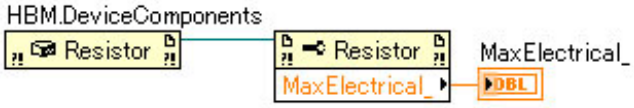
C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(double) |

## Resistor.Wiring Property

センサの配線。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

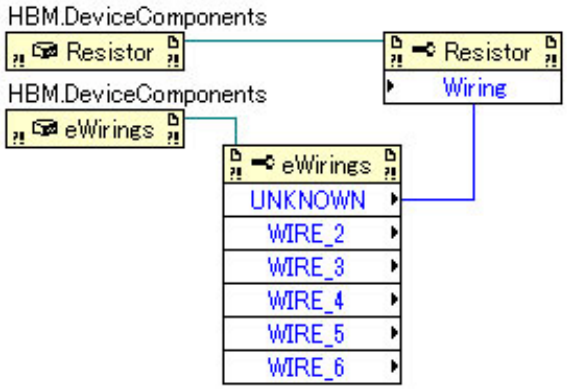
C#

```
public eWirings Wiring { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Wiring As eWirings
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eWirings |

# RMSクラス

**RMS Class**
実効値(RMS)記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class RMS : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class RMS
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.RMS

## RMS Members

RMS型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| RMS() | RMSクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| RMS(String) | RMSクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをRMSプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | RMSプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Input | RMSの計算に使用する入力信号。 |
| Period | RMSの計算に使用するサンプル数。 |
| Signals | 出力信号。 |

## RMS Constructor

RMSクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public RMS()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## RMS Constructor(String)

RMSクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public RMS(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## RMS.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

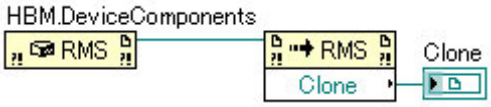
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | RMSオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## RMS.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをRMSプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## RMS.ConvertToXML Method

RMSプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

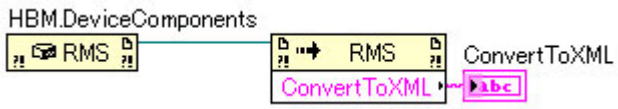
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | RMSプロパティのXML表現。 |

## RMS.Input Property

RMSの計算に使用する入力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

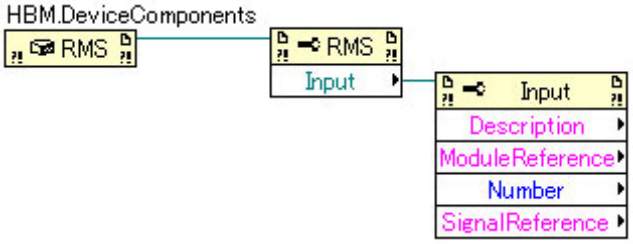
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## RMS.Period Property

RMSの計算に使用するサンプル数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

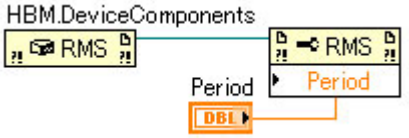
C#

```
public double Period { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Period As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## RMS.Signals Property

出力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

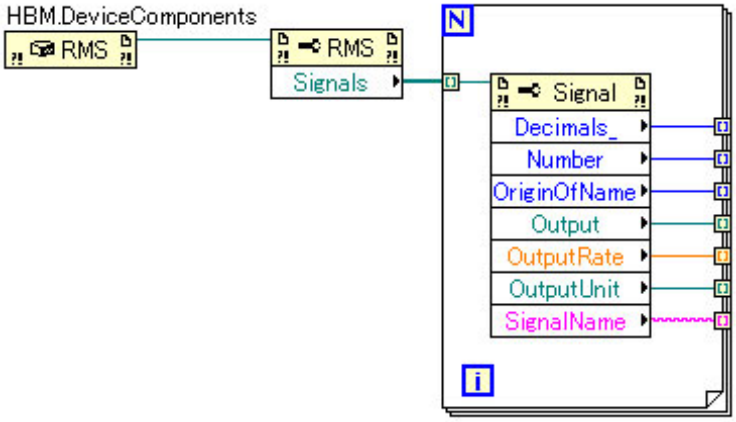
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

# RotationalVibrationクラス

**RotationalVibration Class**
回転振動を計算するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class RotationalVibration : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class RotationalVibration
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.RotationalVibration

## RotationalVibration Members

RotationalVibration型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| RotationalVibration() | RotationalVibrationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| RotationalVibration(String) | RotationalVibrationクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをRotationalVibrationプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | RotationalVibrationプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| FilterType | フィルタタイプ。 |
| Input | 回転振動の計算に使用する入力信号。 |
| IntegrationType | 有効、無効またはクリアの積分タイプ。 |
| OutputFilterType | 出力フィルタタイプ。 |
| PulsesPerRound | 1回転あたりのパルス数。 |
| ScalingFactor | 積分因子。 |
| Signals | 出力信号。 |

## RotationalVibration Constructor

RotationalVibrationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

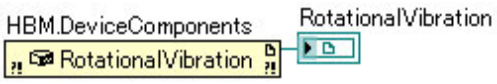
C#

```
public Rotationalvibration()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## RotationalVibration Constructor(String)

RotationalVibrationクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

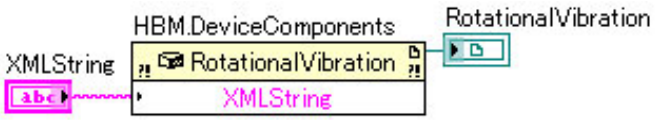
C#

```
public RotationalVibration(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## RotationalVibration.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

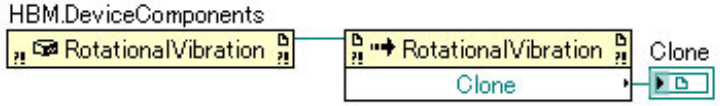
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | RotationalVibrationオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## RotationalVibration.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをRotationalVibrationプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## RotationalVibration.ConvertToXML Method

RotationalVibrationプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

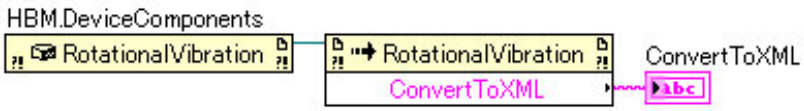
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | RotationalVibrationプロパティのXML表現。 |

## RotationalVibration.FilterType Property

フィルタタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

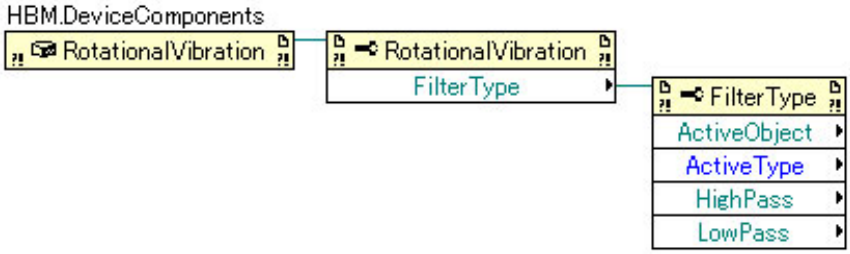
C#

```
public FilterType FilterType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FilterType As FilterType
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: FilterType |

## RotationalVibration.Input Property

回転振動の計算に使用する入力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

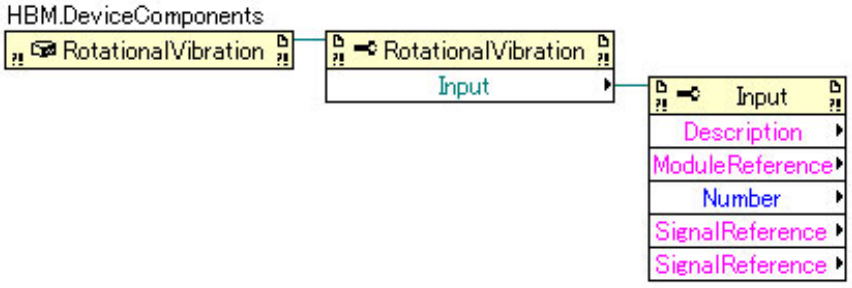
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## RotationalVibration.IntegrationType Property

有効、無効またはクリアの積分タイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

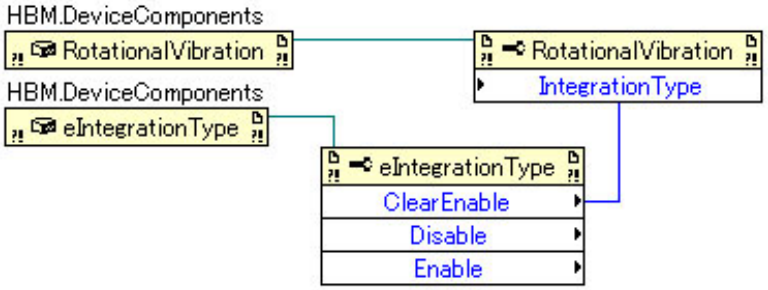
C#

```
public eIntegrationType IntegrationType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IntegrationType As eIntegrationType
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eIntegrationType |

## RotationalVibration.OutputFilterType Property

出力フィルタタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

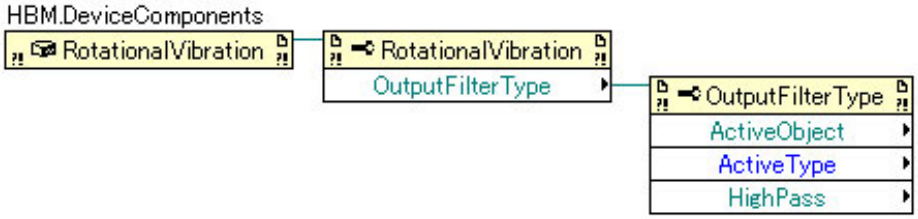
C#

```
public OutputFilterType OutputFilterType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OutputFilterType As OutputFilterType
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: OutputFilterType |

## RotationalVibration.PulsesPerRound Property

1回転あたりのパルス数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

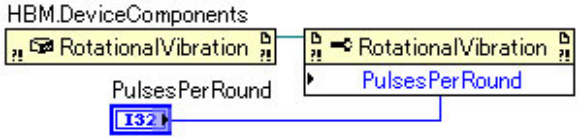
C#

```
public int PulsesPerRound { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PulsesPerRound As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## RotationalVibration.ScalingFactor Property

1回転あたりのパルス数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

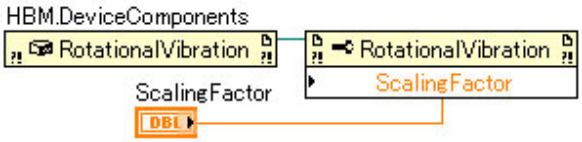
C#

```
public double ScalingFactor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ScalingFactor As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## RotationalVibration.Signals Property

出力信号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

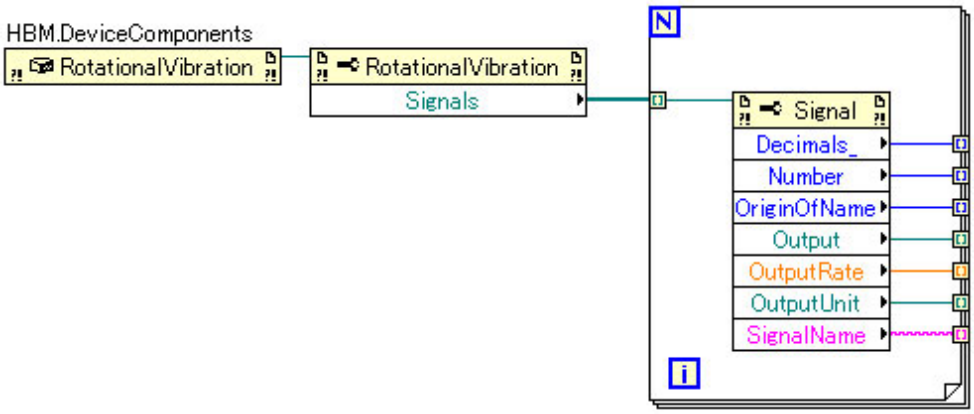
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

# RunModeクラス

**RunMode Class**
信号制御の実行モードを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class RunMode : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class RunMode
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.RunMode

## RunMode Members

RunMode型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| RunMode() | RunModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| RunMode(String) | RunModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをRunModeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | RunModeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | フィルタタイプ。 |
| Input | 実行モードのソース。 |
| Polarity | 入力を反転するかどうかを決定。 |

## RunMode Constructor

RunModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public RunMode()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## RunMode Constructor(String)

RunModeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public RunMode(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## RunMode.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

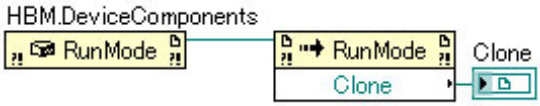
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | RunModeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## RunMode.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをRunModeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## RunMode.ConvertToXML Method

RunModeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

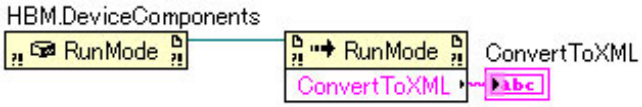
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | RunModeプロパティのXML表現。 |

## RunMode.Active Property

フィルタタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

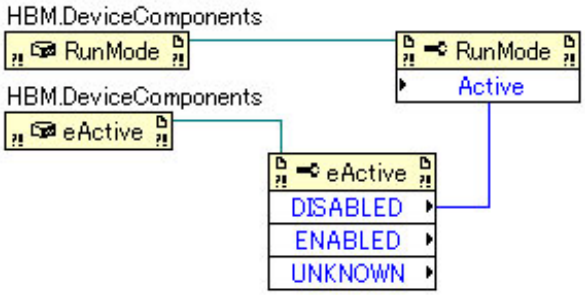
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## RunMode.Input Property

実行モードのソース。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

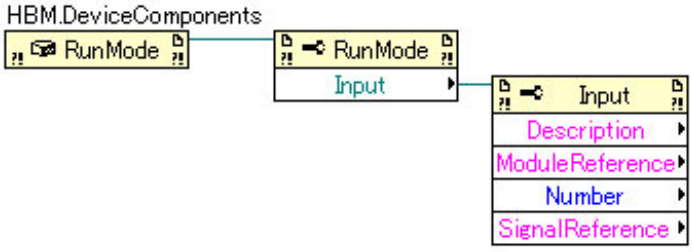
C#

```
public Input Input { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Input As Input
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Input |

## RunMode.Polarity Property

入力を反転するかどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

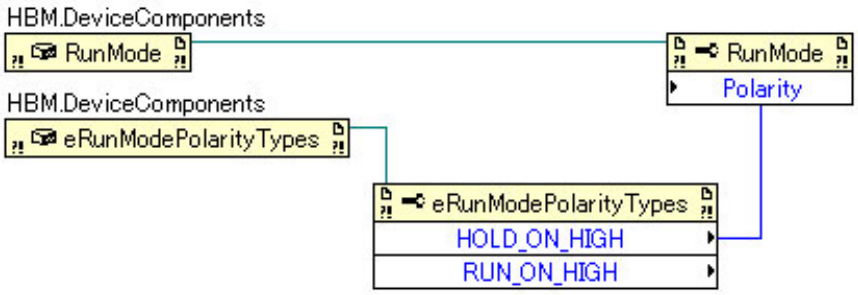
C#

```
public eRunModePolarityTypes Polarity { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Polarity As eRunModePolarityTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eRunModePolarityTypes |

# ScalingTypeクラス

**ScalingType Class**
計測値のスケーリング方法を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ScalingType : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class ScalingType
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ScalingType

## ScalingType Members

ScalingType型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ScalingType() | ScalingTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ScalingType(String) | ScalingTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをScalingTypeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ScalingTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | Activeなオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 計測値のスケーリングタイプ。 |
| Gain | Gain設定。 |
| LinTable | LinTable設定。 |
| Polynom | Polynom設定。 |
| Straingage | Straingage設定。 |
| ZeroSpan | ZeroSpan設定。 |

## ScalingType Constructor

ScalingTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ScalingType()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## ScalingType Constructor(String)

ScalingTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

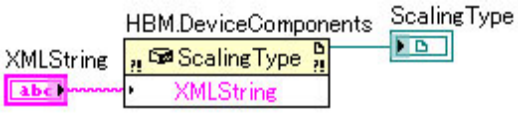
C#

```
public ScalingType(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ScalingType.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

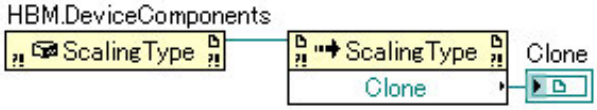
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | ScalingTypeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## ScalingType.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをScalingTypeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

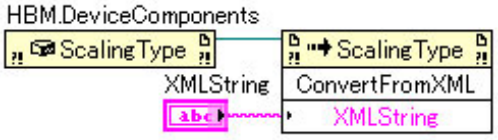
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ScalingType.ConvertToXML Method

ScalingTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ScalingTypeプロパティのXML表現。 |

## ScalingType.ActiveObject Property

Activeなオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

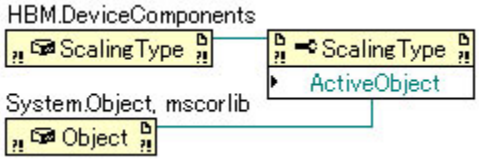
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## ScalingType.ActiveType Property

計測値のスケーリングタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

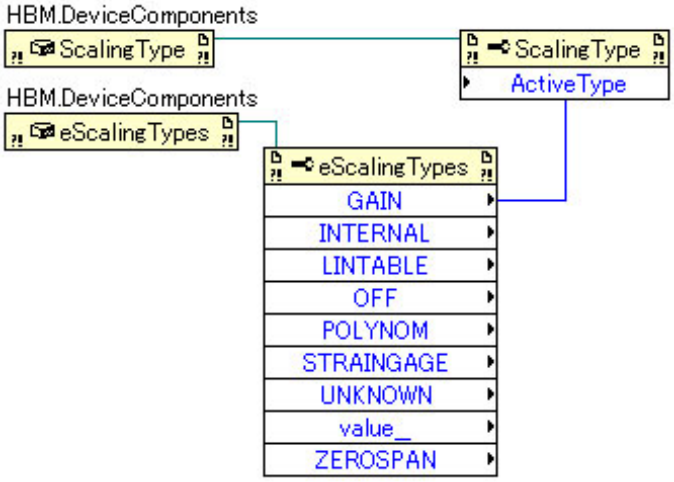
C#

```
public eScalingTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eScalingTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eScalingTypes |

## ScalingType.Gain Property

Gain設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

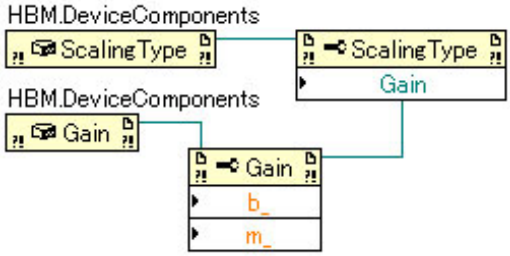
C#

```
public Gain Gain { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Gain As Gain
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Gain |

## ScalingType.LinTable Property

LinTable設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

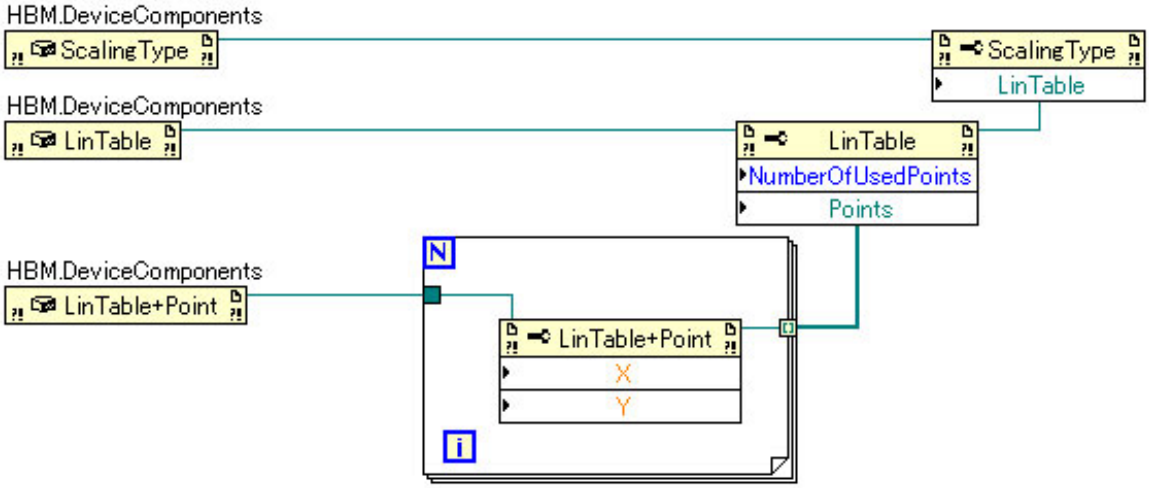
C#

```
public LinTable LinTable { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property LinTable As LinTable
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: LinTable |

## ScalingType.Polynom Property

Polynom設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

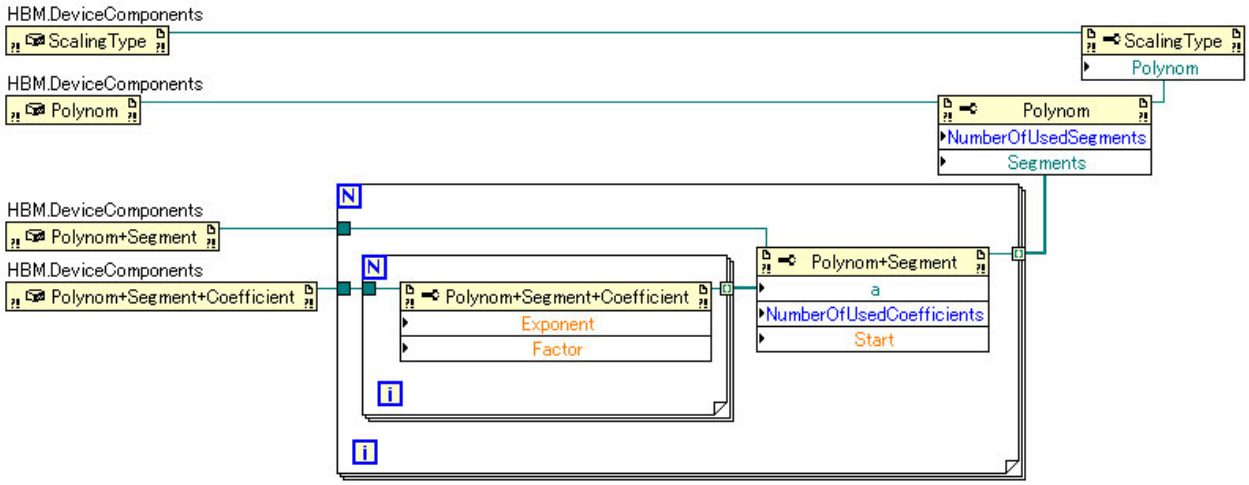
C#

```
public Polynom Polynom { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Polynom As Polynom
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Polynom |

## ScalingType.Straingage Property

Straingage設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

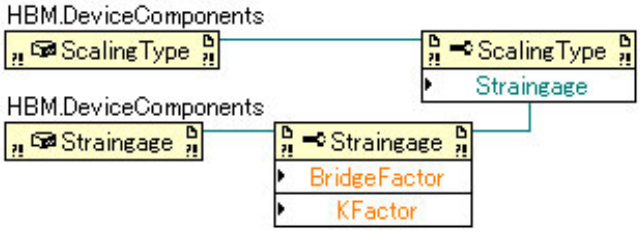
C#

```
public Straingage Straingage { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Straingage As Straingage
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Straingage |

## ScalingType.ZeroSpan Property

ZeroSpan設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

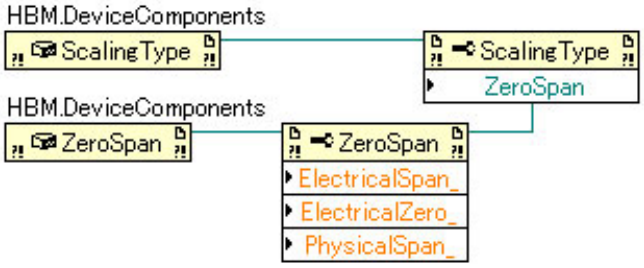
C#

```
public ZeroSpan ZeroSpan { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ZeroSpan As ZeroSpan
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ZeroSpan |

# Sensorクラス

**Sensor Class**
センサの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Sensor : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Sensor
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Sensor

## Sensor Members

Sensor型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Sensor() | Sensorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Sensor(String) | Sensorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSensorプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SensorプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Identification | ID設定。 |
| PhysicalUnit | 出力信号の工学単位。 |
| PhysicalUnitUser | 出力信号の工学単位(ユーザ定義)。 |
| ScalingType | 出力信号のスケーリングタイプ。 |
| SensorType | センサタイプ。 |
| Supply | コネクタの電源電圧。 |
| Tag | タグの取得または設定。<br>内部でのみ使用するため、PropertyGrid、COMインターフェスやIntelliSenseには表示されません。 |
| TedsOptions | TEDSのオプション設定。 |

## Sensor Constructor

Sensorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Sensor()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Sensor Constructor(String)

Sensorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Sensor(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Sensor.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

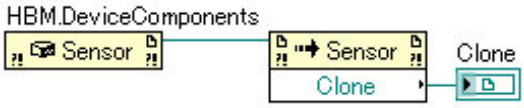
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Sensorオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Sensor.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSensorプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Sensor.ConvertToXML Method

SensorプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

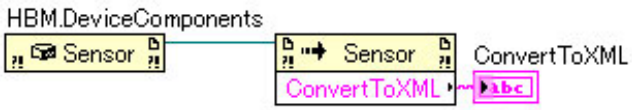
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SensorプロパティのXML表現。 |

## Sensor.Identification Property

ID設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

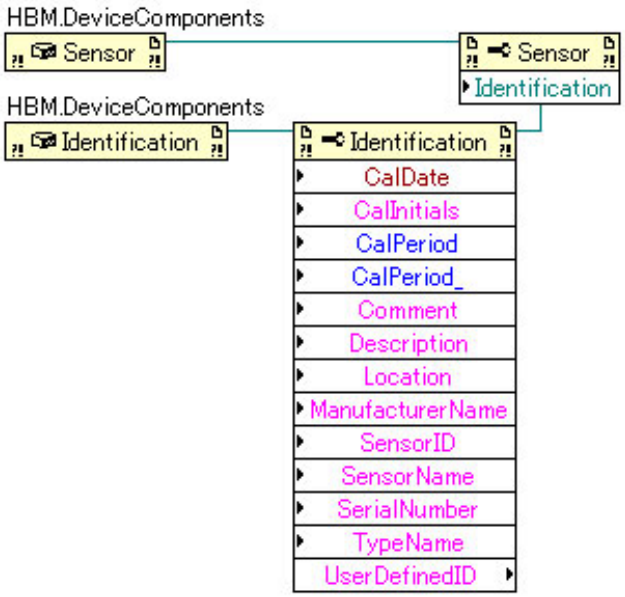
C#

```
public Identification Identification { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Identification As Identification
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Identification |

## Sensor.PhysicalUnit Property

出力信号の工学単位。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

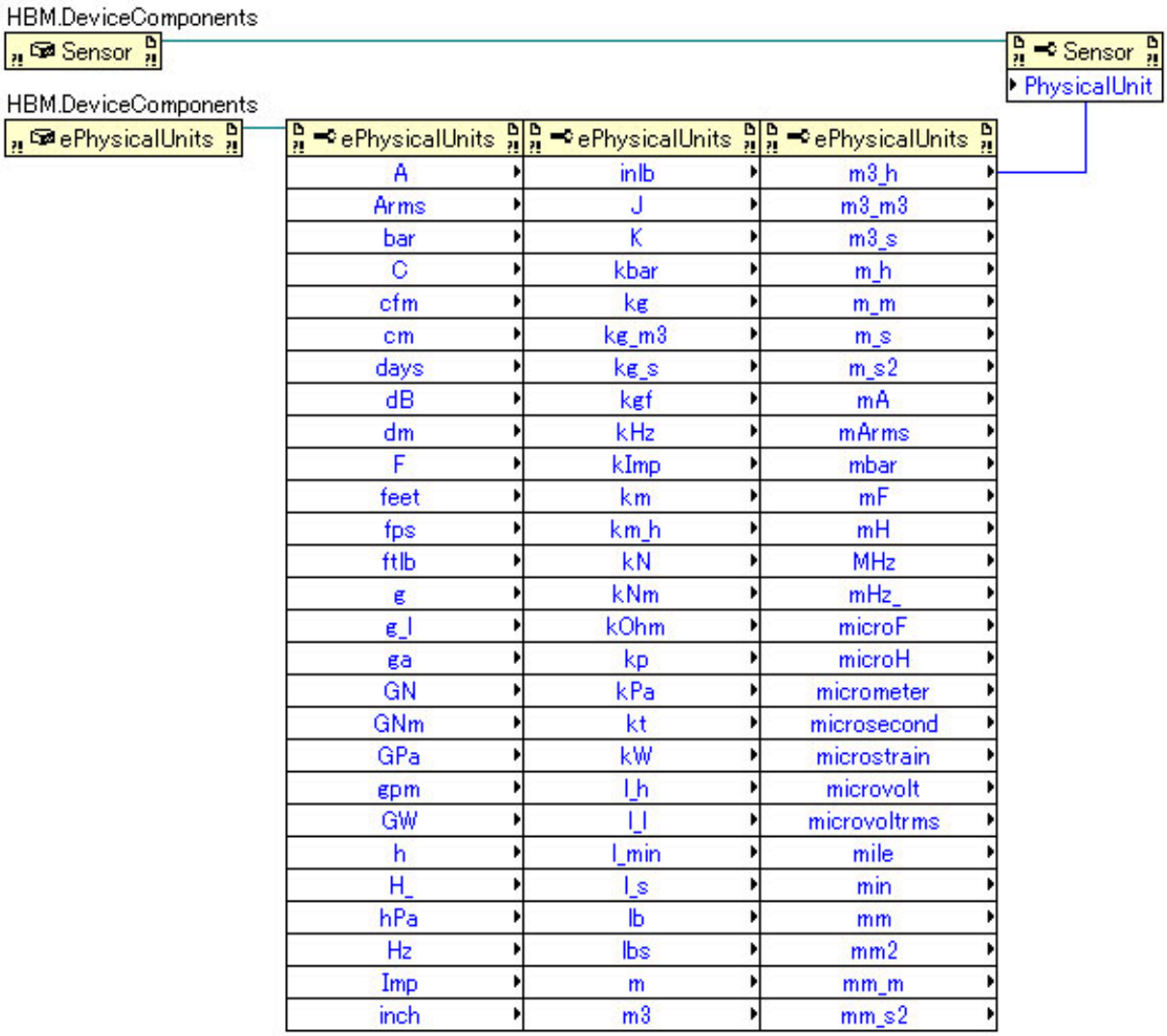
C#

```
public ePhysicalUnits PhysicalUnit { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PhysicalUnit As ePhysicalUnits
        Get
        Set
```

LabVIEW



| ePhysicalUnits | ePhysicalUnits | ePhysicalUnits |
|---|---|---|
| MN | oC | strain |
| MNm | oF | t |
| mOhm | Ohm | tons |
| MOhm_ | One_min | U_min |
| mole_l | One_s | uA |
| mole_m3 | oR | uArms |
| MPa | oRank | uF |
| mph | ozin | uH |
| ms | Pa | um |
| mV | pas | um_m |
| mV_V | pC | UNKNOWN |
| mVrms | percent | us |
| mW | percent_decade | UserDefined |
| MW_ | percent_oC | uV |
| N | percento | uV_V |
| N_cm2 | pF | uVrms |
| N_m | ppm | V |
| N_m2 | ppm_oC | V_m_s2 |
| N_mm2 | promill | V_C |
| nC | promill_oC | V_N |
| nF | psi | V_PA |
| nH | rad | V_V |
| Nm | radian | value_ |
| Nm_ | radian_s | Vrms |
| Nm_radian | RH | W |
| none | rpm | W_oC |
| o | s | yard |

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePhysicalUnits |

## Sensor.PhysicalUnitUser Property

出力信号の工学単位(ユーザ定義)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string PhysicalUnitUser { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PhysicalUnitUser As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Sensor.ScalingType Property

出力信号のスケーリングタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

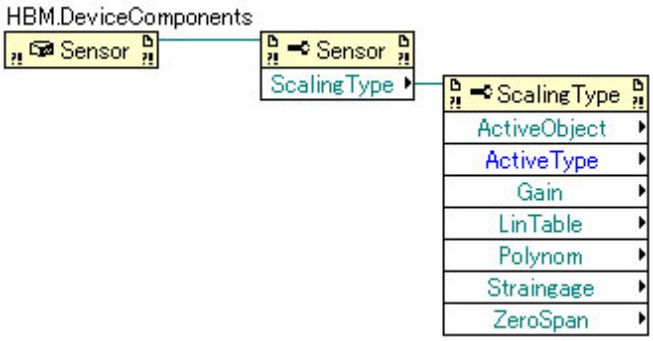
C#

```
public ScalingType ScalingType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ScalingType As ScalingType
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ScalingType |

## Sensor.SensorType Property

センサタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

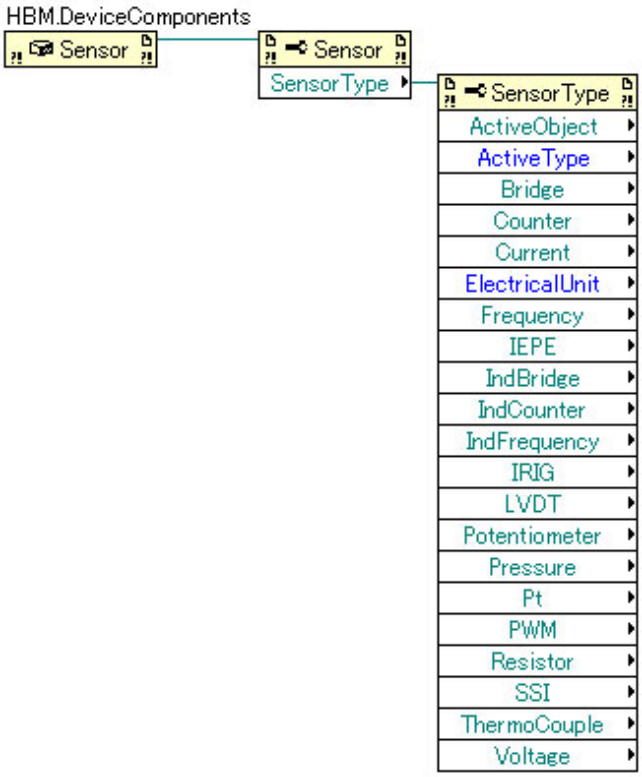
C#

```
public SensorType SensorType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SensorType As SensorType
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SensorType |

## Sensor.Supply Property

コネクタの電源電圧。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Nullable<double> Supply { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Supply As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## Sensor.Tag Property

タグの取得または設定。
内部でのみ使用するため、PropertyGrid、COMインターフェスやIntelliSenseには表示されません。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

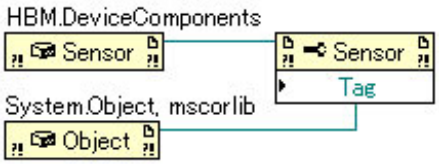
C#

```
public Object Tag { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Tag As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## Sensor.TedsOptions Property

TEDSのオプション設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

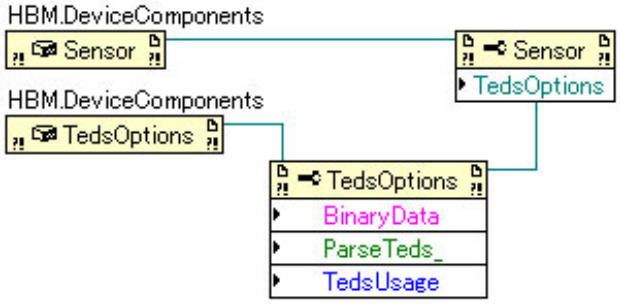
C#

```
public TedsOptions TedsOptions { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property TedsOptions As TedsOptions
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: TedsOptions |

# SensorTypeクラス

**SensorType Class**
サポートされているすべてセンサタイプを設定するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SensorType : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SensorType
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SensorType

## SensorType Members

SensorType型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SensorType() | SensorTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SensorType(String) | SensorTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSensorTypeプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SensorTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのセンサオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 使用するセンサタイプを決定。 |
| Bridge | ブリッジセンサ設定。 |
| Counter | カウンタセンサ設定。 |
| Current | 電流センサ設定。 |
| ElectricalUnit | センサの工学単位。 |
| Frequency | 周波数センサ設定。 |
| IEPE | IEPEセンサ設定。 |
| IndBridge | 誘電ブリッジセンサ設定。 |
| IndCounter | 誘電カウンタセンサ設定。 |
| IndFrequency | 誘電周波数センサ設定。 |
| IRIG | IRIGセンサ設定。 |
| LVDT | LVDTセンサ設定。 |
| Potentiometer | ポテンションメータ設定。 |
| Pressure | 圧力センサ設定。 |
| Pt | Pt測温素子設定。 |
| PWM | PWM設定。 |
| Resistor | 抵抗センサ設定。 |
| SSI | SSIセンサ設定。 |
| ThermoCouple | 熱電対設定。 |
| Voltage | 電圧センサ設定。 |

## SensorType Constructor

SensorTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SensorType()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## SensorType Constructor(String)

SensorTypeクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SensorType(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SensorType.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

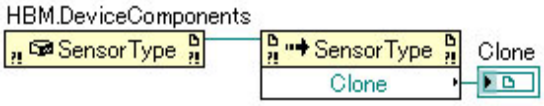
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SensorTypeオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SensorType.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSensorTypeプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SensorType.ConvertToXML Method

SensorTypeプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

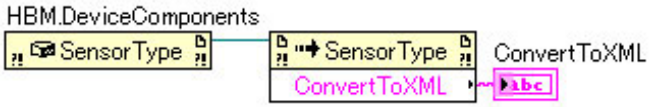
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SensorTypeプロパティのXML表現。 |

## SensorType.ActiveObject Property

ActiveTypeのセンサオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

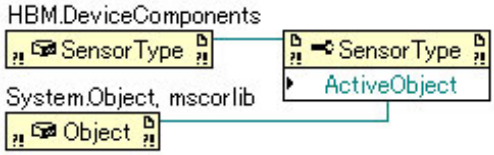
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## SensorType.ActiveType Property

使用するセンサタイプを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

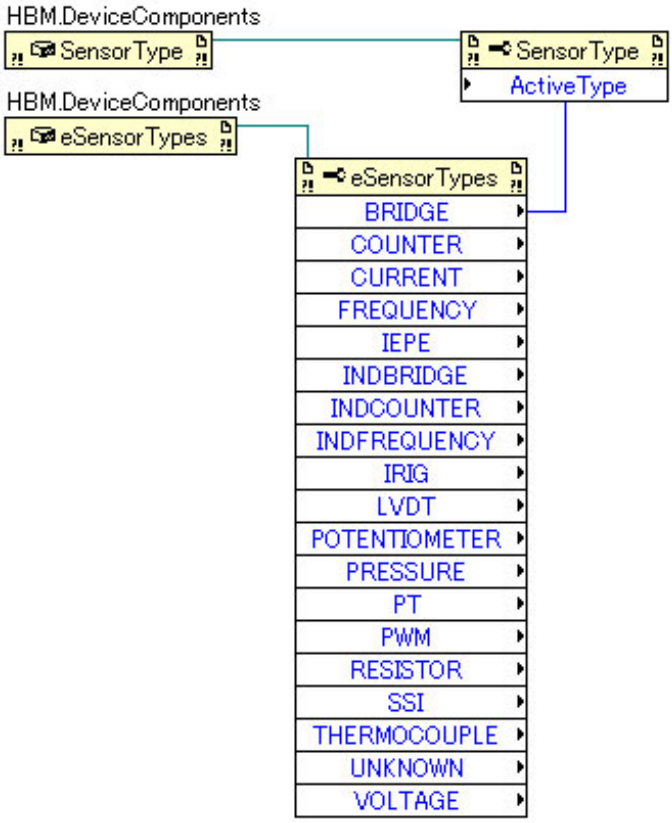
C#

```
public eSensorTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eSensorTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSensorTypes |

## SensorType.Bridge Property

ブリッジセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

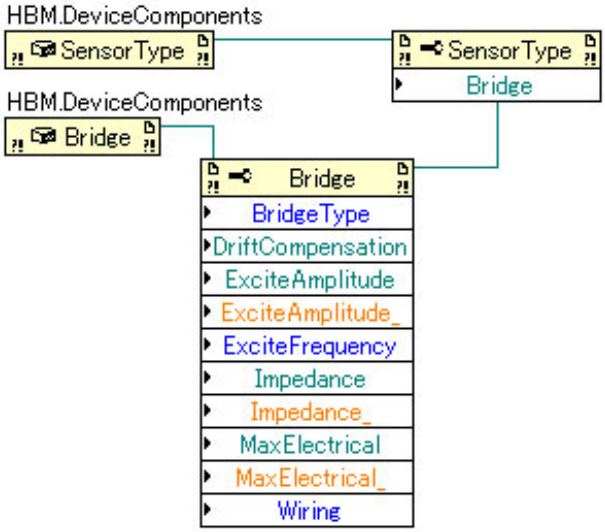
C#

```
public Bridge Bridge { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Bridge As Bridge
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Bridge |

## SensorType.Counter Property

カウンタセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

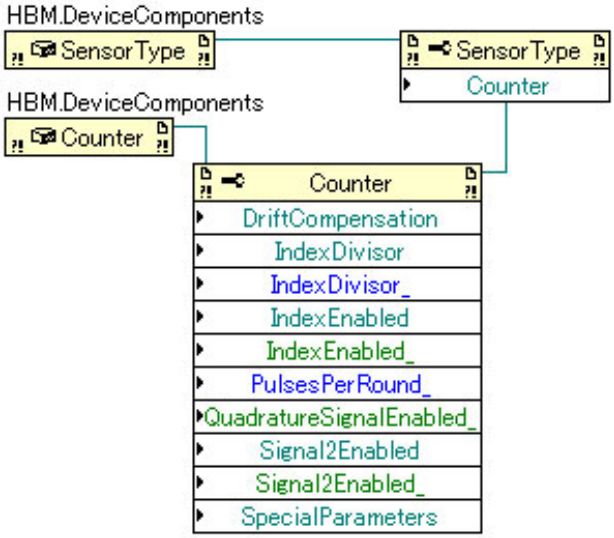
C#

```
public Counter Counter { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Counter As Counter
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Counter |

## SensorType.Current Property

電流センサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

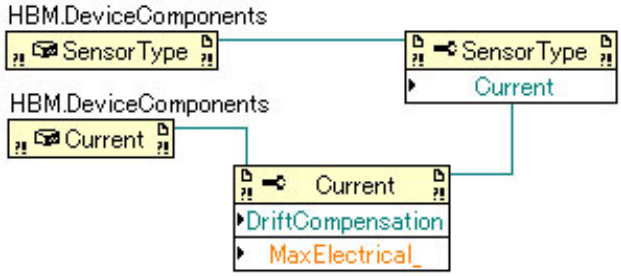
C#

```
public Current Current { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Current As Current
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Current |

## SensorType.ElectricalUnit Property

センサの工学単位。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

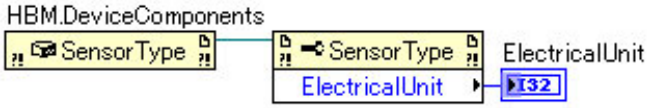
C#

```
public ePhysicalUnits ElectricalUnit { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ElectricalUnit As ePhysicalUnits
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePhysicalUnits |

## SensorType.Frequency Property

周波数センサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

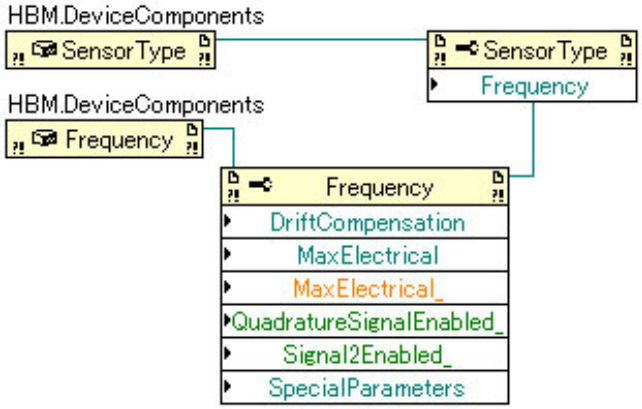
C#

```
public Frequency Frequency { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Frequency As Frequency
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Frequency |

## SensorType.IEPE Property

IEPEセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

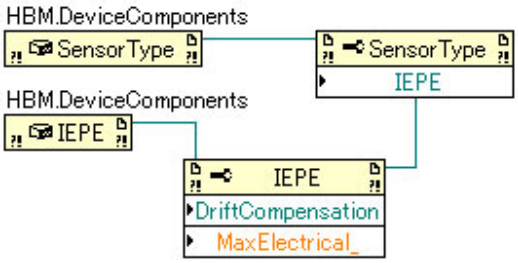
C#

```
public IEPE IEPE { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IEPE As IEPE
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: IEPE |

## SensorType.IndBridge Property

誘電ブリッジセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

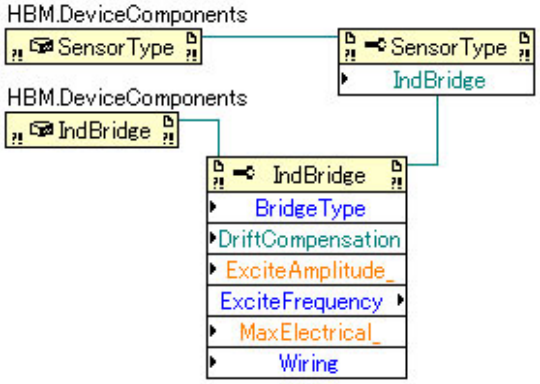
C#

```
public IndBridge IndBridge { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IndBridge As IndBridge
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: IndBridge |

## SensorType.IndCounter Property

誘電カウンタセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

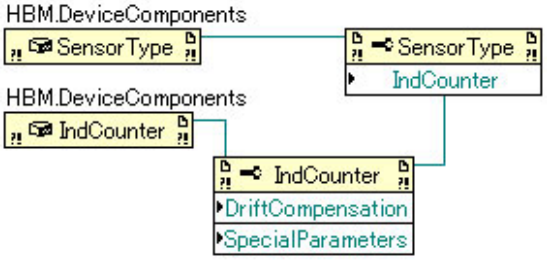
C#

```
public IndCounter IndCounter { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IndCounter As IndCounter
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: IndCounter |

## SensorType.IndFrequency Property

誘電カウンタセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

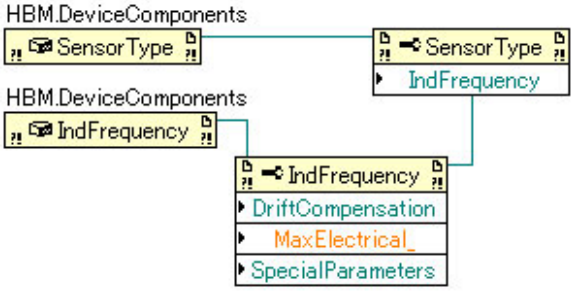
C#

```
public IndFrequency IndFrequency { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IndFrequency As IndFrequency
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: IndFrequency |

## SensorType.IRIG Property

IRIGセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

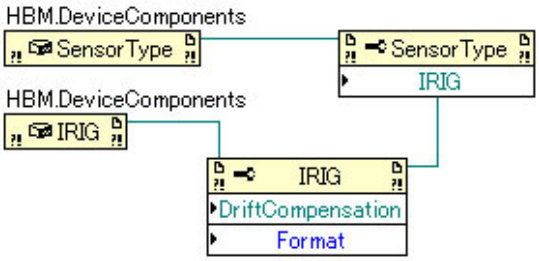
C#

```
public IRIG IRIG { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IRIG As IRIG
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: IRIG |

## SensorType.LVDT Property

LVDTセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

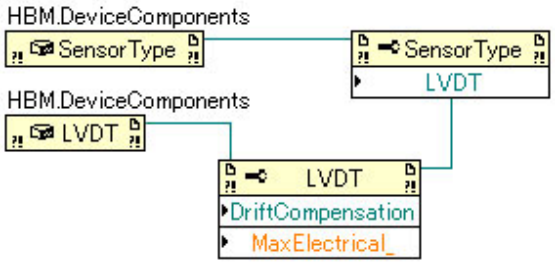
C#

```
public LVDT LVDT { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property LVDT As LVDT
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: LVDT |

## SensorType.Potentiometer Property

ポテンションメータ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

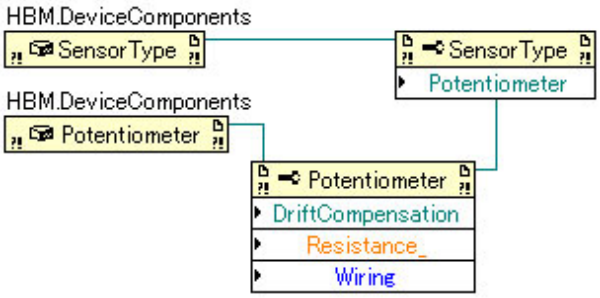
C#

```
public Potentiometer Potentiometer { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Potentiometer As Potentiometer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Potentiometer |

## SensorType.Pressure Property

圧力センサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

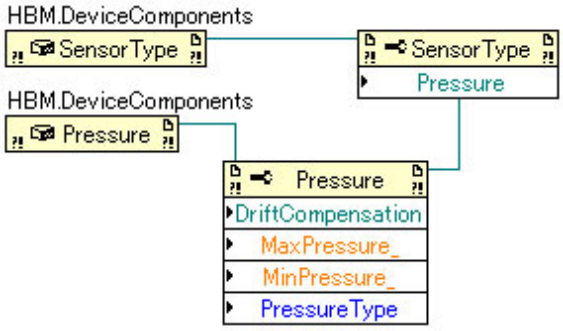
C#

```
public Pressure Pressure { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Pressure As Pressure
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Pressure |

## SensorType.Pt Property

Pt測温素子設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

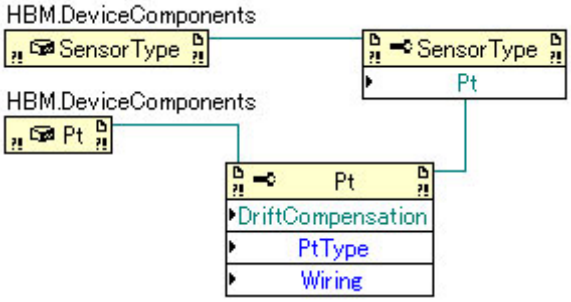
C#

```
public Pt Pt { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Pt As Pt
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Pt |

## SensorType.PWM Property

PWM設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

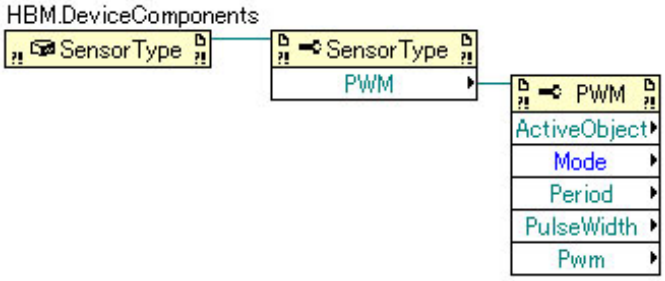
C#

```
public PWM PWM { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PWM As PWM
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PWM |

## SensorType.Resistor Property

抵抗センサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

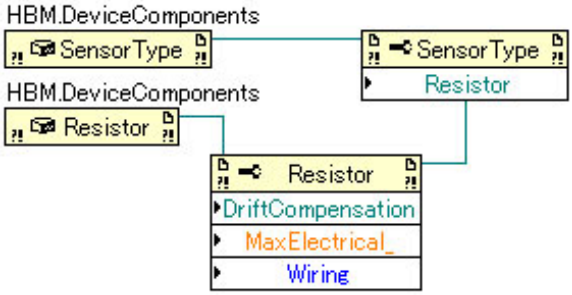
C#

```
public Resistor Resistor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Resistor As Resistor
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Resistor |

## SensorType.SSI Property

SSIセンサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

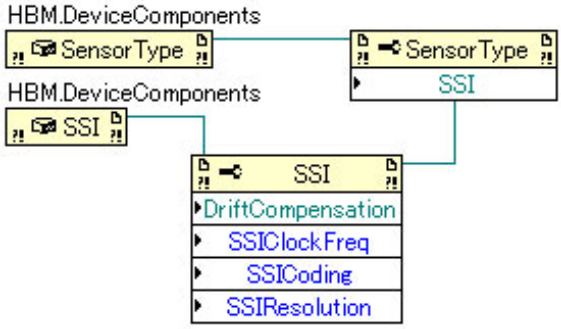
C#

```
public SSI SSI { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SSI As SSI
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SSI |

## SensorType.ThermoCouple Property

熱電対設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

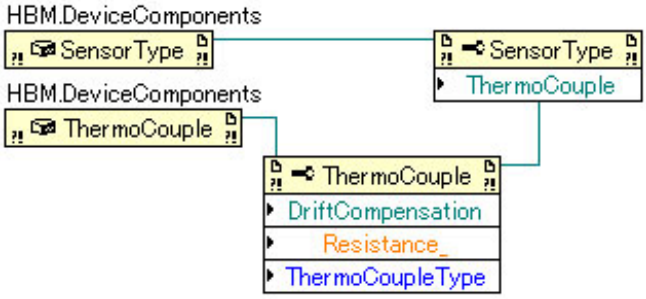
C#

```
public ThermoCouple ThermoCouple { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ThermoCouple As ThermoCouple
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ThermoCouple |

## SensorType.Voltage Property

電圧センサ設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

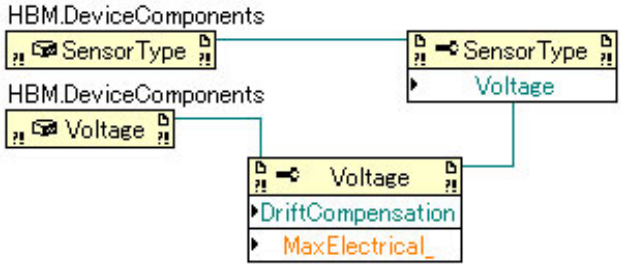
C#

```
public Voltage Voltage { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Voltage As Voltage
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Voltage |

# Signalクラス

**Signal Class**
同期信号の設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Signal : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Signal
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Signal

## Signal Members

Signal型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Signal() | Signalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Signal(Int32) | Signalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Signal(String) | Signalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSignalプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SignalプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Decimals | 小数点以下の桁数(0..8)。 |
| Number | 信号数。 |
| OriginOfName | チャネル名のタイプ。 |
| Output | 出力パラメータ。 |
| OutputRate | 出力レート。 |
| OutputUnit | 工学単位の引数。 |
| SignalFormat | 信号の形式。 |
| SignalName | 信号名。 |

## Signal Constructor

Signalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Signal()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Signal Constructor(Int32)

Signalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Signal(
       int Number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       Number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Number | System.Int32 | 信号番号。 |

## Signal Constructor(String)

Signalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

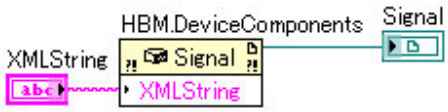
C#

```
public Signal(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Signal.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

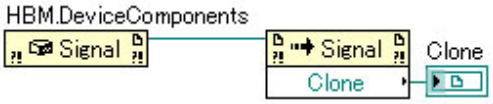
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Signalオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Signal.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSignalプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

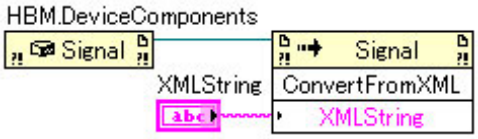
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Signal.ConvertToXML Method

Signalプロパティ をXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

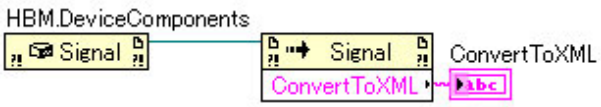
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | Signalプロパティ のXML表現。 |

## Signal.Decimals Property

小数点以下の桁数(0..8)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

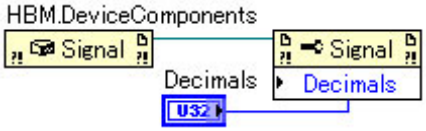
C#

```
public uint Decimals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Decimals As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## Signal.Number Property

信号数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

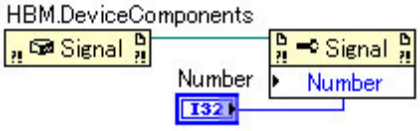
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## Signal.OriginOfName Property

チャネル名のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

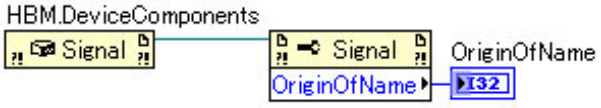
C#

```
public eOriginOfNameTypes OriginOfName { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OriginOfName As eOriginOfNameTypes
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOriginOfNameTypes |

## Signal.Output Property

出力パラメータ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

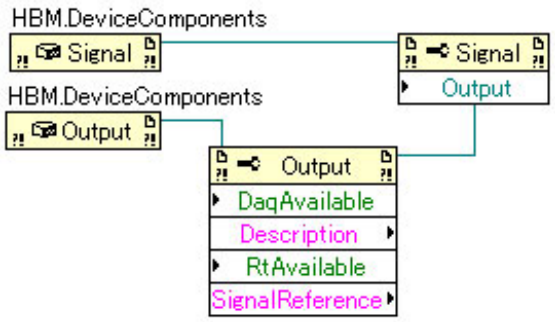
C#

```
public Output Output { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Output As Output
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Output |

## Signal.OutputRate Property

出力レート。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

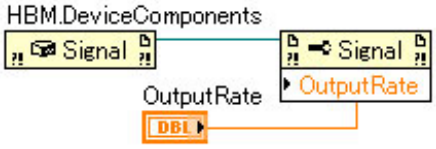
C#

```
public double OutputRate { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OutputRate As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## Signal.OutputUnit Property

工学単位の引数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

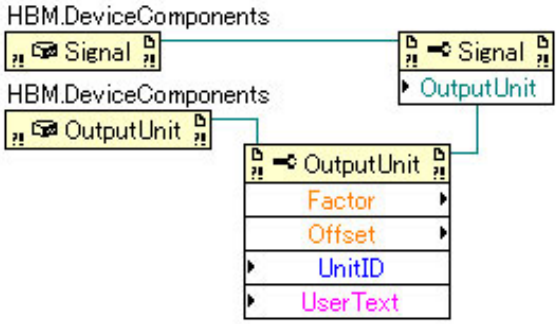
C#

```
public OutputUnit OutputUnit { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OutputUnit As OutputUnit
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: OutputUnit |

## Signal.SignalFormat Property

信号の形式。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

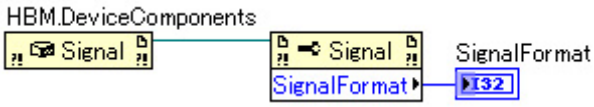
C#

```
public eSignalFormats SignalFormat { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalFormat As eSignalFormats
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSignalFormats |

## Signal.SignalName Property

信号名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

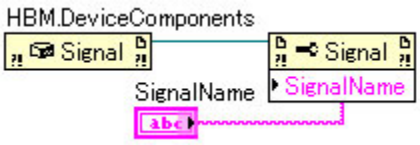
C#

```
public string SignalName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Signal.SignalName Property

信号名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

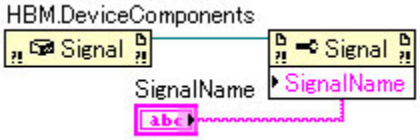
C#

```
public string SignalName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# SignalCtrlクラス

**SignalCtrl Class**
信号制御のモードを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SignalCtrl : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SignalCtrl
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SignalCtrl

## SignalCtrl Members

SignalCtrl型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SignalCtrl() | SignalCtrlクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SignalCtrl(String) | SignalCtrlクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSignalCtrlプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SignalCtrlプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PeakMode | ピークモードの信号制御を定義。 |
| RunMode | 実行モードの信号制御を定義。 |

## SignalCtrl Constructor

SignalCtrlクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

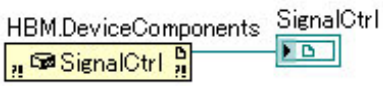
C#

```
public SignalCtrl()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SignalCtrl Constructor(String)

SignalCtrlクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SignalCtrl(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SignalCtrl.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

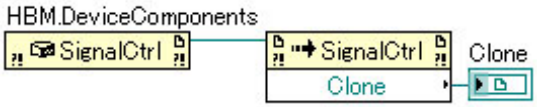
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SignalCtrlオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SignalCtrl.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSignalCtrlプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SignalCtrl.ConvertToXML Method

SignalCtrlプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SignalCtrlプロパティのXML表現。 |

## SignalCtrl.PeakMode Property

ピークモードの信号制御を定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

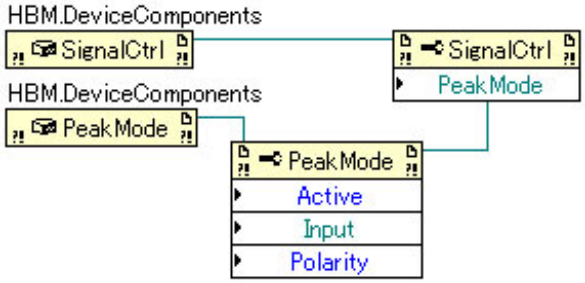
C#

```
public PeakMode PeakMode { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PeakMode As PeakMode
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PeakMode |

## SignalCtrl.RunMode Property

実行モードの信号制御を定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

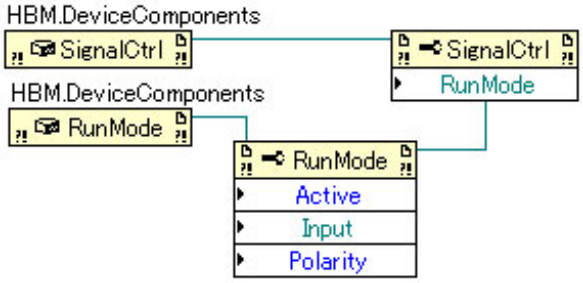
C#

```
public RunMode RunMode { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RunMode As RunMode
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: RunMode |

# SignalGeneratorクラス

**SignalGenerator Class**
信号発生器を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SignalGenerator : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SignalGenerator
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SignalGenerator

## SignalGenerator Members

SignalGenerator型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SignalGenerator() | SignalGeneratorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SignalGenerator(Int32) | SignalGeneratorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SignalGenerator(String) | SignalGeneratorクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSignalGeneratorプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SignalGeneratorプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | 信号発生器が有効かどうかを判定。 |
| ActiveObject | Activeなオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 使用する信号タイプを定義。 |
| Arbitration | 信号の調停設定。 |
| Constant | 信号発生器の定数を設定。 |
| Number | 信号発生器のインデックス番号。 |
| Periodic | 信号発生器の周期を設定。 |
| Signals | 信号出力のパラメータ。 |

## SignalGenerator Constructor

SignalGeneratorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SignalGenerator()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## SignalGenerator Constructor(Int32)

SignalGeneratorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SignalGenerator(
       int Number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       Number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Number | System.Int32 | 信号発生器の番号。 |

## SignalGenerator Constructor(String)

SignalGeneratorクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

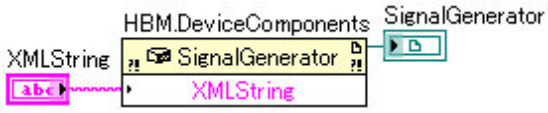
C#

```
public SignalGenerator(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SignalGenerator.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

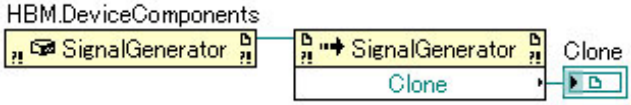
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SignalGeneratorオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SignalGenerator.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSignalGeneratorプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

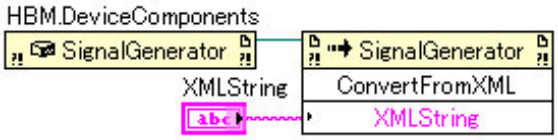
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SignalGenerator.ConvertToXML Method

SignalGeneratorプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SignalGeneratorプロパティのXML表現。 |

## SignalGenerator.Active Property

信号発生器が有効かどうかを判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

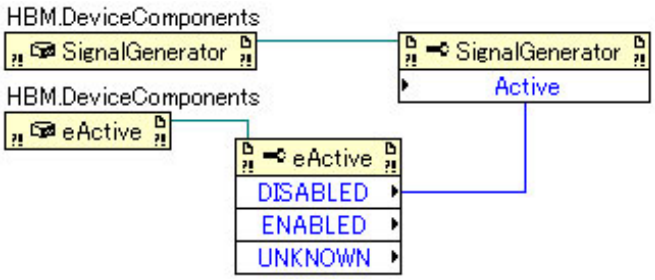
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## SignalGenerator.ActiveObject Property

Activeなオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

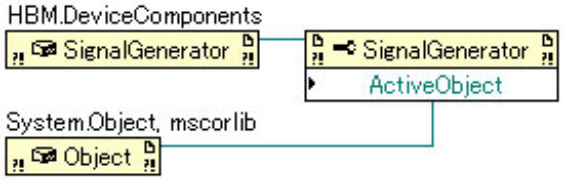
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## SignalGenerator.ActiveType Property

使用する信号タイプを定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

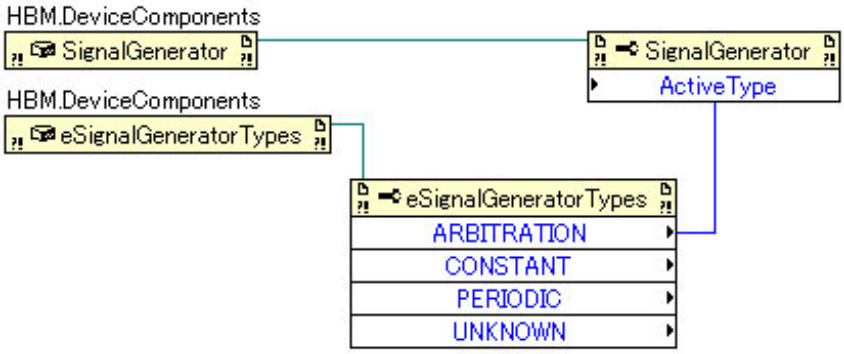
C#

```
public eSignalGeneratorTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eSignalGeneratorTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSignalGeneratorTypes |

## SignalGenerator.Arbitration Property

信号の調停設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

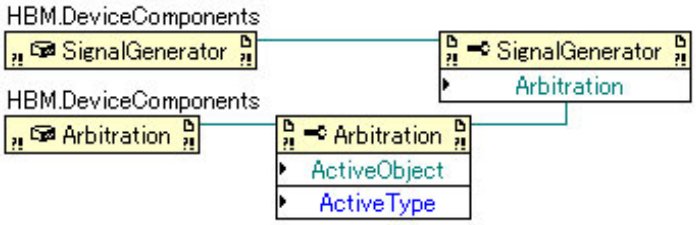
C#

```
public Arbitration Arbitration { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Arbitration As Arbitration
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Arbitration |

## SignalGenerator.Constant Property

信号発生器の定数を設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

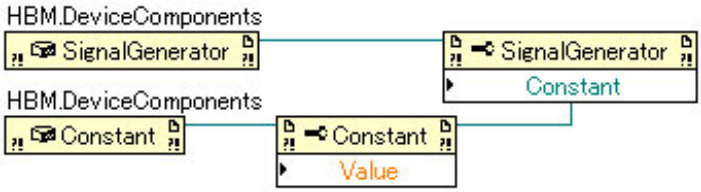
C#

```
public Constant Constant { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Constant As Constant
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Constant |

## SignalGenerator.Number Property

信号発生器のインデックス番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

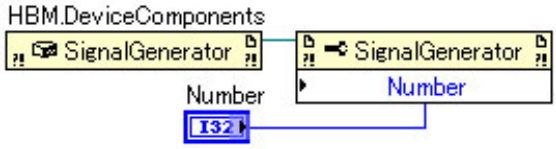
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## SignalGenerator.Periodic Property

信号発生器の周期を設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

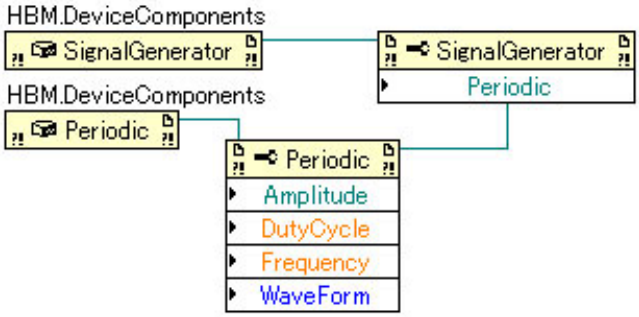
C#

```
public Periodic Periodic { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Periodic As Periodic
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Periodic |

## SignalGenerator.Signals Property

信号出力のパラメータ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

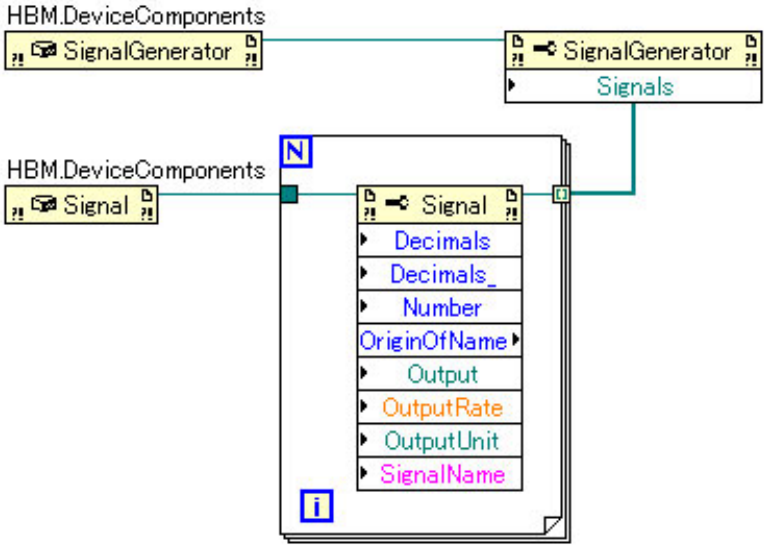
C#

```
public Signal[] Signals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Signals As Signal()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Signal[] |

# SignalGeneratorFunctions クラス

**SignalGeneratorFunctions Class**
信号発生器のコレクションクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SignalGeneratorFunctions : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SignalGeneratorFunctions
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SignalGeneratorFunctions

## SignalGeneratorFunctions Members

SignalGeneratorFunctions型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SignalGeneratorFunctions() | SignalGeneratorFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SignalGeneratorFunctions(Int32) | SignalGeneratorFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SignalGeneratorFunctions(String) | SignalGeneratorFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSignalGeneratorFunctionsプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SignalGeneratorFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SignalGeneratorCount | 信号発生器の番号。 |
| SignalGenerators | 信号発生器。 |

## SignalGeneratorFunctions Constructor

SignalGeneratorFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

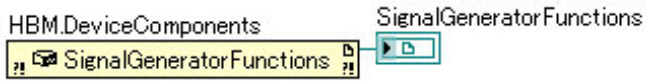
C#

```
public SignalGeneratorFunctions()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SignalGeneratorFunctions Constructor(Int32)

SignalGeneratorFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

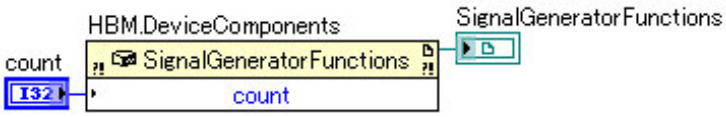
C#

```
public SignalGeneratorFunctions(
       int count
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       count As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| count | System.Int32 | 信号発生器の数。 |

## SignalGeneratorFunctions Constructor(String)

SignalGeneratorFunctionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

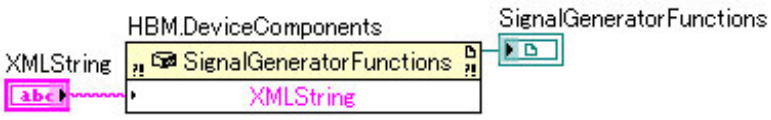
C#

```
public SignalGeneratorFunctions(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SignalGeneratorFunctions.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

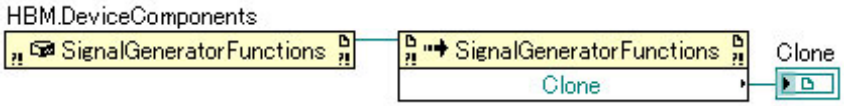
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SignalGeneratorFunctionsオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SignalGeneratorFunctions.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSignalGeneratorFunctionsプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

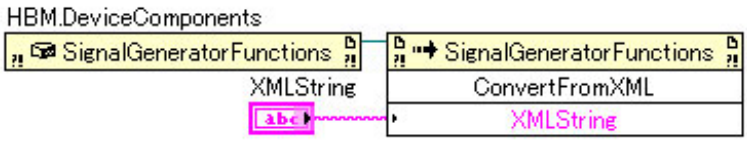
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SignalGeneratorFunctions.ConvertToXML Method

SignalGeneratorFunctionsプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SignalGeneratorFunctionsプロパティのXML表現。 |

## SignalGeneratorFunctions.SignalGeneratorCount Property

信号発生器の番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

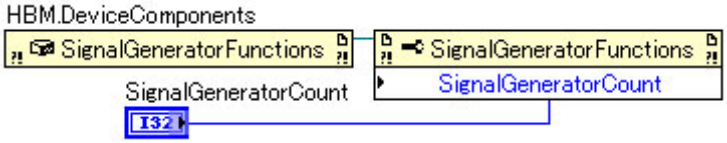
C#

```
public int SignalGeneratorCount { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalGeneratorCount As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## SignalGeneratorFunctions.SignalGenerators Property

信号発生器。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

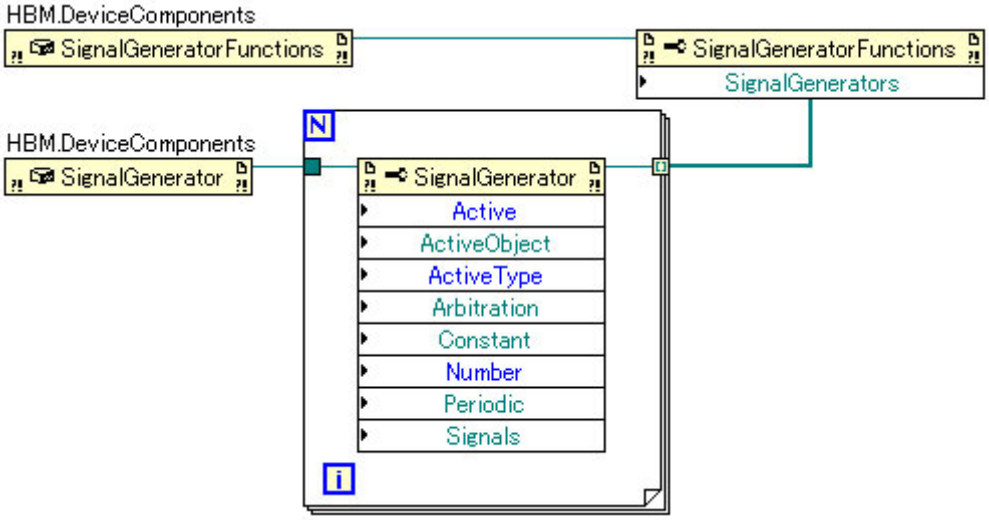
C#

```
public SignalGenerator[] SignalGenerators { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalGenerators As SignalGenerator()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SignalGenerator[] |

# SimpleOutputクラス

**SimpleOutput Class**
出力ファンクションブロックを記述するクラスです。
このクラスは廃止予定です。Outputクラスを使用してください。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
[ObsoleteAttribute("Class SimpleOutput is not used anymore.  Use class Output instead.",
       true)]
public class SimpleOutput : ICloneable
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("Class SimpleOutput is not used anymore.  Use class Output instead.",
       true)>
Public Class SimpleOutput
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SimpleOutput

## SimpleOutput Members

SimpleOutput型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SimpleOutput() | SimpleOutputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SimpleOutput(String) | SimpleOutputクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSimpleOutputプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SimpleOutputプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| 変換演算子 | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ImplicitImplicit(Output to SimpleOutput) | OutputからSimpleOutputへ暗黙の型変換を実行。 |
| ImplicitImplicit(SimpleOutput to Output) | SimpleOutputからOutputへ暗黙の型変換を実行。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Description | Outputの説明。 |
| SignalReference | 信号のリファレンス。 |

## SimpleOutput Constructor

SimpleOutputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

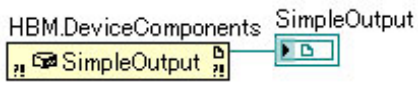
C#

```
public SimpleOutput()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SimpleOutput Constructor(String)

SimpleOutputクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SimpleOutput(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SimpleOutput.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

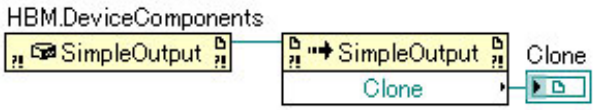
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SimpleOutputオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SimpleOutput.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSimpleOutputプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SimpleOutput.ConvertToXML Method

SimpleOutputプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SimpleOutputプロパティのXML表現。 |

## SimpleOutput implicit Conversion (Output to SimpleOutput)

OutputからSimpleOutputへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator SimpleOutput (
       Output output
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       output As Output
) As SimpleOutput
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| output | HBM.DeviceComponents.Output | 出力。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | SimpleOutput | 変換の結果。 |

## SimpleOutput implicit Conversion (SimpleOutput to Output)

SimpleOutputからOutputへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator Output (
       SimpleOutput simpleOutput
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       simpleOutput As SimpleOutput
) As Output
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| simpleOutput | HBM.DeviceComponents.SimpleOutput | 出力。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | Output | 変換の結果。 |

## SimpleOutput.Description Property

Outputの説明。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string Description { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Description As String
        Get
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SimpleOutput.SignalReference Property

信号のリファレンス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string SignalReference { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property SignalReference As String
       Get
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# SimpleSignalクラス

**SimpleSignal Class**
同期信号の設定を記述するクラスです。
このクラスは廃止予定です。Signalクラスを使用してください。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
[ObsoleteAttribute("Class SimpleSignal is not used anymore.  Use class Signal instead.",
       true)]
public class SimpleSignal : ICloneable
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("Class SimpleSignal is not used anymore.  Use class Signal instead.",
       true)>
Public Class SimpleSignal
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SimpleSignal

## SimpleSignal Members

SimpleSignal型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SimpleSignal() | SimpleSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SimpleSignal(Int32) | SimpleSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SimpleSignal(String) | SimpleSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromSignalArray | Signal配列をSimpleSignal配列に変換します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSimpleSignalプロパティに変換します。 |
| ConvertToSignalArray | SimpleSignal配列をSignal配列に変換します。 |
| ConvertToXML | SimpleSignalプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| 変換演算子 | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ImplicitImplicit(Signal to SimpleSignal) | SignalからSimpleSignalへ暗黙の型変換を実行。 |
| ImplicitImplicit(SimpleSignal to Signal) | SimpleSignalからSignalへ暗黙の型変換を実行。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Number | 信号数。 |
| OriginOfName | チャネル名のタイプ。 |
| Output | 出力パラメータ。 |
| SignalName | 信号名。 |

## SimpleSignal Constructor

SimpleSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

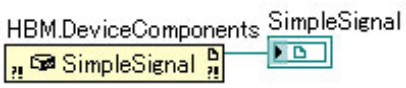
C#

```
public SimpleSignal()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SimpleSignal Constructor(Int32)

SimpleSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SimpleSignal(
       int Number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       Number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Number | System.Int32 | 信号番号。 |

## SimpleSignal Constructor(String)

SimpleSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SimpleSignal(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SimpleSignal.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

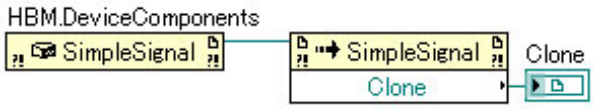
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SimpleSignalオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SimpleSignal.ConvertFromSignalArray Method

Signal配列をSimpleSignal配列に変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

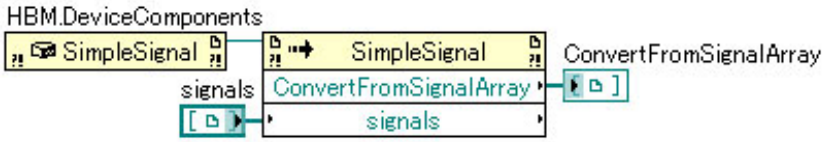
C#

```
public static SimpleSignal[] ConvertFromSignalArray(
       Signal[] signals
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ConvertFromSignalArray (
       signals  As Signal()
) As SimpleSignal()
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| signals | HBM.DeviceComponents.Signal[] | Signal配列。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ConvertFromSignalArray | SimpleSignal[] | SimpleSignal配列。 |

## SimpleSignal.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSimpleSignalプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

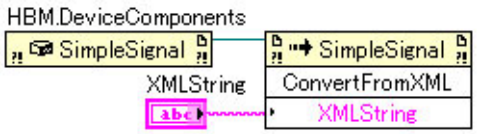
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SimpleSignal.ConvertToSignalArray Method

SimpleSignal配列をSignal配列に変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static Signal[] ConvertToSignalArray(
       SimpleSignal[] simpleSignals
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ConvertToSignalArray
       simpleSignals As SimpleSignal()
) As Signal()
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| simpleSignals | HBM.DeviceComponents.SimpleSignal[] | SimpleSignal配列。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToSignalArray | Signal[] | Signal配列。 |

## SimpleSignal.ConvertToXML Method

SimpleSignalプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

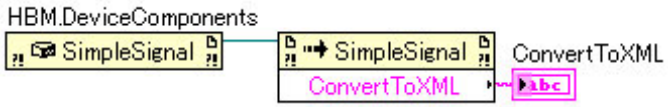
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SimpleSignalプロパティのXML表現。 |

## SimpleSignal implicit Conversion (Signal to SimpleSignal)

SignalからSimpleSignalへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator SimpleSignal (
       Signal signal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       signal As Signal
) As SimpleSignal
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| signal | HBM.DeviceComponents.Signal | 出力。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | SimpleSignal | 変換の結果。 |

## SimpleSignal implicit Conversion (SimpleSignal to Signal)

SimpleSignalからSignalへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator Signal (
       SimpleSignal simpleSignal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       simpleSignal As SimpleSignal
) As Signal
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| simpleSignal | HBM.DeviceComponents.SimpleSignal | 出力。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | Signal | 変換の結果。 |

## SimpleSignal.Number Property

信号数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

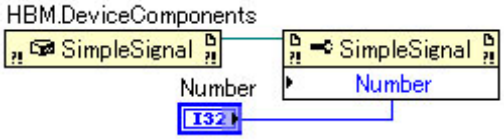
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## SimpleSignal.OriginOfName Property

信号数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public eOriginOfNameTypes OriginOfName { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OriginOfName As eOriginOfNameTypes
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOriginOfNameTypes |

## SimpleSignal.Output Property

出力パラメータ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

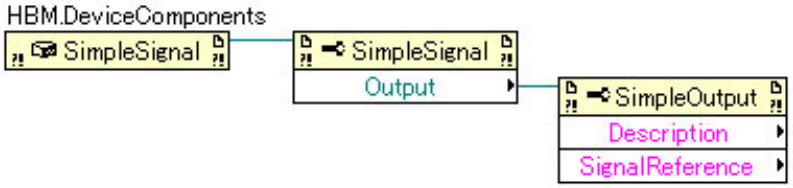
C#

```
public SimpleOutput Output { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Output As SimpleOutput
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SimpleOutput |

## SimpleSignal.SignalName Property

信号名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public String SignalName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# SpecialCounterParameters クラス

**SpecialCounterParameters Class**
カウンタセンサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SpecialCounterParameters : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SpecialCounterParameters
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SpecialCounterParameters

注意

このクラスはすべてのモジュールをサポートしているわけではありません。

## SpecialCounterParameters Members

SpecialCounterParameters型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SpecialCounterParameters() | SpecialCounterParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SpecialCounterParameters(String) | SpecialCounterParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSpecialCounterParametersプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SpecialCounterParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GlitchFilter | グリッチフィルタの値。 |
| IndexShift | インデックスシフト。 |
| InterpolationEnabled | 補間を有効にするかどうかを決定。 |
| Polarity | 入力を反転するかどうかを決定。 |
| Termination | 終端が有効かどうかを決定。 |

## SpecialCounterParameters Constructor

SpecialCounterParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

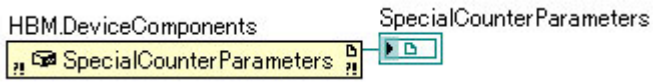
C#

```
public SpecialCounterParameters()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SpecialCounterParameters Constructor(String)

SpecialCounterParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

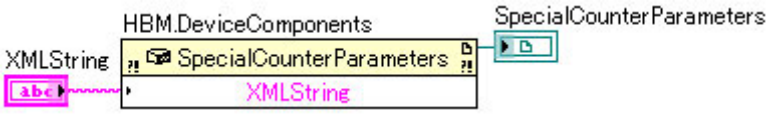
C#

```
public SpecialCounterParameters(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialCounterParameters.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

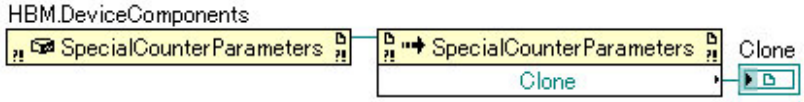
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SpecialCounterParametersオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SpecialCounterParameters.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSpecialCounterParametersプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

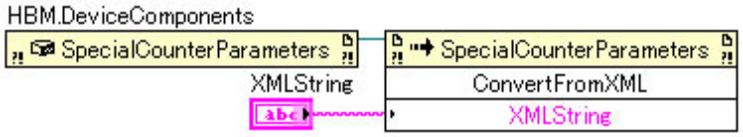
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialCounterParameters.ConvertToXML Method

SpecialCounterParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

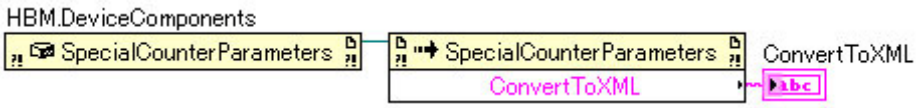
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SpecialCounterParametersプロパティのXML表現。 |

## SpecialCounterParameters.GlitchFilter Property

グリッチフィルタの値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

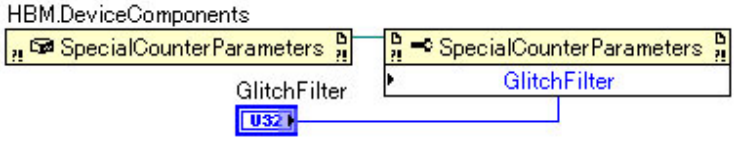
C#

```
public uint GlitchFilter { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property GlitchFilter As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## SpecialCounterParameters.IndexShift Property

インデックスシフト。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

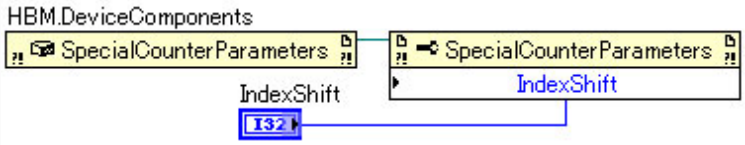
C#

```
public int IndexShift { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IndexShift As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## SpecialCounterParameters.InterpolationEnabled Property

補間を有効にするかどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

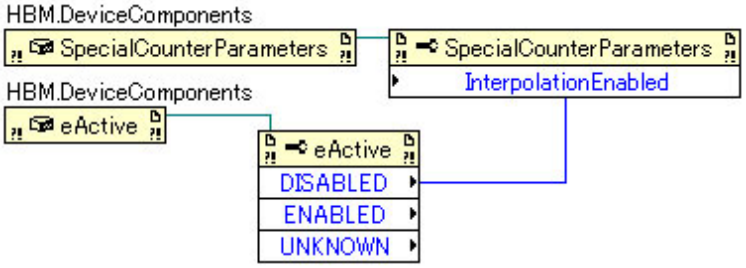
C#

```
public eActive InterpolationEnabled { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property InterpolationEnabled As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## SpecialCounterParameters.Polarity Property

入力を反転するかどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

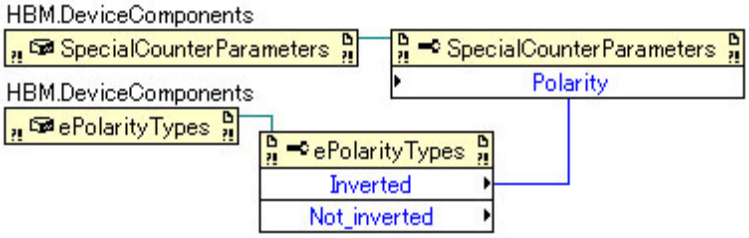
C#

```
public ePolarityTypes Polarity { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Polarity As ePolarityTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePolarityTypes |

## SpecialCounterParameters.Termination Property

終端が有効かどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

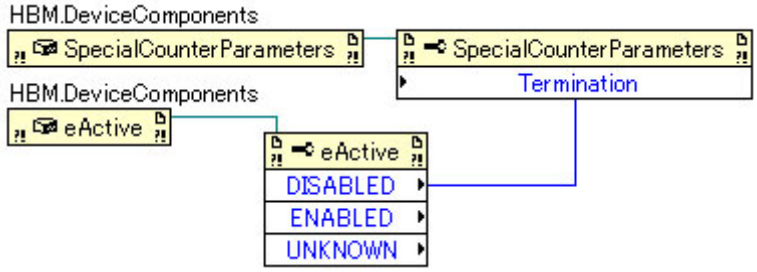
C#

```
public eActive Termination { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Termination As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

# SpecialFrequencyParameters クラス

**SpecialFrequencyParameters Class**
周波数センサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SpecialFrequencyParameters : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SpecialFrequencyParameters
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SpecialFrequencyParameters

注意

このクラスはすべてのモジュールをサポートしているわけではありません。

## SpecialFrequencyParameters Members

SpecialFrequencyParameters型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SpecialFrequencyParameters() | SpecialFrequencyParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SpecialFrequencyParameters(String) | SpecialFrequencyParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSpecialFrequencyParametersプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SpecialFrequencyParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GlitchFilter | グリッチフィルタの値。 |
| Polarity | 入力を反転するかどうかを決定。 |
| Termination | 終端が有効かどうかを決定。 |

## SpecialFrequencyParameters Constructor

SpecialFrequencyParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

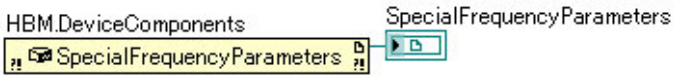
C#

```
public SpecialFrequencyParameters()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SpecialFrequencyParameters Constructor(String)

SpecialFrequencyParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

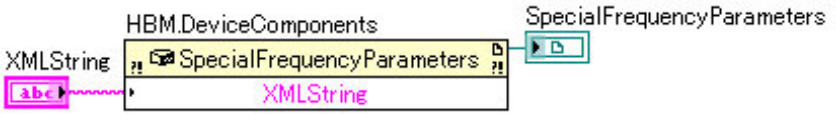
C#

```
public SpecialFrequencyParameters(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialFrequencyParameters.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SpecialFrequencyParametersオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SpecialFrequencyParameters.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSpecialFrequencyParametersプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialFrequencyParameters.ConvertToXML Method

SpecialFrequencyParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

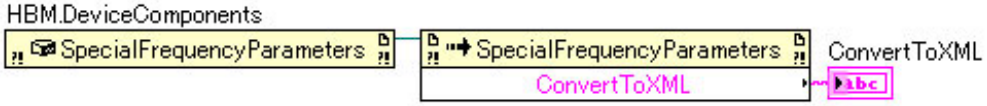
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SpecialFrequencyParametersプロパティのXML表現。 |

## SpecialFrequencyParameters.GlitchFilter Property

グリッチフィルタの値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

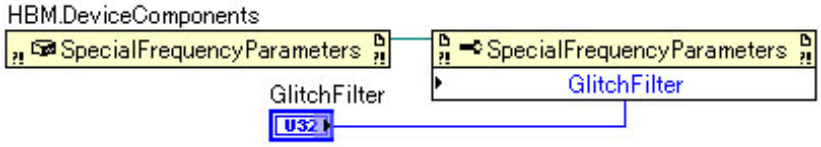
C#

```
public uint GlitchFilter { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property GlitchFilter As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## SpecialFrequencyParameters.Polarity Property

入力を反転するかどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

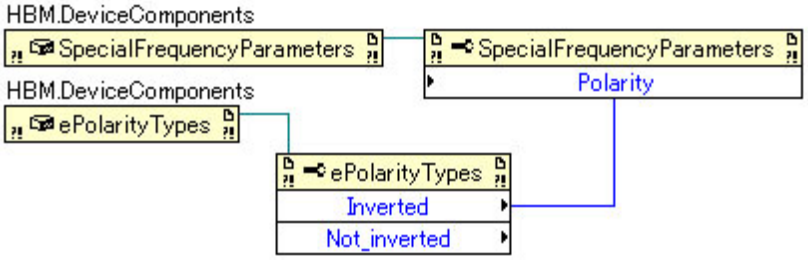
C#

```
public ePolarityTypes Polarity { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Polarity As ePolarityTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePolarityTypes |

## SpecialFrequencyParameters.Termination Property

終端が有効かどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

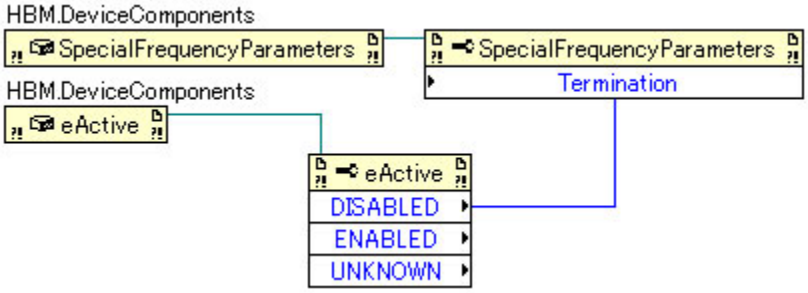
C#

```
public eActive Termination { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Termination As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

# SpecialIndCounterParameters クラス

**SpecialIndCounterParameters Class**
誘電カウンタセンサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SpecialIndCounterParameters : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SpecialIndCounterParameters
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SpecialIndCounterParameters

注意

このクラスはすべてのモジュールをサポートしているわけではありません。

## SpecialIndCounterParameters Members

SpecialIndCounterParameters型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SpecialIndCounterParameters() | SpecialIndCounterParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SpecialIndCounterParameters(String) | SpecialIndCounterParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSpecialIndCounterParametersプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SpecialIndCounterParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GlitchFilter | グリッチフィルタの値。 |
| InterpolationEnabled | 補間を有効にするかどうかを決定。 |

## SpecialIndCounterParameters Constructor

SpecialIndCounterParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

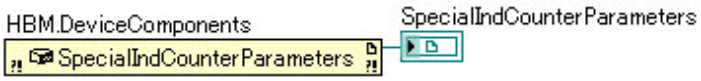
C#

```
public SpecialIndCounterParameters()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SpecialIndCounterParameters Constructor(String)

SpecialIndCounterParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SpecialIndCounterParameters(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialIndCounterParameters.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

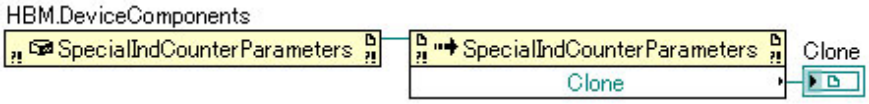
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SpecialIndCounterParametersオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SpecialIndCounterParameters.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSpecialIndCounterParametersプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

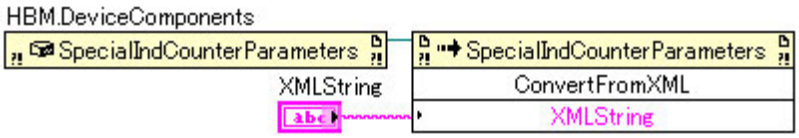
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialIndCounterParameters.ConvertToXML Method

SpecialIndCounterParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

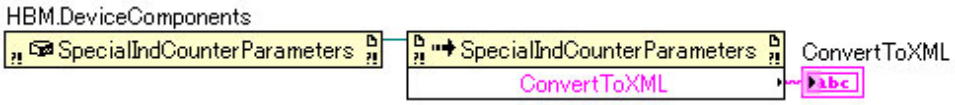
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SpecialIndCounterParametersプロパティのXML表現。 |

## SpecialIndCounterParameters.GlitchFilter Property

グリッチフィルタの値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

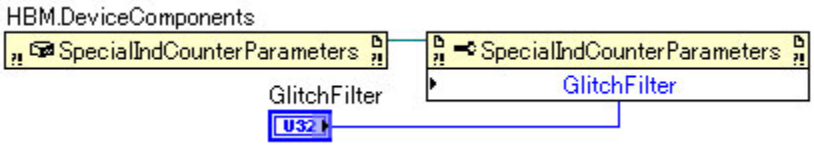
C#

```
public uint GlitchFilter { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property GlitchFilter As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## SpecialIndCounterParameters.InterpolationEnabled Property

補間を有効にするかどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

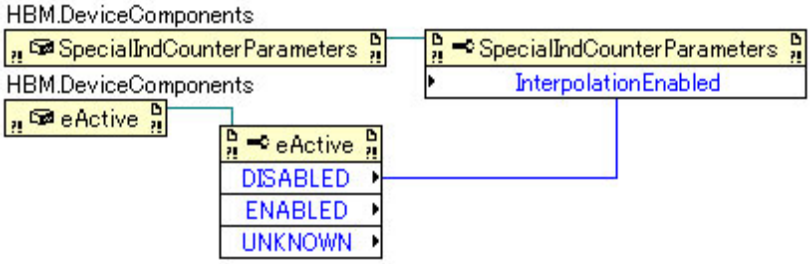
C#

```
public eActive InterpolationEnabled { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property InterpolationEnabled As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

# SpecialIndFrequencyParameters クラス

**SpecialIndFrequencyParameters Class**
誘電周波数センサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SpecialIndFrequencyParameters : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SpecialIndFrequencyParameters
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SpecialIndFrequencyParameters

注意

このクラスはすべてのモジュールをサポートしているわけではありません。

## SpecialIndFrequencyParameters Members

SpecialIndFrequencyParameters型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SpecialIndFrequencyParameters() | SpecialIndFrequencyParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SpecialIndFrequencyParameters(String) | SpecialIndFrequencyParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSpecialIndFrequencyParametersプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SpecialIndFrequencyParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GlitchFilter | グリッチフィルタの値。 |

## SpecialIndFrequencyParameters Constructor

SpecialIndFrequencyParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

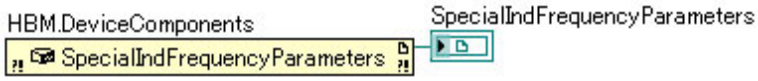
C#

```
public SpecialIndFrequencyParameters()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SpecialIndFrequencyParameters Constructor(String)

SpecialIndFrequencyParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

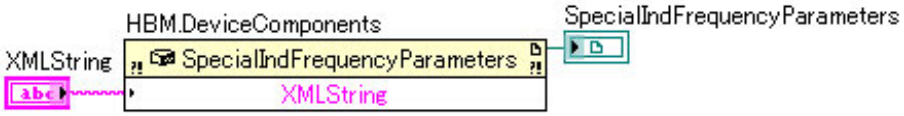
C#

```
public SpecialIndFrequencyParameters(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialIndFrequencyParameters.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SpecialIndFrequencyParametersオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SpecialIndFrequencyParameters.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSpecialIndFrequencyParametersプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

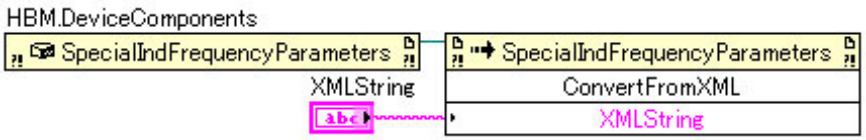
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialIndFrequencyParameters.ConvertToXML Method

SpecialIndFrequencyParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

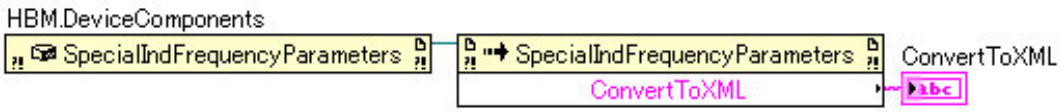
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SpecialIndFrequencyParametersプロパティのXML表現。 |

## SpecialIndFrequencyParameters.GlitchFilter Property

グリッチフィルタの値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

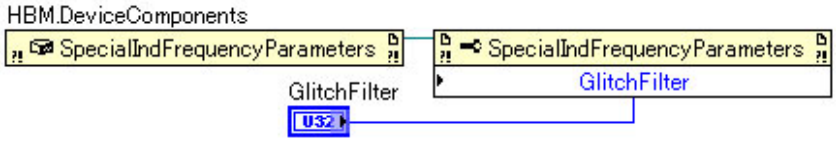
C#

```
public uint GlitchFilter { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property GlitchFilter As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

# SpecialPwmParametersクラス

**SpecialPwmParameters Class**
PWMセンサのスペシャルパラメータを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SpecialPwmParameters : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SpecialPwmParameters
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SpecialPwmParameters

注意

このクラスはすべてのモジュールをサポートしているわけではありません。

## SpecialPwmParameters Members

SpecialPwmParameters型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SpecialPwmParameters() | SpecialPwmParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SpecialPwmParameters(String) | SpecialPwmParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSpecialPwmParametersプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SpecialPwmParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GlitchFilter | グリッチフィルタの値。 |
| Polarity | 入力を反転するかどうかを決定。 |
| Termination | 終端が有効かどうかを決定。 |

## SpecialPwmParameters Constructor

SpecialPwmParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SpecialPwmParameters()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## SpecialPwmParameters Constructor(String)

SpecialPwmParametersクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SpecialPwmParameters(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialPwmParameters.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

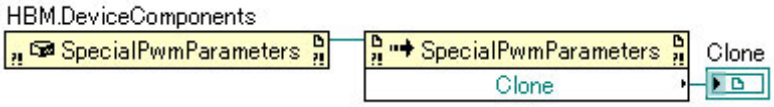
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SpecialPwmParametersオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SpecialPwmParameters.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSpecialPwmParametersプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

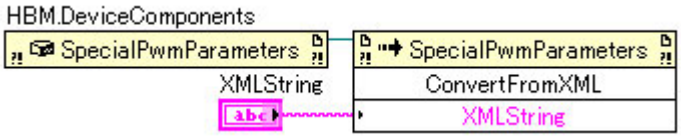
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SpecialPwmParameters.ConvertToXML Method

SpecialPwmParametersプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SpecialPwmParametersプロパティのXML表現。 |

## SpecialPwmParameters.GlitchFilter Property

グリッチフィルタの値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

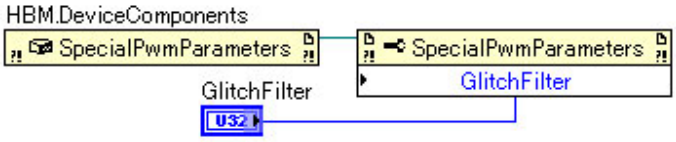
C#

```
public uint GlitchFilter { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property GlitchFilter As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## SpecialPwmParameters.Polarity Property

入力を反転するかどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

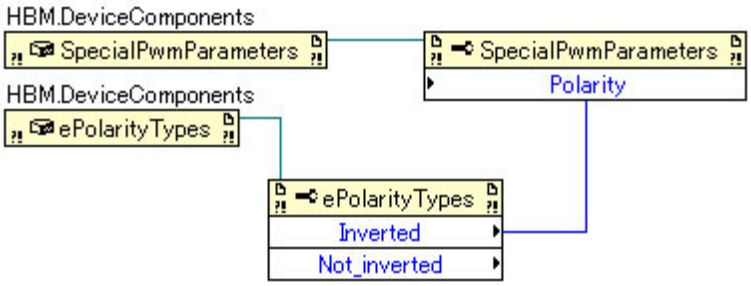
C#

```
public ePolarityTypes Polarity { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Polarity As ePolarityTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePolarityTypes |

## SpecialPwmParameters.Termination Property

終端が有効かどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

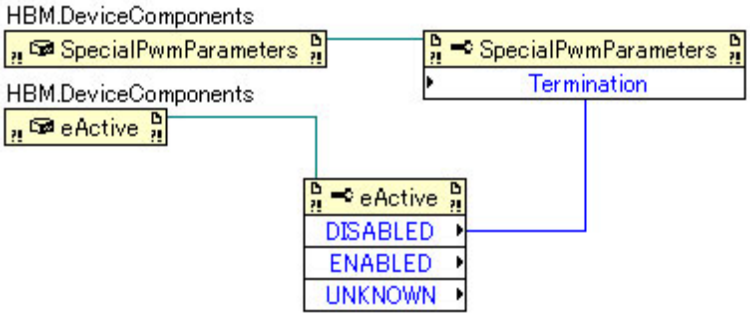
C#

```
public eActive Termination { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Termination As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

# SSIクラス

**SSI Class**
SSIセンサを記述する記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SSI : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SSI
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SSI

## SSI Members

SSI型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SSI() | SSIクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SSI(String) | SSIクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSSIプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SSIプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| SSIClockFreq | SSIセンサのクロック周波数。 |
| SSICoding | コーディングタイプ。 |
| SSIResolution | センサの分解能。 |

## SSI Constructor

SSIクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SSI()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## SSI Constructor(String)

SSIクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SSI(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SSI.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

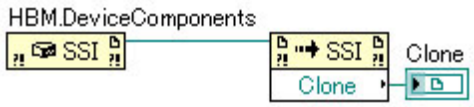
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SSIオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SSI.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSSIプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SSI.ConvertToXML Method

SSIプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

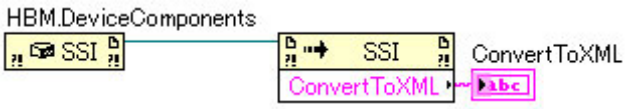
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SSIプロパティのXML表現。 |

## SSI.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

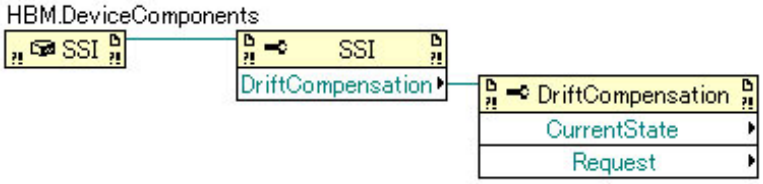
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## SSI.SSIClockFreq Property

SSIセンサのクロック周波数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

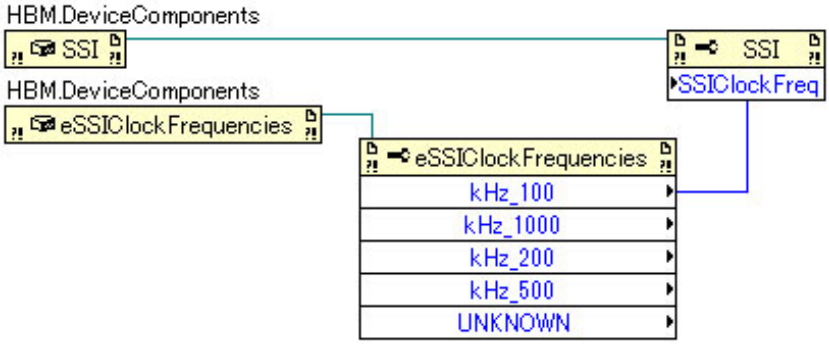
C#

```
public eSSIClockFrequencies SSIClockFreq { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SSIClockFreq As eSSIClockFrequencies
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSSIClockFrequencies |

## SSI.SSICoding Property

コーディングタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

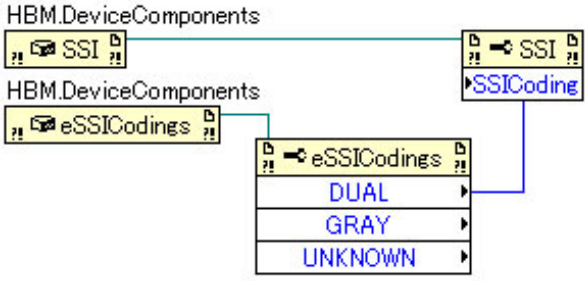
C#

```
public eSSICodings SSICoding { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SSICoding As eSSICodings
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSSICodings |

## SSI.SSIResolution Property

センサの分解能。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

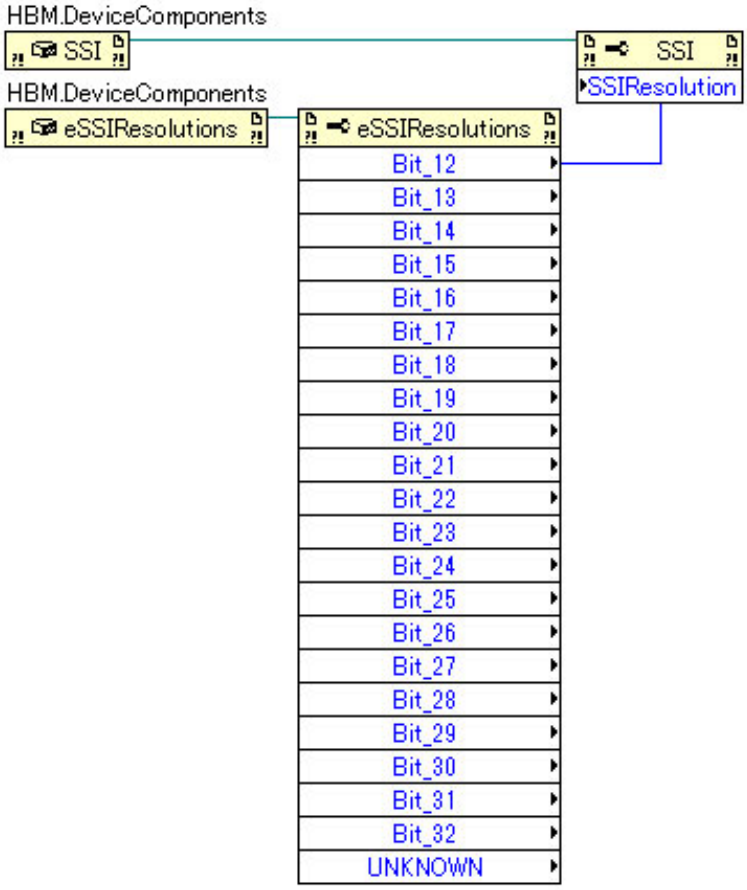
C#

```
public eSSIResolutions SSIResolution { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SSIResolution As eSSIResolutions
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSSIResolutions |

# Straingageクラス

**Straingage Class**
ストレインゲージのスケーリングタイプです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Straingage : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Straingage
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Straingage

## Straingage Members

Straingage型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Straingage() | Straingageクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Straingage(String) | Straingageクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをStraingageプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | StraingageプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| BridgeFactor | ブリッジファクタ。 |
| KFactor | Kファクタ。 |

## Straingage Constructor

Straingageクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Straingage()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Straingage Constructor(String)

Straingageクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public Straingage(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Straingage.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

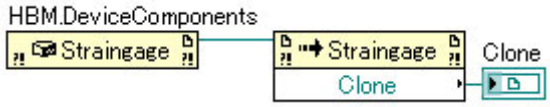
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Straingageオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Straingage.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをStraingageプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Straingage.ConvertToXML Method

StraingageプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | StraingageプロパティのXML表現。 |

## Straingage.BridgeFactor Property

ブリッジファクタ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

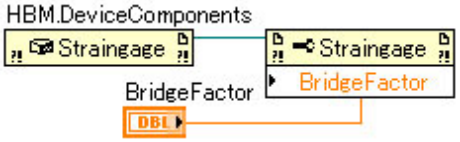
C#

```
public double BridgeFactor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property BridgeFactor As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## Straingage.KFactor Property

Kファクタ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

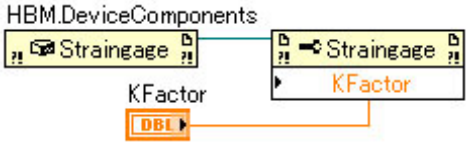
C#

```
public double KFactor { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property KFactor As Double
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

# SyncSignalクラス

**SyncSignal Class**
同期信号の設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class SyncSignal : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SyncSignal
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SyncSignal

## SyncSignal Members

SyncSignal型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SyncSignal() | SyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SyncSignal(Int32) | SyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SyncSignal(String) | SyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSyncSignalプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SyncSignalプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Decimals | 小数点以下の桁数(0..8)。 |
| FilterType | フィルタタイプ。 |
| Number | 信号数。 |
| OriginOfName | 信号名のタイプ。 |
| Output | 同期信号の出力パラメータ。 |
| OutputRate | 出力レート。 |
| SignalFormat | 信号の形式。 |
| SignalName | 信号名。 |

## SyncSignal Constructor

SyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

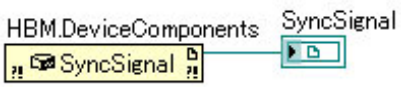
C#

```
public SyncSignal()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SyncSignal Constructor(Int32)

SyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public SyncSignal(
       int Number
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       Number As Integer
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Number | System.Int32 | 信号番号。 |

## SyncSignal Constructor(String)

SyncSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

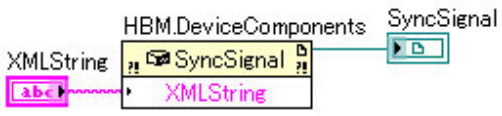
C#

```
public SyncSignal(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SyncSignal.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

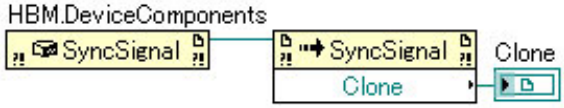
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SyncSignalオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SyncSignal.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSyncSignalプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SyncSignal.ConvertToXML Method

SyncSignalプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

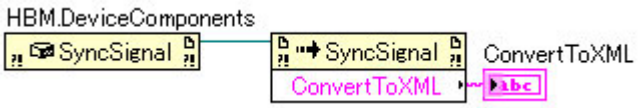
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SyncSignalプロパティのXML表現。 |

## SyncSignal.Decimals Property

小数点以下の桁数(0..8)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

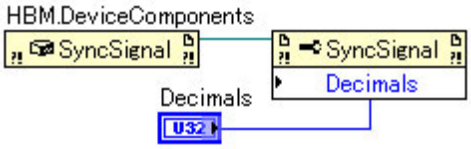
C#

```
public uint Decimals { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Decimals As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## SyncSignal.FilterType Property

フィルタタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

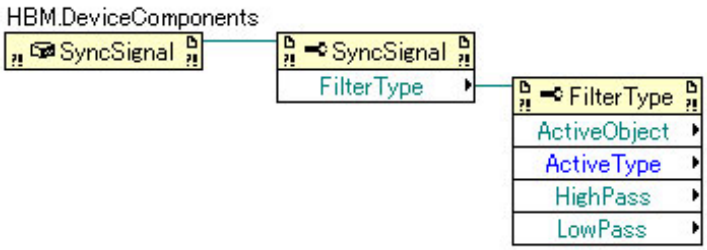
C#

```
public FilterType FilterType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property FilterType As FilterType
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: FilterType |

## SyncSignal.Number Property

信号数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

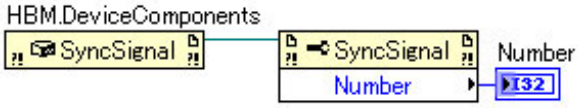
C#

```
public int Number { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Number As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## SyncSignal.OriginOfName Property

信号名のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

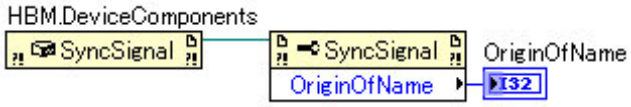
C#

```
public eOriginOfNameTypes OriginOfName { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OriginOfName As eOriginOfNameTypes
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eOriginOfNameTypes |

## SyncSignal.Output Property

同期信号の出力パラメータ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

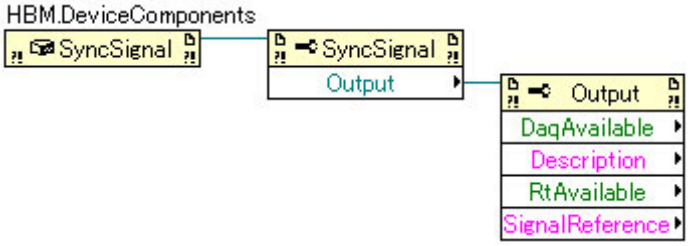
C#

```
public Output Output { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Output As Output
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Output |

## SyncSignal.OutputRate Property

出力レート。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

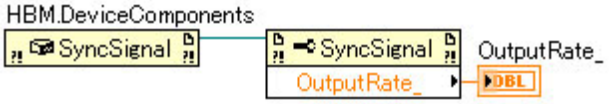
C#

```
public Nullable<double> OutputRate { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property OutputRate As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## SyncSignal.SignalFormat Property

信号の形式。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

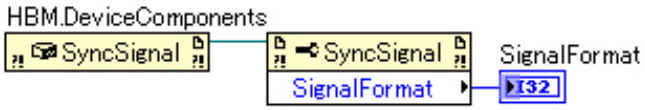
C#

```
public eSignalFormats SignalFormat { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalFormat As eSignalFormats
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eSignalFormats |

## SyncSignal.SignalName Property

信号名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

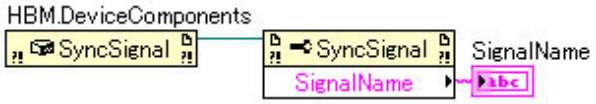
C#

```
public string SignalName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SignalName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# SystemViewクラス

**SystemView Class**
デバイスのシステム設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class SystemView : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class SystemView
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.SystemView

## SystemView Members

SystemView型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SystemView() | SystemViewクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SystemView(String) | SystemViewクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをSystemViewプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | SystemViewプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AnalogInputComponents | AnalogInコレクションクラスに関する情報。 |
| AnalogOutputComponents | AnalogOutコレクションクラスに関する情報。 |
| CanComponents | CANコントローラに関する情報。 |
| DataRateDomain | DataRateDomainの設定。 |
| Extension | モジュールタイプの補足。 |
| Housing | 筐体およびコネクタタイプに関する情報。 |
| ModuleFamily | モジュールのファミリー。 |
| ModuleID | モジュールのハードウェアID。 |
| ModuleLabel | モジュールのラベル。 |
| ModuleName | ユーザ定義したモジュール名。 |
| ModuleType | モジュールタイプ。 |
| Platform | プラットフォームに関する情報。 |
| Revision | モジュールのレビジョン。 |
| Selection | 選択したモジュールタイプ。 |
| SpecialFw | ファームウェアのスペシャルバージョン。 |
| SpecialVersion | モジュールのスペシャルバージョン。 |
| SyncStatus | 単独、マスタ、スレーブなどの同期状態。 |
| TimeSource | 同期のタイムソース。 |

## SystemView Constructor

SystemViewクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public SystemView()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## SystemView Constructor(String)

SystemViewクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public SystemView(
       string xml
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       xml As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| xml | System.String | XML。 |

## SystemView.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

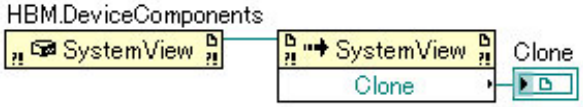
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | SystemViewオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## SystemView.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをSystemViewプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## SystemView.ConvertToXML Method

SystemViewプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

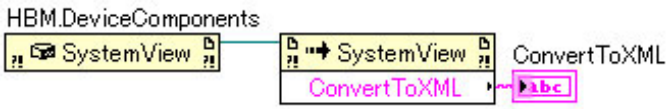
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | SystemViewプロパティのXML表現。 |

## SystemView.AnalogInputComponents Property

AnalogInコレクションクラスに関する情報。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

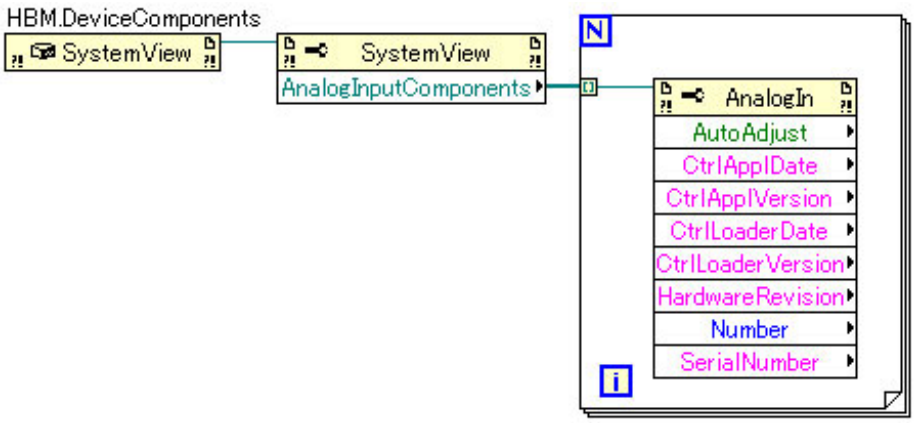
C#

```
public AnalogIn[] AnalogInputComponents { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AnalogInputComponents As AnalogIn()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AnalogIn[] |

## SystemView.AnalogOutputComponents Property

AnalogOutコレクションクラスに関する情報。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

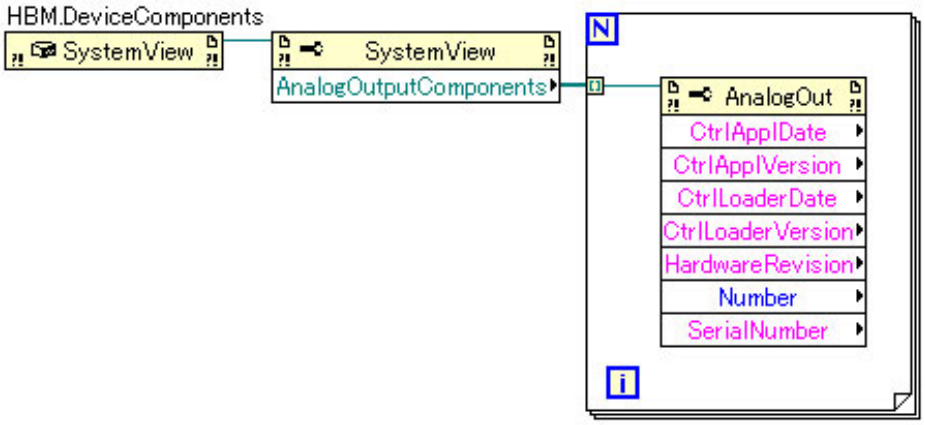
C#

```
public AnalogOut[] AnalogOutputComponents { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AnalogOutputComponents As AnalogOut()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AnalogOut[] |

## SystemView.CanComponents Property

CANコントローラに関する情報。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

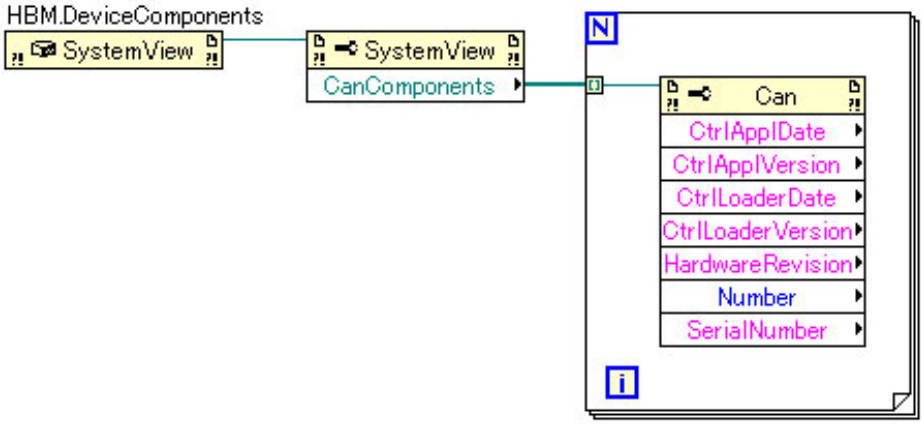
C#

```
public Can[] CanComponents { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanComponents As Can()
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Can[] |

## SystemView.DataRateDomain Property

DataRateDomainの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

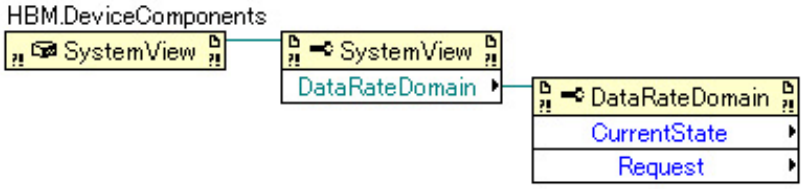
C#

```
public DataRateDomain DataRateDomain { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property CanComponents As DataRateDomain
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DataRateDomain |

## SystemView.Extension Property

モジュールタイプの補足。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

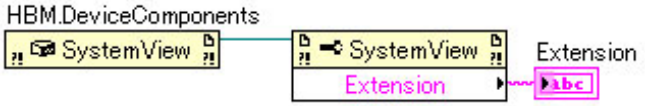
C#

```
public string Extension { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Extension As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.Housing Property

筐体およびコネクタタイプに関する情報。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

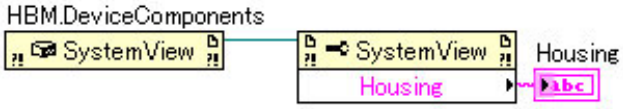
C#

```
public string Housing { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Housing As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.ModuleFamily Property

モジュールのファミリー。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

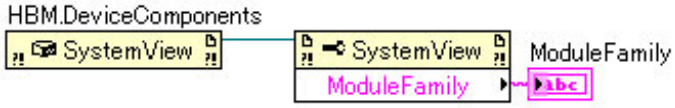
C#

```
public string ModuleFamily { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModuleFamily As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.ModuleID Property

モジュールのハードウェアID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

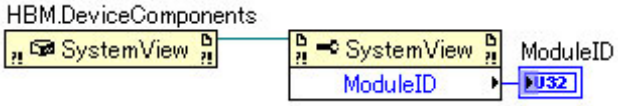
C#

```
public uint ModuleID { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModuleID As UInteger
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## SystemView.ModuleLabel Property

モジュールのラベル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

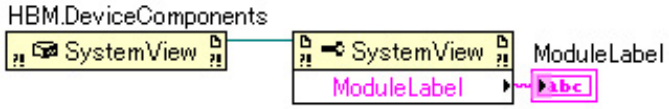
C#

```
public string ModuleLabel { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModuleLabel As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.ModuleName Property

ユーザ定義したモジュール名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

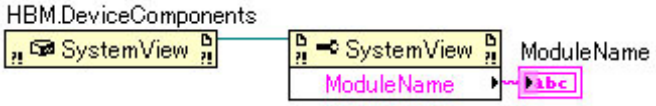
C#

```
public string ModuleName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModuleName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.ModuleType Property

モジュールタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

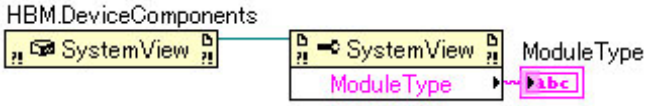
C#

```
public string ModuleType { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ModuleType As String
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.Platform Property

プラットフォームに関する情報。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

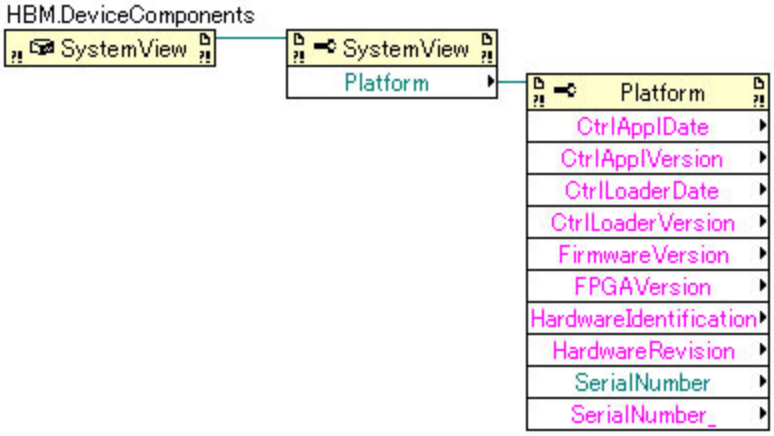
C#

```
public Platform Platform { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Platform As Platform
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Platform |

## SystemView.Revision Property

モジュールのレビジョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

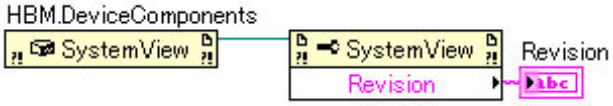
C#

```
public string Revision { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Revision As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.Selection Property

選択したモジュールタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

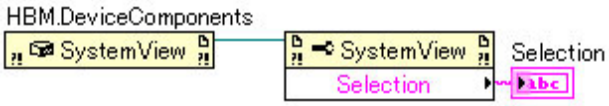
C#

```
public string Selection { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Selection As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.SpecialFw Property

ファームウェアのスペシャルバージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

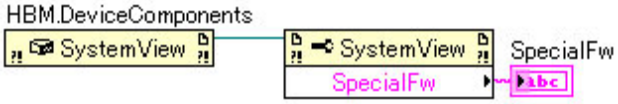
C#

```
public string SpecialFw { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialFw As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.SpecialVersion Property

モジュールのスペシャルバージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

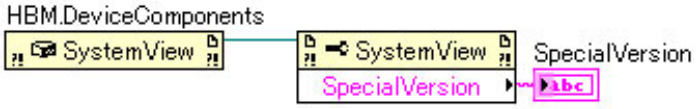
C#

```
public string SpecialVersion { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SpecialVersion As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.SyncStatus Property

単独、マスタ、スレーブなどの同期状態。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

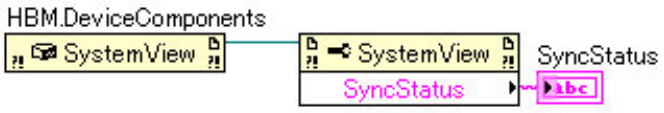
C#

```
public string SyncStatus { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SyncStatus As String
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SystemView.TimeSource Property

同期のタイムソース。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

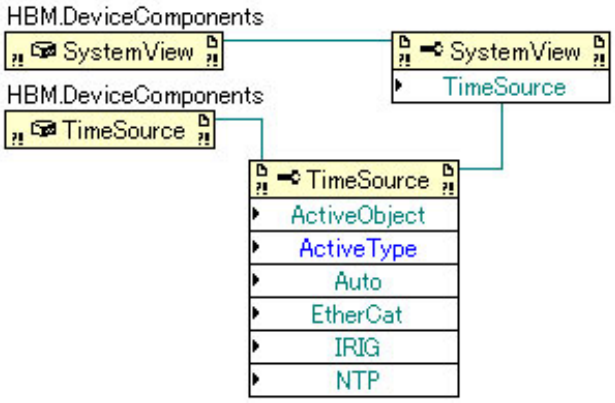
C#

```
public TimeSource TimeSource { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property TimeSource As TimeSource
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: TimeSource |

# TedsOptionsクラス

**TedsOptions Class**
TEDSの設定を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class TedsOptions : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class TedsOptions
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.TedsOptions

## TedsOptions Members

TedsOptions型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| TedsOptions() | TedsOptionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| TedsOptions(String) | TedsOptionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをTedsOptionsプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | TedsOptionsプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| BinaryData | TEDSのバイナリデータ。 |
| TedsUsage | 使用するTEDSタイプに関する情報。 |

## TedsOptions Constructor

TedsOptionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

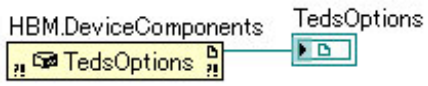
C#

```
public TedsOptions()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## TedsOptions Constructor(String)

TedsOptionsクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

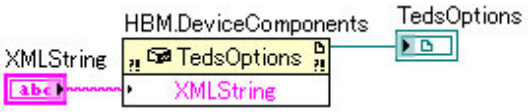
C#

```
public TedsOptions(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## TedsOptions.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | TedsOptionsオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## TedsOptions.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをTedsOptionsプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

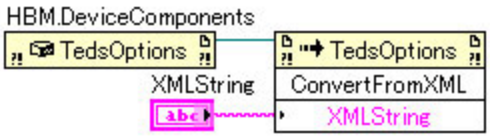
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## TedsOptions.ConvertToXML Method

TedsOptionsプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

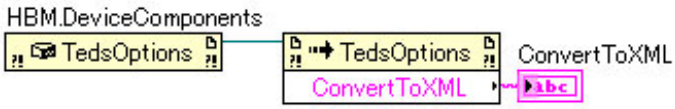
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | TedsOptionsプロパティのXML表現。 |

## TedsOptions.BinaryData Property

TEDSのバイナリデータ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public string BinaryData { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property BinaryData As String
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## TedsOptions.TedsUsage Property

使用するTEDSタイプに関する情報。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

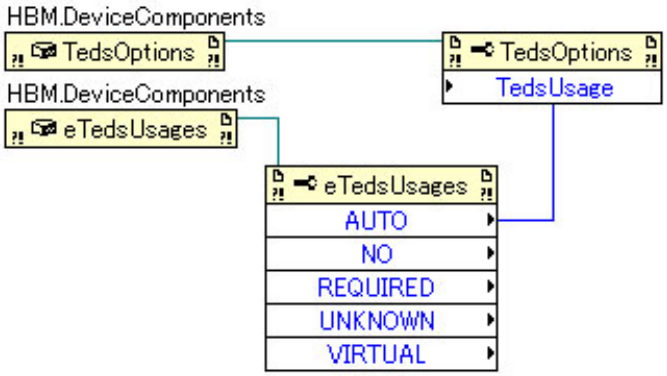
C#

```
public eTedsUsages TedsUsage { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property TedsUsage As eTedsUsages
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eTedsUsages |

# TestSignalクラス

**TestSignal Class**
テスト信号の選択を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class TestSignal : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class TestSignal
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.TestSignal

## TestSignal Members

TestSignal型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| TestSignal() | TestSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| TestSignal(String) | TestSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをTestSignalプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | TestSignalプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Active | テスト信号が有効かどうかを判定。 |
| ActiveObject | Activeなオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | テスト信号をどのモードで使用するかを定義。 |
| Constant | テスト信号の定数を設定。 |
| Periodic | テスト信号の周期を設定。 |

## TestSignal Constructor

TestSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

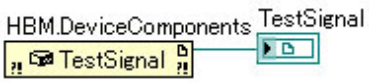
C#

```
public TestSignal()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## TestSignal Constructor(String)

TestSignalクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

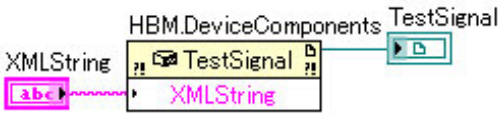
C#

```
public TestSignal(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## TestSignal.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

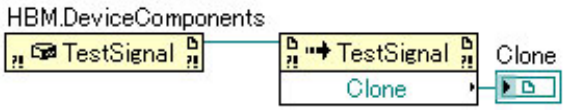
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | TestSignalオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## TestSignal.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをTestSignalプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

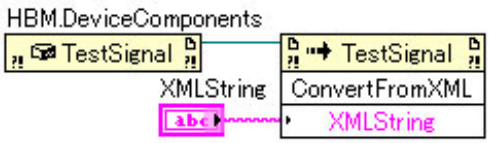
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## TestSignal.ConvertToXML Method

TestSignalプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

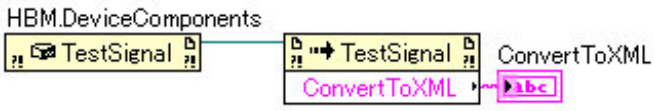
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | TestSignalプロパティのXML表現。 |

## TestSignal.Active Property

テスト信号が有効かどうかを判定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

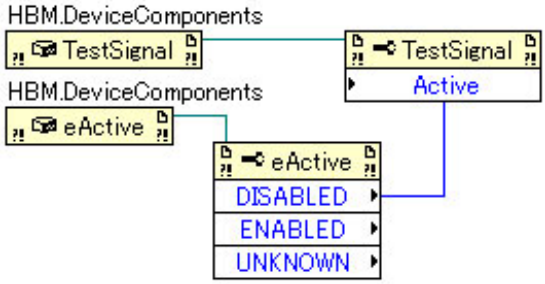
C#

```
public eActive Active { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Active As eActive
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eActive |

## TestSignal.ActiveObject Property

Activeなオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

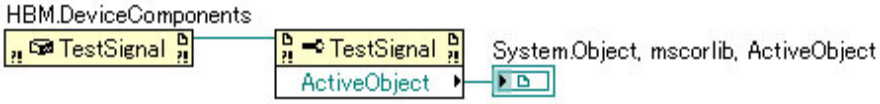
C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## TestSignal.ActiveType Property

テスト信号をどのモードで使用するかを定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

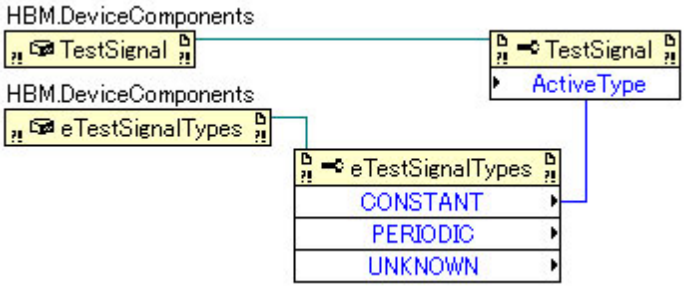
C#

```
public eTestSignalTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eTestSignalTypes
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eTestSignalTypes |

## TestSignal.Constant Property

テスト信号の定数を設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

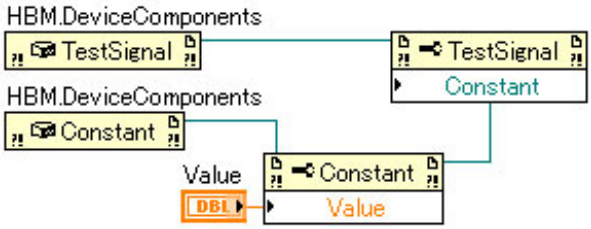
C#

```
public Constant Constant { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Constant As Constant
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Constant |

## TestSignal.Periodic Property

テスト信号の周期を設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

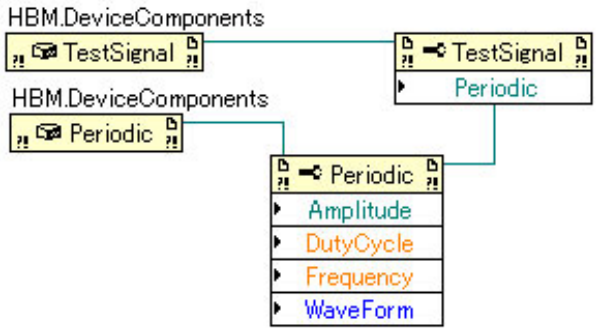
C#

```
public Periodic Periodic { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Periodic As Periodic
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Periodic |

# ThermoCoupleクラス

**ThermoCouple Class**
熱電対を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class ThermoCouple : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class ThermoCouple
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ThermoCouple

## ThermoCouple Members

ThermoCouple型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ThermoCouple() | ThermoCoupleクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ThermoCouple(String) | ThermoCoupleクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをThermoCoupleプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ThermoCoupleプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| Resistance | センサの抵抗。 |
| ThermoCoupleType | 熱電対のタイプ。 |

## ThermoCouple Constructor

ThermoCoupleクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

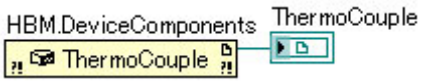
C#

```
public ThermoCouple()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ThermoCouple Constructor(String)

ThermoCoupleクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public ThermoCouple(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ThermoCouple.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

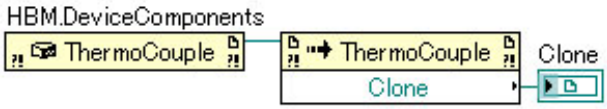
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | ThermoCoupleオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## ThermoCouple.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをThermoCoupleプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ThermoCouple.ConvertToXML Method

ThermoCoupleプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ThermoCoupleプロパティのXML表現。 |

## ThermoCouple.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

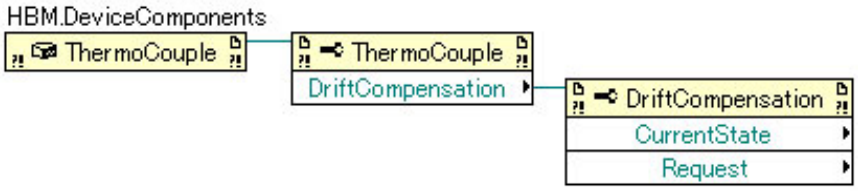
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## ThermoCouple.Resistance Property

センサの抵抗。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

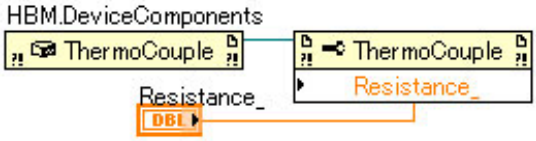
C#

```
public Nullable<double> Resistance { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Resistance As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## ThermoCouple.ThermoCoupleType Property

熱電対のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

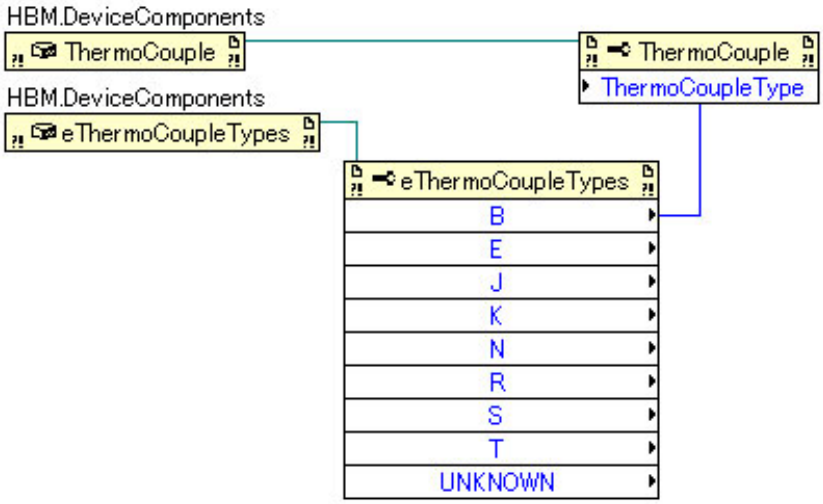
C#

```
public eThermoCoupleTypes ThermoCoupleType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ThermoCoupleType As eThermoCoupleTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eThermoCoupleTypes |

# TimeSourceクラス

**TimeSource Class**
同期のためのタイムソースに関する情報です。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class TimeSource : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class TimeSource
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.TimeSource

## TimeSource Members

TimeSource型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| TimeSource() | TimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| TimeSource(String) | TimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをTimeSourceプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | TimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActiveObject | ActiveTypeのタイムソースオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。 |
| ActiveType | 使用するタイムソースタイプを決定。 |
| Auto | AutoTimeSource設定。 |
| EtherCat | EtherCatTimeSource設定。 |
| IRIG | IrigTimeSource設定。 |
| NTP | NtpTimeSource 設定。 |
| PTP | PtpTimeSource 設定。 |

## TimeSource Constructor

TimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

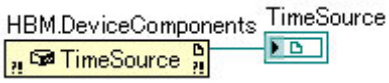
C#

```
public TimeSource()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## TimeSource Constructor(String)

TimeSourceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

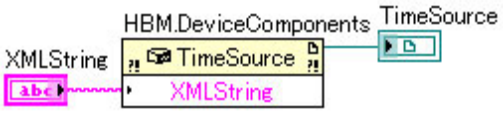
C#

```
public TimeSource(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## TimeSource.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

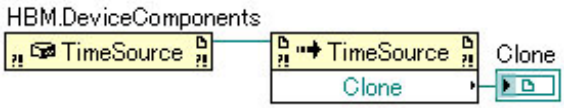
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | TimeSourceオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## TimeSource.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをTimeSourceプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## TimeSource.ConvertToXML Method

TimeSourceプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

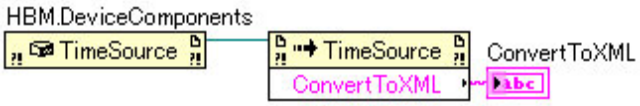
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | TimeSourceプロパティのXML表現。 |

## TimeSource.ActiveObject Property

ActiveTypeのタイムソースオブジェクトへの参照(プロパティグリッドでレンダリングをサポートするために使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public Object ActiveObject { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveObject As Object
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Object |

## TimeSource.ActiveType Property

使用するタイムソースタイプを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

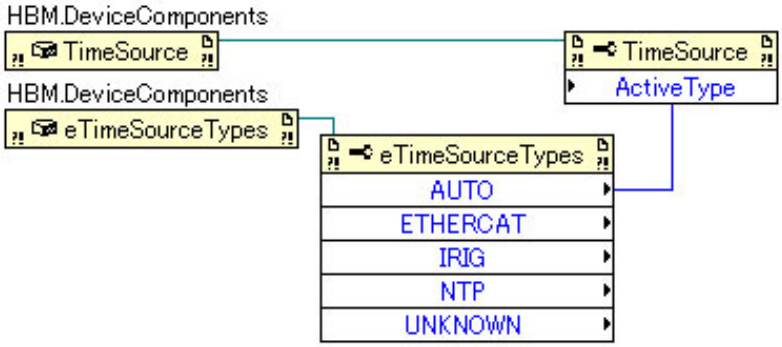
C#

```
public eTimeSourceTypes ActiveType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ActiveType As eTimeSourceTypes
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eTimeSourceTypes |

## TimeSource.Auto Property

AutoTimeSource設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public AutoTimeSource Auto { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Auto As AutoTimeSource
        Get
        Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: AutoTimeSource |

## TimeSource.EtherCat Property

EtherCatTimeSource設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

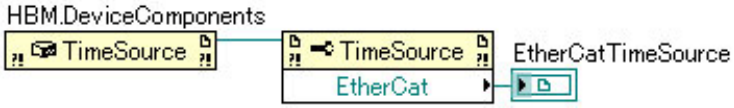
C#

```
public EtherCatTimeSource EtherCat { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property EtherCat As EtherCatTimeSource
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: EtherCatTimeSource |

## TimeSource.IRIG Property

IrigTimeSource設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

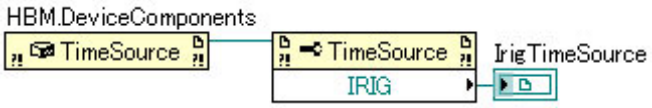
C#

```
public IrigTimeSource IRIG { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IRIG As IrigTimeSource
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: IrigTimeSource |

## TimeSource.NTP Property

NtpTimeSource 設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

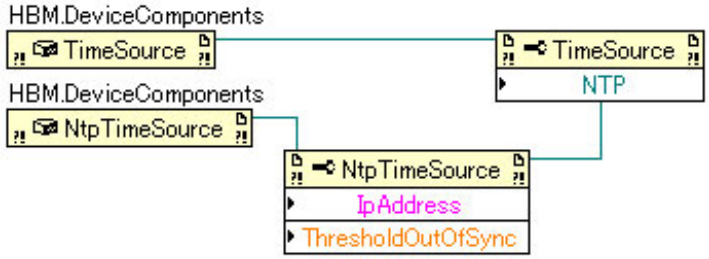
C#

```
public NtpTimeSource NTP { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property NTP As NtpTimeSource
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: NtpTimeSource |

## TimeSource.PTP Property

PtpTimeSource 設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

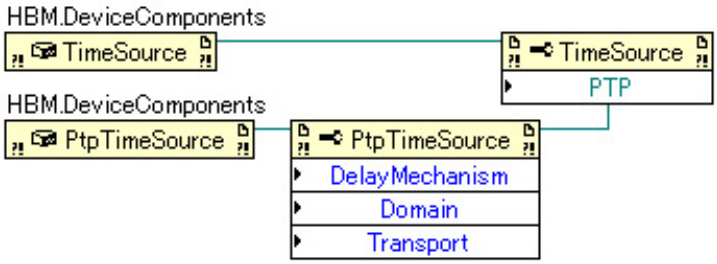
C#

```
public PtpTimeSource PTP { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PTP As PtpTimeSource
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: PtpTimeSource |

# Voltageクラス

**Voltage Class**
電圧センサを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class Voltage : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class Voltage
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.Voltage

## Voltage Members

Voltage型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Voltage() | Voltageクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Voltage(String) | Voltageクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをVoltageプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | VoltageプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DriftCompensation | センサ/チャネルのドリフト補償設定。 |
| MaxElectrical | センサの最大値。 |

## Voltage Constructor

Voltageクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public Voltage()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## Voltage Constructor(String)

Voltageクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public Voltage(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Voltage.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

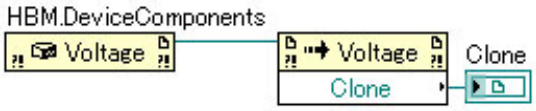
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | Voltageオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## Voltage.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをVoltageプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## Voltage.ConvertToXML Method

VoltageプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

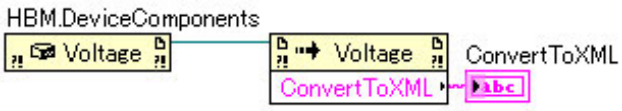
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | VoltageプロパティのXML表現。 |

## Voltage.DriftCompensation Property

センサ/チャネルのドリフト補償設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

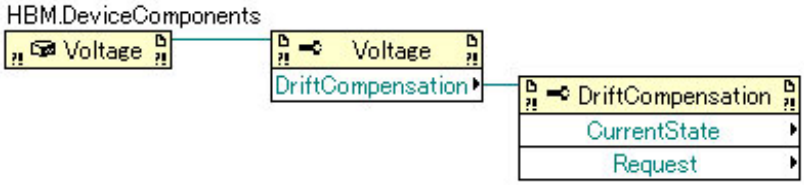
C#

```
public DriftCompensation DriftCompensation { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property DriftCompensation As DriftCompensation
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DriftCompensation |

## Voltage.MaxElectrical Property

センサの最大値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

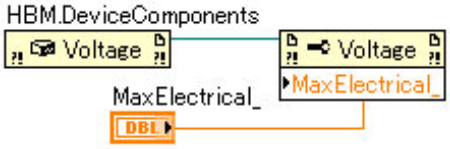
C#

```
public Nullable<double> MaxElectrical { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MaxElectrical As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# ZeroOffsetクラス

**ZeroOffset Class**
計測値のゼロオフセットを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class ZeroOffset : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class ZeroOffset
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ZeroOffset

## ZeroOffset Members

ZeroOffset型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ZeroOffset() | ZeroOffsetクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ZeroOffset(String) | ZeroOffsetクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをZeroOffsetプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ZeroOffsetプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Inhibit | 値のゼロ化を禁止するかどうかの設定または取得。 |
| Offset | オフセット(計測値から差し引いた値)。 |
| Target | ターゲット(ゼロ化後に置き換える値)。 |

## ZeroOffset Constructor

ZeroOffsetクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

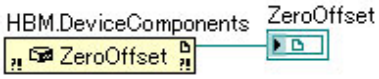
C#

```
public ZeroOffset()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ZeroOffset Constructor(String)

ZeroOffsetクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

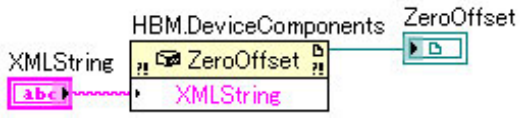
C#

```
public ZeroOffset(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ZeroOffset.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | ZeroOffsetオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## ZeroOffset.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをZeroOffsetプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

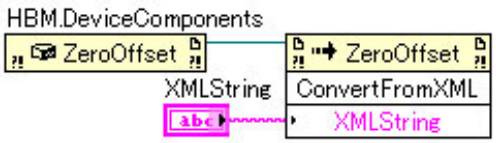
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ZeroOffset.ConvertToXML Method

ZeroOffsetプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

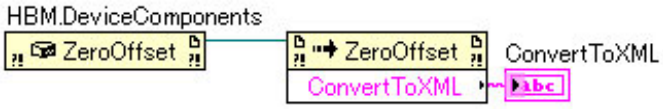
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ZeroOffsetプロパティのXML表現。 |

## ZeroOffset.Inhibit Property

値のゼロ化を禁止するかどうかの設定または取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

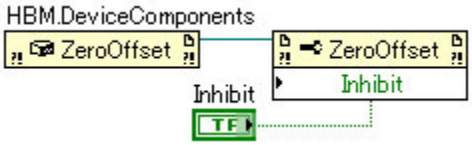
C#

```
public bool Inhibit { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Inhibit As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean |

## ZeroOffset.Offset Property

オフセット(計測値から差し引いた値)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

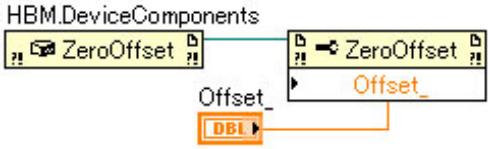
C#

```
public Nullable<double> Offset { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Offset As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## ZeroOffset.Target Property

ターゲット(ゼロ化後に置き換える値)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

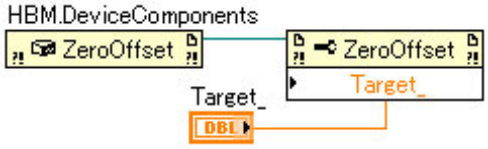
C#

```
public Nullable<double> Target { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Target As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# ZeroSpanクラス

**ZeroSpan Class**
計測値のスケーリングタイプです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#
```
public class ZeroSpan : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class ZeroSpan
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.DeviceComponents.ZeroSpan

## ZeroSpan Members

ZeroSpan型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ZeroSpan() | ZeroSpanクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ZeroSpan(String) | ZeroSpanクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ZeroSpan(,Nullable(Double), Nullable(Double), Nullable(Double)) | ZeroSpanクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをZeroSpanプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | ZeroSpanプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ElectricalSpan | 電気的範囲(感度)。 |
| ElectricalZero | 電気的0値。 |
| PhysicalSpan | 物理的(計測)範囲。 |

## ZeroSpan Constructor

ZeroSpanクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

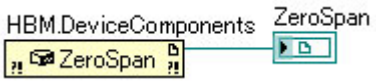
C#

```
public ZeroSpan()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ZeroSpan Constructor(String)

ZeroOffsetクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public ZeroSpan(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ZeroSpan Constructor(Nullable(Double), Nullable(Double), Nullable(Double))

ZeroOffsetクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

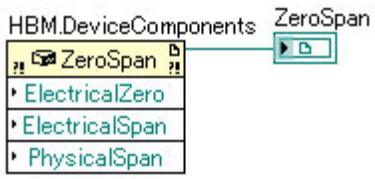
C#

```
public ZeroSpan(
       Nullable<double> ElectricalZero,
       Nullable<double> ElectricalSpan,
       Nullable<double> PhysicalSpan
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       ElectricalZero As Nullable(Of Double),
       ElectricalSpan As Nullable(Of Double),
       PhysicalSpan As Nullable(Of Double)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ElectricalZero | System.Nullable(Double) | 電気的0値。 |
| ElectricalSpan | System.Nullable(Double) | 電気的範囲(感度)。 |
| PhysicalSpan | System.Nullable(Double) | 物理的(計測)範囲。 |

## ZeroSpan.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | ZeroSpanオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## ZeroSpan.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをZeroSpanプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## ZeroSpan.ConvertToXML Method

ZeroSpanプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

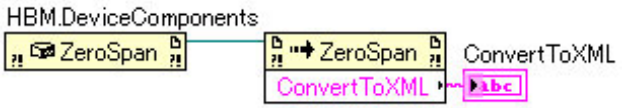
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function  ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | ZeroSpanプロパティのXML表現。 |

## ZeroSpan.ElectricalSpan Property

電気的範囲(感度)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

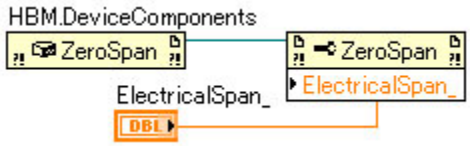
C#

```
public Nullable<double> ElectricalSpan { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ElectricalSpan As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## ZeroSpan.ElectricalZero Property

電気的0値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

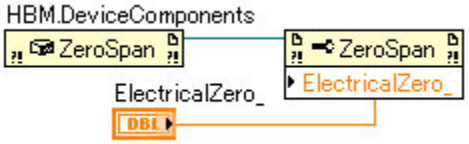
C#

```
public Nullable<double> ElectricalZero { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ElectricalZero As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

## ZeroSpan.PhysicalSpan Property

物理的(計測)範囲。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

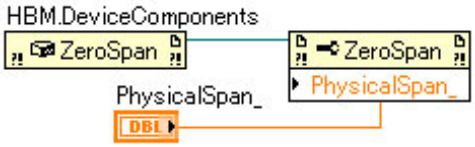
C#

```
public Nullable<double> PhysicalSpan { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PhysicalSpan As Nullable(Of Double)
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Nullable(Double) |

# HBM.DeviceComponents.Delegate

**MeasureElectricalValueHelper.MeasureValueDelegate Delegate**
MeasureValueFunctionコールバックで使用されるdouble型の値を返す関数の委譲。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 1.6.1.86 (1.7.1.108) |

構文

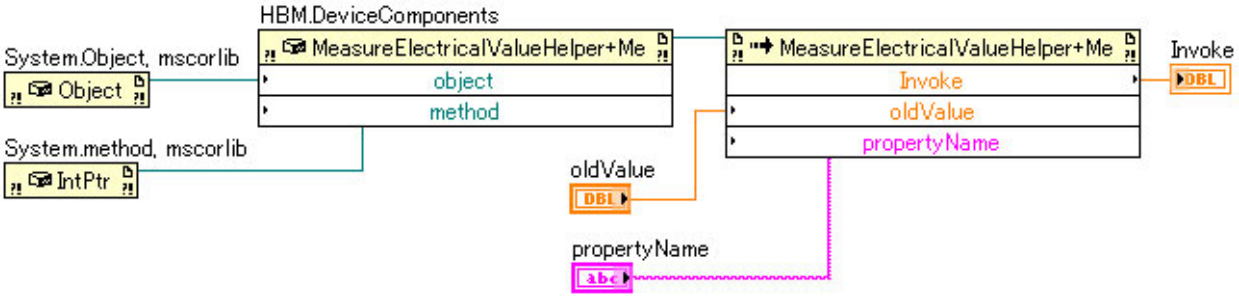
C#

```
public delegate double MeasureValueDelegate(
       double oldValue,
       string propertyName
)
```

Visual Basic

```
Public Delegate Function MeasureValueDelegate (
       oldValue As Double,
       propertyName As String
) As Double
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| oldValue | System.Double | エラー時に返す値(オリジナル)。 |
| propertyName | System.String | 編集するプロパティ名(例えばエラーメッセージに"MyClass.MyProperty"など)。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Invoke | Double | プロパティの新しい値。 |

注意:
デバイスから計測値を取得するにはHBM.QuantumX.QXSimpleDAQ.GetSinglePoint(...)を使用します。

# HBM.DeviceComponents.Enumeration

**eActive Enumeration**
CANチャネルの状態。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

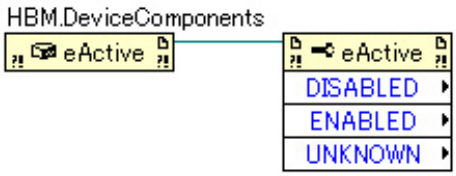
C#

```
public enum eActive
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eActive
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | 未確認。 |
| 0 | DISABLED | 無効。 |
| 1 | ENABLED | 有効。 |

## eAdditionalConnectorTypes Enumeration

追加コネクタのタイプ候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

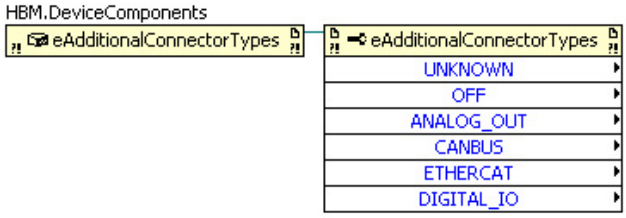
C#

```
public enum eAdditionalConnectorTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eAdditionalConnectorTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | 未確認。 |
| 0 | OFF | オフ。 |
| 1 | ANALOG_OUT | アナログ出力。 |
| 2 | CANBUS | CANバス。 |
| 3 | ETHERCAT | EtherCAT。 |
| 4 | DIGITAL_IO | デジタルI/O。 |

**eAdjustmentTypes Enumeration**
サポートする適応タイプ。

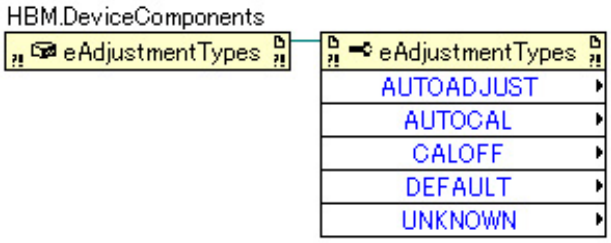
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eAdjustmentTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eAdjustmentTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | CALOFF | |
| 1 | AUTOADJUST | |
| 2 | AUTOCAL | |
| 3 | DEFAULT | |

**eAmplitudeTypes Enumeration**
テスト信号の周期的振幅モード。

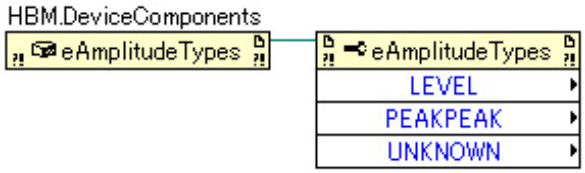
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eAmplitudeTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eAmplitudeTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | LEVEL | |
| 1 | PEAKPEAK | |

**eAnalogOutMode Enumeration**
アナログ出力コネクタの出力モード候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

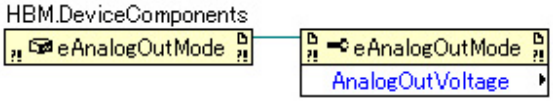
C#

```
public enum eAnalogOutMode
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eAnalogOutMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | AnalogOutVoltage | |

**eAnalogOutScalingTypes Enumeration**
AnalogOutChannelsのスケーリングタイプ候補。

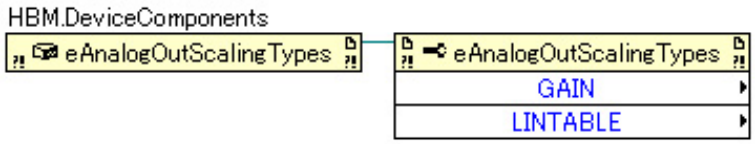
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eAnalogOutScalingTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eAnalogOutScalingTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 4 | LINTABLE | |
| 5 | GAIN | |

**eArbitrationTypes Enumeration**
信号発生器の振幅モード。

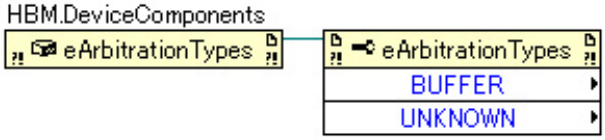
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eArbitrationTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eArbitrationTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | BUFFER | |

**eBitSequence Enumeration**
ビットシーケンス。MSBはインテル標準またはモトローラいずれでも可。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

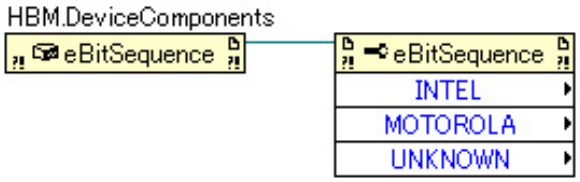
C#

```
public enum eBitSequence
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eBitSequence
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | MOTOROLA | |
| 1 | INTEL | |

**eBridgeTypes Enumeration**
センサのブリッジタイプ。

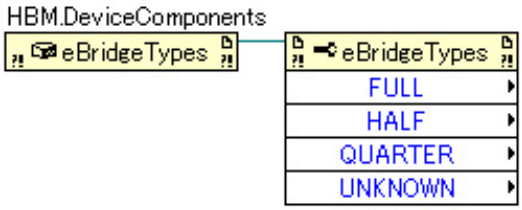
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eBridgeTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eBridgeTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 1 | QUARTER | |
| 2 | HALF | |
| 4 | FULL | |

**eCommConfig Enumeration**
デバイスのIPアドレスを構成するプロトコルの候補。

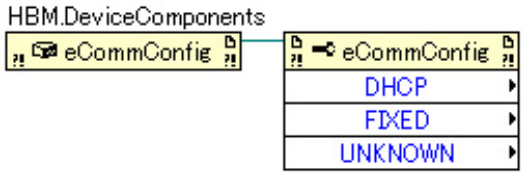
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eCommConfig
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eCommConfig
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 1 | DHCP | |
| 2 | FIXED | |

**eConnectorTypes Enumeration**
コネクタのタイプ候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

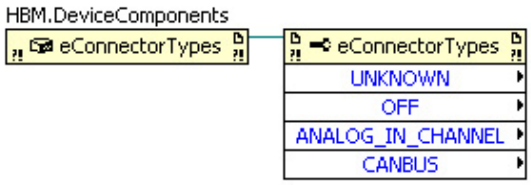
C#

```
public enum eConnectorTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eConnectorTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | 未確認。 |
| 0 | OFF | オフ。 |
| 1 | ANALOG_IN_CHANNEL | アナログ入力。 |
| 2 | CANBUS | CANバス。 |

**eDataRateDomain Enumeration**
データレートドメイン。

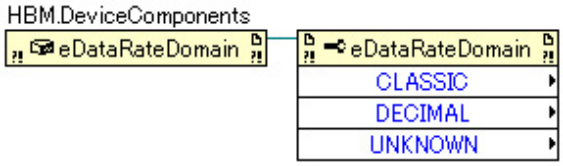
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eDataRateDomain
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eDataRateDomain
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | 未確認。 |
| 0 | CLASSIC | 従来のモード。 |
| 2 | DECIMAL | 10進数モード。 |

## eDelayMechanism Enumeration

PTP遅延メカニズム。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

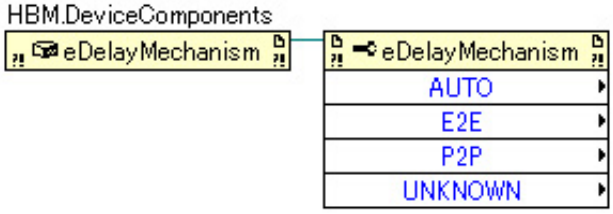
C#

```
public enum eDelayMechanism
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eDelayMechanism
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | 未確認。 |
| 0 | AUTO | 自動遅延メカニズム。。 |
| 1 | E2E | 遅延応答要求。 |
| 2 | P2P | P2P遅延メカニズム。 |

**eDigitalIOMode Enumeration**
デジタルI/Oピンのモード。

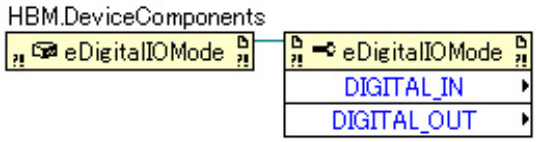
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eDigitalIOMode
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eDigitalIOMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | DIGITAL_IN | |
| 1 | DIGITAL_OUT | |

## eEtherCatMappings Enumeration

EtherCATのマッピング候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

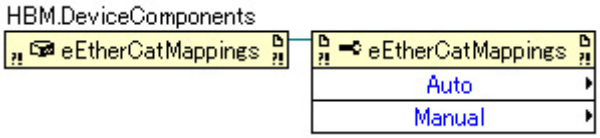
C#

```
public enum eEtherCatMappings
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eEtherCatMappings
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Auto | |
| 1 | Manual | |

**eEthPosition Enumeration**
イーサネットコネクタの位置。

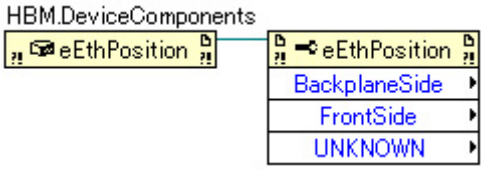
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eEthPosition
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eEthPosition
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | BackplaneSide | 背面。 |
| 1 | FrontSide | 前面(例えばCX)。 |

## eExcitationFrequencies Enumeration

ブリッジの励起周波数(例: ブリッジセンサー、誘導センサブリッジ)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

### 構文

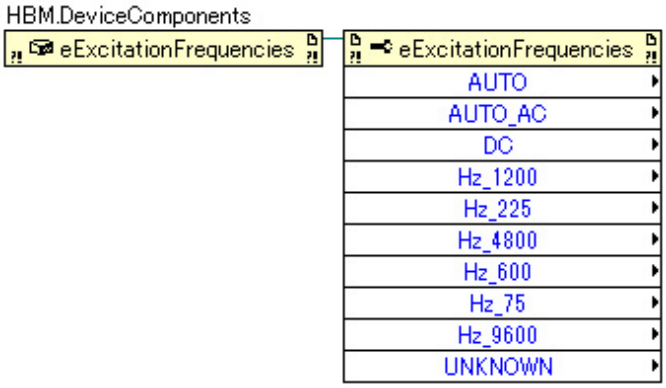
C#

```
public enum eExcitationFrequencies
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eExcitationFrequencies
```

LabVIEW




### メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | AUTO | |
| 1 | DC | |
| 2 | Hz_75 | |
| 3 | Hz_600 | |
| 4 | Hz_1200 | |
| 5 | Hz_4800 | |
| 6 | Hz_9600 | |
| 7 | AUTO_AC | |
| 999999 | Hz_225 | |

**eExtendedFrame Enumeration**
CANメッセージのフレームフォーマット。

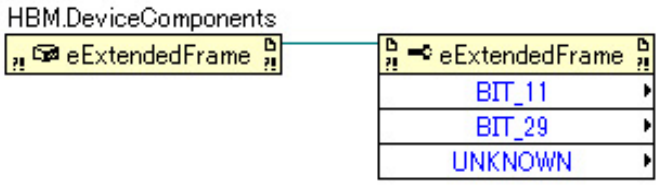
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eExtendedFrame
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eExtendedFrame
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | BIT_11 | |
| 1 | BIT_29 | |

## eExtendedSampleRateModes Enumeration

拡張サンプルレート(SpeedModeおよびQXSystem.AssignExtendedSampleRateMode(...)を参照)のためのモード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

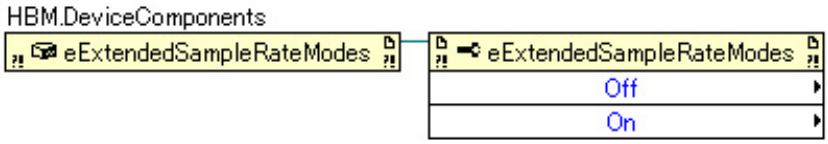
C#

```
public enum eExtendedSampleRateModes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eExtendedSampleRateModes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Off | 拡張サンプルレートは無効。 |
| 1 | On | 拡張サンプルレートは有効。 |

**eFeatureTypes Enumeration**
サポートされる機能のリスト。

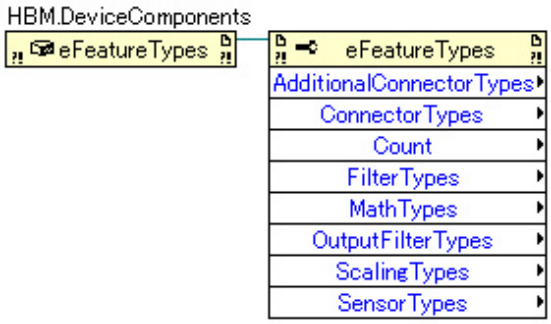
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eFeatureTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eFeatureTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | ConnectorTypes | |
| 1 | SensorTypes | |
| 2 | ScalingTypes | |
| 3 | FilterTypes | |
| 4 | MathTypes | |
| 5 | AdditionalConnectorTypes | |
| 6 | OutputFilterTypes | |
| 7 | Count | |

## eFilterCharacteristics Enumeration

フィルタ特性。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

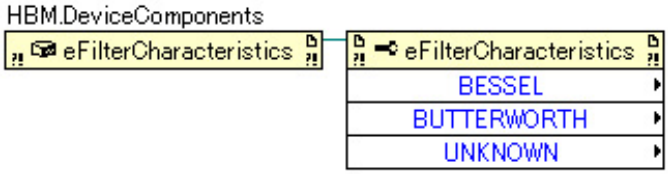
C#

```
public enum eFilterCharacteristics
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eFilterCharacteristics
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 1 | BESSEL | |
| 2 | BUTTERWORTH | |

**eFilterTypes Enumeration**
フィルタタイプ。

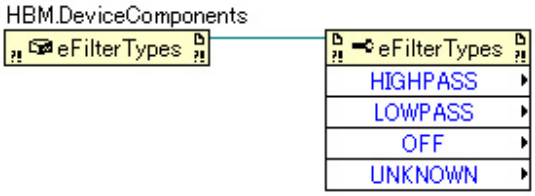
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eFilterTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eFilterTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | OFF | |
| 1 | LOWPASS | |
| 2 | HIGHPASS | |

**eGateMode Enumeration**
ゲートのモード候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

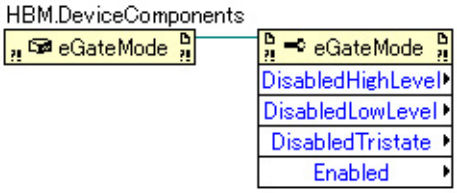
C#

```
public enum eGateMode
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eGateMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | DisabledTristate | |
| 1 | DisabledLowLevel | |
| 2 | DisabledHighLevel | |
| 3 | Enabled | |

**eInputGates Enumeration**
入力ゲートの候補(ピーク関数用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

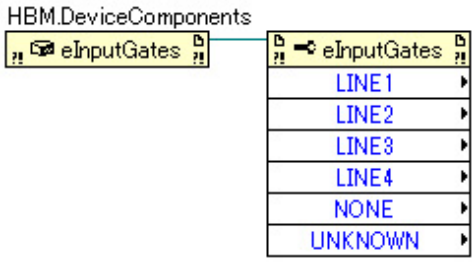
C#

```
public enum eInputGates
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eInputGates
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | NONE | |
| 1 | LINE1 | |
| 2 | LINE2 | |
| 3 | LINE3 | |
| 4 | LINE4 | |

## eInputThreshold Enumeration

デジタル入力のしきい値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

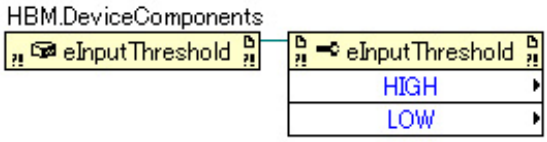
C#

```
public enum eInputThreshold
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eInputThreshold
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | LOW | |
| 2 | HIGH | |

**eIntegrationType Enumeration**
RotationalVibrationsのインテグレーションタイプ候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

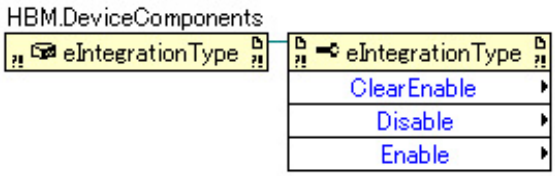
C#

```
public enum eIntegrationType
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eIntegrationType
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Disable | |
| 1 | Enable | |
| 2 | ClearEnable | |

## eIrigFormat Enumeration

IRIGフォーマット値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

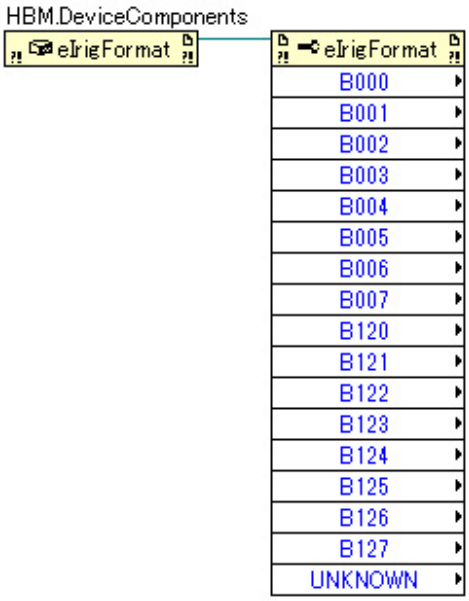
C#

```
public enum eIrigFormat
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eIrigFormat
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | B000 | |
| 1 | B001 | |
| 2 | B002 | |
| 3 | B003 | |
| 4 | B004 | |
| 5 | B005 | |
| 6 | B006 | |
| 7 | B007 | |
| 120 | B120 | |
| 121 | B121 | |
| 122 | B122 | |
| 123 | B123 | |
| 124 | B124 | |
| 125 | B125 | |
| 126 | B126 | |
| 127 | B127 | |

**eLogicalOutputState Enumeration**
論理出力の状態。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

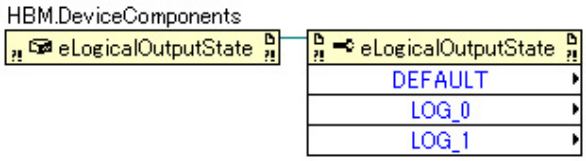
C#

```
public enum eLogicalOutputState
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eLogicalOutputState
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | LOG_0 | |
| 1 | LOG_1 | |
| 2 | DEFAULT | |

**eLogicalStates Enumeration**
論理状態。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

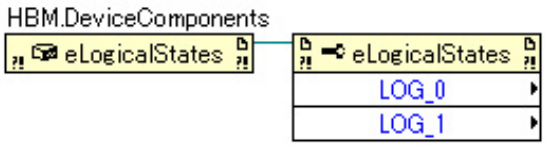
C#

```
public enum eLogicalStates
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eLogicalStates
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | LOG_0 | |
| 1 | LOG_1 | |

**eMathTypes Enumeration**
数学関数のタイプ候補。

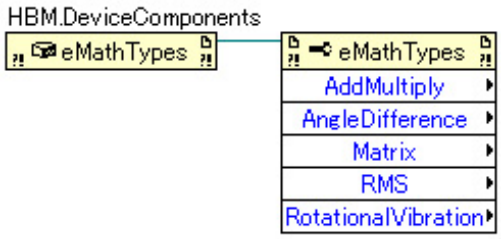
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eMathTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eMathTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | RMS | |
| 1 | RotationalVibration | |
| 3 | AngleDifference | |
| 4 | AddMultiply | |
| 5 | Matrix | |

## eMaxUpdateRate Enumeration

EtherCATの更新レート候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

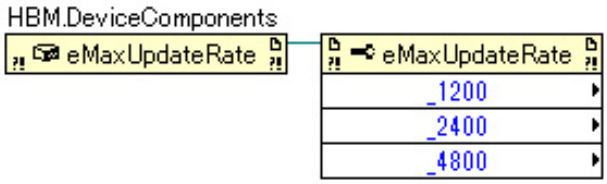
C#

```
public enum eMaxUpdateRate
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eMaxUpdateRate
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 1 | _1200 | |
| 2 | _2400 | |
| 3 | _4800 | |

## eModeValueFormats Enumeration

計測値の数値書式候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

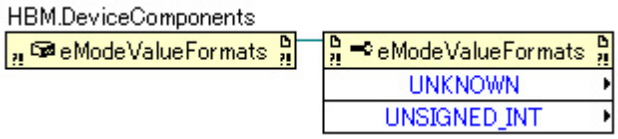
C#

```
public enum eModeValueFormats
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eModeValueFormats
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | UNSIGNED_INT | |

## eModuleStatusIDs Enumeration

モジュールのステータス情報(例: センサの接続/切断, TEDSの探索)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

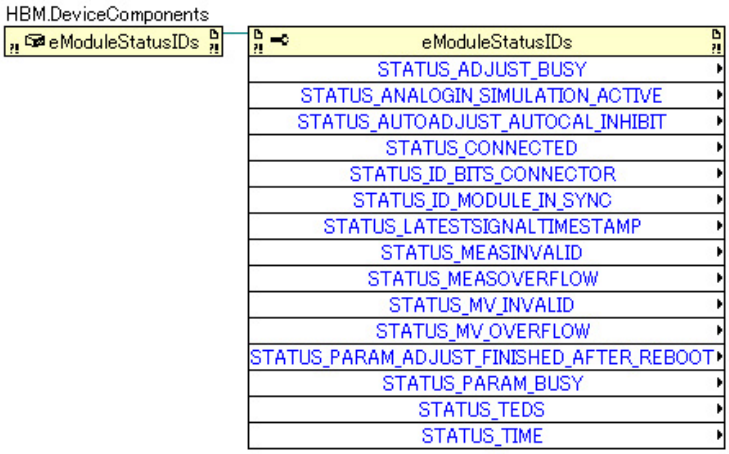
C#

```
[FlagsAttribute]
public enum eModuleStatusIDs
```

Visual Basic

```
<FlagsAttribute>
Public Enumeration eModuleStatusIDs
```

LabVIEW




メンバー

| 値(10進) | 値(16進) | 名前 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | STATUS_CONNECTED | センサが接続されているかの情報(1または0)。 |
| 2 | 2 | STATUS_PARAM_ADJUST_FINISHED_AFTER_REBOOT | すべてのコネクタがパラメータ化およびブート後に調整されたかの情報(1または0)。 |
| 4 | 4 | STATUS_LATESTSIGNALTIMESTAMP | **廃止(非推奨)**。すべての有効な同期信号を持つ最新のタイムスタンプ(64 bit固定小数点)。 |
| 8 | 8 | STATUS_TEDS | TEDSチップに関する情報(値にeTedsValidationが含まれる)。 |
| 16 | 10 | STATUS_MEASINVALID | 計測値が有効かどうかの情報(1または0)。 |
| 16 | 10 | STATUS_MV_INVALID | 計測値が有効かどうかの情報(1または0)。 |
| 32 | 20 | STATUS_MEASOVERFLOW | 計測値がオーバーフローかどうかの情報(1または0)。 |
| 32 | 20 | STATUS_MV_OVERFLOW | 計測値がオーバーフローかどうかの情報(1または0)。 |
| 64 | 40 | STATUS_PARAM_BUSY | XMLのパラメータ化が進行中かどうかの情報(1または0)。 |
| 128 | 80 | STATUS_ADJUST_BUSY | 調整中かどうかの情報(1または0)。 |
| 256 | 100 | STATUS_ANALOGIN_SIMULATION_ACTIVE | アナログ入力のテスト信号がアクティブかどうかの情報(1または0)。 |
| 1024 | 400 | STATUS_AUTOADJUST_AUTOCAL_INHIBIT | 自動調整および自動キャリブレーションを設定するかどうかの情報(1または0)。 |
| 32768 | 8000 | STATUS_ID_BITS_CONNECTOR | すべてのステータスIDの論理和(上記フラグのようなビット)。 |
| 262144 | 40000 | STATUS_TIME | モジュールの現在時刻。 |
| 524288 | 80000 | STATUS_ID_MODULE_IN_SYNC | モジュールが同期しているかの情報(1または0)。 |

**eOriginOfNameTypes Enumeration**
信号名のタイプ候補。

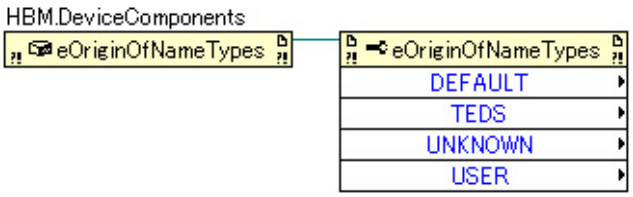
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eOriginOfNameTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eOriginOfNameTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | DEFAULT | |
| 1 | USER | |
| 2 | TEDS | |
| 3 | UNKNOWN | |

**eOutputFilterTypes Enumeration**
出力フィルタのタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

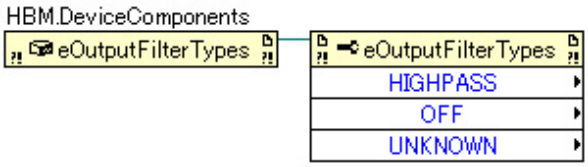
C#

```
public enum eOutputFilterTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eOutputFilterTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | OFF | |
| 1 | HIGHPASS | |

**eOutputLogics Enumeration**
リミットスイッチの極性タイプ候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

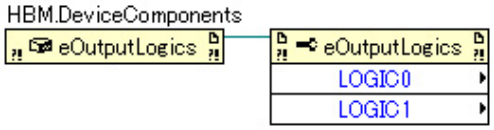
C#

```
public enum eOutputLogics
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eOutputLogics
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | LOGIC0 | |
| 1 | LOGIC1 | |

## ePeakModePolarityTypes Enumeration

信号制御のピークモード極性タイプ候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

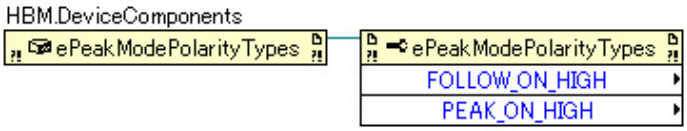
C#

```
public enum ePeakModePolarityTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePeakModePolarityTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | FOLLOW_ON_HIGH | |
| 1 | PEAK_ON_HIGH | |

**ePeakModes Enumeration**
ピーク関数モード(ControlPeakFunction()メソッド用)候補。

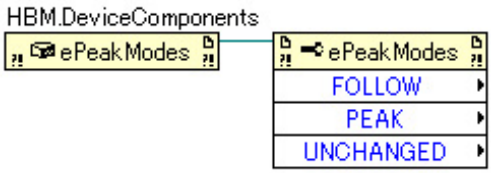
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum ePeakModes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration ePeakModes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNCHANGED | |
| 0 | PEAK | |
| 1 | FOLLOW | |

**ePeakRunModes Enumeration**
ピーク関数の実行モード(ControlPeakFunction()メソッド用)候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

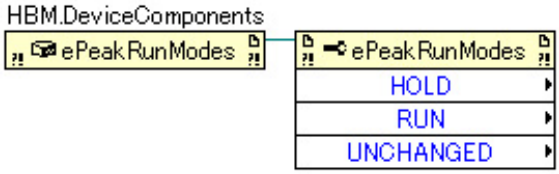
C#

```
public enum ePeakRunModes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePeakRunModes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNCHANGED | |
| 0 | RUN | |
| 1 | HOLD | |

**ePeakTypes Enumeration**
ピーク関数のタイプ候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

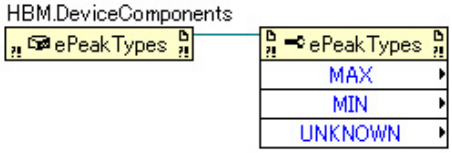
C#

```
public enum ePeakTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePeakTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | MIN | |
| 1 | MAX | |

## ePhysicalUnits Enumeration

物理単位の列挙。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

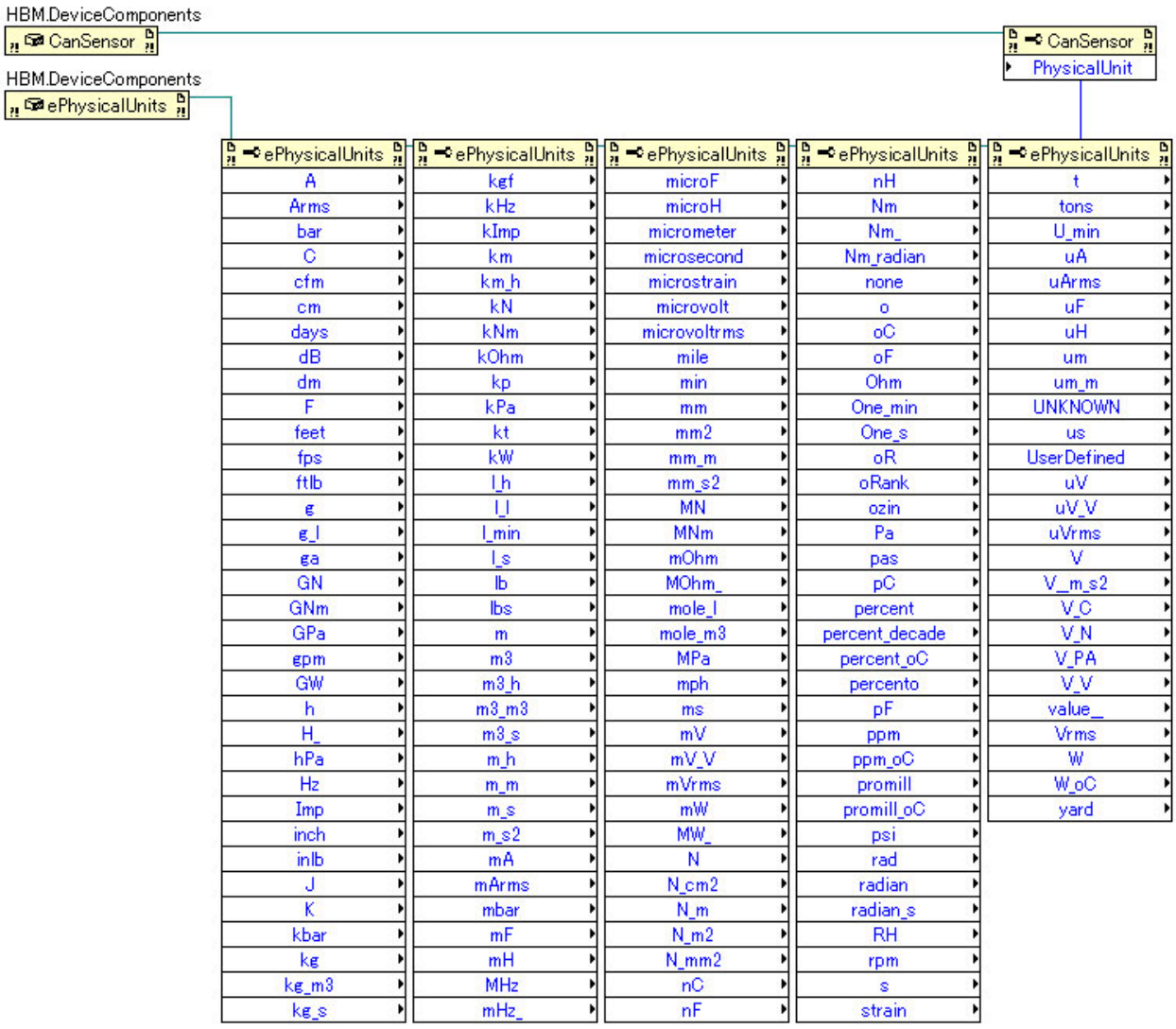
C#

```
public enum ePhysicalUnits
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePhysicalUnits
```

LabVIEW



| メンバー | | |
|---|---|---|
| 値 | 名前 | 説明 |
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | none | |
| 100 | rad | |
| 101 | radian | |
| 102 | o | |
| 103 | percento | |
| 300 | m | |
| 301 | um | |
| 301 | micrometer | |
| 302 | mm | |
| 303 | cm | |
| 304 | dm | |
| 305 | km | |
| 306 | inch | |
| 307 | feet | |
| 308 | yard | |
| 309 | mile | |
| 400 | kg | |
| 401 | g | |
| 402 | t | |
| 403 | kt | |
| 404 | tons | |
| 405 | lbs | |
| 500 | s | |
| 501 | ms | |
| 502 | us | |
| 502 | microsecond | |
| 503 | min | |
| 504 | h | |
| 505 | days | |
| 600 | A | |
| 601 | Arms | |
| 602 | mA | |
| 603 | uA | |
| 604 | mArms | |
| 605 | uArms | |
| 700 | K | |
| 701 | oC | |
| 702 | oF | |
| 703 | oRank | |
| 704 | oR | |
| 1000 | V_V | |
| 1001 | mV_V | |
| 1002 | uV_V | |
| 1100 | V | |
| 1101 | mV | |
| 1102 | uV | |
| 1102 | microvolt | |
| 1103 | Vrms | |
| 1104 | mVrms | |
| 1105 | uVrms | |
| 1105 | microvoltrms | |
| 1200 | Ohm | |
| 1201 | kOhm | |
| 1202 | MOhm_ | |
| 1203 | mOhm | |
| 1300 | H_ | |

| | | |
|---|---|---|
| 1301 | mH | |
| 1302 | uH | |
| 1302 | microH | |
| 1303 | nH | |
| 1400 | F | |
| 1401 | mF | |
| 1402 | uF | |
| 1402 | microF | |
| 1403 | nF | |
| 1404 | pF | |
| 1500 | C | |
| 1501 | nC | |
| 1502 | pC | |
| 1600 | Hz | |
| 1601 | kHz | |
| 1602 | MHz | |
| 1603 | One_s | |
| 1604 | mHz_ | |
| 1700 | radian_s | |
| 1701 | U_min | |
| 1702 | rpm | |
| 1703 | One_min | |
| 1800 | W | |
| 1801 | mW | |
| 1802 | kW | |
| 1803 | MW_ | |
| 1804 | GW | |
| 1900 | N | |
| 1901 | kN | |
| 1902 | MN | |
| 1903 | kp | |
| 1904 | kgf | |
| 1905 | lb | |
| 1906 | GN | |
| 2000 | Pa | |
| 2001 | bar | |
| 2002 | mbar | |
| 2003 | kbar | |
| 2004 | pas | |
| 2005 | hPa | |
| 2006 | kPa | |
| 2007 | psi | |
| 2008 | N_mm2 | |
| 2009 | N_m2 | |
| 2010 | N_cm2 | |
| 2011 | MPa | |
| 2012 | GPa | |
| 2100 | J | |
| 2101 | Nm | |
| 2102 | kNm | |
| 2103 | MNm | |
| 2104 | ftlb | |
| 2105 | inlb | |
| 2106 | GNm | |
| 2107 | Nm_radian | |
| 2108 | ozin | |
| 2200 | Nm_ | 廃止。 |
| 2300 | m_m | |
| 2301 | um_m | |

| | | |
|---|---|---|
| 2301 | microstrain | |
| 2302 | strain | |
| 2303 | mm_m | |
| 2400 | m_s | |
| 2401 | km_h | |
| 2402 | mph | |
| 2403 | fps | |
| 2404 | m_h | |
| 2500 | m_s2 | |
| 2501 | ga | |
| 2502 | mm_s2 | |
| 2700 | kg_m3 | |
| 2701 | g_l | |
| 2800 | m3_s | |
| 2801 | l_min | |
| 2802 | m3_h | |
| 2803 | gpm | |
| 2804 | cfm | |
| 2805 | l_h | |
| 2806 | l_s | |
| 2900 | percent | |
| 2901 | promill | |
| 2902 | ppm | |
| 3000 | percent_oC | |
| 3001 | promill_oC | |
| 3002 | ppm_oC | |
| 3100 | lmp | |
| 3101 | klmp | |
| 5001 | percent_decade | |
| 5002 | dB | |
| 5003 | l_l | |
| 5004 | m3_m3 | |
| 5005 | m3 | |
| 5006 | mm2 | |
| 5007 | kg_s | |
| 5008 | mole_l | |
| 5009 | mole_m3 | |
| 5010 | N_m | |
| 5011 | RH | |
| 5012 | V__m_s2 | |
| 5013 | V_C | |
| 5014 | V_N | |
| 5015 | V_PA | |
| 5016 | W_oC | |
| 100000 | UserDefined | |

## ePidMode Enumeration

PID制御モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

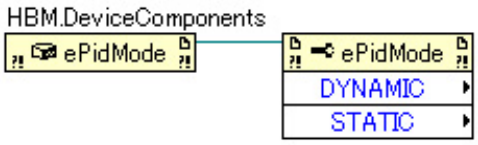
C#

```
public enum ePidMode
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePidMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | STATIC | 静的定置操作。 |
| 1 | DYNAMIC | ソース信号による動的定置動作。 |

**ePolarityTypes Enumeration**
センサの極性タイプ候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

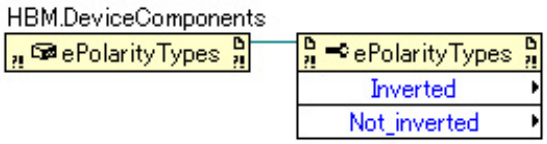
C#

```
public enum ePolarityTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePolarityTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Not_inverted | |
| 1 | Inverted | |

**ePressureTypes Enumeration**
圧力センサの圧力タイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

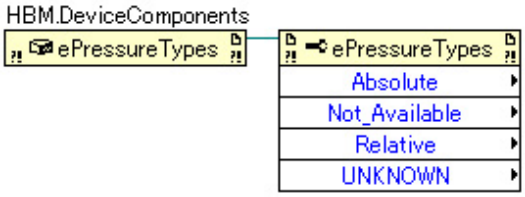
C#

```
public enum ePressureTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePressureTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | Not_Available | |
| 1 | Absolute | |
| 2 | Relative | |

**ePtTypes Enumeration**
サポートしているPtのタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

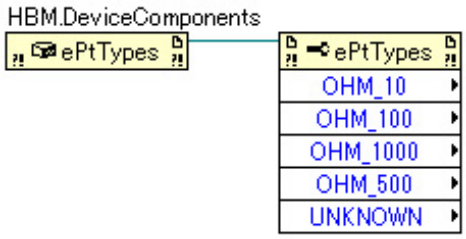
C#

```
public enum ePtTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePtTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | OHM_10 | |
| 1 | OHM_100 | |
| 2 | OHM_500 | |
| 3 | OHM_1000 | |

**ePWMMode Enumeration**
PWMセンサの計測モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

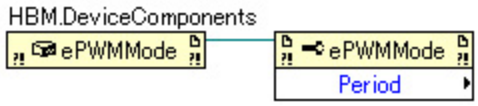
C#

```
public enum ePWMMode
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePWMMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Pwm | |
| 1 | PulseWidth | |
| 2 | Period | |

**eRawValueFormat Enumeration**
CAN計測値の生データフォーマット値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

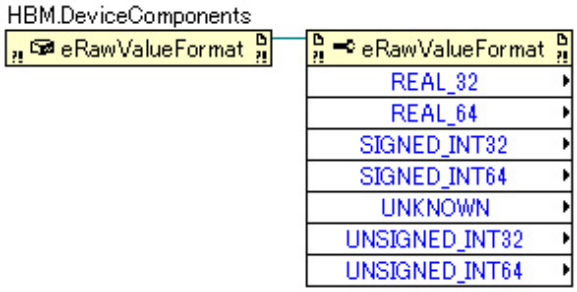
C#

```
public enum eRawValueFormat
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eRawValueFormat
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | UNSIGNED_INT32 | |
| 1 | SIGNED_INT32 | |
| 2 | UNSIGNED_INT64 | |
| 3 | SIGNED_INT64 | |
| 4 | REAL_32 | |
| 5 | REAL_64 | |

**eRemovals Enumeration**
CAN-Busエラーモードの除去タイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

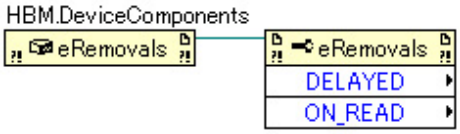
C#

```
public enum eRemovals
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eRemovals
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | ON_READ | ステータスを読み込むまでエラーや警告を継続。 |
| 1 | DELAYED | エラー解決後にエラーや警告を削除。 |

**eRunModePolarityTypes Enumeration**
ピーク関数で信号制御の実行モードにおける極性タイプ候補。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

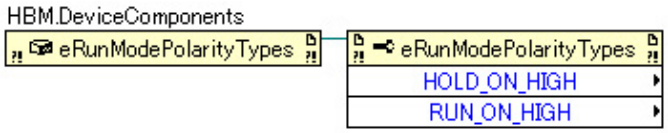
C#

```
public enum eRunModePolarityTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eRunModePolarityTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | HOLD_ON_HIGH | |
| 1 | RUN_ON_HIGH | |

## eS2Enable Enumeration

二次信号のための回転方向検出モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

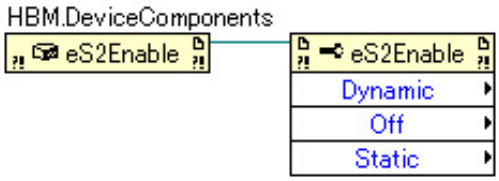
C#

```
public enum eS2Enable
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eS2Enable
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | OFF | 回転方向の検出をしない。 |
| 1 | Dynamic | 動的回転方向検出(位相差)。 |
| 2 | Static | 静的回転方向検出(レベル)。 |

**eScalingTypes Enumeration**
スケーリングのタイプ候補。

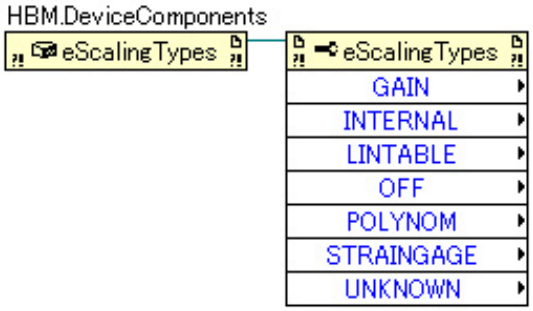
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eScalingTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eScalingTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | OFF | |
| 1 | INTERNAL | |
| 2 | ZEROSPAN | |
| 3 | POLYNOM | |
| 4 | LINTABLE | |
| 5 | GAIN | |
| 6 | STRAINGAGE | |

**eSensorTypes Enumeration**
センサタイプの種類。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

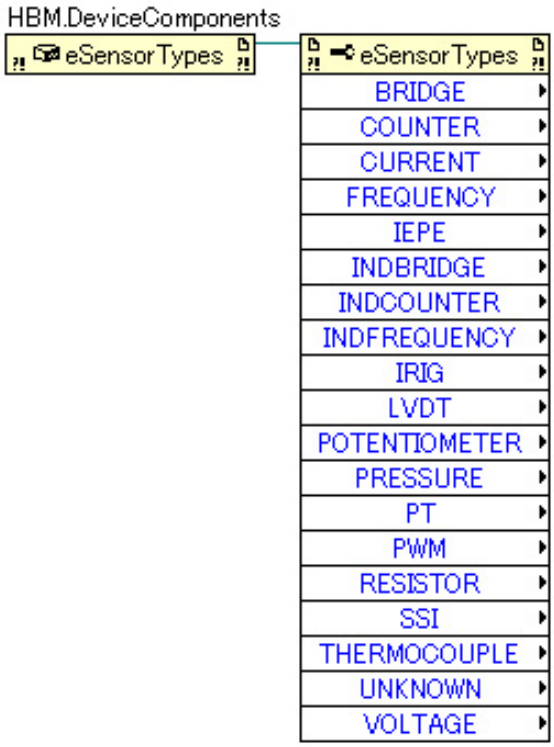
C#

```
public enum eSensorTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eSensorTypes
```

LabVIEW



| メンバー | | |
|---|---|---|
| 値 | 名前 | 説明 |
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | BRIDGE | |
| 1 | INDBRIDGE | |
| 2 | VOLTAGE | |
| 3 | CURRENT | |
| 4 | THERMOCOUPLE | |
| 5 | PT | |
| 6 | POTENTIOMETER | |
| 7 | LVDT | |
| 8 | COUNTER | |
| 9 | FREQUENCY | |
| 10 | SSI | |
| 11 | RESISTOR | |
| 12 | PRESSURE | |
| 13 | IEPE | |
| 14 | INDCOUNTER | |
| 15 | INDFREQUENCY | |
| 16 | PWM | |
| 17 | IRIG | |

## eSignalFormats Enumeration

CAN計測値の信号フォーマット値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

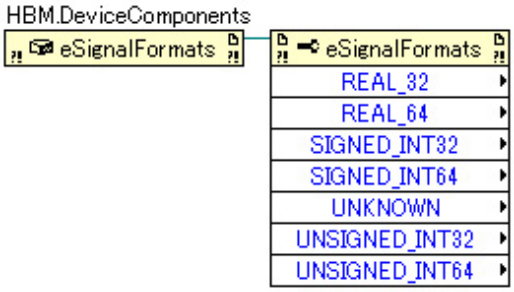
C#

```
public enum eSignalFormats
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eSignalFormats
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 255 | UNKNOWN | |
| 0 | UNSIGNED_INT32 | |
| 1 | SIGNED_INT32 | |
| 2 | UNSIGNED_INT64 | |
| 3 | SIGNED_INT64 | |
| 4 | REAL_32 | |
| 5 | REAL_64 | |

**eSignalGeneratorTypes Enumeration**
信号発生器のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

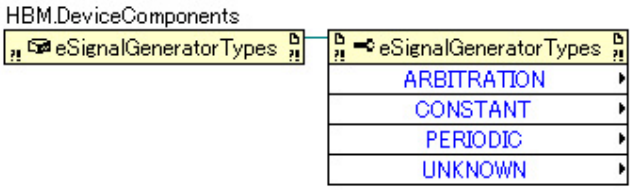
C#

```
public enum eSignalGeneratorTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eSignalGeneratorTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | CONSTANT | |
| 1 | PERIODIC | |
| 2 | ARBITRATION | |

**eSignalType Enumeration**
CAN信号の信号タイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

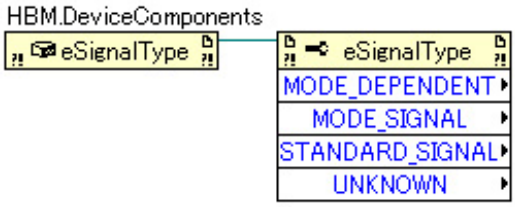
C#

```
public enum eSignalType
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eSignalType
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | STANDARD_SIGNAL | |
| 1 | MODE_DEPENDENT | |
| 2 | MODE_SIGNAL | |

## eSSIClockFrequencies Enumeration

SSIセンサのクロック周波数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

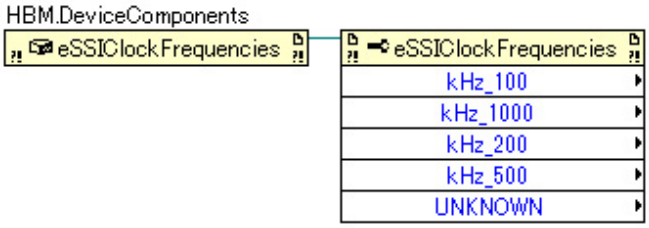
C#

```
public enum eSSIClockFrequencies
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eSSIClockFrequencies
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 100000 | kHz_100 | |
| 200000 | kHz_200 | |
| 500000 | kHz_500 | |
| 1000000 | kHz_1000 | |

**eSSICodings Enumeration**
SSIセンサのコーディングタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

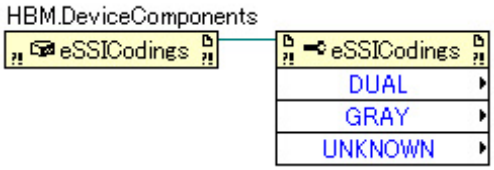
C#

```
public enum eSSICodings
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eSSICodings
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | GRAY | |
| 1 | DUAL | |

**eSSIResolutions Enumeration**
SSIセンサの分解能。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

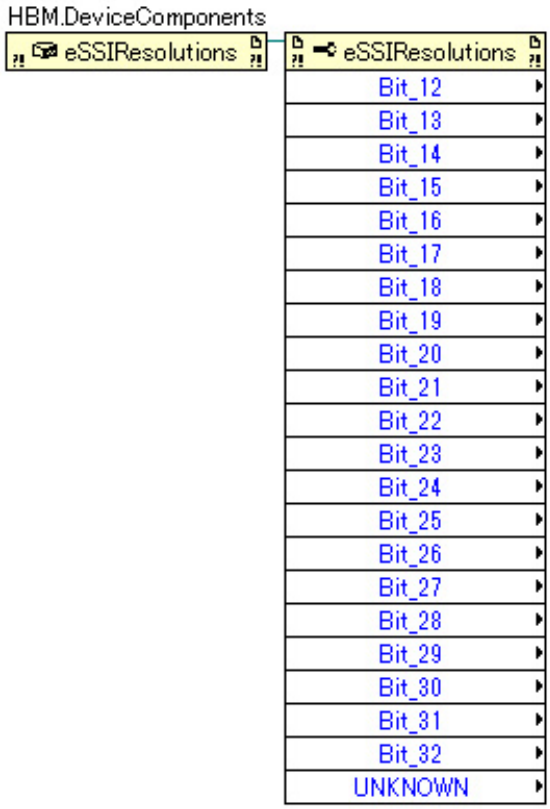
C#

```
public enum eSSIResolutions
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eSSIResolutions
```

LabVIEW



| メンバー | | |
|---|---|---|
| 値 | 名前 | 説明 |
| -1 | UNKNOWN | |
| 12 | Bit_12 | |
| 13 | Bit_13 | |
| 14 | Bit_14 | |
| 15 | Bit_15 | |
| 16 | Bit_16 | |
| 17 | Bit_17 | |
| 18 | Bit_18 | |
| 19 | Bit_19 | |
| 20 | Bit_20 | |
| 21 | Bit_21 | |
| 22 | Bit_22 | |
| 23 | Bit_23 | |
| 24 | Bit_24 | |
| 25 | Bit_25 | |
| 26 | Bit_26 | |
| 27 | Bit_27 | |
| 28 | Bit_28 | |
| 29 | Bit_29 | |
| 30 | Bit_30 | |
| 31 | Bit_31 | |
| 32 | Bit_32 | |

**eSwitchingDirections Enumeration**
リミットスイッチの方向。

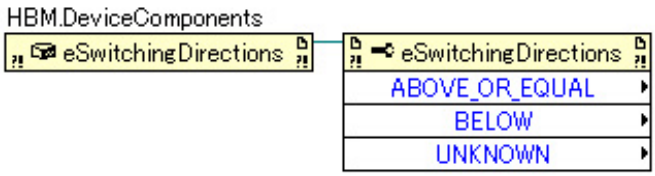
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eSwitchingDirections
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eSwitchingDirections
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 2 | ABOVE_OR_EQUAL | |
| 3 | BELOW | |

**eTedsUsage Enumeration**
TEDSの使用モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

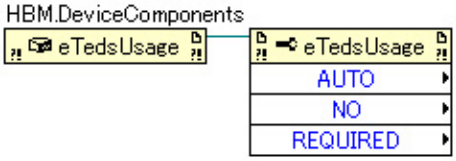
C#

```
public enum eTedsUsage
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eTedsUsage
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | NO | |
| 1 | AUTO | |
| 2 | REQUIRED | |

**eTedsUsages Enumeration**
使用するTEDSのタイプ。

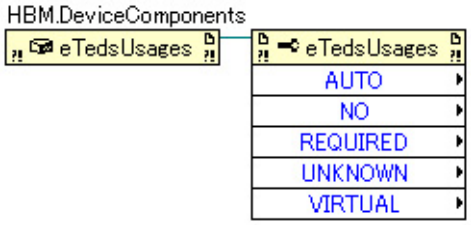
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eTedsUsages
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eTedsUsages
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | NO | |
| 2 | AUTO | |
| 3 | REQUIRED | |
| 4 | VIRTUAL | |

## eTedsValidation Enumeration

ModuleStatus.ID == eModuleStatusIDs.STATUS_TEDSの値。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

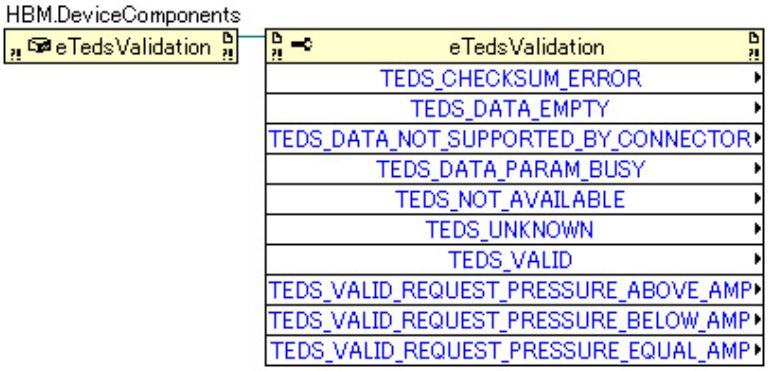
C#

```
public enum eTedsValidation
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eTedsValidation
```

LabVIEW




メンバー

| 値(10進) | 値(16進) | 名前 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | TEDS_NOT_AVAILABLE | TEDSチップは利用不可。 |
| 1 | 1 | TEDS_VALID | TEDSチップは利用可およびOK。 |
| 2 | 2 | TEDS_CHECKSUM_ERROR | TEDSチップは利用可であるがチェックサムエラー(恐らくデータが破損し、空きの可能性)。 |
| 3 | 3 | TEDS_DATA_EMPTY | TEDSチップは利用可だがデーが無く、空きである。 |
| 4 | 4 | TEDS_DATA_NOT_SUPPORTED_BY_CONNECTOR | TEDSチップは利用可だが、TEDSデータはコネクタでサポートされていない。 |
| 5 | 5 | TEDS_DATA_PARAM_BUSY | TEDSチップは利用可だがTEDSパラメータの検証中(要待機)。 |
| 6 | 6 | TEDS_VALID_REQUEST_PRESSURE_EQUAL_AMP | MX590のみ: TEDSの圧力設定はセンサの仕様と同等。 |
| 7 | 7 | TEDS_VALID_REQUEST_PRESSURE_BELOW_AMP | MX590のみ: TEDSの圧力設定はセンサの仕様以下。 |
| 8 | 8 | TEDS_VALID_REQUEST_PRESSURE_ABOVE_AMP | MX590のみ: TEDSの圧力設定はセンサの仕様以上。 |
| 2147483647 | 7FFFFFFF | TEDS_UNKNOWN | |

**eTestSignalTypes Enumeration**
テスト信号のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

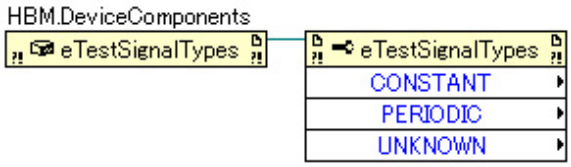
C#

```
public enum eTestSignalTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eTestSignalTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | CONSTANT | |
| 1 | PERIODIC | |

**eThermoCoupleTypes Enumeration**
サポートしている熱電対のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

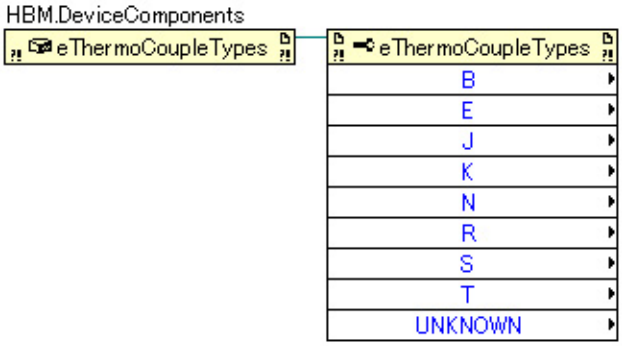
C#

```
public enum eThermoCoupleTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eThermoCoupleTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | B | |
| 1 | E | |
| 2 | J | |
| 3 | K | |
| 4 | N | |
| 5 | R | |
| 6 | S | |
| 7 | T | |

**eTimeSourceTypes Enumeration**
同期するtime-sourceのタイプ。

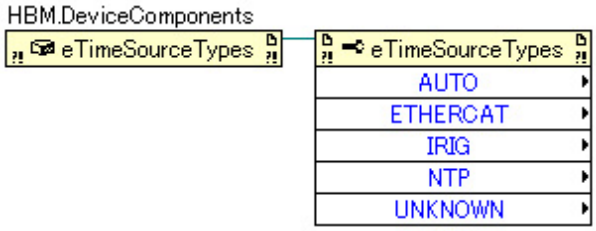
| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public enum eTimeSourceTypes
```

Visual Basic
```
Public Enumeration eTimeSourceTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | AUTO | |
| 1 | NTP | |
| 2 | ETHERCAT | |
| 3 | IRIG | |

**eTraceType Enumeration**
トレースレベルに応じてフィルタリングするために使用するトレースログの入力タイプ

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

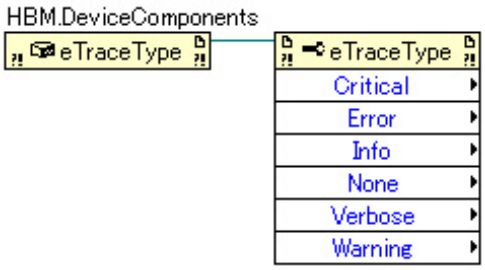
C#

```
public enum eTraceType
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eTraceType
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | None | トレースログに入力しない。 |
| 16 | Verbose | 詳細情報。 |
| 8 | Info | 案内情報。 |
| 4 | Warning | 警告情報。 |
| 2 | Error | エラー情報。 |
| 1 | Critical | 重要情報。 |

**eTransport Enumeration**
PTPネットワークの転送プロトコル。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

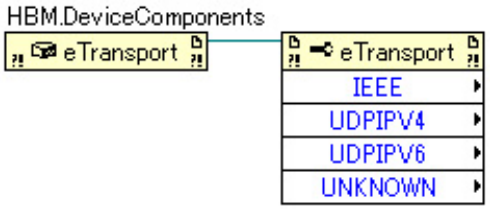
C#

```
public enum eTransport
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eTransport
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | 未確認のネットワーク転送プロトコル。 |
| 0 | IEEE | IEEE 802.3。 |
| 1 | UDPIPV4 | UDP IPv4。 |
| 2 | UDPIPV6 | UDP IPv6。 |

**eWaveForms Enumeration**
テスト信号の周期波形。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

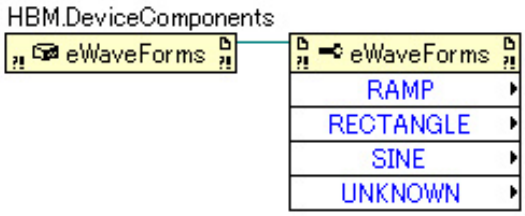
C#

```
public enum eWaveForms
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eWaveForms
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | RECTANGLE | |
| 1 | SINE | |
| 2 | RAMP | |

**eWirings Enumeration**
センサの配線。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.DeviceComponents |
| アセンブリ | HBM.DeviceComponents (in HBM.DeviceComponents.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

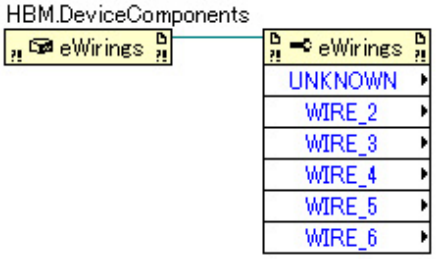
C#

```
public enum eWirings
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eWirings
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 2 | WIRE_2 | |
| 3 | WIRE_3 | |
| 4 | WIRE_4 | |
| 5 | WIRE_5 | |
| 6 | WIRE_6 | |

# HBM.QuantumX Namespace

## HBM.QuantumX Namespace

名前空間**HBM.QuantumX**は、QuantumXデバイスの設定および計測を実行するための関数が含まれています。二つの主な関数ブロックがあります:
**QXSystem**は、単一や複合システムのQuantumXデバイスを接続および設定する機能が含まれています。
**QXSimpleDAQ**は単一や複合システムのデバイスの計測を実行するための関数が含まれています。
この名前空間は、QuantumXデバイスのオブジェクト表現を使用する名前空間**HBM.DeviceComponents**で定義されているデータ型を使用しています。これらオブジェクト内で構成し進めていくことで、非常に直感的な方法でQuantumXデバイスのすべての詳細な設定を知ることができます。

| **クラス** | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DAQProblem | GetDataBlock () の実行中に発生した問題の情報をクラスに保持します。 |
| MeasurementValues | 同期または非同期信号によって生成された測定値を格納するためのクラスです。 |
| NetworkAdapter | ネットワークアダプタのプロパティを記述するクラスです。 |
| NtpQuality | NTPQで照会した結果を返します。 |
| Problem | 任意の"assign"コマンドの実行中に発生する可能性があるエラーまたは警告を記述するクラスです。 |
| PtpQuality | モジュールのPTP品質についてのパラメータを返します。 |
| QXSimpleDAQ | QXSimpleDAQは、データ収録関数への容易なアクセスを実現しています。センサおよび信号(QXSystem.AssignSensorおよびQXSystem.AssignSyncSignalを介してなど)を設定すると、データ収録を行う準備が整います。QXSimpleDAQはデータ収録を設定し実行するために、次の機能を提供します:<br>・計測信号を登録<br>・データ収録を開始<br>・測定ブロックの読み込み<br>・目的の信号値の読み取り<br>・データ収録を停止 |
| QXSystem | QXSystemはQuantumXデバイスの複合システムへのアクセスを扱います。以下が行えます:<br>・通信可能なデバイスをスキャン<br>・QuantumXデバイスの複合システムからデバイスの追加および削除<br>・複合システム(スキャンしたデバイスは内部でサブデバイスを接続している場合がある)の階層を調査<br>・読み込み、変更、デバイスの割り当て設定<br>・各機器のコネクタ、センサ、信号、スケーリングなどの設定コンポーネント<br><br>このような複合システムのQuantumXデバイスにアクセスするための鍵はUUID(デバイスのシリアル番号)です。デバイスにアクセスするQXSystemよって提供されるすべての機能は、このUUIDを必要とします。 |
| ScanResult | 単一のIPネットワークスキャン結果ScanForQXDevicesを記述するクラスです。 |
| SignalDescription | 予約した信号(測定を行う信号)に関する情報を保持するクラスです。<br>信号の予約後、GetSignalDescriptionを呼び出してアクセスできます。 |
| SubDevice | 通信可能なデバイスおよびそのサブデバイスを記述するクラスです。 |

| **構造体** | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| QXTime | 演算子および型変換のQuantumXタイムスタンプを格納する構造体。 |

| 列挙型 | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| eComLogFlags | 通信データの記録フラグ。 |
| eDAQErrors | GetDataBlock()、StartDAQ(Boolean)およびStopDAQ()中に発生するエラー。 |
| eDAQValueState | DAQ値のステータス。 |
| eDebugLogFlags | デバッグ情報の記録フラグ。 |
| eDeviceTypes | デバイスタイプ。 |
| eErrorLogFlags | エラーの記録フラグ。 |
| eLedMode | SetLedMode(UInt64, Int32, eLedMode)のLEDモード。 |
| eLogFileMode | ログ出力のフォーマット。 |
| enChangeMode | サンプルバッファーを変更するときの条件指定(QXSystem.AssignArbitrarySignalGeneratorValuesを参照)。 |
| ePtpSyncMode | PTP同期モード。 |
| ePtpTimeScaleFlags | IEEEで規定されているtimePropertiesDSの時間スケールフラグ。 |
| eScaleType | 測定値のスケーリングタイプ。 |
| eUILanguage | ユーザインタフェース言語の候補。PropertyGridおよびエラーメッセージの言語を制御するために使用されます(QXSystem.SetUILanguageを参照)。 |
| Problem.eProblemType | 問題のタイプ。 |
| SignalDescription.eMeasValType | 測定値のデータタイプ。 |

| 例外 | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AssignFailedException | センサや信号など、デバイスの割り当てに問題があれば発生します。 |
| ConnectionFailedException | デバイスの接続に問題がある場合に発生します。 |
| DllVersionException | DLLバージョン要件が満たされない場合に発生します。 |
| ExportFailedException | デバイスをXMLファイルにをエクスポートするときに問題がある場合に発生します。 |
| GetDataBlockFailedException | QuantumXデバイス内の測定値用データバッファが最後のGetDataBlock呼び出し以降、ローになった場合に発生します。 |
| GetSinglePointFailedException | デバイスからの測定値取得に問題がある場合に発生します。 |
| GetSingleShotFailedException | デバイスからのワンショット測定値取得に問題がある場合に発生します。 |
| ImportFailedException | ファイルからデバイスのXMLをインポート時に問題がある場合に発生します。 |
| ReadFailedException | デバイスのセンサーや信号等の読み取りに問題がある場合に発生します。 |
| RestartFailedException | デバイスを再起動に問題がある場合に発生します。 |
| ScanFailedException | デバイス用のIPネットワークをスキャンして問題がある場合に発生します。 |
| StartDAQFailedException | データの取得開始に問題がある場合に発生します。 |
| StopDAQFailedException | データ取得の停止に問題がある場合に発生します。 |
| SubscribeSignalFailedException | 測定信号を登録する問題がある場合に発生します |
| ViewNotAvailableException | モジュールが目的のオブジェクトをサポートしていない場合に発生します。 |
| ZeroingFailedException | デバイスのチャネルの0化に問題がある場合に発生します。 |

# HBM.QuantumX.Classes

# DAQProblemクラス

**DAQProblem Class**
GetDataBlock () の実行中に発生した問題の情報をクラスに保持します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class DAQProblem
```

Visual Basic
```
Public Class DAQProblem
```

継承階層

System.Object
  HBM.QuantumX.DAQProblem

## DAQProblem Members

DAQProblem型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DAQProblem() | DAQProblemクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DAQProblem(UInt64, String, eDAQErrors) | DAQProblemクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DAQError | GetDataBlock()中に発生したエラータイプ。 |
| Message | エラーメッセージ。 |
| UUID | 問題が発生したデバイスのUUID。 |

## DAQProblem Constructor

DAQProblemクラスの新しいインスタンスを初期化します。
COMラッパーに適応する領域はUINT64, List<>について知らされていないため、COMはデフォルトのコンストラクタ(引数なしの!)が必要です。そのため、COMを経由して使用するためにはデータ型を適合させることや、これらプロパティは.NETの世界では表示されないことを注意する必要があります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

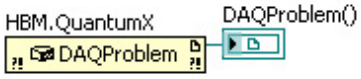
C#

```
public DAQProblem()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## DAQProblem Constructor (UInt64, String, eDAQErrors)

DAQProblemクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

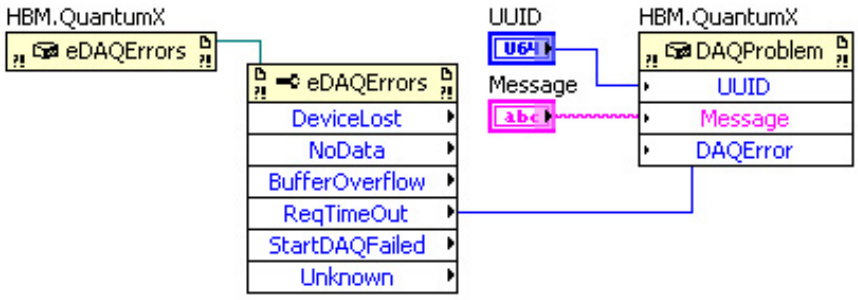
C#

```
public DAQProblem(
        ulong UUID,
        string Message,
        eDAQErrors DAQError
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
        UUID As ULong,
        Message As String,
        DAQError As eDAQErrors
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | 問題が発生したデバイスのUUID。 |
| Message | System.String | エラーメッセージ。 |
| DAQError | HBM.QuantumX.eDAQErrors | DAQエラー。 |

## DAQProblem.DAQError Property

GetDataBlock()中に発生したエラータイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public eDAQErrors DAQError { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property DAQError As eDAQErrors
       Get
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eDAQErrors |

## DAQProblem.Message Property

エラーメッセージ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string Message { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Message As String
        Get
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## DAQProblem.UUID Property

問題が発生したデバイスのUUID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

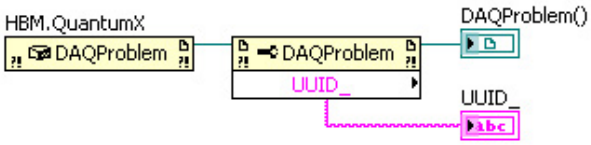
C#

```
public ulong UUID { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property UUID As ULong
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# MeasurementValuesクラス

**MeasurementValues Class**
同期または非同期信号によって生成された測定値を格納するためのクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class MeasurementValues
```

Visual Basic
```
Public Class MeasurementValues
```

継承階層

System.Object
 HBM.QuantumX.MeasurementValues

## MeasurementValues Members

MeasurementValues型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| MeasurementValues | MeasurementValuesクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Count | 測定数。 |
| States | 測定値のステータス情報の配列。 |
| TimeStamps | NTPタイムスタンプの配列(Doubles)。 |
| TimeStamps64 | NTPタイムスタンプの配列(UInt64)。 |
| Values | 測定値信号の配列。 |

## MeasurementValues Constructor

MeasurementValuesクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

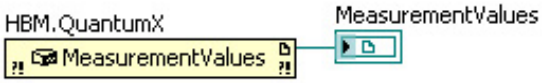
C#

```
public MeasurementValues()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## MeasurementValues.Count Property

測定数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

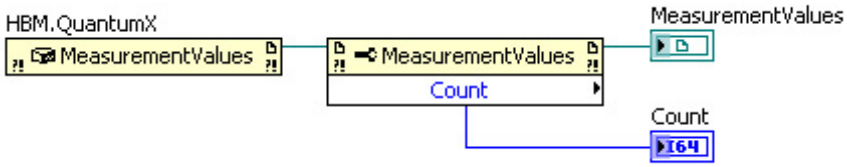
C#

```
public long Count { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Count As Long
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int64 |

## MeasurementValues.States Property

測定値のステータス情報の配列。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

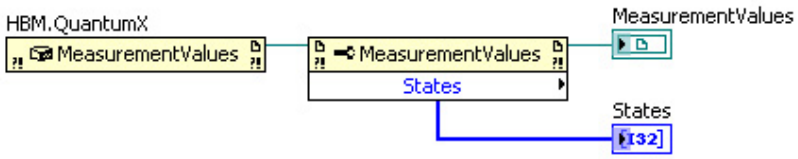
C#

```
public eDAQValueState[] States { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property States As eDAQValueState()
        Get
        Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eDAQValueState[] |

## MeasurementValues.TimeStamps Property

NTPタイムスタンプの配列(Doubles)。
小数点前の数値 = 2000-01-01 00:00:00以降の秒数。
小数点以降の数値 = 1秒の$1/2^{32}$の比。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

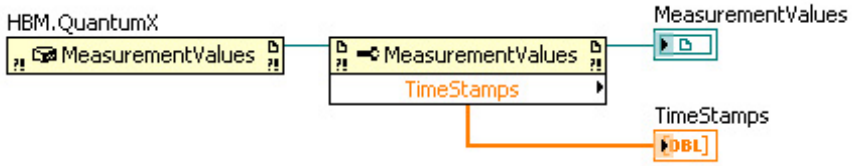
C#

```
public double[] TimeStamps { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property TimeStamps As Double()
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double[] |

## MeasurementValues.TimeStamps64 Property

NTPタイムスタンプの配列(UInt64)。
上位32 bit(Bit 63...32) = 2000-01-01 00:00:00以降の秒数。
下位32 bit(Bit 31...00) = 秒のn/$2^{32}$の比。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

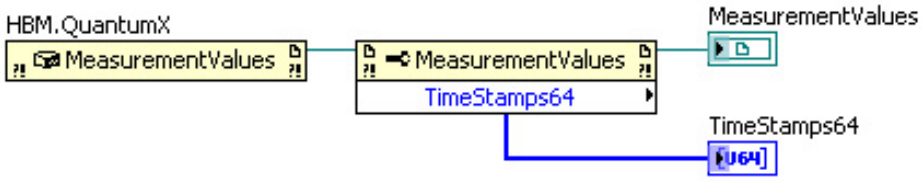
C#

```
public ulong[] TimeStamps64 { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property TimeStamps64 As ULong()
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt64[] |

注釈

QXTimeストラクチャを使用して、タイムスタンプを様々なフォーマットに変換することが可能です。

## MeasurementValues.Values Property

測定値信号の配列。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

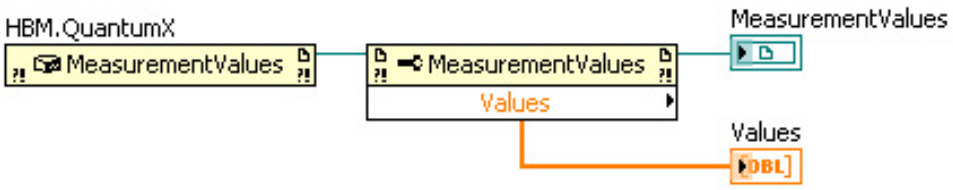
C#

```
public double[] Values { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property Values As Double()
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double[] |

# NetworkAdapterクラス

**NetworkAdapter Class**
ネットワークアダプタのプロパティを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class NetworkAdapter
```

Visual Basic
```
Public Class NetworkAdapter
```

継承階層

System.Object
  HBM.QuantumX.NetworkAdapter

## NetworkAdapter Members

NetworkAdapter型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| NetworkAdapter() | NetworkAdapterクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| NetworkAdapter(String, String, String, String, String, String) | NetworkAdapterクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AdapterName | ネットワークアダプタ名。 |
| AdapterType | アダプタタイプ。 |
| Description | ネットワークアダプタの説明。 |
| IPAddress | ネットワークアダプタのIPアドレス。 |
| PhysicalAddress | Media Access Control address (MACアドレス) - ネットワークアダプタの一意の識別子(例えば"90：B1：00:00:00:00")。 |
| SubnetMask | ネットワークアダプタのサブネットマスク。 |

## NetworkAdapter Constructor

NetworkAdapterクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

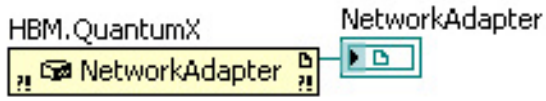
C#

```
public NetworkAdapter()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## NetworkAdapter Constructor (String, String, String, String, String, String)

NetworkAdapterクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

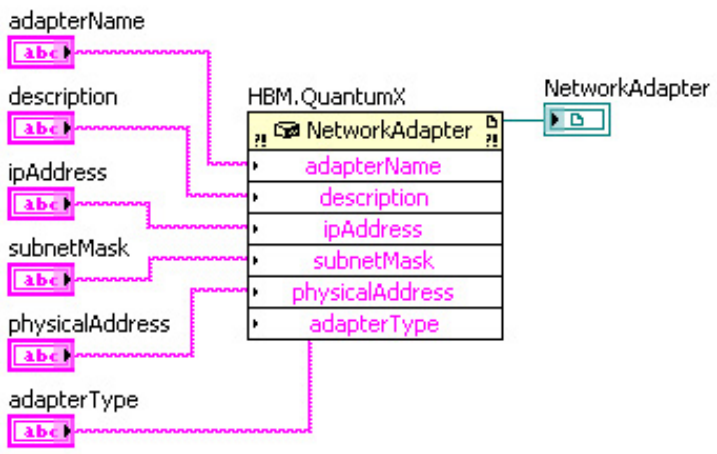
C#

```
public NetworkAdapter(
	string adapterName,
	string description,
	string ipAddress,
	string subnetMask,
	string physicalAddress,
	string adapterType
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
	adapterName As String,
	description As String,
	ipAddress As String,
	subnetMask As String,
	physicalAddress As String,
	adapterType As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| adapterName | System.String | アダプタ名 |
| description | System.String | 説明 |
| ipAddress | System.String | IPアドレス |
| subnetMask | System.String | サブネットマスク |
| physicalAddress | System.String | 物理アドレス |
| adapterType | System.String | アダプタタイプ |

## NetworkAdapter.AdapterName Property

ネットワークアダプタ名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

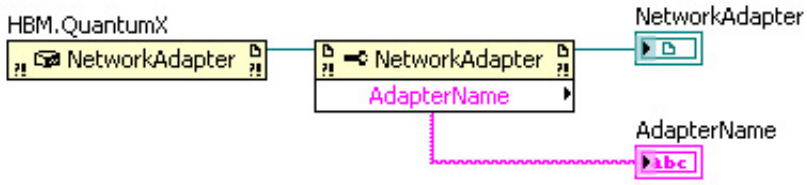
C#

```
public string AdapterName { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AdapterName As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## NetworkAdapter.AdapterType Property

アダプタタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

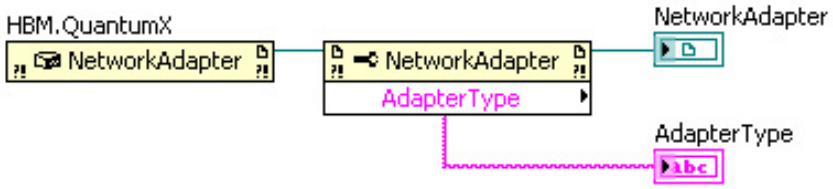
C#

```
public string AdapterType { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property AdapterType As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## NetworkAdapter.Description Property

ネットワークアダプタの説明。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

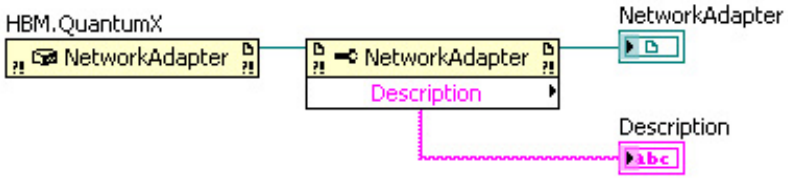
C#

```
public string Description { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Description As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## NetworkAdapter.IPAddress Property

ネットワークアダプタのIPアドレス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

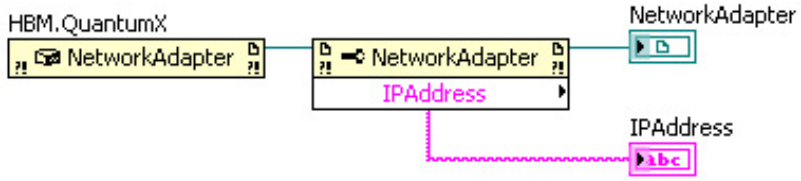
C#

```
public string IPAddress { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IPAddress As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## NetworkAdapter.PhysicalAddress Property

Media Access Control address (MACアドレス) - ネットワークアダプタの一意の識別子(例えば"90：B1：00:00:00:00")。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

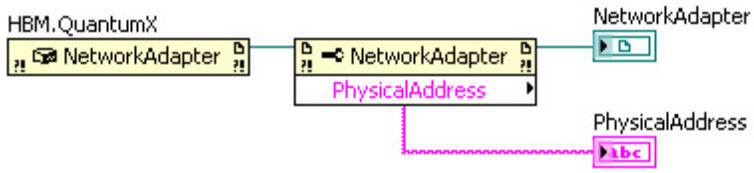
C#

```
public string PhysicalAddress { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property PhysicalAddress As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## NetworkAdapter.SubnetMask Property

ネットワークアダプタのサブネットマスク。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

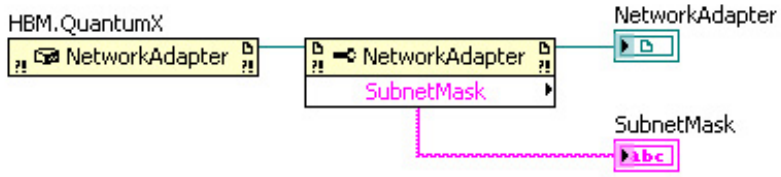
C#

```
public string SubnetMask { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property SubnetMask As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# NtpQualityクラス

**NtpQuality Class**
NTPQで照会した結果を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class NtpQuality
```

Visual Basic
```
Public Class NtpQuality
```

継承階層

System.Object
  HBM.QuantumX.NtpQuality

## NtpQuality Members

NtpQuality型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Delay | リモートピアまたはサーバ(msec)の往復遅延。 |
| IsNtpqStringValid | NTPQ文字列が期待した形式かどうかを示す値を取得。 |
| IsServerAvailable | NTPQの結果が空きかどうかを示す値を取得。 |
| Jitter | リモートピアまたはサーバ(複数時間サンプルの差のRMS、msec)に報告された時間のずれ(ゆらぎ)。 |
| NtpQ | NTPQ結果の取得。 |
| Offset | ローカルホストおよびリモートピアまたはサーバ(RMS、msec)間で報告された時間にオフセット(位相)。 |
| Poll | ポーリング周期。 |
| Reach | ポーリングを記録する8-bit左シフトのシフトレジスタ値(bit set = successful, bit reset = fail)。 |
| RefID | リモートピアまたはサーバのどこが同期しているか。 |
| Remote | "LOCAL"と同期中のリモートピアまたはサーバのローカルホスト(利用可能なリモートピアまたはサーバが無かった場合も含まれる)。 |
| Stratum | リモートピアまたはサーバの階層。 |
| Type | タイプ(注釈を参照)。 |
| When | 最後のポーリング。 |

## NtpQuality.Delay Property

リモートピアまたはサーバ(msec)の往復遅延。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public double Delay { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Delay As Double
        Get
        Private Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## NtpQuality.IsNtpqStringValid Property

NTPQ文字列が期待した形式かどうかを示す値を取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public bool IsNtpqStringValid { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IsNtpqStringValid As Boolean
        Get
        Private Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>NTPQ文字列が期待した形式の場合はtrue。 |

## NtpQuality.IsServerAvailable Property

NTPQの結果が空きかどうかを示す値を取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

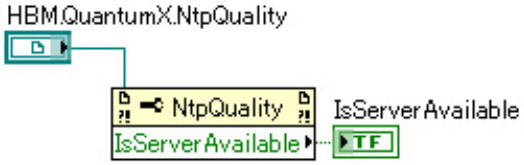
C#

```
public bool IsServerAvailable { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property IsServerAvailable As Boolean
       Get
       Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>NTPQの結果が利用可能な場合はtrue。 |

## NtpQuality.Jitter Property

リモートピアまたはサーバ(複数時間サンプルの差のRMS、msec)に報告された時間のずれ(ゆらぎ)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public double Jitter { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Jitter As Double
        Get
        Private Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## NtpQuality.NtpQ Property

NTPQ結果の取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public string NtpQ { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property NtpQ As String
       Get
       Private Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## NtpQuality.Offset Property

ローカルホストおよびリモートピアまたはサーバ(RMS、msec)間で報告された時間にオフセット(位相)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public double Offset { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Offset As Double
        Get
        Private Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Double |

## NtpQuality.Poll Property

ポーリング周期。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

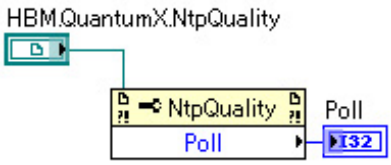
C#

```
public int Poll { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Poll As Integer
       Get
       Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## NtpQuality.Reach Property

ポーリングを記録する8-bit左シフトのシフトレジスタ値(bit set = successful, bit reset = fail)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

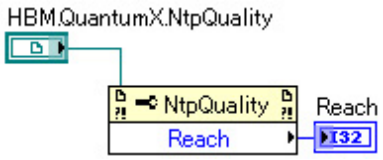
C#

```
public int Reach { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Reach As Integer
        Get
        Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

注意:
通常は8進数ですが、ここでは10進数で表示。

## NtpQuality.RefID Property

リモートピアまたはサーバのどこが同期しているか。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

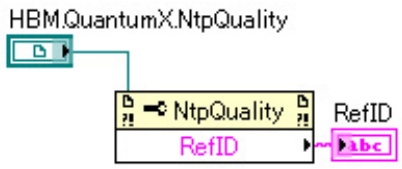
C#

```
public string RefID { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property RefID As String
        Get
        Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## NtpQuality.Remote Property

"LOCAL"と同期中のリモートピアまたはサーバのローカルホスト(利用可能なリモートピアまたはサーバが無かった場合も含まれる)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

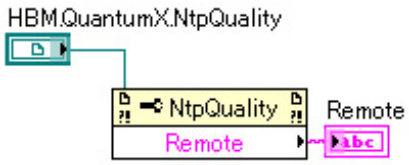
C#

```
public string Remote { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Remote As String
       Get
       Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## NtpQuality.Stratum Property

リモートピアまたはサーバの階層。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

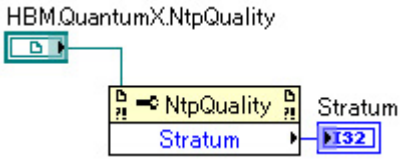
C#

```
public int Stratum { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Stratum  As Integer
       Get
       Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## NtpQuality.Type Property

タイプ(注釈を参照)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public char Type { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Type As Char
        Get
        Private Set
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Char |

注釈:

u: unicast or manycast client,
b: broadcast or multicast client,
l: local reference clock,
s: symmetric peer,
A: manycast server,
B: broadcast server,
M: multicast server

## NtpQuality.When Property

最後のポーリング。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

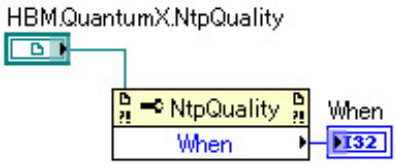
C#

```
public int When { get; private set; }
```

Visual Basic

```
Public Property When As Integer
       Get
       Private Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

# Problemクラス

**Problem Class**
任意の"assign"コマンドの実行中に発生する可能性があるエラーまたは警告を記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class Problem
```

Visual Basic
```
Public Class Problem
```

継承階層

System.Object
  HBM.QuantumX.Problem

## Problem Members

Problem型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Problem () | Problemクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| Problem(Problem.eProblemType, Int32, String, String, String) | Problemクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Context | 問題の原因となるプロパティのXPath。 |
| ID | 問題のエラー番号。 |
| Text | 問題について説明するテキスト。 |
| Type | 問題のタイプ。 |
| Value | 問題の原因となるプロパティ。 |

## Problem Constructor

Problemクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

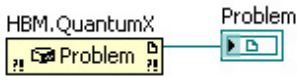
C#

```
public Problem()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## Problem Constructor (Problem.eProblemType, Int32, String, String, String)

Problemクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

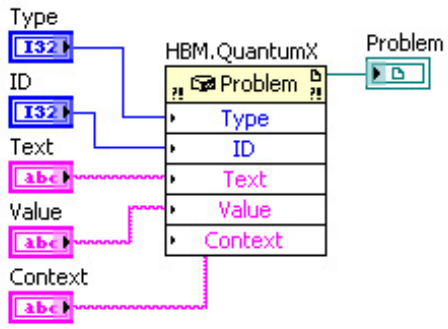
C#

```
public Problem(
       Problem.eProblemType Type,
       int ID,
       string Text,
       string Value,
       string Context
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       Type As Problem.eProblemType,
       ID As Integer,
       Text As String,
       Value As String,
       Context As String
)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Type | HBM.QuantumX.Problem.eProblemType | 問題のタイプ。 |
| ID | System.Int32 | 問題のエラー番号。 |
| Text | System.String | 問題について説明するテキスト。 |
| Value | System.String | 問題の原因となるプロパティ。 |
| Context | System.String | 問題の原因となるプロパティのXPath。 |

## Problem.Context Property

問題の原因となるプロパティのXPath。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

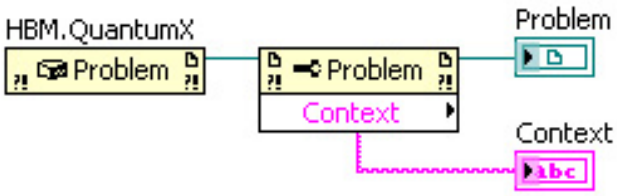
C#

```
public string Context { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Context As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Problem.ID Property

問題のエラー番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

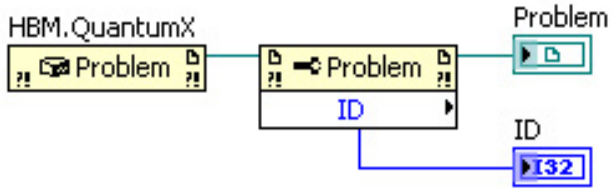
C#

```
public int ID { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property ID As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## Problem.Text Property

問題について説明するテキスト。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

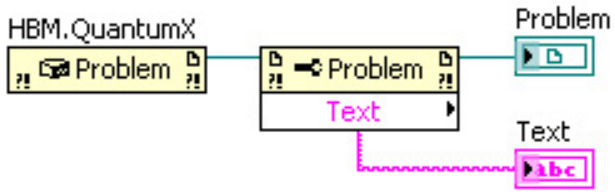
C#

```
public String Text { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Text As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## Problem.Type Property

問題のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

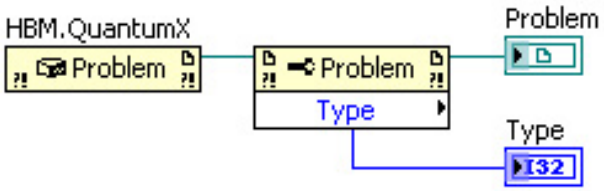
C#

```
public Problem.eProblemType Type { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Type As Problem.eProblemType
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Problem.eProblemType |

## Problem.Value Property

問題の原因となるプロパティ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

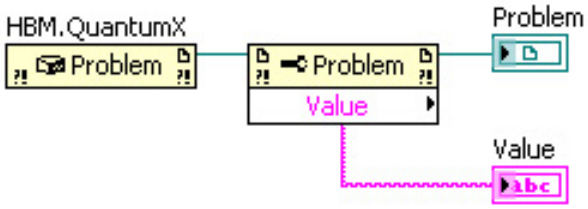
C#

```
public string Value { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property Value As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

# PtpQualityクラス

**PtpQuality Class**
モジュールのPTP品質についてのパラメータを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class PtpQuality : ICloneable
```

Visual Basic
```
Public Class PtpQuality
       Implements ICloneable
```

継承階層

System.Object
 HBM.QuantumX.PtpQuality

## PtpQuality Members

PtpQuality型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| PtpQuality() | PtpQualityクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| PtpQuality(String) | PtpQualityクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Clone | 自身のディープコピーを作成します。 |
| ConvertFromXML | XMLスニペットをPtpQualityプロパティに変換します。 |
| ConvertToXML | PtpQualityプロパティをXMLスニペットに変換します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GrandmasterID | PTPのグランドマスター(MACアドレス)。 |
| MasterOffset | nsec単位でのマスターオフセット(±2,147,483,648 nsec == 2.14 secでオーバーフロー)。 |
| SyncMode | PTP同期モード。 |
| TimeScaleFlags | IEEEで規定されているtimePropertiesDSの時間スケールフラグの設定。 |
| UtcOffset | 秒単位のUTCオフセット。 |
| UtcOffsetUsed | 時間補正にUTCオフセットを使用するかどうかを決定。 |

## PtpQuality Constructor

PtpQualityクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

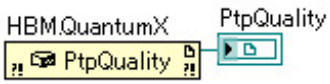
C#

```
public PtpQuality()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## PtpQuality Constructor (String)

PtpQualityクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

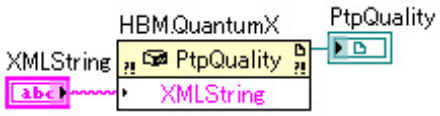
C#

```
public PtpQuality(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLString  As String,
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PtpQuality.Clone Method

自身のディープコピーを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

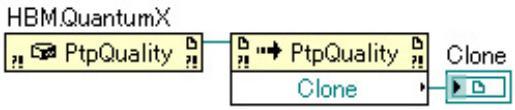
C#

```
public Object Clone()
```

Visual Basic

```
Public Function Clone As Object,
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Clone | Object | PtpQualityオブジェクトのディープコピー。 |

実装

ICloneable.Clone()

## PtpQuality.ConvertFromXML Method

XMLスニペットをPtpQualityプロパティに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

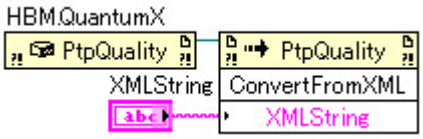
C#

```
public void ConvertFromXML(
       string XMLString
)
```

Visual Basic

```
Public ConvertFromXML (
       XMLString As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLString | System.String | XMLスニペット。 |

## PtpQuality.ConvertToXML Method

PtpQualityプロパティをXMLスニペットに変換します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

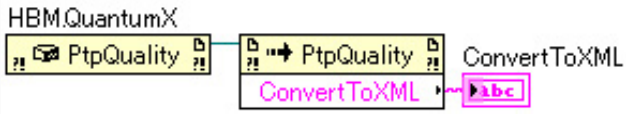
C#

```
public string ConvertToXML()
```

Visual Basic

```
Public Function ConvertToXML As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConvertToXML | String | PtpQualityプロパティのXML表現。 |

## PtpQuality.GrandmasterID Property

PTPのグランドマスター(MACアドレス)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

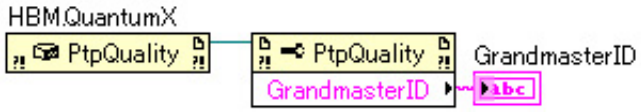
C#

```
public string GrandmasterID { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property GrandmasterID As String
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## PtpQuality.MasterOffset Property

nsec単位でのマスターオフセット(±2,147,483,648 nsec == 2.14 secでオーバーフロー)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

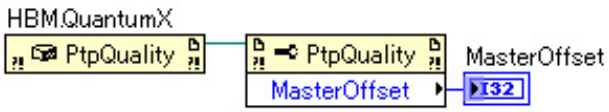
C#

```
public int MasterOffset { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property MasterOffset As Integer
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## PtpQuality.SyncMode Property

PTP同期モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

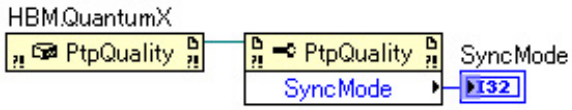
C#

```
public ePtpSyncMode SyncMode { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property SyncMode As ePtpSyncMode
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePtpSyncMode |

## PtpQuality.TimeScaleFlags Property

IEEEで規定されているtimePropertiesDSの時間スケールフラグの設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

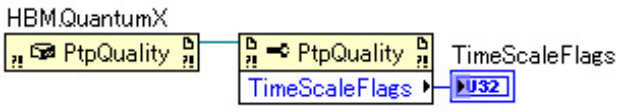
C#

```
public ePtpTimeScaleFlags TimeScaleFlags { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property TimeScaleFlags As ePtpTimeScaleFlags
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ePtpTimeScaleFlags |

## PtpQuality.UtcOffset Property

秒単位のUTCオフセット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

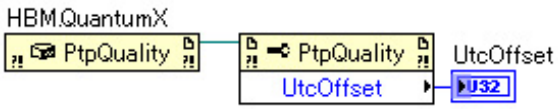
C#

```
public uint UtcOffset { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property UtcOffset As UInteger
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## PtpQuality.UtcOffsetUsed Property

時間補正にUTCオフセットを使用するかどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

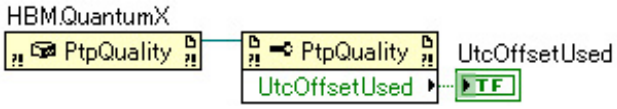
C#

```
public bool UtcOffsetUsed { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property UtcOffsetUsed As Boolean
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean |

# QXSimpleDAQクラス

## QXSimpleDAQ Class

QXSimpleDAQは、データ収録関数への容易なアクセスを実現しています。センサおよび信号(QXSystem.AssignSensorおよびQXSystem.AssignSyncSignalを介してなど)を設定すると、データ収録を行う準備が整います。QXSimpleDAQはデータ収録を設定し実行するために、次の機能を提供します:

- 計測信号を登録
- データ収録を開始
- 測定ブロックの読み込み
- 目的の信号値の読み取り
- データ収録を停止

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static class QXSimpleDAQ
```

Visual Basic

```
Public NotInheritable Class QXSimpleDAQ
```

継承階層

System.Object
  HBM.QuantumX.QXSimpleDAQ

例

サンプルプログラムは、このマニュアルの「例」の章を参照してください。

## QXSimpleDAQ Members

QXSimpleDAQ型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GetDataBlock | 測定を行う各信号からMaxMeasurementValues値を取得し、内部バッファに格納します。このバッファサイズは、SubscribeSignal(UInt64, String, Int32, Int32)関数のBufferSize引数で定義され、GetDataBlock中に問題がある場合に発生します。例外を引き起こす詳細を所得するため、DataBlockProblemリストを参照します。 |
| GetSignalData | 特定のUserSignalIDの信号の測定値からMeasurementValuesオブジェクトを作成します。 |
| GetSignalDescription | UserSignalIDによる信号の説明のリファレンスを返します。 |
| GetSinglePoint(UInt64, String, Double) | チャネル(物理的な基準)から単一の測定点を取得します。 |
| GetSinglePoint(UInt64, Int32, Int32, eScaleType, Double) | チャネルから単一の測定点を取得します。 |
| GetSinglePoint(UInt64, Int32, Int32, Int32, eConnectorTypes, Single) | チャネル(物理的な基準)から単一の測定点を取得します。 |
| GetSingleShot | デバイスのすべてのチャネルからのワンショットを取得します。 |
| GetSystemShot | 接続されているすべてのデバイスおよびそのサブデバイスのすべてのチャネルからワンショットを取得します。 |
| StartDAQ | ただちにデータ収集を開始します。 |
| StartDAQ(Boolean) | **廃止**。<br>ただちにデータ収集を開始します。<br>ストリーミングは変更されStartSynchronized使用されません。 |
| StopDAQ | ただちにデータ収集を停止します。 |
| SubscribeDigitalIOSignal | デジタルI/O信号(測定チャネル)の予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |
| SubscribeLimitSwitchSignal | リミットスイッチ信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |
| SubscribeMathSignal(UInt64, Int32, Int32, Int32, Int32) | Math信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |
| SubscribeMathSignal(UInt64, Int32, Int32, eMathTypes, Int32, Int32) | **廃止**。<br>Math信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |
| SubscribePeakSignal | ピーク信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |
| SubscribeSignal(UInt64, String, Int32, Int32) | 信号の予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |
| SubscribeSignal(UInt64, String, Int32, UInt32) | 信号の予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |
| SubscribeSignal(UInt64, Int32, Int32, Int32, eAdditionalConnectorTypes, Int32, Int32) | 信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |
| SubscribeSignal(UInt64, Int32, Int32, Int32, eConnectorTypes, Int32, Int32) | 信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。 |

## QXSimpleDAQ.GetDataBlock Method

測定を行う各信号からMaxMeasurementValues値を取得し、内部バッファに格納します。このバッファサイズは、SubscribeSignal(UInt64, String, Int32, Int32)関数のBufferSize引数で定義され、GetDataBlock中に問題がある場合に発生します。例外を引き起こす詳細を所得するため、DataBlockProblemリストを参照します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

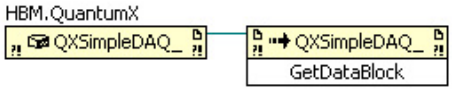
C#

```
public static void GetDataBlock()
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub GetDataBlock
```

LabVIEW




注釈

異なったスレッドから同時にこのメソッドを呼び出せません。

## QXSimpleDAQ.GetSignalData Method

特定のUserSignalIDの信号の測定値からMeasurementValuesオブジェクトを作成します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

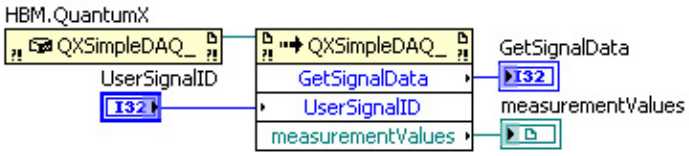
C#

```
public static int GetSignalData(
       int UserSignalID,
       out MeasurementValues measurementValues
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function GetSignalData (
       UserSignalID As Integer,
       <OutAttribute> ByRef measurementValues As MeasurementValues
) As Integer
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UserSignalID | System.Int32 | 有効なUUIDおよびSubscribeSignalで追加された DeviceSignalNumber 。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GetSignalData | Int32 | 有効な測定数。 |
| measurementValues | HBM.QuantumX.MeasurementValues | 信号UserSignalIDの測定値を保持する MeasurementValuesオブジェクトのリファレンス。 |

## QXSimpleDAQ.GetSignalDescription Method

UserSignalIDによる信号の説明のリファレンスを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static SignalDescription GetSignalDescription(
       int UserSignalID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function GetSignalDescription (
       UserSignalID As Integer
) As SignalDescription
```

LabVIEW

| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(SubscribeSignalを参照)。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| GetSignalDescription | SignalDescription | UserSignalIDで指定した信号の説明のリファレンス。 |

## QXSimpleDAQ.GetSinglePoint Method (UInt64, String, Double)

チャネル(物理的な基準)から単一の測定点を取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

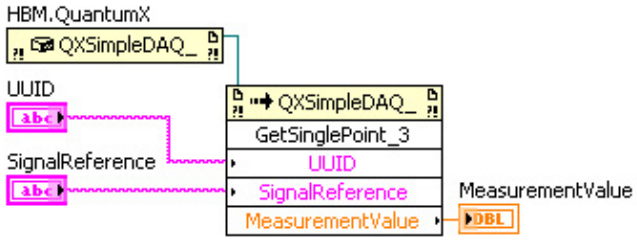
C#

```
public static void GetSinglePoint(
        ulong UUID,
        string SignalReference,
        out double MeasurementValue
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub GetSinglePoint (
        UUID As ULong,
        SignalReference As String,
        <OutAttribute> ByRef MeasurementValue As Double
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| SignalReference | System.String | 信号のリファレンス。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| MeasurementValue | System.Double | 測定の戻り値。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.GetSinglePointFailedException |

## QXSimpleDAQ.GetSinglePoint Method (UInt64, Int32, Int32, eScaleType, Double)

チャネルから単一の測定点を取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

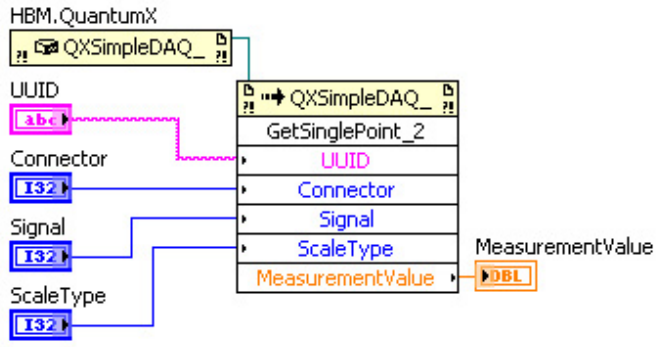
C#

```
public static void GetSinglePoint(
       ulong UUID,
       int Connector,
       int Signal,
       eScaleType ScaleType,
       out double MeasurementValue
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub GetSinglePoint (
       UUID As ULong,
       Connector As Integer,
       Signal As Integer,
       ScaleType As eScaleType,
       <OutAttribute> ByRef MeasurementValue As Double
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | 信号が位置しているコネクタ番号。 |
| Signal | System.Int32 | 測定値を取得したい信号番号。 |
| ScaleType | HBM.QuantumX.eScaleType | 測定値に適用されるスケールタイプ。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| MeasurementValue | System.Double | 測定の戻り値。 |

| 注釈 |
|---|
| このメソッドはアナログ入力(CAN、Math、Peakなどではなく)のみの値を取得します。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.GetSinglePointFailedException |

## QXSimpleDAQ.GetSinglePoint Method (UInt64, Int32, Int32, Int32, eConnectorTypes, Single)

チャネル(物理的な基準)から単一の測定点を取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

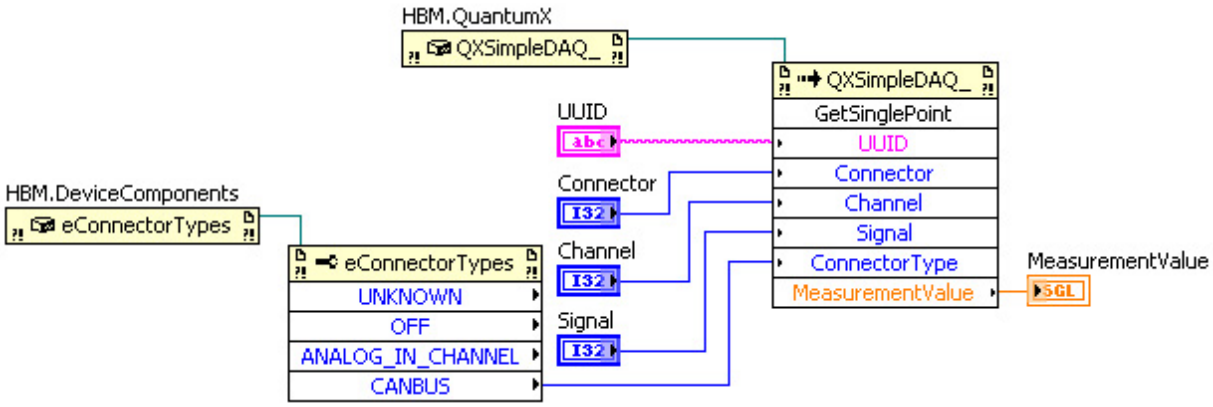
C#

```
public static void GetSinglePoint(
ulong UUID,
       int Connector,
       int Channel,
       int Signal,
       eConnectorTypes ConnectorType,
       out float MeasurementValue
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub GetSinglePoint (
       UUID As ULong,
       Connector As Integer,
       Channel As Integer,
       Signal As Integer,
       ConnectorType As eConnectorTypes,
       <OutAttribute> ByRef MeasurementValue As Single
)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | 信号が位置しているコネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | 信号のチャネル番号。 |
| Signal | System.Int32 | 測定値を取得したい信号番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | 割り当てるeConnectorTypes。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| MeasurementValue | System.Single | 測定の戻り値。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.GetSinglePointFailedException |

## QXSimpleDAQ.GetSingleShot Method

デバイスのすべてのチャネルからのワンショットを取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

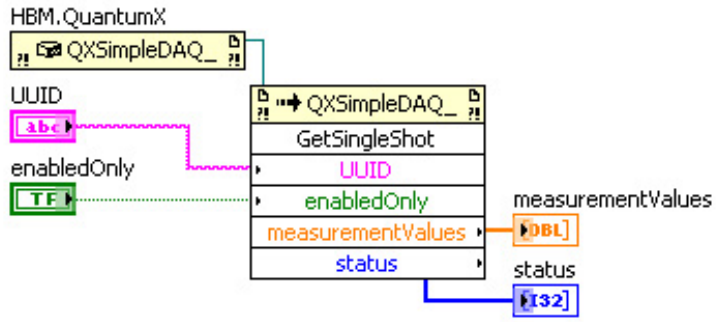
C#

```
public static void GetSingleShot(
       ulong UUID,
       bool enabledOnly,
       out double[] measurementValues,
       out eDAQValueState[] states
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub GetSingleShot (
       UUID As ULong,
       enabledOnly As Boolean,
       <OutAttribute> ByRef measurementValues As Double(),
       <OutAttribute> ByRef states As eDAQValueState()
)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| enabledOnly | System.Boolean | アクティブなコネクタからのみ値を取得する場合はtrueで、それ以外はfalse。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| MeasurementValues | System.Double[] | 測定の戻り値。 |
| states | HBM.QuantumX.eDAQValueState[] | DAQ値のステータス。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.GetSingleShotFailedException |
| HBM.QuantumX.GetDataBlockFailedException |

## QXSimpleDAQ.GetSystemShot Method

接続されているすべてのデバイスおよびそのサブデバイスのすべてのチャネルからワンショットを取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

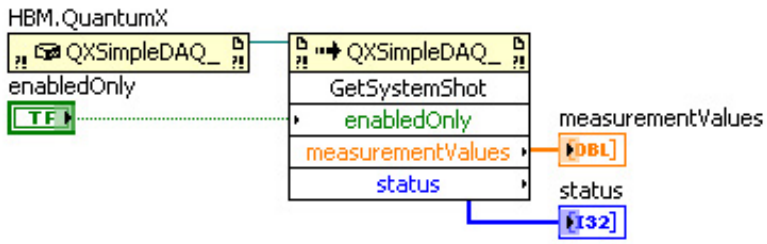
C#

```
public static void GetSystemShot(
       bool enabledOnly,
       out double[] measurementValues,
       out eDAQValueState[] states
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub GetSystemShot (
       enabledOnly As Boolean,
       <OutAttribute> ByRef measurementValues As Double(),
       <OutAttribute> ByRef states As eDAQValueState()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| enabledOnly | System.Boolean | アクティブなコネクタからのみ値を取得する場合はtrueで、それ以外はfalse。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| MeasurementValues | System.Double[] | 測定の戻り値。 |
| states | HBM.QuantumX.eDAQValueState[] | DAQ値のステータス。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.GetSingleShotFailedException |

## QXSimpleDAQ.StartDAQ Method

ただちにデータ収集を開始します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static void StartDAQ()
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub StartDAQ
```

LabVIEW

## QXSimpleDAQ.StartDAQ Method (Boolean)

**廃止。**
ストリーミングは変更されStartSynchronized使用されません。

ただちにデータ収集を開始します。StartSynchronizedがtrueの場合、関数はすべての関連するデバイスを同期して開始します。
例えば: データ取得のために2つのデバイス(有線のFireWire経由)を使用します。同期したデータ収集を開始した場合、デバイスの測定値の最初のタイムスタンプは等しくなります。そうしないと、ずれたタイムスタンプが表示されることになります(各デバイスの実際の時間に依存)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

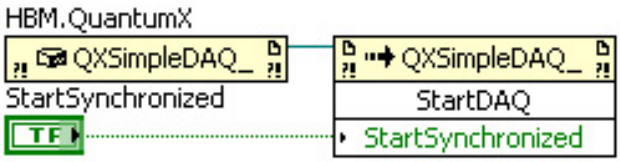
C#

```
[ObsoleteAttribute("Please use StartDAQ() without parameter.", false)]
public static void StartDAQ(
       bool StartSynchronized
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("Please use StartDAQ() without parameter.", false)>
Public Shared Sub StartDAQ (
       StartSynchronized As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| StartSynchronized | System.Boolean | trueは同期した測定の開始。 |

## QXSimpleDAQ.StopDAQ Method

ただちにデータ収集を停止します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

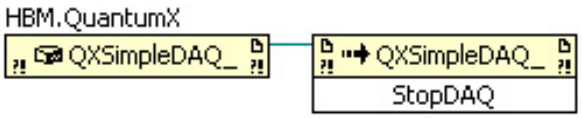
C#

```
public static void StopDAQ()
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub StopDAQ
```

LabVIEW



## QXSimpleDAQ.SubscribeDigitalIOSignal Method

デジタルI/O信号(測定チャネル)の予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

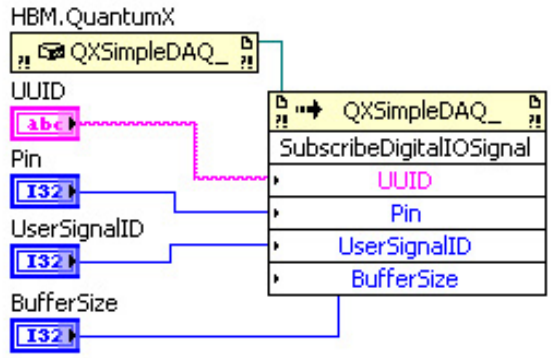
C#

```
public static void SubscribeDigitalIOSignal(
       ulong UUID,
       int Pin,
       int UserSignalID,
       int BufferSize
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SubscribeDigitalIOSignal (
       UUID As ULong,
       Pin As Integer,
       UserSignalID As Integer,
       BufferSize As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| Pin | System.Int32 | デジタルI/Oピンの番号。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| BufferSize | System.Int32 | バイト単位での測定値の最大バッファサイズ(またGetDataBlock()経由で転送されるバイト数)。 |

注釈

注意: SubscribeSignal (...) はSignalReferenceの引数とともに使用することをお勧めします。

## QXSimpleDAQ.SubscribeLimitSwitchSignal Method

リミットスイッチ信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

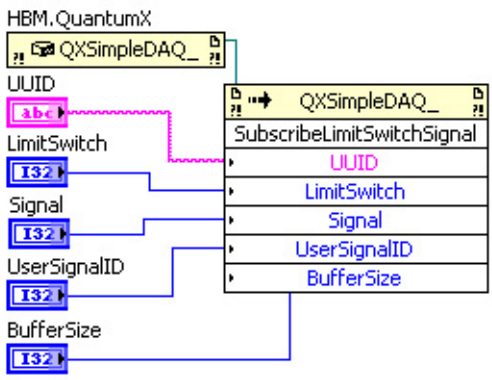
C#

```
public static void SubscribeLimitSwitchSignal(
       ulong UUID,
       int LimitSwitch,
       int Signal,
       int UserSignalID,
       int BufferSize
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SubscribeLimitSwitchSignal (
       UUID As ULong,
       LimitSwitch As Integer,
       Signal As Integer,
       UserSignalID As Integer,
       BufferSize As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| LimitSwitch | System.Int32 | デジタルI/Oピンの番号。 |
| Signal | System.Int32 | 測定の一員となる信号の信号数(0..n)。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| BufferSize | System.Int32 | バイト単位での測定値の最大バッファサイズ(またGetDataBlock()経由で転送されるバイト数)。 |

注釈

注意: SubscribeSignal (...) はSignalReferenceの引数とともに使用することをお勧めします。

## QXSimpleDAQ.SubscribeMathSignal Method(UInt64, Int32, Int32, Int32, Int32)

Math信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

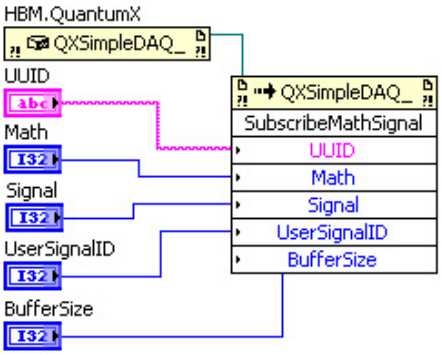
C#

```
public static void SubscribeMathSignal(
        ulong UUID,
        int Math,
        int Signal,
        int UserSignalID,
        int BufferSize
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SubscribeMathSignal (
        UUID As ULong,
        Math As Integer,
        Signal As Integer,
        UserSignalID As Integer,
        BufferSize As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| Math | System.Int32 | Math番号。 |
| Signal | System.Int32 | 測定の一員となる信号の信号数(0..n)。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| BufferSize | System.Int32 | バイト単位での測定値の最大バッファサイズ(またGetDataBlock()経由で転送されるバイト数)。 |

注釈

注意: SubscribeSignal (...) はSignalReferenceの引数とともに使用することをお勧めします。

## QXSimpleDAQ.SubscribeMathSignal Method (UInt64, Int32, Int32, eMathTypes, Int32, Int32)

**廃止。**

Math信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

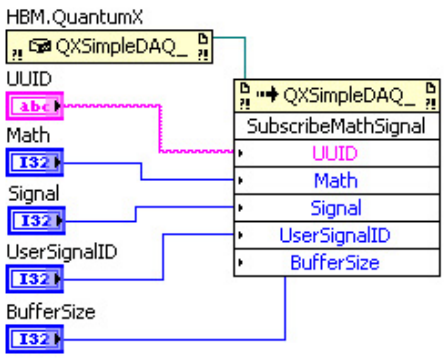
C#

```
[ObsoleteAttribute("Please use SubscribeSignal() with signal reference parameter or
SubscribeMathSignal() without type parameter.",
       true)]
public static void SubscribeMathSignal(
       ulong UUID,
       int Math,
       eMathTypes Type
       int UserSignalID,
       int BufferSize
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("Please use SubscribeSignal() with signal reference parameter or
SubscribeMathSignal() without type parameter.",
       true)>
Public Shared Sub SubscribeMathSignal (
       UUID As ULong,
       Math As Integer,
       Signal As Integer,
       Type As eMathTypes,
       UserSignalID As Integer,
       BufferSize As Integer
)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| Math | System.Int32 | Math番号。 |
| Signal | System.Int32 | 測定の一員となる信号の信号数(0..n)。 |
| Type | HBM.DeviceComponents.eMathTypes | Math関数のタイプ。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| BufferSize | System.Int32 | バイト単位での測定値の最大バッファサイズ(またGetDataBlock()経由で転送されるバイト数)。 |

| 注釈 |
|---|
| 注意: SubscribeSignal (...) はSignalReferenceの引数とともに使用することをお勧めします。 |

## QXSimpleDAQ.SubscribePeakSignal Method

ピーク信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

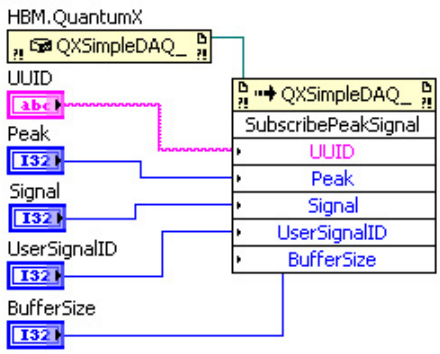
C#

```
public static void SubscribePeakSignal(
       ulong UUID,
       int Peak,
       int Signal,
       int UserSignalID,
       int BufferSize
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SubscribePeakSignal (
       UUID As ULong,
       Peak As Integer,
       Signal As Integer,
       UserSignalID As Integer,
       BufferSize As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| Math | System.Int32 | Math番号。 |
| Signal | System.Int32 | 測定の一員となる信号の信号数(0..n)。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| BufferSize | System.Int32 | バイト単位での測定値の最大バッファサイズ(またGetDataBlock()経由で転送されるバイト数)。 |

注釈

注意: SubscribeSignal (...) はSignalReferenceの引数とともに使用することをお勧めします。

## QXSimpleDAQ.SubscribeSignal Method(UInt64, String, Int32, Int32)

信号の予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

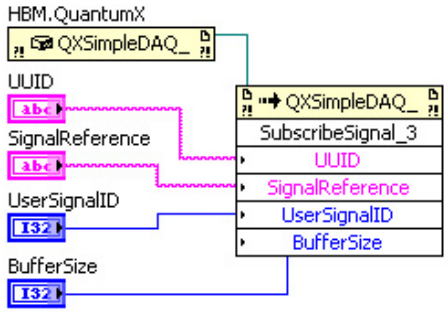
C#

```
public static void SubscribeSignal(
       ulong UUID,
       string SignalReference,
       int UserSignalID,
       int BufferSize
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SubscribeSignal (
       UUID As ULong,
       SignalReference As String,
       UserSignalID As Integer,
       BufferSize As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| SignalReference | System.String | 信号のリファレンス(SyncSignal、AsyncSignalおよびSignalのSignalReferenceはOutputを参照)。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| BufferSize | System.Int32 | バイト単位での測定値の最大バッファサイズ(またGetDataBlock()経由で転送されるバイト数)。バッファサイズが100 bytes未満の場合は100に設定(エラーメッセージを返さない)。 |

## QXSimpleDAQ.SubscribeSignal Method(UInt64, String, Int32, UInt32)

信号の予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

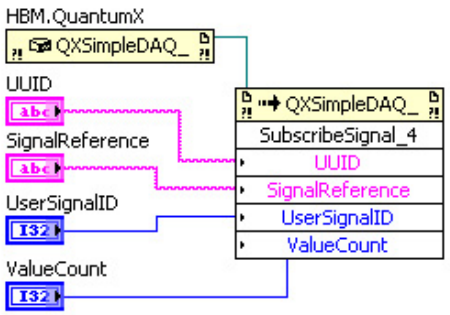
C#

```
public static void SubscribeSignal(
       ulong UUID,
       string SignalReference,
       int UserSignalID,
       uint ValueCount
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SubscribeSignal (
       UUID As ULong,
       SignalReference As String,
       UserSignalID As Integer,
       ValueCount As UInteger
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| SignalReference | System.String | 信号のリファレンス(SyncSignal、AsyncSignalおよびSignalのSignalReferenceはOutputを参照)。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| ValueCount | System.UInt32 | 最大値は内部バッファの測定値数。25未満の場合、25に設定(エラーメッセージは返しません)されます。 |

## QXSimpleDAQ.SubscribeSignal Method(UInt64, Int32, Int32, Int32, eAdditionalConnectorTypes, Int32, Int32)

信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

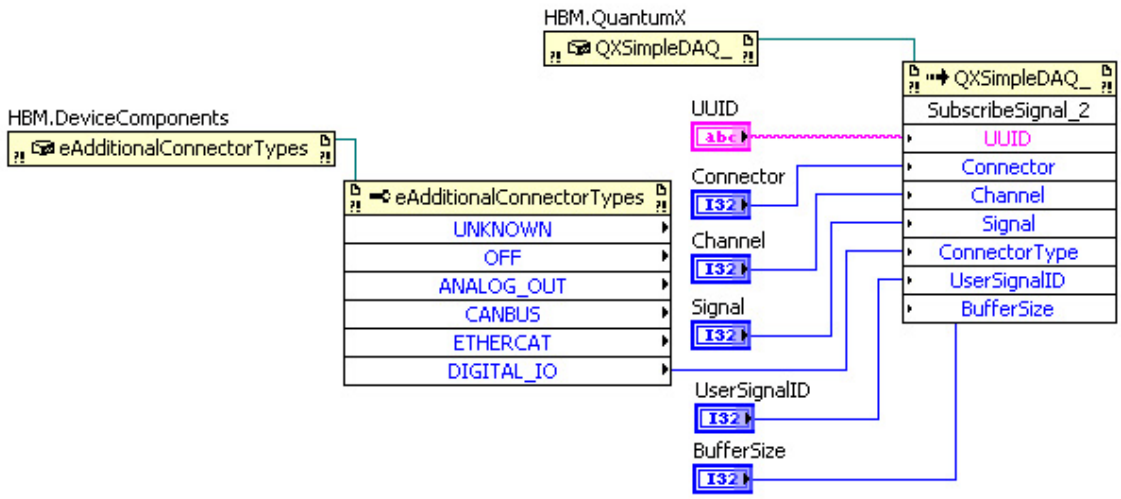
C#

```
public static void SubscribeSignal(
        ulong UUID,
        int Connector,
        int Channel,
        int Signal,
        eAdditionalConnectorTypes AdditionalConnectorType,
        int UserSignalID,
        int BufferSize
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SubscribeSignal (
        UUID As ULong,
        Connector As Integer,
        Channel As Integer,
        Signal As Integer,
        AdditionalConnectorType As eAdditionalConnectorTypes,
        UserSignalID As Integer,
        BufferSize As Integer
)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | 信号が位置しているコネクタ番号(0..n)。 |
| Channel | System.Int32 | 信号が位置しているチャネル番号(0..n)。 |
| Signal | System.Int32 | 測定値を取得したい信号番号(0..n)。 |
| AdditionalConnectorType | HBM.DeviceComponents.eAdditionalConnectorTypes | 追加コネクタのタイプ。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| BufferSize | System.Int32 | バイト単位での測定値の最大バッファサイズ(またGetDataBlock()経由で転送されるバイト数)。 |

| 注釈 |
|---|
| 注意: SubscribeSignal (...) はSignalReferenceの引数とともに使用することをお勧めします。 |

## QXSimpleDAQ.SubscribeSignal Method(UInt64, Int32, Int32, Int32, eConnectorTypes, Int32, Int32)

信号(測定チャネル)を予約や、UserSignalIDおよび信号のバッファサイズを定義します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

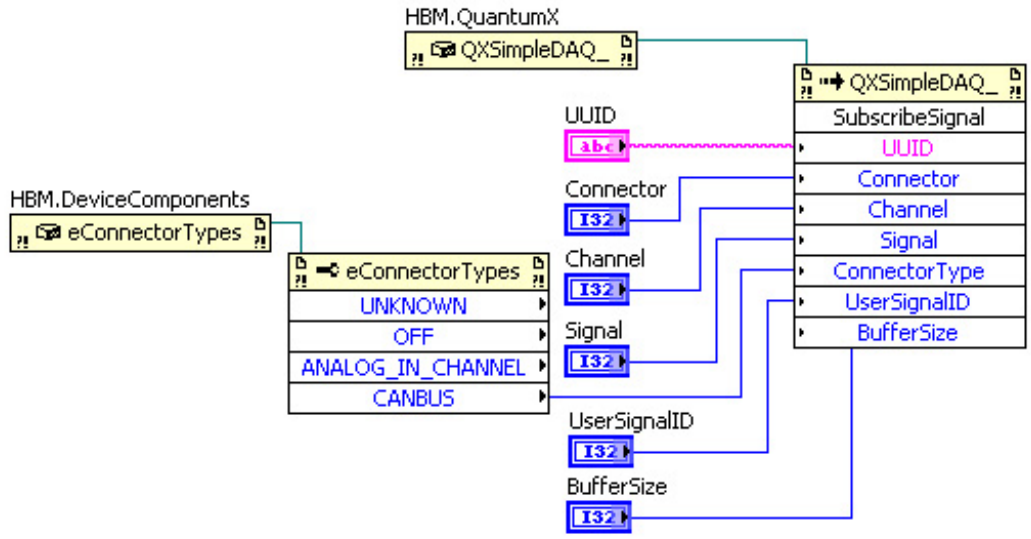
C#

```
public static void SubscribeSignal(
        ulong UUID,
        int Connector,
        int Channel,
        int Signal,
        eConnectorTypes ConnectorType,
        int UserSignalID,
        int BufferSize
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SubscribeSignal (
        UUID As ULong,
        Connector As Integer,
        Channel As Integer,
        Signal As Integer,
        ConnectorType As eConnectorTypes,
        UserSignalID As Integer,
        BufferSize As Integer
)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | チャネルを含むデバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | 信号が位置しているコネクタ番号(0..n)。 |
| Channel | System.Int32 | 信号が位置しているチャネル番号(0..n)。 |
| Signal | System.Int32 | 測定値を取得したい信号番号(0..n)。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | 割り当てるeConnectorTypes。 |
| UserSignalID | System.Int32 | 信号にアクセスする固有のID(例えばGetSignalData(Int32, MeasurementValues)のアクセス)。 |
| BufferSize | System.Int32 | バイト単位での測定値の最大バッファサイズ(またGetDataBlock()経由で転送されるバイト数)。 |

| 注釈 |
|---|
| 注意: SubscribeSignal(...) はSignalReferenceの引数とともに使用することをお勧めします。 |

# QXSystemクラス

## QXSystem Class

QXSystemはQuantumXデバイスの複合システムへのアクセスを扱います。以下が行えます:
・通信可能なデバイスをスキャン
・QuantumXデバイスの複合システムからデバイスの追加および削除
・複合システム(スキャンしたデバイスは内部でサブデバイスを接続している場合がある)の階層を調査
・読み込み、変更、デバイスの割り当て設定
・各機器のコネクタ、センサ、信号、スケーリングなどの設定コンポーネント

このような複合システムのQuantumXデバイスにアクセスするための鍵はUUID(デバイスのシリアル番号)です。デバイスにアクセスするQXSystemよって提供されるすべての機能は、このUUIDを必要とします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public static class QXSystem
```

Visual Basic
```
Public NotInheritable Class QXSystem
```

継承階層

System.Object
 HBM.QuantumX.QXSystem

デバイスの設定には2つの方法があることにに注意してください!
1つ目は物理的なQuantumXデバイスへのデバイスオブジェクトへ書き戻す前に、完全なデバイスを表すオブジェクトを取得し、このオブジェクトのプロパティ設定およびサブオブジェクト(例えばセンサ、信号...)を設定することです。
もう一つはサブオブジェクト(例えばセンサ、信号...)を直接読み取って割り当てることです。その結果、関連するサブオブジェクトだけがデバイスに送信されます。QXSimpleDAQの説明にはデバイスを設定するために、この方法を使用する例があります。

例

サンプルプログラムは、このマニュアルの「例」の章を参照してください。

## QXSystem Members

以下の表は、QXSystemによって公開されるMembersの一覧です。

| フィールド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| FIREWIREIDENTIFIER | スキャン結果のIPアドレスフィールドでのFireWire接続への識別子です。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ActivateTeds | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberのTEDSを有効化します。 |
| AreModulesInSameTopology | TopologyLists内と同じリストが、FireWireトポロジー内のリストにあるかどうか、両方のUUIDをチェックします。 |
| AssignAdditionalConnector | 指定したデバイス(UUID)にAdditionalConnectorオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignAdditionalConnectors | 指定したデバイス(UUID)へAdditionalConnectorsオブジェクト配列を割り当てます。 |
| AssignAdditionalFunctions | 指定したデバイス(UUID)へAdditionalFunctionsオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignAnalogOutChannel | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにAnalogOutChannelオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignArbitrarySignalGeneratorValues | アナログ出力信号発生器で再生するデータを設定します。 |
| AssignAsyncSignal | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberにAsyncSignal(CAN信号)オブジェクトを割り当てます。 |
| AssignCANBusBaudrate | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにCAN-Busのbaudrateを設定します。 |
| AssignCANBusECU | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにecuオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignCANBusECUs | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにecusオブジェクト配列を割り当てます。 |
| AssignCANBusErrorMode | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにErrorModeオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignCANBusSupplyVoltage | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにsupplyVoltageを設定します。 |
| AssignCANBusTermination | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにTerminationを設定します。 |
| AssignCanInChannel | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにcanInChannelオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignCanInChannelActivation | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberにactiveを設定します。 |
| AssignCanInChannels | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにCanInChannelsオブジェクト配列を割り当てます。 |
| AssignCanOutChannels | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにCanOutChannelsオブジェクト配列を割り当てます。 |
| AssignCanSensor | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberにCanSensorオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignCanTransmitChannel | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにEtherCatTransmitChannelオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignCanTransmitChannels | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにCanTransmitChannelsオブジェクト配列を割り当てます。 |
| AssignChannelName | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberにConnectorTypeおよびchannelNameを設定します。 |
| AssignConnector | 指定したデバイス(UUID)にConnectorオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignConnectors | 指定したデバイス(UUID)にQuantumXDeviceオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignConnectorType | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにConnectorTypeを設定します。 |
| AssignConnectorType_2 | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにConnectorType_2を設定します。 |
| AssignCtrlParameters | 指定したデバイス(UUID)にControlNameおよびControlSettings配列を設定します。 |

| 名前 | 説明 |
|---|---|
| AssignDataRateDomain | DataRateDomainを割り当てます。 |
| AssignDevice | 指定したデバイス(UUID)にQuantumXDeviceオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignDeviceDefaults | 指定したデバイス(UUID)の設定をデフォルト値に戻します。 |
| AssignDigitalIOPin | 指定したデバイス(UUID)にDigitalIOPinオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignDigitalIOPins | 指定したデバイス(UUID)にDigitalIOPinsオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignDigitalIOPinSignal | 指定したデバイス(UUID)およびpinNumberにdigitalIOPinSignalオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignDigitalOuts | 指定したデバイス(UUID)にDigitalOut1IsActiveおよびDigitalOut2IsActiveを設定します。 |
| AssignEtherCat | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにEtherCatオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignEtherCatTransmitChannel | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにEtherCatTransmitChannelオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignEthernet0 | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにeth0オブジェクトを割り当てます。 |
| AssignEthernet0ViaUdp | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにeth0オブジェクト(UDP)を割り当てます。 |
| AssignEthernets | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにethsオブジェクト配列を割り当てます。 |
| AssignEthernetsViaUdp | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにethsオブジェクト配列(UDP)を割り当てます。 |
| AssignExtendedSampleRateMode | 指定したデバイス(UUID)のconnectorNumbers配列にmodeを設定します。 |
| AssignLimitSwitch | 指定したデバイス(UUID)にLimitSwitchオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignLimitSwitchFunctions | 指定したデバイス(UUID)にLimitSwitchFunctionsオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignLimitSwitchSignal | 指定したlimitSwitchNumberにsignalオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignMath | 指定したデバイス(UUID)にmathオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignMathFunctions | 指定したデバイス(UUID)にmathFunctionsオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignMathOutputUnit | 指定したデバイス(UUID)のChannelNumberにsignalNumberおよびmathTypeを設定します。 |
| AssignMathSignal | 指定したデバイス(UUID)にmathNumberおよびmathTypeを設定します。 |
| AssignModuleID | 指定したデバイス(UUID)にmoduleIDを設定します。 |
| AssignModuleName | 指定したデバイス(UUID)にmoduleNameを設定します。 |
| AssignNetwork | 指定したデバイス(UUID)にnetworkオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignNetworkViaUdp | 指定したデバイス(UUID)にnetworkオブジェクト(UDP)を割り当てます。 |
| AssignOutputUnit | 指定したデバイス(UUID)のconnectorNumberおよびchannelNumberにsignalNumberおよびconnectorTypeを設定します。 |
| AssignPeak | 指定したデバイス(UUID)にpeakオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignPeakFunctions | 指定したデバイス(UUID)にpeakFunctionsオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignPeakOutputUnit | 指定したデバイス(UUID)のchannelNumberにOutputUnitオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignPeakSignal | 指定したデバイス(UUID)のpeakNumberにSignalオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignSensor | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにSensorオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignSignalGenerator | 指定したデバイス(UUID)にsignalGeneratorオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignSignalGeneratorFunctions | 指定したデバイス(UUID)にsignalGeneratorFunctionsオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignSignalGeneratorSignal | 指定したデバイス(UUID)の信号発生器番号にSignalオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignSignalName | 指定したデバイス(UUID)、ChannelおよびConnectorにSignal、ConnectorTypeおよびSignalNameを設定します。 |
| AssignSignalName_2 | 指定したデバイス(UUID)、ChannelおよびConnectorにSignal、ConnectorTypeおよびSignalNameを設定します。 |
| AssignSyncSignal | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにSyncSignalオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignSystemTime | 指定したデバイス(UUID)にシステム日付および時間を設定します(CXのみ)。 |

| 名前 | 説明 |
|---|---|
| AssignTeds | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにTEDSを設定します。 |
| AssignTedsUsage | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにtedsUsageを設定します。 |
| AssignTestSignal | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにTestSignalオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignTimeSource | 指定したデバイス(UUID)にtimeSourceオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignZero | 指定したデバイス(UUID)、ChannelおよびConnectorに0値を設定します。 |
| AssignZero_2 | 指定したデバイス(UUID)、ChannelおよびConnectorにzeroOffsetオブジェクトを割り当てます。 |
| AssignZeroMath | 指定したデバイス(UUID)にmathNumberを設定します。 |
| AssignZeroMath_2 | 指定したデバイス(UUID)のmathNumberにzeroOffsetオブジェクトを割り当てます。 |
| ChargeAmplifierReset | 指定したデバイス(UUID)のチャージアンプをリセットします。 |
| ClearPeakValue | 指定したデバイス(UUID)にpeakNumberを設定します。 |
| ClearRotationalVibrationIntegrator | RotationalVibrationをクリアします。 |
| Connect(String) | **廃止**<br>Connect(String, Int32)を使用してください。指定したIPアドレスに接続します。 |
| Connect(String, Int32) | IPAddressおよびPortを設定します。 |
| ConnectFireWire | **廃止**<br>FireWireから新しいデバイスを追加し、UUIDリストを更新します。 |
| ControlExists | モジュールのコントロールが存在するかどうかチェックします。 |
| ControlPeakFunction | 指定したデバイス(UUID)にpeakNumber、peakRunModeおよびpeakModeを設定します。 |
| Disconnect(String) | **廃止**<br>Disconnect(IPAddress, Port)を使用してください。デバイスの切断(サブデバイスも含めて)し、通信可能なUUIDのリスト(SubDevicesLinearおよびSubDevicesHierarchical)更新します。 |
| Disconnect(String, Int32) | デバイスの切断(サブデバイスも含めて)し、通信可能なUUIDのリスト(SubDevicesLinearおよびSubDevicesHierarchical)更新します。 |
| DisconnectFireWire | **廃止**<br>切断(FireWire)します。 |
| ExportDeviceXML | デバイスをXMLファイルにエクスポートします。 |
| ExportDeviceXML_2 | デバイスをXMLファイルにエクスポートします。 |
| ImportDeviceXML | XMLファイルからUUIDで指定したデバイスをインポートします。 |
| ImportDeviceXML_2 | 指定したfileNameからImportDeviceXML_2オブジェクト配列を割り当てます。 |
| ParamComLog | 通信ログをパラメータ化。 |
| ParamComLog_3 | 通信ログ(Asciiモード)をパラメータ化。 |
| ParamComLog_2 | 通信ログ(すべてのイベント)をパラメータ化。 |
| ParamComLog_4 | 通信ログ(Asciiモード、すべてのイベント)をパラメータ化。 |
| ParamDebugLog | デバッグログをパラメータ化。 |
| ParamDebugLog_3 | デバッグログ(Asciiモード)をパラメータ化。 |
| ParamDebugLog_2 | デバッグログ(すべてのイベント)をパラメータ化。 |
| ParamDebugLog_4 | デバッグログ(Asciiモード、すべてのイベント)をパラメータ化。 |
| ParamErrorLog | エラーログをパラメータ化。 |
| ParamErrorLog_3 | エラーログ(Asciiモード)をパラメータ化。 |
| ParamErrorLog_2 | エラーログ(すべてのイベント)をパラメータ化。 |
| ParamErrorLog_4 | エラーログ(Asciiモード、すべてのイベント)をパラメータ化。 |
| ReadAdditionalConnector | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadAdditionalConnectorオブジェクトを返します。 |
| ReadAdditionalConnectors | 指定したデバイス(UUID)からReadAdditionalConnectorsオブジェクト配列を返します。 |
| ReadAdditionalFunctions | 指定したデバイス(UUID)からReadAdditionalFunctionsオブジェクトを返します。 |
| ReadAnalogOutChannel | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadAnalogOutChannelオブジェクトを返します。 |
| ReadAsyncSignal | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadAsyncSignalオブジェクトを返します。 |

| 名前 | 説明 |
|---|---|
| ReadCANBusBaudrate | CAN-Busのボーレートを読み取ります。 |
| ReadCANBusECU | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびECUNumberからReadCANBusECUオブジェクトを返します。 |
| ReadCANBusECUs | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadCANBusECUオブジェクト配列を返します。 |
| ReadCANBusErrorMode Method | CAN-BusのErrorMode設定を読み取ります。 |
| ReadCANBusSupplyVoltage | CAN-Busへの供給電圧を読み取ります。 |
| ReadCANBusTermination | CAN-Busのステータスを読み取ります。 |
| ReadCanInChannel | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadCanInChannelオブジェクトを返します。 |
| ReadCanInChannelActivation | CAN-Bus入力チャネルが有効/無効かを問い合わせます。 |
| ReadCanInChannels | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadCanInChannelオブジェクト配列を返します。 |
| ReadCanOutChannels | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadCanOutChannelsオブジェクト配列を返します。 |
| ReadCanSensor | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadCanSensorオブジェクトを返します。 |
| ReadCanTransmitChannel | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadCanTransmitChannelオブジェクトを返します。 |
| ReadCanTransmitChannels | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadCanTransmitChannelsオブジェクト配列を返します。 |
| ReadChannelName | チャネル名を読み取ります。 |
| ReadCommunication | 指定したデバイス(UUID)からReadCommunicationオブジェクトを返します。 |
| ReadConnector | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadConnectorオブジェクトを返します。 |
| ReadCtrlParameters | コントロールからすべてのパラメータを読み込み、文字列配列に書き出します。 |
| ReadCtrlXmlWithParameters | 指定したコントロールからパラメータに応じたXMLを読み込みます。 |
| ReadをDomain | DataRateDomainを読み取ります。 |
| ReadDevice | 指定したデバイス(UUID)からReadDeviceオブジェクトを返します。 |
| ReadDigitalIOPin | 指定したデバイス(UUID)のpinNumberからReadDigitalIOPinオブジェクトを返します。 |
| ReadDigitalIOPins | 指定したデバイス(UUID)からReadDigitalIOPinsオブジェクトを返します。 |
| ReadDigitalIOPinSignal | 指定したデバイス(UUID)のpinNumberからReadDigitalIOPinSignalオブジェクトを返します。 |
| ReadDigitalIOs | CXモジュールからデジタルIOを読み取ります。 |
| ReadDllVersion | HBM_QX_Framework.dllよりバージョン文字列を読み取ります。 |
| ReadErrorStatus | 指定したデバイス(UUID)からReadErrorStatusオブジェクト配列を返します。 |
| ReadErrorStatus_2 | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumber、ChannelNumberおよびSignalNumberからReadErrorStatusオブジェクト配列を返します。 |
| ReadEtherCat | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadEtherCatオブジェクトを返します。 |
| ReadEtherCatTransmitChannel | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadEtherCatTransmitChannelオブジェクトを返します。 |
| ReadEthernet0 | 指定したデバイス(UUID)からReadEthernet0オブジェクトを返します。 |
| ReadEthernet0ViaUdp | 指定したデバイス(UUID)からReadEthernet0ViaUdpオブジェクトを返します。 |
| ReadEthernets | 指定したデバイス(UUID)からReadEthernetsオブジェクト配列を返します。 |
| ReadEthernetsViaUdp | 指定したデバイス(UUID)からReadEthernetsViaUdpオブジェクト配列を返します。 |
| ReadFile | 指定したデバイス(UUID)からファイル名やパスを読み込みPCに格納します。 |
| ReadLastErrorTxt | 最後に発生したエラーの説明を読み込みます。。 |
| ReadLastErrorTxt(UInt64) | 最後に発生したエラーの説明を読み込みます。。 |
| ReadLastProblems | ReadLastProblemsオブジェクト配列を返します。 |
| ReadLimitSwitch | 指定したデバイス(UUID)のLimitSwitchNumberからReadLimitSwitchオブジェクトを返します。 |

| 名前 | 説明 |
|---|---|
| ReadLimitSwitchFunctions | 指定したデバイス(UUID)からReadLimitSwitchFunctionsオブジェクトを返します。 |
| ReadLimitSwitchSignal | 指定したデバイス(UUID)のLimitSwitchNumberおよびsignalNumberからReadLimitSwitchSignalオブジェクトを返します。 |
| ReadMath | 指定したデバイス(UUID)のmathNumberからReadMathオブジェクトを返します。 |
| ReadMathFunctions | 指定したデバイス(UUID)からReadMathFunctionsオブジェクトを返します。 |
| ReadMathOutputUnit | 指定したデバイス(UUID)のchannelNumber、signalNumberおよびmathTypeからReadMathOutputUnitオブジェクトを返します。 |
| ReadMathSignal | 指定したデバイス(UUID)のmathNumber、mathTypeおよびsignalNumberからReadMathSignalオブジェクトを返します。 |
| ReadModuleID | 指定したデバイス(UUID)のモジュールIDを読み取ります。 |
| ReadModuleName | 指定したデバイス(UUID)のモジュール名を読み取ります。 |
| ReadModuleStatus | 指定したデバイス(UUID)からReadModuleStatusオブジェクト配列を返します。 |
| ReadModuleTime | 指定したデバイス(UUID)の現在のタイムスタンプを読み取ります。 |
| ReadModuleType | 指定したデバイス(UUID)のモジュールタイプを読み取ります。 |
| ReadNetwork | 指定したデバイス(UUID)からReadNetworkオブジェクトを返します。 |
| ReadNetworkAdapters | ReadNetworkAdaptersオブジェクト配列を返します。 |
| ReadNetworkViaUdp | 指定したデバイス(UUID)からReadNetworkViaUdpオブジェクトを返します。 |
| ReadNtpQuality | NTPサーバの同期品質を読み取ります。 |
| ReadOutputUnit | 指定したデバイス(UUID)のconnectorNumber、channelNumber、signalNumberおよびconnectorTypeからReadOutputUnitオブジェクトを返します。 |
| ReadPeak | 指定したデバイス(UUID)のpeakNumberからReadPeakオブジェクトを返します。 |
| ReadPeakFunctions | 指定したデバイス(UUID)からReadPeakFunctionsオブジェクトを返します。 |
| ReadPeakOutputUnit | 指定したデバイス(UUID)のchannelNumberおよびsignalNumberからReadPeakOutputUnitオブジェクトを返します。 |
| ReadPeakSignal | 指定したデバイス(UUID)のpeakNumberおよびsignalNumberからReadPeakSignalオブジェクトを返します。 |
| ReadPtpQuality | PTPサーバの同期品質を読み取ります。 |
| ReadSensor | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadSensorオブジェクトを返します。 |
| ReadSignalGenerator | 指定したデバイス(UUID)のsignalGeneratorNumberからReadSignalGeneratorオブジェクトを返します。 |
| ReadSignalGeneratorFrequency | 指定したデバイス(UUID)のsignalGeneratorNumberから信号発生器の周波数を読み取ります。 |
| ReadSignalGeneratorFunctions | 指定したデバイス(UUID)からReadSignalGeneratorFunctionsオブジェクトを返します。 |
| ReadSignalGeneratorSignal | 指定したデバイス(UUID)のsignalGeneratorNumberおよびsignalNumberからReadSignalGeneratorSignalオブジェクトを返します。 |
| ReadSignalList | 指定したデバイス(UUID)から信号リストの配列を読み取ります。 |
| ReadSignalName_2 | 指定したデバイス(UUID)のConnector、Channel、SignalおよびeAdditionalConnectorTypesから信号名を読み取ります。 |
| ReadSignalName | 指定したデバイス(UUID)のConnector、Channel、SignalおよびeConnectorTypesから信号名を読み取ります。 |
| ReadSyncSignal | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびSignalNumberからReadSyncSignalオブジェクトを返します。 |
| ReadSystemTime | 指定したCXデバイス(UUID)から、現在のシステムの日付と時刻を読み取ります。 |
| ReadSystemView | 指定したデバイス(UUID)からReadSystemViewオブジェクトを返します。 |
| ReadTeds | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからTEDSデータのバイト配列を読み取ります。 |
| ReadTedsUsage | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからTEDSの利用タイプを読み取ります。 |
| ReadTemporaryUserData | 一時的なユーザーデータを読み取ります。 |

| 名前 | 説明 |
|---|---|
| ReadTestSignal | 指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからTestSignalオブジェクトを返します。 |
| ReadTimeSource | 指定したデバイス(UUID)からReadTimeSourceオブジェクトを返します。 |
| ReadZero | 指定したデバイス(UUID)のConnector、ChannelおよびConnectorTypeからReadZeroオブジェクトを返します。 |
| ReadZeroMath | 指定したデバイス(UUID)のmathNumberからReadZeroMathオブジェクトを返します。 |
| RemoveTemporaryUserData | 指定したデバイス(UUID)のKeyで指定したTemporaryUserDataを削除します。 |
| ResetCANController | CANコントローラをリセットします。 |
| ResetZero | チャネルを0にリセットします。 |
| ResetZeroMath | 数学関数を0にリセットします。 |
| Restart (UInt64, Boolean) | モジュールをリスタートします。 |
| Restart (UInt64, Boolean, Boolean) | モジュールをリスタートします。 |
| ScanForQXDevices | IPネットワーク(利用可能な全てのネットワークアダプタを使用して)のQuantumXデバイスをスキャンします。 |
| ScanForQXDevices(Int32) | IPネットワークでQuantumXデバイスをスキャンします。 |
| ScanForQXDevices(Int32[]) | IPネットワークでQuantumXデバイスをスキャンします。 |
| ScanForQXDevices(String) | ネットワークアダプタでQuantumXデバイスをスキャンします。 |
| ScanForQXDevicesOld | IPネットワーク(利用可能な全てのネットワークアダプタを使用して)のQuantumXデバイス(旧バージョンのファームウェア)をスキャンします。 |
| SendCanMessage | CANメッセージを送信します。 |
| SendUserCanMessage | ユーザが定義したCANメッセージを送信します。 |
| SetAutoAdjustAutoCalInhibition | 自動調整および自動キャリブレーションを設定します。 |
| SetDigitalOutPinState | デジタル出力の論理状態を設定します。 |
| SetExternalCalibrationSignal | 外部キャリブレーションを設定します。 |
| SetLedMode | LEDモードを設定します。 |
| SetShuntCalibration | シャントキャリブレーションを行います。 |
| SetTemporaryUserData | 一時的なユーザーデータを書き込みます。 |
| SetUILanguage | エラーメッセージやプロパティなどを表示する言語を設定します。 |
| Unload | DLLをメモリから解放します。 |
| WaitForParameterizationToFinish | パラメータ設定のタイムアウトを設定します。 |

| **プロパティ** | |
|---|---|
| ScanReplyWaitTime | スキャン応答の待ち時間の取得または設定(1,000～20,000 ms、デフォルトは6,000 ms)。 |
| SubDevicesHierarchical | 通信可能なすべてのデバイスのサブデバイス階層リスト。 |
| SubDevicesLinear | 通信可能なすべてのデバイスのサブデバイスのフラットリスト。 |
| TopologyLists | トポロジーリストの取得。<br>このコレクションのサブリストには、FireWireにより一つのトポロジーを構築した、相互接続されているすべてのUUIDが含まれています。すべてのモジュールはEthernet接続されていても、一つのトポロジーとすることができるため、同じリスト内に配置されます。またFireWireで相互接続されている場合、接続されたモジュール以外の未接続モジュールをリストに含むことができます。 |
| UseTraceLog | .NETスタイルでログをトレースをします。 |

## QXSystem.FIREWIREIDENTIFIER Field

スキャン結果のIPアドレスフィールドでのFireWire接続への識別子です。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static string FIREWIREIDENTIFIER
```

Visual Basic

```
Public Shared FIREWIREIDENTIFIER As String
```

フィールド値: String

## QXSystem.ActivateTeds Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberのTEDSを有効化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

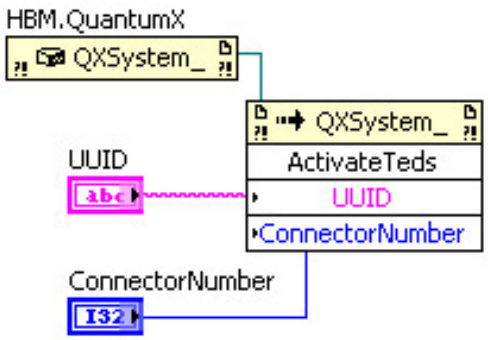
C#

```
public static void ActivateTeds(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ActivateTeds (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | TEDSを有効化するコネクタ番号。 |

## QXSystem.AreModulesInSameTopology Method

TopologyLists内と同じリストが、FireWireトポロジー内のリストにあるかどうか、両方のUUIDをチェックします。
これは、モジュールのアイソクロナス信号を他のモジュールで使用できるかどうかを確認するために使用します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

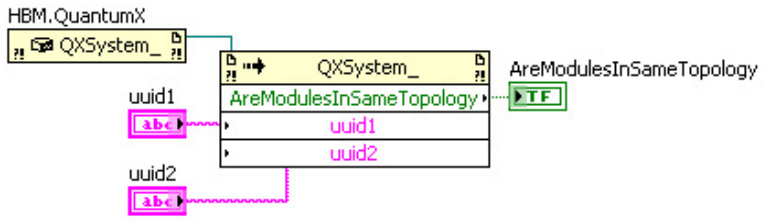
C#

```
public static bool AreModulesInSameTopology(
       ulong uuid1,
       ulong uuid2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function AreModulesInSameTopology (
       UUID1 As ULong,
       UUID2 As ULong
) As Boolean
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID1 | System.UInt64 | 最初のUUID。 |
| UUID2 | System.UInt64 | 2番目ののUUID。 |
| AreModulesInSameTopology | Boolean | 両方のモジュールが同じFireWireトポロジー内にある場合はtrueで、他はfalse |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| AreModulesInSameTopology | Boolean | 両方のモジュールが同じFireWireトポロジー内にある場合はtrueで、他はfalse |

## QXSystem.AssignAdditionalConnector Method

指定したデバイス(UUID)にAdditionalConnectorオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

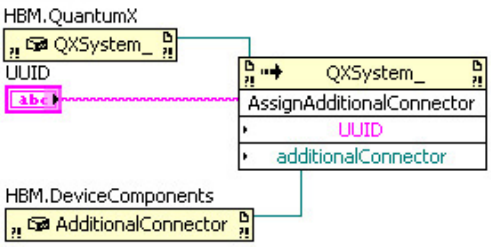
C#

```
public static void AssignAdditionalConnector(
       ulong UUID,
       AdditionalConnector additionalConnector
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignAdditionalConnector (
       UUID As ULong,
       additionalConnector As AdditionalConnector
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| AdditionalConnector | HBM.DeviceComponents.AdditionalConnector | デバイスに割り当てる AdditionalConnectorオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignAdditionalConnectors Method

指定したデバイス(UUID)へAdditionalConnectorsオブジェクト配列を割り当てます。
注意: すべてのデバイスがすべてのAdditionalConnectorsをサポートしているわけではありません!

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

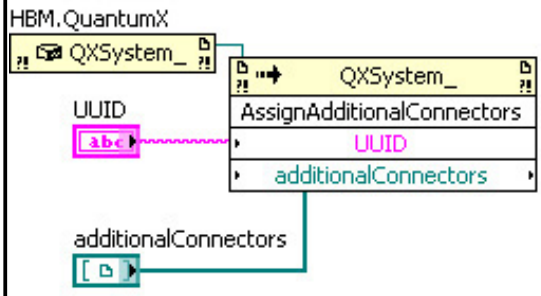
C#

```
public static void AssignAdditionalConnectors(
       ulong UUID,
       AdditionalConnector[] additionalConnectors
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignAdditionalConnectors (
       UUID As ULong,
       additionalConnectors As AdditionalConnector()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| additionalConnectors | HBM.DeviceComponents.AdditionalConnector[] | デバイスに割り当てる AdditionalConnectorsオブジェクト配列。 |

## QXSystem.AssignAdditionalFunctions Method

指定したデバイス(UUID)へAdditionalFunctionsオブジェクトを割り当てます。
注意: すべてのデバイスがすべてのAdditionalFunctionsをサポートしているわけではありません!

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

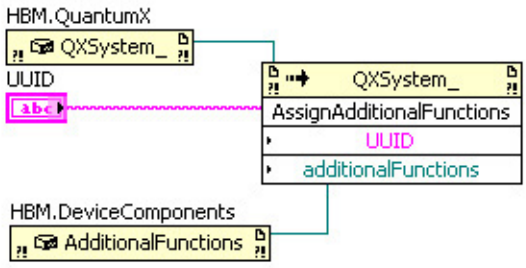
C#

```
public static void AssignAdditionalFunctions(
       ulong UUID,
       AdditionalFunctions additionalFunctions
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignAdditionalFunctions (
       UUID As ULong,
       additionalFunctions As AdditionalFunctions
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| AdditionalFunctions | HBM.DeviceComponents.AdditionalFunctions | デバイスに割り当てる AdditionalFunctionsオブジェクト |

## QXSystem.AssignAnalogOutChannel Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにAnalogOutChannelオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

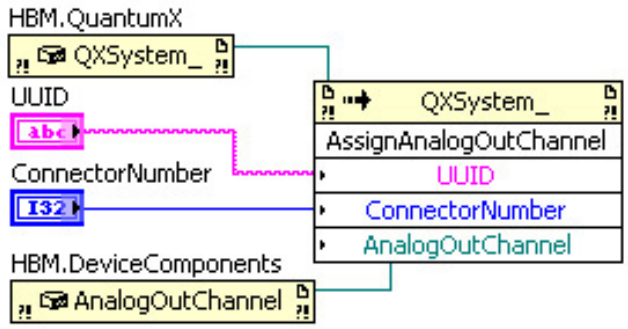
C#

```
public static void AssignAnalogOutChannel(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       AnalogOutChannel AnalogOutChannel
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignAnalogOutChannel (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       AnalogOutChannel As AnalogOutChannel
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| AnalogOutChannel | HBM.DeviceComponents.AnalogOutChannel | デバイスに割り当てるAnalogOutChannelオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignArbitrarySignalGeneratorValues Method

アナログ出力信号発生器で再生するデータを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

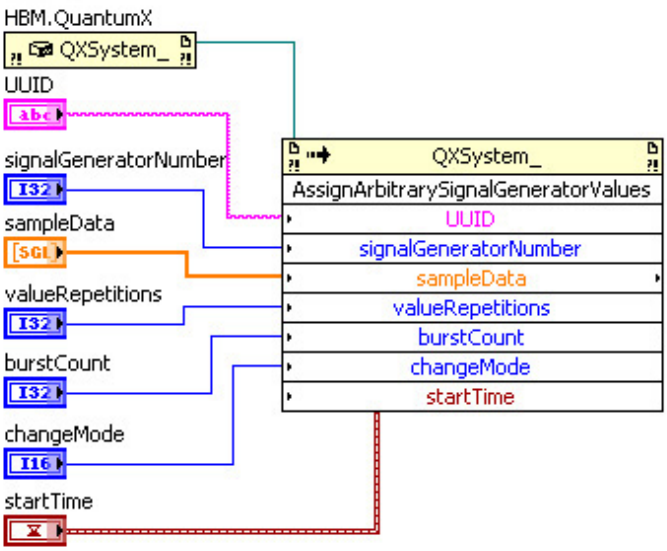
C#

```
public static void AssignArbitrarySignalGeneratorValues(
       ulong UUID,
       int signalGeneratorNumber,
       float[] sampleData,
       int valueRepetitions,
       int burstCount,
       enChangeMode changeMode,
       QXTime startTime
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignArbitrarySignalGeneratorValues (
       UUID As ULong,
       signalGeneratorNumber As Integer,
       sampleData As Single(),
       valueRepetitions As Integer,
       burstCount As Integer,
       changeMode As enChangeMode,
       startTime As QXTime
)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| signalGeneratorNumber | System.Int32 | 信号発生器番号(0 .. n-1)。 |
| sampleData | System.Single[] | 信号発生器の波形バッファに転送される浮動小数点値のフィールド(0 ..10000)。 |
| valueRepetitions | System.Int32 | 信号発生器の周波数における各sampleDataの反復数(1 .. n)。 |
| burstCount | System.Int32 | sampleDataのループ頻度(値0は無限ループ)。 |
| changeMode | HBM.QuantumX.enChangeMode | サンプルバッファを変更する条件。 |
| startTime | HBM.QuantumX.QXTime | 新規のSAMPLE_DATAに変更する場合にQXTimeを指定値0は可能な限り速く行う。 |

注意

"sampleData"を取得するのに信号発生器はReadSignalGeneratorFrequency(UInt64, Int32)を呼び出し、固定周波数を使用します。96,000 HzのMX878では1/96,000秒の再生時間があります。他の速度で"sampleData"の再生を許容するため、各値は"valueRepetitions"で出力されます。

適切な"valueRepetitions"引数を選択するために、周波信号発生器と"sampleData"のサンプリングレートの割り当てについて計算しなければなりません。例えばサンプルデータが4,800 Hzで記録され、周波信号発生器が9,6000 Hzであれば、"valueRepetitions"引数は以下の通りです:

```
valueRepetitions = 96000 / 4800; // = 20
```

なおHBMの典型的ではないレートの場合はラスタに収まらない可能性があり、最良の結果を達成するためにサンプルデータの補間が必要になるかもしれません。

"burstCount"が0の場合、すべてのサンプルデータは無限大であると出力し、それ以外の場合"burstCount"は回数を出力します。

sampleData"の最大サイズは10,000.0であり、有効なサイズで信号発生器を停止します。正確な転換メカニズムは、"changeMode"によって指定されます。以下の何れかを選択します:

CHANGE_IMMEDIATLY: できるだけ早くサンプルデータに変換

CHANGE_AFTER_CYCLE: 古いサンプルデータは現在のサイクル後に変換

CHANGE_AT_NTPTIME: "startTime"で指定した変換

"startTime"は任意パラメータで、changeMode"がCHANGE_AT_NTPTIMEの場合のみ有効です。"startTime"引数に未来の時間を指定した場合、サンプルデータは"startTime"および("startTime" + 1/4800 s)間で有効になります。それ以外の場合、サンプルデータはできるだけ早く有効になります。

モジュールの現在の時刻を取得するためにReadModuleTime(UInt64)を使用します。

指定したサンプルデータがない、またはサンプルデータが"burstCount"回数が("burstCount">0)の場合、アナログ出力はハイインピーダンスに切り替わります。

例

この例では、どのように再生およびループを行うかを示します。
以前に記録されていた(例えばMX840で)4,800 Hzのサンプリングレートに対応して値ごとに反復数を計算して記録するか、信号発生器の周波数(通常96,000 Hz)のどちらかでMX878が出力を行います。
HBMの典型的なレートは1,200 Hz、4,800 Hz、9,600 Hz、19,200 Hz等です。
サンプリング周波数は、HBMの典型的でない出力レートの場合、反復は切り捨てられ、実際の再生周波数に影響を与えます(この制限は入力データを推定することに
より対処できます)。
"valueRepetitions"引数は、単に信号発生器の周波数と周波数との比であり、データは例えば:

```
repetition_4800 = 96000 / 4800; // => 20
repetition_9600 = 96000 / 9600; // => 10
repetition_19200 = 96000 / 19200; // => 5
```

```
private void Setup()
{
  // setup DLL
  // etc.
  UInt64 uuid;
  float[] inputData = LoadTheData();
  int inputDataLen = inputData.Length;
  // input data has been recorded @4800Hz
  double inputFrequency = 4800D;
  // read the signal generator frequency from the module
  double signalGeneratorFrequency = QuantumX.QXSystem.ReadSignalGeneratorFrequency(u
uid, 0);
  // e.g. valueRepetitions = 96000 / 4800 => 20
  int valueRepetitions = (int)(signalGeneratorFrequency / inputFrequency);
  QXTime startTime = QuantumX.QXSystem.ReadModuleTime(uuid);
  QuantumX.QXSystem.AssignArbitrarySignalGeneratorValues(uuid,
                0, // signal generator index
                inputData,
                inputDataLen,
                valueRepetitions,
                enChangeMode.CHANGE_IMMEDIATE, // as soon as possible
                0, // loop infinite
                0L // as soon as possible
                );
 // etc. ...
}
```

## QXSystem.AssignAsyncSignal Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberにAsyncSignal(CAN信号)オブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

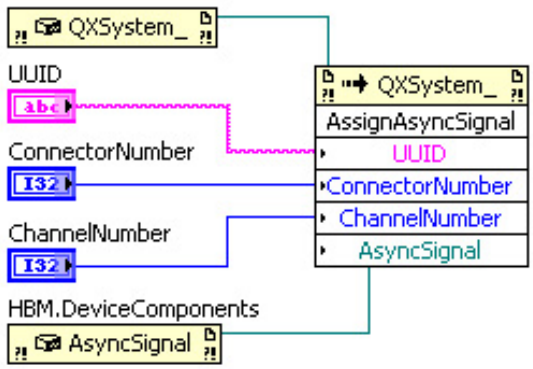
C#

```
public static void AssignAsyncSignal(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber,
       AsyncSignal AsyncSignal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignAsyncSignal (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer,
       AsyncSignal As AsyncSignal
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | 信号を割り当てるチャネル番号。 |
| AsyncSignal | HBM.DeviceComponents.AsyncSignal | 割り当てるAsyncSignal(CAN信号)オブジェクト。 |

## QXSystem.AssignCANBusBaudrate Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにCAN-Busのbaudrateを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

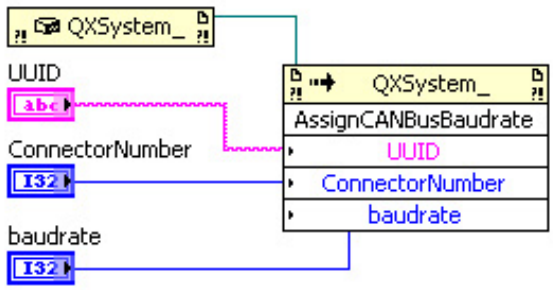
C#

```
public static void AssignCANBusBaudrate(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int baudrate
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCANBusBaudrate (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       baudrate As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| baudrate | System.Int32 | 設定するボーレート。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignCANBusECU Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにecuオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

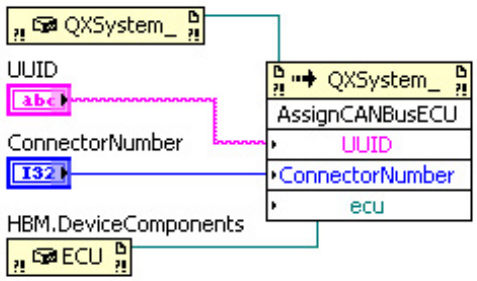
C#

```
public static void AssignCANBusECU(
        ulong UUID,
        int ConnectorNumber,
        ECU ecu
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCANBusECU (
        UUID As ULong,
        ConnectorNumber As Integer,
        ecu As ECU
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| ecu | HBM.DeviceComponents.ECU | 割り当てるecuオブジェクト。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignCANBusECUs Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにecusオブジェクト配列を割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

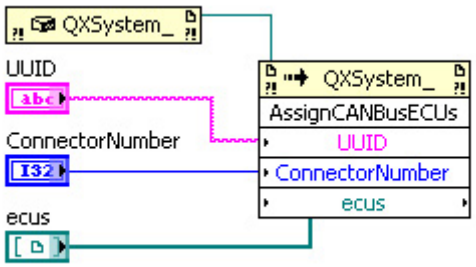
C#

```
public static void AssignCANBusECUs(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       ECU[] ecus
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCANBusECUs (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ecus As ECU()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| ecu | HBM.DeviceComponents.ECU[] | 割り当てるecuオブジェクト配列。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignCANBusErrorMode Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにErrorModeオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

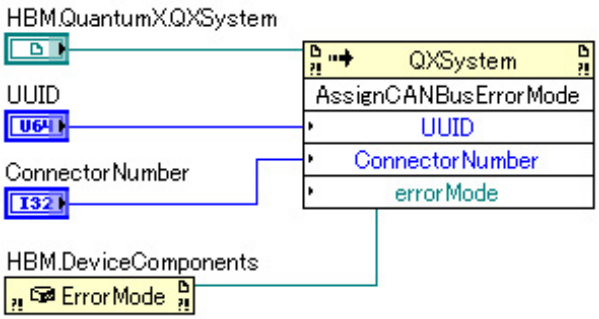
C#

```
public static void AssignCANBusErrorMode(
        ulong UUID,
        int ConnectorNumber,
        ErrorMode errorMode
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCANBusErrorMode (
        UUID As ULong,
        ConnectorNumber As Integer,
        errorMode As ErrorMode
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| errorMode | HBM.DeviceComponents.ErrorMode | 割り当てるecuオブジェクト配列。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignCANBusSupplyVoltage Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにsupplyVoltageを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

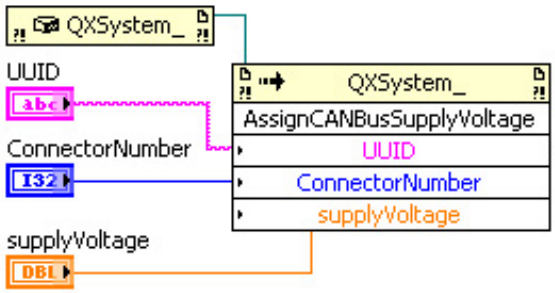
構文

C#

```
public static void AssignCANBusSupplyVoltage(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       double supplyVoltage
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCANBusSupplyVoltage (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       supplyVoltage As Double
)
```




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| supplyVoltage | System.Double | 供給する電圧。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignCANBusTermination Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにTerminationを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

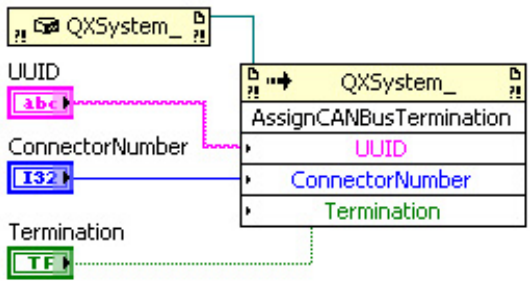
C#

```
public static void AssignCANBusTermination(
        ulong UUID,
        int ConnectorNumber,
        bool Termination
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCANBusTermination (
        UUID As ULong,
        ConnectorNumber As Integer,
        Termination As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| Termination | System.Boolean | 終了設定。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignCanInChannel Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにcanInChannelオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

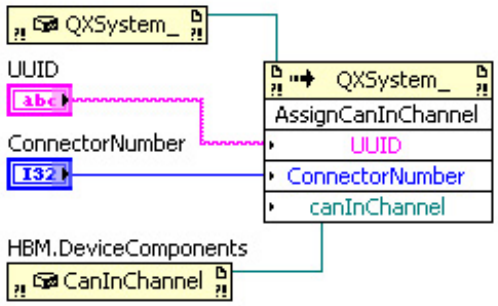
C#

```
public static void AssignCanInChannel(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       CanInChannel canInChannel
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCanInChannel (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       canInChannel As CanInChannel
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| canInChannel | HBM.DeviceComponents.CanInChannel | 割り当てるHBM.DeviceComponents.CanInChannel オブジェクト。 |

## QXSystem.AssignCanInChannelActivation Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberにactiveを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

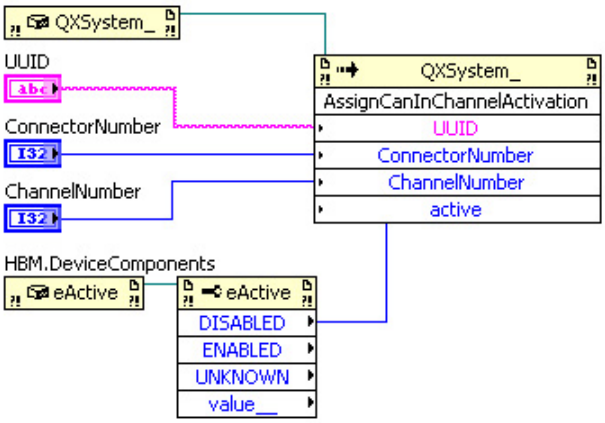
C#

```
public static void AssignCanInChannelActivation(
        ulong UUID,
        int ConnectorNumber,
        int ChannelNumber,
        eActive active
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCanInChannelActivation (
        UUID As ULong,
        ConnectorNumber As Integer,
        ChannelNumber As Integer,
        active As eActive
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | 有効/無効設定を行うチャネル番号。 |
| active | HBM.DeviceComponents.eActive | 有効無効設定。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignCanInChannels Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにCanInChannelsオブジェクト配列を割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

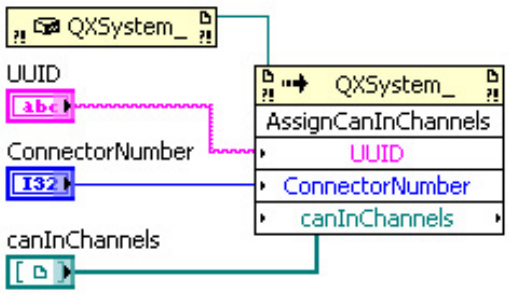
C#

```
public static void AssignCanInChannels(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       CanInChannel[] CanInChannels
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCanInChannels (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       CanInChannels As CanInChannel()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| CanInChannels | HBM.DeviceComponents.CanInChannel[] | 割り当てるCanInChannelオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignCanOutChannels Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにCanOutChannelsオブジェクト配列を割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

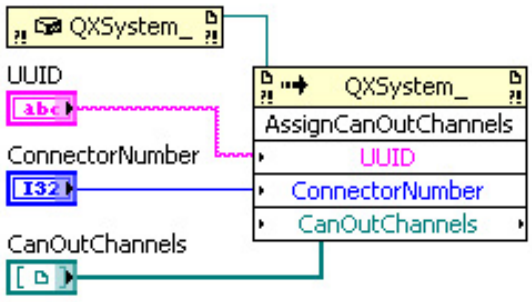
C#

```
public static void AssignCanOutChannels(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       CanOutChannel[] CanOutChannels
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCanOutChannels (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       CanOutChannels As CanOutChannel()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| CanOutChannels | HBM.DeviceComponents.CanOutChannel[] | 割り当てるCanOutChannelオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignCanSensor Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberにCanSensorオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

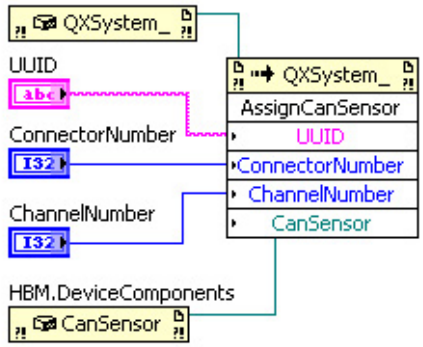
C#

```
public static void AssignCanSensor(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber,
       CanSensor CanSensor
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCanSensor (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer,
       CanSensor  As CanSensor
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | CanSensorを割り当てるチャネル番号。 |
| CanSensor | HBM.DeviceComponents.CanSensor | 割り当てるCanSensorオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignCanTransmitChannel Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにEtherCatTransmitChannelオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

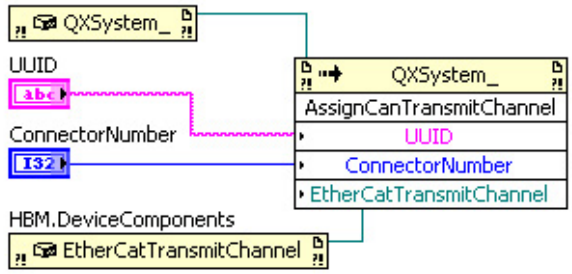
C#

```
public static void AssignCanTransmitChannel(
        ulong UUID,
        int ConnectorNumber,
        CanTransmitChannel CanTransmitChannel
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCanOutChannels (
        UUID As ULong,
        ConnectorNumber As Integer,
        CanTransmitChannel As CanTransmitChannel
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| CanTransmitChannel | HBM.DeviceComponents.CanTransmitChannel | 割り当てるCanTransmitChannelオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignCanTransmitChannels Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにCanTransmitChannelsオブジェクト配列を割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

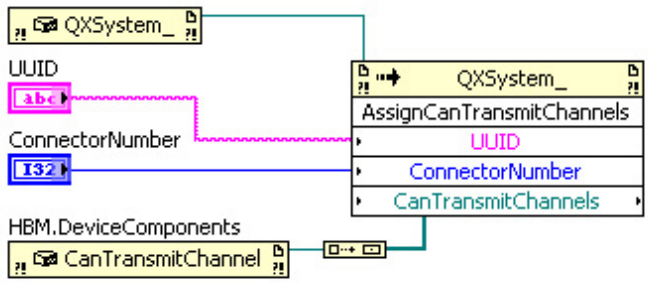
C#

```
public static void AssignCanTransmitChannels(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       CanTransmitChannel[] CanTransmitChannels
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCanOutChannels (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       CanTransmitChannels As CanTransmitChannel()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | CAN-Busのコネクタ番号。 |
| CanTransmitChannels | HBM.DeviceComponents.CanTransmitChannel[] | 割り当てるCanTransmitChannelオブジェクト配列。 |

## QXSystem.AssignChannelName Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorおよびChannelにConnectorTypeおよびchannelNameを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

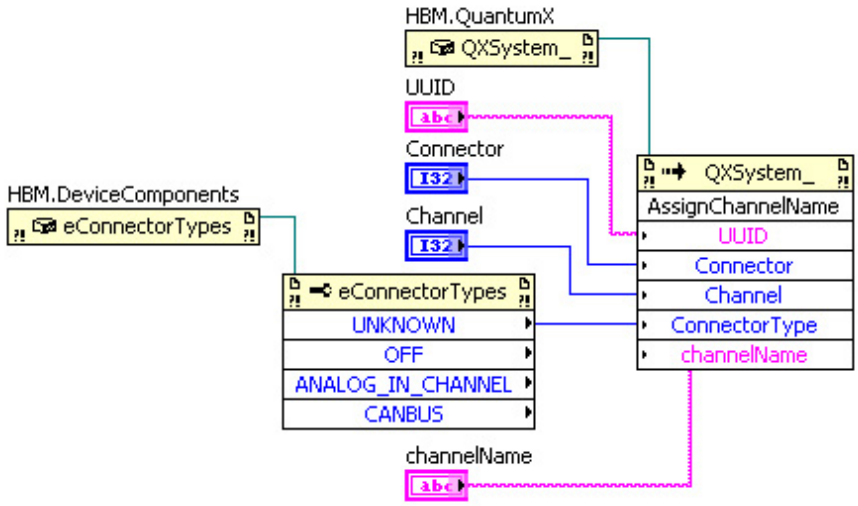
C#

```
public static void AssignChannelName(
        ulong UUID,
        int Connector,
        int Channel,
        eConnectorTypes ConnectorType,
        string channelName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignChannelName (
        UUID As ULong,
        Connector As Integer,
        Channel As Integer,
        ConnectorType As eConnectorTypes,
        channelName As String
)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | 信号が位置しているコネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | 信号が位置しているチャネル番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | 割り当てるeConnectorTypes。 |
| channelName | System.String | 新しいチャネル名。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignConnector Method

指定したデバイス(UUID)にConnectorオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

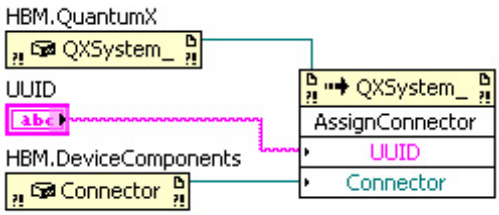
C#

```
public static void AssignConnector(
        ulong UUID,
        Connector Connector
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignConnector (
        UUID As ULong,
        Connector As Connector
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | HBM.DeviceComponents.Connector | 割り当てるコネクタ。 |

## QXSystem.AssignConnectors Method

指定したデバイス(UUID)にQuantumXDeviceオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

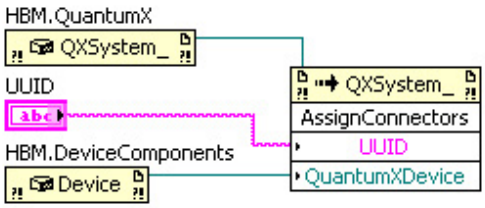
C#

```
public static void AssignConnectors(
       ulong UUID,
       Device QuantumXDevice
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignConnector (
       UUID As ULong,
       QuantumXDevice As Device
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| QuantumXDevice | HBM.DeviceComponents.Device | コネクタを含むDeviceオブジェクト。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignConnectorType Method (UInt64, Int32, eConnectorTypes)

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにConnectorTypeを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

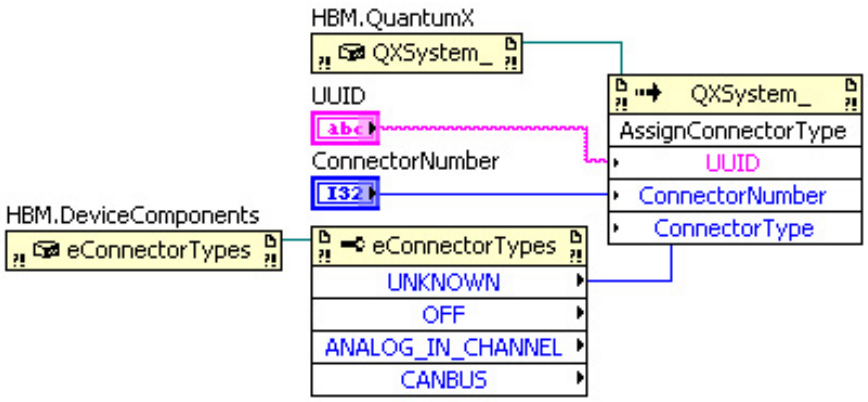
C#

```
public static void AssignConnectorType(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       eConnectorTypes ConnectorType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignConnectorType (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ConnectorType As eConnectorTypes
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | 設定するコネクタ番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | 割り当てるeConnectorTypes。 |

## QXSystem.AssignConnectorType Method (UInt64, Int32, eAdditionalConnectorTypes)

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにConnectorType_2を設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

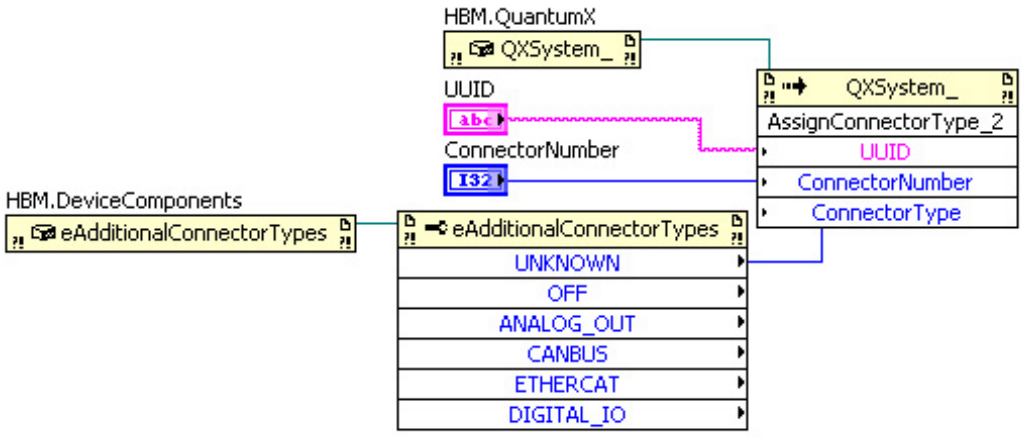
C#

```
public static void AssignConnectorType(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       eAdditionalConnectorTypes ConnectorType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignConnectorType (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ConnectorType As eAdditionalConnectorTypes
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | 設定するコネクタ番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eAdditionalConnectorTypes | 割り当てる eAdditionalConnectorTypes。 |

## QXSystem.AssignCtrlParameters Method

指定したデバイス(UUID)にControlNameおよびControlSettings配列を設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

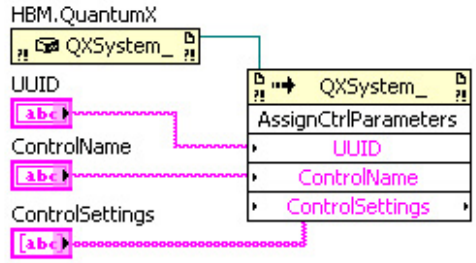
C#

```
public static void AssignCtrlParameters(
        ulong UUID,
        string ControlName,
        string[] ControlSettings
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignCtrlParameters (
        UUID As ULong,
        ControlName As String,
        ControlSettings As String()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ControlName | System.String | コントロール名。 |
| ControlSettings | System.String[] | コントロール設定を含む文字列配列。 |

## QXSystem.AssignDataRateDomain Method

DataRateDomainを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

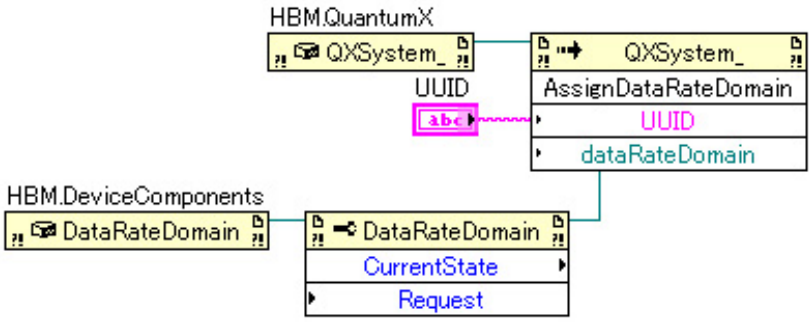
C#

```
public static void AssignDataRateDomain(
       ulong uuid,
       DataRateDomain dataRateDomain
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignDevice (
       uuid As ULong,
       dataRateDomain As DataRateDomain
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| dataRateDomain | HBM.DeviceComponents.DataRateDomain | データ信号領域。 |

注釈

モジュールの設定を有効にするには、手動で再起動させる必要があります。

## QXSystem.AssignDevice Method

指定したデバイス(UUID)にQuantumXDeviceオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

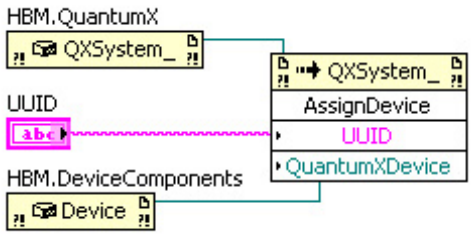
C#

```
public static void AssignDevice(
        ulong UUID,
        Device QuantumXDevice
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignDevice (
        UUID As ULong,
        QuantumXDevice As Device
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| QuantumXDevice | HBM.DeviceComponents.Device | コネクタを含むDeviceオブジェクト。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignDeviceDefaults Method

指定したデバイス(UUID)の設定をデフォルト値に戻します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

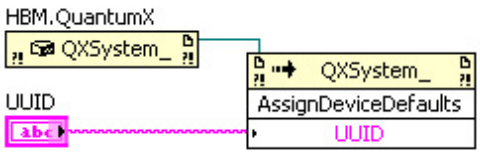
C#

```
public static void AssignDeviceDefaults(
       ulong UUID,
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignDeviceDefaults (
       UUID As ULong,
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignDigitalIOPin Method

指定したデバイス(UUID)にDigitalIOPinオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

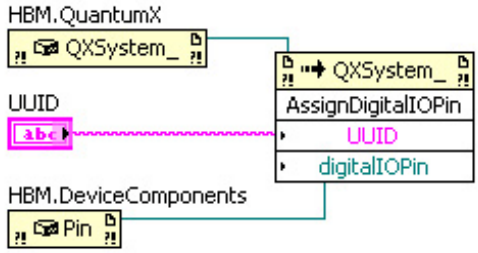
C#

```
public static void AssignDigitalIOPin(
        ulong UUID,
        Pin digitalIOPin
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignDigitalIOPin (
        UUID As ULong,
        digitalIOPin As Pin
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| digitalIOPin | HBM.DeviceComponents.Pin | 割り当てるピン。 |

## QXSystem.AssignDigitalIOPins Method

指定したデバイス(UUID)にDigitalIOPinsオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

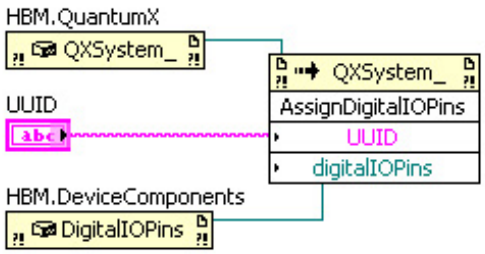
C#

```
public static void AssignDigitalIOPins(
       ulong UUID,
       DigitalIOPins digitalIOPins
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignDigitalIOPins (
       UUID As ULong,
       digitalIOPins As DigitalIOPins
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| digitalIOPin | HBM.DeviceComponents.DigitalIOPins | 割り当てるDigitalIOPins。 |

## QXSystem.AssignDigitalIOPinSignal Method

指定したデバイス(UUID)およびpinNumberにdigitalIOPinSignalオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

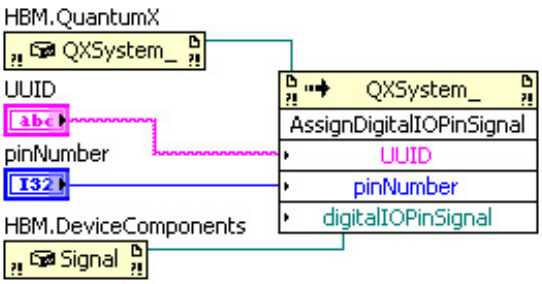
C#

```
public static void AssignDigitalIOPinSignal(
        ulong UUID,
        int pinNumber,
        Signal signal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignDigitalIOPinSignal (
        UUID As ULong,
        pinNumber As Integer,
        signal As Signal
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| pinNumber | System.Int32 | デジタルI/Oピン番号。 |
| signal | HBM.DeviceComponents.Signal | digitalIOPinSignalオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignDigitalOuts Method

指定したデバイス(UUID)にDigitalOut1IsActiveおよびDigitalOut2IsActiveを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

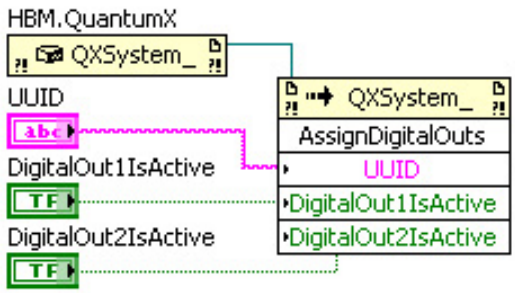
C#

```
public static void AssignDigitalOuts(
       ulong UUID,
       bool DigitalOut1IsActive,
       bool DigitalOut2IsActive
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignDigitalOuts (
       UUID As ULong,
       DigitalOut1IsActive As Boolean,
       DigitalOut2IsActive As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| DigitalOut1IsActive | System.Boolean | trueの場合、デジタル出力1は論理1に設定され、それ以外は論理0。 |
| DigitalOut2IsActive | System.Boolean | trueの場合、デジタル出力2は論理1に設定され、それ以外は論理0。 |

## QXSystem.AssignEtherCat Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにEtherCatオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

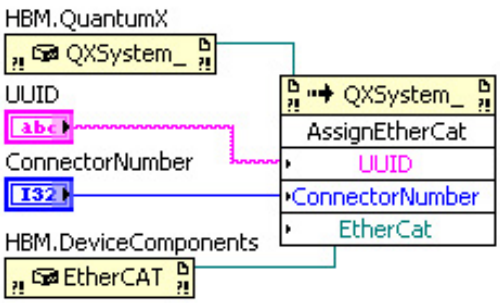
C#

```
public static void AssignEtherCat(
        ulong UUID,
        int ConnectorNumber,
        EtherCAT EtherCat
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignEtherCat (
        UUID As ULong,
        ConnectorNumber As Integer,
        EtherCat As EtherCAT
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | EtherCATオブジェクトを割り当てるコネクタ番号。 |
| EtherCat | HBM.DeviceComponents.EtherCAT | EtherCATオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignEtherCatTransmitChannel Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにEtherCatTransmitChannelオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

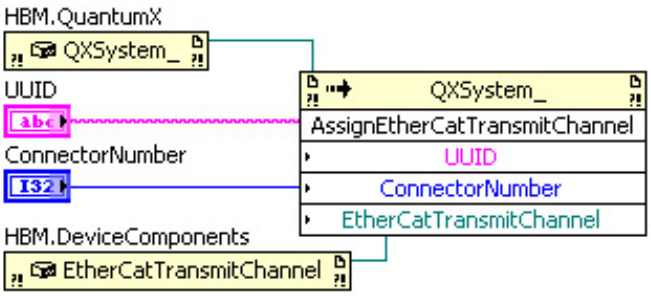
C#

```
public static void AssignEtherCatTransmitChannel(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       EtherCatTransmitChannel EtherCatTransmitChannel
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignEtherCatTransmitChannel (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       EtherCatTransmitChannel As EtherCatTransmitChannel
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | EtherCATのオブジェクトを割り当てるコネクタ番号。 |
| EtherCatTransmitChannel | HBM.DeviceComponents.EtherCatTransmitChannel | EtherCAT送信チャネル。 |

## QXSystem.AssignEthernet0 Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにeth0オブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

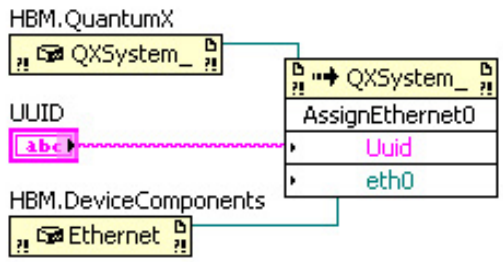
C#

```
public static void AssignEthernet0(
       ulong Uuid,
       Ethernet eth0
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignEthernet0 (
       Uuid As ULong,
       eth0 As Ethernet
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| eth0 | HBM.DeviceComponents.Ethernet | Ethernetオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignEthernet0ViaUdp Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにeth0オブジェクト(UDP)を割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

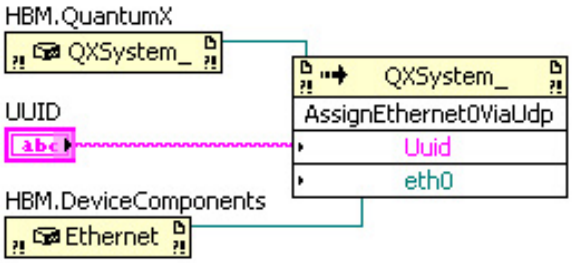
C#

```
public static void AssignEthernet0ViaUdp(
       ulong Uuid,
       Ethernet eth0
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignEthernet0ViaUdp (
       Uuid As ULong,
       eth0 As Ethernet
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| eth0 | HBM.DeviceComponents.Ethernet | Ethernetオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignEthernets Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにethsオブジェクト配列を割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

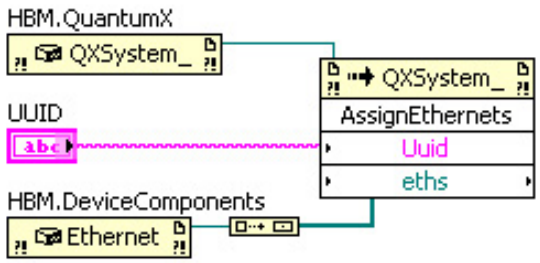
C#

```
public static void AssignEthernets(
        ulong Uuid,
        Ethernet[] eths
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignEthernets (
        Uuid As ULong,
        eths As Ethernet()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| eths | HBM.DeviceComponents.Ethernet[] | Ethernetオブジェクト。 |

例外

| |
|---|
| System.Collections.Generic.KeyNotFoundException |

# QXSystem.AssignEthernetsViaUdp Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにethsオブジェクト配列(UDP)を割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

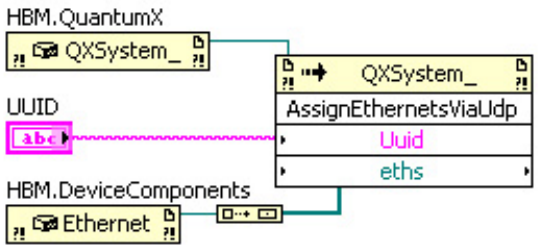
C#

```
public static void AssignEthernetsViaUdp(
       ulong Uuid,
       Ethernet[] eths
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignEthernetsViaUdp (
       Uuid As ULong,
       eths As Ethernet()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| eths | HBM.DeviceComponents.Ethernet[] | Ethernetオブジェクト。 |

例外

| |
|---|
| System.Collections.Generic.KeyNotFoundException |

## QXSystem.AssignExtendedSampleRateMode Method

指定したデバイス(UUID)のconnectorNumbers配列にmodeを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

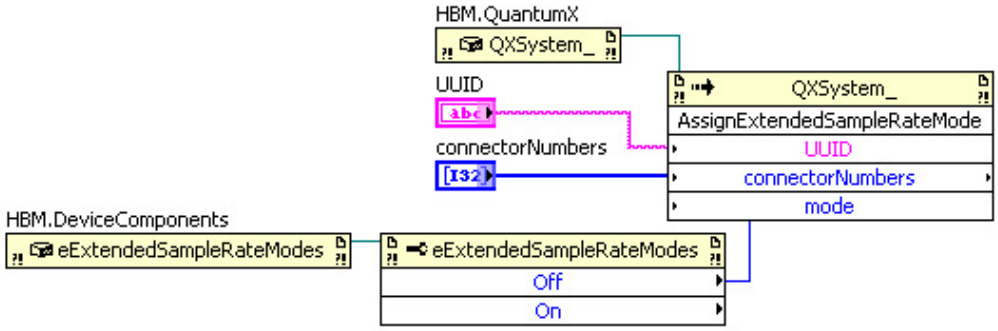
C#

```
public static void AssignExtendedSampleRateMode(
        ulong UUID,
        int[] connectorNumbers,
        eExtendedSampleRateModes mode
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignExtendedSampleRateMode (
        UUID As ULong,
        connectorNumbers As Integer(),
        mode As eExtendedSampleRateModes
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| connectorNumbers | System.Int32[] | コネクタ番号。 |
| mode | HBM.DeviceComponents.eExtendedSampleRateModes | モード。 |

注釈

MX410のみに適用されます。

## QXSystem.AssignLimitSwitch Method

指定したデバイス(UUID)にLimitSwitchオブジェクトを割り当てます。
注意: すべてのデバイスがLimitSwitchをサポートしているわけではありません。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

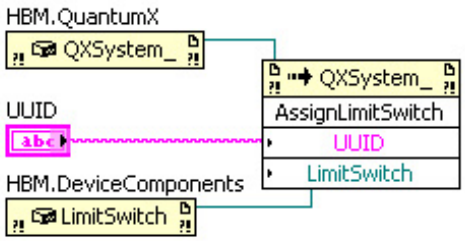
C#

```
public static void AssignLimitSwitch(
       ulong UUID,
       LimitSwitch limitSwitch
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignLimitSwitch (
       UUID As ULong,
       limitSwitch As LimitSwitch
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| limitSwitch | HBM.DeviceComponents.LimitSwitch | リミットスイッチ。 |

## QXSystem.AssignLimitSwitchFunctions Method

指定したデバイス(UUID)にLimitSwitchFunctionsオブジェクトを割り当てます。
注意: すべてのデバイスがLimitSwitchFunctionsをサポートしているわけではありません。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

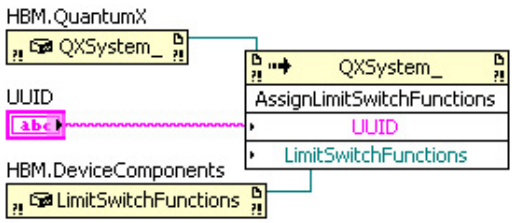
C#

```
public static void AssignLimitSwitchFunctions(
       ulong UUID,
       LimitSwitchFunctions limitSwitchFunctions
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignLimitSwitchFunctions (
       UUID As ULong,
       limitSwitchFunctions As LimitSwitchFunctions
)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| limitSwitchFunctions | HBM.DeviceComponents.LimitSwitchFunctions | リミットスイッチ。 |

## QXSystem.AssignLimitSwitchSignal Method

指定したlimitSwitchNumberにsignalオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

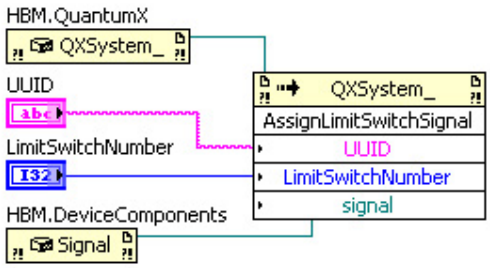
C#

```
public static void AssignLimitSwitchSignal(
       ulong UUID,
       int limitSwitchNumber,
       Signal limitSwitchSignal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignLimitSwitchSignal (
       UUID As ULong,
       limitSwitchNumber As Integer,
       limitSwitchSignal As Signal
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| limitSwitchNumber | System.Int32 | リミットスイッチ番号。 |
| limitSwitchSignal | HBM.DeviceComponents.Signal | 信号オブジェクト。 |

## QXSystem.AssignMath Method

指定したデバイス(UUID)にmathオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

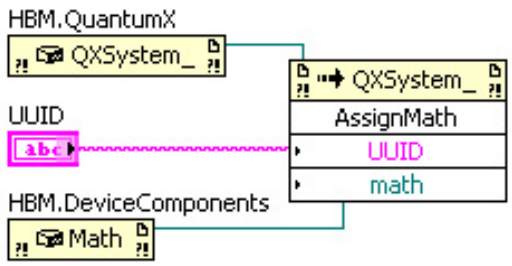
C#

```
public static void AssignMath(
        ulong UUID,
        Math math
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignMath (
        UUID As ULong,
        math As Math
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| math | HBM.DeviceComponents.Math | mathオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignMathFunctions Method

指定したデバイス(UUID)にmathFunctionsオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

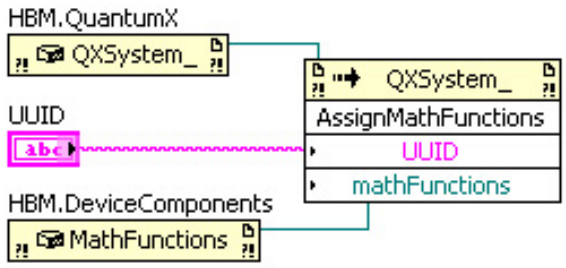
C#

```
public static void AssignMathFunctions(
       ulong UUID,
       MathFunctions mathFunctions
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignMathFunctions (
       UUID As ULong,
       mathFunctions As MathFunctions
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathFunctions | HBM.DeviceComponents.MathFunctions | MathFunctionsオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignMathOutputUnit Method

指定したデバイス(UUID)のChannelNumberにsignalNumberおよびmathTypeを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

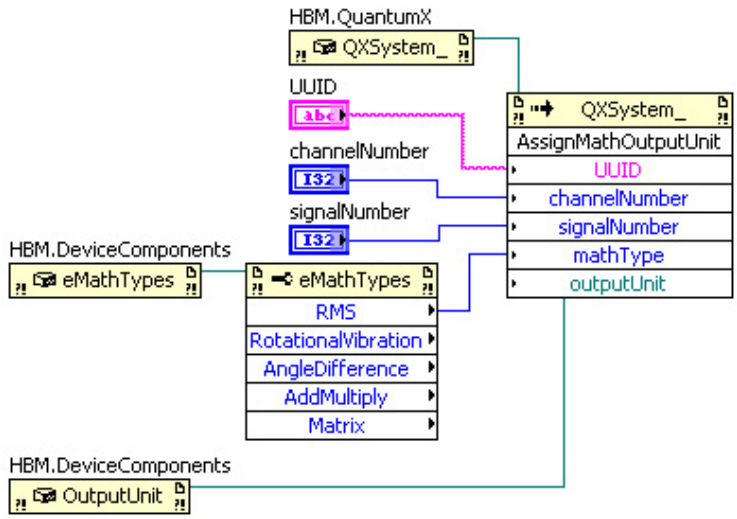
C#

```
public static void AssignMathOutputUnit(
        ulong UUID,
        int channelNumber,
        int signalNumber,
        eMathTypes mathType,
        OutputUnit outputUnit
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignMathOutputUnit (
        UUID As ULong,
        channelNumber As Integer,
        signalNumber As Integer,
        mathType As eMathTypes,
        outputUnit As OutputUnit
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| channelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |
| mathType | HBM.DeviceComponents.eMathTypes | タイプ。 |
| outputUnit | HBM.DeviceComponents.OutputUnit | OutputUnitオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignMathSignal Method

指定したデバイス(UUID)にmathNumberおよびmathTypeを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

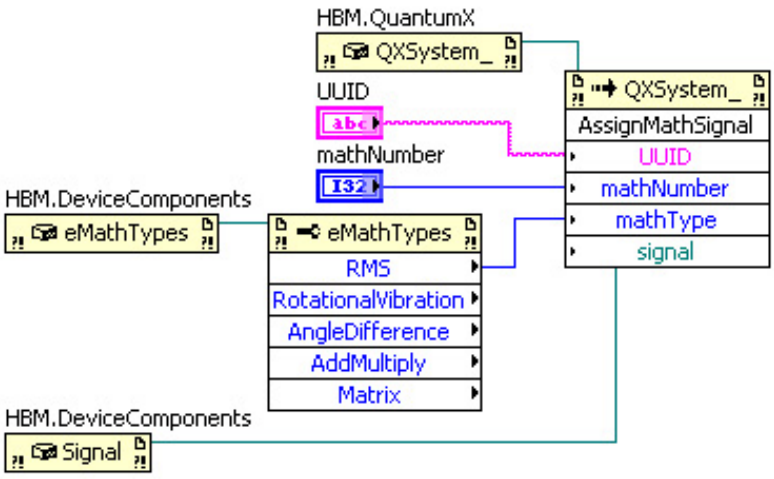
C#

```
public static void AssignMathSignal(
       ulong UUID,
       int mathNumber,
       eMathTypes mathType,
       Signal signal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignMathSignal (
       UUID As ULong,
       mathNumber As Integer,
       mathType As eMathTypes,
       signal As Signal
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathNumber | System.Int32 | Math番号。 |
| mathType | HBM.DeviceComponents.eMathTypes | タイプ。 |
| signal | HBM.DeviceComponents.Signal | 信号オブジェクト。 |

## QXSystem.AssignModuleID Method

指定したデバイス(UUID)にmoduleIDを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

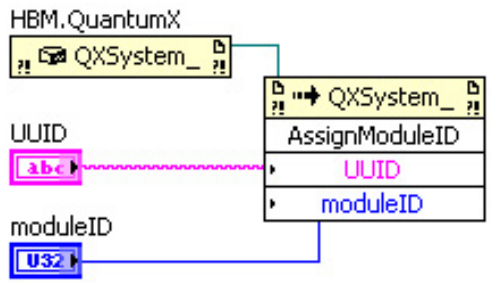
C#

```
public static void AssignModuleID(
       ulong UUID,
       uint ModuleID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignModuleID (
       UUID As ULong,
       ModuleID As UInteger
)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ModuleID | System.UInt32 | モジュールID。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignModuleName Method

指定したデバイス(UUID)にmoduleNameを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

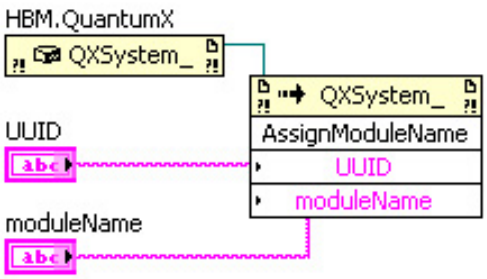
C#

```
public static void AssignModuleName(
       ulong UUID,
       string moduleName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignModuleName (
       UUID As ULong,
       moduleName As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| moduleName | System.String | 新しいモジュール名。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignNetwork Method

指定したデバイス(UUID)にnetworkオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

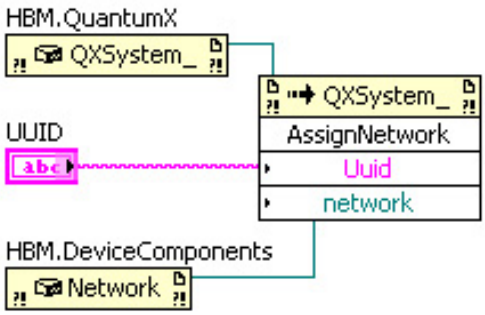
C#

```
public static void AssignNetwork(
       ulong Uuid,
       Network network
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignNetwork (
       Uuid As ULong,
       network As Network
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| network | HBM.DeviceComponents.Network | Networkオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignNetworkViaUdp Method

指定したデバイス(UUID)にnetworkオブジェクトをト(UDP)割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

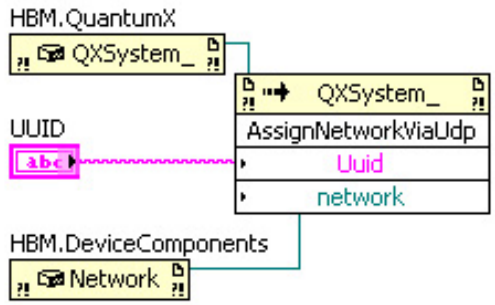
C#

```
public static void AssignNetworkViaUdp(
       ulong Uuid,
       Network network
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignNetworkViaUdp (
       Uuid As ULong,
       network As Network
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| network | HBM.DeviceComponents.Network | Networkオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignOutputUnit Method

指定したデバイス(UUID)のconnectorNumberおよびchannelNumberにsignalNumberおよびconnectorTypeを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

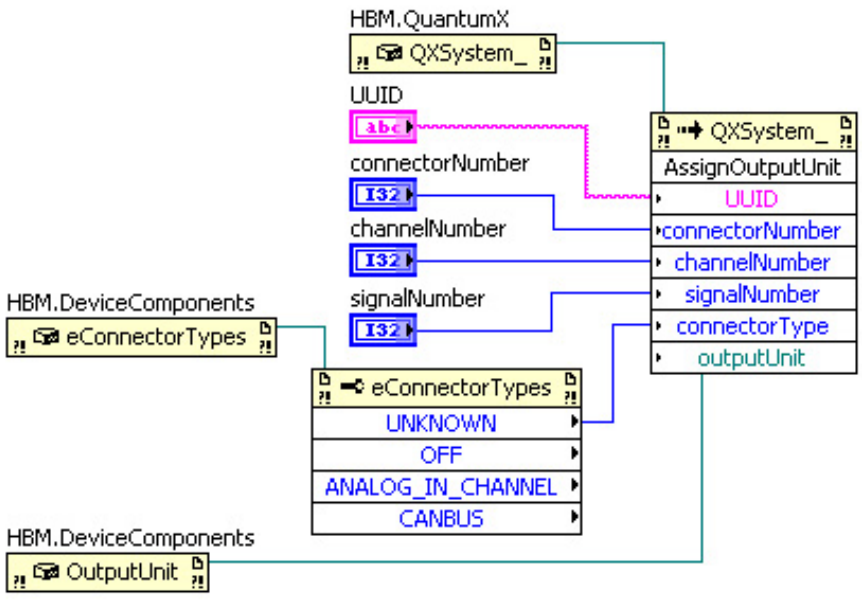
C#

```
public static void AssignOutputUnit(
       ulong UUID,
       int connectorNumber,
       int channelNumber,
       int signalNumber,
       eConnectorTypes connectorType,
       OutputUnit outputUnit
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignOutputUnit (
       UUID As ULong,
       connectorNumber As Integer,
       channelNumber As Integer,
       signalNumber As Integer,
       connectorType As eConnectorTypes,
       outputUnit As OutputUnit
)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| connectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| channelNumber | System.Int32 | チャネル番号 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |
| connectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | コネクタタイプ |
| outputUnit | HBM.DeviceComponents.OutputUnit | OutputUnitオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignPeak Method

指定したデバイス(UUID)にpeakオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

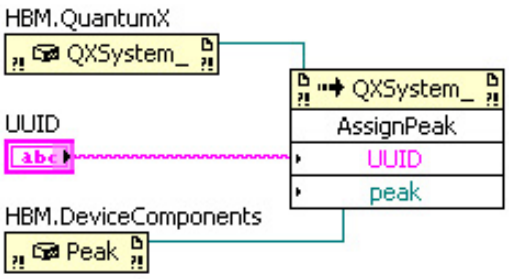
C#

```
public static void AssignPeak(
       ulong UUID,
       Peak peak
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignPeak (
       UUID As ULong,
       peak As Peak
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| network | HBM.DeviceComponents.Peak | Peakオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignPeakFunctions Method

指定したデバイス(UUID)にpeakFunctionsオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

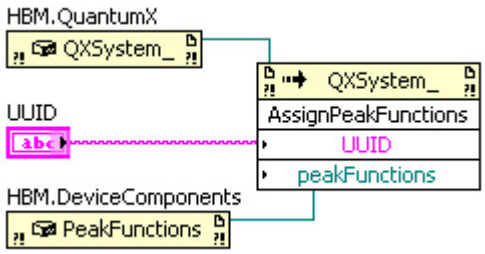
C#

```
public static void AssignPeakFunctions(
       ulong UUID,
       PeakFunctions peakFunctions
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignPeakFunctions (
       UUID As ULong,
       peakFunctions As PeakFunctions
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| peakFunctions | HBM.DeviceComponents.PeakFunctions | PeakFunctionsオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignPeakOutputUnit Method

指定したデバイス(UUID)のchannelNumberにOutputUnitオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

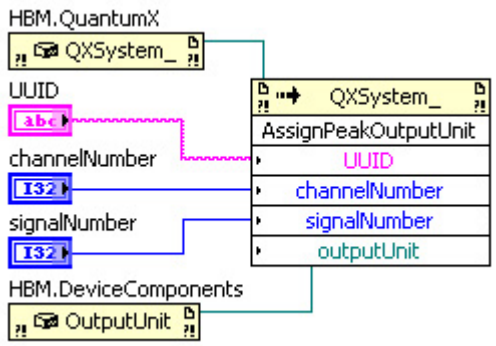
C#

```
public static void AssignPeakOutputUnit(
        ulong UUID,
        int channelNumber,
        int signalNumber,
        OutputUnit outputUnit
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignPeakOutputUnit (
        UUID As ULong,
        channelNumber As Integer,
        signalNumber As Integer,
        outputUnit As OutputUnit
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| channelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号(現在は未使用)。 |
| outputUnit | HBM.DeviceComponents.OutputUnit | OutputUnitオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignPeakSignal Method

指定したデバイス(UUID)のpeakNumberにSignalオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

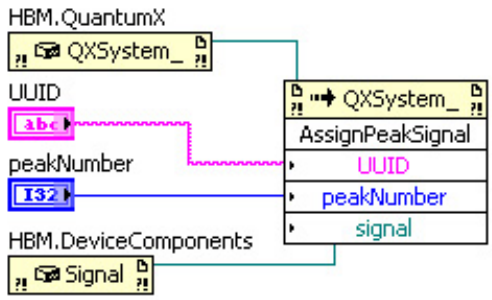
C#

```
public static void AssignPeakSignal(
       ulong UUID,
       int peakNumber,
       Signal peakSignal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignPeakSignal (
       UUID As ULong,
       peakNumber As Integer,
       peakSignal As Signal
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| peakNumber | System.Int32 | ピーク番号。 |
| peakSignal | HBM.DeviceComponents.Signal | Signalオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignSensor Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにSensorオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

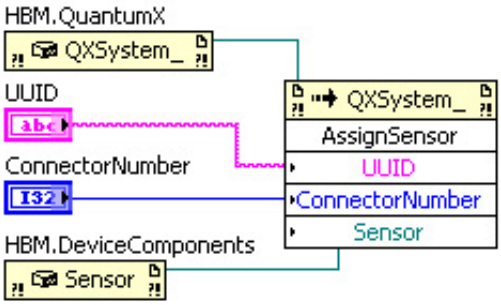
C#

```
public static void AssignSensor(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       Sensor Sensor
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignSensor (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       Sensor As Sensor
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Sensor | HBM.DeviceComponents.Sensor | Sensorオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignSignalGenerator Method

指定したデバイス(UUID)にsignalGeneratorオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

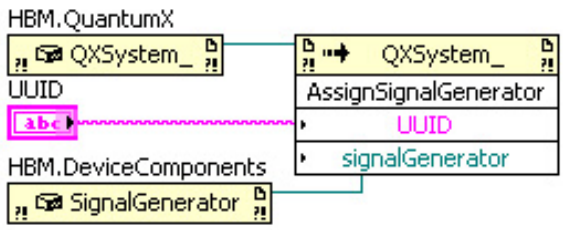
C#

```
public static void AssignSignalGenerator(
       ulong UUID,
       SignalGenerator signalGenerator
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignSignalGenerator (
       UUID As ULong,
       signalGenerator As SignalGenerator
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| signalGenerator | HBM.DeviceComponents.SignalGenerator | SignalGeneratorオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignSignalGeneratorFunctions Method

指指定したデバイス(UUID)にsignalGeneratorFunctionsオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

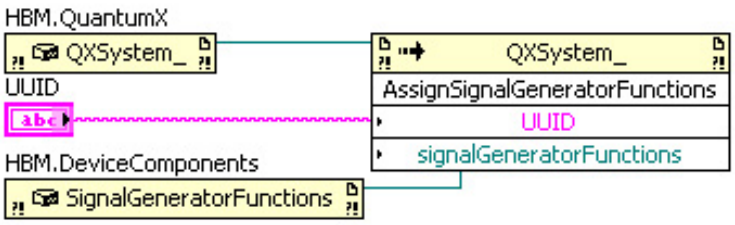
C#

```
public static void AssignSignalGeneratorFunctions(
       ulong UUID,
       SignalGeneratorFunctions signalGeneratorFunctions
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignSignalGeneratorFunctions (
       UUID As ULong,
       signalGeneratorFunctions As SignalGeneratorFunctions
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| signalGeneratorFunctions | HBM.DeviceComponents.SignalGeneratorFunctions | SignalGeneratorFunctionsオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignSignalGeneratorSignal Method

指定したデバイス(UUID)の信号発生器番号にSignalオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

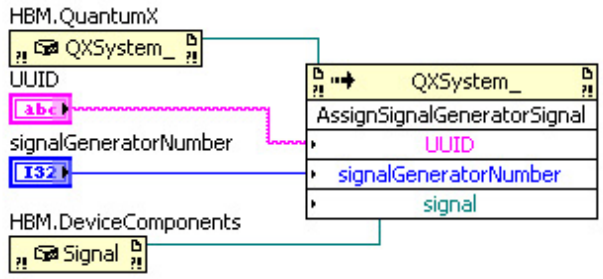
C#

```
public static void AssignSignalGeneratorSignal(
       ulong UUID,
       int signalGeneratorNumber,
       Signal signal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignSignalGeneratorSignal (
       UUID As ULong,
       signalGeneratorNumber As Integer,
       signal As Signal
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| signalGeneratorNumber | System.Int32 | 信号発生器番号。 |
| signal | HBM.DeviceComponents.Signal | Signalオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignSignalName Method(UInt64, Int32, Int32, Int32, eConnectorTypes, String)

指定したデバイス(UUID)、ChannelおよびConnectorにSignal、ConnectorTypeおよびSignalNameを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

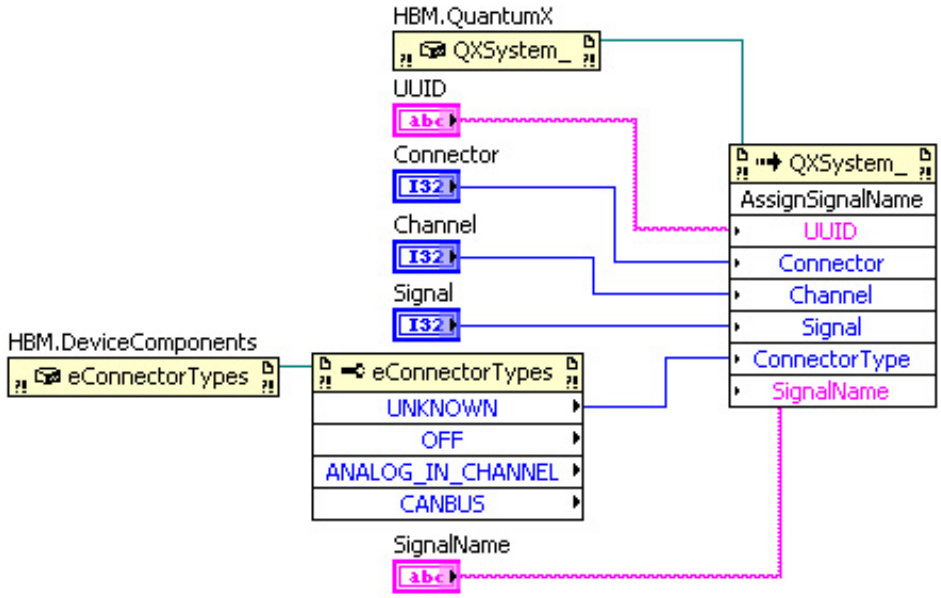
C#

```
public static void AssignSignalName(
        ulong UUID,
        int Connector,
        int Channel,
        int Signal,
        eConnectorTypes ConnectorType,
        string signalName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignSignalName (
        UUID As ULong,
        Connector As Integer,
        Channel As Integer,
        Signal As Integer,
        ConnectorType As eConnectorTypes,
        signalName As String

)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |
| Signal | System.Int32 | 信号名を変更する信号番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | 割り当てるeConnectorTypes。 |
| signalName | System.String | 新しい信号名。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignSignalName Method(UInt64, Int32, Int32, Int32, eAdditionalConnectorTypes, String)

指定したデバイス(UUID)、ChannelおよびConnectorにSignal、ConnectorTypeおよびSignalNameを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

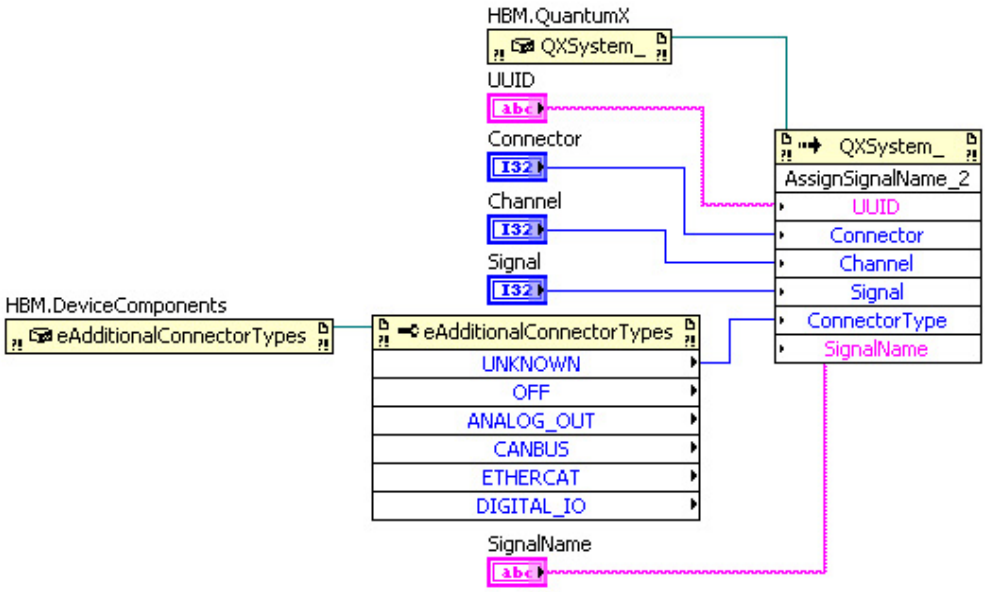
C#

```
public static void AssignSignalName(
        ulong UUID,
        int Connector,
        int Channel,
        int Signal,
        eAdditionalConnectorTypes ConnectorType,
        string signalName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignSignalName (
        UUID As ULong,
        Connector As Integer,
        Channel As Integer,
        Signal As Integer,
        ConnectorType As eAdditionalConnectorTypes,
        signalName As String

)
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |
| Signal | System.Int32 | 信号名を変更する信号番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eAdditionalConnectorTypes | 追加コネクタのタイプ。 |
| signalName | System.String | 新しい信号名。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.AssignSyncSignal Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにSyncSignalオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

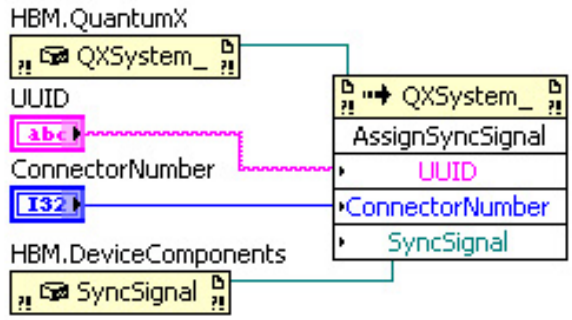
C#

```
public static void AssignSyncSignal(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       SyncSignal SyncSignal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignSyncSignal (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       SyncSignal As SyncSignal
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| SyncSignal | HBM.DeviceComponents.SyncSignal | SyncSignalオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignSystemTime Method

指定したデバイス(UUID)にシステム日付および時間を設定します(CXのみ)。
自動変換していない場合、時間はUTCに設定されます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

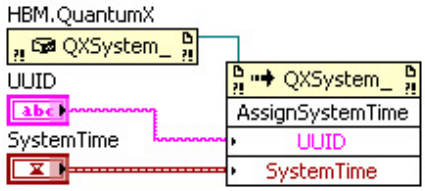
C#

```
public static void AssignSystemTime(
       ulong UUID,
       DateTime SystemTime
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignSystemTime (
       UUID As ULong,
       SystemTime As DateTime
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| SystemTime | System.DateTime | 時間の設定。DateTime.MinValueに設定した場合、自動的にDateTime.UtcNowが適用されます。 |

## QXSystem.AssignTeds Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにTEDSを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

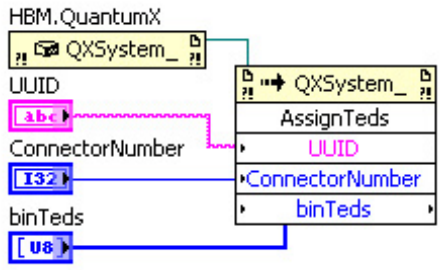
C#

```
public static void AssignTeds(
        ulong UUID,
        int ConnectorNumber,
        out string Tid,
        byte[] binTeds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignTeds (
        UUID As ULong,
        ConnectorNumber As Integer,
        <OutAttribute> ByRef Tid As String,
        binTeds As Byte()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Tid | System.String | チャネルに接続されたTEDSチップからTIDの戻り値。 |
| binTeds | System.Byte[] | TEDSデータの配列。 |

## QXSystem.AssignTedsUsage Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにtedsUsageを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

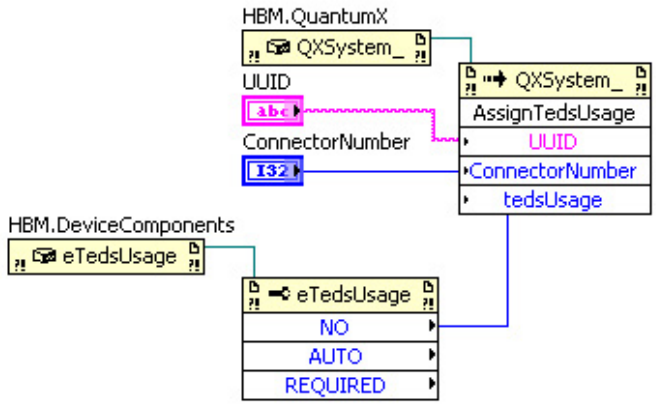
C#

```
public static void AssignTedsUsage(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       eTedsUsages tedsUsage
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignTedsUsage (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       tedsUsage As eTedsUsages
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| tedsUsage | HBM.DeviceComponents.eTedsUsages | 新しいTEDS使用の割り当て。 |

## QXSystem.AssignTestSignal Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberにTestSignalオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

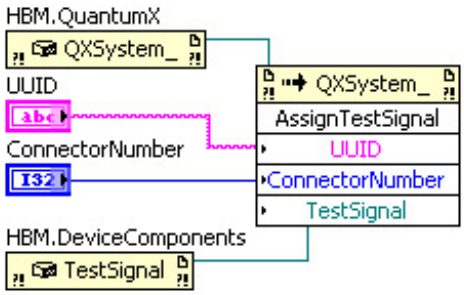
C#

```
public static void AssignTestSignal(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       TestSignal TestSignal
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignTestSignal (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       TestSignal As TestSignal
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| TestSignal | HBM.DeviceComponents.TestSignal | TestSignalオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignTimeSource Method

指定したデバイス(UUID)にtimeSourceオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

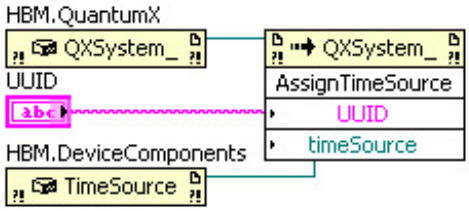
C#

```
public static void AssignTimeSource(
       ulong UUID,
       TimeSource timeSource
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignTimeSource (
       UUID As ULong,
       timeSource As TimeSource
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| timeSource | HBM.DeviceComponents.TimeSource | TimeSourceオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignZero Method(UInt64, Int32, Int32)

指定したデバイス(UUID)、ChannelおよびConnectorに0値を設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

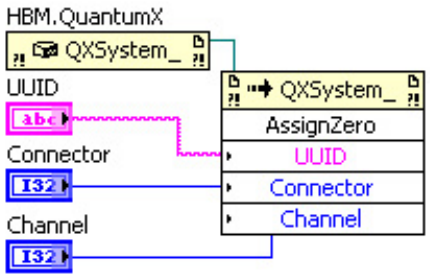
C#

```
public static void AssignZero(
       ulong UUID,
       int Connector,
       int Channel
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignZero (
       UUID As ULong,
       Connector As Integer,
       Channel As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ZeroingFailedException |

## QXSystem.AssignZero Method(UInt64, Int32, Int32, ZeroOffset)

指定したデバイス(UUID)、ChannelおよびConnectorにzeroOffsetオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

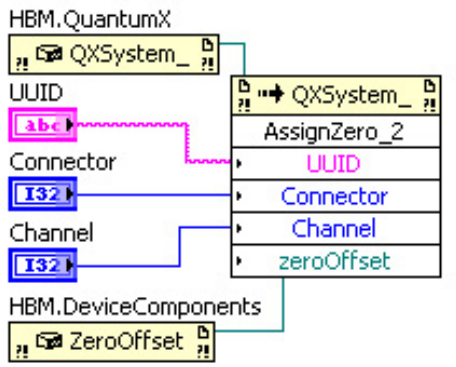
C#

```
public static void AssignZero(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber,
       ZeroOffset zeroOffset
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignZero (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer,
       zeroOffset As ZeroOffset
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |
| zeroOffset | HBM.DeviceComponents.ZeroOffset | ZeroOffsetオブジェクト。 |

## QXSystem.AssignZeroMath Method(UInt64, Int32)

指定したデバイス(UUID)にmathNumberを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

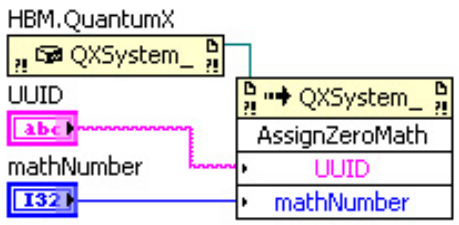
C#

```
public static void AssignZeroMath(
       ulong UUID,
       int mathNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignZeroMath (
       UUID As ULong,
       mathNumber As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathNumber | System.Int32 | Math番号。 |

## QXSystem.AssignZeroMath Method(UInt64, Int32, ZeroOffset)

指定したデバイス(UUID)のmathNumberにzeroOffsetオブジェクトを割り当てます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

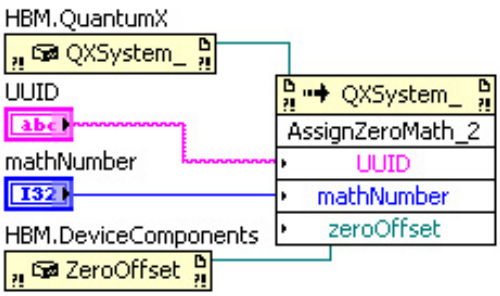
C#

```
public static void AssignZeroMath(
       ulong UUID,
       int mathNumber,
       ZeroOffset zeroOffset
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub AssignZeroMath (
       UUID As ULong,
       mathNumber As Integer,
       zeroOffset As ZeroOffset
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathNumber | System.Int32 | Math番号。 |
| zeroOffset | HBM.DeviceComponents.ZeroOffset | ZeroOffsetオブジェクト。 |

## QXSystem.ChargeAmplifierReset Method

指定したデバイス(UUID)のチャージアンプをリセットします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

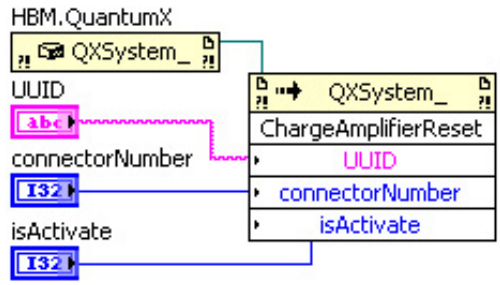
C#

```
public static void ChargeAmplifierReset(
        ulong UUID,
        int connectorNumber,
        bool isActivate
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ChargeAmplifierReset (
        UUID As ULong,
        connectorNumber As Integer,
        isActivate As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| connectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| isActivate | System.Boolean | 1の場合、チャージアンプが有効になります。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.ClearPeakValue Method

指定したデバイス(UUID)にpeakNumberを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

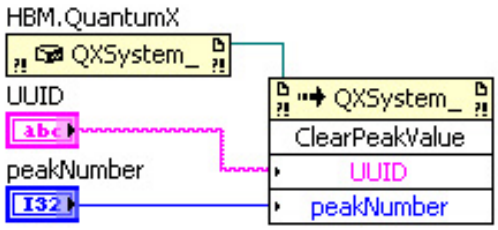
C#

```
public static void ClearPeakValue(
       ulong uuid,
       int peakNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ClearPeakValue (
       uuid As ULong,
       peakNumber As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| peakNumber | System.Int32 | ピーク番号。-1は全て。 |

## QXSystem.ClearRotationalVibrationIntegrator Method

RotationalVibrationをクリアします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

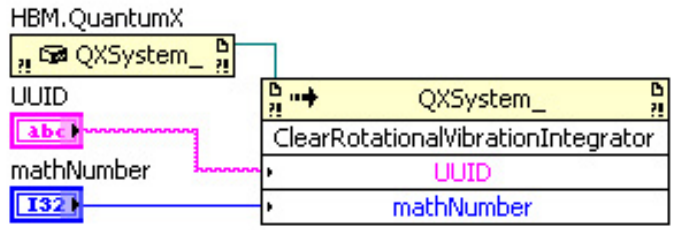
C#

```
public static void ClearRotationalVibrationIntegrator(
       ulong UUID,
       int mathNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ClearRotationalVibrationIntegrator (
       UUID As ULong,
       mathNumber As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathNumber | System.Int32 | Math番号。 |

## QXSystem.Connect Method (String)

**廃止**

Connect(String, Int32)を使用してください。指定したIPアドレスに接続します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

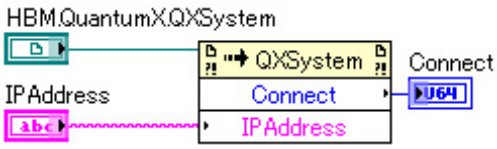
C#

```
[ObsoleteAttribute("Please use Connect(IPAddress, Port) instead.", false)]
public static ulong Connect(
       string IPAddress,
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("Please use Connect(IPAddress, Port) instead.", false)>
Public Shared Function Connect (
       IPAddress As String,
) As ULong
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| IPAddress | System.String | 接続するデバイスのIPアドレス(例えば"192.168.168.200")。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Connect | UInt64 | 接続されたデバイスのUUID。 |

## QXSystem.Connect Method(String, Int32)

IPAddressおよびPortを設定します。
デバイスの接続後、サブデバイスのUUIDをすべて収集し、SubDevicesLinearおよびSubDevicesHierarchicalプロパティを含む、通信可能なUUIDリストを更新します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

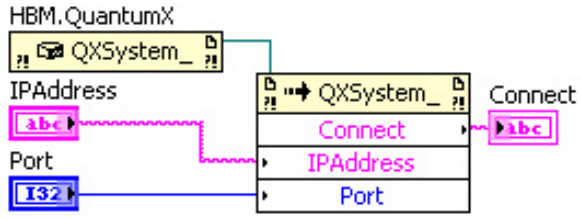
C#

```
public static ulong Connect(
	string IPAddress,
	int Port
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function Connect (
	IPAddress As String,
	Port As Integer
) As ULong
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| IPAddress | System.String | 接続するデバイスのIPアドレス(例えば"192.168.168.200")。 |
| Port | System.Int32 | 接続するデバイスのポート番号(例えば"5001")。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Connect | UInt64 | 接続されたデバイスのUUID。接続が失敗した場合ConnectionFailedExceptionが投げられます。 |

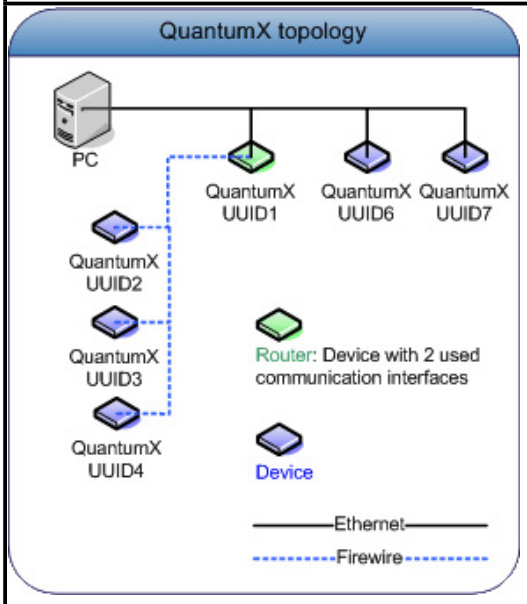
注釈

接続するデバイスがネットワーク設定(IPアドレス範囲およびサブネットマスク)に適合しているか注意してください。
ScanForQXDevices()関数は、ネットワーク設定が適合せずに接続できないデバイスを返すことがあります!

例

デバイスを接続し、通信可能なすべてのUUID(接続したデバイスのUUIDおよびサブデバイスのUUID)を一覧表示します。

```
...
// Add a device that is connected to the LAN:
UInt64 uuid;

try
{
  uuid = QXSystem.Connect ("192.168.168.200", 5001);
}
catch (Exception ex)
{
  MessageBox.Show("Could not connect to device - most likely due to improper network
settings!");
  return;
}

// Show its UUID
MessageBox.Show("The UUID (serial number) of the connected device is: " + uuid.
ToString());

// List all reachable devices (that is the device you just have connected
// and all devices that are connected to this device (e.g. via FireWire))
string deviceList = "UUIDs of all reachable devices:";

for (int i = 0; i < QXSystem.SubDevicesLinear.Count; i++)
  deviceList += QXSystem.SubDevicesLinear[i].uuid.ToString() + ", ";
MessageBox.Show(deviceList);

...
```




SubDevicesLinearおよびSubDevicesHierarchicalがどのように働くのかという考え方を理解するため、左図を参照してください。まだどのデバイスにも接続されていないと仮定します。利用可能なデバイスをスキャンすると、UUIDを持つQuantumXのデバイスが含まれているリストを取得します。

これらはすべてイーサネット経由でPCに接続されているデバイスです。この時点ではQXSystem.SubDevicesLinearおよびQXSystem.SubDevicesHierarchicalの両方は空の状態です。

QXSystem.Connect(...)を呼び出し、UUID1のデバイスに接続します。接続が確立したQXSystem.SubDevicesLinearには、通信可能なすべてのデバイスのフラットリストが含まれています: UUID1、UUID2、UUID3およびUUID4。

QXSystem.SubDevicesHierarchicalは、通信可能なすべてのデバイスの階層リストが含まれています: UUID1のノードはUUID2、UUID3、およびUUID4のサブノードを含みます。

## QXSystem.ConnectFireWire Method

**廃止**

FireWire(既存の複合デバイス)から新しいデバイスを追加し、UUIDリスト(SubDevicesLinearおよびSubDevicesHierarchicalを参照)を更新します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

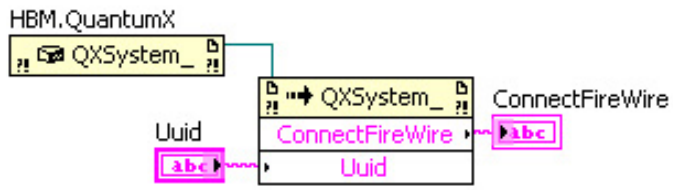
C#

```
[ObsoleteAttribute("No direct connection via FireWire supported anymore.  Use IP-over-FireWire and thus Connect(IPAddress, Port) instead.",
        false)]
public static ulong ConnectFireWire(
        ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("No direct connection via FireWire supported anymore.  Use IP-over-FireWire and thus Connect(IPAddress, Port) instead.",
        false)>
Public Shared Function ConnectFireWire (
        uuid As ULong,
) As ULong
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ConnectFireWire | UInt64 | 接続されたデバイスのUUID。 |

## QXSystem.ControlExists Method

モジュールのコントロールが存在するかどうかチェックします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

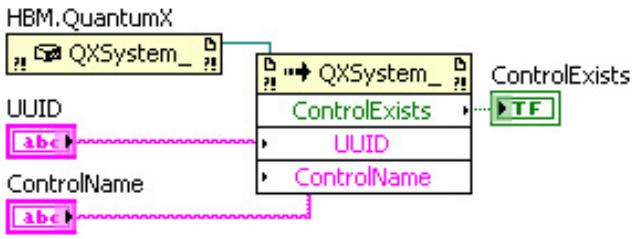
C#

```
public static bool ControlExists(
       ulong UUID,
       string ControlName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ControlExists (
       UUID As ULong,
       ControlName As String
) As Boolean
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ControlName | System.String | コントロール名。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ControlExists | Boolean | コントロールが存在する場合はtrue。 |

## QXSystem.ControlPeakFunction Method

指定したデバイス(UUID)にpeakNumber、peakRunModeおよびpeakModeを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

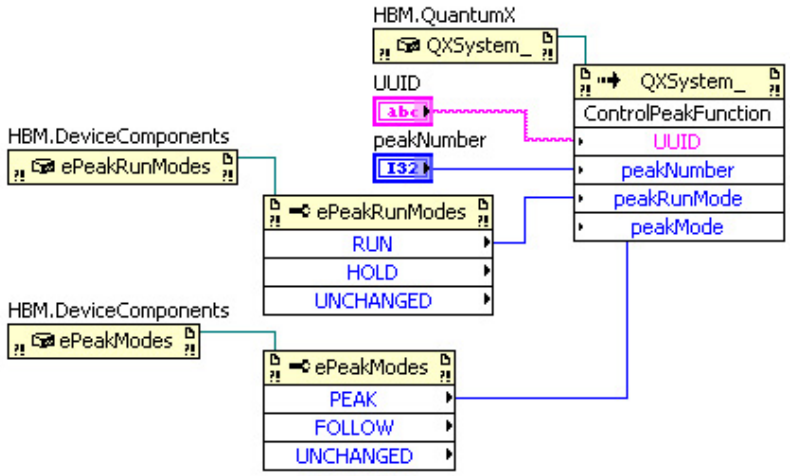
C#

```
public static void ControlPeakFunction(
        ulong uuid,
        int peakNumber,
        ePeakRunModes peakRunMode,
        ePeakModes peakMode
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ControlPeakFunction (
        uuid As ULong,
        peakNumber As Integer,
        peakRunMode As ePeakRunModes,
        peakMode As ePeakModes
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| peakNumber | System.Int32 | ピーク番号。-1はすべて。 |
| peakRunMode | HBM.DeviceComponents.ePeakRunModes | 実行モード。 |
| peakMode | HBM.DeviceComponents.ePeakModes | ピークモード。 |

## QXSystem.Disconnect Method (String)

**廃止**

Disconnect(IPAddress, Port)を使用してください。デバイスの切断(サブデバイスも含めて)し、通信可能なUUIDのリスト(SubDevicesLinearおよびSubDevicesHierarchical)更新します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

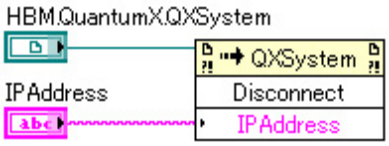
C#

```
[ObsoleteAttribute("Please use Disconnect(IPAddress, Port) instead.",
       false)]
public static void Disconnect(
       string IPAddress,
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("Please use Disconnect(IPAddress, Port) instead.",
       false)>
Public Shared Sub Disconnect (
       IPAddress As String,
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| IPAddress | System.String | 切断するデバイスのIPアドレス(例えば"192.168.168.200")。 |

## QXSystem.Disconnect Method(String, Int32)

デバイスの切断(サブデバイスも含めて)し、通信可能なUUIDのリスト(SubDevicesLinearおよびSubDevicesHierarchical)更新します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

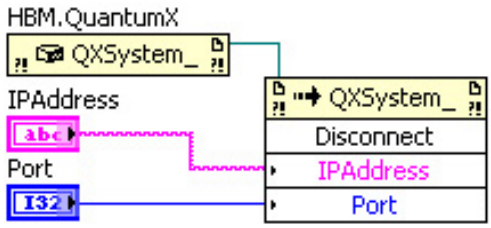
C#

```
public static void Disconnect(
       string IPAddress,
       int Port
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub Disconnect (
       IPAddress As String,
       Port As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| IPAddress | System.String | 切断するデバイスのIPアドレス(例えば"192.168.168.200")。 |
| Port | System.Int32 | 切断するデバイスのポート番号(例えば"5001")。 |

## QXSystem.DisconnectFireWire Method

**廃止**

切断(FireWire)します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

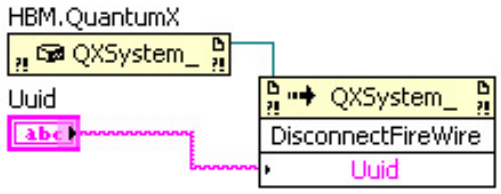
C#

```
[ObsoleteAttribute("No direct connection via FireWire supported anymore.  Use IP-over-FireWire and thus Disconnect(IPAddress, Port) instead.",
       false)]
public static void DisconnectFireWire(
       ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("No direct connection via FireWire supported anymore.  Use IP-over-FireWire and thus Disconnect(IPAddress, Port) instead.",
       false)>
Public Shared Sub DisconnectFireWire (
       uuid As ULong,
)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

## QXSystem.ExportDeviceXML Method(String, Device)

デバイスをXMLファイルにエクスポートします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

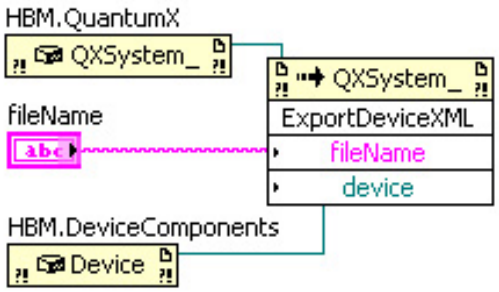
C#

```
public static void ExportDeviceXML(
       string fileName,
       Device device
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ExportDeviceXML (
       fileName As String,
       device As Device
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| fileName | System.String | XMLファイル名。 |
| device | HBM.DeviceComponents.Device | エクスポートするデバイス。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ExportFailedException |

## QXSystem.ExportDeviceXML Method(String, IEnumerable(Device))

デバイスをXMLファイルにエクスポートします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

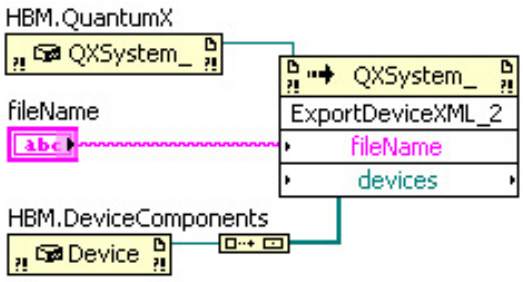
C#

```
public static void ExportDeviceXML(
       string fileName,
       IEnumerable<Device> devices
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ExportDeviceXML (
       fileName As String,
       devices As IEnumerable(Of Device)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| fileName | System.String | XMLファイル名。 |
| device | System.Collections.Generic.IEnumerable(Device) | エクスポートするデバイス。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ExportFailedException |

## QXSystem.ImportDeviceXML Method(String)

XMLファイルからデバイスをインポートします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

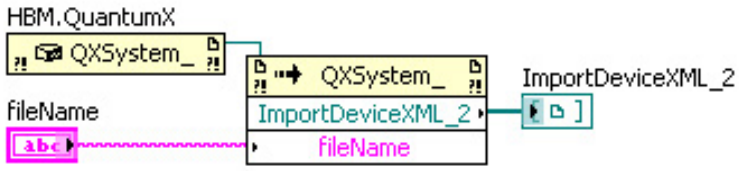
C#

```
public static Device[] ImportDeviceXML(
       string fileName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ImportDeviceXML (
       fileName As String,
) As Device()
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| fileName | System.String | XMLファイル名。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ImportDeviceXML_2 | Device[] | デバイスの配列。見つからない場合はnull。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.ImportFailedException |

## QXSystem.ImportDeviceXML Method(String, UInt64)

XMLファイルからUUIDで指定したデバイスをインポートします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

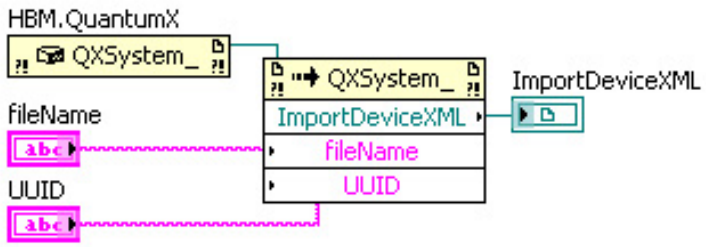
C#

```
public static Device ImportDeviceXML(
       string fileName,
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ImportDeviceXML (
       fileName As String,
       UUID As ULong
) As Device
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| fileName | System.String | XMLファイル名。 |
| UUID | System.UInt64 | インポートするUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ImportDeviceXML | Device[] | デバイス。UUDがファイル内に見つからない場合はnull。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ImportFailedException |

## QXSystem.ParamComLog Method(String)

通信ログをパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

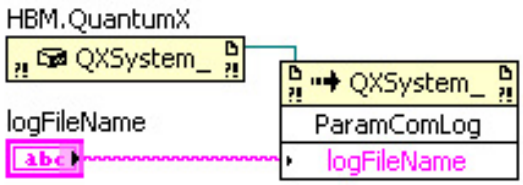
C#

```
public static void ParamComLog(
       string logFileName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamComLog (
       logFileName As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | 通信ログのファイル名。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamComLog Method(String, eComLogFlags)

通信ログ(Asciiモード)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

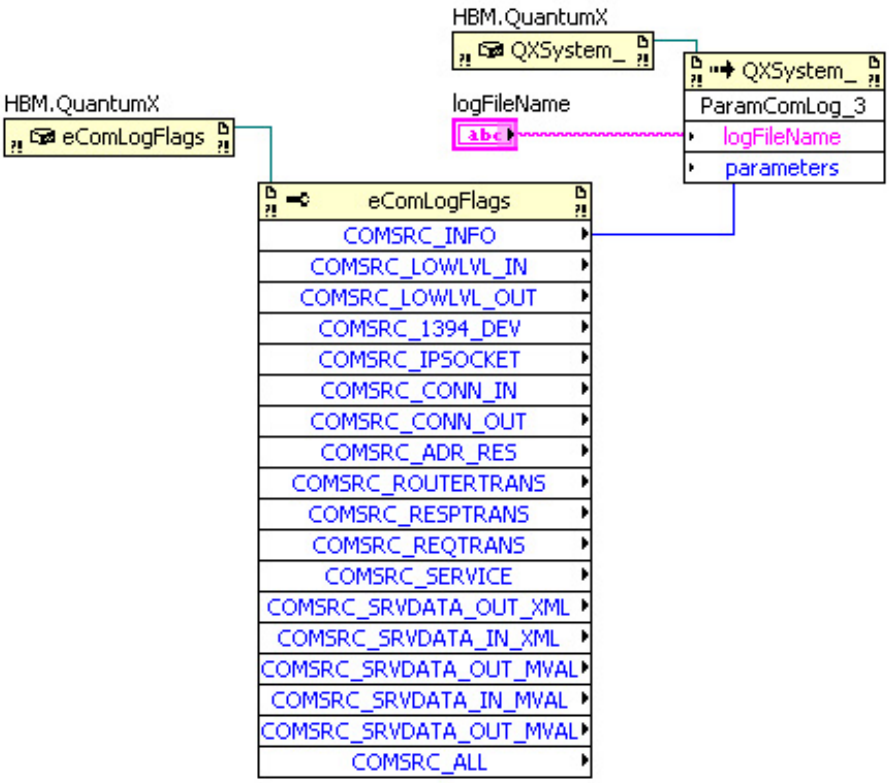
C#

```
public static void ParamComLog(
       string logFileName,
       eComLogFlags parameters
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamComLog (
       logFileName As String
       parameters As eComLogFlags
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | 通信ログのファイル名。 |
| parameters | HBM.QuantumX.eComLogFlags | QXFramework.enComLogFlags。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamComLog Method(String, eLogFileMode)

通信ログ(すべてのイベント)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

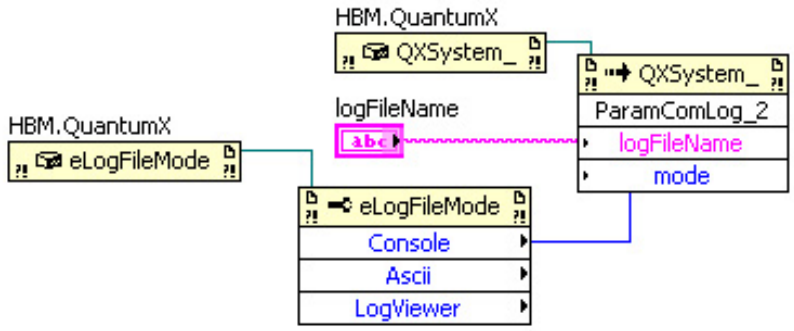
C#

```
public static void ParamComLog(
       string logFileName,
       eLogFileMode mode
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamComLog (
       logFileName As String
       mode As eLogFileMode
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | 通信ログのファイル名。 |
| mode | HBM.QuantumX.eLogFileMode | QXFramework.enLoggingMode。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamComLog Method(String, eLogFileMode, eComLogFlags)

通信ログ(Asciiモード、すべてのイベント)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

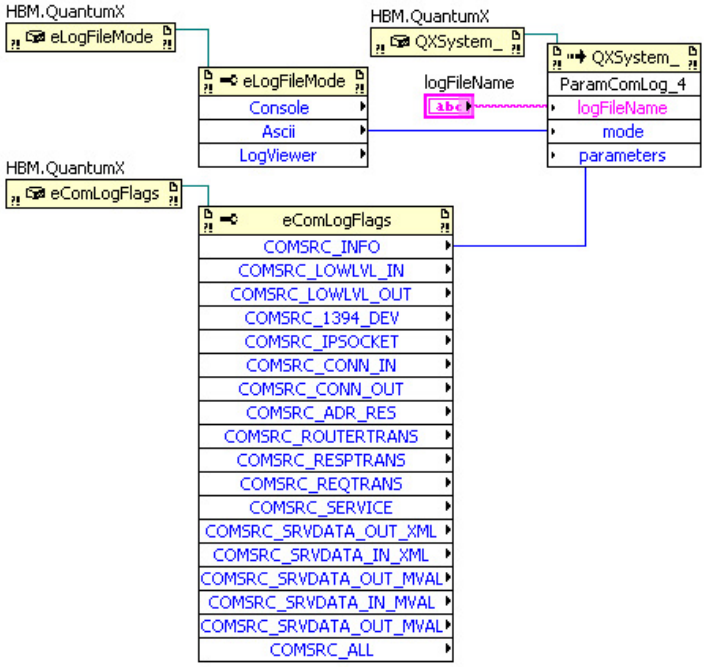
C#

```
public static void ParamComLog(
       string logFileName,
       eLogFileMode mode,
       eComLogFlags parameters
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamComLog (
       logFileName As String
       mode As eLogFileMode,
       parameters As eComLogFlags
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | 通信ログのファイル名。 |
| mode | HBM.QuantumX.eLogFileMode | QXFramework.enLoggingMode。 |
| parameters | HBM.QuantumX.eComLogFlags | QXFramework.enComLogFlags。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamDebugLog Method(String)

デバッグログをパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

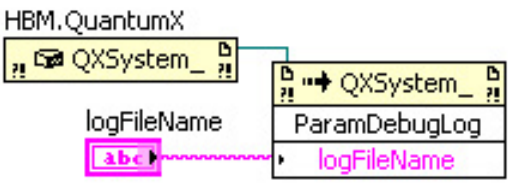
C#

```
public static void ParamDebugLog(
       string logFileName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamDebugLog (
       logFileName As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | デバッグログのファイル名。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamDebugLog Method(String, eDebugLogFlags)

デバッグログ(Asciiモード)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

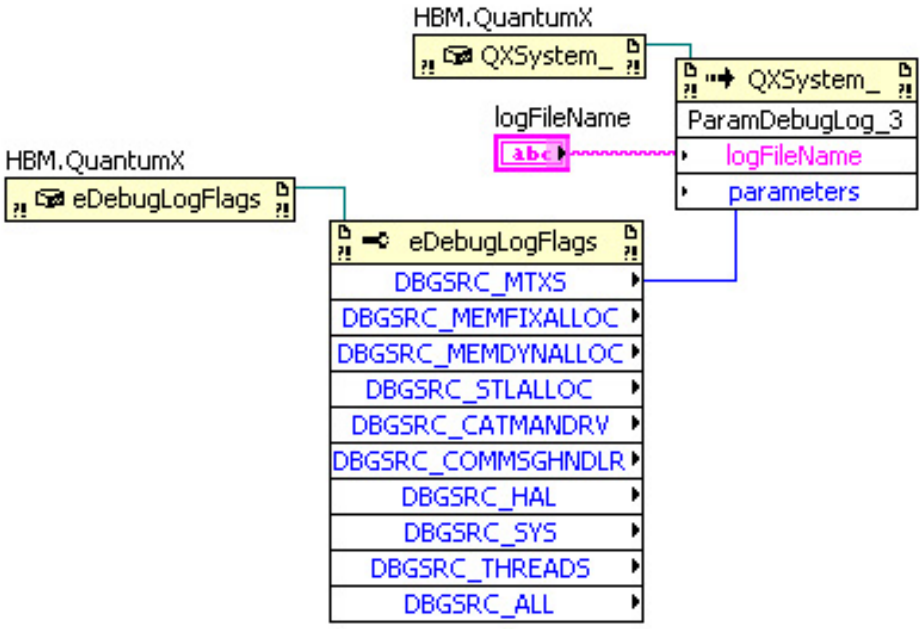
C#

```
public static void ParamDebugLog(
       string logFileName,
       eDebugLogFlags parameters
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamDebugLog (
       logFileName As String,
       parameters As eDebugLogFlags
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | デバッグログのファイル名。 |
| parameters | HBM.QuantumX.eDebugLogFlags | QXFramework.enDebugLogFlags。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamDebugLog Method(String, eLogFileMode)

デバッグログ(すべてのイベント)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

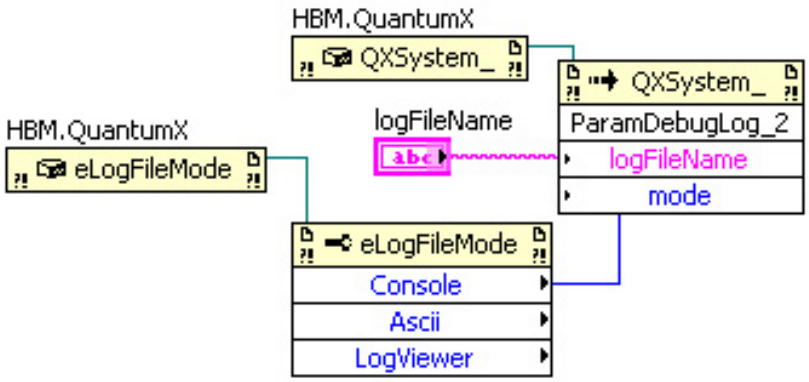
C#

```
public static void ParamDebugLog(
       string logFileName,
       eLogFileMode mode
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamDebugLog (
       logFileName As String,
       mode As eLogFileMode
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | デバッグログのファイル名。 |
| mode | HBM.QuantumX.eLogFileMode | QXFramework.eLogFileMode。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamDebugLog Method(String, eLogFileMode, eDebugLogFlags)

デバッグログ(Asciiモード、すべてのイベント)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

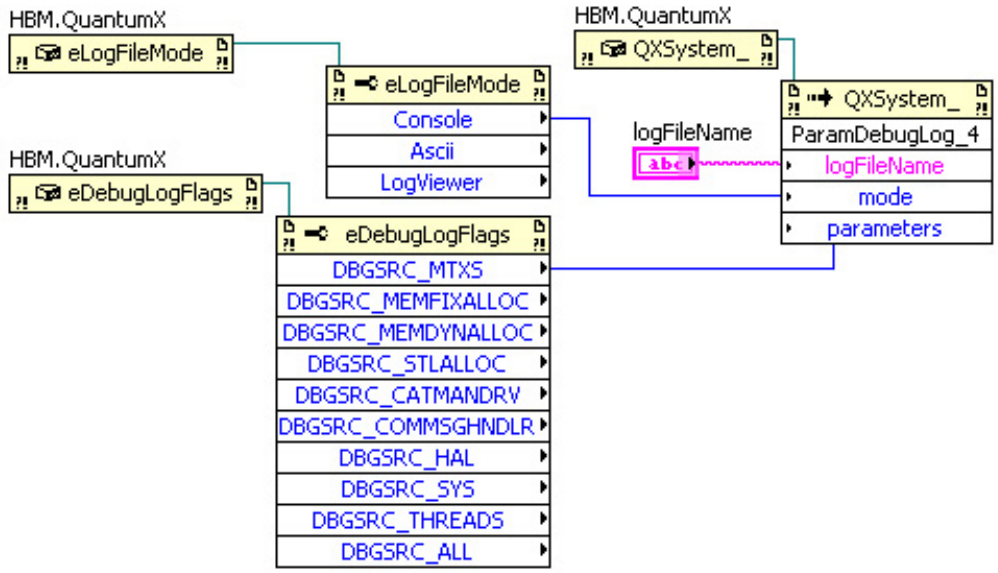
C#

```
public static void ParamDebugLog(
       string logFileName,
       eLogFileMode mode,
       eDebugLogFlags parameters
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamDebugLog (
       logFileName As String,
       mode As eLogFileMode,
       parameters As eDebugLogFlags
)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| logFileName | System.String | デバッグログのファイル名。 |
| mode | HBM.QuantumX.eLogFileMode | QXFramework.eLogFileMode。 |
| parameters | HBM.QuantumX.eDebugLogFlags | QXFramework.enDebugLogFlags。 |

| 例外 |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamErrorLog Method(String)

エラーログをパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

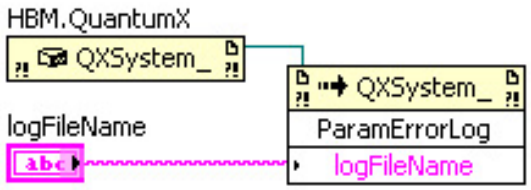
C#

```
public static void ParamErrorLog(
       string logFileName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamErrorLog (
       logFileName As String
)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| logFileName | System.String | エラーログのファイル名。 |

| 例外 |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamErrorLog Method(String, eErrorLogFlags)

エラーログ(Asciiモード)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

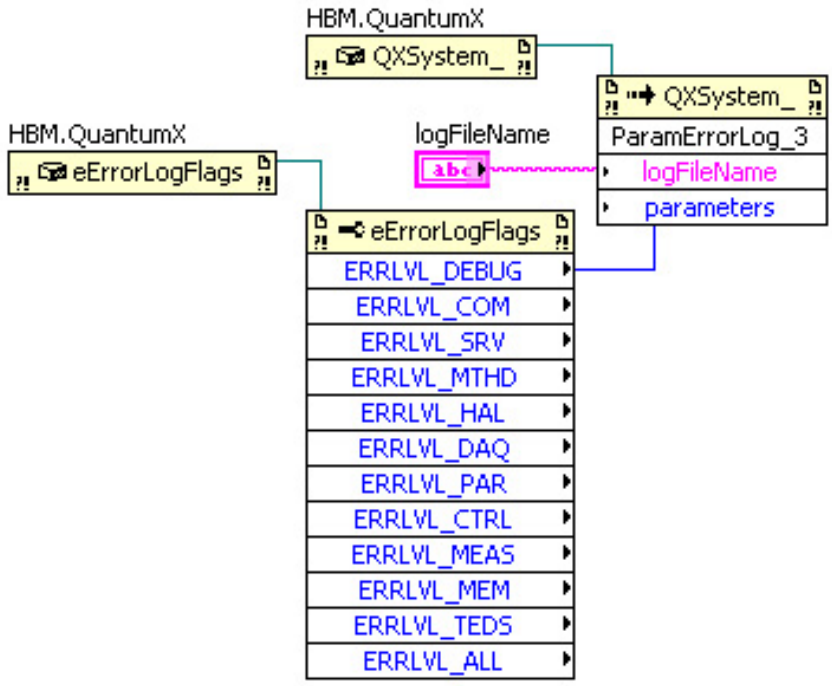
C#

```
public static void ParamErrorLog(
       string logFileName,
       eErrorLogFlags parameters
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamErrorLog (
       logFileName As String,
       parameters As eErrorLogFlags
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | エラーログのファイル名。 |
| parameters | HBM.QuantumX.eErrorLogFlags | QXFramework.eErrorLogFlags。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamErrorLog Method(String, eLogFileMode)

エラーログ(すべてのイベント)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

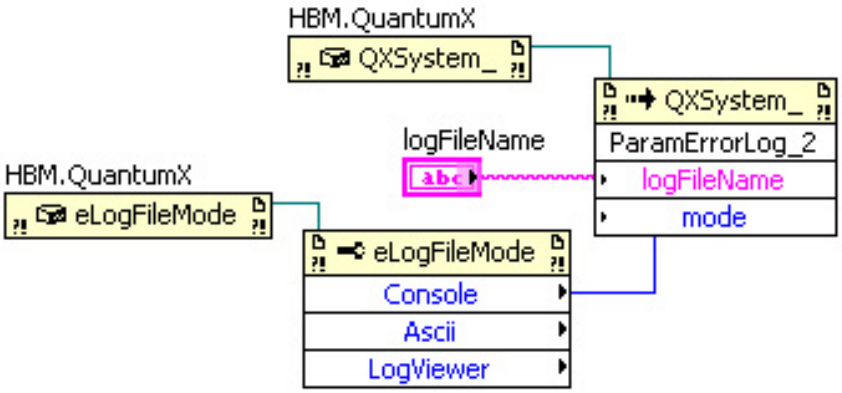
C#

```
public static void ParamErrorLog(
       string logFileName,
       eLogFileMode mode
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamErrorLog (
       logFileName As String,
       mode As eLogFileMode
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | エラーログのファイル名。 |
| mode | HBM.QuantumX.eLogFileMode | QXFramework.eLogFileMode。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ParamErrorLog Method(String, eLogFileMode, eErrorLogFlags)

エラーログ(Asciiモード、すべてのイベント)をパラメータ化。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

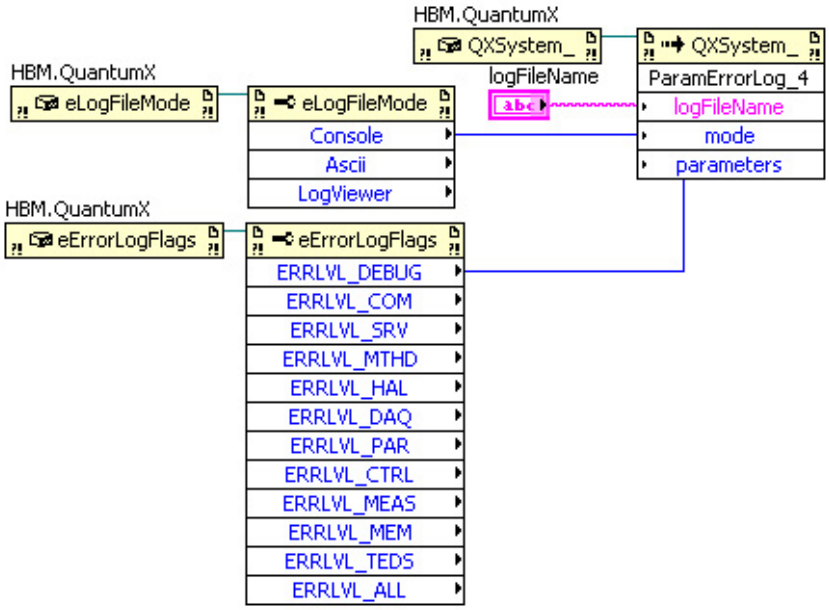
C#

```
public static void ParamErrorLog(
       string logFileName,
       eLogFileMode mode,
       eErrorLogFlags parameters
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ParamErrorLog (
       logFileName As String,
       mode As eLogFileMode,
       parameters As eErrorLogFlags
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| logFileName | System.String | エラーログのファイル名。 |
| mode | HBM.QuantumX.eLogFileMode | QXFramework.eLogFileMode。 |
| parameters | HBM.QuantumX.eErrorLogFlags | QXFramework.eErrorLogFlags。 |

例外

| |
|---|
| System.ApplicationException |

## QXSystem.ReadAdditionalConnector Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadAdditionalConnectorオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

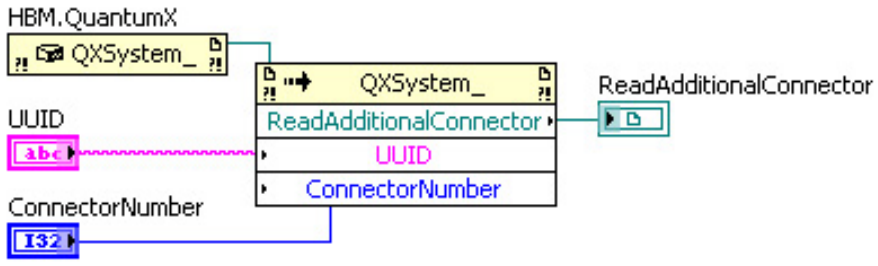
C#

```
public static AdditionalConnector ReadAdditionalConnector(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadAdditionalConnector (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As AdditionalConnector
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadAdditionalConnector | AdditionalConnector | AdditionalConnectorオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadAdditionalConnectors Method

指定したデバイス(UUID)からReadAdditionalConnectorsオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

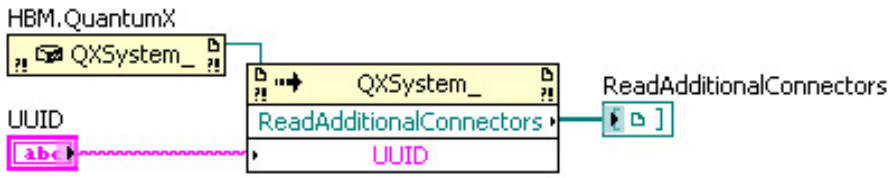
C#

```
public static AdditionalConnector[] ReadAdditionalConnectors(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadAdditionalConnectors (
       UUID As ULong
) As AdditionalConnector()
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadAdditionalConnectors | AdditionalConnector[] | AdditionalConnectorオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadAdditionalFunctions Method

指定したデバイス(UUID)からReadAdditionalFunctionsオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

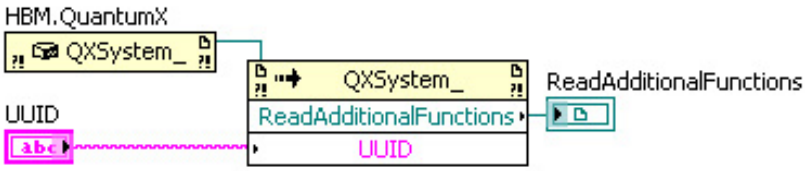
C#

```
public static AdditionalFunctions ReadAdditionalFunctions(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadAdditionalFunctions (
       UUID As ULong
) As AdditionalFunctions
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadAdditionalFunctions | AdditionalFunctions | AdditionalFunctionsオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadAnalogOutChannel Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadAnalogOutChannelオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

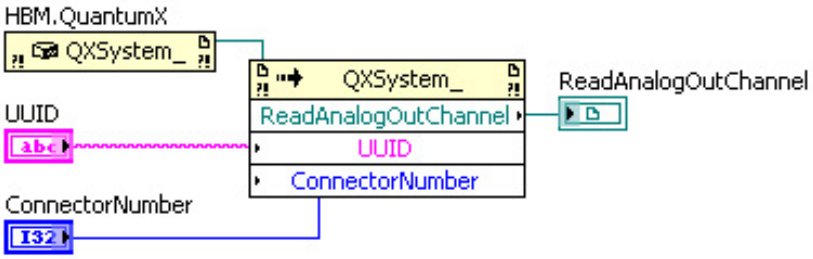
C#

```
public static AnalogOutChannel ReadAnalogOutChannel(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadAnalogOutChannel (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As AnalogOutChannel
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadAnalogOutChannel | AnalogOutChannel | AnalogOutChannelオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadAsyncSignal Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadAsyncSignalオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

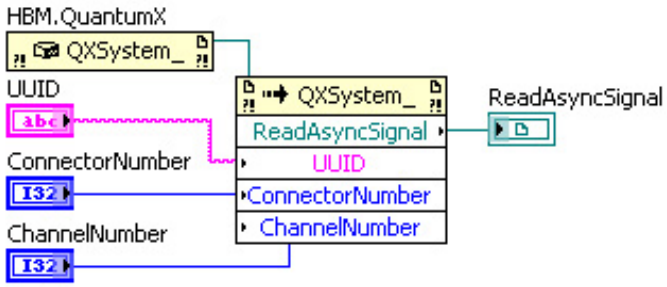
C#

```
public static AsyncSignal ReadAsyncSignal(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadAsyncSignal (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer
) As AsyncSignal
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadAsyncSignal | AsyncSignal | AsyncSignalオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadCANBusBaudrate Method

CANバスのボーレートを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

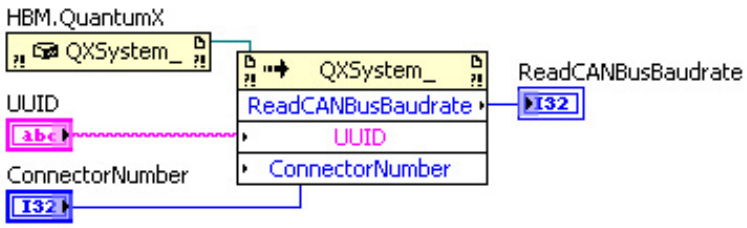
C#

```
public static int ReadCANBusBaudrate(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCANBusBaudrate (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As Integer
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCANBusBaudrate | Int32 | ボーレート。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadCANBusECU Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびECUNumberからReadCANBusECUオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

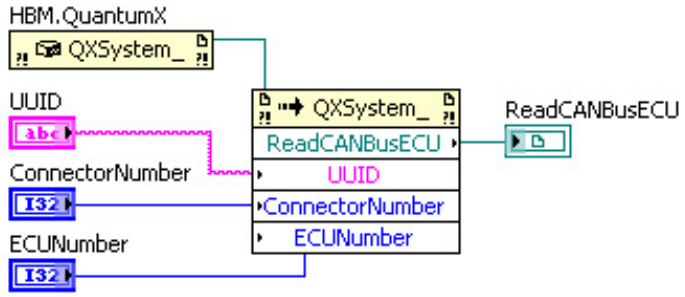
C#

```
public static ECU ReadCANBusECU(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ECUNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCANBusECU (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ECUNumber As Integer
) As ECU
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ECUNumber | System.Int32 | ECU番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCANBusECU | ECU | ECUオブジェクト。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadCANBusECUs Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadCANBusECUオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

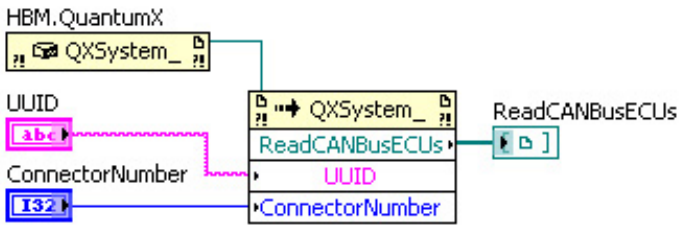
C#

```
public static ECU[] ReadCANBusECUs(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCANBusECU (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As ECU()
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCANBusECUs | ECU[] | ECUオブジェクト配列。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadCANBusErrorMode Method

CAN-BusのErrorMode設定を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

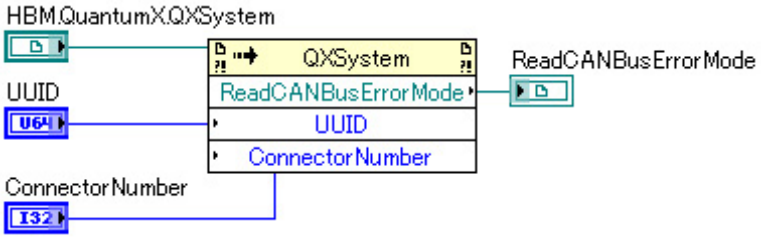
C#

```
public static ErrorMode ReadCANBusErrorMode(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCANBusErrorMode (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As ErrorMode
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCANBusSupplyVoltage | ErrorMode | ErrorModeオブジェクト。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadCANBusSupplyVoltage Method

CANバスへの供給電圧を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

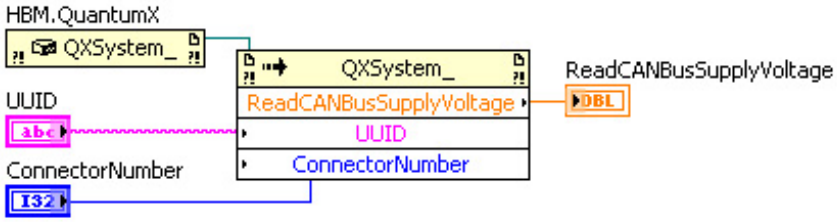
C#

```
public static double ReadCANBusSupplyVoltage(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCANBusSupplyVoltage (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As Double
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCANBusSupplyVoltage | Double | 供給電圧。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadCANBusTermination Method

CAN-Busのステータスを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

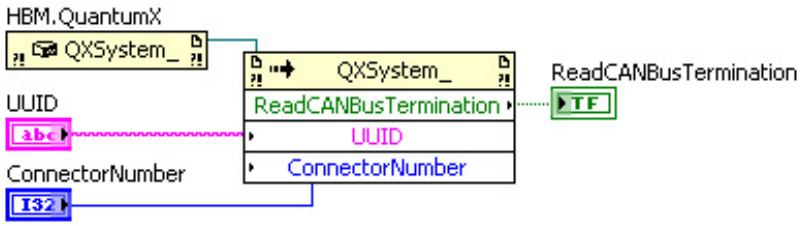
C#

```
public static bool ReadCANBusTermination(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCANBusTermination (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As Boolean
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCANBusSupplyVoltage | Boolean | 停止状態。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadCanInChannel Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadCanInChannelオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

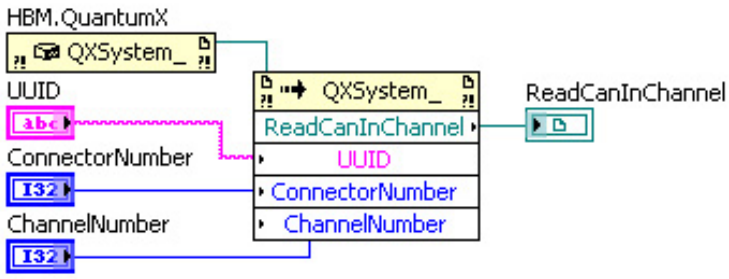
C#

```
public static CanInChannel ReadCanInChannel(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCanInChannel (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer
) As CanInChannel
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCanInChannel | CanInChannel | CanInChannelオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadCanInChannelActivation Method

CAN-Bus入力チャネルが有効/無効かを問い合わせます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

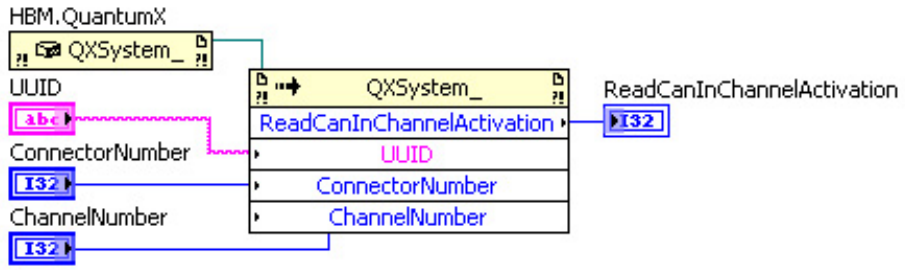
C#

```
public static eActive ReadCanInChannelActivation(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCanInChannelActivation (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer
) As eActive
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCanInChannelActivation | eActive | 有効/無効ステータス。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.AssignFailedException |

## QXSystem.ReadCanInChannels Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadCanInChannelオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

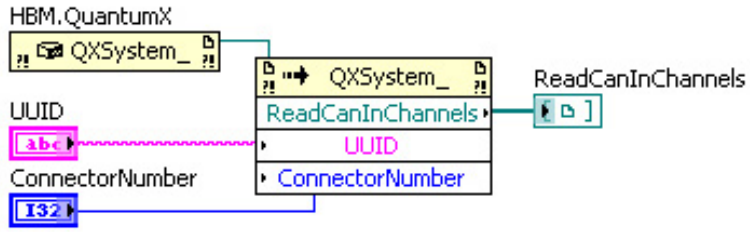
C#

```
public static CanInChannel[] ReadCanInChannels(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCanInChannels (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As CanInChannel()
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCanInChannels | CanInChannel[] | CanInChannelオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadCanOutChannels Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadCanOutChannelsオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

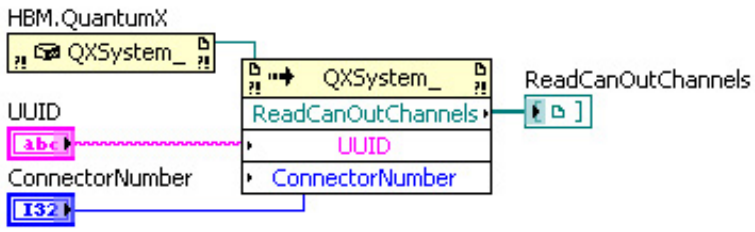
C#

```
public static CanOutChannel[] ReadCanOutChannels(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCanOutChannels (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As CanOutChannel()
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCanOutChannels | CanOutChannel[] | CanOutChannelオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadCanSensor Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadCanSensorオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

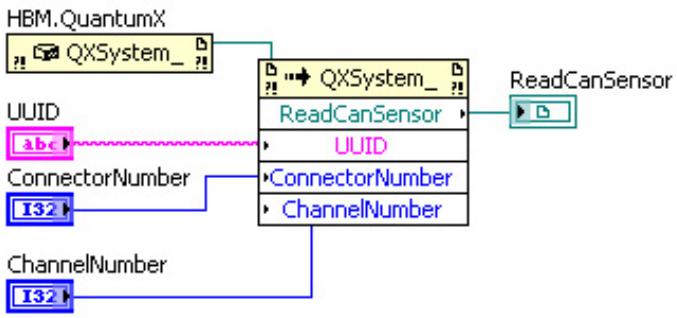
C#

```
public static CanSensor ReadCanSensor(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCanSensor (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer
) As CanSensor
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCanSensor | CanSensor | CanSensorオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadCanTransmitChannel Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadCanTransmitChannelオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

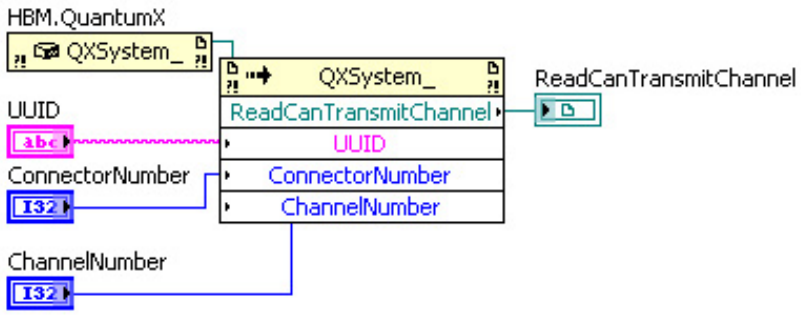
C#

```
public static CanTransmitChannel ReadCanTransmitChannel(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCanTransmitChannel (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer
) As CanTransmitChannel
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCanTransmitChannel | CanTransmitChannel | CanTransmitChannelオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadCanTransmitChannels Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadCanTransmitChannelオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

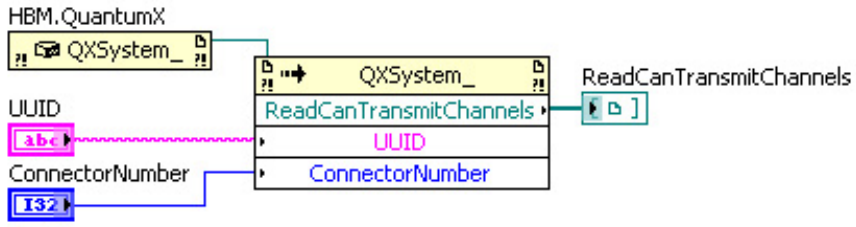
C#

```
public static CanTransmitChannel[] ReadCanTransmitChannels(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCanTransmitChannels (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
) As CanTransmitChannel()
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCanTransmitChannels | CanTransmitChannel[] | CanTransmitChannelオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadChannelName Method

チャネル名を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

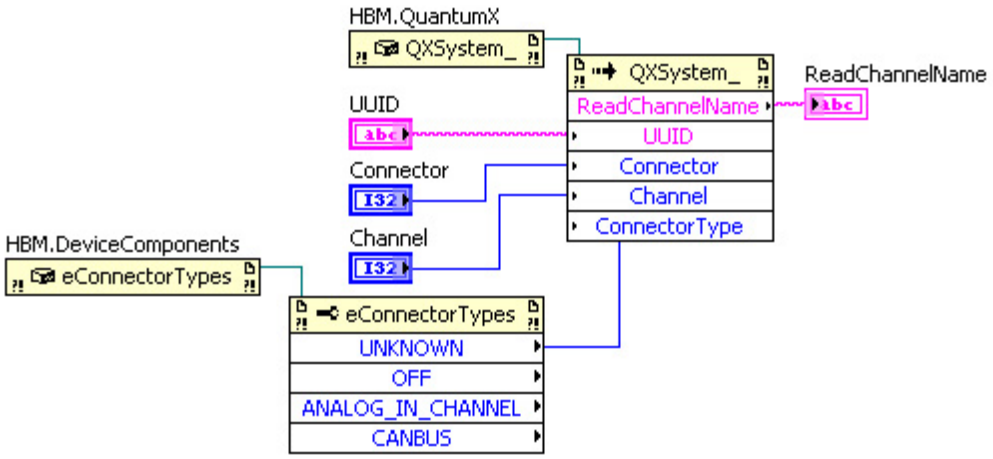
C#

```
public static string ReadChannelName(
        ulong UUID,
        int Connector,
        int Channel,
        eConnectorTypes ConnectorType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadChannelName (
        UUID As ULong,
        Connector As Integer,
        Channel As Integer,
        ConnectorType As eConnectorTypes
) As String
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | 割り当てるeConnectorTypes。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadCanTransmitChannels | String | チャネル名。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadCommunication Method

指定したデバイス(UUID)からReadCommunicationオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static Communication ReadCommunication(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCommunication (
       UUID As ULong,
) As Communication
```

LabVIEW

| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadCommunication | Communication | Communicationオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadConnector Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadConnectorオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

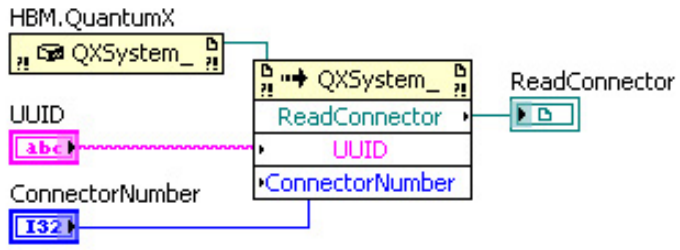
C#

```
public static Connector ReadConnector(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadConnector (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As Connector
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadConnector | Connector | Connectorオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadCtrlParameters Method

コントロールからすべてのパラメータを読み込み、文字列配列に書き出します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

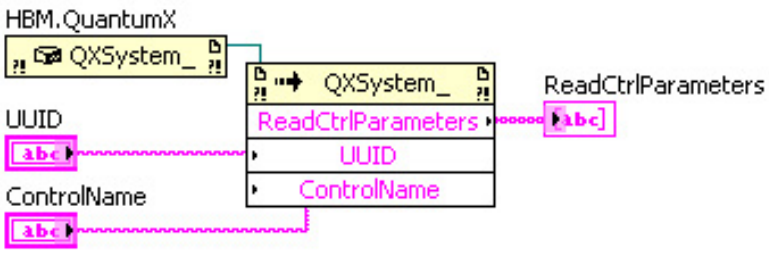
C#

```
public static string[] ReadCtrlParameters(
       ulong UUID,
       string ControlName
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCtrlParameters (
       UUID As ULong,
       ControlName As String
) As String()
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ControlName | System.String | コントロール名。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCtrlParameters | String[] | コントロールパラメータを格納する文字列配列。 |

## QXSystem.ReadCtrlXmlWithParameters Method

指定したコントロールからパラメータに応じたXMLを読み込みます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

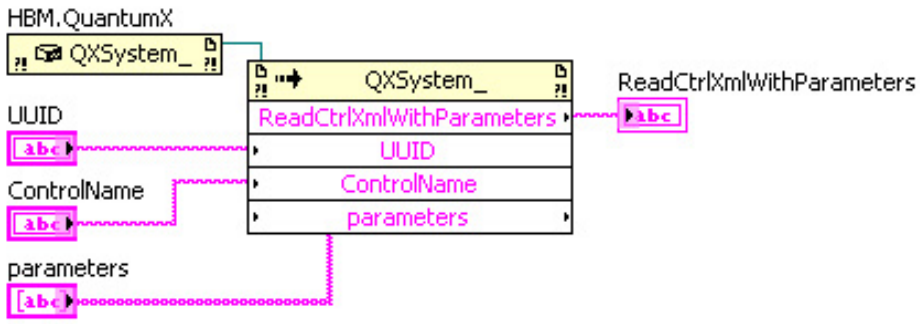
C#

```
public static string ReadCtrlXmlWithParameters(
       ulong UUID,
       string ControlName,
       params string[] parameters
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadCtrlXmlWithParameters (
       UUID As ULong,
       ControlName As String,
       ParamArray parameters As String()
) As String
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ControlName | System.String | コントロール名。 |
| parameters | System.String[] | コントロールパラメータを格納する文字列配列。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadCtrlXmlWithParameters | String | XML文字列または見つからない場合はnull。 |

## QXSystem.ReadDataRateDomain Method

DataRateDomainを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

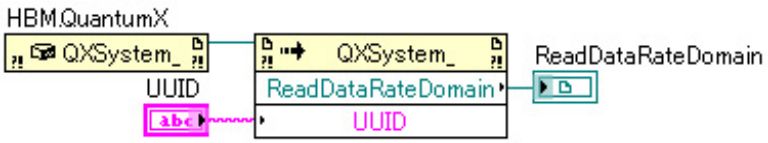
C#

```
public static DataRateDomain ReadDataRateDomain(
       ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadDataRateDomain (
       uuid As ULong
) As DataRateDomain
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadDataRateDomain | DataRateDomain | DataRateDomainオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadDevice Method

指定したデバイス(UUID)からReadDeviceオブジェクトを返します。
デバイスのすべてのサブコンポーネント(サブデバイスではありません!)を読み込みます。- コネクタ、チャンネル、センサなど。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

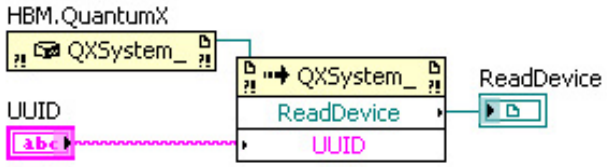
C#

```
public static Device ReadDevice(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadDevice (
       UUID As ULong
) As Device
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadDevice | Device | Deviceオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadDigitalIOPin Method

指定したデバイス(UUID)のpinNumberからReadDigitalIOPinオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

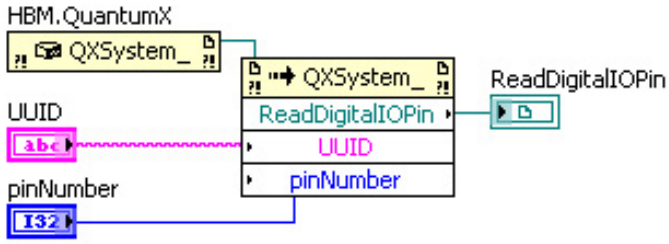
C#

```
public static Pin ReadDigitalIOPin(
       ulong UUID,
       int pinNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadDigitalIOPin (
       UUID As ULong,
       pinNumber As Integer
) As Pin
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| pinNumber | System.Int32 | ピン番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadDigitalIOPin | Pin | Pinオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadDigitalIOPins Method

指定したデバイス(UUID)からReadDigitalIOPinsオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

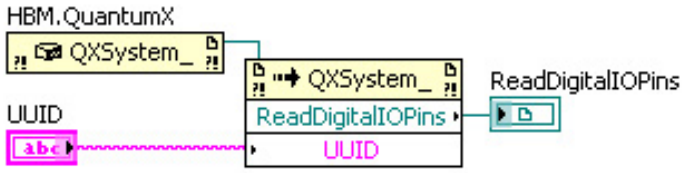
C#

```
public static DigitalIOPins ReadDigitalIOPins(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadDigitalIOPins (
       UUID As ULong
) As DigitalIOPins
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadDigitalIOPins | DigitalIOPins | DigitalIOPinsオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadDigitalIOPinSignal Method

指定したデバイス(UUID)のpinNumberからReadDigitalIOPinSignalオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

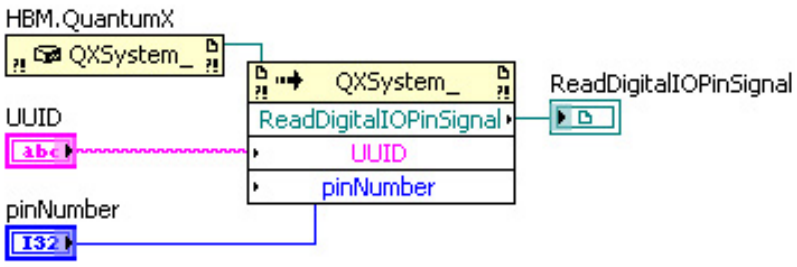
C#

```
public static Signal ReadDigitalIOPinSignal(
       ulong UUID,
       int pinNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadDigitalIOPinSignal (
       UUID As ULong,
       pinNumber As Integer
) As Signal
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| pinNumber | System.Int32 | ピン番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadDigitalIOPinSignal | Signal | Signalオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadDigitalIOs Method

CXモジュールからデジタルIOを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

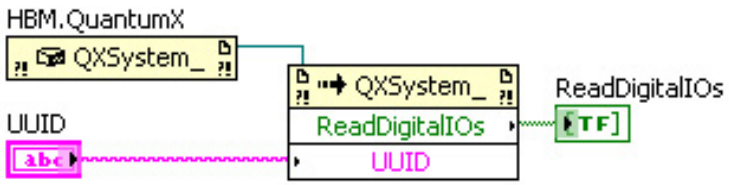
C#

```
public static bool[] ReadDigitalIOs(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadDigitalIOs (
       UUID As ULong
) As Boolean()
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadDigitalIOs | Boolean[] | ブール配列[DIn1,DIn2,DOut1,DOut2]。 |

## QXSystem.ReadDllVersion Method

HBM_QX_Framework.dllよりバージョン文字列を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

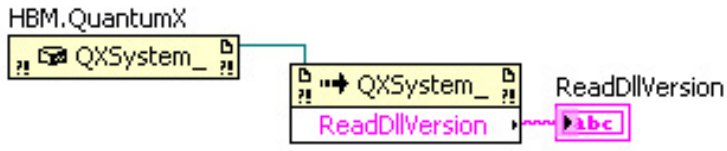
C#

```
public static string ReadDllVersion()
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadDllVersion As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadDllVersion | String | HBM_QX_Framework.dllのバージョン |

## QXSystem.ReadErrorStatus Method(UInt64)

指定したデバイス(UUID)からReadErrorStatusオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

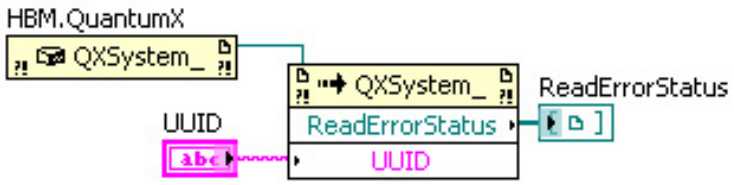
C#

```
public static List<ErrorStatus> ReadErrorStatus(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadErrorStatus (
       UUID As ULong
) As List(Of ErrorStatus)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadErrorStatus | List(ErrorStatus) | ErrorStatusオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadErrorStatus Method(UInt64, Int32, Int32, Int32)

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumber、ChannelNumberおよびSignalNumberからReadErrorStatusオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

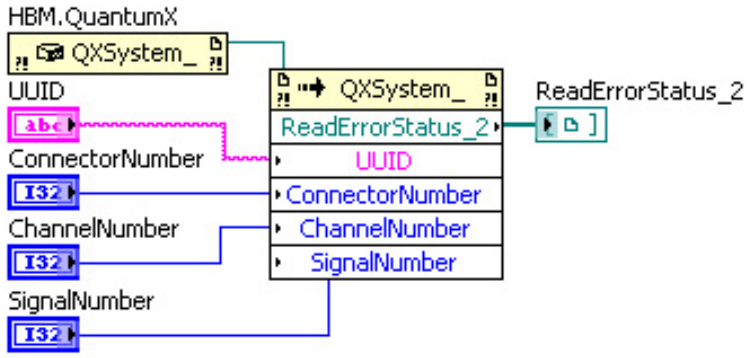
C#

```
public static List<ErrorStatus> ReadErrorStatus(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber,
       int SignalNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadErrorStatus (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer,
       SignalNumber As Integer
) As List(Of ErrorStatus)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |
| SignalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadErrorStatus | List(ErrorStatus) | ErrorStatusオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadEtherCat Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadEtherCatオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

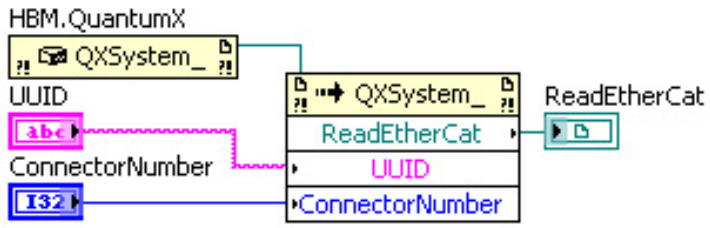
C#

```
public static EtherCAT ReadEtherCat(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadEtherCat (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As EtherCAT
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadEtherCat | EtherCAT | EtherCATオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadEtherCatTransmitChannel Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびChannelNumberからReadEtherCatTransmitChannelオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

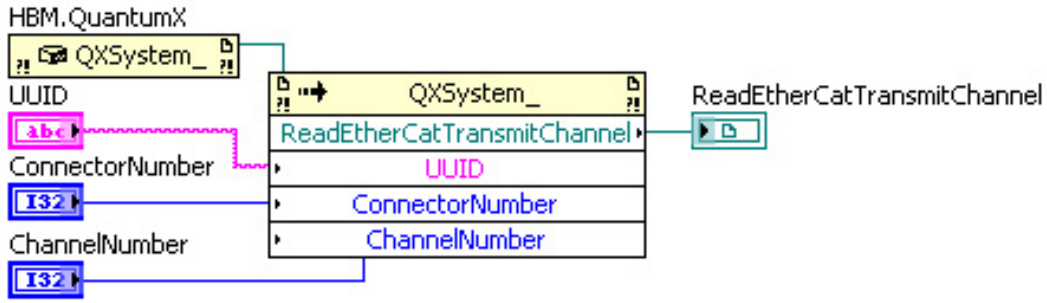
C#

```
public static EtherCatTransmitChannel ReadEtherCatTransmitChannel(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int ChannelNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadEtherCatTransmitChannel (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       ChannelNumber As Integer
) As EtherCatTransmitChannel
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ChannelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadEtherCatTransmitChannel | EtherCatTransmitChannel | EtherCatTransmitChannelオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadEthernet0 Method

指定したデバイス(UUID)からReadEthernet0オブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

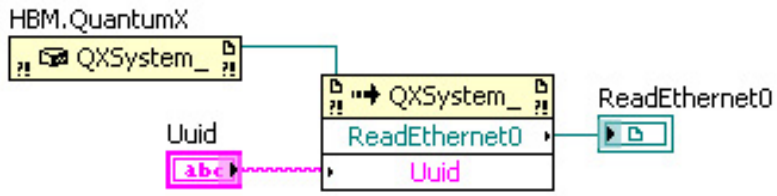
C#

```
public static Ethernet ReadEthernet0(
       ulong Uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadEthernet0 (
       Uuid As ULong
) As Ethernet
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadEthernet0 | Ethernet | Ethernetオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadEthernet0ViaUdp Method

指定したデバイス(UUID)からReadEthernet0ViaUdpオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

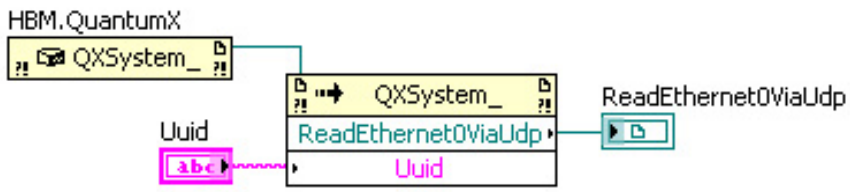
C#

```
public static Ethernet ReadEthernet0ViaUdp(
       ulong Uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadEthernet0ViaUdp (
       Uuid As ULong
) As Ethernet
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadEthernet0ViaUdp | Ethernet | Ethernetオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadEthernets Method

指定したデバイス(UUID)からReadEthernetsオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

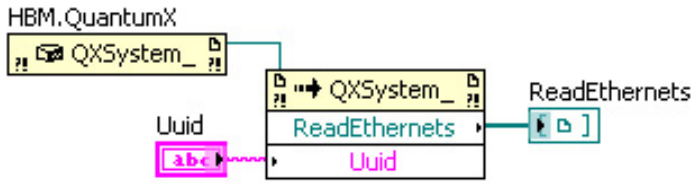
C#

```
public static Ethernet[] ReadEthernets(
       ulong Uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadEthernets (
       Uuid As ULong
) As Ethernet()
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadEthernets | Ethernet[] | Ethernetオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadEthernetsViaUdp Method

指定したデバイス(UUID)からReadEthernetsViaUdpオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

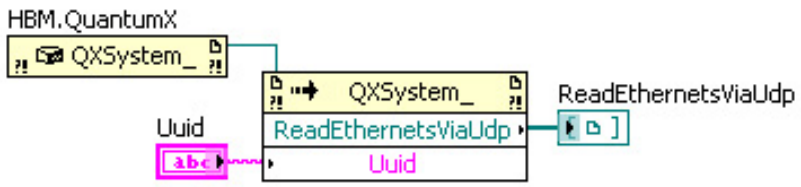
C#

```
public static Ethernet[] ReadEthernetsViaUdp(
       ulong Uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadEthernetsViaUdp (
       Uuid As ULong
) As Ethernet()
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadEthernetsViaUdp | Ethernet[] | Ethernetオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadFile Method

指定したデバイス(UUID)からファイル名やパスを読み込みPCに格納します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

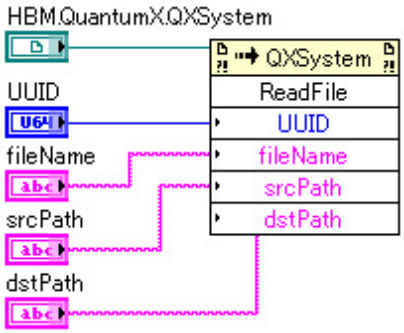
C#

```
public static void ReadFile(
        ulong UUID,
        string fileName,
        string srcPath,
        string dstPath
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ReadFile (
        UUID As ULong,
        fileName As String,
        srcPath As String,
        dstPath As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| fileName | System.String | ファイル名。 |
| srcPath | System.String | 読み取るモジュールのパス。 |
| dstPath | System.String | PCに書き込むパス。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadLastErrorTxt Method

最後に発生したエラーの説明を読み込みます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

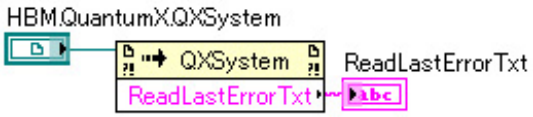
C#

```
public static string ReadLastErrorTxt()
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadLastErrorTxt As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadLastErrorTxt | String | 最後に発生したエラー。 |

## QXSystem.ReadLastErrorTxt Method(UInt64)

最後に発生したエラーの説明を読み込みます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

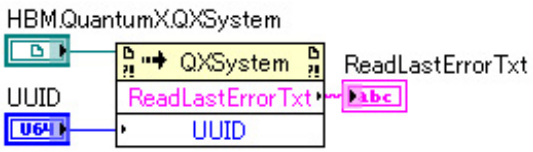
C#

```
public static string ReadLastErrorTxt(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadLastErrorTxt (
       UUID As ULong
) As String
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadLastErrorTxt | String | 最後に発生したエラー。 |

## QXSystem.ReadLastProblems Method

ReadLastProblemsオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

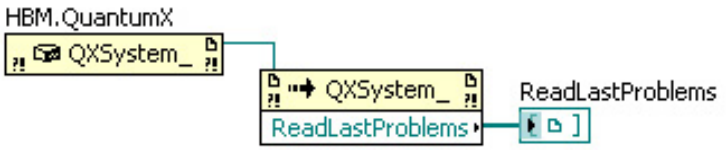
C#

```
public static List<Problem> ReadLastProblems()
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadLastProblems As List(Of Problem)
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadLastProblems | List(Problem) | ReadLastProblemsオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadLimitSwitch Method

指定したデバイス(UUID)のLimitSwitchNumberからReadLimitSwitchオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

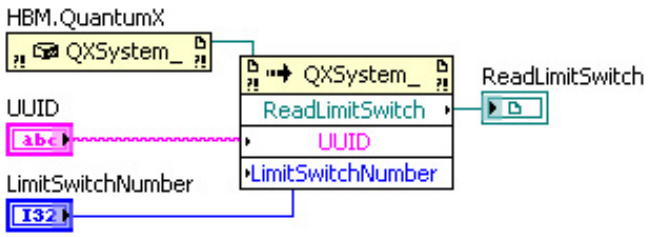
C#

```
public static LimitSwitch ReadLimitSwitch(
       ulong UUID,
       int limitSwitchNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadLimitSwitch (
       UUID As ULong,
       limitSwitchNumber As Integer
) As LimitSwitch
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| limitSwitchNumber | System.Int32 | リミットスイッチ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadLimitSwitch | LimitSwitch | LimitSwitchオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadLimitSwitchFunctions Method

指定したデバイス(UUID)からReadLimitSwitchFunctionsオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

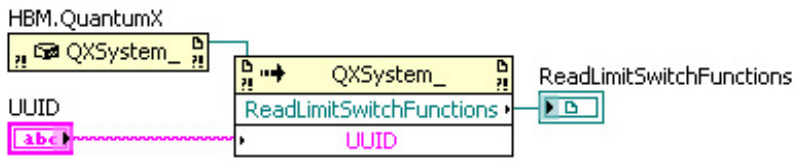
C#

```
public static LimitSwitchFunctions ReadLimitSwitchFunctions(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadLimitSwitchFunctions (
       UUID As ULong
) As LimitSwitchFunctions
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadLimitSwitchFunctions | LimitSwitchFunctions | LimitSwitchFunctionsオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadLimitSwitchSignal Method

指定したデバイス(UUID)のLimitSwitchNumberおよびsignalNumberからReadLimitSwitchSignalオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

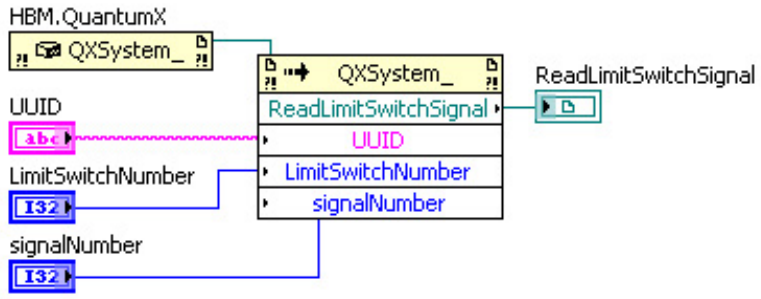
C#

```
public static Signal ReadLimitSwitchSignal(
       ulong UUID,
       int limitSwitchNumber,
       int signalNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadLimitSwitchSignal (
       UUID As ULong,
       limitSwitchNumber As Integer,
       signalNumber As Integer
) As Signal
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| limitSwitchNumber | System.Int32 | リミットスイッチ番号。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadLimitSwitchSignal | Signal | Signalオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadMath Method

指定したデバイス(UUID)のmathNumberからReadMathオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

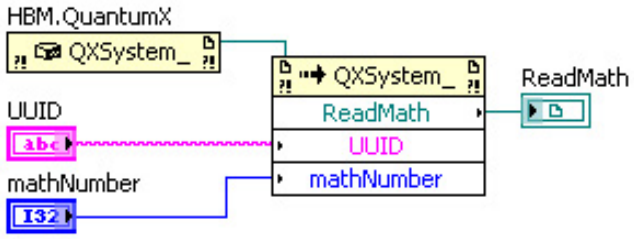
C#

```
public static Math ReadMath(
       ulong UUID,
       int mathNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadMath (
       UUID As ULong,
       mathNumber As Integer
) As Math
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathNumber | System.Int32 | Math番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadMath | Math | Mathオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadMathFunctions Method

指定したデバイス(UUID)からReadMathFunctionsオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

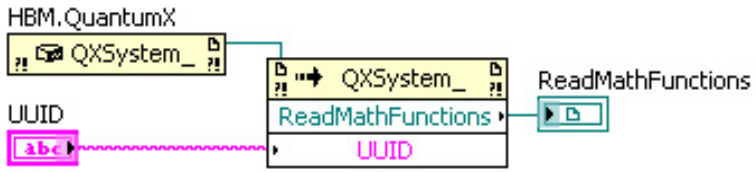
C#

```
public static MathFunctions ReadMathFunctions(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadMathFunctions (
       UUID As ULong
) As MathFunctions
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadMathFunctions | MathFunctions | MathFunctionsオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadMathOutputUnit Method

指定したデバイス(UUID)のchannelNumber、signalNumberおよびmathTypeからReadMathOutputUnitオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

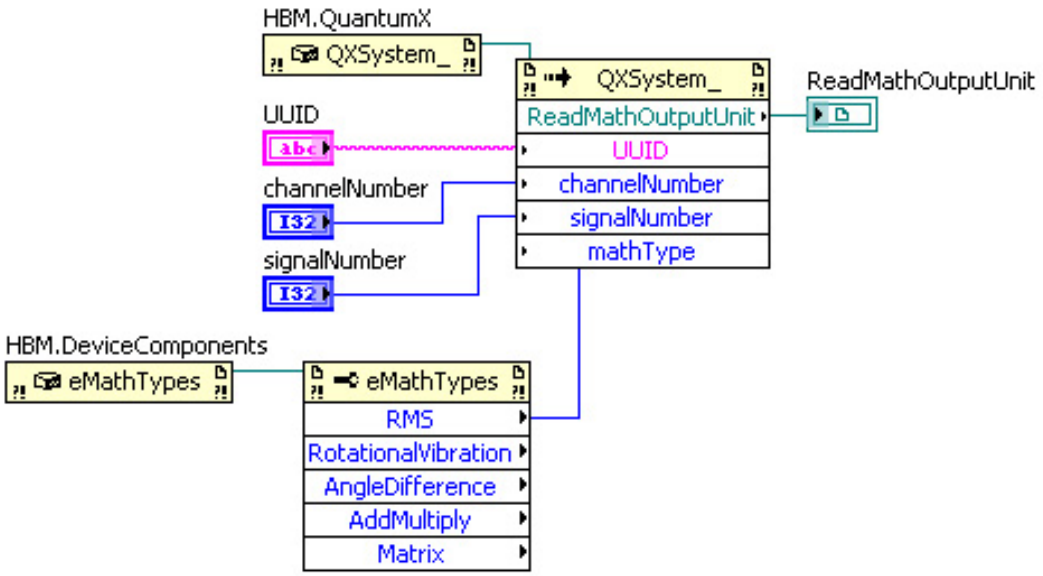
C#

```
public static OutputUnit ReadMathOutputUnit(
       ulong UUID,
       int channelNumber,
       int signalNumber,
       eMathTypes mathType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadMathOutputUnit (
       UUID As ULong,
       channelNumber As Integer,
       signalNumber As Integer,
       mathType As eMathTypes
) As OutputUnit
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| channelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |
| mathType | HBM.DeviceComponents..eMathTypes | Mathタイプ。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadMathOutputUnit | OutputUnit | OutputUnitオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadMathSignal Method

指定したデバイス(UUID)のmathNumber、mathTypeおよびsignalNumberからReadMathSignalオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

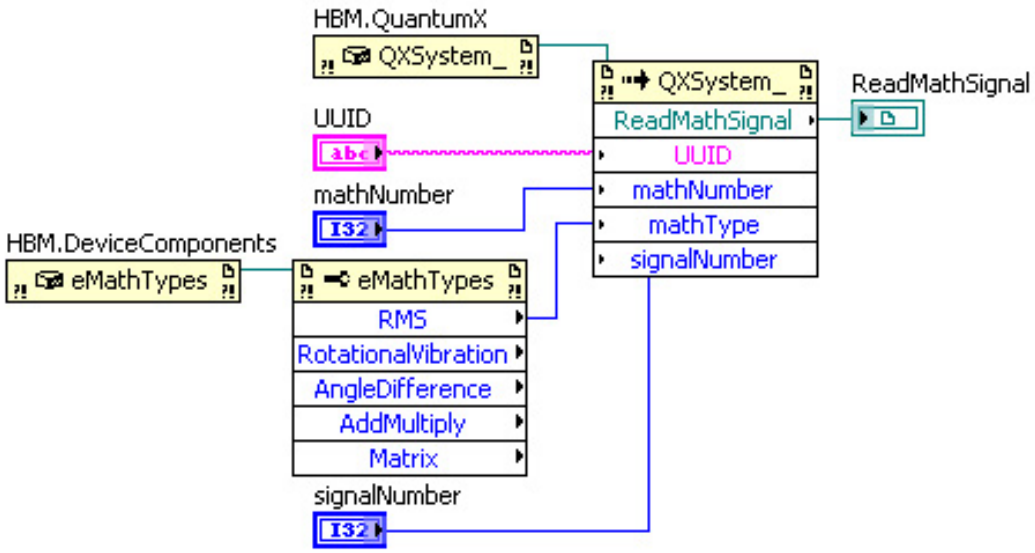
C#

```
public static Signal ReadMathSignal(
       ulong UUID,
       int mathNumber,
       eMathTypes mathType,
       int signalNumber

)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadMathSignal (
       UUID As ULong,
       mathNumber As Integer,
       mathType As eMathTypes,
       signalNumber As Integer
) As Signal
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathNumber | System.Int32 | Math番号。 |
| mathType | HBM.DeviceComponents..eMathTypes | Mathタイプ。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadMathSignal | Signal | Signalオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadModuleID Method

指定したデバイス(UUID)のモジュールIDを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

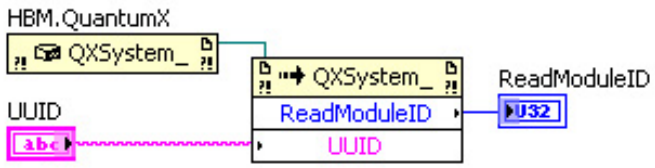
C#

```
public static uint ReadModuleID(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadModuleID (
       UUID As ULong
) As UInteger
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadModuleID | UInt32 | モジュールID。 |

## QXSystem.ReadModuleName Method

指定したデバイス(UUID)のモジュール名を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

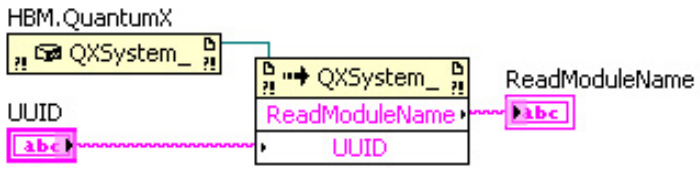
C#

```
public static string ReadModuleName(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadModuleName (
       UUID As ULong
) As String
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadModuleName | String | モジュール名。 |

## QXSystem.ReadModuleStatus Method

指定したデバイス(UUID)からReadModuleStatusオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

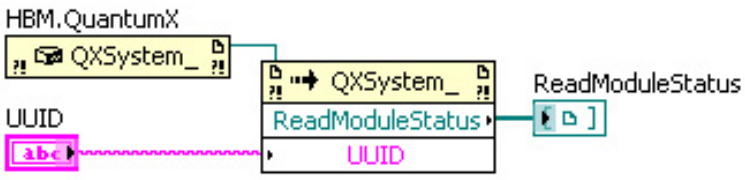
C#

```
public static List<ModuleStatus> ReadModuleStatus(
       ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadModuleStatus (
       uuid As ULong
) As List(Of ModuleStatus)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadModuleStatus | List(ModuleStatus) | ModuleStatusオブジェクト配列。 |

## QXSystem.ReadModuleTime Method

指定したデバイス(UUID)の現在のタイムスタンプを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

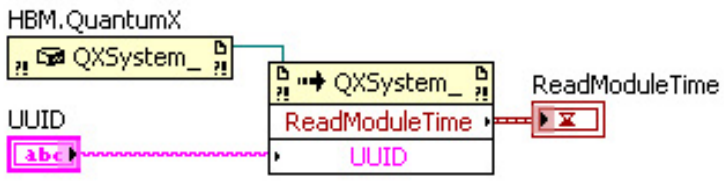
C#

```
public static QXTime ReadModuleTime(
        ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadModuleTime (
        UUID As ULong
) As QXTime
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadModuleTime | QXTime | タイムスタンプ。 |

## QXSystem.ReadModuleType Method

指定したデバイス(UUID)のモジュールタイプを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

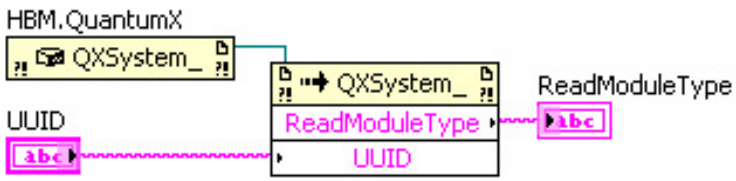
C#

```
public static string ReadModuleType(
       ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadModuleType (
       uuid As ULong
) As String
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadModuleType | String | モジュールタイプ。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadNetwork Method

指定したデバイス(UUID)からReadNetworkオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

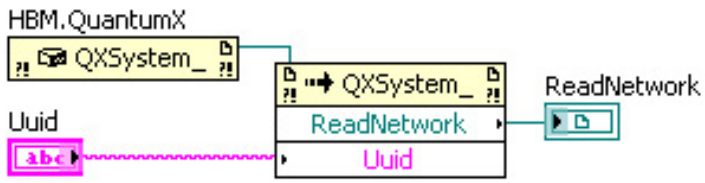
C#

```
public static Network ReadNetwork(
       ulong Uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadNetwork (
       Uuid As ULong
) As Network
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadNetwork | Network | Networkオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadNetworkAdapters Method

ReadNetworkAdaptersオブジェクト配列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

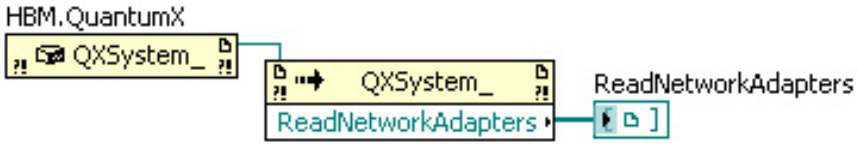
C#

```
public static List<NetworkAdapter> ReadNetworkAdapters()
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadNetworkAdapters As List(Of NetworkAdapter)
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadNetworkAdapters | List(NetworkAdapter) | NetworkAdapterオブジェクト。 |

例

簡単なサンプルプログラムは「スキャン、接続、読み取り、切断」の例を参照してください。

## QXSystem.ReadNetworkViaUdp Method

指定したデバイス(UUID)からReadNetworkViaUdpオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

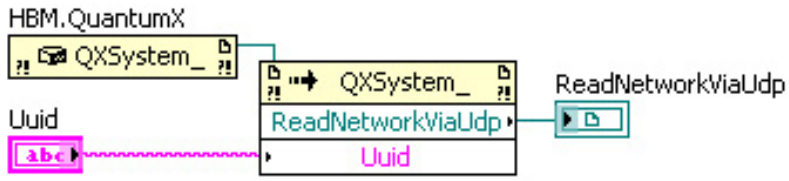
C#

```
public static Network ReadNetworkViaUdp(
       ulong Uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadNetworkViaUdp (
       Uuid As ULong
) As Network
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadNetworkViaUdp | Network | Networkオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadNtpQuality Method

NTPサーバの同期品質を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

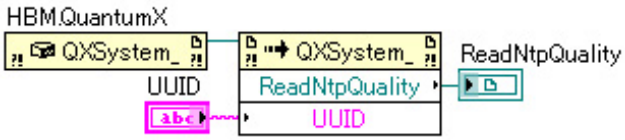
C#

```
public static NtpQuality ReadNtpQuality(
       ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadNtpQuality (
       uuid As ULong
) As NtpQuality
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| NtpQuality | NtpQuality | NTPコマンドの戻り値。 |

## QXSystem.ReadOutputUnit Method

指定したデバイス(UUID)のconnectorNumber、channelNumber、signalNumberおよびconnectorTypeからReadOutputUnitオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

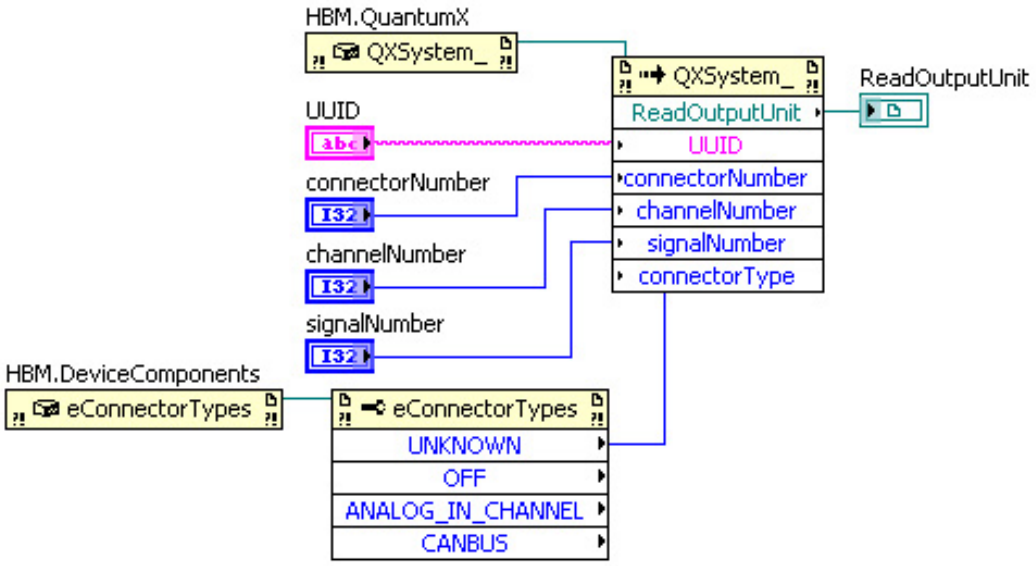
C#

```
public static OutputUnit ReadOutputUnit(
       ulong UUID,
       int connectorNumber,
       int channelNumber,
       int signalNumber,
       eConnectorTypes connectorType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadOutputUnit (
       UUID As ULong,
       connectorNumber As Integer,
       channelNumber As Integer,
       signalNumber As Integer,
       connectorType As eConnectorTypes
) As OutputUnit
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| connectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号 |
| channelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |
| connectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | コネクタタイプ。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadOutputUnit | OutputUnit | OutputUnitオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadPeak Method

指定したデバイス(UUID)のpeakNumberからReadPeakオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

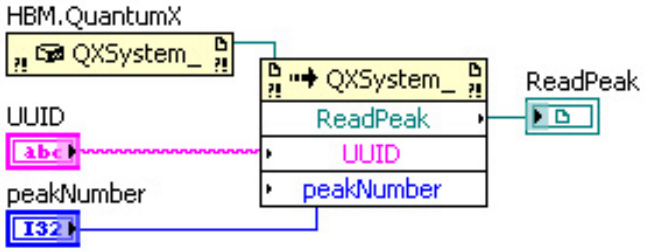
C#

```
public static Peak ReadPeak(
       ulong UUID,
       int peakNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadPeak (
       UUID As ULong,
       peakNumber As Integer
) As Peak
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| peakNumber | System.Int32 | ピーク番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadPeak | Peak | Peakオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadPeakFunctions Method

指定したデバイス(UUID)からReadPeakFunctionsオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

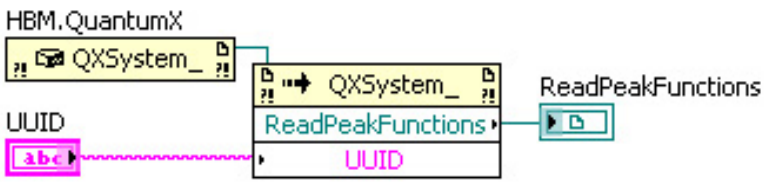
C#

```
public static PeakFunctions ReadPeakFunctions(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadPeakFunctions (
       UUID As ULong
) As PeakFunctions
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadPeakFunctions | PeakFunctions | PeakFunctionsオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadPeakOutputUnit Method

指定したデバイス(UUID)のchannelNumberおよびsignalNumberからReadPeakOutputUnitオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

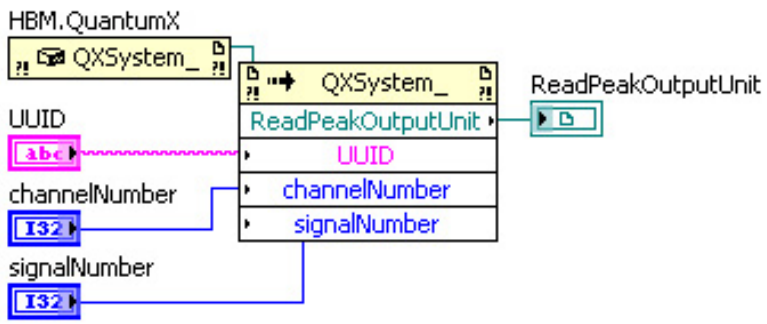
C#

```
public static OutputUnit ReadPeakOutputUnit(
       ulong UUID,
       int channelNumber,
       int signalNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadPeakOutputUnit (
       UUID As ULong,
       channelNumber As Integer,
       signalNumber As Integer
) As OutputUnit
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| channelNumber | System.Int32 | チャネル番号。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号(現在は未使用)。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadPeakOutputUnit | OutputUnit | OutputUnitオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadPeakSignal Method

指定したデバイス(UUID)のpeakNumberおよびsignalNumberからReadPeakSignalオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

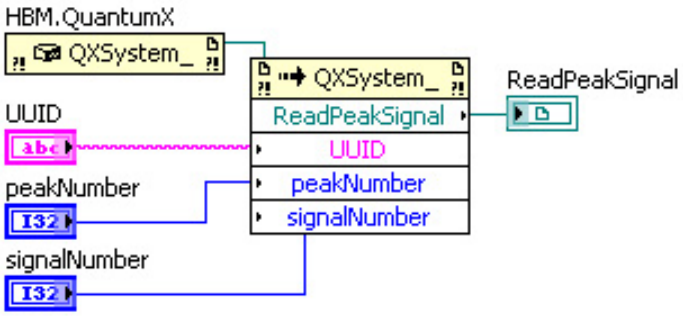
C#

```
public static Signal ReadPeakSignal(
       ulong UUID,
       int peakNumber,
       int signalNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadPeakSignal (
       UUID As ULong,
       peakNumber As Integer,
       signalNumber As Integer
) As Signal
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| peakNumber | System.Int32 | ピーク番号。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadPeakSignal | Signal | Signalオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadPtpQuality Method

PTPサーバの同期品質を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

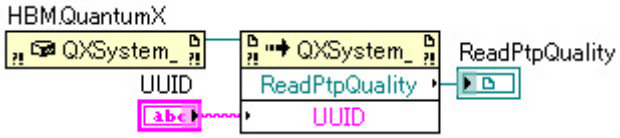
C#

```
public static PtpQuality ReadPtpQuality(
       ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadPtpQuality (
       uuid As ULong,
) As PtpQuality
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| uuid | System.UInt64 | 同期マスタのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadPtpQuality | PtpQuality | ntpqコマンドの戻り値。 |

## QXSystem.ReadSensor Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからReadSensorオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

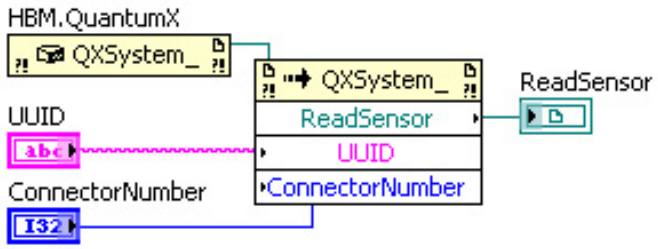
C#

```
public static Sensor ReadSensor(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSensor (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As Sensor
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadSensor | Sensor | Sensorオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadSignalGenerator Method

指定したデバイス(UUID)のsignalGeneratorNumberからReadSignalGeneratorオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

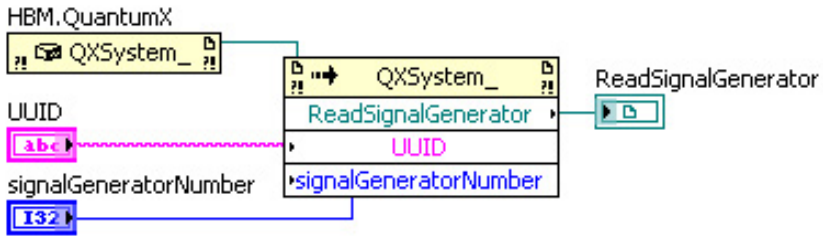
C#

```
public static SignalGenerator ReadSignalGenerator(
       ulong UUID,
       int signalGeneratorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSignalGenerator (
       UUID As ULong,
       signalGeneratorNumber As Integer
) As SignalGenerator
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| signalGeneratorNumber | System.Int32 | 信号発生器番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadSignalGenerator | SignalGenerator | SignalGeneratorオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadSignalGeneratorFrequency Method

指定したデバイス(UUID)のsignalGeneratorNumberから信号発生器の周波数を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

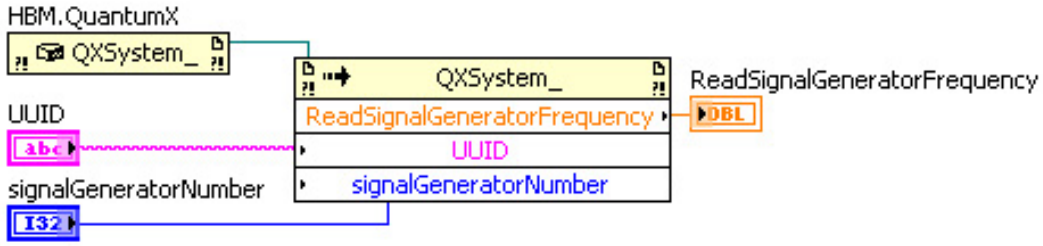
C#

```
public static double ReadSignalGeneratorFrequency(
       ulong UUID,
       int signalGeneratorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSignalGeneratorFrequency (
       UUID As ULong,
       signalGeneratorNumber As Integer
) As Double
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| signalGeneratorNumber | System.Int32 | 信号発生器番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadSignalGeneratorFrequency | Double | 信号発生器の周波数。 |

## QXSystem.ReadSignalGeneratorFunctions Method

指定したデバイス(UUID)からReadSignalGeneratorFunctionsオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

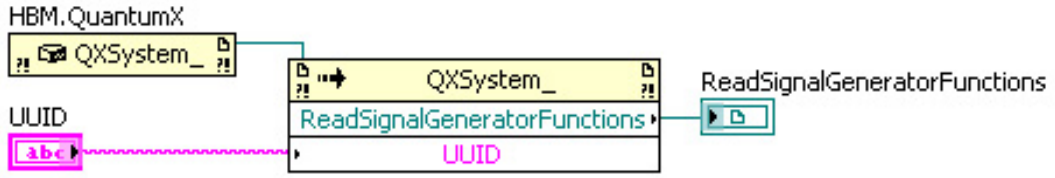
C#

```
public static SignalGeneratorFunctions ReadSignalGeneratorFunctions(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSignalGeneratorFunctions (
       UUID As ULong
) As SignalGeneratorFunctions
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadSignalGeneratorFunctions | SignalGeneratorFunctions | SignalGeneratorFunctionsオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadSignalGeneratorSignal Method

指定したデバイス(UUID)のsignalGeneratorNumberおよびsignalNumberからReadSignalGeneratorSignalオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

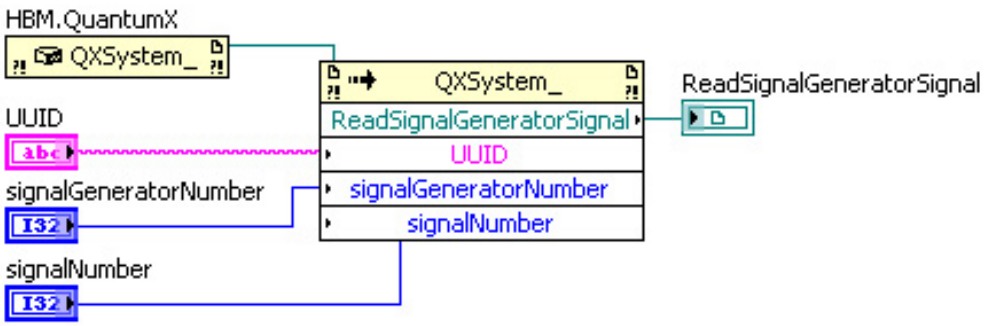
C#

```
public static Signal ReadSignalGeneratorSignal(
       ulong UUID,
       int signalGeneratorNumber,
       int signalNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSignalGeneratorSignal (
       UUID As ULong,
       signalGeneratorNumber As Integer,
       signalNumber As Integer
) As Signal
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| signalGeneratorNumber | System.Int32 | 信号発生器番号。 |
| signalNumber | System.Int32 | 信号番号。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadSignalGeneratorSignal | Signal | Signalオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadSignalList Method

指定したデバイス(UUID)から信号リストの配列を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

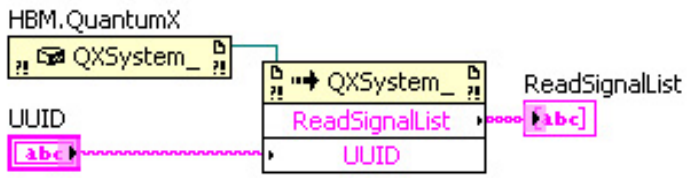
C#

```
public static string[] ReadSignalList(
       ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSignalList (
       uuid As ULong
) As String()
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadSignalList | String[] | 信号リストの配列。 |

## QXSystem.ReadSignalName Method(UInt64, Int32, Int32, Int32, eAdditionalConnectorTypes)

指定したデバイス(UUID)のConnector、Channel、SignalおよびeAdditionalConnectorTypesから信号名を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

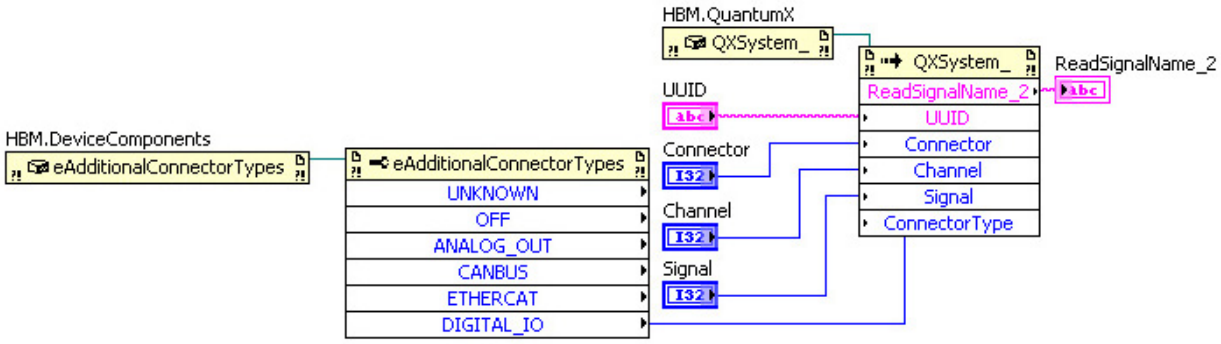
C#

```
public static string ReadSignalName(
       ulong UUID,
       int Connector,
       int Channel,
       int Signal,
       eAdditionalConnectorTypes ConnectorType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSignalName (
       UUID As ULong,
       Connector As Integer,
       Channel As Integer,
       Signal As Integer,
       ConnectorType As eAdditionalConnectorTypes
) As String
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |
| Signal | System.Int32 | 信号番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eAdditionalConnectorTypes | コネクタタイプ。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadSignalName | String | 信号名。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadSignalName Method(UInt64, Int32, Int32, Int32, eConnectorTypes)

指定したデバイス(UUID)のConnector、Channel、SignalおよびeConnectorTypesから信号名を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

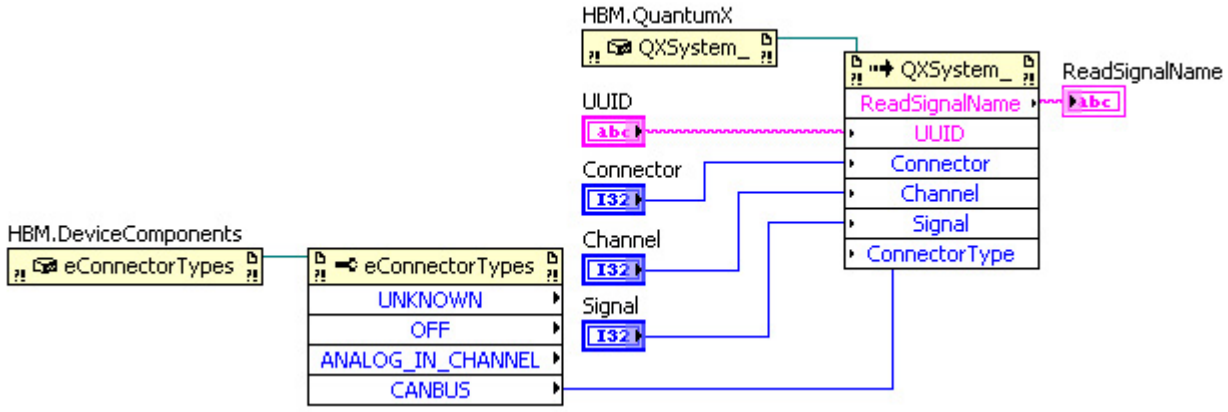
C#

```
public static string ReadSignalName(
       ulong UUID,
       int Connector,
       int Channel,
       int Signal,
       eConnectorTypes ConnectorType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSignalName (
       UUID As ULong,
       Connector As Integer,
       Channel As Integer,
       Signal As Integer,
       ConnectorType As eConnectorTypes
) As String
```

LabVIEW



| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |
| Signal | System.Int32 | 信号番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | コネクタタイプ。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadSignalName | String | 信号名。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadSyncSignal Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberおよびSignalNumberからReadSyncSignalオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

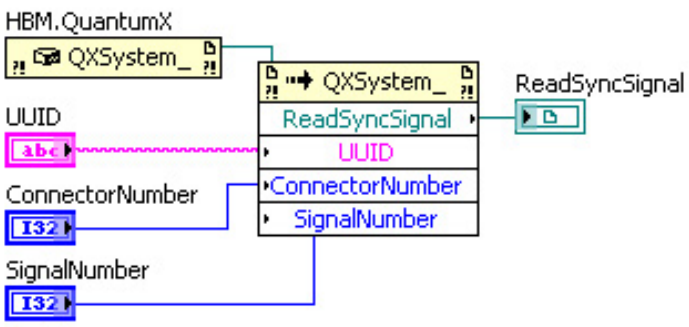
C#

```
public static SyncSignal ReadSyncSignal(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int SignalNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSyncSignal (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       SignalNumber As Integer
) As SyncSignal
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | 信号番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadSyncSignal | SyncSignal | SyncSignalオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadSystemTime Method

指定したCXデバイス(UUID)から、現在のシステムの日付と時刻を読み取ります。
時間の読み取りはUTCで、自動的に現地時間に変換されます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

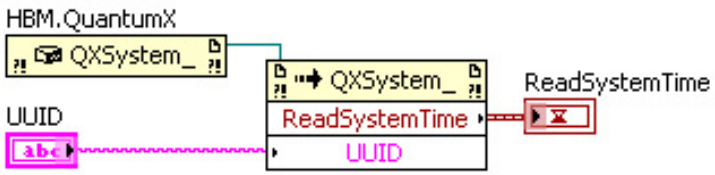
C#

```
public static DateTime ReadSystemTime(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSystemTime (
       UUID As ULong
) As DateTime
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadSystemTime | DateTime | CXモジュールの現地時間での現在日時。 |

## QXSystem.ReadSystemView Method

指定したデバイス(UUID)からReadSystemViewオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

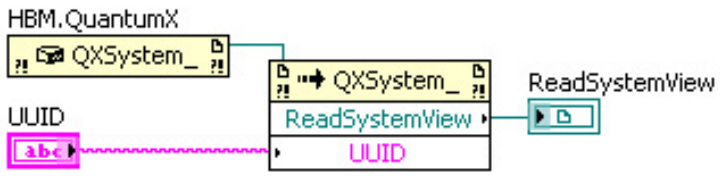
C#

```
public static SystemView ReadSystemView(
       ulong UUID
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadSystemView (
       UUID As ULong
) As SystemView
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadSystemView | SystemView | SystemViewオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadTeds Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからTEDSデータのバイト配列を読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

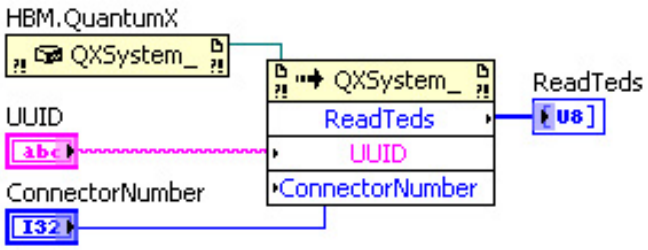
C#

```
public static byte[] ReadTeds(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       out string Tid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadTeds (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       <OutAttribute> ByRef Tid As String
) As Byte()
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Tid | System.String | チャネルに接続されたTEDSチップのTIDを返します。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadTeds | Byte[] | TEDSデータのバイト配列。 |

## QXSystem.ReadTedsUsage Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからTEDSの利用タイプを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

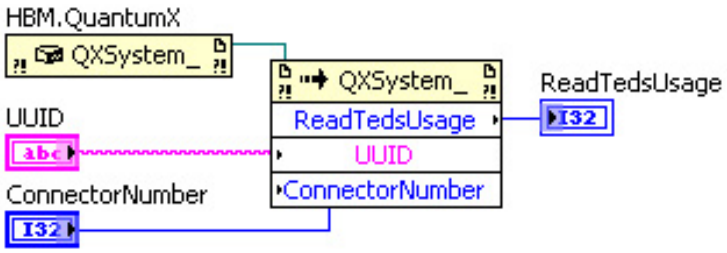
C#

```
public static eTedsUsages ReadTedsUsage(
       ulong Uuid,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadTedsUsage (
       Uuid As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As eTedsUsages
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadTedsUsage | eTedsUsages | TEDSの利用タイプ。 |

## QXSystem.ReadTemporaryUserData Method

一時的なユーザーデータを読み取ります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

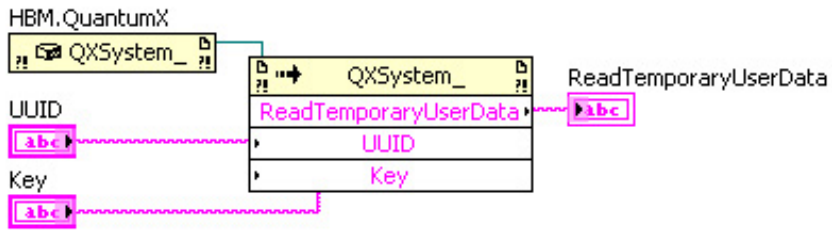
C#

```
public static string ReadTemporaryUserData(
       ulong UUID,
       string Key
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadTemporaryUserData (
       UUID As ULong,
       Key As String
) As String
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Key | System.String | ユーザーデータの読み取りを指定するキー。全てのキーを指定する場合は空白のまま。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadTemporaryUserData | String | Keyで指定したユーザデータ。 |

## QXSystem.ReadTestSignal Method

指定したデバイス(UUID)のConnectorNumberからTestSignalオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

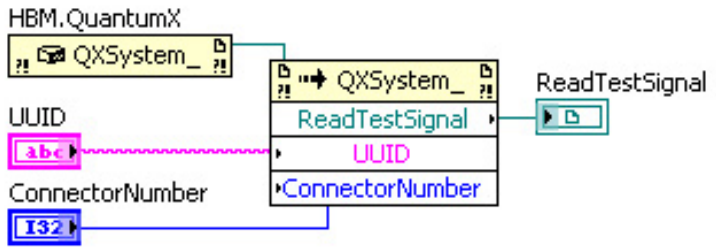
C#

```
public static TestSignal ReadTestSignal(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadTestSignal (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer
) As TestSignal
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadTestSignal | TestSignal | TestSignalオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadTimeSource Method

指定したデバイス(UUID)からReadTimeSourceオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

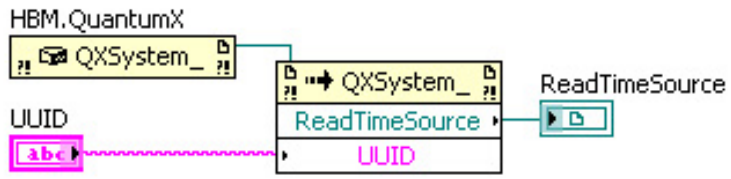
C#

```
public static TimeSource ReadTimeSource(
       ulong uuid
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadTimeSource (
       uuid As ULong
) As TimeSource
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadTimeSource | TimeSource | TimeSourceオブジェクト。 |

## QXSystem.ReadZero Method

指定したデバイス(UUID)のConnector、ChannelおよびConnectorTypeからReadZeroオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

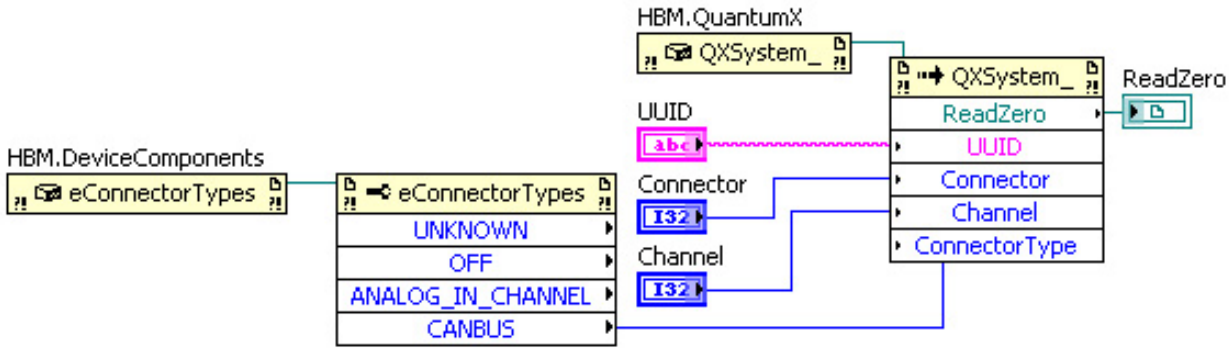
C#

```
public static ZeroOffset ReadZero(
       ulong UUID,
       int Connector,
       int Channel,
       eConnectorTypes ConnectorType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadZero (
       UUID As ULong,
       Connector As Integer,
       Channel As Integer,
       ConnectorType As eConnectorTypes
) As ZeroOffset
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | コネクタタイプ。 |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ReadZero | ZeroOffset | ZeroOffsetオブジェクト。 |

| 例外 |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.ReadZeroMath Method

指定したデバイス(UUID)のmathNumberからReadZeroMathオブジェクトを返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

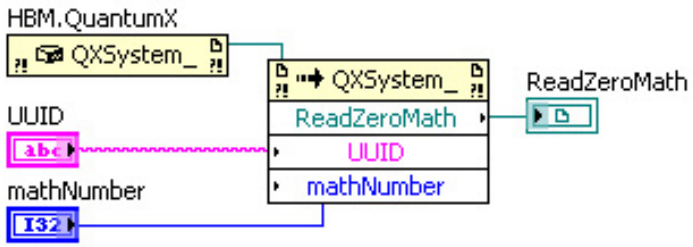
C#

```
public static ZeroOffset ReadZeroMath(
       ulong UUID,
       int mathNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ReadZeroMath (
       UUID As ULong,
       mathNumber As Integer
) As ZeroOffset
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathNumber | System.Int32 | Math番号。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ReadZeroMath | ZeroOffset | ZeroOffsetオブジェクト。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ReadFailedException |

## QXSystem.RemoveTemporaryUserData Method

指定したデバイス(UUID)のKeyで指定したTemporaryUserDataを削除します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

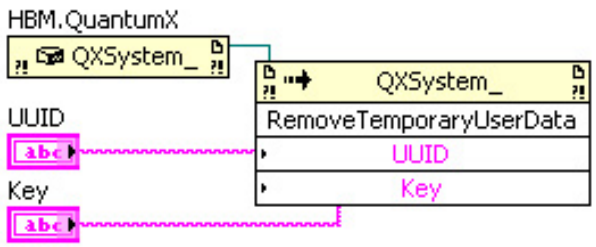
C#

```
public static void RemoveTemporaryUserData(
       ulong UUID,
       string Key
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub RemoveTemporaryUserData (
       UUID As ULong,
       Key As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Key | System.String | キー。 |

## QXSystem.ResetCANController Method

CANコントローラをリセットします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

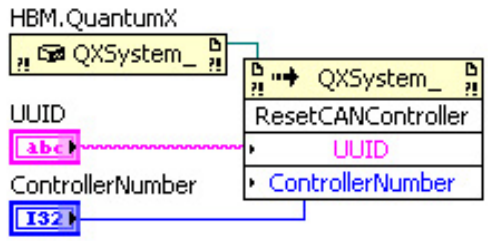
C#

```
public static void ResetCANController(
       ulong UUID,
       int ControllerNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ResetCANController (
       UUID As ULong,
       ControllerNumber As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ControllerNumber | System.Int32 | コントローラ番号(最初のコントローラは0)。 |

## QXSystem.ResetZero Method

チャネルを0にリセットします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

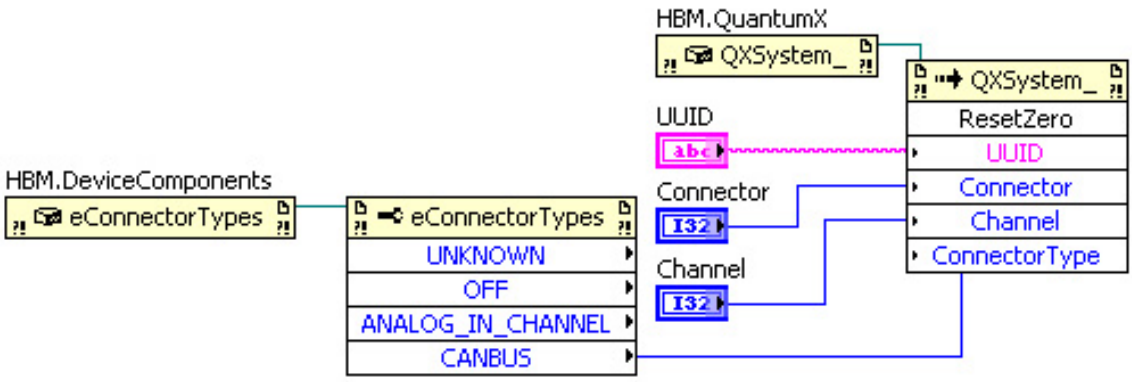
C#

```
public static void ResetZero(
       ulong UUID,
       int Connector,
       int Channel,
       eConnectorTypes ConnectorType
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ResetZero (
       UUID As ULong,
       Connector As Integer,
       Channel As Integer,
       ConnectorType As eConnectorTypes
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Connector | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Channel | System.Int32 | チャネル番号。 |
| ConnectorType | HBM.DeviceComponents.eConnectorTypes | コネクタタイプ。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ZeroingFailedException |

## QXSystem.ResetZeroMath Method

数学関数を0にリセットします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

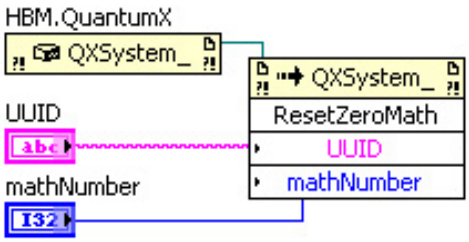
C#

```
public static void ResetZeroMath(
       ulong UUID,
       int mathNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub ResetZeroMath (
       UUID As ULong,
       mathNumber As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| mathNumber | System.Int32 | Math番号。 |

例外

| |
|---|
| HBM.QuantumX.ZeroingFailedException |

## QXSystem.Restart Method (UInt64, Boolean)

モジュールをリスタートします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

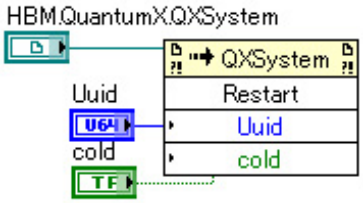
C#

```
public static void Restart(
       ulong Uuid,
       bool cold,
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub Restart (
       Uuid As ULong,
       cold As Boolean,
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| cold | System.Boolean | コールドスタートを実行する場合はtrue。 |

## QXSystem.Restart Method (UInt64, Boolean, Boolean)

モジュールをリスタートします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

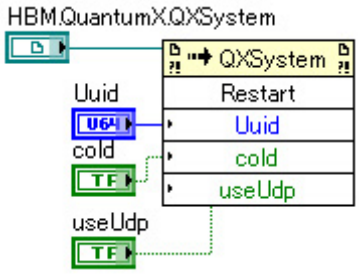
C#

```
[ObsoleteAttribute("This function will continue to work, but you should use
Restart(Uuid, cold) instead, because UDP is no longer an option.",
       false)]

public static void Restart(
       ulong Uuid,
       bool cold,
       bool useUdp
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("This function will continue to work, but you should use
Restart(Uuid, cold) instead, because UDP is no longer an option.",
       false)>
Public Shared Sub Restart (
       Uuid As ULong,
       cold As Boolean,
       useUdp As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| cold | System.Boolean | コールドスタートを実行する場合はtrue。 |
| useUdp | System.Boolean | trueはUDP。falseはTCP/IP。<br>ファームウェアバージョンV2.22以前でのみ動作。 |

## QXSystem.ScanForQXDevices Method

IPネットワーク(利用可能な全てのネットワークアダプタを使用して)のQuantumXデバイスをスキャンします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

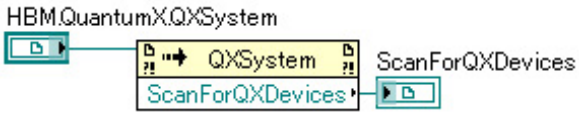
C#

```
public static List<ScanResult> ScanForQXDevices()
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ScanForQXDevices As List(Of ScanResult)
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ScanForQXDevices | List(ScanResult) | ScanResultオブジェクト。 |

注釈

ポート番号の戻り値-1は、QuantumXは利用可能ですが、未だ完全に起動していないことを示します。電源投入直後に発生する可能性がありますが、再スキャンで1(またはそれ以上)の有効なポート番号(実行中であることを示す)を返します。詳細はScanReplyWaitTimeを参照してください。

例

簡単なサンプルプログラムは「スキャン、接続、読み取り、切断」の例を参照してください。

## QXSystem.ScanForQXDevices Method(Int32)

IPネットワークでQuantumXデバイスをスキャンします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

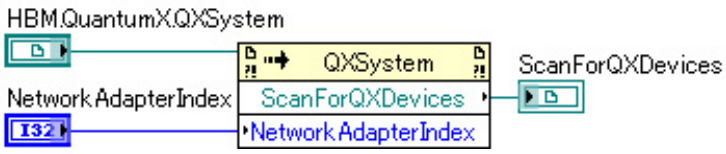
C#

```
[ObsoleteAttribute("This function will continue to work, but you should use ScanFor
QXDevices("localAdapterMacAddress1") instead.",
        false)]

public static List<ScanResult> ScanForQXDevices(
        int NetworkAdapterIndex
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("This function will continue to work, but you should use ScanFor
QXDevices("localAdapterMacAddress1") instead.",
        false)>
Public Shared Function ScanForQXDevices (
        NetworkAdapterIndex As Integer
) As List(Of ScanResult)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| NetworkAdapterIndex | System.Int32 | スキャンするネットワークアダプタのインデックス。<br>利用可能なアダプタリストを取得するために、ReadNetworkAdapters()を使用します。<br>999 はすべてのアダプタを意味します(推奨)。-1はFireWireを意味します。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ScanForQXDevices | List(ScanResult) | ScanResultオブジェクト。 |

注釈

違うインデックスで連続してこの関数を呼び出すことは推奨していません。

ポート番号の戻り値-1は、QuantumXは利用可能ですが、未だ完全に起動していないことを示します。電源投入直後に発生する可能性がありますが、再スキャンで1(またはそれ以上)の有効なポート番号(実行中であることを示す)を返します。詳細はScanReplyWaitTimeを参照してください。

例

簡単なサンプルプログラムは「スキャン、接続、読み取り、切断」の例を参照してください。

## QXSystem.ScanForQXDevices Method(Int32[])

IPネットワークでQuantumXデバイスをスキャンします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
[ObsoleteAttribute("This function will continue to work, but you should use ScanFor
QXDevices("localAdapterMacAddress1;localAdapterMacAddres2...") instead.",
      false)]
public static List<ScanResult> ScanForQXDevices(
      int[] NetworkAdapterIndex
)
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("This function will continue to work, but you should use ScanFor
QXDevices("localAdapterMacAddress1;localAdapterMacAddres2...") instead.",
      false)>
Public Shared Function ScanForQXDevices (
      NetworkAdapterIndex As Integer()
) As List(Of ScanResult)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| NetworkAdapterIndex | System.Int32[] | スキャンするネットワークアダプタのインデックス配列。<br>利用可能なアダプタリストを取得するために、ReadNetworkAdapters()を使用します。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ScanForQXDevices | List(ScanResult) | ScanResultオブジェクト。 |

注釈

ポート番号の戻り値-1は、QuantumXは利用可能ですが、未だ完全に起動していないことを示します。電源投入直後に発生する可能性がありますが、再スキャンで1(またはそれ以上)の有効なポート番号(実行中であることを示す)を返します。詳細はScanReplyWaitTimeを参照してください。

例

簡単なサンプルプログラムは「スキャン、接続、読み取り、切断」の例を参照してください。

## QXSystem.ScanForQXDevices Method (String)

ネットワークアダプタでQuantumXデバイスをスキャンします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

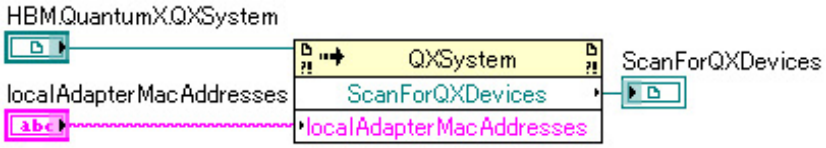
C#

```
public static List<ScanResult> ScanForQXDevices(
       string localAdapterMacAddresses
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ScanForQXDevices (
       localAdapterMacAddresses As String
) As List(Of ScanResult)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| NetworkAdapterIndex | System.String | ローカルのネットワークダプタのMACアドレス(例: "90:B1:00:00:00:00")をスキャン(利用可能なアダプタリストを取得するためReadNetworkAdapters()を使用)。<br>すべてのアダプタに空文字列を推奨(またはScanForQXDevices()使用)。<br>複数のアダプタをスキャンするにはMACアドレスをセミコロン(;)で区切る。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ScanForQXDevices | List(ScanResult) | ScanResultオブジェクト。 |

注釈

違うMACアドレスで連続してこの関数を呼び出すことは推奨していません。
ポート番号の戻り値-1は、QuantumXは利用可能ですが、未だ完全に起動していないことを示します。電源投入直後に発生する可能性がありますが、再スキャンで1(またはそれ以上)の有効なポート番号(実行中であることを示す)を返します。詳細はScanReplyWaitTimeを参照してください。

例

簡単なサンプルプログラムは「スキャン、接続、読み取り、切断」の例を参照してください。

## QXSystem.ScanForQXDevicesOld Method

IPネットワーク(利用可能な全てのネットワークアダプタを使用して)のQuantumXデバイス(旧バージョンのファームウェア)をスキャンします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

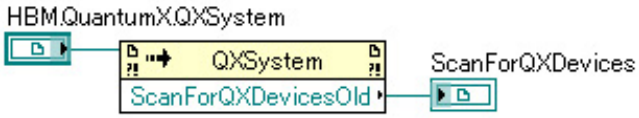
C#

```
public static List<ScanResult> ScanForQXDevicesOld()
```

Visual Basic

```
Public Shared Function ScanForQXDevicesOld As List(Of ScanResult)
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ScanForQXDevices | List(ScanResult) | ScanResultオブジェクト。 |

注釈

この関数は診断用であり、新しいファームウェアにアップデートしていないモジュールを確認するために使用します。
LANに接続されている通信可能なすべての古いファームウェアのデバイスリストではありません。
これらに接続されているサブデバイス(FireWire経由など)はこのリストに表示されません。

## QXSystem.SendCanMessage Method

CANメッセージを送信します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

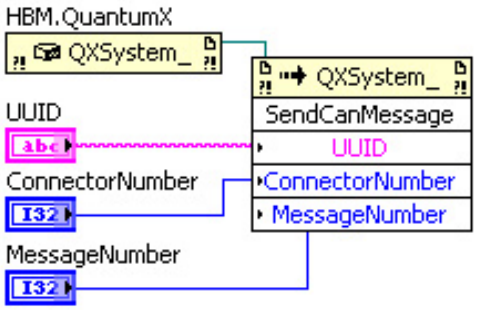
C#

```
public static void SendCanMessage(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int MessageNumber
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SendCanMessage (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       MessageNumber As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| MessageNumber | System.Int32 | メッセージ番号。 |

## QXSystem.SendUserCanMessage Method

ユーザが定義したCANメッセージを送信します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

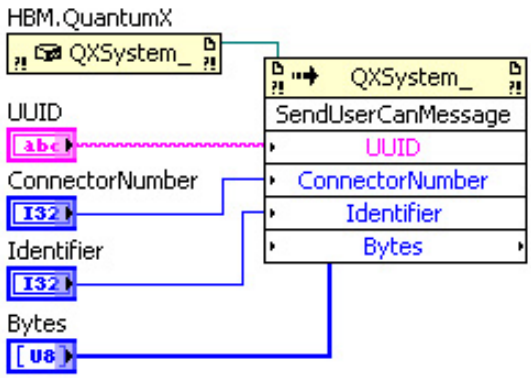
C#

```
public static void SendUserCanMessage(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       int Identifier,
       byte[] Bytes
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SendUserCanMessage (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       Identifier As Integer,
       Bytes As Byte()
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| Identifier | System.Int32 | ID(拡張)フォーマット。 |
| Bytes | System.Byte[] | 送信バイト(0～8バイト)。 |

## QXSystem.SetAutoAdjustAutoCalInhibition Method

自動調整および自動キャリブレーションを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

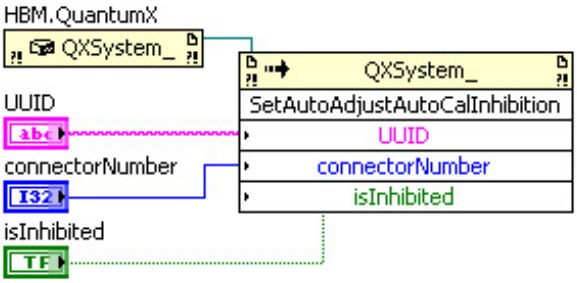
C#

```
public static void SetAutoAdjustAutoCalInhibition(
       ulong UUID,
       int connectorNumber,
       bool isInhibited
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SetAutoAdjustAutoCalInhibition (
       UUID As ULong,
       connectorNumber As Integer,
       isInhibited As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| connectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。-1はすべてのコネクタ。 |
| isInhibited | System.Boolean | trueの場合は自動調整および自動キャリブレーションをオフ。 |

## QXSystem.SetDigitalOutPinState Method

デジタル出力の論理状態を設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

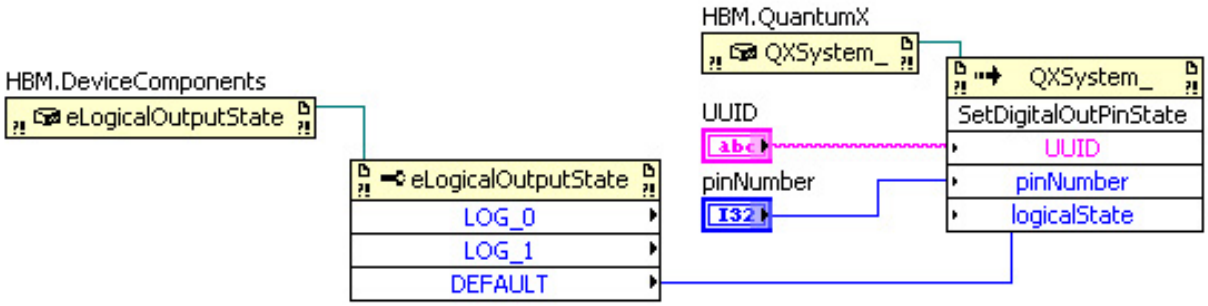
C#

```
public static void SetDigitalOutPinState(
       ulong UUID,
       int pinNumber,
       eLogicalOutputState logicalState
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SetDigitalOutPinState (
       UUID As ULong,
       pinNumber As Integer,
       logicalState As eLogicalOutputState
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| pinNumber | System.Int32 | ピン番号。-1はすべての出力ピン。 |
| logicalState | HBM.DeviceComponents.eLogicalOutputState | デジタル出力の論理状態。 |

## QXSystem.SetExternalCalibrationSignal Method

外部キャリブレーションを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

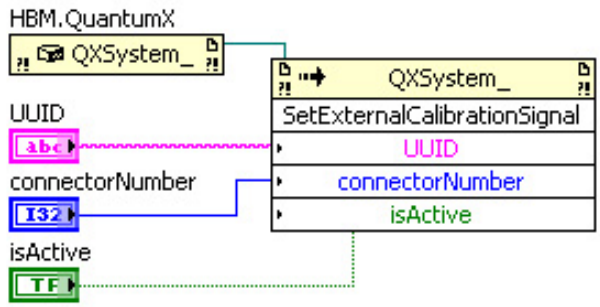
C#

```
public static void SetExternalCalibrationSignal(
       ulong UUID,
       int connectorNumber,
       bool isActive
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SetExternalCalibrationSignal (
       UUID As ULong,
       connectorNumber As Integer,
       isActive As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| connectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。-1はすべてのコネクタ。 |
| isActive | System.Boolean | 外部からのキャリブレーション信号をオンにする場合はtrue。 |

## QXSystem.SetLedMode Method

LEDモードを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

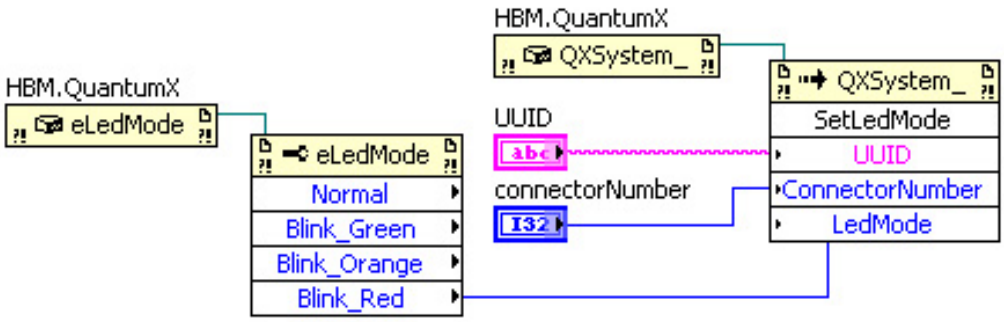
C#

```
public static void SetLedMode(
       ulong UUID,
       int ConnectorNumber,
       eLedMode LedMode
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SetLedMode (
       UUID As ULong,
       ConnectorNumber As Integer,
       LedMode As eLedMode
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。 |
| LedMode | HBM.QuantumX.eLedMode | LEDモード。 |

例外

| | |
|---|---|
| System.ApplicationException | フレームワークに障害が発生した場合、ApplicationExceptionをスロー。 |

## QXSystem.SetShuntCalibration Method

シャントキャリブレーションを行います。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

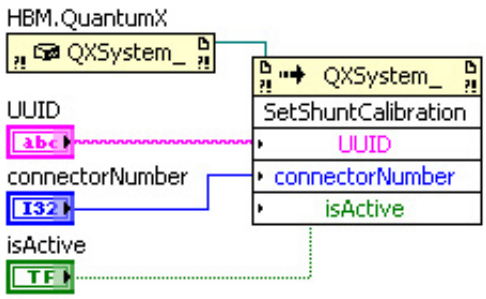
C#

```
public static void SetShuntCalibration(
       ulong UUID,
       int connectorNumber,
       bool isActive
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SetShuntCalibration (
       UUID As ULong,
       connectorNumber As Integer,
       isActive As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| ConnectorNumber | System.Int32 | コネクタ番号。-1はすべてのコネクタ。 |
| isActive | System.Boolean | シャントキャリブレーション信号を実行する場合はtrue。 |

## QXSystem.SetTemporaryUserData Method

一時的なユーザーデータを書き込みます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

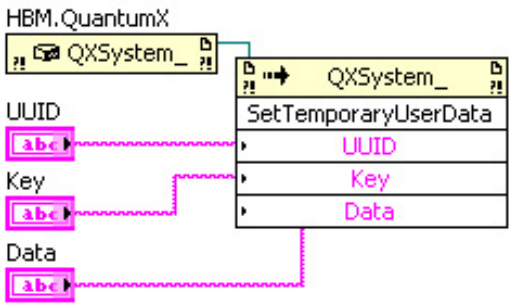
C#

```
public static void SetTemporaryUserData(
       ulong UUID,
       string Key,
       string Data
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SetTemporaryUserData (
       UUID As ULong,
       Key As String,
       Data As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Key | System.String | ユーザーデータの書き込みを指定するキー。 |
| Data | System.String | ユーザデータ。 |

## QXSystem.SetUILanguage Method

エラーメッセージやプロパティなどを表示する言語を設定します。
現在は英語および独語のみがサポートされています。
注意: この関数を実行すると、現在のスレッドのユーザインタフェースカルチャを変更します。そのため影響を受けるユーザインタフェースコンポーネントがあります。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

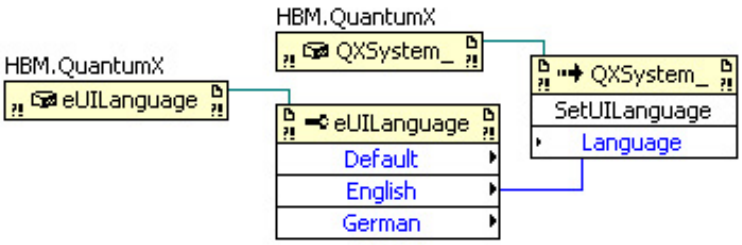
C#

```
public static void SetUILanguage(
       eUILanguage Language
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub SetUILanguage (
       Language As eUILanguage
)
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| Language | HBM.QuantumX.eUILanguage | 言語。 |

## QXSystem.Unload Method

DLLをメモリから解放します。
アプリケーションの終了前に、この関数を使用してください。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

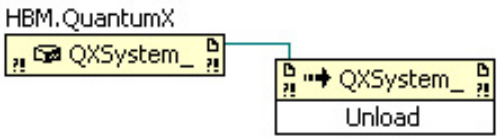
C#

```
public static void Unload()
```

Visual Basic

```
Public Shared Sub Unload
```

LabVIEW



## QXSystem.WaitForParameterizationToFinish Method

パラメータ設定のタイムアウトを設定します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

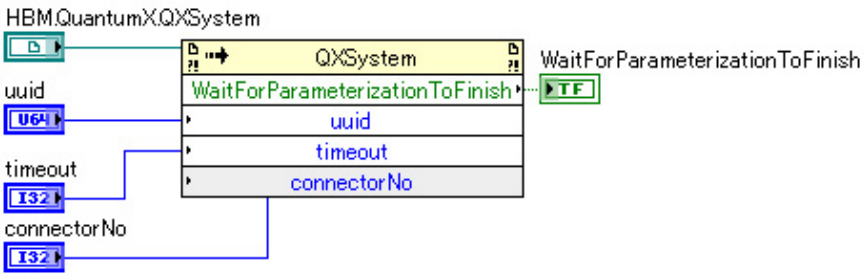
C#

```
public static bool WaitForParameterizationToFinish(
       ulong uuid,
       int timeout,
       int connectorNo = -1
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Function WaitForParameterizationToFinish (
       uuid As ULong,
       timeout As Integer,
       Optional connectorNo As Integer = -1
) As Boolean
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| timeout | System.Int32 | タイムアウト(msec)。 |
| connectorNo(オプション) | System.Int32 | チェックするコネクタ番号。-1はすべてのコネクタ。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| WaitForParameterizationToFinish | Boolean | パラメータ設定の終了はtrue。 |

注釈

A-INコネクタでのみ動作します。

## QXSystem.ScanReplyWaitTime Property

スキャン応答の待ち時間の取得または設定(1,000～20,000 ms、デフォルトは6,000 ms)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

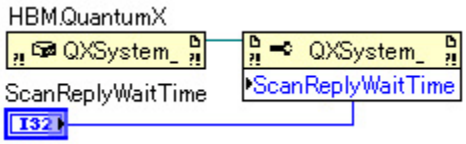
C#

```
public static int ScanReplyWaitTime { get; }
```

Visual Basic

```
Public Shared Property ScanReplyWaitTime As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32<br>スキャン応答待ち時間(msec)。0未満の値はデフォルト(6,000)に設定。 |

注釈

このプロパティはScanForQXDevices(...)を呼び出す前(可能な限りアプリケーションの開始直後に)に設定する必要があります。これはモジュールにどのくらい時間がかかるかをリストを、返す前に収集する必要があります。
この待ち時間は最初のスキャン(通知リスナーを開始してから経過していない場合)およびScanForQXDevicesの引数として渡すネットワークアダプタリストの変更で使用します。同じ引数でこの関数を呼び出すと、その後のスキャン結果リストは即座に返されます。

例

簡単なサンプルプログラムは「スキャン、接続、読み取り、切断」の例を参照してください。

## QXSystem.SubDevicesHierarchical Property

通信可能なすべてのデバイスのサブデバイス階層リスト。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

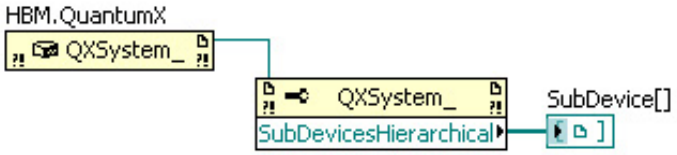
C#

```
public static List<SubDevice> SubDevicesHierarchical { get; }
```

Visual Basic

```
Public Shared ReadOnly Property SubDevicesHierarchical As List(Of SubDevice)
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: List(SubDevice) |

例

HBM.QXSystem.Connectを参照。

## QXSystem.SubDevicesLinear Property

通信可能なすべてのデバイスのサブデバイスのフラットリスト。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

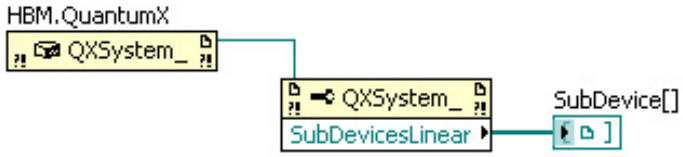
C#

```
public static List<SubDevice> SubDevicesLinear { get; }
```

Visual Basic

```
Public Shared ReadOnly Property SubDevicesLinear As List(Of SubDevice)
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: List(SubDevice) |

例

HBM.QXSystem.Connectを参照。

## QXSystem.TopologyLists Property

トポロジーリストの取得。
サブリストはFireWire経由で形成しながら、相互接続されるすべてのUUIDを含んでいます。すべてのモジュールはイーサネットを使用して接続している場合でも、同時に複数のFireWireトポロジーにすることができ、同じリスト内に配置されます。接続されていないモジュールに対しても、FireWire経由で相互接続されているリストに含めることができます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

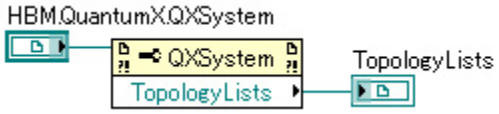
C#

```
public static ReadOnlyCollection<ReadOnlyCollection<ulong>> TopologyLists { get; }
```

Visual Basic

```
Public Shared ReadOnly Property TopologyLists As ReadOnlyCollection(Of
ReadOnlyCollection(Of ULong))
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: ReadOnlyCollection(ReadOnlyCollection(UInt64)) |

注釈

リストはConnect()またはDisconnect()毎に再作成されます。
1つのUUIDは1つのリストにのみ配置されます。

例

一つのモジュールが別のモジュールの測定値を確認できるか(アイソクロナス)どうかをチェックするのに使用できます(AreModulesInSameTopologyを参照)。

## QXSystem.UseTraceLog Property

.NETスタイルでログをトレースをします。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

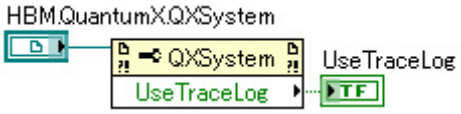
C#

```
public static bool UseTraceLog { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Shared Property UseTraceLog As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>ログをトレースする場合はtrue。 |

注釈

トレースログのデフォルトの形式は"%APPDATA%\HBM\QuantumX_API\QX_API.log"
CUtil.UseTraceLogプロパティを代わりに使用することができます。独自のトレースソースの作成はTraceSourceを参照してください。

# ScanResultクラス

**ScanResult Class**
単一のIPネットワークスキャン結果ScanForQXDevicesを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ScanResult : IComparable
```

Visual Basic
```
Public Class ScanResult
       Implements IComparable
```

継承階層

System.Object
 HBM.QuantumX.ScanResult

## ScanResult Members

ScanResult型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ScanResult() | ScanResultクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ScanResult Constructor (UInt64, String, String, Int32, Boolean) | ScanResultクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| CompareTo | 同一タイプの別のオブジェクトと現在のインスタンスを比較し、現在のインスタンスが先行しているかどうかを示す整数を返します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| FirmwareVersion | モジュールのファームウェアバージョン。 |
| GatewayIPAddress | モジュールのゲートウェイIPアドレス。 |
| IPAddress | 通信可能なモジュールのIPアドレス。 |
| IsConnectable | このインスタンスが、PCのネットワークアダプタを介して接続するどうかを決定。 |
| IsDhcp | DHCPを使用するかどうかを参照、または設定。 |
| IsFireWire | **廃止**<br>モジュールがFireWire経由で接続されているかを参照、または設定。 |
| IsRouter | モジュールがルータモジュール(通常はCX27)であるかどうかを示す。 |
| Location | Ethernetポートの場所。 |
| ModuleLabel | モジュールの分類。 |
| ModuleType | モジュールタイプ。 |
| Name | モジュール名。 |
| ParentUUID | モジュールの親UUID(通常はCX27のUUID)。 |
| Port | モジュールの受信待ちポート番号。 |
| SubNetMask | イサーネットのサブネットマスク。 |
| UUID | デバイスのUUID。 |

## ScanResult Constructor

ScanResultクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

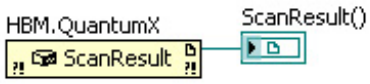
C#

```
public ScanResult()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ScanResult Constructor (UInt64, String, String, Int32, Boolean)

ScanResultクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

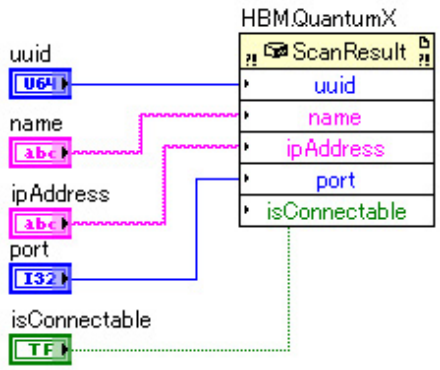
C#

```
public ScanResult(
       ulong uuid,
       string name,
       string ipAddress,
       int port,
       bool isConnectable
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       uuid As ULong,
       name As String,
       ipAddress As String,
       port As Integer,
       isConnectable As Boolean
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| uuid | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| Name | System.String | 名前。 |
| IPAddress | System.String | IPアドレス。 |
| Port | System.Int32 | ポート番号。 |
| isConnectable | System.Boolean | trueの場合、モジュールはこのIPアダプタを介して接続。 |

## ScanResult.CompareTo Method

同一タイプの別のオブジェクトと現在のインスタンスを比較し、現在のインスタンスが先行しているかどうかを示す整数を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

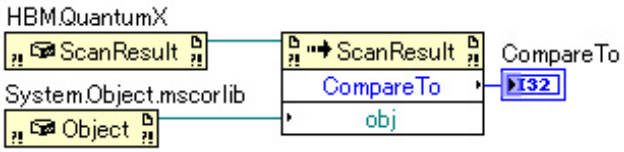
C#

```
public int CompareTo(
       Object obj
)
```

Visual Basic

```
Public Function CompareTo (
       obj As Object
) As Integer
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| obj | System.Objec | このインスタンスと比較するオブジェクト。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| CompareTo | Int32 | オブジェクトの相対的な順序が比較されていることを示すInt32で比較。<br>戻り値が0未満の場合、比較するオブジェクトより先行。0の場合は同位置。0を超える場合、このインスタンスは比較するオブジェクト以下。 |

実装

IComparable.CompareTo(Object)

## ScanResult.FirmwareVersion Property

モジュールのファームウェアバージョン。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

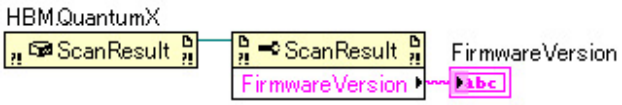
C#

```
public string FirmwareVersion { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property FirmwareVersion As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ScanResult.GatewayIPAddress Property

モジュールのゲートウェイIPアドレス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

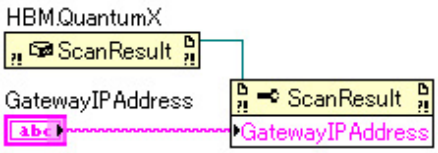
C#

```
public string GatewayIPAddress { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property GatewayIPAddress As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ScanResult.IPAddress Property

通信可能なモジュールのIPアドレス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

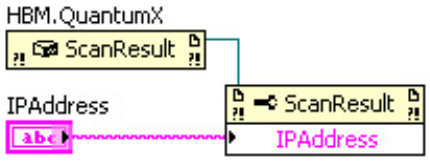
C#

```
public string IPAddress { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property IPAddress As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ScanResult.IsConnectable Property

このインスタンスが、PCのネットワークアダプタを介して接続するどうかを決定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

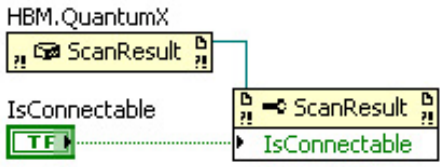
C#

```
public bool IsConnectable { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property IsConnectable As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean |

## ScanResult.IsDhcp Property

DHCPを使用するかどうかを参照、または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

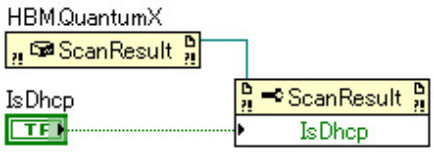
C#

```
public bool IsDhcp { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property IsDhcp As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean<br>DHCPを使用する場合はtrue。 |

## ScanResult.IsFireWire Property

モジュールがFireWire経由で接続されているかを参照、または設定。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

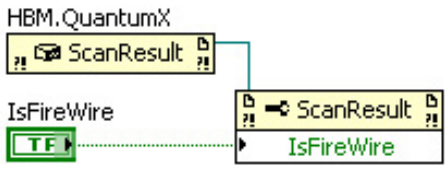
C#

```
[ObsoleteAttribute("There is no direct FireWire connection anymore (returns always
false).",
       false)]
public bool IsFireWire { get; set;}
```

Visual Basic

```
<ObsoleteAttribute("There is no direct FireWire connection anymore (returns always
false).",
       false)>
Public Property IsFireWire As Boolean
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean |

## ScanResult.IsRouter Property

モジュールがルータモジュール(通常はCX27)であるかどうかを示す。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

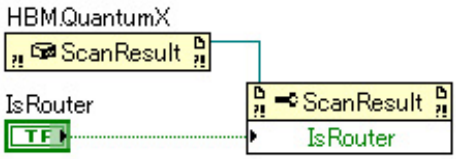
C#

```
public bool IsRouter { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property IsRouter As Boolean
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Boolean |

## ScanResult.Location Property

Ethernetポートの場所。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

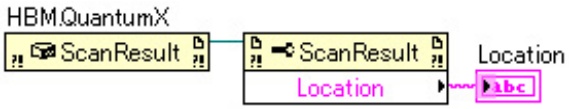
C#

```
public string Location { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property Location As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ScanResult.ModuleLabel Property

モジュールの分類。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

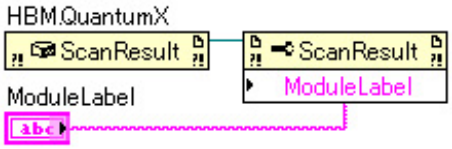
C#

```
public string ModuleLabel { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property ModuleLabel As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ScanResult.ModuleType Property

モジュールタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

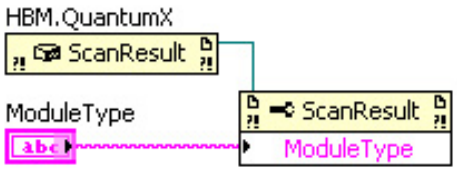
C#

```
public string ModuleType { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property ModuleType As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ScanResult.Name Property

モジュール名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

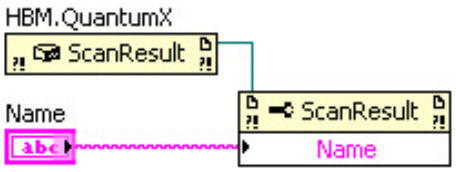
C#

```
public string Name { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property Name As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ScanResult.ParentUUID Property

モジュールの親UUID(通常はCX27のUUID)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

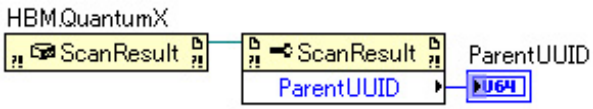
C#

```
public ulong ParentUUID { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property ParentUUID As ULong
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt64 |

## ScanResult.Port Property

モジュールの受信待ちポート番号。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

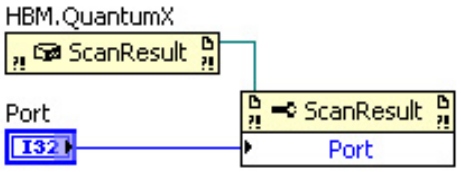
C#

```
public int Port { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property Port As Integer
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

## ScanResult.SubNetMask Property

イサーネットのサブネットマスク。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

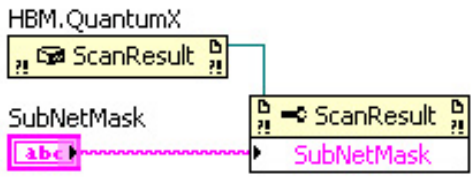
C#

```
public string SubNetMask { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property SubNetMask As String
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## ScanResult.UUID Property

デバイスのUUID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

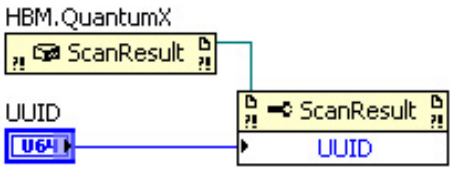
C#

```
public ulong UUID { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property UUID As ULong
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt64 |

# SignalDescriptionクラス

**SignalDescription Class**
予約した信号(測定を行う信号)に関する情報を保持するクラスです。
信号の予約後、GetSignalDescriptionを呼び出してアクセスできます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SignalDescription
```

Visual Basic
```
Public Class SignalDescription
```

継承階層

System.Object
 HBM.QuantumX.SignalDescription

## SignalDescription Members

SignalDescription型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SignalDescription | SignalDescriptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| フィールド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DoubleValues | 測定値(倍精度浮動小数点)のバッファ。 |
| TimeStamps | タイムスタンプのバッファ(2000-01-01 00:00:00からの少数秒)。 |
| TimeStamps64 | UInt64型でのタイムスタンプのバッファ(Bit 63...32は2000-01-01 00:00:00からの秒で、Bit 31..0は実行中の少数秒)。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| MeasuringValueType | 測定値の型を取得。 |
| NumValidMeasurements | GetDataBlock()への最後の呼び出し中にMeasurementValuesに挿入された測定値の数。 |
| UserSignalNumber | GetSignalData(Int32, MeasurementValues)を介して信号の測定値にアクセスするための固有の番号（key）を定義。 |

## SignalDescription Constructor

SignalDescriptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

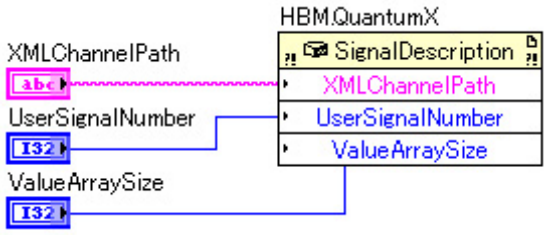
C#

```
public SignalDescription(
       string XMLChannelPath,
       int UserSignalNumber,
       int ValueArraySize
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       XMLChannelPath As String,
       UserSignalNumber As Integer,
       ValueArraySize As Integer
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| XMLChannelPath | System.String | XMLチャネルパス。 |
| UserSignalNumber | System.Int32 | ユーザの信号番号。 |
| ValueArraySize | System.Int32 | 値の配列サイズ。 |

## SignalDescription.DoubleValues Field

測定値(倍精度浮動小数点)のバッファ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

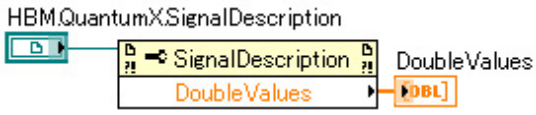
C#

```
public double[] DoubleValues
```

Visual Basic

```
Public DoubleValues As Double()
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| フィールド値 | Type: Double[] |

## SignalDescription.TimeStamps Field

タイムスタンプのバッファ(2000-01-01 00:00:00からの少数秒)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public double[] TimeStamps
```

Visual Basic

```
Public TimeStamps As Double()
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| フィールド値 | Type: Double[] |

## SignalDescription.TimeStamps64 Field

UInt64型でのタイムスタンプのバッファ

UInt64型でのタイムスタンプのバッファ(Bit 63...32は2000-01-01 00:00:00からの秒で、Bit 31..0は実行中の少数秒)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ulong[] TimeStamps64
```

Visual Basic

```
Public TimeStamps64 As ULong()
```

LabVIEW

| | |
|---|---|
| フィールド値 | Type: UInt64[] |

## SignalDescription.MeasuringValueType Property

測定値の型を取得。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

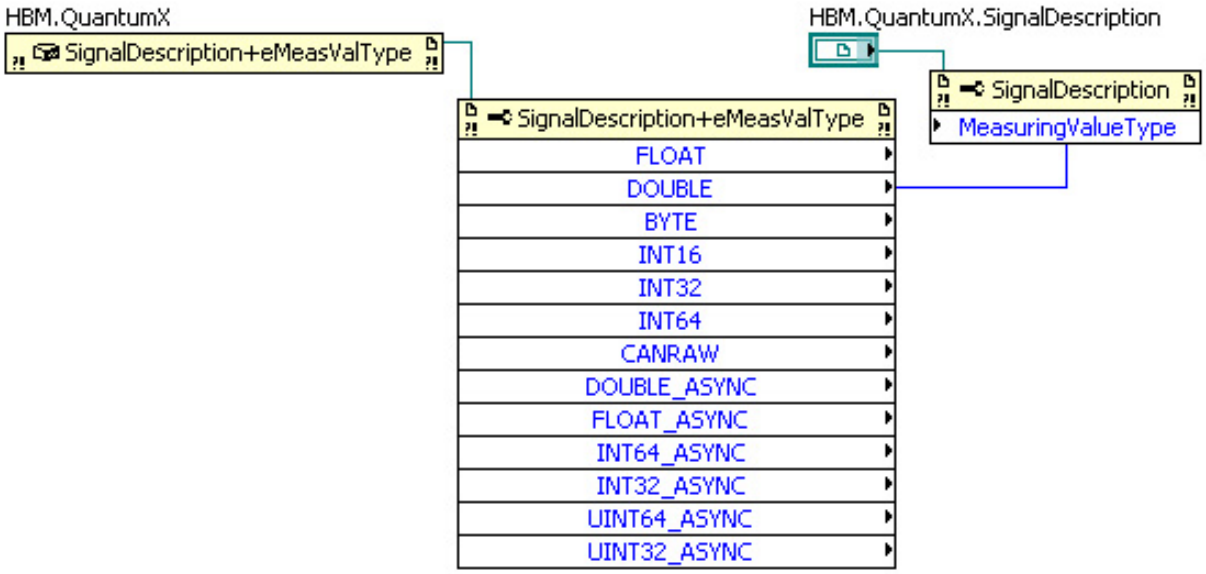
C#

```
public SignalDescription.eMeasValType MeasuringValueType { get; internal set; }
```

Visual Basic

```
Public Property MeasuringValueType As SignalDescription.eMeasValType
       Get
       Friend Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: SignalDescription.eMeasValType<br>測定値の型。 |

## SignalDescription.NumValidMeasurements Property

GetDataBlock()への最後の呼び出し中にMeasurementValues に挿入された測定値の数。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

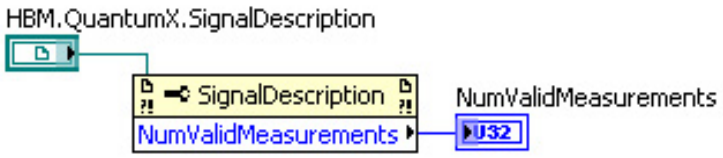
C#

```
public uint NumValidMeasurements { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property NumValidMeasurements As UInteger
        Get
        Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt32 |

## SignalDescription.UserSignalNumber Property

GetSignalData(Int32, MeasurementValues)を介して信号の測定値にアクセスするための固有の番号（key）を定義。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

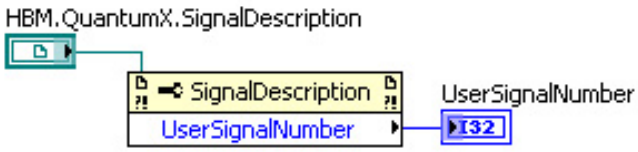
C#

```
public int UserSignalNumber { get; set; }
```

Visual Basic

```
Public Property UserSignalNumber As Integer
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: Int32 |

# SubDeviceクラス

**SubDevice Class**
通信可能なデバイスおよびそのサブデバイスを記述するクラスです。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SubDevice
```

Visual Basic
```
Public Class SubDevice
```

継承階層

System.Object
 HBM.QuantumX.SubDevice

## SubDevice Members

SubDevice型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SubDevice() | SubDeviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SubDevice(UInt64, eDeviceTypes, String) | SubDeviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DeviceName | デバイス名。 |
| DeviceType | デバイスタイプ。 |
| SubDevices | デバイスを通して通信可能なサブデバイスのリスト<br>(SubDevicesHierarchicalでのみ使用)。 |
| UUID | デバイスのUUID。 |

## SubDevice Constructor

SubDeviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SubDevice()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## SubDevice(UInt64, eDeviceTypes, String)

SubDeviceクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

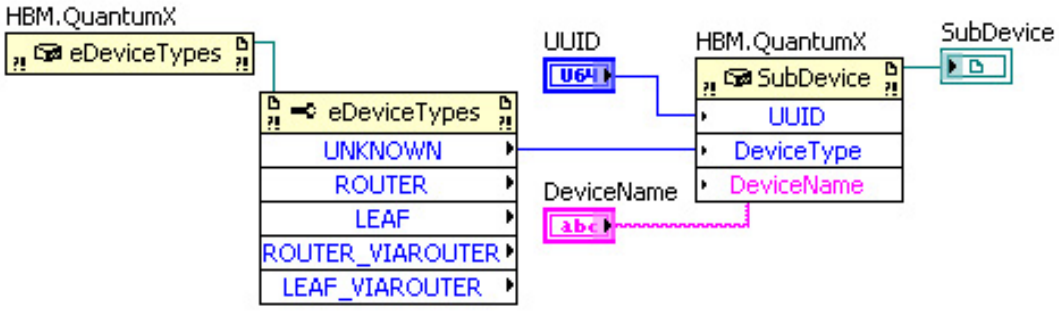
C#

```
public SubDevice(
       ulong UUID,
       eDeviceTypes DeviceType,
       string DeviceName
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       UUID As ULong,
       DeviceType As eDeviceTypes,
       DeviceName As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| UUID | System.UInt64 | デバイスのUUID。 |
| DeviceType | HBM.QuantumX.eDeviceTypes | デバイスの信号番号。 |
| DeviceName | System.String | ユーザの信号番号。 |

## SubDevice.DeviceName Property

デバイス名。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

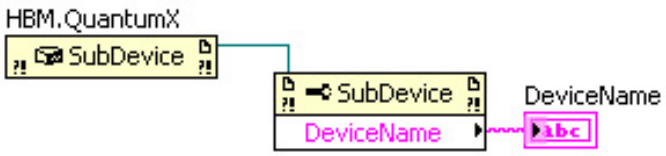
C#

```
public string DeviceName { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property DeviceName As String
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: String |

## SubDevice.DeviceType Property

デバイスタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

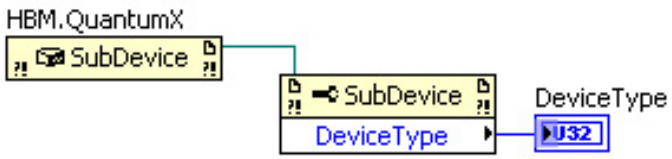
C#

```
public eDeviceTypes DeviceType { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property DeviceType As eDeviceTypes
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: eDeviceTypes |

## SubDevice.SubDevices Property

デバイスを通して通信可能なサブデバイスのリスト(SubDevicesHierarchicalでのみ使用)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

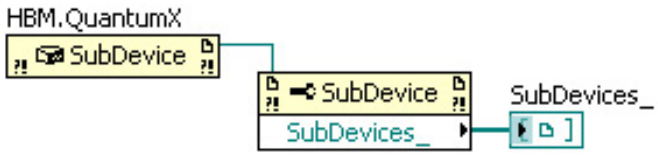
C#

```
public List<SubDevice> SubDevices { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property SubDevices As List(Of SubDevice)
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: List(SubDevice) |

## SubDevice.UUID Property

デバイスのUUID。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

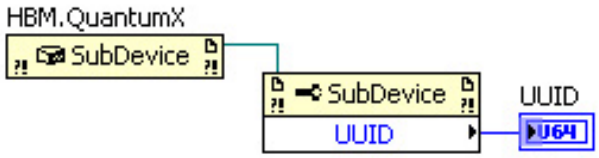
C#

```
public ulong UUID { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property UUID ULong
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt64 |

# HBM.QuantumX.Enumeration

| 列挙型 | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| eComLogFlags | 通信データの記録フラグ。 |
| eDAQErrors | GetDataBlock()、StartDAQ()およびStopDAQ()中に発生するエラー。 |
| eDAQValueState | DAQ値のステータス。 |
| eDebugLogFlags | デバッグ情報の記録フラグ。 |
| eDeviceTypes | デバイスタイプ。 |
| eErrorLogFlags | エラーの記録フラグ。 |
| eLedMode | SetLedMode(UInt64, Int32, eLedMode)のLEDモード。 |
| eLogFileMode | ログ出力のフォーマット。 |
| enChangeMode | サンプルバッファーを変更するときの条件指定(QXSystem.AssignArbitrarySignalGeneratorValuesを参照)。 |
| ePtpSyncMode | PTP同期モード。 |
| ePtpTimeScaleFlags | IEEEで既定されているtimePropertiesDSの時間スケールフラグ。 |
| eScaleType | 測定値のスケーリングタイプ。 |
| eUILanguage | ユーザインタフェース言語の候補。PropertyGridおよびエラーメッセージの言語を制御するために使用されます(QXSystem.SetUILanguageを参照)。 |
| Problem.eProblemType | 問題のタイプ。 |
| SignalDescription.eMeasValType | 測定値のデータタイプ。 |

## eComLogFlags Enumeration

通信データの記録フラグ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

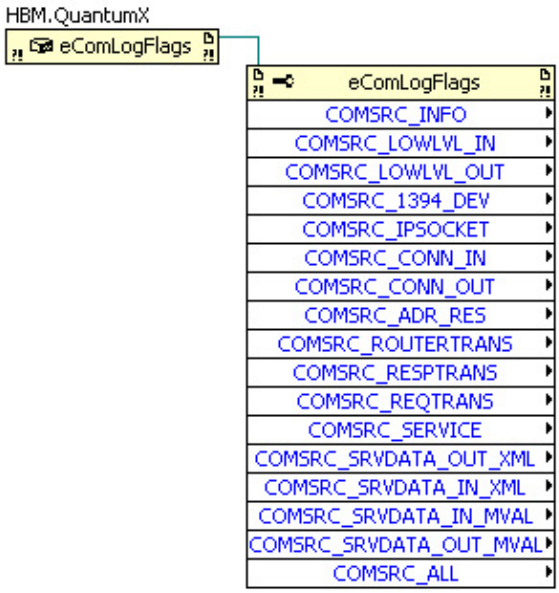
C#

```
[FlagsAttribute]
public enum eComLogFlags
```

Visual Basic

```
<FlagsAttribute>
Public Enumeration eComLogFlags
```

LabVIEW




メンバー

| 値(10進) | 値(16進) | 名前 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | COMSRC_INFO | |
| 2 | 2 | COMSRC_LOWLVL_IN | |
| 4 | 4 | COMSRC_LOWLVL_OUT | |
| 8 | 8 | COMSRC_1394_DEV | |
| 16 | 10 | COMSRC_IPSOCKET | |
| 32 | 20 | COMSRC_CONN_IN | |
| 64 | 40 | COMSRC_CONN_OUT | |
| 128 | 80 | COMSRC_ADR_RES | |
| 256 | 100 | COMSRC_ROUTERTRANS | |
| 512 | 200 | COMSRC_RESPTRANS | |
| 1024 | 400 | COMSRC_REQTRANS | |
| 2048 | 800 | COMSRC_SERVICE | |
| 4096 | 1000 | COMSRC_SRVDATA_OUT_XML | |
| 8192 | 2000 | COMSRC_SRVDATA_IN_XML | |
| 16384 | 4000 | COMSRC_SRVDATA_IN_MVAL | |
| 32768 | 8000 | COMSRC_SRVDATA_OUT_MVAL | |
| 4294967295 | FFFFFFFF | COMSRC_ALL | |

## eDAQErrors Enumeration

GetDataBlock()、StartDAQ()およびStopDAQ()中に発生するエラー。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

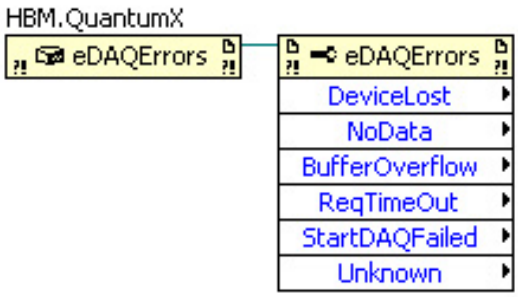
C#

```
public enum eDAQErrors
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eDAQErrors
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | DeviceLost | デバイスを見つけられませんでした(ほとんどの場合ネットワーク接続が失われています)。 |
| 1 | NoData | デバイスと接続されていますがデータが返って来ませんでした。 |
| 2 | BufferOverflow | 内部バッファのオーバーフロー。別の周波数でデータ取得を試してみてください。 |
| 3 | ReqTimeOut | タイムアウト。 |
| 4 | StartDAQFailed | StartDAQに失敗しました(例えば、StartSynchronizedはtrueですが、モジュールは同期しませんでした)。 |
| 5 | Unknown | GetDataBlock()中に発生した他のエラー。 |

## eDAQValueState Enumeration

DAQ値のステータス。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

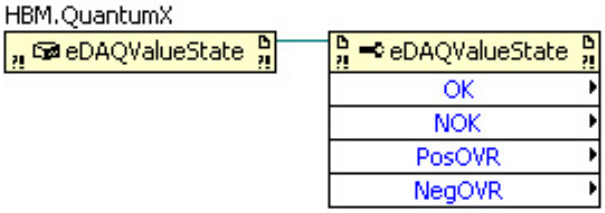
C#

```
public enum eDAQValueState
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eDAQValueState
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | OK | 有効な値。 |
| 1 | NOK | 値は無効(エラーが有りました)。 |
| 2 | PosOVR | 正側の過負荷。 |
| 3 | NegOVR | 負側の過負荷。 |

## eDebugLogFlags Enumeration

デバッグ情報の記録フラグ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

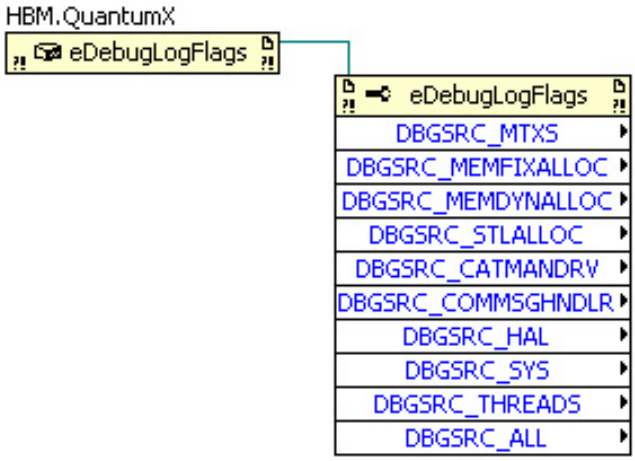
C#

```
[FlagsAttribute]
public enum eDebugLogFlags
```

Visual Basic

```
<FlagsAttribute>
Public Enumeration eDebugLogFlags
```

LabVIEW




メンバー

| 値(10進) | 値(16進) | 名前 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | DBGSRC_MTXS | |
| 2 | 2 | DBGSRC_MEMFIXALLOC | |
| 4 | 4 | DBGSRC_MEMDYNALLOC | |
| 8 | 8 | DBGSRC_STLALLOC | |
| 16 | 10 | DBGSRC_CATMANDRV | |
| 32 | 20 | DBGSRC_COMMSGHNDLR | |
| 64 | 40 | DBGSRC_HAL | |
| 128 | 80 | DBGSRC_SYS | |
| 256 | 100 | DBGSRC_THREADS | |
| 4294967295 | FFFFFFFF | DBGSRC_ALL | |

## eDeviceTypes Enumeration

デバイスタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

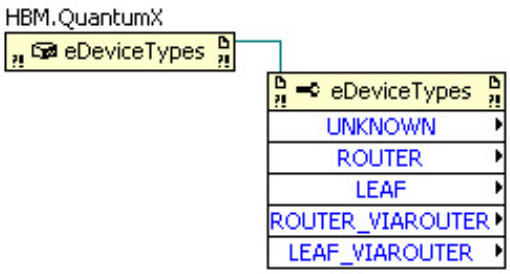
C#

```
public enum eDeviceTypes
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eDeviceTypes
```

LabVIEW




メンバー

| 値(10進) | 値(16進) | 名前 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | UNKNOWN | 不明なデバイスタイプ。 |
| 1 | 1 | ROUTER | ルータ。 |
| 2 | 2 | LEAF | リーフルータ(ホストに最も近い)。 |
| 2147483649 | 80000001 | ROUTER_VIAROUTER | 別のルータを経由したルータ。 |
| 2147483650 | 80000002 | LEAF_VIAROUTER | ルータを経由したリーフルータ。 |

## eErrorLogFlags Enumeration

エラーの記録フラグ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

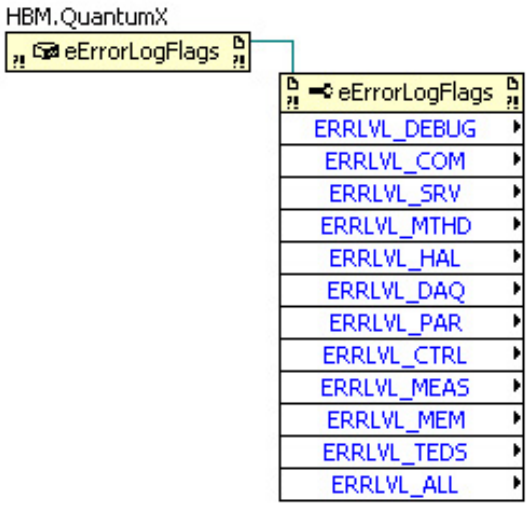
C#

```
[FlagsAttribute]
public enum eErrorLogFlags
```

Visual Basic

```
<FlagsAttribute>
Public Enumeration eErrorLogFlags
```

LabVIEW




メンバー

| 値(10進) | 値(16進) | 名前 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | ERRLVL_DEBUG | |
| 2 | 2 | ERRLVL_COM | |
| 4 | 4 | ERRLVL_SRV | |
| 8 | 8 | ERRLVL_MTHD | |
| 16 | 10 | ERRLVL_HAL | |
| 32 | 20 | ERRLVL_DAQ | |
| 64 | 40 | ERRLVL_PAR | |
| 128 | 80 | ERRLVL_CTRL | |
| 256 | 100 | ERRLVL_MEAS | |
| 512 | 200 | ERRLVL_MEAS | |
| 1024 | 400 | ERRLVL_TEDS | |
| 4294967295 | FFFFFFFF | ERRLVL_ALL | |

## eLedMode Enumeration

SetLedMode(UInt64, Int32, eLedMode)のLEDモード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

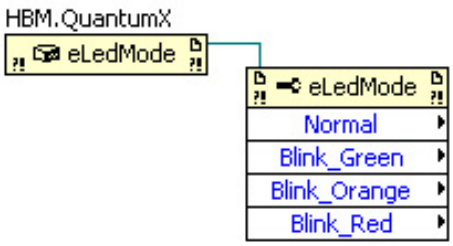
C#

```
public enum eLedMode
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eLedMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Normal | LEDモードを標準にリセット。 |
| 1 | Blink_Green | 緑色の点滅。 |
| 2 | Blink_Orange | 橙色の点滅。 |
| 3 | Blink_Red | 赤色の点滅。 |

## eLogFileMode Enumeration

ログ出力のフォーマット。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

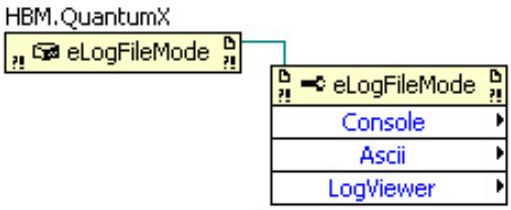
C#

```
public enum eLogFileMode
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eLogFileMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Console | |
| 1 | Ascii | |
| 2 | LogViewer | |

## enChangeMode Enumeration

サンプルバッファーを変更するときの条件指定(QXSystem.AssignArbitrarySignalGeneratorValuesを参照)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

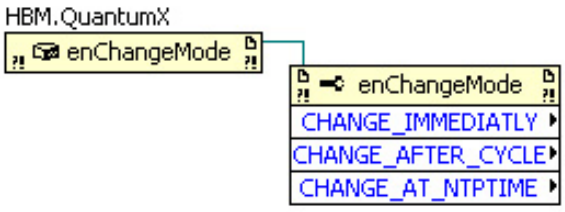
C#

```
public enum enChangeMode
```

Visual Basic

```
Public Enumeration enChangeMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | CHANGE_IMMEDIATLY | できるだけ早くサンプルデータに変換。 |
| 1 | CHANGE_AFTER_CYCLE | 古いサンプルデータは現在のサイクル後に変換。 |
| 2 | CHANGE_AT_NTPTIME | "startTime"で指定した変換。 |

## ePtpSyncMode Enumeration

PTP同期モード。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

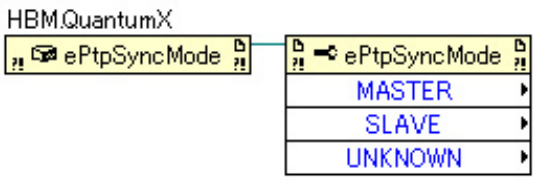
C#

```
public enum ePtpSyncMode
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePtpSyncMode
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| -1 | UNKNOWN | |
| 0 | SLAVE | |
| 1 | MASTER | |

## ePtpTimeScaleFlags Enumeration

IEEEで規定されているtimePropertiesDSの時間スケールフラグ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

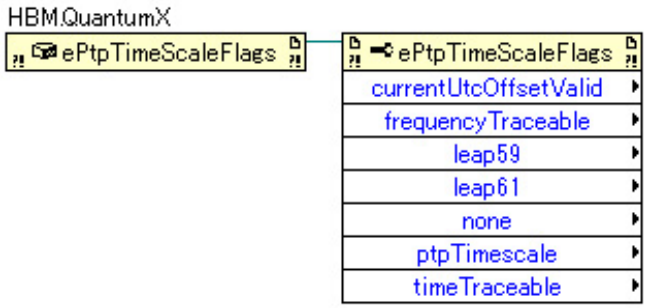
C#

```
public enum ePtpTimeScaleFlags
```

Visual Basic

```
Public Enumeration ePtpTimeScaleFlags
```

LabVIEW




メンバー

| 値(10進) | 値(16進) | 名前 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 0 | 0 | none | |
| 1 | 1 | leap61 | |
| 2 | 2 | leap59 | |
| 4 | 4 | currentUtcOffsetValid | |
| 8 | 8 | ptpTimescale | |
| 16 | 10 | timeTraceable | |
| 32 | 20 | frequencyTraceable | |

## eScaleType Enumeration

測定値のスケーリングタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

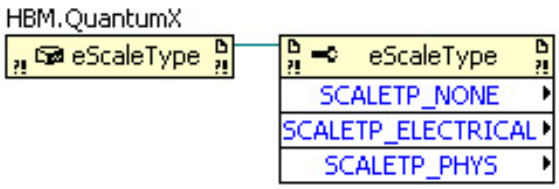
C#

```
public enum eScaleType
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eScaleType
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | SCALETP_NONE | スケールなしの測定。 |
| 1 | SCALETP_ELECTRICAL | 電気値を測定。 |
| 2 | SCALETP_PHYS | 物理値を測定。 |

## eUILanguage Enumeration

ユーザインタフェース言語の候補。PropertyGridおよびエラーメッセージの言語を制御するために使用されます(QXSystem.SetUILanguageを参照)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

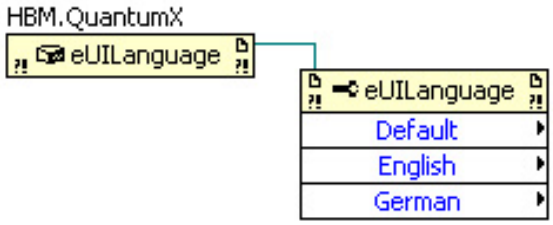
C#

```
public enum eUILanguage
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eUILanguage
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Default | 現在のOS言語 |
| 1 | English | 英語。 |
| 2 | German | 独語。 |

## Problem.eProblemType Enumeration

問題のタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

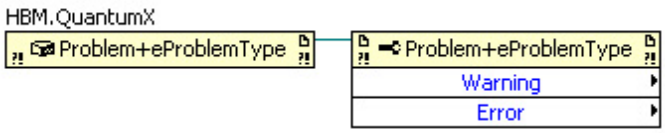
C#

```
public enum eProblemType
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eProblemType
```

LabVIEW




メンバー

| 値 | 名前 | 説明 |
|---|---|---|
| 0 | Warning | 警告。 |
| 1 | Error | エラー。 |

## SignalDescription.eMeasValType Enumeration

測定値のデータタイプ。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

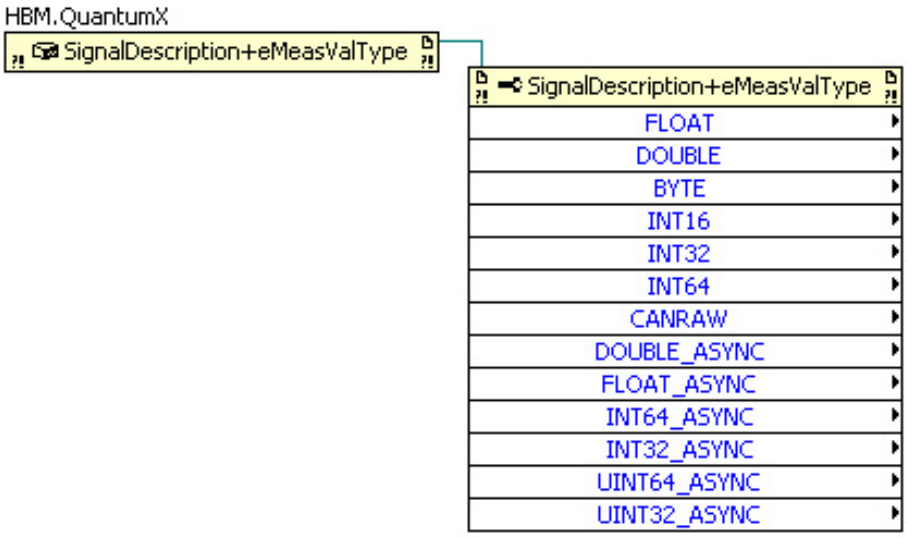
C#

```
public enum eMeasValType
```

Visual Basic

```
Public Enumeration eMeasValType
```

LabVIEW




メンバー

| 値(10進) | 値(16進) | 名前 | 説明 |
|---|---|---|---|
| 20 | 14 | FLOAT | |
| 24 | 18 | DOUBLE | |
| 33 | 21 | BYTE | |
| 34 | 22 | INT16 | |
| 36 | 24 | INT32 | |
| 40 | 28 | INT64 | |
| 62 | 3E | CANRAW | |
| 80 | 50 | DOUBLE_ASYNC | |
| 92 | 5C | FLOAT_ASYNC | |
| 96 | 60 | INT64_ASYNC | |
| 108 | 6C | INT32_ASYNC | |
| 224 | E0 | UINT64_ASYNC | |
| 236 | EC | UINT32_ASYNC | |

# HBM.QuantumX.Exception

| 例外 | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AssignFailedException | センサや信号など、デバイスの割り当てに問題があれば発生します。 |
| ConnectionFailedException | デバイスの接続に問題がある場合に発生します。 |
| DllVersionException | DLLバージョン要件が満たされない場合に発生します。 |
| ExportFailedException | デバイスをXMLファイルにをエクスポートするときに問題がある場合に発生します。 |
| GetDataBlockFailedException | QuantumXデバイス内の測定値用データバッファが最後のGetDataBlock呼び出し以降、ローになった場合に発生します。 |
| GetSinglePointFailedException | デバイスからの測定値取得に問題がある場合に発生します。 |
| GetSingleShotFailedException | デバイスからのワンショット測定値取得に問題がある場合に発生します。 |
| ImportFailedException | ファイルからデバイスのXMLをインポート時に問題がある場合に発生します。 |
| ReadFailedException | デバイスのセンサーや信号等の読み取りに問題がある場合に発生します。 |
| RestartFailedException | デバイスを再起動に問題がある場合に発生します。 |
| ScanFailedException | デバイス用のIPネットワークをスキャンして問題がある場合に発生します。 |
| StartDAQFailedException | データの取得開始に問題がある場合に発生します。 |
| StopDAQFailedException | データ取得の停止に問題がある場合に発生します。 |
| SubscribeSignalFailedException | 測定信号を登録する問題がある場合に発生します |
| ViewNotAvailableException | モジュールが目的のオブジェクトをサポートしていない場合に発生します。 |
| ZeroingFailedException | デバイスのチャネルの0化に問題がある場合に発生します。 |

# AssignFailedExceptionクラス

## AssignFailedException Class

センサや信号など、デバイスの割り当てに問題があれば発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public class AssignFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic

```
Public Class AssignFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.AssignFailedException

## AssignFailedException Members

AssignFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| AssignFailedException() | AssignFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AssignFailedException(String) | AssignFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| AssignFailedException(String, Exception) | AssignFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## AssignFailedException Constructor

AssignFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AssignFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## AssignFailedException Constructor(String)

AssignFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public AssignFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## AssignFailedException Constructor(String, Exception)

AssignFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

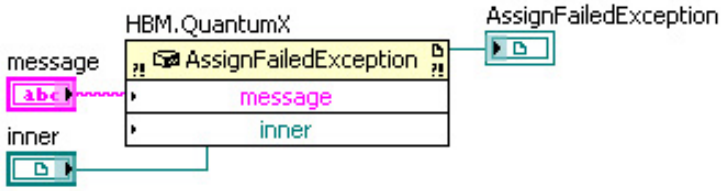
C#

```
public AssignFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# ConnectionFailedException クラス

**ConnectionFailedException Class**
デバイスの接続に問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ConnectionFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class ConnectionFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.ConnectionFailedException

## ConnectionFailedException Members

ConnectionFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ConnectionFailedException() | ConnectionFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ConnectionFailedException(String) | ConnectionFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ConnectionFailedException(String, Exception) | ConnectionFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## ConnectionFailedException Constructor

ConnectionFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

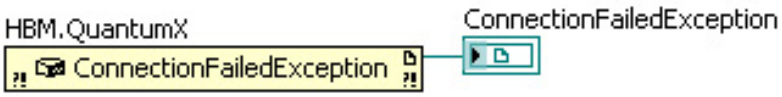
C#

```
public ConnectionFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ConnectionFailedException Constructor(String)

ConnectionFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ConnectionFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## ConnectionFailedException Constructor(String, Exception)

ConnectionFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

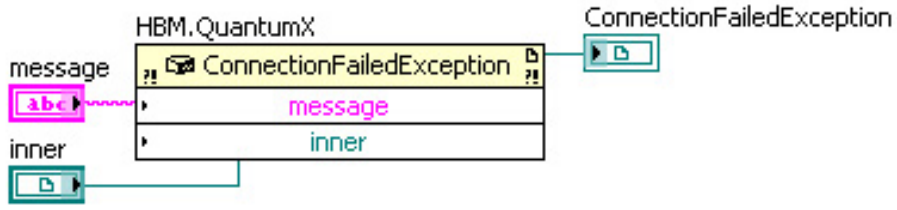
C#

```
public ConnectionFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# DllVersionExceptionクラス

**DllVersionException Class**
DLLバージョン要件が満たされない場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
[SerializableAttribute]
public class DllVersionException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
<SerializableAttribute>
Public Class DllVersionException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  HBM.QuantumX.DllVersionException

## DllVersionException Members

DllVersionException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DllVersionException() | DllVersionExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DllVersionException(String) | DllVersionExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DllVersionException(SerializationInfo, StreamingContext) | DllVersionExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| DllVersionException(String, Exception) | DllVersionExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## DllVersionException Constructor

DllVersionExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

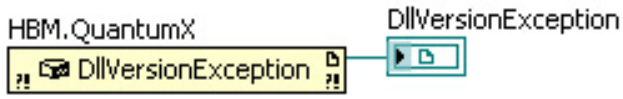
C#

```
public DllVersionException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## DllVersionException Constructor(String)

DllVersionExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

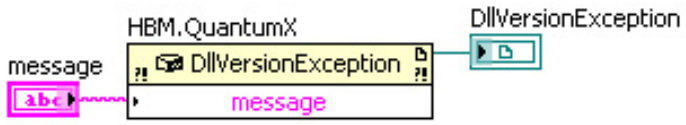
C#

```
public DllVersionException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## DllVersionException Constructor(SerializationInfo, StreamingContext)

DllVersionExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

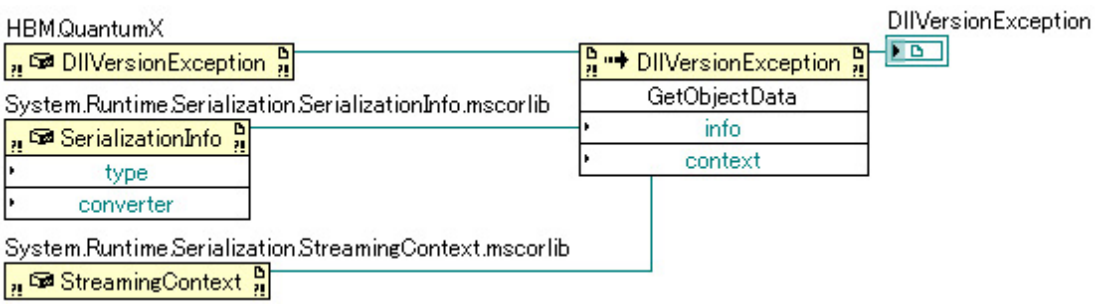
C#

```
public DllVersionException(
       SerializationInfo info,
       StreamingContext context
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       info As SerializationInfo,
       context As StreamingContext
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| info | System.Runtime.Serialization.SerializationInfo | オブジェクトの例外に関するシリアル化されたデータを格納。 |
| context | System.Runtime.Serialization.StreamingContext | 転送元または転送先のコンテキスト情報を格納 |

例外

| |
|---|
| System.ArgumentNullException |
| System.Runtime.Serialization.SerializationException |

## DllVersionException Constructor(String, Exception)

DllVersionExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

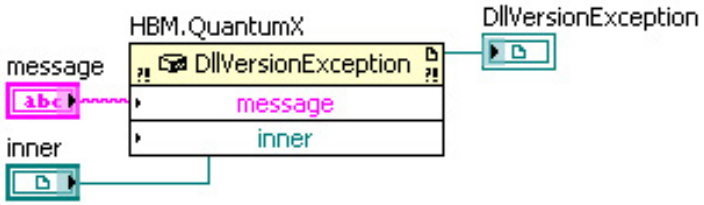
C#

```
public DllVersionException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# ExportFailedExceptionクラス

**ExportFailedException Class**
デバイスをXMLファイルにをエクスポートするときに問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ExportFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class ExportFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.ExportFailedException

## ExportFailedException Members

ExportFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ExportFailedException() | ExportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ExportFailedException(String) | ExportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ExportFailedException(String, Exception) | ExportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## ExportFailedException Constructor

ExportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

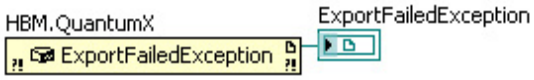
C#

```
public ExportFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ExportFailedException Constructor(String)

ExportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

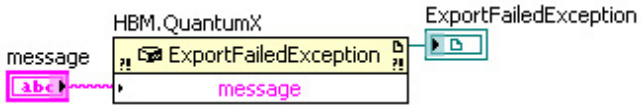
C#

```
public ExportFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## ExportFailedException Constructor(String, Exception)

ExportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

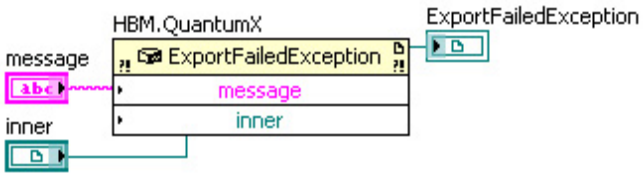
C#

```
public ExportFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# GetDataBlockFailedException クラス

## GetDataBlockFailedException Class

QuantumXデバイス内の測定値用データバッファが最後のGetDataBlock呼び出し以降、ローになった場合に発生します。頻繁にGetDataBlockを呼び出すかバッファサイズを増やして抑制してください。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public class GetDataBlockFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic

```
Public Class GetDataBlockFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.GetDataBlockFailedException

## GetDataBlockFailedException Members

GetDataBlockFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GetDataBlockFailedException() | GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetDataBlockFailedException(String) | GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetDataBlockFailedException(String, List(DAQProblem)) | GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetDataBlockFailedException(String, Exception) | GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetDataBlockFailedException(String, Exception, List(DAQProblem)) | GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DAQProblems | DAQの問題を取得します。 |

## GetDataBlockFailedException Constructor

GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

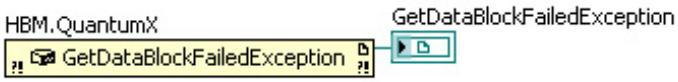
C#

```
public GetDataBlockFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## GetDataBlockFailedException Constructor(String)

GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public GetDataBlockFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## GetDataBlockFailedException Constructor(String, List(DAQProblem))

GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

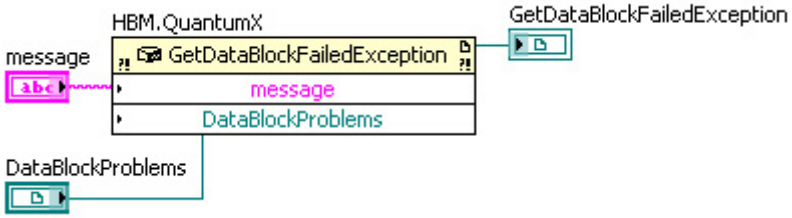
C#

```
public GetDataBlockFailedException(
       string message,
       List<DAQProblem> DataBlockProblems
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       DataBlockProblems As List(Of DAQProblem)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| DataBlockProblems | System.Collections.Generic.List(DAQProblem) | データブロック問題。 |

## GetDataBlockFailedException Constructor(String, Exception)

GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

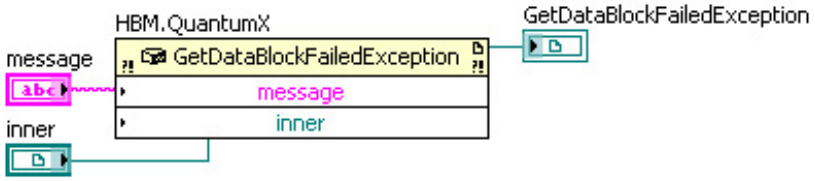
C#

```
public GetDataBlockFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

## GetDataBlockFailedException Constructor(String, Exception, List(DAQProblem))

GetDataBlockFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

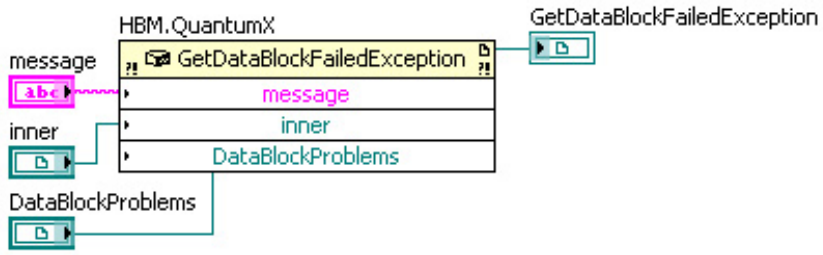
C#

```
public GetDataBlockFailedException(
       string message,
       Exception inner,
       List<DAQProblem> DataBlockProblems
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception,
       DataBlockProblems As List(Of DAQProblem)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |
| DataBlockProblems | System.Collections.Generic.List(DAQProblem) | データブロック問題。 |

## GetDataBlockFailedException.DAQProblems Property

DAQの問題を取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

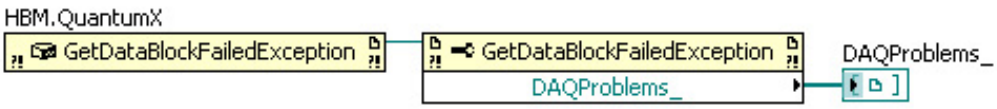
C#

```
public List<DAQProblem> DAQProblems { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property DAQProblems As List(Of DAQProblem)
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | List(DAQProblem) |

# GetSinglePointFailedException クラス

**GetSinglePointFailedException Class**
デバイスからの測定値取得に問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class GetSinglePointFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class GetSinglePointFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.GetSinglePointFailedException

## GetSinglePointFailedException Members

GetSinglePointFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GetSinglePointFailedException() | GetSinglePointFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetSinglePointFailedException(String) | GetSinglePointFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetSinglePointFailedException(String, Exception) | GetSinglePointFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## GetSinglePointFailedException Constructor

GetSinglePointFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

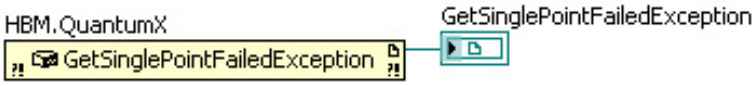
C#

```
public GetSinglePointFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## GetSinglePointFailedException Constructor(String)

GetSinglePointFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

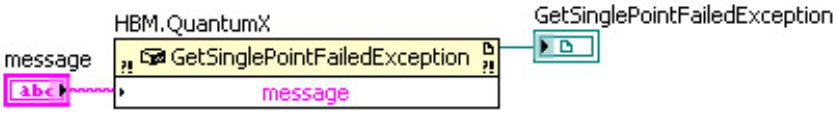
C#

```
public GetSinglePointFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## GetSinglePointFailedException Constructor(String, Exception)

GetSinglePointFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

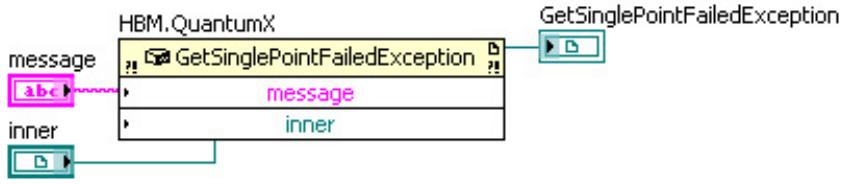
C#

```
public GetSinglePointFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# GetSingleShotFailedException クラス

**GetSingleShotFailedException Class**
デバイスからのワンショット測定値取得に問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class GetSingleShotFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class GetSingleShotFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.GetSingleShotFailedException

## GetSingleShotFailedException Members

GetSingleShotFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| GetSingleShotFailedException() | GetSingleShotFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetSingleShotFailedException(String) | GetSingleShotFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetSingleShotFailedException(String, List(DAQProblem)) | GetSingleShotFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| GetSingleShotFailedException(String, Exception) | GetSingleShotFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DAQProblems | DAQの問題を取得します。 |

## GetSingleShotFailedException Constructor

GetSingleShotFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

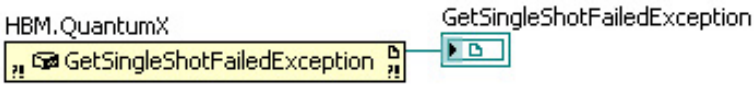
C#

```
public GetSingleShotFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## GetSingleShotFailedException Constructor(String)

GetSingleShotFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

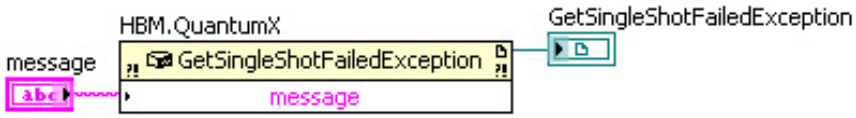
C#

```
public GetSingleShotFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## GetSingleShotFailedException Constructor (String, List(DAQProblem))

GetSingleShotFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

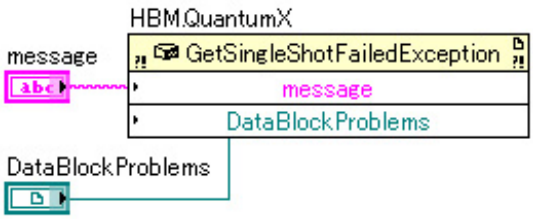
C#

```
public GetSingleShotFailedException(
       string message,
       List<DAQProblem> DataBlockProblems
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       DataBlockProblems As List(Of DAQProblem)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| DataBlockProblems | System.Collections.Generic.List(DAQProblem) | データブロック問題。 |

## GetSingleShotFailedException Constructor(String, Exception)

GetSingleShotFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

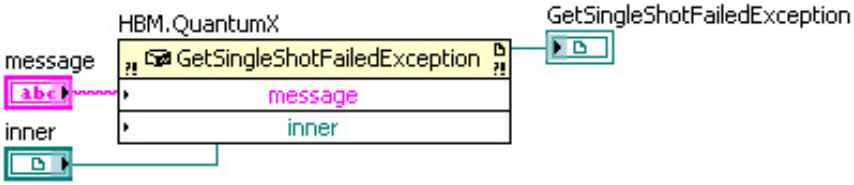
C#

```
public GetSingleShotFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

## GetSingleShotFailedException.DAQProblems Property

DAQの問題を取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

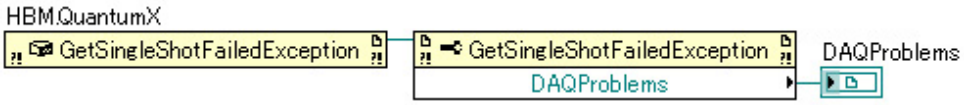
C#

```
public List<DAQProblem> DAQProblems { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property DAQProblems As List(Of DAQProblem)
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | List(DAQProblem) |

# ImportFailedExceptionクラス

**ImportFailedException Class**
ファイルからデバイスのXMLをインポート時に問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ImportFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class ImportFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.ImportFailedException

## ImportFailedException Members

ImportFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ImportFailedException() | ImportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ImportFailedException(String) | ImportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ImportFailedException(String, Exception) | ImportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## ImportFailedException Constructor

ImportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ImportFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW

## ImportFailedException Constructor(String)

ImportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

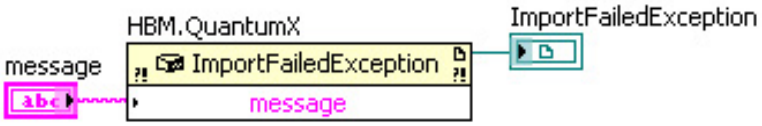
C#

```
public ImportFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## ImportFailedException Constructor(String, Exception)

ImportFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

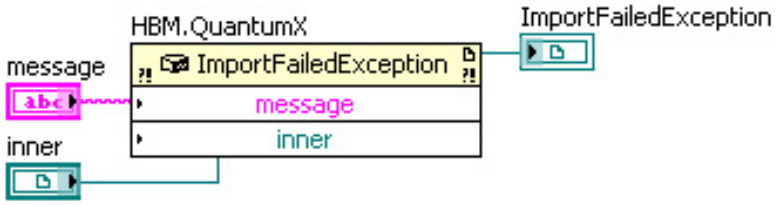
C#

```
public ImportFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# ReadFailedExceptionクラス

**ReadFailedException Class**
デバイスのセンサーや信号等の読み取りに問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ReadFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class ReadFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.ReadFailedException

## ReadFailedException Members

ReadFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ReadFailedException() | ReadFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ReadFailedException(String) | ReadFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ReadFailedException(String, Exception) | ReadFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## ReadFailedException Constructor

ReadFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

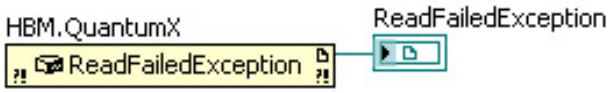
C#

```
public ReadFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ReadFailedException Constructor(String)

ReadFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

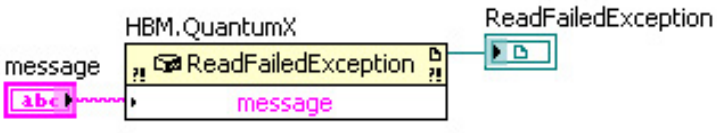
C#

```
public ReadFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## ReadFailedException Constructor(String, Exception)

ReadFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

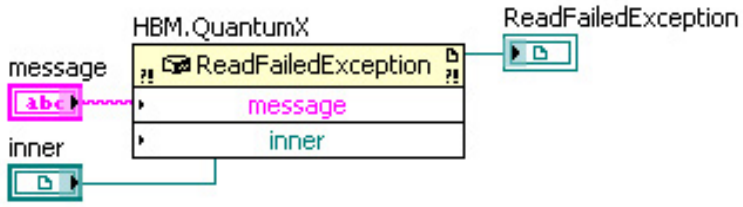
C#

```
public ReadFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# RestartFailedExceptionクラス

**RestartFailedException Class**
デバイスを再起動に問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class RestartFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class RestartFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.RestartFailedException

## RestartFailedException Members

RestartFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| RestartFailedException() | RestartFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| RestartFailedException(String) | RestartFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| RestartFailedException(String, Exception) | RestartFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## RestartFailedException Constructor

RestartFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

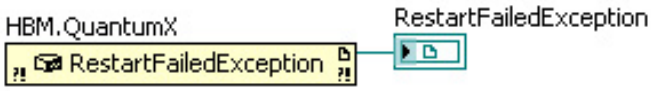
C#

```
public RestartFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## RestartFailedException Constructor(String)

RestartFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

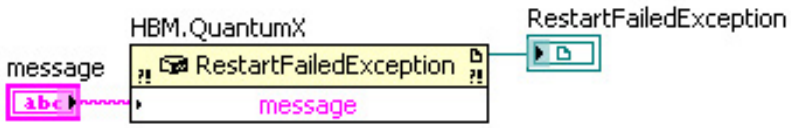
C#

```
public RestartFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## RestartFailedException Constructor(String, Exception)

RestartFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public RestartFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# ScanFailedExceptionクラス

**ScanFailedException Class**
デバイス用のIPネットワークをスキャンして問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class ScanFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class ScanFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.ScanFailedException

## ScanFailedException Members

ScanFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ScanFailedException() | ScanFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ScanFailedException(String) | ScanFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ScanFailedException(String, Exception) | ScanFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## ScanFailedException Constructor

ScanFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

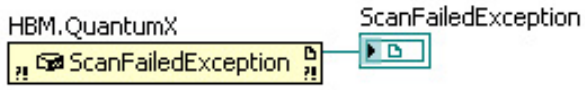
C#

```
public ScanFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ScanFailedException Constructor(String)

ScanFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

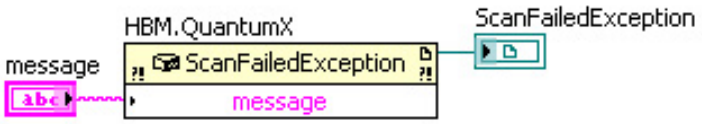
C#

```
public ScanFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## ScanFailedException Constructor(String, Exception)

ScanFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

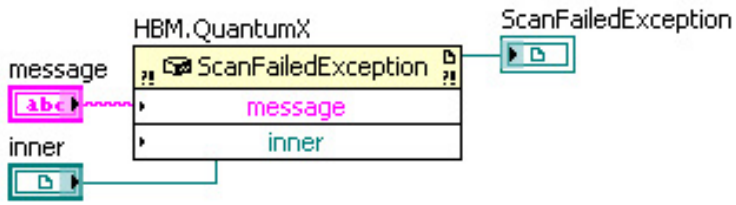
C#

```
public ScanFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# StartDAQFailedExceptionクラス

**StartDAQFailedException Class**
データの取得開始に問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class StartDAQFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class StartDAQFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.StartDAQFailedException

## StartDAQFailedException Members

StartDAQFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| StartDAQFailedException() | StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| StartDAQFailedException(String) | StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| StartDAQFailedException(String, List(DAQProblem)) | StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| StartDAQFailedException(String, Exception) | StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| StartDAQFailedException(String, Exception, List(DAQProblem)) | StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DAQProblems | DAQの問題を取得します。 |

## StartDAQFailedException Constructor

StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

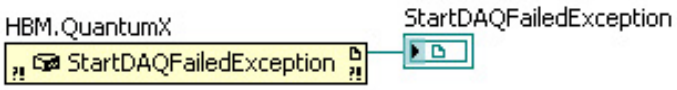
C#

```
public StartDAQFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## StartDAQFailedException Constructor(String)

StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

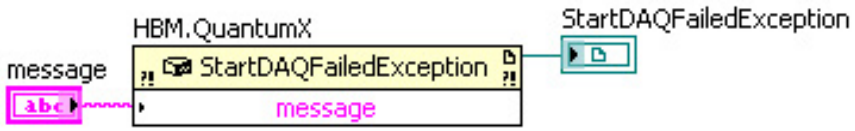
C#

```
public StartDAQFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## StartDAQFailedException Constructor(String, List(DAQProblem))

StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

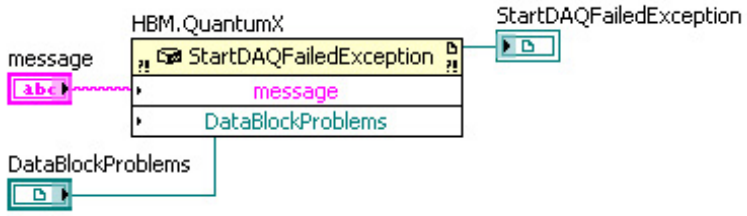
C#

```
public StartDAQFailedException(
       string message,
       List<DAQProblem> DataBlockProblems
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       DataBlockProblems As List(Of DAQProblem)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| DataBlockProblems | System.Collections.Generic.List(DAQProblem) | データブロック問題。 |

## StartDAQFailedException Constructor(String, Exception)

StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

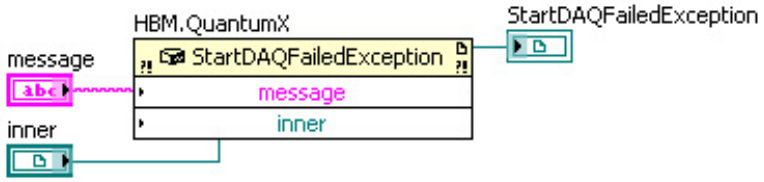
C#

```
public StartDAQFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

## StartDAQFailedException Constructor(String, Exception, List(DAQProblem))

StartDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

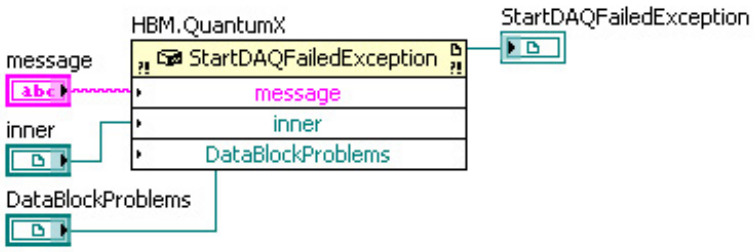
C#

```
public StartDAQFailedException(
       string message,
       Exception inner,
       List<DAQProblem> DataBlockProblems
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception,
       DataBlockProblems As List(Of DAQProblem)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |
| DataBlockProblems | System.Collections.Generic.List(DAQProblem) | データブロック問題。 |

## StartDAQFailedException.DAQProblems Property

DAQの問題を取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

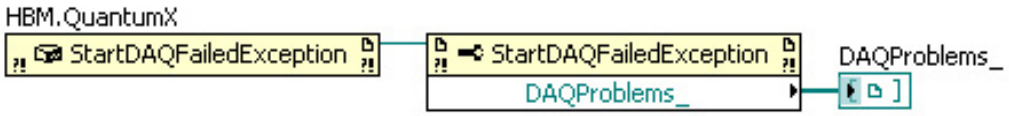
C#

```
public List<DAQProblem> DAQProblems { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property DAQProblems As List(Of DAQProblem)
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | List(DAQProblem) |

# StopDAQFailedExceptionクラス

**StopDAQFailedException Class**
データ取得の停止に問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class StopDAQFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class StopDAQFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.StopDAQFailedException

## StopDAQFailedException Members

StopDAQFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| StopDAQFailedException() | StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| StopDAQFailedException(String) | StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| StopDAQFailedException(String, List(DAQProblem)) | StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| StopDAQFailedException(String, Exception) | StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| StopDAQFailedException(String, Exception, List(DAQProblem)) | StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

| プロパティ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| DAQProblems | DAQの問題を取得します。 |

## StopDAQFailedException Constructor

StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

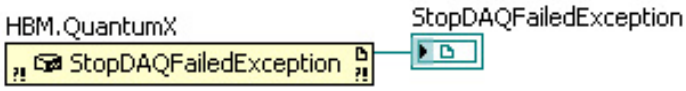
C#

```
public StopDAQFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## StopDAQFailedException Constructor(String)

StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public StopDAQFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## StopDAQFailedException Constructor(String, List(DAQProblem))

StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

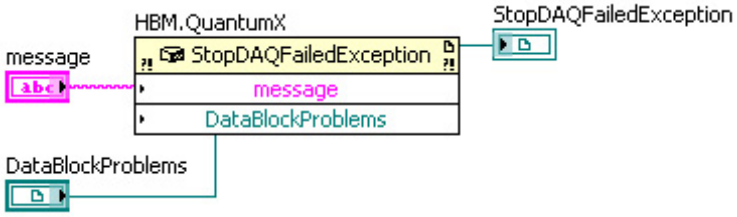
C#

```
public StopDAQFailedException(
       string message,
       List<DAQProblem> DataBlockProblems
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       DataBlockProblems As List(Of DAQProblem)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| DataBlockProblems | System.Collections.Generic.List(DAQProblem) | データブロック問題。 |

## StopDAQFailedException Constructor(String, Exception)

StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

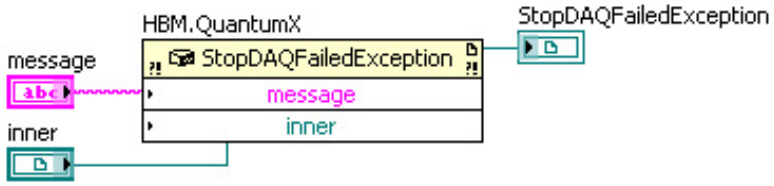
C#

```
public StopDAQFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

## StopDAQFailedException Constructor(String, Exception, List(DAQProblem))

StopDAQFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

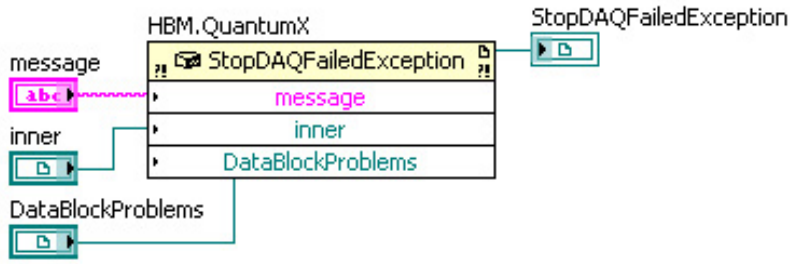
C#

```
public StopDAQFailedException(
       string message,
       Exception inner,
       List<DAQProblem> DataBlockProblems
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception,
       DataBlockProblems As List(Of DAQProblem)
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |
| DataBlockProblems | System.Collections.Generic.List(DAQProblem) | データブロック問題。 |

## StopDAQFailedException.DAQProblems Property

DAQの問題を取得します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

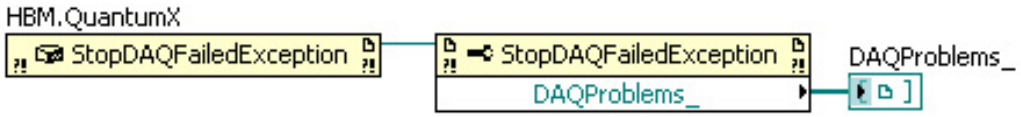
C#

```
public List<DAQProblem> DAQProblems { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property DAQProblems As List(Of DAQProblem)
       Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | List(DAQProblem) |

# SubscribeSignalFailedException クラス

**SubscribeSignalFailedException Class**
測定信号を登録する問題がある場合に発生します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public class SubscribeSignalFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic
```
Public Class SubscribeSignalFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.SubscribeSignalFailedException

## SubscribeSignalFailedException Members

SubscribeSignalFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| SubscribeSignalFailedException() | SubscribeSignalFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SubscribeSignalFailedException(String) | SubscribeSignalFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| SubscribeSignalFailedException(String, Exception) | SubscribeSignalFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## SubscribeSignalFailedException Constructor

SubscribeSignalFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

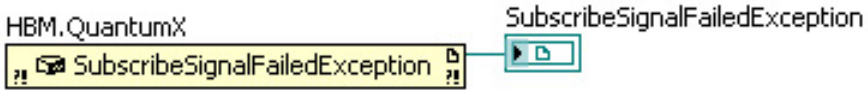
C#

```
public SubscribeSignalFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## SubscribeSignalFailedException Constructor(String)

SubscribeSignalFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public SubscribeSignalFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## SubscribeSignalFailedException Constructor(String, Exception)

SubscribeSignalFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

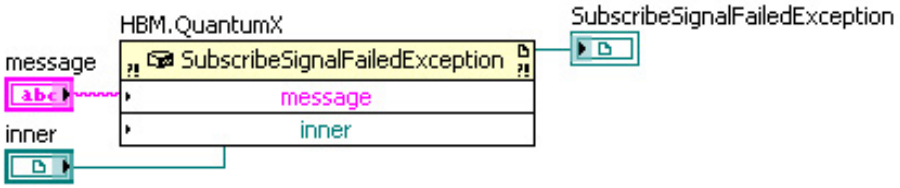
C#

```
public SubscribeSignalFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# ViewNotAvailableException クラス

**SubscribeSignalFailedException Class**

モジュールが目的のオブジェクトをサポートしていない場合に発生します。

例えば: QXSystem.ReadConnector()を介してCX27モジュールのコネクタを読み込もうとした。モジュールは、すべてのコネクタをサポートしていないため、オブジェクトはReadConnector()で利用できないと例外が投げられます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public class ViewNotAvailableException : ApplicationException
```

Visual Basic

```
Public Class ViewNotAvailableException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.ViewNotAvailableException

## ViewNotAvailableException Members

ViewNotAvailableException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ViewNotAvailableException() | ViewNotAvailableExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ViewNotAvailableException(String) | ViewNotAvailableExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ViewNotAvailableException(String, Exception) | ViewNotAvailableExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## ViewNotAvailableException Constructor

ViewNotAvailableExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

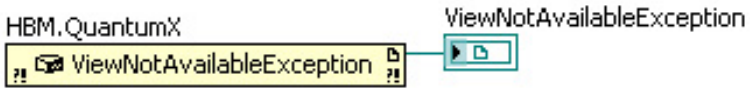
C#

```
public ViewNotAvailableException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ViewNotAvailableException Constructor(String)

ViewNotAvailableExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

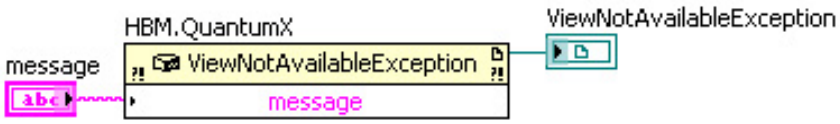
C#

```
public ViewNotAvailableException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## ViewNotAvailableException Constructor(String, Exception)

ViewNotAvailableExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

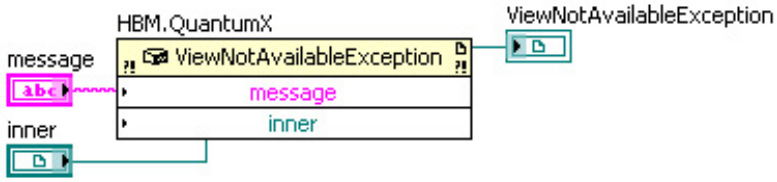
C#

```
public ViewNotAvailableException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# ZeroingFailedExceptionクラス

**ZeroingFailedException Class**

モジュールが目的のオブジェクトをサポートしていない場合に発生します。

例えば:QXSystem.ReadConnector()を介してCX27モジュールのコネクタを読み込もうとした。モジュールは、すべてのコネクタをサポートしていないため、オブジェクトはReadConnector()で利用できないと例外が投げられます。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public class ZeroingFailedException : ApplicationException
```

Visual Basic

```
Public Class ZeroingFailedException
       Inherits ApplicationException
```

継承階層

System.Object
 System.Exception
  System.ApplicationException
   HBM.QuantumX.ZeroingFailedException

## ZeroingFailedException Members

ZeroingFailedException型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| ZeroingFailedException() | ZeroingFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ZeroingFailedException(String) | ZeroingFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |
| ZeroingFailedException(String, Exception) | ZeroingFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。 |

## ZeroingFailedException Constructor

ZeroingFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

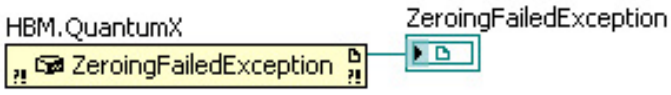
C#

```
public ZeroingFailedException()
```

Visual Basic

```
Public Sub New
```

LabVIEW



## ZeroingFailedException Constructor(String)

ZeroingFailedExceptionクラスの新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

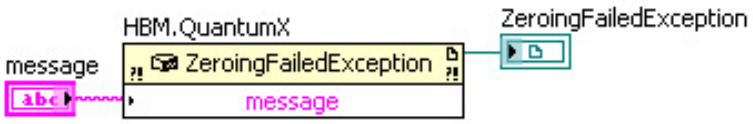
C#

```
public ZeroingFailedException(
       string message
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |

## ZeroingFailedException Constructor(String, Exception)

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public ZeroingFailedException(
       string message,
       Exception inner
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       message As String,
       inner As Exception
)
```

LabVIEW

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| message | System.String | メッセージ。 |
| inner | System.Exception | inner。 |

# HBM.QuantumX.Structure

**QXTime Structure**
演算子および型変換のQuantumXタイムスタンプを格納する構造体。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#
```
public struct QXTime
```

Visual Basic
```
Public Structure QXTime
```

例
```
//init (not really necessary)
HBM.QuantumX.QXTime time = 0L;

//set to current time
time = System.DateTime.Now;

//add one second
time += new System.TimeSpan(0, 0, 1); //or time += 1D;

//subtract a NTP second (no implicit conversion without ambiguity available)
time -= (HBM.QuantumX.QXTime)0x100000000UL;

//subtract another second (implicit conversion without ambiguity available)
time -= 1D;

//check time
if (time < System.DateTime.Now.AddHours(1D))
  time += new System.TimeSpan(1, 0, 0); //add one hour

//convert to local time
System.DateTime localTime = time; //or time.LocalTime

//convert to UTC time
System.DateTime utcTime = time.UtcTime;

//convert to QuantumX time stamp
UInt64 timeStamp = time; //or time.QXTimeStamp

//implicitly convert to fractions of a second since 2000-01-01 00:00:00
double  seconds        = time;
decimal preciseSeconds = time;
```

## QXTime Members

QXTime型で公開されるメンバーは以下の通りです。

| コンストラクタ | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| QXTime(DateTime) | QXTime構造体の新しいインスタンスを初期化します。 |
| QXTime(UInt64) | QXTime構造体の新しいインスタンスを初期化します。 |

| メソッド | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Equals | 指定したオブジェクトが、このインスタンスと等しいかどうかを判断します。 |
| GetHashCode | インスタンスのハッシュコードを返します。 |
| ToString() | インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。 |
| ToString(IFormatProvider) | インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。 |
| ToString(String) | インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。 |
| ToString(String, IFormatProvider) | インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。 |

| 演算子および型変換 | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| Addition(QXTime, QXTime) | +演算子を実行。 |
| Addition(QXTime, DateTime) | +演算子を実行。 |
| Addition(QXTime, Decimal) | +演算子を実行。 |
| Addition(QXTime, Double) | +演算子を実行。 |
| Addition(QXTime, TimeSpan) | +演算子を実行。 |
| Equality(QXTime, QXTime) | ==演算子を実行。 |
| Equality(QXTime, DateTime) | ==演算子を実行。 |
| Equality(QXTime, Decimal) | ==演算子を実行。 |
| Equality(QXTime, Double) | ==演算子を実行。 |
| GreaterThan(QXTime, QXTime) | >演算子を実行。 |
| GreaterThan(QXTime, DateTime) | >演算子を実行。 |
| GreaterThan(QXTime, Decimal) | >演算子を実行。 |
| GreaterThan(QXTime, Double) | >演算子を実行。 |
| GreaterThanOrEqual(QXTime, QXTime) | >=演算子を実行。 |
| GreaterThanOrEqual(QXTime, DateTime) | >=演算子を実行。 |
| GreaterThanOrEqual(QXTime, Decimal) | >=演算子を実行。 |
| GreaterThanOrEqual(QXTime, Double) | >=演算子を実行。 |
| Implicit(DateTime to QXTime) | DateTimeからQXTimeへ暗黙の型変換を実行。 |
| Implicit(Decimal to QXTime) | DecimalからQXTimeへ暗黙の型変換を実行。 |
| Implicit(Double to QXTime) | DoubleからQXTimeへ暗黙の型変換を実行。 |
| Implicit(UInt64 to QXTime) | UInt64からQXTimeへ暗黙の型変換を実行。 |
| Implicit(QXTime to Decimal) | QXTimeからDecimalへ暗黙の型変換を実行。 |
| Implicit(QXTime to Double) | QXTimeからDoubleへ暗黙の型変換を実行。 |
| Implicit(QXTime to UInt64) | QXTimeからUInt64へ暗黙の型変換を実行。 |
| Implicit(QXTime to DateTime) | QXTimeからDateTimeへ暗黙の型変換を実行。 |
| Inequality(QXTime, QXTime) | !=演算子を実行。 |
| Inequality(QXTime, DateTime) | !=演算子を実行。 |
| Inequality(QXTime, Decimal) | !=演算子を実行。 |
| Inequality(QXTime, Double) | !=演算子を実行。 |
| LessThan(QXTime, QXTime) | <演算子を実行。 |
| LessThan(QXTime, DateTime) | <演算子を実行。 |
| LessThan(QXTime, Decimal) | <演算子を実行。 |
| LessThan(QXTime, Double) | <演算子を実行。 |
| LessThanOrEqual(QXTime, QXTime) | <=演算子を実行。 |
| LessThanOrEqual(QXTime, DateTime) | <=演算子を実行。 |
| LessThanOrEqual(QXTime, Decimal) | <=演算子を実行。 |
| LessThanOrEqual(QXTime, Double) | <=演算子を実行。 |
| Subtraction(QXTime, QXTime) | -演算子を実行。 |
| Subtraction(QXTime, DateTime) | -演算子を実行。 |

| | |
|---|---|
| Subtraction(QXTime, Decimal) | -演算子を実行。 |
| Subtraction(QXTime, Double) | -演算子を実行。 |
| Subtraction(QXTime, TimeSpan) | -演算子を実行。 |

| **プロパティ** | |
|---|---|
| 名前 | 説明 |
| LocalTime | 現地時間の取得(直接このオブジェクトに暗黙の型変換を使用できます)。 |
| QXTimeStamp | QuantumXのタイムスタンプの取得またはを設定を行います。 |
| UtcTime | UTC(協定世界時間)の取得(直接このオブジェクトに暗黙の型変換を使用できます)。 |

## QXTime Constructor (DateTime)

QXTime構造体の新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

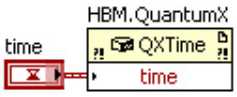
C#

```
public QXTime(
       DateTime time
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
       time As DateTime
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | System.DateTime | 時間。 |

## QXTime Constructor (UInt64)

QXTime構造体の新しいインスタンスを初期化します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

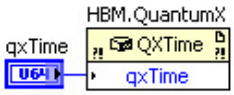
C#

```
public QXTime(
	ulong qxTime
)
```

Visual Basic

```
Public Sub New (
	qxTime As ULong
)
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| qxTime | System.UInt64 | QuantumXのタイムスタンプ。 |

## QXTime.Equals Method

指定したオブジェクトが、このインスタンスと等しいかどうかを判断します(ValueType.Equals(オブジェクト)をオーバーライド)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

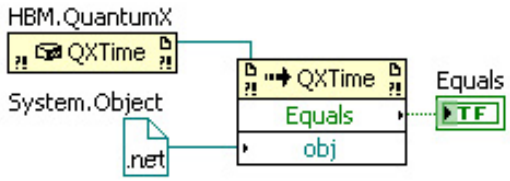
C#

```
public override bool Equals(
       Object obj
)
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function Equals (
       obj As Object
) As Boolean
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| obj | System.Object | オブジェクトと比較するインスタンス。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Equals | Boolean | 指定したオブジェクトがこのインスタンスと等しければtrueで、それ以外はfalse。 |

## QXTime.GetHashCode Method

インスタンスのハッシュコードを返します(ValueType.GetHashCode()をオーバーライド)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public override int GetHashCode()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function GetHashCode As Integer
```

LabVIEW

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GetHashCode | Int32 | ハッシュテーブルのような、ハッシュアルゴリズムおよびデータ構造での使用に適した、インスタンスのハッシュコード。 |

## QXTime.ToString Method

インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します(ValueType.ToString()をオーバーライド)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

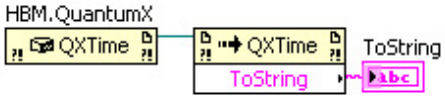
C#

```
public override string ToString()
```

Visual Basic

```
Public Overrides Function ToString As String
```

LabVIEW




戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ToString | String | インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。 |

## QXTime.ToString Method (IFormatProvider)

インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

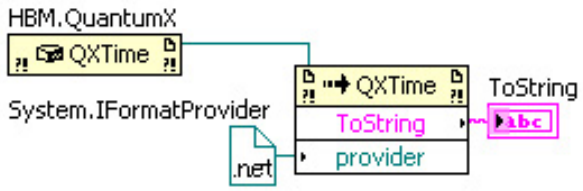
C#

```
public string ToString(
       IFormatProvider provider
)
```

Visual Basic

```
Public Function ToString (
       provider As IFormatProvider
) As String
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| provider | System.IFormatProvider | 書式プロバイダ |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ToString | String | インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。 |

## QXTime.ToString Method (String)

インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

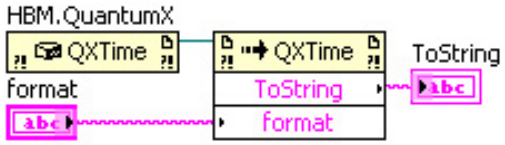
C#

```
public string ToString(
       string format
)
```

Visual Basic

```
Public Function ToString (
       format As String
) As String
```

LabVIEW




引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| format | String | 書式。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| ToString | String | インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。 |

## QXTime.ToString Method (String, IFormatProvider)

インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

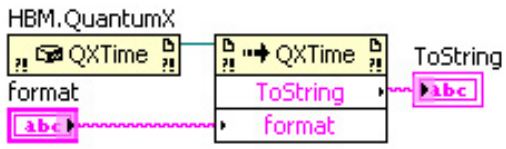
C#

```
public string ToString(
       string format,
       IFormatProvider provider
)
```

Visual Basic

```
Public Function ToString (
       format As String,
       provider As IFormatProvider
) As String
```

LabVIEW




| 引数 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| format | String | 書式。 |
| provider | System.IFormatProvider | 書式プロバイダ |

| 戻り値 | | |
|---|---|---|
| 名前 | 型 | 説明 |
| ToString | String | インスタンス(現地時間)を表す文字列を返します。 |

## QXTime.Addition Operator (QXTime, QXTime)

+演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator +(
       QXTime time1,
       QXTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator + (
       time1 As QXTime,
       time2 As QXTime
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | 最初のQuantumX時間。 |
| time2 | HBM.QuantumX.QXTime | 2番目のQuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Addition | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Addition Operator (QXTime, DateTime)

+演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator +(
       QXTime time1,
       DateTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator + (
       time1 As QXTime,
       time2 As DateTime
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| time2 | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Addition | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Addition Operator (QXTime, Decimal)

+演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator +(
       QXTime time,
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator + (
       time As QXTime,
       seconds As Decimal
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Decimal | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Addition | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Addition Operator (QXTime, Double)

+演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator +(
       QXTime time,
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator + (
       time As QXTime,
       seconds As Double
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Double | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Addition | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Addition Operator (QXTime, TimeSpan)

+演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator +(
       QXTime time,
       TimeSpan timeSpan
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator + (
       time As QXTime,
       timeSpan As TimeSpan
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| timeSpan | System.TimeSpan | TimeSpan。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Addition | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Equality Operator (QXTime, QXTime)

==演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator ==(
       QXTime time1,
       QXTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator = (
       time1 As QXTime,
       time2 As QXTime
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | 最初のQuantumX時間。 |
| time2 | HBM.QuantumX.QXTime | 2番目のQuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Equality | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.Equality Operator (QXTime, DateTime)

==演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator ==(
       QXTime time1,
       DateTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator = (
       time1 As QXTime,
       time2 As DateTime
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| time2 | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Equality | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.Equality Operator (QXTime, Decimal)

==演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator ==(
       QXTime time,
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator = (
       time As QXTime,
       seconds As Decimal
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Decimal | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Equality | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.Equality Operator (QXTime, Double)

==演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator ==(
       QXTime time,
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator = (
       time As QXTime,
       seconds As Double
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Double | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Equality | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.GreaterThan Operator (QXTime, QXTime)

>演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator >(
       QXTime time1,
       QXTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator > (
       time1 As QXTime,
       time2 As QXTime
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | 最初のQuantumX時間。 |
| time2 | HBM.QuantumX.QXTime | 2番目のQuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GreaterThan | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.GreaterThan Operator (QXTime, DateTime)

>演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator >(
       QXTime time1,
       DateTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator > (
       time1 As QXTime,
       time2 As DateTime
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| time2 | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GreaterThan | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.GreaterThan Operator (QXTime, Decimal)

>演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator >(
       QXTime time,
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator > (
       time As QXTime,
       seconds As Decimal
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Decimal | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GreaterThan | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.GreaterThan Operator (QXTime, Double)

>演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator >(
       QXTime time,
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator > (
       time As QXTime,
       seconds As Double
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Double | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GreaterThan | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.GreaterThanOrEqual Operator (QXTime, QXTime)

>=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator >=(
       QXTime time1,
       QXTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator >= (
       time1 As QXTime,
       time2 As QXTime
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | 最初のQuantumX時間。 |
| time2 | HBM.QuantumX.QXTime | 2番目のQuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GreaterThanOrEqual | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.GreaterThanOrEqual Operator (QXTime, DateTime)

>=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator >=(
       QXTime time1,
       DateTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator >= (
       time1 As QXTime,
       time2 As DateTime
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| time2 | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GreaterThanOrEqual | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.GreaterThanOrEqual Operator (QXTime, Decimal)

>=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator >=(
       QXTime time,
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator >= (
       time As QXTime,
       seconds As Decimal
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Decimal | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GreaterThanOrEqual | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.GreaterThanOrEqual Operator (QXTime, Double)

>=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator >=(
       QXTime time,
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator >= (
       time As QXTime,
       seconds As Double
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Double | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| GreaterThanOrEqual | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.Implicit Conversion (DateTime to QXTime)

DateTimeからQXTimeへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator QXTime (
       DateTime time
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       time As DateTime
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | QXTime | 変換の結果。 |

## QXTime.Implicit Conversion (Decimal to QXTime)

DecimalからQXTimeへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator QXTime (
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       seconds As Decimal
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| seconds | System.Decimal | 2000-01-01 00:00:00からの秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | QXTime | 変換の結果。 |

## QXTime.Implicit Conversion (Double to QXTime)

DoubleからQXTimeへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator QXTime (
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       seconds As Double
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| seconds | System.Double | 2000-01-01 00:00:00からの秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | QXTime | 変換の結果。 |

## QXTime.Implicit Conversion (UInt64 to QXTime)

UInt64からQXTimeへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator QXTime (
       ulong time
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       time As ULong
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | System.UInt64 | QuantumXのタイムスタンプ。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | QXTime | 変換の結果。 |

## QXTime.Implicit Conversion (QXTime to Decimal)

QXTimeからDecimalへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator decimal (
       QXTime time
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       time As QXTime
) As Decimal
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | Decimal | 2000-01-01 00:00:00からの秒。 |

## QXTime.Implicit Conversion (QXTime to Double)

QXTimeからDoubleへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator double (
       QXTime time
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       time As QXTime
) As Double
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | Double | 2000-01-01 00:00:00からの秒。 |

## QXTime.Implicit Conversion (QXTime to UInt64)

QXTimeからUInt64へ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator ulong (
       QXTime time
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       time As QXTime
) As ULong
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | UInt64 | 上位32 bit2000-01-01 00:00:00以降の秒数で、下位32 bitは秒の$n/2^{32}$の比。 |

## QXTime.Implicit Conversion (QXTime to DateTime)

QXTimeからDateTimeへ暗黙の型変換を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static implicit operator DateTime (
       QXTime time
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Widening Operator CType (
       time As QXTime
) As DateTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Implicit Conversion | DateTime | 変換の結果。 |

## QXTime.Inequality Operator (QXTime, QXTime)

!=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator !=(
       QXTime time1,
       QXTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator <> (
       time1 As QXTime,
       time2 As QXTime,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | 最初のQuantumX時間。 |
| time2 | HBM.QuantumX.QXTime | 2番目のQuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Inequality | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.Inequality Operator (QXTime, DateTime)

!=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator !=(
       QXTime time1,
       DateTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator <> (
       time1 As QXTime,
       time2 As DateTime,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| time2 | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Inequality | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.Inequality Operator (QXTime, Decimal)

!=演算子を実行。

| 名前空間 | HBM.QuantumX |
|---|---|
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator !=(
       QXTime time,
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator <> (
       time As QXTime,
       seconds As Decimal,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Decimal | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Inequality | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.Inequality Operator (QXTime, Double)

!=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator !=(
       QXTime time,
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator <> (
       time As QXTime,
       seconds As Double,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Double | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Inequality | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.LessThan Operator (QXTime, QXTime)

<演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator <(
       QXTime time1,
       QXTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator < (
       time1 As QXTime,
       time2 As QXTime,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | 最初のQuantumX時間。 |
| time2 | HBM.QuantumX.QXTime | 2番目のQuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| LessThan | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.LessThan Operator (QXTime, DateTime)

<演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator <(
       QXTime time1,
       DateTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator < (
       time1 As QXTime,
       time2 As DateTime,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| time2 | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| LessThan | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.LessThan Operator (QXTime, Decimal)

<演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator <(
       QXTime time,
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator < (
       time As QXTime,
       seconds As Decimal,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Decimal | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| LessThan | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.LessThan Operator (QXTime, Double)

<演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator <(
       QXTime time,
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator < (
       time As QXTime,
       seconds As Double,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Double | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| LessThan | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.LessThanOrEqual Operator (QXTime, QXTime)

<=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator <=(
       QXTime time1,
       QXTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator <= (
       time1 As QXTime,
       time2 As QXTime,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | 最初のQuantumX時間。 |
| time2 | HBM.QuantumX.QXTime | 2番目のQuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| LessThanOrEqual | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.LessThanOrEqual Operator (QXTime, DateTime)

<=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator <=(
       QXTime time1,
       DateTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator <= (
       time1 As QXTime,
       time2 As DateTime,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| time2 | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| LessThanOrEqual | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.LessThanOrEqual Operator (QXTime, Decimal)

<=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator <=(
       QXTime time,
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator <= (
       time As QXTime,
       seconds As Decimal,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Decimal | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| LessThanOrEqual | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.LessThanOrEqual Operator (QXTime, Double)

<=演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static bool operator <=(
       QXTime time,
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator <= (
       time As QXTime,
       seconds As Double,
) As Boolean
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Double | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| LessThanOrEqual | Boolean | 演算子の結果。 |

## QXTime.Subtraction Operator (QXTime, QXTime)

-演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator -(
       QXTime time1,
       QXTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator - (
       time1 As QXTime,
       time2 As QXTime,
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | 最初のQuantumX時間。 |
| time2 | HBM.QuantumX.QXTime | 2番目のQuantumX時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Subtraction | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Subtraction Operator (QXTime, DateTime)

-演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator -(
       QXTime time1,
       DateTime time2
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator - (
       time1 As QXTime,
       time2 As DateTime,
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time1 | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| time2 | System.DateTime | 時間。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Subtraction | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Subtraction Operator (QXTime, Decimal)

-演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator -(
       QXTime time,
       decimal seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator - (
       time As QXTime,
       seconds As Decimal,
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Decimal | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Subtraction | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Subtraction Operator (QXTime, Double)

-演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator -(
       QXTime time,
       double seconds
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator - (
       time As QXTime,
       seconds As Double,
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| seconds | System.Double | 秒。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Subtraction | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.Subtraction Operator (QXTime, TimeSpan)

-演算子を実行。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

C#

```
public static QXTime operator -(
       QXTime time,
       TimeSpan timeSpan
)
```

Visual Basic

```
Public Shared Operator - (
       time As QXTime,
       timeSpan As TimeSpan,
) As QXTime
```

引数

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| time | HBM.QuantumX.QXTime | QuantumX時間。 |
| timeSpan | System.TimeSpan | 時間間隔。 |

戻り値

| 名前 | 型 | 説明 |
|---|---|---|
| Subtraction | QXTime | 演算子の結果。 |

## QXTime.LocalTime Property

現地時間の取得(直接このオブジェクトに暗黙の型変換を使用できます)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

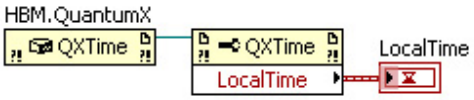
C#

```
public DateTime LocalTime { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property LocalTime As DateTime
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DateTime |

## QXTime.QXTimeStamp Property

QuantumXのタイムスタンプの取得またはを設定を行います。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

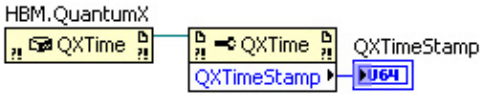
C#

```
public ulong QXTimeStamp { get; set;}
```

Visual Basic

```
Public Property QXTimeStamp As ULong
       Get
       Set
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: UInt64 |

注釈

暗黙の型変換演算子および加算減算/演算子が存在します。

## QXTime.UtcTime Property

UTC(協定世界時間)の取得(直接このオブジェクトに暗黙の型変換を使用できます)。

| | |
|---|---|
| 名前空間 | HBM.QuantumX |
| アセンブリ | HBM.QuantumX (in HBM.QuantumX.dll) Version: 4.0.0.120 (4.0.1.131) |

構文

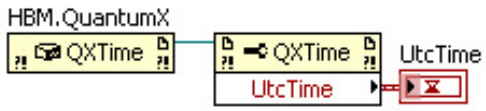
C#

```
public DateTime UtcTime { get; }
```

Visual Basic

```
Public ReadOnly Property UtcTime As DateTime
        Get
```

LabVIEW




| | |
|---|---|
| プロパティ値 | Type: DateTime |